# 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）

| 図面リスト | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図面番号 | 図面名称 | 図面番号 | 図面名称 | 図面番号 | 図面名称 | 図面番号 | 図面名称 | 図面番号 | 図面名称 | 図面番号 | 図面名称 |
| A-001 | 特記仕様書-1 | A-026 | 矩計図-5 | A-051 | 建具表-5 | A-076 | カーテン記号図 | S-01 | 構造関係共通図（構造関係共通事項） | S-26 | 「立体トラス」立面図、平面図 |
| A-002 | 特記仕様書-2 | A-027 | １階平面詳細図-1 | A-052 | 建具詳細図-1 | A-077 | カーテンリスト | S-02 | 構造関係共通図（配筋標準図その１） | S-27 | 「立体トラス」部材配置図 |
| A-003 | 特記仕様書-3 | A-028 | １階平面詳細図-2 | A-053 | 建具詳細図-2 | A-078 | 既存校舎接続部改修図 | S-03 | 構造関係共通図（配筋標準図その２） | S-28 | 「立体トラス」支承配置図、支承詳細図 |
| A-004 | 特記仕様書-4 | A-029 | １階平面詳細図-3 | A-054 | 部分詳細図-1 | A-079 | 外構配置図 | S-04 | 構造関係共通図（配筋標準図その３） | S-29 | 「立体トラス」母屋伏図、母屋詳細図 |
| A-005 | 敷地求積図 | A-030 | １階平面詳細図-4 | A-055 | 部分詳細図-2 | A-080 | 外構詳細図-1 | S-05 | 構造関係共通図（配筋標準図その４） | S-30 | 「立体トラス」軒先納まり図 |
| A-006 | 配置図 | A-031 | １階平面詳細図-5 | A-056 | 部分詳細図-3 | A-081 | 外構詳細図-2 | S-06 | 構造関係共通図（鉄骨標準図） | S-31 | 「立体トラス」照明配置図、照明下地詳細図 |
| A-007 | 面積表 | A-032 | １階平面詳細図-6 | A-057 | 部分詳細図-4 | A-082 | 外構詳細図-3 | S-07 | ベースパック柱脚工法標準図 | S-32 | 「渡り廊下屋根」膜構造建築物　設計概要書 |
| A-008 | 室面積表 | A-033 | ２階平面詳細図-1 | A-058 | 白板・掲示板記号図 | A-083 | 外構詳細図-4 | S-08 | ＱＬデッキ合成スラブ 設計・施工標準図 | S-33 | 「渡り廊下屋根」屋根伏図・立面図 |
| A-009 | 法チェック図-1 | A-034 | ２階平面詳細図-2 | A-059 | 白板・掲示板詳細図 | A-084 | 外構詳細図-5 | S-09 | ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ 設計・施工標準図 | S-34 | 「渡り廊下屋根」矩計図・膜納まり詳細図 |
| A-010 | 法チェック図-2 | A-035 | ２階平面詳細図-3 | A-060 | 家具記号図 | A-085 | 外構詳細図-6 | S-10 | Smart-MAGNUM工法(周面強化型) 特記仕様書 | S-35 | 「渡り廊下屋根」小屋伏図・軸組図・現場ｼﾞｮｲﾝﾄ詳細図 |
| A-011 | 法チェック図-3 | A-036 | ２階平面詳細図-4 | A-061 | 家具詳細図-1 | A-086 | 外構詳細図-7 | S-11 | パイルスタッド工法 設計・施工標準図 | S-36 | 「渡り廊下屋根」柱脚詳細図 |
| A-012 | 法チェック図-4 | A-037 | ２階平面詳細図-5 | A-062 | 家具詳細図-2 | A-087 | 外構詳細図-8 | S-12 | ボーリング柱状図 | S-37 | 「渡り廊下屋根」ユニトン支承詳細図 |
| A-013 | 法チェック図-5 | A-038 | ２階平面詳細図-6 | A-063 | 家具詳細図-3 | A-088 | 外構撤去図 | S-13 | 杭伏図、杭リスト | S-38 | 梁貫通孔リスト |
| A-014 | 法チェック図-6 | A-039 | 展開図-1 | A-064 | 家具詳細図-4 | | | S-14 | 基礎伏図、基礎・基礎梁リスト | | |
| A-015 | 仕上表-1 | A-040 | 展開図-2 | A-065 | サイン記号図 | | | S-15 | 床梁伏図(1) | | |
| A-016 | 仕上表-2 | A-041 | 展開図-3 | A-066 | サイン詳細図 | | | S-16 | 床梁伏図(2) | | |
| A-017 | １，２平面図 | A-042 | 展開図-4 | A-067 | ｱﾘｰﾅ床伏図 | | | S-17 | 軸組図(1) | | |
| A-018 | Ｒ階平面図 | A-043 | 展開図-5 | A-068 | ｱﾘｰﾅ床詳細図 | | | S-18 | 軸組図(2) | | |
| A-019 | 立面図 | A-044 | 展開図-6 | A-069 | 体育器具図-1 | | | S-19 | 軸組図(3) | | |
| A-020 | 断面図 | A-045 | 建具記号図-1 | A-070 | 体育器具図-2 | | | S-20 | 軸組図(4) | | |
| A-021 | 天井伏図 | A-046 | 建具記号図-2 | A-071 | 体育器具図-3 | | | S-21 | 鉄骨部材表、各リスト図 | | |
| A-022 | 矩計図-1 | A-047 | 建具表-1 | A-072 | 体育器具図-4 | | | S-22 | 雑詳細図 | | |
| A-023 | 矩計図-2 | A-048 | 建具表-2 | A-073 | 舞台吊物機構図-1 | | | S-23 | 鉄骨架構詳細図(1) | | |
| A-024 | 矩計図-3 | A-049 | 建具表-3 | A-074 | 舞台吊物機構図-2 | | | S-24 | 鉄骨架構詳細図(2) | | |
| A-025 | 矩計図-4 | A-050 | 建具表-4 | A-075 | 舞台吊物機構図-3 | | | S-25 | 「立体トラス」工事特記仕様書 | | |

株式会社
真鍋令建築設計事務所

# 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） 仕様書

## Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　さぬき市長尾東　地内
2. 敷地面積　15,717.51 ㎡
3. 工事内容　屋内運動場等複合施設（屋内運動場、放課後児童クラブ）　鉄骨造　地上２階建て
   ひろば大屋根　鉄骨造
   ２階連絡通路　鉄骨造
   外構整備（校舎及び屋内運動場周辺）

## Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様
   (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）により、標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説（令和4年版）及び同解説 令和5年版」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
   (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
   (3) 受注者は、特定行政庁（建築主事等）が求める完了検査（中間検査を含む）時に必要な資料等（報告書等）を用意すること。
2. 特記仕様
   (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
   (2) 特記事項は㊀印のついたものを適用する。
   　㊀印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
   　㊀印と※印のついた場合は共に適用する。
   (3) 項目、特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (4) Ⓖ印は「国等による環境物品等の調達の促進に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。
   (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令（条例を含む）の改正等により、関係法令（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。
   (6) 材料及び製造所の記載は順不同である。
   (7) その他共通的な事項は、別冊特記仕様（共通編）による。
   (8) 下請負契約等に関する市内業者の活用促進について
   　１．本工事の施工に関し、下請契約を締結する場合には、さぬき市内に主たる事務所を有する業者から優先的に採用するよう努めること。
   　２．工事施工に必要な工事資機材、建設機械、事務用品等を購入又は借入する場合は、できる限りさぬき市内に主たる事務所を有する業者を活用すること。
   　３．さぬき市内に主たる事務所を有する者の活用状況について、各年度四半期及び工期末に別途指定する様式にて、監督職員に報告するものとする。
   　４．工事を下請発注する場合は、適正な価格で請負わせ、適正な期間内に請負代金を支払うこと等下請契約及び下請代金支払の適正化に努めること。
   (9) 安全祈願祭等の実施を本工事に見込むこと。

| 章 | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 1 各章共通事項 | ① | 適用基準等 | 1）本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。<br>　建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課<br>2）その他適用する基準等<br>　※営繕工事写真撮影要領（令和3年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部<br>　※構造関係共通図　香川県総務部営繕課<br>　※建築材料等品質性能表　香川県総務部営繕課 |
| | ② | 工事実績情報の登録<br>(1.1.4) | ・適用する |
| | ③ | 電気保安技術者<br>(1.3.3) | ・適用する |
| | ④ | 施工条件<br>(1.3.5) | 施工時間帯　※指定なし　・指定有り（　　）<br>部位別の施工順序　※指定なし　・指定有り（　　） |
| | ⑤ | 発生材の処理等<br>(1.3.11) | ※発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針（平成22年度版）、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日建設省経建発第3号、最終改正平成14年5月30日）に従い適切に処理し監督職員に報告する。<br>※廃棄物の処理を委託する場合には、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と「建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しを監督職員に提出しなければならない。<br>※産業廃棄物の処理委託の流れを確認するものとして、「産業廃棄物管理票（マニュフェスト）」を使用しなければならない。また、処分が完了した運搬車両ごとに返送されるマニュフェストを基に「建設廃棄物処理実績集計表」を作成し、工事完成時に速やかに監督職員に提出しなければならない。工事完成時に最終処分が確認できない場合は、確認資料（E票等）が整い次第、「建設廃棄物処理実績集計表」を修正し監督職員に提出しなければならない。<br>「建設廃棄物処理実績集計表」の提出時にマニュフェスト原本を監督職員に提示し、産業廃棄物の適正処理の確認を受けなければならない。また、竣工検査時等、マニュフェストの提示を求められた時は、原本を提示しなければならない。<br>※工事着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を監督職員に提出・説明し、承諾を得た上で、工事現場の公衆の見やすい場所に掲示すること。<br>※竣工検査時までに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。<br>・引き渡しを要するもの（　　）<br>・現場において再利用を図るもの（　　）<br>㊀再生資源化を図るもの<br>　㊀コンクリート塊　㊀アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材　・建設汚泥<br>　［中間処理施設及び再生資源化施設は施工条件明示による］<br>・再生資源化が可能なもの（・廃石膏ボード　・　　）<br>・管理型の産業廃棄物（下記以外は関係法令に従い適切に処理）<br>　・廃石膏ボード |
| | ⑥ | 環境への配慮<br>(1.4.1) | 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。<br>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。<br>③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。<br>④ ①の材料を使用して作られた家具、畳架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 |
| | ⑦ | 材料の品質等<br>(1.4.2) | 1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。<br>2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。<br>3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。<br>4）本工事に使用する材料のうち、５）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。<br>　①品質及び性能に関する試験データを整備していること。<br>　②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。<br>　③安定的な供給が可能であること。<br>　④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。<br>　⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>　⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。<br>5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料<br>　床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイル工事用）、既調合目地材、ルーフドレイン、吸水調整材、防水剤、錠前類、クローザ類、自動ドア開閉装置、自閉式上吊り引戸装置（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、現場発泡断熱材（特定フロンによるものを除く）、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切（スライディングドア）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、トップライト、鋳鉄ふた<br>6）建築材料等品質性能表に記載のある材料は、当該資料の品質、性能、試験方法による。 |
| | ⑧ | 技能士<br>(1.5.2) | 技能士の適用　・適用する　・適用しない<br>適用する技能士の種別　※下記による　級別　◎1級　○1級又は2級 |

| 工事別 | 適用種別 | 工事別 | 適用種別 |
|---|---|---|---|
| 仮設 | ○とび | 防水 | ○防水施工<br>（・アスファルト防水<br>・ウレタンゴム系塗膜防水<br>・合成ゴム系シート防水<br>・シーリング防水）の<br>各工事作業 |
| 鉄筋 | ○鉄筋施工 | | |
| コンクリート | ○型枠施工<br>○コンクリート圧送施工 | | |
| 鉄骨 | ○鉄工 | タイル | ・タイル張り |
| ブロック | ・ブロック建築 | 塗装 | ○塗装（建築塗装作業） |
| ALCパネル | ・ALCパネル施工 | 内装 | ・内装仕上げ施工<br>（・プラスチック系床仕上げ<br>・カーペット系床仕上げ<br>・ボード仕上げ）の<br>各仕上げ工事作業 |
| 石 | ・石材施工 | | |
| 木 | ・建築大工 | | |
| 屋根及びとい | ○建築板金（内外装板金作業）<br>・スレート施工 | | ・表装（壁装作業） |
| 金属 | ○内装仕上げ施工<br>（鋼製下地工事作業）<br>・建築板金（内外装板金作業） | | ・畳製作 |
| 左官 | ・左官 | | |
| 建具 | ○サッシ施工<br>・ガラス施工<br>・自動ドア施工 | 植栽 | ・造園 |
| | | ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ | ・カーテンウォール施工 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑨ | 化学物質の濃度測定<br>(1.5.9) | 次の化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。<br>※ホルムアルデヒド　※トルエン　※キシレン　※スチレン　※エチルベンゼン<br>・パラジクロロベンゼン |

| 測定対象室 | 測定箇所数 | 測定対象室 | 測定箇所数 |
|---|---|---|---|
| （屋内運動場）ｱﾘｰﾅ | 1箇所 | （児童ｸﾗﾌﾞ）職員室 | 1箇所 |
| （屋内運動場）多目的教室 | 1箇所 | （児童ｸﾗﾌﾞ）学習室 | 1箇所 |
| | | | |

　パッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う。
　(1) 30分間換気
　　測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分換気する。
　(2) 5時間閉鎖
　　(1)の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分は開放したままとする。
　(3) 測定
　　イ　(2)の状態のままで測定する。
　　ロ　測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。
　　なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。
　　ハ　測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
　(4) 分析
　　測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、測定を分析する。
　　（なお、上記によりがたい場合等は、監督職員に協議する）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑩ | 完成写真 | 次のものを監督職員に提出する　※下記は参考とし、撮影前に監督職員と協議すること。 |

| 分類・規格 | 撮影箇所数 | 提出部数 |
|---|---|---|
| カラー | 外部 8　箇所 | 2　部 |
| ※キャビネ版　・サービス版 | 内部 各室2 箇所 | 部 |
| | 箇所 | 部 |
| カラー<br>※Ａ２版（アルミ額縁パネル　・有 ※無） | 2　箇所 | 1　部 |

　すべての撮影箇所を電子データ（ＣＤ－Ｒ）で提出する。
　画像形式等　フォーマット:JPEG　画質:標準　画像サイズ:1024×768ピクセル以上
　完成写真等の撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者　・その他

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑪ | 完成時の提出図書<br>(1.7.1～3)(表1.7.1) | ※完成図（作成方法　※CAD（CD-R共提出）　・　　）<br>※保全に関する資料　（提出部数　※ 1部　・　部） |
| | ⑫ | 著作権の譲渡 | 受注者は、完成写真、工事写真、完成図、竣工図、施工図及び施工計画書に関する一切の著作権（著作権法に規定する著作者の権利。第27条及び第28条に規定する権利を含む）を発注者に譲渡し、著作者人格権についてはこれを行使しない。 |
| | ⑬ | 設備工事との取り合い | 施工区分（　※図示による　・工事区分表による　）<br>施工図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 |
| | ⑭ | 統括安全衛生責任者の指名 | 労働安全衛生法第30条に基づき県から特定元方事業者として指名された場合は、必要に応じて労働安全衛生法第15条に基づき統括安全衛生責任者を指名すること。 |
| | 15 | 創意工夫・地域社会への貢献の提案 | 対象：工事成績評定を行う工事<br>受注者は、創意工夫・地域社会への貢献の提案を自ら立案し実施することができる。<br>※工事成績評定の対象となる条件<br>　1）提案は原則として実施前に行い、所定の様式により工事監督員の承認を得ること。<br>　2）工事完成の10日前までに所定の様式により履行報告を行うこと。 |
| | 16 | 週休２日工事 | 香川県週休２日工事実施要領（営繕編）に基づき実施するものとし、取組の結果は、経費の補正及び工事成績評定の対象となる。<br>※発注者が週休２日工事として指定する工事（要領第2条第1項第1号）<br>・受注者が週休２日工事としたい旨を申し出ることのできる工事（同項第2号） |
| | ⑰ | 耐荷重及び耐外力 | 建築基準法に基づき定められた区分等<br>※基準風速　Vo =（　※34　・　　）m/s<br>※地表面粗度区分　・Ⅱ　・(Ⅲ) |
| | 18 | 電子納品等 | ・電子納品の実施　（香川県電子納品ガイドライン（建築編）による。）<br>・電子データの提出（工事関係書類のうち、電子データの提出を要するものについては着手時協議書による。）<br>情報共有システムの利用　（・適用する　※適用しない） |
| 2 仮設工事 | ① | 手すり先行足場<br>(2.2.4) | ※適用する　・適用しない<br>　手すり先行工法の種類（「手すり先行工法等に関するガイドライン」による。）<br>・(1)手すり先送り方式　※(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式 |
| | ② | 監督職員事務所<br>(2.3.1) | ※設ける　・設けない<br>監督職員事務所の規模（単位：㎡） |

| 種別 | ○1号 | ・2号 | ・3号 | ・4号 | ・5号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 面積 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 |

監督職員事務所の仕上げ標準

| 部位等 | 仕上げ |
|---|---|
| 床 | 合板張り又はビニル床シート張り |
| 内壁、天井 | 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り |
| 屋根 | 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り |
| 休憩室 | 畳敷き |

※備品等は監督職員の指示を受けて設置すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ③ | 工事用水 | 構内既存の施設　○利用できる（※有償　・無償）　※利用できない |
| | ④ | 工事用電力 | 構内既存の施設　○利用できる（※有償　・無償）　※利用できない |
| 3 土工事 | ① | 埋戻し及び盛土<br>(3.2.3) | 種別　○A種　※B種　・C種　・D種　（表3.2.1） |
| | ② | 建設発生土の処理<br>(3.2.5) | 建設発生土については、以下の場所に指定処分するものとし、処分条件を変更する場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。<br>　受入場所：　（株）エムケーインデクト（三木町）<br>　運搬距離：　8.7 km<br>　処分方法：　※構外指定の場所に処分　・構内指定の場所に敷き均し<br>　　・構内指定の場所に堆積<br>　実施条件：<br>また、処分条件を変更する場合は、次の区域において処分してはならない。<br>1)　災害の防止を図るために法律により規制された区域<br>2)　良好な自然環境の保全を図るために法律により規制された区域<br>3)　災害を誘発する恐れのある区域<br>4)　その他施主によって第三者と紛争の生ずる恐れのある区域<br>建設発生土を利用する場合（工事間流用する場合）は下記による。<br>・盛土材料については、以下の工事からの建設発生土を利用するものとする。なお、搬出側との協議等で使用が困難な場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。<br>　搬出工事：<br>　運搬距離：　km<br>　実施条件：<br>　使用工種： |
| 4 地業工事 | ① | 試験杭<br>(4.2.2) | 仕様は、本杭と同じとする。<br>※杭打設１本目を試験杭とする。 |
| | ② | 既製コンクリート杭地業<br>(4.3.1～7) | 杭の種類　※ＰＨＣ杭（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）・ＳＣ杭　・ＰＲＣ杭　○図示 |

| 杭径(mm) | 杭長(m) | 継手の箇所数 | セット数 | 長期設計支持力(kN/本) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図示 | | 1箇所／1本<br>（無溶接継手） | | | |
| | | | | | |

　杭先端部の形状　※開放型　・半開放型　・閉そく型　・
　杭頭の処理　※行わない　・行う
　杭の施工法　※セメントミルク工法
　　○特定埋込杭工法　※Smart-MAGNUM工法（周面強化型）同等
　　国土交通省告示第1113号第6に定める地盤の許容支持力式のうち
　　α＝　、β＝　、γ＝　を採用している工法
　杭の精度　水平方向の位置ずれ　※杭径の1/4かつ100mm以下　・
　　杭の傾斜　※1/100以内　・

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 3 | 場所打ちコンクリート杭地業<br>(4.5.1～5) | 工法　※アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法<br>コンクリート設計基準強度　（　）N/mm2<br>コンクリートの種別　・A種　※B種　（表4.5.1）<br>支持地盤　※B種　・<br>杭の精度　水平方向の位置ずれ　※杭径の1/4かつ100mm以下　・<br>　　杭の傾斜　※1/100以内　・<br>　　杭径　・設計径以上 |
| | ④ | 砂利地業<br>(4.6.2) | 材料　※再生クラッシャーラン Ⓖ<br>　・切込砂利及び切込砕石 |
| | ⑤ | 床下防湿層<br>(4.6.2) | 材料　※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・ |
| 5 鉄筋工事 | ① | 鉄筋<br>(5.2.1) | 鉄筋の種類等 |

| 種類の記号 | 呼び径（mm） | 備考 |
|---|---|---|
| ○ SD295 | ※D16以下 | |
| ○ SD345 | ※D19以上 | |
| ・ SD390 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ② | 鉄筋の継手<br>(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3) | 継手方法等 |

| | 継手方法 | | 呼び径(mm) |
|---|---|---|---|
| 柱、梁の主筋 | ※ガス圧接 | ・機械式継手　・溶接継手 | ※D19以上 |
| 耐力壁の鉄筋 | ※重ね継手 | ・ | |
| 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 | ※重ね継手 | ・ガス圧接 | |
| 上記以外（　　） | ※重ね継手 | ・ | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ③ | 鉄筋のかぶり厚さ<br>(5.3.5) | 軽量コンクリートで土に接する部分<br>・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm　・<br>耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）<br>・有り　適用箇所（　　）<br>・最小かぶり厚さに加える厚さ（　　mm） |
| | ④ | 圧接完了後の試験<br>(5.4.10)(5.4.11) | 抜取試験<br>※超音波探傷試験<br>　試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。<br>　試験の箇所数：1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。<br>・引張試験<br>　試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは20箇所ごとexcept。<br>　試験の箇所数：1ロットに対して（※3本　・5本）とする。 |
| 6 コンクリート工事 | ① | コンクリートの種類等<br>(6.2.1) | コンクリートの類別<br>※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）<br>・Ⅱ類（上記以外のJIS A 5308に適合したコンクリート） |
| | ② | コンクリートの強度<br>(6.2.2) | 普通コンクリートの設計基準強度 |

| 設計基準強度(Fc) | 適用箇所 |
|---|---|
| ・21　N/mm2 | |
| ※ 24　N/mm2 | 基礎、地中梁、ｽﾗﾌﾞ（底板含む）、壁 |
| ・27　N/mm2 | |
| ○ 18　N/mm2 | 土間、防水保護ｺﾝｸﾘｰﾄ、捨てｺﾝｸﾘｰﾄ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ③ | セメント<br>(6.3.1)(6.13.2)<br>(表6.3.1) | 種類<br>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種<br>　適用箇所（※下記以外すべて　・　）<br>　　普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ 以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ 以下のものとする。<br>・高炉セメントB種 Ⓖ　適用箇所（　　）<br>・フライアッシュセメントB種 Ⓖ　適用箇所（　　） |
| | 4 | 軽量コンクリート<br>(6.10.1) | 種類　（表6.10.1）<br>・1種　・2種 |
| | ⑤ | 調合管理強度<br>(6.3.2) | 構造体強度補正値（S）　（単位:N/mm2） |

| S | 3 | 6 |
|---|---|---|
| 標準適用期間 | 4月1日～12月5日<br>2月14日～3月31日 | 12月6日～2月13日 |

　上記は標準的な地域における適用期間を示すものであり、適用に際しては現場条件等を勘案して監督職員と協議の上、現場の状況に応じた構造体強度補正値を適用すること。

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑥ | ひび割れ誘発目地、打継目地<br>(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) | 目地寸法　※図示による　・標準仕様書 9.7.3による<br>ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する。 |
| | ⑦ | 打増し厚さ<br>（打放し仕上げ部）<br>(6.8.1) | 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)<br>※図示による　○20mm<br>打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)<br>※図示による　○10mm　・20mm |
| 7 鉄骨工事 | ① | 鉄骨製作工場<br>(7.1.3) | 鉄骨製作工場の加工能力<br>※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場<br>　評価の区分<br>　※［Ｍ］グレード以上　・グレードの指定なし<br>・監督職員の承諾する工場 |
| | ② | 鉄骨製作工場における施工管理技術者<br>(7.1.3～4)(7.6.2)(7.12.2) | ※配置する　・配置しない |
| | ③ | 高力ボルト<br>(7.2.2)(7.3.2)<br>(7.4.1～7.4.9)<br>(7.12.5) | 高力ボルトの種類<br>※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　・<br>摩擦面の処理方法等<br>溶融亜鉛メッキ面以外　※標準仕様書7.4.2による　・<br>溶融亜鉛メッキ面<br>　・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）<br>　・ブラスト処理以外の特別な処理工法　・図示による（　　）　・<br>すべり試験<br>・行わない<br>・行う　試験方法等　※すべり係数試験　・すべり耐力試験　・図示による（　　） |
| | ④ | アンカーボルトの材質及び設置<br>(7.2.4)(7.10.3) | 種類　構造用アンカーボルト　※ABR400　・ABR490　○図示による（構造図　）<br>　建方用（及び付属鉄骨）アンカーボルト　※SS400　・図示による（　　）<br>構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法　※図示による<br>建方用保持及び埋込み方法　・A種　※B種　（表7.10.1） |
| | ⑤ | ターンバックル<br>(7.2.6) | 種類　建築用ターンバックル胴　※割れ式　・<br>　建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・ |
| | ⑥ | 床構造用のデッキプレート<br>(7.2.7)(7.7.8) | 材質、形状及び寸法 |

| | 適用箇所 | 材質・形状・寸法 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ・ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ単独の構成 | | | |
| ・ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄとｺﾝｸﾘｰﾄとの合成ｽﾗﾌﾞとする構成 | 図示 | QLﾃﾞｯｷ合成ｽﾗﾌﾞ<br>QL99-50 t1.2 | |

　耐火認定
　○有り　耐火時間　・図示による（　　）　○１時間耐火

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑦ | 柱底均しモルタルの厚み及び工法<br>(7.7.9)(7.10.3) | モルタルの種類<br>※無収縮モルタル<br>工法の種別　※A種　・ |
| | ⑧ | 溶接接合<br>(7.6.4)(7.6.7) | 開先の形状　○図示による（　　）　・<br>エンドタブを切断する箇所及び切断範囲　○図示による（　　）　・<br>切断面の仕上げ　※標準仕様書7.6.7による　・<br>スカラップの形状　○図示による（　　）　・ |
| | ⑨ | 溶接部の試験<br>(7.6.12) | 外観試験<br>　平成12建告第1464号第二号に関する試験<br>　「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による。<br>　　※抜き取り検査②　・抜き取り検査①<br>　JASS6附則6[鉄骨精度検査基準]付表3「溶接」に関する試験<br>　　JASS6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。<br>　　溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。<br>　　不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。<br>外観試験以外の試験<br>　※行う（※超音波探傷試験　・浸透探傷試験　・磁粉探傷試験　・　　）<br>完全溶込み部の超音波探傷試験<br>・工場溶接の場合<br>　A0QL(%)　※4.0　・2.5 |

| 節 | ※全て | ・ | ・ | ・ |
|---|---|---|---|---|
| 検査水準 | ※第６水準 | ・ | ・ | ・ |

・工事現場溶接の場合
　※全数

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ⑩ | 錆び止め塗装<br>(7.8.2) | 塗料の範囲<br>　耐火被覆材の接着する面の塗装範囲<br>　・図示による（　　）　・<br>　耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲<br>　※標準仕様書7.8.2による　・<br>　・図示による（　　）　・<br>耐火被覆が接着する面の塗料の種別<br>・ |
| | ⑪ | 耐火被覆<br>(7.9.2～8) | 種類、材料、工法 |

| 種類 | 材料・工法 | 性能（耐火時間） | 適用箇所（部位・部分） |
|---|---|---|---|
| ○耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックウール | | |
| | ○半乾式吹付けロックウール | １時間耐火 | 柱、梁 |
| | ・湿式ロックウール | | |
| | ・ | | |
| ・耐火板張り | ・繊維混入けい酸カルシウム板 | | |
| | ・ | | |
| ・耐火材巻付け | ・高断熱ロックウール | | |
| | ・ | | |
| ・ラス張りモルタル塗り | | | |
| ○耐火塗料 | ○SKタイカコート 同等 | １時間耐火 | 柱、梁（図示） |

　材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。
　種別等

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 12 | 溶融亜鉛めっき<br>(7.2.2)(7.12.4) | |

| 性能 | 材料 | 適用部位 |
|---|---|---|
| A種 | 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 | |
| B種 | 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 | |
| C種 | 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 | |
| | 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 | |

　素地ごしらえは、JIS H 8641による

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 8 | 型枠のせき板<br>(6.2.5)(6.8.2) | ※合板（厚さ12mm）　・合板（厚さ15mm）Ⓖ<br>　合板せき板を用いた打放し仕上げの種別<br>　　※表6.2.4による（○A種　・B種　・C種　）　適用箇所は図示による<br>　コンクリートの仕上りの平たんさ<br>　　※表6.2.5による（○a種　・b種　・c種　）　適用箇所は図示による<br>○床型枠用鋼製デッキプレート（QLﾃﾞｯｷ合成ｽﾗﾌﾞ　　）<br>・メッシュ型枠（　　）<br>・断熱材兼用型枠　25mm以下かつ熱抵抗値1mh℃/kcal以上<br>・ＭＣＲ工法用シート（気泡発泡ポリエチレンシート） |
| | 9 | コンクリートの強度試験<br>(6.9.3) | ※コンクリートの圧縮強度試験に係る試験機関については、原則としてJIS A 5308レディミクストコンクリートの個別審査事項に規定された外部試験機関で行うものとする。 |
| | 10 | 無筋コンクリート<br>(6.14.1～3) | |

| 適用箇所 | ※土間コンクリート　※捨てコンクリート |
|---|---|
| コンクリートの種類 | ※普通コンクリート |
| レディミクストコンクリートの種類 | ※1類　・Ⅱ類 |
| 配合 | ※18-15-20　・ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 11 | コンクリートの単位水量測定<br>(6.5.1) | ・行わない　○行う<br>実施要領<br>・構造関係共通図(構造関係共通事項) 3.コンクリートの単位水量測定による。 |

| 記事 | ・<br>・<br>・<br>・ | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-001 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | 特記仕様書-1 | 縮尺 | A1：　－<br>A3：　－ | | |

## 8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事

### 1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2～8)

ブロックの種類等 (表8.2.2)

| 断面形状及び圧縮強さによる区分 | 正味厚さ(mm) | ﾓﾙﾀﾙ･ｺﾝｸﾘｰﾄ呼び寸法(mm) 長さ | 高さ | 化粧の有無 | 適用箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ※空洞ブロック-C(16) | | | | ・無 ・有 | | |
| ・ | | | | ・無 ・有 | | |

モルタルの調合 ※標準仕様書8.2.3による ・

### 2 コンクリートブロック帳壁及び壁 (8.3.2～4)

ブロックの種類等 (表8.3.1)

| 断面形状及び圧縮強さによる区分 | 正味厚さ(mm) | ﾓﾙﾀﾙ･ｺﾝｸﾘｰﾄ呼び寸法(mm) 長さ | 高さ | 化粧の有無 | 適用箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ※空洞ブロック-C(16) | | | | ・無 ・有 | ※表8.3.1 | |
| ・ | ・120 ・150 | | | ・無 ・有 | ※鉄 | |
| ・ | | | | ・無 ・有 | | |

モルタルの調合 ※標準仕様書8.2.3による ・

### 3 ＡＬＣパネル (8.4.2～5)

(表8.4.2～4)

| パネルの区分 用途 | 形状 | 表面加工 | 単位荷重(N/㎡) | 厚さ(mm) | 幅及び長さ(mm) | 耐火性能(時間) | 構造の種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・外壁用 | ・一般 ・ｺｰﾅｰ | ・平 ・意匠 | | ・100 ・ | ・図示 | ・有 (1) ・無 | ・A種 ・B種 |
| ・間仕切壁用 | ・一般 ・ｺｰﾅｰ | ・平 ・意匠 | | ・100 ・ | ・図示 | ・有 (1) ・無 | ・C種 ・D種 ・E種 |
| ・屋根版用 | — | — | | ・100 ・ | ・図示 | ・有 (0.5) | ・F種 |
| ・床版用 | — | — | | ・100 ・ | ・図示 | ・有 ( ) ・無 | |

外壁・屋根パネルの構造
耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した構法
耐震性能 ※建築非構造部材耐震性能表による
ﾊﾟﾈﾙの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部、並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取合いの伸縮目地の目地幅(mm) ※ 10～20 ・図示による
外壁、間仕切壁伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

### 4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2～4)

(表8.5.1～2)

| パネルの種類 | 表面形状 | 厚さ(mm) | 幅(mm) | 工法の種別 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・外壁パネル | ・F | ・50 ・60 ・ | 600 | ・A種 ・B種 | |
| | ・D | ・50 ・60 | | | |
| | ・T | ・60 | | | |
| ・間仕切りパネル | ・F | ・50 ・60 ・ | 600 | ・B種 ・C種 | |
| | ・D | ・50 ・60 | | | |
| | ・T | ・60 | | | |

F：フラットパネル D：デザインパネル T：タイルベースパネル

外壁パネルの工法
耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐震性能 ※建築非構造部材耐震性能表による
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
※ 15程度 ・

## 9 防水工事

### ① アスファルト防水 (9.2.2～5)(表9.2.3～9)

アスファルトの種類 ※3種
押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0程度 ・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工箇所 ・図示 ・ )

屋根保護防水
防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 絶縁用シート | 立上り部の保護 |
|---|---|---|---|---|
| ・A－1 | | | ※ﾘｻﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・ | ・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え |
| ・A－2 | | | | |
| ・A－3 | | | | |
| ・B－1 | | | | |
| ・B－2 | | | | |
| ⊙A－1 | 屋上 | 種類（ｽﾁﾛﾌｫｰﾑ ） | ※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・ | |
| ・A－2 | | 厚さ（・25 ・50 ） | | |
| ・A－3 | | ⊙30 | | |
| ・B－1 | | | | |
| ・B－2 | | | | |

乾式保護材

| 分類・規格 | | ・窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類（寒冷地仕様） | ※窯業系ﾊﾟﾈﾙⅡ類（一般地仕様） | ・金属複合板 |
|---|---|---|---|---|
| 寸法(mm) | 厚さ | ・15 ・ | ・15 ・ | ・15 ・ |
| | 幅 | ・303 ・ | ・303 ・ | ・303 ・ |

屋内防水
防水層の種別 (表9.2.9)

| 種別 | 施工箇所 | 保護層 |
|---|---|---|
| ・E－1 | | ・有 ・無 |
| ・E－2 | | ・有 ・無 |

### 2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～4)

防水層の種別 (9.3.2、3)(表 9.3.1～3)

| 種別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 仕上塗料 | 防湿用シート | 高日射反射率防水の適用 G |
|---|---|---|---|---|---|
| ・AS-T1 | | | 種類 ・製造所の仕様による 使用量 ・製造所の仕様による ・ | ・設ける(改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による) ・設けない | ・ |
| ・AS-T2 | | | | | ・ |
| ・AS-T3 | | | | | ・ |
| ・AS-T4 | | | | | ・ |
| ・AS-J1 | | | | | ・ |
| ・AS-I-T1 | | 種類（ ） 厚さ（・25 ・50 ） | | | ・ |
| ・AS-I-J1 | | | | | ・ |

脱気装置の種類及び設置数量（AS-T3,AS-T4,AS-J1,ASI-T1,ASI-J1の場合）
・改質アスファルトシート防水の製造所の仕様による ・種類（ ）、数量（ ）

### 3 合成高分子系ルーフィングシート (9.4.2～4)

防水層の種別 (9.4.2～4)(表 9.4.1、2)

| 種別 | 施工箇所 | 可塑剤移行防止ｼｰﾄの材質 | 断熱材 G | 仕上塗料 | 高日射反射率防水の適用 G |
|---|---|---|---|---|---|
| ・S-F1 | | | | 種類 ※製造所の仕様による ・ | ・ |
| ・S-F2 | | | | | ・ |
| ・S-M1 | | | | | ・ |
| ・S-M2 | | | | | ・ |
| ・SI-F1 | | | 種類（ ） 厚さ（・25 ・50 ） | 使用量 ※製造所の仕様による ・ | ・ |
| ・SI-F2 | | | | | ・ |
| ・SI-M1 | | | | | ・ |
| ・SI-M2 | | ※発泡ｶﾞﾘｻﾚﾝｼｰﾄ ・ | | | ・ |
| ・S-C1 | | | | | |

歩行の仕様（S-F1,S-F2,S-M1,S-M2の場合）
※非歩行 ・軽歩行
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面もしくは両面に樹脂を積層加工したもの
脱気装置の種類及び設置数量（S-F1,S-F2,SI-F1,SI-F2の場合）
・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・種類（ ）、数量（ ）

### ④ 塗膜防水 (9.5.2～4)

防水層の種別 (9.5.3)(表 9.5.1、2)

| 種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 | 保護層 | 高日射反射率防水の適用 G |
|---|---|---|---|---|
| ・X-1 | | 種類・使用量 ※製造所の指定による ・ | | ・ |
| ⊙X-2 | 庇 | | | ・ |
| ・Y-1 | ※ 地下外壁防水 | | | |
| ・Y-2 | ※ 屋内防水 | | ・有 ・無 | |

脱気装置の種類及び設置数量（X-1の場合）
・主材料製造所の仕様による ・種類（ ）、数量（ ）

### ⑤ ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2～4)(表9.6.1)

防水層の下地（壁及び天井）
※コンクリート打放し仕上げ（標準仕様書表6.2.4のB種） ・
下地処理 コンクリート打継箇所の処理
※標準仕様書9.6.4(2)(7)による ・

### ⑥ シーリング (9.7.2、3、5)

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による (表 9.7.1)

| 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） |
|---|---|
| 図示 | |

仕上げを行わない施工箇所 ※図示 ・
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験(部位 ) ・行わない

## 10 石工事

### 1 施工 (10.1.3)

石材の割付 ※図示 ・

### 2 石材等 (10.2.1、3)

天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

| 施工箇所 | 岩石の種類 | 形状及び寸法 | 厚さ(mm) | 表面仕上げの種類 | バフ仕上げの有無 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・図示による | | | | |
| | | | | | | |

※使用する石材については、原則として県内産石材とする
※使用する石材の種別、産地については、施工前に監督職員の承諾を受ける
・県内産以外の石材を使用する箇所( )

## 11 タイル工事

### 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)

位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示による

### 2 見本焼、試験施工 (11.1.4)

見本焼き ・行う ・行わない
試験張り ・行う ・行わない

### ③ セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、3、6)

タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施釉 | 無釉 | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 再生材の適用 G | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 玄関 | BⅠ | 300角 | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | ⊙ | ・ | ・ | ・ | ⊙ | ⊙ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧洗浄） ・MCR工法 ・
壁タイル張りの工法
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

### 4 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2～5、7)

タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施釉 | 無釉 | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 再生材の適用 G | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
外装タイルにおける目地詰め ・行う ・行わない
目地のシーリング材
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地、その他の目地 ※変性シリコーン系シーリング材 ・
下地調整塗材塗り を行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧洗浄） ・MCR工法 ・

## 12 木工事

### ① 木材 G (12.2.1)

材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
間伐材等 ・使用する (使用箇所 )
木材の含水率 ※A種 ・B種
造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種

### ② 造作用集成材 G (12.2.1)

⊙集成材の日本農林規格による造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 樹種名 | 寸法(mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内部笠木 | | ﾗﾐ | 図示 | | ※1等 ・2等 | ・ |
| 縦格子 | | ヒノキ | 図示 | | | ・ |

・集成材の日本農林規格による化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 化粧薄板の樹種名 | 芯材の樹種名 | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ※1等 ・2等 | ・ |
| | | | | | | | | ・ |

### ③ 造作用単板積層材 G (12.2.1)

・単板積層材の日本農林規格による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 品名 | 寸法(mm) | 表面の品質（表面の化粧加工） | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・有り（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・無し（等級：・1等 ・2等 ・3等） | ・する ・しない | ・ |

### ④ 合板等 G (12.2.1)

・合板の日本農林規格による普通合板

| 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 板面の品質 | 単板の樹種名 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ※5.5 ・ | ※1類 ・2類 | 広葉樹 ※2等・1等 針葉樹 ※C-D・ | | ・する ・しない | ・ |

⊙合板の日本農林規格による構造用合板

| 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 等級 | 板面の品質 | 単板の樹種名 | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾗﾐﾆﾝｸﾞ他 | | ※12.0 ・ | ・特類 ※1類 | ・1級 ※2級 | ※C-D ・ | | ・する ⊙しない | ・適用する（ ） ・適用しない | ・ |
| | | | | | | | | | |

・合板の日本農林規格による天然木化粧合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 化粧板の単板樹種名 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ・1類 ・2類 | | ・する ・しない | ・ |

・合板の日本農林規格による特殊加工化粧合板

| 施工箇所 | 品目 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 単板の樹種名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・1類 ・2類 | | ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ・ | ・する ・しない | ・ |

### ⑤ 接合具等 (12.2.2)

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
錆金物の形状、寸法及び材質
※標準仕様書12.2.2(2)(7)による ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

### 6 防腐、防蟻処理 (12.3.1)

・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部材：( )

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 保存処理性能区分 |
|---|---|
| | ・K2 ・K3 ・K4 |
| | ・K2 ・K3 ・K4 |

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 処理の方法 | 薬剤の種類 |
|---|---|---|
| | ※薬剤の製造所の仕様による ・ | ・ |
| | ・ | ・ |

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部材：( )
・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理
適用部材：( )

## 13 屋根及びとい工事

### ① 長尺金属板葺 (13.2.2、3)

| 施工箇所 | 板及びﾌｨﾙﾑの種類 | 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 | 厚さ(mm) | 屋根葺形式 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根 | ※ JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・ | ・ 5類(AZ150) ・ | 0.5 | ・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・嵯峨葺 ・横葺 ・ | |

下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（ ・一般ﾀｲﾌﾟ ・複層材ﾀｲﾌﾟ ・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
⊙ゴムアスファルトルーフィング t1.0
横葺きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

### 2 折板葺 (13.3.2、3)

(表 13.2.1)

| 施工箇所 | 形式 | 山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高 | 山ﾋﾟｯﾁ | 耐力による区分 | 材料による区分 | 厚さ(mm) | 軒先面戸板 | 耐火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形 | | | （ ）種 | ※ 鋼板製 ・ｱﾙﾐ合金板製 | | ・有り ・無し | ・30分 ・無し |

材質の種類（ ）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（ ）
断熱材 ・有り（種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間）
・無し
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪性能に対応した工法
折板のけらば納め ※けらば包みによる方法 ・

### ③ とい (13.5.2、3)

といの材種 (表 13.5.1)
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管（※ｶﾗｰ ・ｸﾞﾚｰ）
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類 ・ ）
⊙アルミ製(ﾊﾝﾄﾞﾚｽ ｶﾗｰ：黒)
⊙屋根内蔵(ｽﾁｰﾙ防水種 t1.6)
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
鋼管製といの防露巻き ※ 適用する (工法：※ 標準仕様書表13.5.4による ・ )
とい受け金物及び足金物 ※ステンレス製 ・標準仕様書表13.5.2 ・

## 14 金属工事

### ① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)

(表 14.2.1)

| 種別 | 色合い | 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) |
|---|---|---|
| ・BB-1種 | ※標準色（ｼﾙﾊﾞｰ） | |
| ⊙BB-2種 ・ | ※標準色（・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ） ・特注色 | |

陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色 ・ 三次電解着色

### 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)

(表 14.2.2)

| 表面処理方法 | 種別 | 施工箇所（手すり、タラップ以外） |
|---|---|---|
| 溶融亜鉛めっき | ・A種 | |
| | ・B種 | |
| | ・C種 | |
| 電気亜鉛めっき | ・D種 | |
| | ・E種 | |
| | ・F種 | |

### ③ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)

野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 (表14.4.1)
屋内 ※19型 ・25型
屋外の場合の形式及び寸法
野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離 ・図示による ・
野縁の間隔 ・図示による ・
工法
天井のふところが3mを超える場合 補強箇所、補強方法 ・図示による ・
天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所、補強方法 ・図示による ・
屋外の軒、ピロティ等の天井
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
特定天井・緩結吊天井
耐震性能 ※建築非構造部材耐震性能表による

### 4 金属板形板張り (14.6.2、3)

(表14.2.1)

| 種別 | 製法 | 形状 | 寸法(mm) | 板厚(mm) | 種別・色合い |
|---|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム ・ | ・押出し ・ロール ・プレス | ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形 ﾊﾟﾈﾙ形 | | | ・BB-1種 標準色(ｼﾙﾊﾞｰ) ・BB-2種 ※標準色(・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ) ・特注色 ・ |

取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示
伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示 ・ ) ・設けない

### ⑤ アルミニウム製笠木 (14.7.2、3)

種類 ・250形 ・300形 ・350形 ⊙図示 (表 14.2.1)(表 14.7.1)
表面処理 種別（ BB-2 ）種
色合い等 ※標準色（・ｼﾙﾊﾞｰ・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）・特注色
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ⊙1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

## 15 左官工事

### ① モルタル塗り (15.3.2、5)

モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所、形状 (※図示による ・ )
・設けない
床の目地 ⊙設ける 工法 ※ 押し目地 ・
目地割 ※ 2m程度（最大目地間隔3m程度） ・
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する ・適用しない

### 2 仕上塗材仕上げ (15.6.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

仕上塗材の種類

| 種類 | 呼び名 | 防火材料 | 仕上げの形状等 |
|---|---|---|---|
| ・薄付け仕上塗材 | ・外装薄塗材Ｓi | ・ | ・砂壁状 |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｓi | ・ | ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー） |
| | ・外装薄塗材Ｅ | ・ | ・さざ波状 |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｅ | ・ | ・平たん状 |
| | ・防水形外装薄塗材Ｅ | ・ | ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） |
| | ・外装薄塗材Ｓ | ・ | ・着色骨材砂壁状 （・吹付け・こて塗り） |
| | ・内装薄塗材Ｃ | ・ | ・砂壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材Ｌ | ・ | ・京壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材Ｓi | ・ | 吸放湿性・適用する・適用しない |
| | ・内装薄塗材Ｅ | ・ | |
| | ・内装薄塗材Ｗ | ・ | |
| ・厚付け仕上塗材 | ・外装厚塗材Ｃ | ・ | ・吹放し ・凸部処理 |
| | ・外装厚塗材Ｓi | ・ | ・平たん状 ・凹凸状 |
| | ・外装厚塗材Ｅ | ・ | ・ひき起こし ・かき落とし |
| | ・内装厚塗材Ｃ | ・ | 吸放湿性・適用する・適用しない |
| | ・内装厚塗材Ｌ | ・ | 上塗材 ・適用する ・適用しない |
| | ・内装厚塗材Ｇ | ・ | |
| | ・内装厚塗材Ｓi | ・ | |
| | ・内装厚塗材Ｅ | ・ | |
| ・複層仕上塗材 | ・複層塗材ＣＥ | ・ | ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 |
| | ・複層塗材ＲＥ | ・ | 耐候性 ※耐候形３種 |
| | ・複層塗材Ｓi | ・ | 上塗材 |
| | ・複層塗材Ｅ | ・ | 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 |
| | ・可とう形複層塗材ＣＥ | ・ | 樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ふっ素系 |
| | ・防水形複層塗材ＣＥ | ・ | 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック |
| | ・防水形複層塗材ＲＥ | ・ | |
| | ・防水形複層塗材Ｅ | ・ | |
| ・軽量骨材仕上塗材 | ・吹付用軽量塗材 | ・ | |
| | ・こて塗用軽量塗材 | ・ | |

### 3 マスチック塗料塗り (15.7.2)

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種

### 4 ロックウール吹付け (15.12.2～3)

ロックウールのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示 ・25

記事 ・

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 | A-002 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 特記仕様書-2 | 縮尺 | A1： ― A3： ― | | |

## 16 建具工事

### ① 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　※行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　　・日射取得性日射遮へい性による区分　⊙ G　・ S
　　乾燥気体の種類　⊙ 空気　・アルゴン
　　・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　※行わない

### ② 防犯建物部品 (16.1.6)

※適用する　(※ 建具表による　　)　・ 適用しない

### ③ 耐震性能

※建築非構造部材耐震性能表による

### ④ アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)

性能値等　(表16.2.1、2)
外部に面する建具の種別　・A種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　⊙B種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・C種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・D種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・E種（建具符号：　・建具表による　・　　）
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　（　・建具表による　・　　）
断熱ドア、断熱サッシ G の断熱性の等級　（　・ 建具表による　・　　）
表面処理
外部に面する建具
　・BB-1種（標準色（ｼﾙﾊﾞｰ））
　⊙BB-2種（※標準色（・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ⊙ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾀﾝｶﾗｰ）・特注色）
屋内の建具
　・BC-1種（標準色（ｼﾙﾊﾞｰ））
　⊙BC-2種（※標準色（・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ⊙ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾀﾝｶﾗｰ）・特注色）

### ⑤ 網戸等 (16.2.3)

| 種類 | 材質 | 線径 | 網目 |
|---|---|---|---|
| ⊙防虫網 | ・合成樹脂製<br>⊙ガラス繊維入り合成樹脂製<br>・ステンレス(SUS316)製 | ・0.25mm以上<br>・ | ※16～18メッシュ<br>・ |
| ・防虫網 | ステンレス(SUS304)線材 | 1.5mm | 網目寸法15mm |

### ⑥ 樹脂製建具 (16.3.2～5)

性能値等　(表16.3.1～3)
外部に面する建具の種別　・A種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・B種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・C種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・D種（建具符号：　・建具表による　・　　）
　　・E種（建具符号：　・建具表による　・　　）
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　（　T-1　・T-2　）
断熱ドア、断熱サッシ G の断熱性の等級（　H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8　）
外部に面する建具の日射取得性の等級　・
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※ 標準色　・ 特注色

### ⑦ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2～4)

性能値等
外部に面する鋼製建具の耐風圧性　※S-4　・S-5　・S-6

### ⑧ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2～4)

鋼板の種類
・⊙表面処理亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合わせ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム

### ⑨ ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.4) (16.6.2～5)

性能値等
外部に面する建具の耐風圧性　※S-4　・S-5　・S-6
ステンレス鋼板の種類　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1　・
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

### ⑩ 木製建具 (16.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率　※ A種　・ B種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・

### ⑪ 建具用金物 (16.8.2)

金物の種類・見え掛り部の材質等　※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・

### ⑫ 鍵 (16.8.4)

マスターキー　・ 製作する　　・ 製作しない
その他の鍵の制作本数等　※ 各室３本１組（室名札付き、鍵箱有り）　・

### ⑬ 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)

| 種類 | 引き戸用駆動装置の適用 | 防錆 | 検出装置の性能値 | 検出装置の種類 | 凍結防止 |
|---|---|---|---|---|---|
| 引き戸用駆動装置 | ※標準仕様書表16.9.1による<br>・ | ・適用する<br>・適用しない | ※標準仕様書表16.9.3による<br>・ | ・光線(反射)ｾﾝｻｰ<br>・熱線ｾﾝｻｰ<br>・音波ｾﾝｻｰ<br>・光電ｾﾝｻｰ<br>・電波ｾﾝｻｰ<br>・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ<br>・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ | ・行う<br>（適用箇所は<br>・<br>建具表による）<br>・行わない |
| 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 | ※標準仕様書表16.9.2による<br>・ | | | 車椅子使用者用便所ｽｲｯﾁ | |

### ⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)

性能　※ 標準仕様書表 16.10.1 による　・

### 15 重量シャッター (16.11.2、3)

| シャッターの種類 | 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 |
|---|---|
| ・管理用シャッター | 耐風圧強度（　　）Pa |
| ・外壁用防火シャッター | 耐風圧強度（　　）Pa |
| ・屋内用防火シャッター | |
| ・防煙シャッター | |

開閉方式による種類　※ 電動式（手動併用）　・ 手動式
安全装置（急降下制御装置又は急降下停止装置、障害物感知装置、危害防止機構）の設置個所

管理用シャッターのシャッターケース　※ 設ける　・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
　鋼板の種類　※ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　めっきの付着量　※ Z12又はF12　・

### 16 軽量シャッター (16.12.2～4)

開閉方式　※ 手動式　・ 電動式（手動併用）
耐風圧強度（　）Pa
電動式の場合の安全装置（障害物感知装置）の設置個所　・図示による　・
スラットの材質
　※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※ Z06又はF06　・　　）
　・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※ AZ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

### 17 オーバーヘッドドア (16.13.2.3)

| セクション材料による区分 | 耐風圧性能による区分 (Pa) | 開閉方式による区分 | 収納形式による区分 | ガイドレールの材料 |
|---|---|---|---|---|
| ※ スチールタイプ | ・ 125 | ※ バランス式 | ・ スタンダード形 | ※溶融亜鉛めっき鋼板 |
| ・ アルミニウムタイプ | ・ 100 | ・ チェーン式 | ・ ローヘッド形 | |
| ・ ファイバーグラスタイプ | ・ 75 | ・ 電動式 | ・ ハイリフト形 | ・ステンレス鋼板 |
| | ・ 50 | | ・ バーチカル形 | |

電動式の場合の安全装置（障害物感知装置）の設置個所　・図示による　・

### ⑱ ガラス (9.7) (16.14.2～4)

⊙ 合わせガラス
　特性による種類　⊙ I 類　・ II-1類　・ II-2類　・ III類

⊙ 強化ガラス
　特性による種類　⊙ I 類　・ III類

⊙ 熱線吸収板ガラス
　性能による種類　⊙ 1種　・ 2種

⊙ 複層ガラス
　断熱性能による区分　⊙ T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
　日射取得性日射遮へい性による区分　⊙ G　・ S
　乾燥気体の種類　⊙ 空気　・アルゴン

・ 熱線反射ガラス
　日射遮へい性による区分　・ 1種　・ 2種　・ 3種
　耐久性　・A類　・B類

耐震性能　※建築非構造部材耐震性能表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

| 建具の種類 | ガラス留め材 | ガラス溝の大きさ (mm) |
|---|---|---|
| アルミニウム製 | ※ シーリング材<br>・ ガスケット<br>※ グレイジングチャンネル | ※ 建具製造所の仕様による<br>・ 図示<br>・ |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ※ シーリング材<br>・ | ※ 建具製造所の仕様による<br>・ 図示 ・ |
| ステンレス製 | ※ シーリング材<br>・ | ※ 建具製造所の仕様による<br>・ 図示 ・ |
| 樹脂製 | ・ シーリング材<br>・ ガスケット<br>・ グレイジングビード | ※ 建具製造所の仕様による<br>・ 図示<br>・ |

## 17 カーテンウォール工事

### ① 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法　・層間方式　・柱、梁方式　⊙方立方式　・スパンドレル方式
性　能

| 耐震性能 | | 水密性 | 気密性 | 遮音性 | 断熱性 | 耐火性能 | 耐温度差性 (℃) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水平方向 (kH) | 垂直方向 (kv) | | | | | | |
| ※1.0 | ※0.5 | W-5 | A-4 | T-2 | | ・30分<br>・1時間 | ・80<br>・70<br>・60 |

耐震性能　※建築非構造部材耐震性能表による
耐風圧性能
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1　⊙ 1.15　・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

| 支点間距離 (h) | 耐風圧性能 |
|---|---|
| 4ｍ以下 | ※たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mmであること<br>・ |
| 4ｍを超える | |

シーリング材
下表以外は標準仕様書表 9.7.1 による

| 被着体の組合せ | | シーリング材の種別 | |
|---|---|---|---|
| | | 記号 | 主成分による区分 |
| 金属 | ガラス | SR-1 | ｼﾘｺｰﾝ系 |
| | 石、タイル | MS-2 | 変成ｼﾘｺｰﾝ系 |
| ガラス | ガラス | SR-1 | ｼﾘｺｰﾝ系 |
| カーテンウォール板間目地 | | MS-2 | 変成ｼﾘｺｰﾝ系 |

構造用ガスケット
・ 適用する　(施工箇所　・ 図示　・　　)
　材質　・ クロロプレン系　・ EPDM系　・ シリコーン系
　形状　・ H型　・ Y型　・ C型
　寸法 (mm)　ガラス板厚 (　　)、支持枠の厚さ (　　)、ウェブの寸法 (　　)
・ 適用しない

断熱材 G
　種類 (　　)
　厚さ (mm) (　　)
　施工箇所　・ 図示　・

耐火材料

| 施工部位 | 種　別 | 規格帯 |
|---|---|---|
| ・ ファスナー部 | | |
| ・ 取付けブラケット | | |
| ・ パネル目地部 | | |
| ・ 層間ふさぎ | | |

## 18 塗装工事

### ① 材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・
・ 防火材料　※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

### ② 素地ごしらえ (18.2.2～7)

| 下地面等 | | 種　別 |
|---|---|---|
| 木部 | 不透明塗料塗りの場合 | ※ A種　・ B種 |
| | 透明塗料塗りの場合 | ※ B種　・ A種 |
| 鉄鋼面 | DPの場合 | ※ B種　・A種　・ C種 |
| | DP以外の場合 | ※ C種　・A種　・ B種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | | ・ A種　・ B種 |
| モルタル面及びせっこうプラスター面 | | ※ B種　・ A種 |
| コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 | | ※ B種　・ A種 |
| コンクリート面 (DP) | | ※ A種　・ B種 |
| 押出成形セメント板面 | | ※ B種　・ A種 |
| せっこうボード面及び | 目地：継目処理工法 | ※ A種　・ B種 |
| その他ボード面 | 目地：継目処理工法以外 | ※ B種　・ A種 |

### ③ 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

| 下地面等 | 塗料の種別 | | 錆止め塗料の種別 | 工程の種別 |
|---|---|---|---|---|
| 鉄鋼面 | SOP | 見え掛り | A種 | ※ A種　・ B種 |
| | | 見え隠れ | | ※ B種　・ A種 |
| | DP | | 1回目C種、2・3回目D種 | 標準仕様書表18.3.4 |
| | EP-G | 見え掛り | ※ B種　・ A種 | ※ A種　・ B種 |
| | | 見え隠れ | | ※ B種　・ A種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | SOP | 鋼製建具等 | ※ A種　・ B種 | ※ A種　・ B種 |
| | | 鋼製建具以外 | ※ B種　・ A種 | ※ B種　・ A種 |
| | DP | | B種 | 標準仕様書表18.3.6 |
| | EP-G | 鋼製建具等 | C種 | ※ A種　・ B種 |
| | | 鋼製建具以外 | | ※ B種　・ A種 |

### ④ 塗装 (18.4.1～18.13.2)

| 塗装 | | 種別 | 塗料の種類 |
|---|---|---|---|
| ⊙ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り (SOP) | 木部屋外 | ※ A種　・ B種 | ― |
| | 木部屋内 | ※ B種　・ A種 | ― |
| | 鉄鋼面 | ※ B種　・ A種 | ― |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書表18.4.3 | ― |
| ・ ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り (CL) | | ※ B種　・ A種 | ― |
| ⊙ ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) | | ※ B種　・ A種 | ― |
| ⊙ 耐候性塗料塗り (DP) | 鉄鋼面 | 標準仕様書表18.7.1 | 上塗り塗料の等級（ I ）級 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書表18.7.2 | 上塗り塗料の等級（　）級 |
| | ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 | ・ A種　・ B種<br>・ C種 | ― |
| ・ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り (EP-G) | ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、石こうﾗﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等 | ※ B種　・ A種 | ― |
| | 木部 | 標準仕様書表18.8.2 | ― |
| | 屋内の鉄鋼面 | ※ B種　・ A種 | ― |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書表18.8.4 | ― |
| ⊙ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り (EP) | | ※ B種　・ A種 | ― |
| ⊙ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り (UC) | | ※ B種　・ A種 | 着色　・適用する |
| ・ ｽﾃｲﾝ塗り | ・ ﾋﾞｰﾄﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り | ― | ― |
| | ・ ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り (OS) | ・図示による | ― |
| ・ 木材保護塗料塗り (WP)　屋外 | | ※ B種　・ A種 | ― |

高日射反射率塗装 G　・ 適用する（屋上、屋根面の金属面）

## 19 内装工事

### ① 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・

### ② ビニル床シート G (19.2.2、3)

| 種類の記号 | 施工箇所 | 色柄 | 特殊機能 | 厚さ (mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ FS<br>⊙ HS<br>・ | 図示 | ・ 無地<br>⊙ ﾏｰﾌﾞﾙ柄<br>⊙ 柄物 | ・ 帯電防止<br>・ 耐動荷重性<br>⊙ 防滑性<br>・ 耐薬品性 | ※ 2.0<br>⊙ 2.5 | |

目地処理　※ 熱溶接工法　・
特殊機能
　帯電防止　・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷ ～1×10¹⁰ Ω程度
　・

### ③ ビニル床タイル G (19.2.2)

| 種類の記号 | 施工箇所 | 色柄 | 寸法 (mm) | 特殊機能 | 厚さ (mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ KT | | ・ 無地<br>⊙ 柄物 | ・ 300×300<br>・ 450×450<br>・ 500×500<br>⊙150×900 | ・ 帯電防止<br>・ 防滑性 | ・ 2.0<br>・ 2.5<br>⊙ 3.0 | |
| ⊙ FT | 図示 | | | | | |
| ・ FOA | | | | | | |

特殊機能
　帯電防止　・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷ ～1×10¹⁰ Ω程度
　・

### ④ ビニル幅木 (19.2.2)

材質の種類　※ 軟質　・ 硬質
高さ (mm)　※ 60　・ 75　・ 100
厚さ (mm)　※ 1.5以上　・

### 5 ゴム床タイル (19.2.2)

種類　・単層品　・積層品
色柄　(　　)　・フラット　・凹凸
厚さ (mm)　・ 3.0　・ 4.5　・ 6.0　・ 9.0
寸法 (mm)　(　　)

### ⑥ カーペット敷き G (19.3.2、3)

・ 織じゅうたん　(表 19.3.1)

| 織り方 | パイル形状 | 色柄等 | パイル糸の種類 | 特殊機能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ ｳｨﾙﾄﾝ ｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ ﾀﾞﾌﾞﾙｺｰﾄｽﾀｰﾍﾟｯﾄ<br>・ ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰ ｶｰﾍﾟｯﾄ | ・ ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ<br>・ ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ<br>・ ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用 | ・ 無地<br>・ 柄物<br>(標準品) | ・ A種<br>・ B種<br>・ C種 | ・ 帯電性 | |

接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材
　※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ タフテッドカーペット　(表 19.3.2)

| パイル形状 | ﾊﾟｲﾙ長さ (mm) | 工　法 | 特殊機能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・ ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ | ※ 5～7　・ | ・ 全面接着工法<br>・ ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法 | ・ 帯電防止 | |
| ・ ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ | ※ 4～6　・ | | | |
| ・ ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用 | ・ | | | |

下敷き材(グリッパー工法の場合)
　※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆

⊙ タイルカーペット　(19.3.2、3)

| パイル形状 | 種別 | 施工箇所 | 寸法 (mm) | 総厚さ (mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ ループパイル | ※ 第一種<br>・ 第二種 | | ※ 500×500<br>・ | ※ 6.5<br>・ | |
| ・ カットパイル | ・ 第一種<br>・ 第二種 | | ※ 500×500<br>・ | ※ 6.5<br>・ | |
| ・ カット・ループ併用 | ・ 第一種<br>・ 第二種 | | ※ 500×500<br>・ | ※ 6.5<br>・ | |

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方　平　場　※ 市松敷き　・ 模様流し　・
　　階段部分　※ 模様流し　・ 市松敷き　・
見切り、押え金物　・ 適用する（※図示　・　　）　・ 適用しない

### ⑦ 合成樹脂塗床 (19.4.2、3)

(表 19.4.1～8)

| 種　別 | 施工箇所 | 工　法 | 仕上げの種類 |
|---|---|---|---|
| ・ 厚膜型塗床材<br>(弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材) | | | ※ 平滑仕上げ<br>・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ |
| ・ 厚膜型塗床材<br>(ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材) | | ・ 薄膜流しのべ工法<br>・ 厚膜流しのべ工法<br>・ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法 | ・ 平滑仕上げ<br>・ 防滑仕上げ |
| ⊙ 薄膜型塗床材<br>(ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材) | 図示 | | ※ 平滑仕上げ |

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・

### 8 フローリング張り (19.5.2～5)

単層フローリング G　(表 19.5.1～6)

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ (mm) | 幅及び長さ | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等 | ・ 釘留め工法(根太張り) | ※ なら<br>・ | ※ 15<br>・ | 板幅75<br>板長さ400以上 | ・ |
| | ・ 釘留め工法(直張り) | ※ なら<br>・ | ※ 12以上<br>・ | 板幅75<br>板長さ400以上 | |
| | ・ 接着工法 | ※ なら<br>・ | ※ 8以上<br>・ | 板幅75<br>板長さ400以上 | |
| ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等 | ・ 接着工法 | ・ | ・ | | ・ |

複合フローリング G

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ、幅及び長さ | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|
| ・ 天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | ・ 釘留め工法(根太張り)<br>・ 釘留め工法(直張り)<br>・ 接着工法 | ※なら<br>・ | ・ A種<br>・ B種<br>・ C種 | ・<br>・ |

フローリングのホルムアルデヒドの放散量　※ 標準仕様書19.5.2(2) による　・
接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆　・
接着工法の場合の不陸緩和材　※ 合成樹脂発泡シート　・

### 9 畳敷き (19.6.2)

(表 19.6.1)
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類　・ 標準仕様書　表12.6.1による床組
　　・ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
　・
衝撃緩和型畳　畳表　・C1　・C2
畳製品の製造所は、県内の製造所とする。
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

### ⑩ せっこうボードその他のボード及び合板張り (19.7.2、3)

(表 19.7.1)

| 種　類 | | JIS記号 | 厚さ(mm)、規格等 |
|---|---|---|---|
| ・ 硬質木毛セメント板 | G | HM | ・ 15　・ 20　・ 25　・ |
| ・ 中質木毛セメント板 | G | MM | ・ 15　・ 20　・ 25　・ |
| ・ 普通木毛セメント板 | G | NM | ・ 15　・ 20　・ 25　・ |
| ・ 硬質木片セメント板 | G | HF | ・ 12　・ 15　・ 18　・ 21　・ |
| ・ 普通木片セメント板 | G | NF | ・ 30　・ |
| ⊙ けい酸カルシウム板 | | 0.8FK<br>1.0FK | タイプ 2（無石綿）　⊙ 6　⊙ 8 |
| ⊙ ロックウール化粧吸音板 | | DR | ※ フラットタイプ　(※ 9(不燃)　・12(不燃)　・　)<br>・ 凹凸タイプ　(※ 12(不燃)　・15(不燃)　・　) |
| ・ ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号 | | RW-B | ・ 25　・ |
| ・ グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K | | GW-B | ・ 25(ｶﾞﾗｽｳｰﾙ包)　・ |
| ⊙ せっこうボード | | GB-R | ⊙ 12.5 (不燃)　・ 15 (不燃) |
| ⊙ 不燃積層せっこうボード | | GB-NC | ⊙9.5 (不燃)　・<br>・化粧無（下地張り用）⊙化粧有（トラバーチン模様） |
| ・ シージングせっこうボード | | GB-S | ・12.5　(　・ 準不燃　・不燃)　・ |
| ⊙ 強化せっこうボード | | GB-F | ⊙ 12.5　(不燃)　・ 15　(不燃) |
| ・ せっこうラスボード | | GB-L | ・9.5　・ |
| ・ 化粧せっこうボード<br>(トラバーチン模様) | | GB-D<br>(T) | ・9.5 (準不燃)　・ |
| ⊙ 普通合板 | G | | 表面の材種<br>　生地、透明塗料塗り<br>　(※ ﾗﾝ程度　・　　)<br>　不透明塗料塗り<br>　(※ しな程度　・　　)<br>板面の品質 (　　)<br>厚さ (mm) (　12　)<br>接着の程度 (　　)<br>・ 防虫処理 |
| ・ 天然木化粧合板 | G | | 樹種名 (　　)<br>接着の程度 (・ 1類　・ 2類 )<br>厚さ (mm) (　　)<br>・ 防虫処理 |
| ・ 特殊加工化粧合板 | G | | 化粧加工の方法 (・ ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ ﾌﾟﾘﾝﾄ ・ 塗装)<br>表面性能 (　　) タイプ<br>接着の程度 (・ 1類　・ 2類 )<br>厚さ (mm) (　　)<br>・ 防虫処理 |
| ⊙ メラミン樹脂化粧板 | | | JIS K 6903 による　(※ 1.2　・　　) |
| ・ ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板 | | | |
| ・ ミディアムデンシティファイバーボード | G | MDF | ・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・<br>・ RN　・ RS |
| ・ 単板張り<br>パーティクルボード | G | | ・ 無研磨板ＶＮ　・ 研磨板ＶＳ<br>・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・ |
| ・ 化粧パーティクルボード | G | | ・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚＤＶ　・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚＤＯ<br>・ 塗装ＤＣ<br>・ 10（難燃）・ 12（難燃）・ |
| ・ ハードボード（素地） | G | HB | ・ 無研磨板　(・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ) ＲＮ<br>・ 研磨板　(・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ) ＲＳ |
| ・ ハードボード（化粧） | G | | ・ 内装用Ｄ１　・ 外装用ＤＥ<br>・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7 |
| ・ インシュレーションボード | G | A-1B | A級<br>・ 9　・ 12　・ 15　・ 18 |

遮音シール材　・ 適用する（・ シーリング材　・ ジョイントコンパウンド）
　　・ 適用しない
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※ F☆☆☆☆　・
合板類の張付け　・ A種　・ B種
せっこうボードの目地工法及びエッジの種類　・ 図示（仕上表）による　・

ホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・

### ⑪ 壁紙張り (19.8.2、3)

| 施工箇所 | 壁紙の種類 | | | | | | 防火種別 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 紙 | 繊維 | ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ | 無機質 | 塩化ﾋﾞﾆﾙ | その他 | | |
| SLW-1、2 | ・ | ・ | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ⊙不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　※ B種　・ A種
コンクリート面の素地ごしらえ　※ B種　・ A種
せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ　※ B種　・ A種

### ⑫ 断熱材 G (19.9.3、4)

フェノールフォーム断熱材及び張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※ F☆☆☆☆　・

⊙ 断熱材打込み工法

| 種　類 | 厚さ (mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 | ・ | |
| ⊙ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 (ｽｷﾝ層なし) | ・ 25 ⊙ 30 | ・接地部分　・ |
| ・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 | ・ | |
| ・ フェノールフォーム断熱材 | ・ | |

⊙ 断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　・ A種1　⊙ A種1H
　吹付け厚さ (mm)　⊙ 20　・ 25　・ 30　・

記事　・

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| 図面名 | 特記仕様書-3 | 縮尺 | A1：　－<br>A3：　－ |
| | | 図面番号 | A-003 |

## 20 ユニット及びその他工事

### 1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

| 施工箇所 | 構法 | 寸法 (mm) | 高さ (mm) | 耐震性能 | 所定荷重 (N) | 表面仕上げ材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・置敷式<br>・支柱調整式 | ・500×500<br>・ | | ・1.0G<br>・0.6G | ・3000<br>・5000 | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ | |

帯電防止性能　・U値（クラス1）　・U値（クラス2）
漏えい抵抗　・R≧1×10⁶Ω　・
寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(ｵ)よる　・
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による
スロープ及びボーダー　※ 製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※ 100パーセント　・
配線取り出し開口　※ パネル1枚につき、40mm×80mm　程度の開口1箇所以上
・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　※ なし　・ あり（形式、施工箇所：図示）

### ② 可動間仕切 (20.2.3)

| 構造形式による種類 | 構成基材の種類 | | 総厚さ (mm) | 表面仕上材 | | | | 遮音性 (db/500HZ) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | スタッド | パネル | | 材質 | 厚さ (mm) | パネル表面仕上げ | | | |
| ・スタッド式（内蔵）<br>・スタッド式（露出）<br>⊙パネル式<br>・スタッドパネル式 | | ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ | 50 | ・鋼板<br>⊙MDF | ・0.6<br>・0.8<br>⊙4.0 | ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂<br>焼付又は<br>ｱｸﾘﾙ樹脂<br>焼付<br>⊙壁紙張り | ・0<br>・12<br>・20<br>・28<br>・36 | ・不燃 |

パネル内に取付ける建具　・ 有　⊙ 無
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・

### 3 移動間仕切 (20.2.4)

| 構造形式 | 操作方法による種類 | ﾊﾟﾈﾙ圧縮装置の操作方法 | 総厚さ (mm) | 表面仕上材 | | 遮音性 (db/500HZ) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 材質 | パネル表面仕上げ | |
| ・平行方向 移動式<br>・二方向 移動式 | ・手動式<br>・電動式<br>・部分電動式 | ・プッシュ式<br>・ハンドル式<br>・ | | ※鋼板<br>・ | ・焼付塗装<br>・壁紙張り<br>・ | ・36未満<br>・36以上 |

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示

### ④ トイレブース (20.2.5)

| パネル表面材の種類 | 脚部形状 | ドアエッジ | |
|---|---|---|---|
| | | 形状 | 材質 |
| ※メラミン樹脂系化粧板<br>・ポリエステル樹脂系化粧板 | ※幅木タイプ<br>・ | ・標準<br>・R | ※ アルミニウム製<br>・ ステンレス製<br>・ 表面材と同材 |

パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・

### 5 視覚障害者用床タイル (11.2.2) (19.2.2)

| 施工箇所 | | 種類 | 寸法 (mm) | 再生材料の適用G | 厚さ (mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋内 | | ・塩化ﾋﾞﾆﾙ製 | ・300×300・ | | ・7.0・ |
| | | ・磁器質ﾀｲﾙ　・せっ器質ﾀｲﾙ | ・300×300・ | | ・ |
| | | ・ﾚﾝｶﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　・ｺﾝｸﾘｰﾄ製 | ・300×300・ | | ・ |
| 屋内 | | ・磁器質ﾀｲﾙ　・せっ器質ﾀｲﾙ | ・300×300・ | | ・ |
| | | ・ﾚﾝｶﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　・ｺﾝｸﾘｰﾄ製 | ・300×300・ | | ・ |

※ 黄色
ブロックパターンは JIS T 9251 による。

### ⑥ 手すり及びタラップ (20.2.6)

手すり　・ステンレス製　SUS304（表面処理　※ HL程度　・No.2B程度　・　）
・鋼製　（表面処理　※ 溶融亜鉛めっきC種　・　）
タラップ　⊙ステンレス製　SUS304（表面処理　※ 研磨なし　・　）
・鋼製　（表面処理　※ 溶融亜鉛めっきC種　・　）

### 7 階段滑り止め (20.2.7)

| 材種 | ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾌﾟ | 幅 (mm) | 取付け工法 | 端部フラットエンド | |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙ステンレス製（SUS304） | ※ あり<br>・なし | ⊙約35<br>・ | ※ 接着工法<br>・埋込み工法 | ⊙あり<br>・なし | ⊙ビニル製<br>・ステンレス製<br>ー |

### ⑧ 表示 (20.2.11)

衝突防止表示　形状・寸法（・30Φ　・　）、材質（・SUS製　・　）
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式等
※ 図示　・
誘導標識、非常用進入口等の表示　※ 消防法に適合する市販品　・
取付位置　※ 図示　・

### 9 煙突ライニング (20.2.13)

適用安全使用温度　（上限温度）　・400℃　・650℃
（下限温度）　・（　）℃

### ⑩ 天井点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 外枠 | 内枠 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ アルミニウム製<br>・ | ⊙450×450<br>・600×600<br>・ | ⊙一般形<br>・気密形 | ・屋内外用<br>⊙屋内用 | ・額縁タイプ<br>⊙目地タイプ | ・額縁タイプ<br>⊙目地タイプ |

### ⑪ 床点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙アルミニウム製<br>・ステンレス製<br>・鋼製 | ・450×450<br>⊙600×600<br>・ | ・一般形<br>⊙密閉形<br>・結露防止形 | ・屋内外用<br>⊙屋内用 | ⊙鍵付き |

密閉形は、ボルト・ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする

### 12 耐震スリット

| 方向 | タイプ | 耐火性能 | 防水性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・垂直方向<br>・水平方向 | ・完全（全貫通型）<br>・ | ・耐火型<br>・非耐火型 | ・有り<br>・無し | |

目地

| 目地 | 内壁 | 外壁 |
|---|---|---|
| 目地材 | ・シーリング材（見え掛かりのみ）<br>・ | ・シーリング材（見え掛かりのみ）<br>・シーリング材（内外とも） |
| 目地寸法（幅m×深さm） | ・20×10　・ | ・20×10　・ |

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

### ⑬ エキスパンションジョイント金物

耐震性能　※建築非構造部材耐震性能表による

### ⑭ 天井見切り縁

材種　・アルミニウム既製品　⊙ビニル既製品

### 15 ピクチャーレール

※見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ケ/m　安全荷重　※15kg以上　・

### ⑯ 収納家具

材質、形状、寸法　※図示
耐震性能　※建築非構造部材耐震性能表による

## 21 排水工事

### 1 屋外雨水排水管 (21.2.1、2)

排水管用材料　（表 21.2.1）

| 材種 | 種類・記号 | 形状 | 呼び径 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・遠心力鉄筋コンクリート管 | ※ 外圧管（1種） | ・B形管<br>・ | ※ 図示<br>・ | |
| ・硬質ポリ塩化ビニル管 | ・VP | | ※ 図示　・ | |
| | ・RS-VU G | | ※ 図示　・ | |
| | ・VU | | ※ 図示　・ | |

基床の厚さ及び種類　・図示による　・
砂地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　※ 再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※ 接着剤　・
現場打ちコンクリート基礎等に用いる材料
※ 標準仕様書（6.14）
設計基準強度18N/mm2 S-15 とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示
砂の粒度試験　・行う　・行わない

### 2 埋戻し土 (21.2.1)

※B種（標準仕様書表3.2.1）　・

## 22 舗装工事

### 1 路床 (22.2.2、3、5)

路床の材料　（表22.2.1）

| 種別 | 材料 | 厚さ (mm) |
|---|---|---|
| ・盛土 | ・A種　・B種　・C種　・D種<br>・建設汚泥から再生した処理土 G | ・図示<br>・ |
| ・凍上抑制層 | ※ 再生クラッシャラン G　・クラッシャラン<br>・切込み砂利　・砂 | ・図示<br>・ |
| ・フィルター層 | ・砂<br>・ | ・図示<br>・ |

路床安定処理　・適用する　・適用しない
・置き換え工法（埋戻し　・A種　※B種　・C種）
・安定処理工法
添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号　）
・消石灰（・特号　・1号　）
添加量　（　）kg/m3（目標CBR　・5以上　・　）
試験
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床締固めの度の試験（現場密度）　・行う　・行わない
現場のCBR試験　・行う　・行わない

### ② 路盤 (22.3.2、3)

路盤の厚さ　⊙図示による　・
路盤材料　（表22.3.1）
・砕石（・クラッシャラン　・粒度調整砕石　）
※ 再生材 G（※ クラッシャラン　・粒度調整砕石　）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

### 3 アスファルト舗装 (22.4.2～6)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による　・
材料及び種類　（表 22.4.4）
アスファルト　※ 再生アスファルト G　（・60～80　・80～100　）
・ストレートアスファルト
加熱アスファルト混合物等の種類

| 区分 | 種類 |
|---|---|
| 表層 | ※ 密粒度アスファルト混合物(13)<br>・細粒度アスファルト混合物(13)<br>・密粒度アスファルト混合物(13F) |

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性
※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

### 4 コンクリート舗装 (22.5.2～4、6)

コンクリート舗装の厚さ　（表22.5.1）

| 部位 | 構成 | 厚さ (mm) |
|---|---|---|
| 車路及び駐車場 | ※ 図示　・標準詳細図(9-21-2) | ・図示　・150　・ |
| 歩行者用通路 | ※ 図示　・標準詳細図(9-22-2) | ・図示　・70　・ |

材料
普通コンクリート　※標準仕様書表22.5.1による　・
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※ 低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地の種類、間隔、構造　※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
舗装の平たん性　※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

### ⑤ 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)

舗装の構成　※ 図示による　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※ 著しい不陸がないもの　・

### 6 ブロック系舗装 (22.8.2、3)

・コンクリート平板舗装

| 種類 | 寸法 (mm) | 厚さ (mm) | 目地材 | ｸｯｼｮﾝ材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・普通平板（N）<br>・透水平板（P）<br>・保水性平板(M) | ・300角<br>・ | ※ 60 | ※ 砂<br>・ﾓﾙﾀﾙ | ※ 砂<br>・空練りﾓﾙﾀﾙ | 表面加工<br>・研ぎ出し<br>・洗い出し<br>・たたき出し |

普通平板は G（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内

・インターロッキングブロック舗装

| 種類 | 部位 | 寸法 | 形状 | 厚さ (mm) | 曲げ強度 (N/mm²) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ※普通ブロック（N）<br>・透水性ブロック（P）<br>・保水性ブロック（M） | 車路及び駐車場<br>歩行者用通路 | ・<br>・ | ・図示<br>・<br>・図示<br>・ | ※ 80<br>・<br>※ 60<br>・ | ※ 5.0<br>・<br>※ 3.0<br>・ | 着色、表面加工<br>※ 標準品<br>・ |

ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りモルタル
普通ブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内

・舗石舗装

| 種類 | 寸法 (mm) | 形状 | 厚さ (mm) | 施工方法 | 基層 | 基層の厚さ | ｸｯｼｮﾝ材 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・小舗石<br>（花こう岩）<br>・ | ・ | ・各石<br>・板石<br>・割石 | ・ | ・うろこ張り<br>・<br>・<br>・ | ・ｺﾝｸﾘｰﾄ版<br>・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 | ※70　・<br>※50　・ | ※砂<br>・空練りﾓﾙﾀﾙ |

仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内

### 7 砂利敷き (22.9.2)

種別
・A種（施工範囲　・図示　・通路　・　）
・B種（施工範囲　・図示　・建物周囲その他　・　）

## 23 植栽及び屋上緑化工事

### 1 屋上緑化 G (23.5.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌厚の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ　：　）　・板状成形品
植込み用土　※ 改良土　・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数、寸法等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した
工法
・図示　・
支柱　・設置する　（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する　（種類　・　）

## 24 環境配慮改修工事

### 1 石綿含有建材の調査 [1.5.1]

既存建材の解体、改修、補修等を行う場合
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、関係法令に基づき石綿含有建材の事前調査を行う
調査範囲　（ ※本工事対象範囲　・図示　）
貸与資料　（　）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト
分析方法

| 材料名 | 定性分析 (JIS A 1481-1) | 定性分析 (JIS A 1481-2) | 定量分析 (JIS A 1481-3) | 定量分析 (JIS A 1481-4) |
|---|---|---|---|---|
| | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） |
| | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） |
| | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） | ・箇所数（　） |

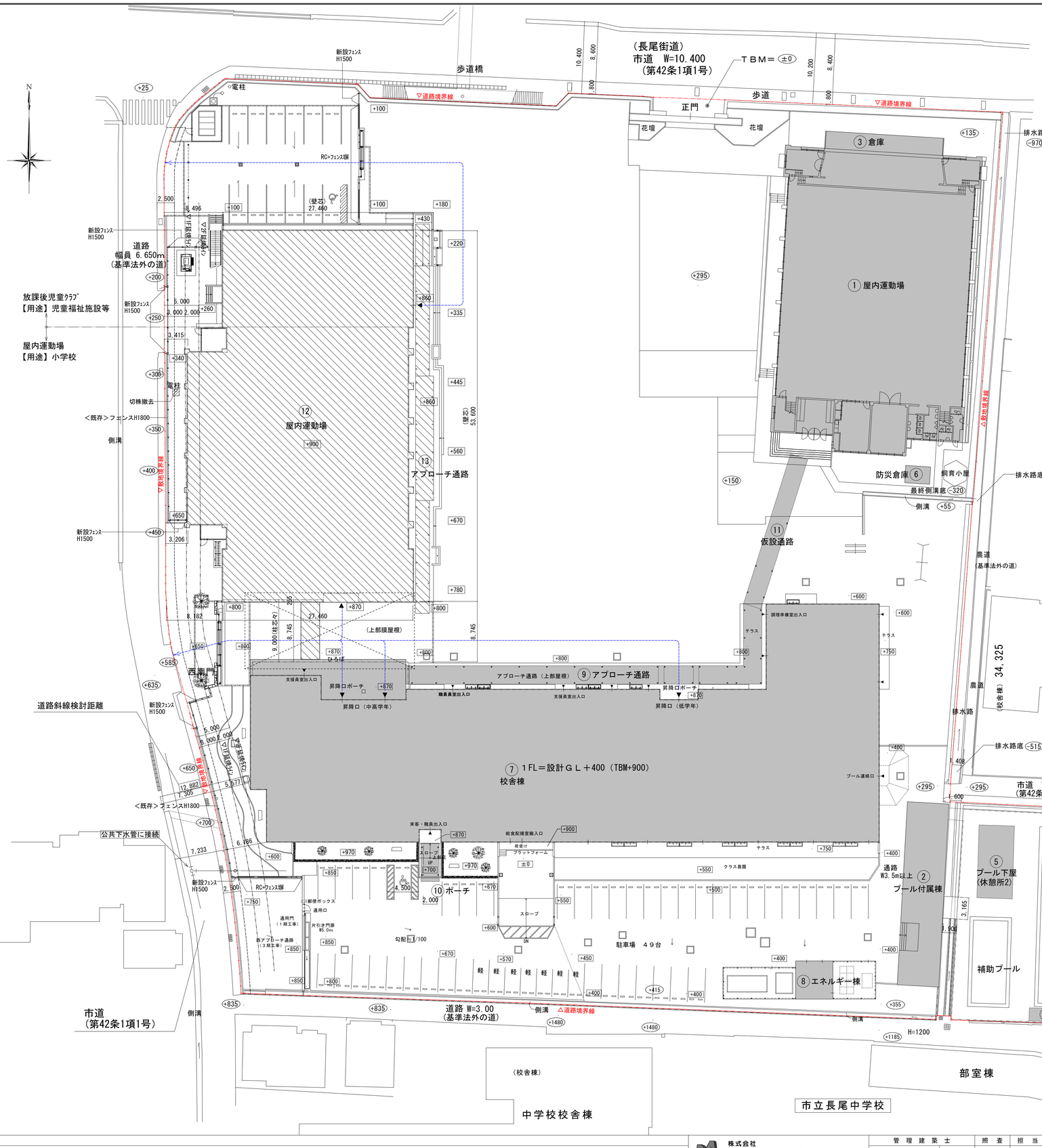
サンプル数　1箇所あたり3サンプル

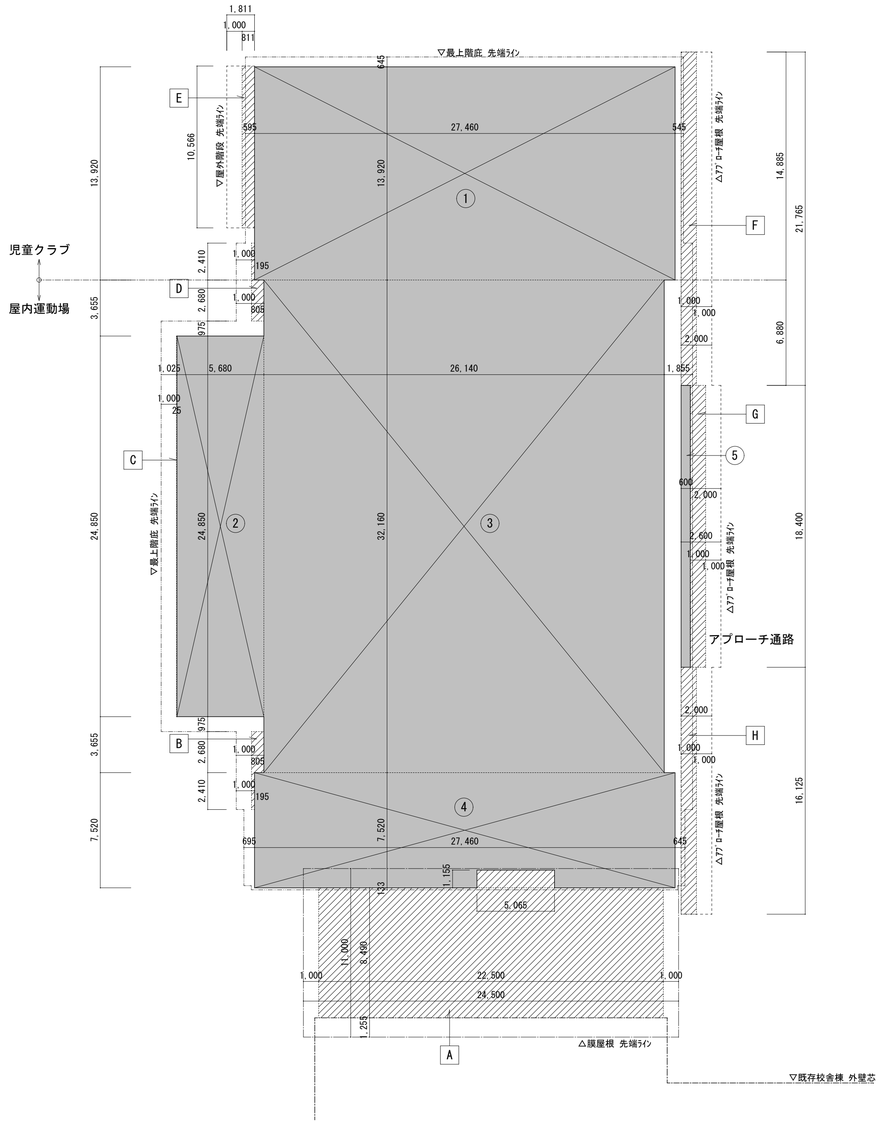
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号
管理建築士　一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

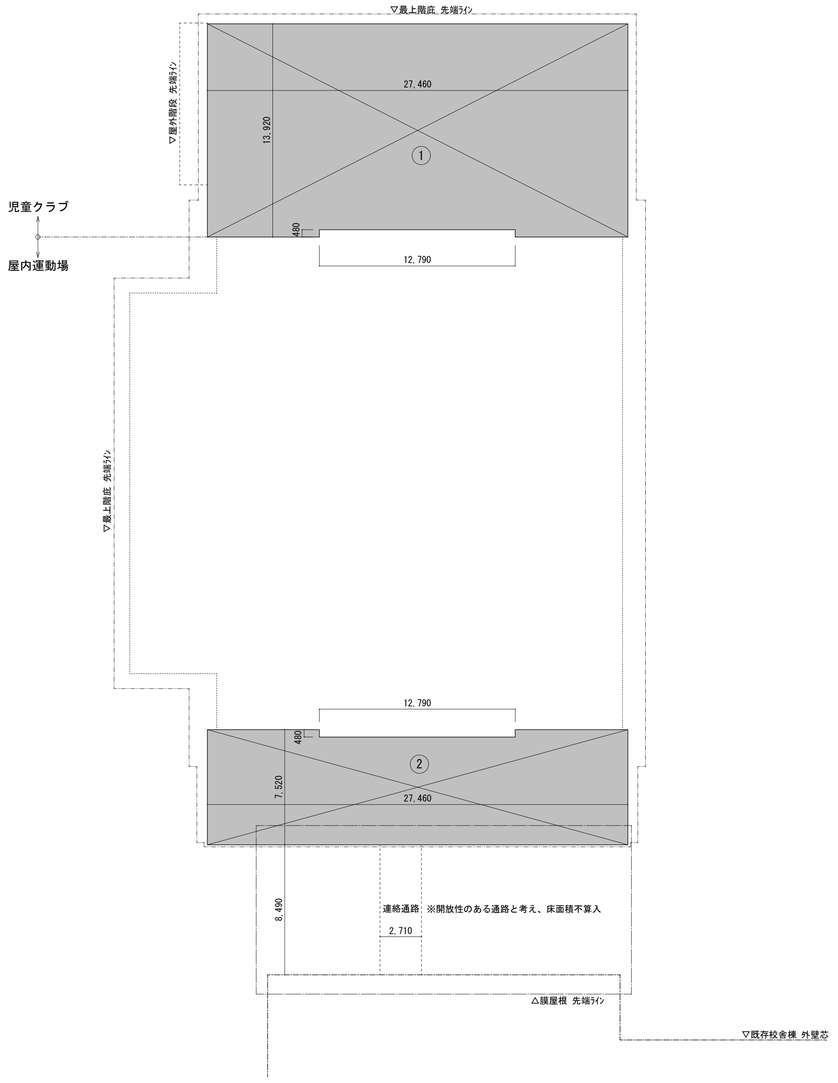
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-004 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 特記仕様書-4 | 縮尺 | A1：ー<br>A3：ー | | |


敷地１
敷地２
敷地３
17,495
26,936
2,534
10,792
1,550
10,310
39,937 ▽道路境界線
29,891
2,441
6,413
11,639△隣地境界線
5,813
27,646
40,524△隣地境界線
1,084
28,110△敷地境界線
2,595
25,560
26,805
29,926
3,165
1,909
4,141
2,547
23,699
1,410
△隣地境界線
38,248
26,799
22,127
9,778
2,449
1,183
9,986
1,100
4,002
2,028
3,941
4,085
8,498
6,145
4,568
6,102
5,772
9,827
1,231
1,223
1,215
1,227
1,225
1,217
1,237
1,251
1,253
1,263
1,267
1,271
1,275
1,279
1,283
1,287
1,291
1,295
1,299
1,303
1,307
1,311
1,315
1,319
1,323
1,327
1,331
1,335
1,339
1,343
1,347
1,351
1,355
1,359
1,363
1,367
1,371
1,375
1,379
1,383
1,387
1,391
1,395
1,399
1,403
1,407
1,411
1,415
1,419


N
新設ﾌｪﾝｽ H1500
歩道橋
（長尾街道）
市道　W=10.400
（第42条1項1号）
ＴＢＭ＝ ±0
歩道
正門
花壇
花壇
▽道路境界線
10.400
8.600
800
10.200
8.400
800
電柱
RC+ﾌｪﾝｽ塀
2.500
8.496
(壁芯)
27.460
道路
幅員 6.650m
（基準法外の道）
放課後児童ｸﾗﾌﾞ
【用途】児童福祉施設等
屋内運動場
【用途】小学校
5.000
2.000 2.000
3.415
電柱
切株撤去
＜既存＞フェンスH1800
側溝
▽敷地境界線
3.206
8.182
(壁芯)
27.460
（上部膜屋根）
9.000(柱芯々)
8.745
8.745
西南門
道路斜線検討距離
5.000
5.000 2.000
5.577
12.882
1.305
＜既存＞フェンスH1800
公共下水管に接続
6.186
7.233
2.500
RC+ﾌｪﾝｽ塀
4.500
2.000
10 ポーチ
郵便ポスト
通用口
通用門
（１期工事）
片引き門扉
W5.0m
新アプローチ通路
（２期工事）
勾配1/100
駐車場　４９台
軽 軽 軽 軽 軽 軽
8 エネルギー棟
道路 W=3.00
（基準法外の道）
側溝
△道路境界線
市道
（第42条1項1号）
（校舎棟）
中学校校舎棟
市立長尾中学校
12 屋内運動場
(壁芯)
53.600
13 アプローチ通路
アプローチ通路（上部屋根）
9 アプローチ通路
昇降口ロビー
昇降口（中高学年）
昇降口ロビー
昇降口（低学年）
7 1FL＝設計ＧＬ＋400（TBM+900）
校舎棟
調理準備室出入口
テラス
テラス
支援員室出入口
職員員室出入口
支援員室出入口
プール連絡口
来客・職員出入口
給食配膳室搬入口
荷受け
プラットフォーム
±0
UP
クラス農園
スロープ
DN
通路
W3.5m以上
2 プール付属棟
5 プール下屋
(休憩所2)
２５ｍプール
補助プール
通路
△敷地境界線
4 プール下屋(休憩所1)
3 倉庫
1 屋内運動場
防災倉庫 6
飼育小屋
最終側溝底 -320
側溝 +55
排水路底 -615
排水路底 -970
11 仮設通路
農道
（基準法外の道）
農道
（校舎棟）
34.325
排水路
排水路底 -515
1.408
市道　W=4.000
（第42条1項1号）
▽道路境界線
3.165
1.908
H=1200
部室棟
+25
+100
+180
+430
+220
+200
+260
+335
+250
+340
+445
+308
+860
+390
+560
+400
+670
+650
+780
+450
+800
+870
+890
+650
+583
+635
+650
+700
+970
+850
+600
+750
+850
+850
+800
+835
+835
+1480
+1480
+1185
+600
+600
+750
+800
+800
+800
+870
+870
+870
+870
+800
+800
+800
+800
+870
+900
+970
+700
+870
+550
+500
+550
+600
+570
+450
+400
+415
+400
+400
+355
+295
+295
+295
+400
+400
+400
+400
+135
+150
+55
+600
+600
+750
+400
+400
+400
+400




1階床面積・建築面積　求積図　1/200




2階床面積　求積図　1/200

【屋内運動場・児童クラブ】　建築面積 求積表

| 棟　名 | 符号 | 計算式(m) | 計 |
|---|---|---|---|
| 屋内運動場 | | 1階床面積 | 1,564.6900 |
| 児童クラブ | A | 22.5*8.49+(5.065*1.155) | 196.8751 |
| | B | 0.805*2.68+(0.195*2.41) | 2.6274 |
| | C | 0.025*24.85 | 0.6213 |
| | D | 0.805*2.68+(0.195*2.41) | 2.6274 |
| | E | 0.811*10.566 | 8.5690 |
| | | 計 | 1,776.0102 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 1,776.01 m2 |

【アプローチ通路】　建築面積 求積表

| 棟　名 | 符号 | 計算式(m) | 計 |
|---|---|---|---|
| アプローチ通路 | | 1階床面積 | 11.0400 |
| | F | 1.0*21.765 | 21.7650 |
| | G | 1.0*18.4 | 18.4000 |
| | H | 1.0*16.125 | 16.1250 |
| | | 計 | 67.3300 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 67.33 m2 |

面積表集計（建築基準法による）

| | |
|---|---|
| 建築面積　【屋内運動場・児童クラブ】 | 1,776.01m2 |
| 建築面積　【アプローチ通路】 | 67.33m2 |
| 計 | 1,843.34m2 |

| | |
|---|---|
| 延床面積　【屋内運動場・児童クラブ】 | 2,141.15m2 |
| 延床面積　【アプローチ通路】 | 11.04m2 |
| 計 | 2,152.19m2 |

【屋内運動場・児童クラブ】　１階 延床面積 求積表

| 棟　名 | 符号 | 計算式(m) | 計 |
|---|---|---|---|
| 児童クラブ | 1 | 27.46*13.92 | 382.2432 |
| | | 計 | 382.2432 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 382.24 m2 |
| 屋内運動場 | 2 | 5.68*24.85 | 141.1480 |
| | 3 | 26.14*32.16 | 840.6624 |
| | 4 | 27.46*7.52-(5.065*1.155) | 200.6491 |
| | | 計 | 1,182.4595 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 1,182.45 m2 |
| | | 合計 | 1,564.69 m2 |

【アプローチ通路】　１階 延床面積 求積表

| 棟　名 | 符号 | 計算式(m) | 計 |
|---|---|---|---|
| アプローチ通路 | 5 | 0.6*18.4 | 11.0400 |
| | | 計 | 11.0400 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 11.04 m2 |

【屋内運動場・児童クラブ】　２階 延床面積 求積表

| 棟　名 | 符号 | 計算式(m) | 計 |
|---|---|---|---|
| 児童クラブ | 1 | 27.46*13.92-(12.79*0.48) | 376.1040 |
| | | 計 | 376.1040 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 376.10 m2 |
| 屋内運動場 | 2 | 27.46*7.52-(12.79*0.48) | 200.3600 |
| | | 計 | 200.3600 |
| | | 小数3位以下切り捨て | 200.36 m2 |
| | | 合計 | 576.46 m2 |

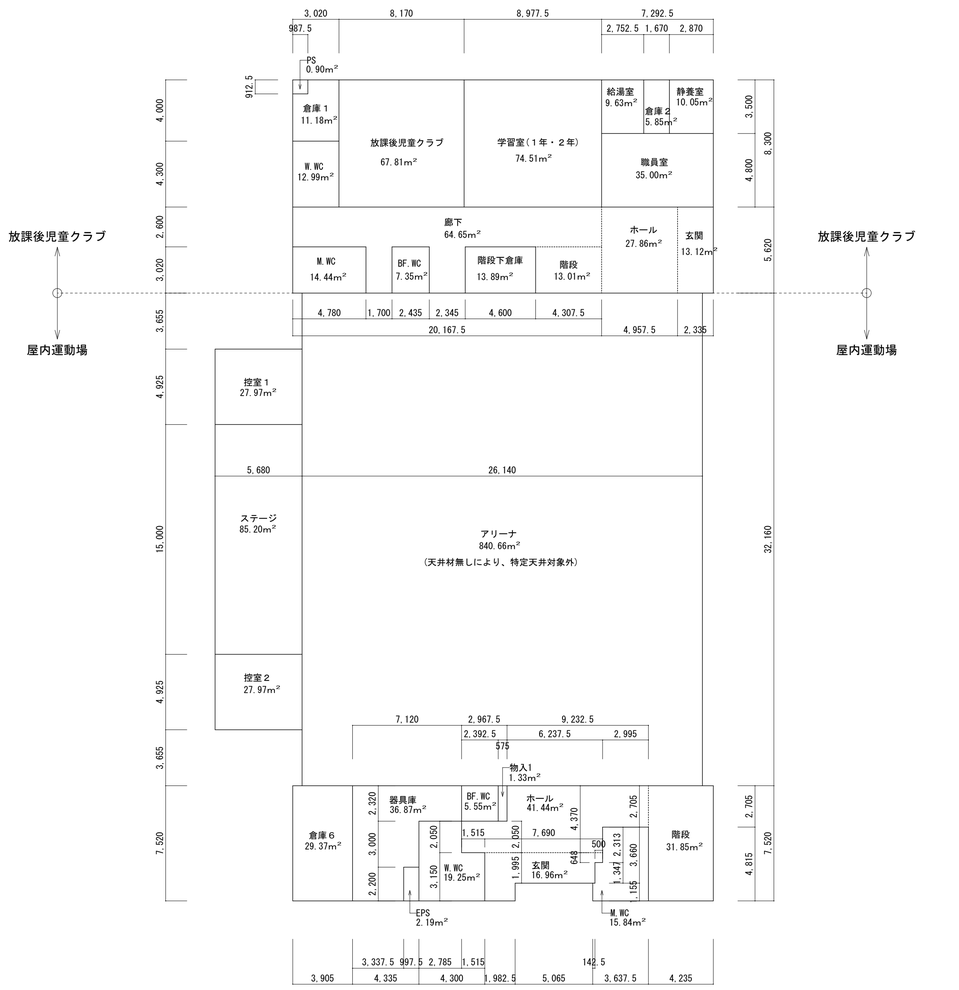
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| 図面名 | 面積表 | 縮尺 | A1: 1/200<br>A3: 1/400 |
| | | 図面番号 | A-007 |

## 1階　室面積



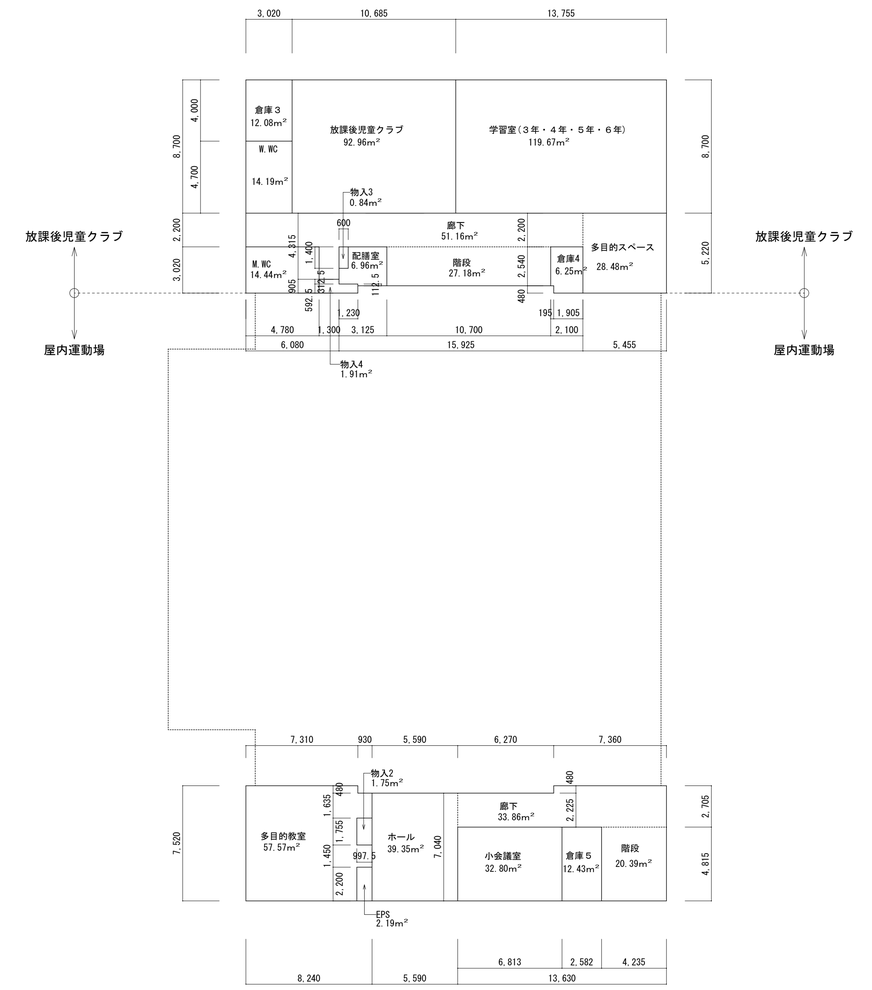

### 屋内運動場

| 階 | 室名 | 計　　算　　式 | 室面積（㎡） |
|---|---|---|---|
| 1 | アリーナ | 26.14*32.16 | 840.66 |
| | 控室１ | 5.68*4.925 | 27.97 |
| | ステージ | 5.68*15.0 | 85.20 |
| | 控室２ | 5.68*4.925 | 27.97 |
| | 倉庫６ | 3.905*7.52 | 29.37 |
| | 器具庫 | (7.12*2.32)+(4.335*3.0)+(3.3375*2.2) | 36.87 |
| | ＥＰＳ | 0.9975*2.2 | 2.19 |
| | Ｗ．ＷＣ | (2.785*2.05)+(4.3*3.15) | 19.25 |
| | ＢＦ．ＷＣ | 2.3925*2.32 | 5.55 |
| | 物入１ | 0.575*2.32 | 1.33 |
| | Ｍ．ＷＣ | (3.6375*4.815)-(0.1425*3.66)-(0.5*2.313) | 15.84 |
| | 玄関 | (1.9825*3.15)+(5.065*1.995)+(0.1425*1.995)+(0.5*0.648) | 16.96 |
| | ホール | (6.2375*4.37)+(2.995*2.705)+(2.9675*2.05) | 41.44 |
| | 階段室 | 4.235*7.52 | 31.85 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 計 | 1,182.46 |

### 放課後児童クラブ

| 階 | 室名 | 計　　算　　式 | 室面積（㎡） |
|---|---|---|---|
| 1 | 倉庫１ | (3.02*4.0)-(0.9875*0.9125) | 11.18 |
| | PS | 0.9875*0.9125 | 0.90 |
| | Ｗ．ＷＣ | 3.02*4.3 | 12.99 |
| | 放課後児童クラブ | 8.17*8.3 | 67.81 |
| | 学習室(1,2年) | 8.9775*8.3 | 74.51 |
| | 給湯室 | 2.7525*3.5 | 9.63 |
| | 倉庫２ | 1.67*3.5 | 5.85 |
| | 静養室 | 2.87*3.5 | 10.05 |
| | 職員室 | 7.2925*4.8 | 35.00 |
| | Ｍ．ＷＣ | 4.78*3.02 | 14.44 |
| | ＢＦ．ＷＣ | 2.435*3.02 | 7.35 |
| | 階段下倉庫 | 4.6*3.02 | 13.89 |
| | 廊下 | (20.1675*2.6)+(1.7*3.02)+(2.345*3.02) | 64.65 |
| | ホール | 4.9575*5.62 | 27.86 |
| | 階段室 | 4.3075*3.02 | 13.01 |
| | 玄関 | 2.335*5.62 | 13.12 |
| | | | |
| | | 計 | 382.24 |

## 2階　室面積




### 屋内運動場

| 階 | 室名 | 計　　算　　式 | 室面積（㎡） |
|---|---|---|---|
| 2 | 多目的教室 | (8.24*7.52)-(0.93*0.48)-(0.9975*1.755)-(0.9975*2.2) | 57.57 |
| | 物入２ | 0.9975*1.755 | 1.75 |
| | ＥＰＳ | 0.9975*2.2 | 2.19 |
| | 小会議室 | 6.813*4.815 | 32.80 |
| | 倉庫５ | 2.582*4.815 | 12.43 |
| | ホール | 5.59*7.04 | 39.35 |
| | 廊下 | (6.27*2.225)+(7.36*2.705) | 33.86 |
| | 階段室 | 4.235*4.815 | 20.39 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 計 | 200.36 |

### 放課後児童クラブ

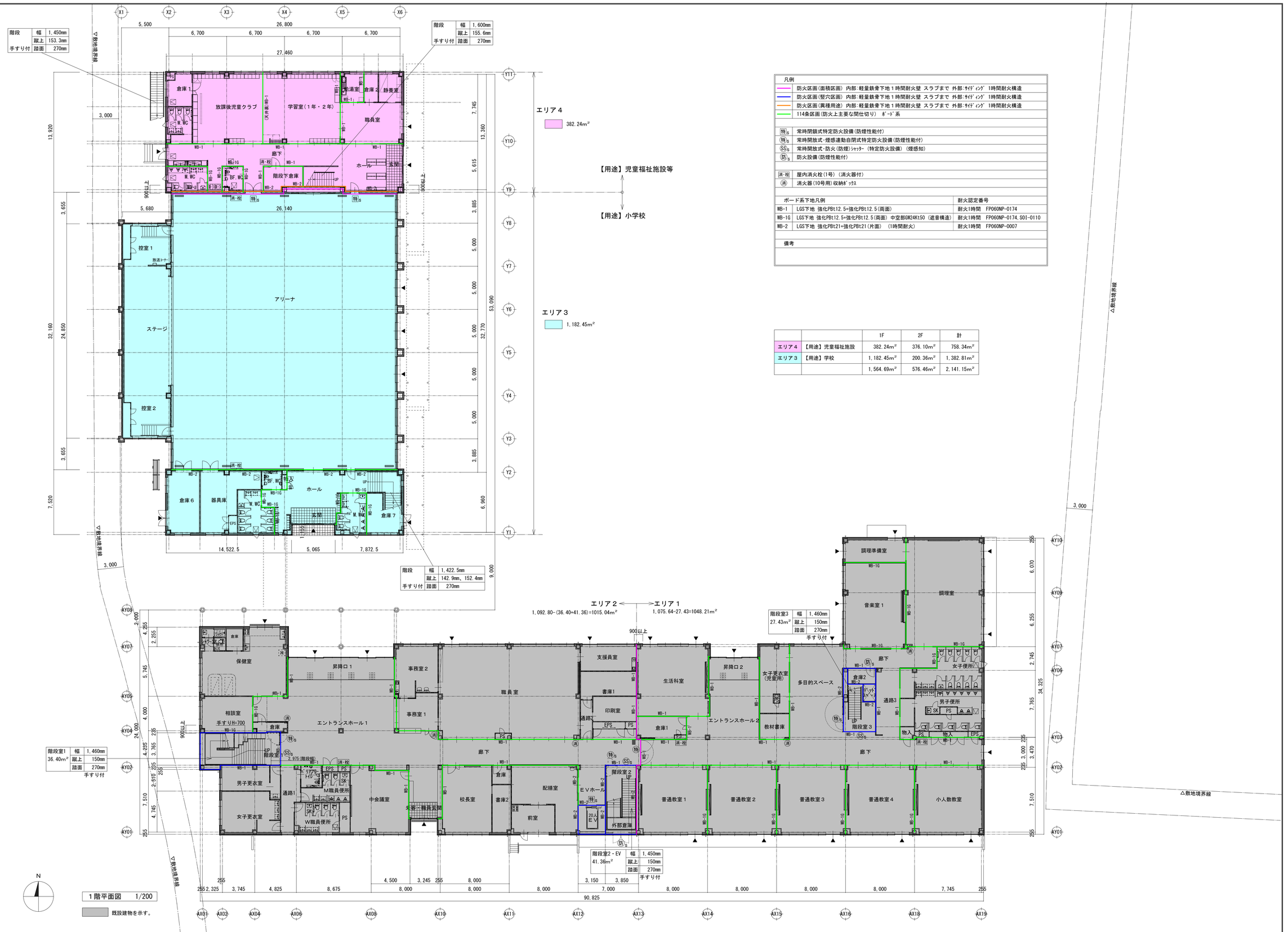
| 階 | 室名 | 計　　算　　式 | 室面積（㎡） |
|---|---|---|---|
| 2 | 倉庫３ | 3.02*4.0 | 12.08 |
| | Ｗ．ＷＣ | 3.02*4.7 | 14.19 |
| | 放課後児童クラブ | 10.685*8.7 | 92.96 |
| | 学習室(3,4,5,6年) | 13.755*8.7 | 119.67 |
| | Ｍ．ＷＣ | 4.78*3.02 | 14.44 |
| | 物入３ | 0.6*1.4 | 0.84 |
| | 物入４ | (1.3*0.905)+(1.23*0.5925) | 1.91 |
| | 配膳室 | (3.125*2.54)-(0.6*1.4)-(1.23*0.1125) | 6.96 |
| | 倉庫４ | (2.1*2.54)+(1.905*0.48) | 6.25 |
| | 廊下 | (4.78*2.2)+(1.3*4.315)+(15.925*2.2) | 51.16 |
| | 階段室 | 10.7*2.54 | 27.18 |
| | 多目的スペース | 5.455*5.22 | 28.48 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 計 | 376.10 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）
図面名：室面積表
設計：令和 ７年 ３月
縮尺：A1： 1/200　A3： 1/400
図面番号：A-008




凡例

| | |
|---|---|
| | 防火区画（面積区画） 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 防火区画（竪穴区画） 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 防火区画（異種用途） 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 114条区画（防火上主要な間仕切り） ﾎﾞｰﾄﾞ系 |
| 特S | 常時閉鎖式特定防火設備（防煙性能付） |
| 特S | 常時開放式・煙感連動自閉式特定防火設備（防煙性能付） |
| SSS | 常時開放式・防火（防煙）ｼｬｯﾀｰ（特定防火設備）（煙感知） |
| 防S | 防火設備（防煙性能付） |
| 消・栓 | 屋内消火栓（1号）（消火器付） |
| 消 | 消火器（10号用）収納ﾎﾞｯｸｽ |

| ボード系下地凡例 | | 耐火認定番号 |
|---|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） | 耐火1時間 FP060NP-0174 |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） 中空部GW24Kt50（遮音構造） | 耐火1時間 FP060NP-0174,S01-0110 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） （1時間耐火） | 耐火1時間 FP060NP-0007 |

備考

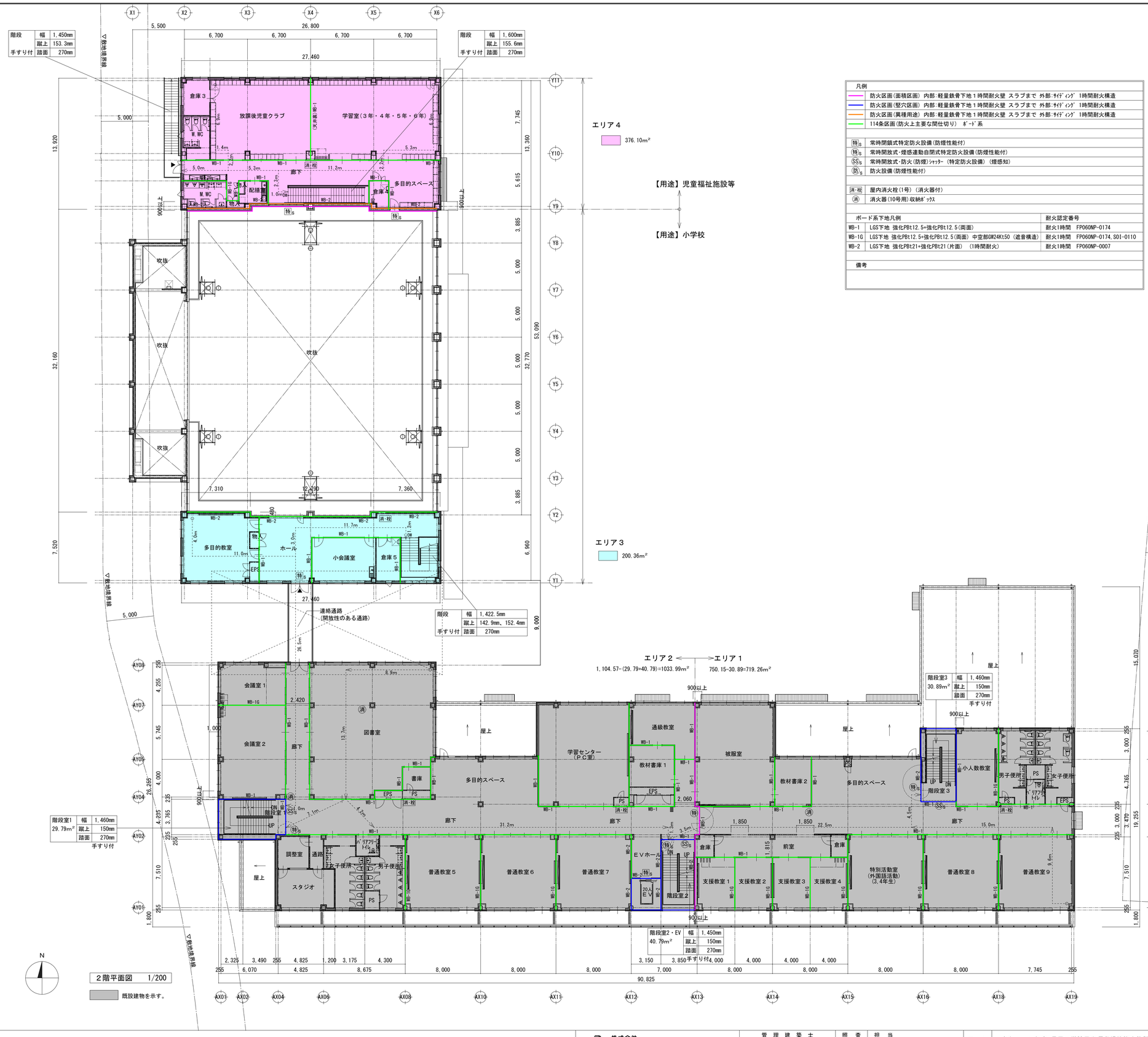
| | | 1F | 2F | 計 |
|---|---|---|---|---|
| エリア４ | 【用途】児童福祉施設 | 382.24m² | 376.10m² | 758.34m² |
| エリア３ | 【用途】学校 | 1,182.45m² | 200.36m² | 1,382.81m² |
| | | 1,564.69m² | 576.46m² | 2,141.15m² |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査：
担当：

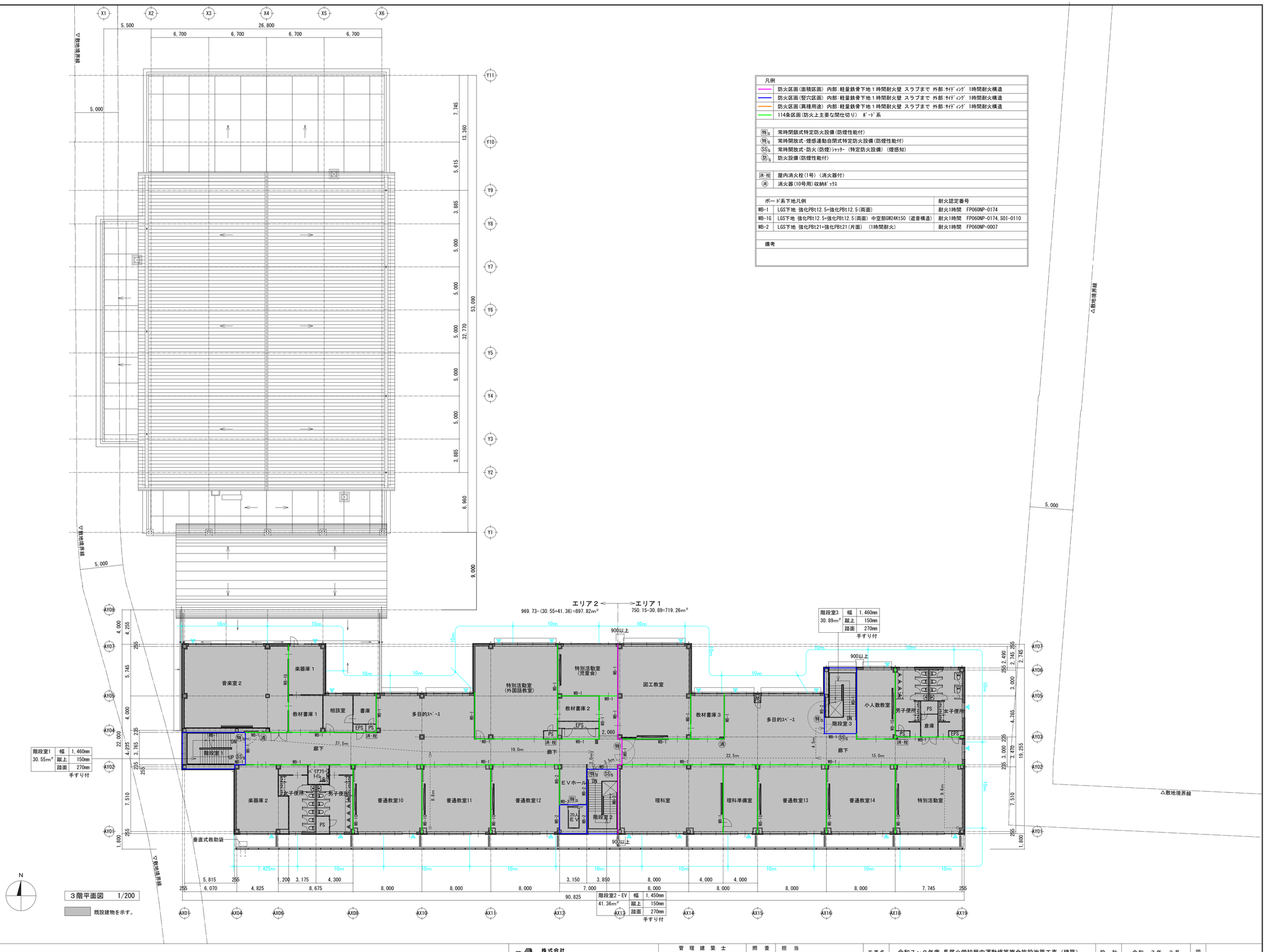
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 法ﾁｪｯｸ図-1（１階 防火区画） | 縮尺 | A1: 1/200 A3: 1/400 |
| | | 図面番号 | A-009 |


X1
X2
X3
X4
X5
X6
5,500
26,800
6,700
6,700
6,700
6,700
27,460
階段 幅 1,450mm 蹴上 153.3mm 手すり付 踏面 270mm
階段 幅 1,600mm 蹴上 155.6mm 手すり付 踏面 270mm
△敷地境界線
5,000
13,920
32,160
7,520
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
7,745
13,360
5,615
3,885
5,000
5,000
5,000
5,000
5,000
3,885
6,960
53,090
32,770
倉庫３
放課後児童クラブ
学習室（３年・４年・５年・６年）
(天井高)WB-1
6.9m
W.WC
1.4m
5.3m
WB-1
2.2m
5.0m
5.3m
11.2m
廊下
消・校
WB-1
2.2m
多目的スペース
倉庫４
WB-1
2.2m
1.0m
配膳室
3人
物入
M.WC
WB-1
WB-2
WB-2
特S
900以上
900以上
エリア４
376.10m²
【用途】児童福祉施設等
【用途】小学校
吹抜
吹抜
吹抜
吹抜
7,310
12,490
7,360
WB-2
WB-2
WB-2
消・校
WB-2
400
11.7m
2m
4.0m
物
3.0m
多目的教室
11.0m
ホール
WB-1
小会議室
倉庫５
WB-1
EPS
特S
27,460
連絡通路
（開放性のある通路）
26.5m
階段 幅 1,422.5mm 蹴上 142.9mm、152.4mm 手すり付 踏面 270mm
9,000
エリア３
200.36m²
エリア２
1,104.57−(29.79+40.79)=1033.99m²
エリア１
750.15−30.89=719.26m²
AY08
AY07
AY06
AY05
AY04
AY03
AY02
AY01
255
4,255
5,745
4,000
235
3,765
235
255
7,510
255
1,800
26,265
15,020
3,000
4,765
3,000
3,470
19,255
7,510
1,800
1,000
900以上
900以上
900以上
900以上
900以上
900以上
屋上
屋上
屋上
屋上
会議室１
2,420
WB-1G
会議室２
廊下
WB-1
WB-1
13.7m
図書室
(消)
8.9m
書庫
WB-1
WB-1
EPS
PS
消・校
WB-1
階段室
SS
UP
DN
特S
7.1m
4.2m
廊下
31.2m
多目的スペース
学習センター（P.C室）
通級教室
WB-1
教材書庫１
WB-1
EPS
PS
消・校
WB-1
2,060
被服室
WB-1
WB-1
教材書庫２
WB-1
多目的スペース
WB-1
階段室３
UP
DN
特S
SSS
WB-1
廊下
15.0m
小人数教室
男子便所
女子便所
PS
TP
リフレッシュトイレ
EPS
PS
消・校
WB-1
WB-1
WB-1G
WB-1
WB-1
WB-1

| 凡例 | |
|---|---|
| | 防火区画(面積区画) 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 防火区画(竪穴区画) 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 防火区画(異種用途) 内部:軽量鉄骨下地１時間耐火壁 スラブまで 外部:ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 1時間耐火構造 |
| | 114条区画(防火上主要な間仕切り) ﾎﾞｰﾄﾞ系 |
| | |
| 特S | 常時閉鎖式特定防火設備(防煙性能付) |
| 特S | 常時開放式・煙感連動自閉式特定防火設備(防煙性能付) |
| SSS | 常時開放式・防火(防煙)ｼｬｯﾀｰ (特定防火設備) (煙感知) |
| 防S | 防火設備(防煙性能付) |
| | |
| 消・栓 | 屋内消火栓(1号) (消火器付) |
| 消 | 消火器(10号用)収納ﾎﾞｯｸｽ |

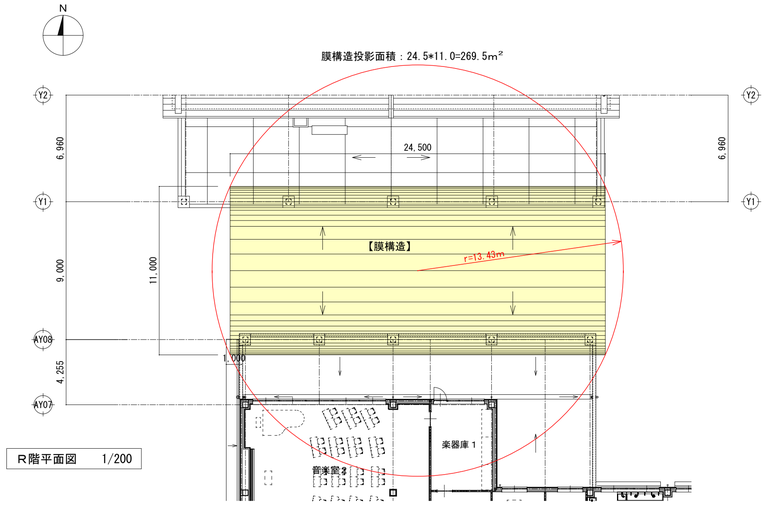
| ボード系下地凡例 | | 耐火認定番号 |
|---|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) | 耐火1時間 FP060NP-0174 |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) 中空部GW24Kt50 (遮音構造) | 耐火1時間 FP060NP-0174,S01-0110 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) (1時間耐火) | 耐火1時間 FP060NP-0007 |

| 備考 |
|---|
| |

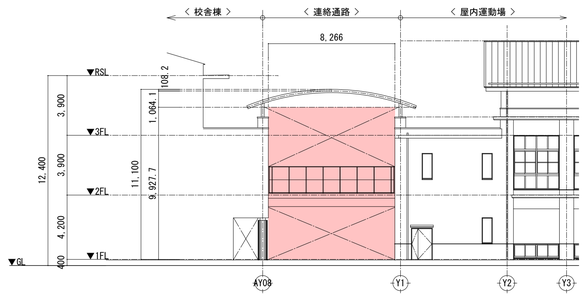



| | | |

膜構造投影面積：24.5*11.0=269.5m²



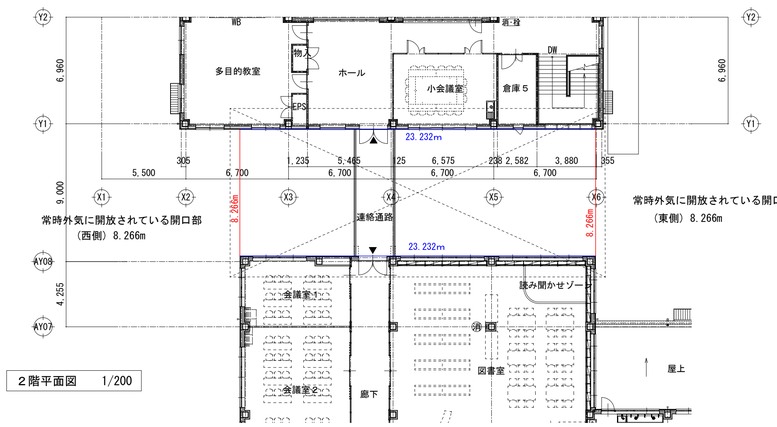

R階平面図　1/200



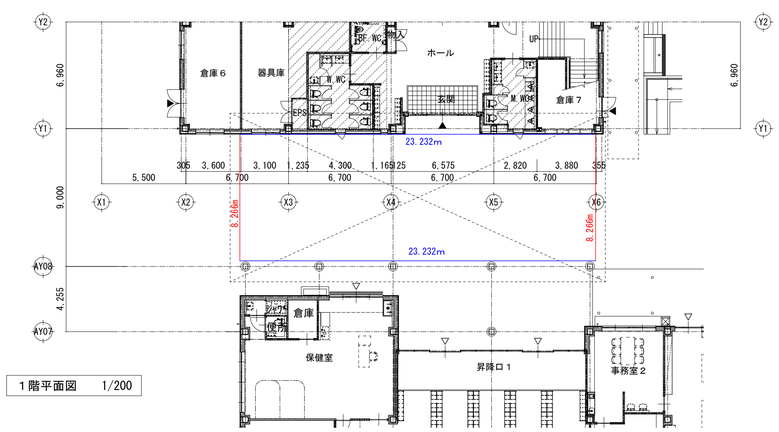

2.2 外気への開放性の確保に関する基準（1）

8.266*9.927.7=82.06m²

※高さは安全側に軒の高さとした。




２階平面図　1/200




１階平面図　1/200

認定番号：ＮＦＮＮ－９９３１
「膜構造を屋根に用いた建築物における主要構造部の構造方法」
別添２の検討

2.1 膜構造部分の用途

A-②：通路

2.2 外気への開放性の確保に関する基準

(1) 常時外気に開放されている開口部面積 ＞ 1/6×膜構造水平投影面積

膜構造投影面積：24.5*11.0=269.5m²

有効開口面積：（東側）82.06m²、（西側）82.06m²

82.06+82.06=164.12m² ＞ 1/6×269.5=44.92m²　∴ＯＫ

(2) 上記(1)の有効開口部の巾は周長の1/4以上

周長：8.266+8.266+23.232+23.232=62.984m

有効開口部の巾：8.266+8.266=16.532m

16.532m ＞ 1/4×62.984=15.746m　∴ＯＫ

(3) 各部分から上記(1),(2)の開口部までの距離が30m以内

開口部までの距離：13.43m　∴ＯＫ

2.3 防火上の措置

(1) A-②

① 膜材料等の部分は、床から高さ2.7m以上確保　∴ＯＫ

② 膜材料等の部分の床から高さ5m未満のものはなし。　∴ＯＫ

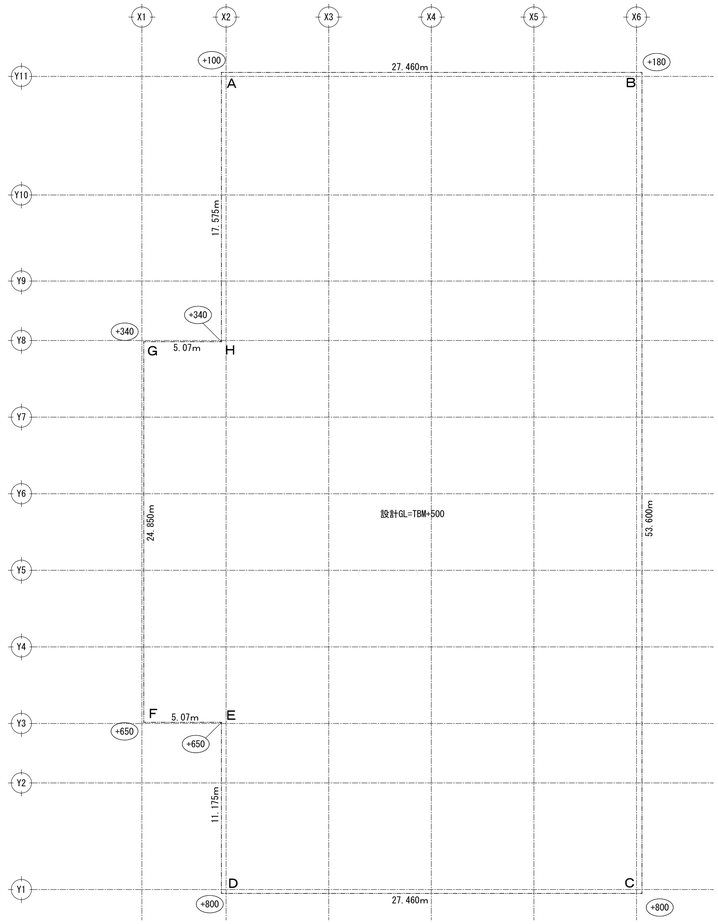
3.3 膜構造部分と膜構造部分以外の部分との区画

膜材料等の部分と物理的に接していないため非該当

膜構造部材(柱)が建物と繋がっているが、校舎及び体育館の屋上部分は耐火構造の床である。

∴ＯＫ

## 平均地盤算定




平均地盤算定図　1/200

（単位：m）

| 地点 | 高さ ※TBMからの高さ | 距離 | 高さ×距離 | 平均地盤面 |
|---|---|---|---|---|
| A | 0.100 | | | |
| B | 0.180 | 27.460 | 3.844 | |
| C | 0.800 | 53.600 | 26.264 | |
| D | 0.800 | 27.460 | 21.968 | |
| E | 0.650 | 11.175 | 8.102 | |
| F | 0.650 | 5.070 | 3.296 | |
| G | 0.340 | 24.850 | 12.301 | |
| H | 0.340 | 5.070 | 1.724 | |
| A | 0.100 | 17.575 | 3.867 | |
| 合計 | | 172.26 | 81.37 | 0.47 |

上表より

地盤面＝TBM+470

地盤面＝設計GL-30

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）

図面名：法ﾁｪｯｸ図-4（膜構造 耐火認定）、平均地盤算定

設計：令和 ７年 ３月

縮尺：A1：1/200　A3：1/400

図面番号：A-012

## ＬＶＳ計算表（屋内運動場）

| 階 | 室名 | 種別 | 必要数値 | 記号 | 採光補正 | 計算式 | | 設計数値 | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アリーナ | L 1/ 20 | 42.03 | AD-1×3 | | (3.97*2.085)*3 | 24.83 | 122.50 | OK |
| | 室面積：840.66m2 | | | AW-10×2 | | (0.6788*0.83*4+0.6788*0.845*4)*2 | 9.10 | | |
| | | | | | | (1.4175*1.54*2)*2 | 8.73 | | |
| | | | | AW-11×5 | | (0.945*0.83*4+0.945*0.845*4)*5 | 31.66 | | |
| | | | | | | (1.95*1.54*2)*5 | 30.03 | | |
| | | | | AW-16×2 | | (0.6913*0.83*4+0.6913*0.845*4)*2 | 9.26 | | |
| | | | | | | (1.4425*1.54*2)*2 | 8.89 | | |
| | | | | | | | 122.50 | | |
| | | V 1/ 20 | 42.03 | AD-1×3 | | (1.85*2.085)*3 | 11.57 | 60.63 | OK |
| | | | | AW-10×2 | | (1.4175/2*1.54*2+0.6788*0.845*4)*2 | 8.95 | | |
| | | | | AW-11×5 | | (1.95/2*1.54*2+0.945*0.845*4)*5 | 30.99 | | |
| | | | | AW-16×2 | | (1.4425/2*1.54*2+0.6913*0.845*4)*2 | 9.12 | | |
| | | | | | | | 60.63 | | |
| | | S 1/ 50 | 16.81 | AW-10×2 | | (0.6788*0.775*4)*2 | 4.21 | 23.15 | OK |
| | | | | AW-11×5 | | (0.945*0.775*4)*5 | 14.65 | | |
| | | | | AW-16×2 | | (0.6913*0.775*4)*2 | 4.29 | | |
| | | | | | | | 23.15 | | |
| 2 | 多目的教室 | L 1/ 5 | 11.51 | AW-14×3 | 3.0 | (1.8*1.585)*3*3.0 | 25.68 | 28.53 | OK |
| | 室面積：57.57m2 | | | AW-14 | | 1.8*1.585 | 2.85 | | |
| | | | | | | | 28.53 | | |
| | | V 1/ 20 | 2.88 | AW-14×3 | | (1.8/2*1.585)*3 | 4.28 | 4.28 | OK |
| | | | | | | | 4.28 | | |
| | | S 1/ 50 | 1.15 | AW-14×3 | | (1.8/2*0.785)*3 | 2.12 | 2.12 | OK |
| | | | | | | | 2.12 | | |
| | 小会議室 | L 1/ 20 | 1.64 | AW-12 | | 1.533*1.585*2+1.534*1.585 | 7.29 | 7.29 | OK |
| | 室面積：32.80m2 | | | | | | 7.29 | | |
| | | V 1/ 20 | 1.64 | AW-12 | | 1.533/2*1.585*2+1.534/2*1.585 | 3.65 | 3.65 | OK |
| | | | | | | | 3.65 | | |

## ＬＶＳ計算表（児童クラブ）

| 階 | 室名 | 種別 | 必要数値 | 記号 | 採光補正 | 計算式 | | 設計数値 | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | L 1/ 5 | 13.56 | AW-24 | 3.0 | 1.6*1.585*3.0 | 7.61 | 22.83 | OK |
| | 室面積：67.81m2 | | | AW-25 | 3.0 | 1.6*1.585*2*3.0 | 15.22 | | |
| | | | | | | | 22.83 | | |
| | | V 1/ 20 | 3.39 | AW-24 | | 1.6/2*1.585 | 1.27 | 3.81 | OK |
| | | | | AW-25 | | 1.6/2*1.585*2 | 2.54 | | |
| | | | | | | | 3.81 | | |
| | | S 1/ 50 | 1.36 | AW-24 | | 1.6/2*0.785 | 0.63 | 1.89 | OK |
| | | | | AW-25 | | 1.6/2*0.785*2 | 1.26 | | |
| | | | | | | | 1.89 | | |
| | 学習室(1,2年) | L 1/ 5 | 14.90 | AW-25 | 3.0 | 1.6*1.585*3.0 | 7.61 | 30.43 | OK |
| | 室面積：74.51m2 | | | AW-26 | 3.0 | 1.6*1.585*3*3.0 | 22.82 | | |
| | | | | | | | 30.43 | | |
| | | V 1/ 20 | 3.73 | AW-25 | | 1.6/2*1.585 | 1.27 | 5.07 | OK |
| | | | | AW-26 | | 1.6/2*1.585*3 | 3.80 | | |
| | | | | | | | 5.07 | | |
| | | S 1/ 50 | 1.49 | AW-25 | | 1.6/2*0.785 | 0.63 | 2.51 | OK |
| | | | | AW-26 | | 1.6/2*0.785*3 | 1.88 | | |
| | | | | | | | 2.51 | | |
| | 給湯室 | L 1/ 20 | 0.48 | AW-27 | | 1.6*1.585 | 2.54 | 2.54 | OK |
| | 室面積：9.63m2 | | | | | | 2.54 | | |
| | | V 1/ 20 | 0.48 | AW-27 | | 1.6/2*1.585 | 1.27 | 1.27 | OK |
| | | | | | | | 1.27 | | |
| | 静養室 | L 1/ 20 | 0.50 | AW-27 | | 1.6*1.585 | 2.54 | 2.54 | OK |
| | 室面積：10.05m2 | | | | | | 2.54 | | |
| | | V 1/ 20 | 0.50 | AW-27 | | 1.6/2*1.585 | 1.27 | 1.27 | OK |
| | | | | | | | 1.27 | | |
| | 職員室 | L 1/ 20 | 1.75 | AWD-2 | | 1.6*1.0+1.6*0.585+1.6*1.585 | 5.07 | 5.07 | OK |
| | 室面積：35.00m2 | | | | | | 5.07 | | |
| | | V 1/ 20 | 1.75 | AWD-2 | | 1.6/2*2.0+1.6/2*0.585+1.6/2*1.585 | 3.34 | 3.34 | OK |
| | | | | | | | 3.34 | | |
| 2 | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | L 1/ 5 | 18.59 | AW-24 | 3.0 | 1.6*1.585*3.0 | 7.61 | 30.43 | OK |
| | 室面積：92.96m2 | | | AW-26 | 3.0 | 1.6*1.585*3*3.0 | 22.82 | | |
| | | | | | | | 30.43 | | |
| | | V 1/ 20 | 4.65 | AW-24 | | 1.6/2*1.585 | 1.27 | 5.07 | OK |
| | | | | AW-26 | | 1.6/2*1.585*3 | 3.80 | | |
| | | | | | | | 5.07 | | |
| | | S 1/ 50 | 1.86 | AW-24 | | 1.6/2*0.785 | 0.63 | 2.51 | OK |
| | | | | AW-26 | | 1.6/2*0.785*3 | 1.88 | | |
| | | | | | | | 2.51 | | |
| | 学習室(3,4,5,6年) | L 1/ 5 | 23.93 | AW-26×2 | 3.0 | (1.6*1.585*3)*2*3.0 | 45.65 | 60.87 | OK |
| | 室面積：119.67m2 | | | AW-30 | 3.0 | 1.6*1.585*2*3.0 | 15.22 | | |
| | | | | | | | 60.87 | | |
| | | V 1/ 20 | 5.98 | AW-26×2 | | (1.6/2*1.585*3)*2 | 7.61 | 10.15 | OK |
| | | | | AW-30 | | 1.6/2*1.585*2 | 2.54 | | |
| | | | | | | | 10.15 | | |
| | | S 1/ 50 | 2.39 | AW-26×2 | | (1.6/2*0.785*3)*2 | 3.77 | 5.03 | OK |
| | | | | AW-30 | | 1.6/2*0.785*2 | 1.26 | | |
| | | | | | | | 5.03 | | |
| | 多目的ｽﾍﾟｰｽ | L 1/ 20 | 1.42 | AW-30 | | 1.6*1.585*2 | 5.07 | 5.07 | OK |
| | 室面積：28.48m2 | | | | | | 5.07 | | |
| | | V 1/ 20 | 1.42 | AW-30 | | 1.6/2*1.585*2 | 2.54 | 2.54 | OK |
| | | | | | | | 2.54 | | |

## 無窓階の計算

| 棟名 | 種別 | 基準(m2) | | | 記号 | 計算式 | | 計(m2) | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1階 | 1/ 30 | 52.16 | (Wx) | 屋内運動場 | AD-1×3 | (1.85*2.085)*3 | 11.57 | 53.24 | OK |
| A：1564.70m2 | | | 直径1mの円が内接 or | | AW-3 | 0.6*1.585 | 0.95 | | |
| | | | w750 h1200 以上 | | AW-4×2 | (0.6*1.585)*2 | 1.90 | | |
| | | | ※2以上 | | AD-3 | 1.912*1.98+(1.21*1.88)*2 | 8.34 | | |
| | | | | | AW-6 | (1.8/2)*1.585 | 1.43 | | |
| | | | (Wy) | | AW-7×2 | ((1.8/2)*1.585)*2 | 2.85 | | |
| | | | 直径50cm以上の円 | | | | | | |
| | | | が内接 | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | AW-23 | (1.6/2)*1.585 | 1.27 | | |
| | | | ※床面積の1/30を超える | | AW-24 | (1.6/2)*1.585 | 1.27 | | |
| | | | | | AW-25 | (1.6/2)*1.585*2+(1.59/2)*1.585 | 3.80 | | |
| | | | | | AW-26 | (1.6/2)*1.585*2+(1.59/2)*1.585 | 3.80 | | |
| | | | | | AW-27 | (1.6/2)*1.585*2+(1.59/2)*1.585 | 3.80 | | |
| | | | | | AW-28×2 | (0.6*1.585)*2 | 1.90 | | |
| | | | | | AWD-2 | (1.6/2)*2.0+(1.6/2)*1.585 | 2.87 | | |
| | | | | | AD-5 | 1.712*1.98+(1.09*1.88)*2 | 7.49 | | |
| | | | | | | 計 | 53.24 | | |
| 2階 | 1/ 30 | 12.54 | (Wx) | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | AW-23 | (1.6/2)*1.585 | 1.27 | 20.90 | OK |
| 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | | | 直径1mの円が内接 or | | AW-24 | (1.6/2)*1.585 | 1.27 | | |
| A：376.10m2 | | | w750 h1200 以上 | | AW-26×3 | ((1.6/2)*1.585*2+(1.59/2)*1.585)*3 | 11.39 | | |
| | | | ※2以上 | | AW-28×2 | (0.6*1.585)*2 | 1.90 | | |
| | | | | | AW-30×2 | ((1.6/2)*1.585*2)*2 | 5.07 | | |
| | | | (Wy) | | | | | | |
| | | | 直径50cm以上の円 | | | | | | |
| | | | が内接 | | | | | | |
| | | | ※床面積の1/30を超える | | | | | | |
| | | | | | | 計 | 20.90 | | |
| 2階 | 1/ 30 | 6.68 | (Wx) | 屋内運動場 | AW-10×2 | ((0.6788*0.83)*4)*2 | 4.51 | 37.64 | OK |
| 屋内運動場 | | | 直径1mの円が内接 or | | AW-11×5 | ((0.945*0.83)*4)*5 | 15.69 | | |
| A：200.36m2 | | | w750 h1200 以上 | | AW-4 | 0.6*1.585 | 0.95 | | |
| | | | ※2以上 | | AW-12 | (1.533/2)*1.585*2+(1.534/2)*1.585 | 3.65 | | |
| | | | | | AW-13 | 1.6*1.585 | 2.54 | | |
| | | | (Wy) | | AW-14×4 | ((1.8/2)*1.585)*4 | 5.71 | | |
| | | | 直径50cm以上の円 | | AW-16×2 | ((0.6913*0.83)*4)*2 | 4.59 | | |
| | | | が内接 | | | | | | |
| | | | ※床面積の1/30を超える | | | | | | |
| | | | | | | 計 | 37.64 | | |

記事

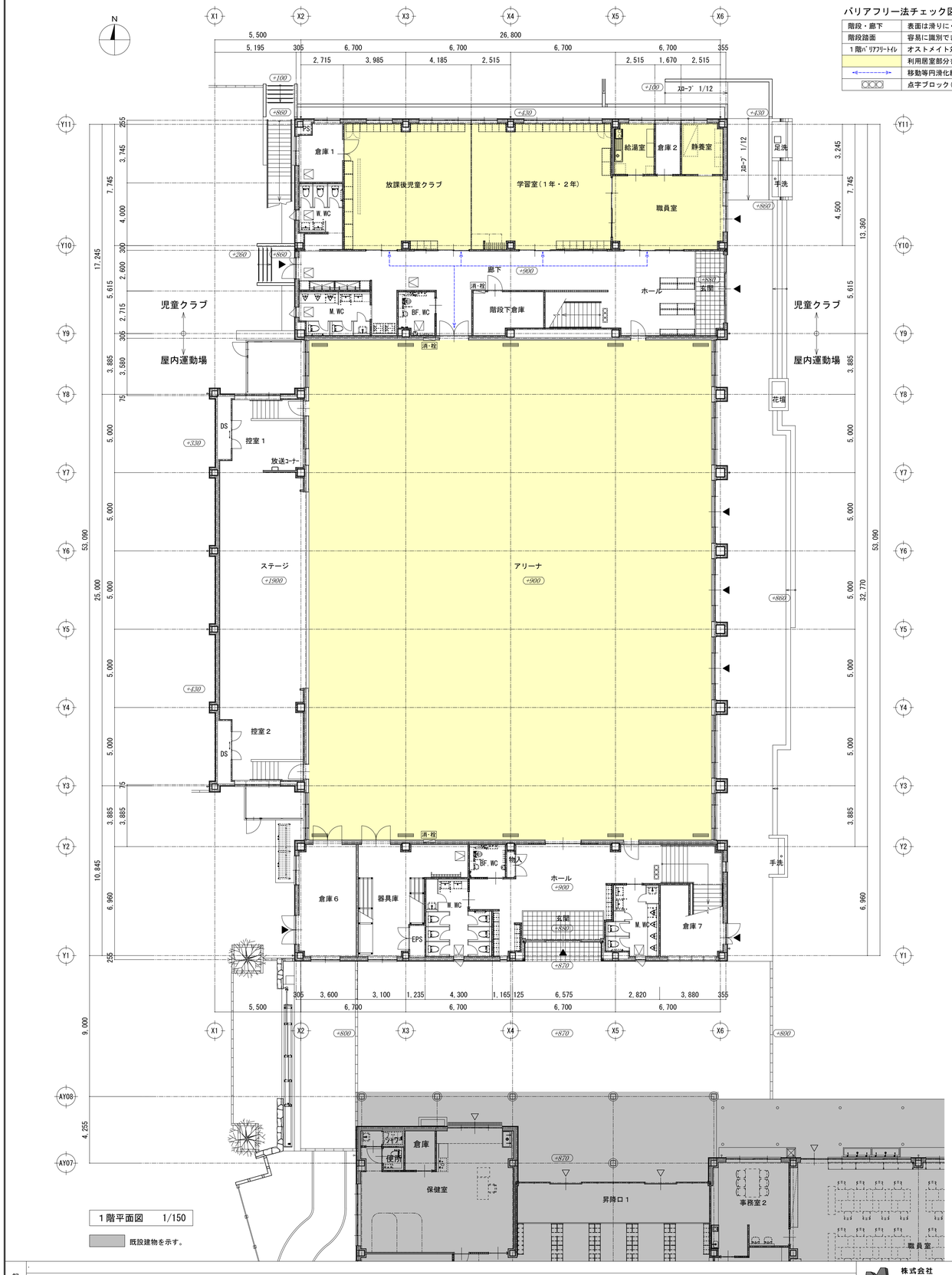
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）
図面名：法ﾁｪｯｸ図-5 （LVS計算、無窓階計算）
設計：令和 7年 3月
縮尺：A1： ― A3： ―
図面番号：A-013

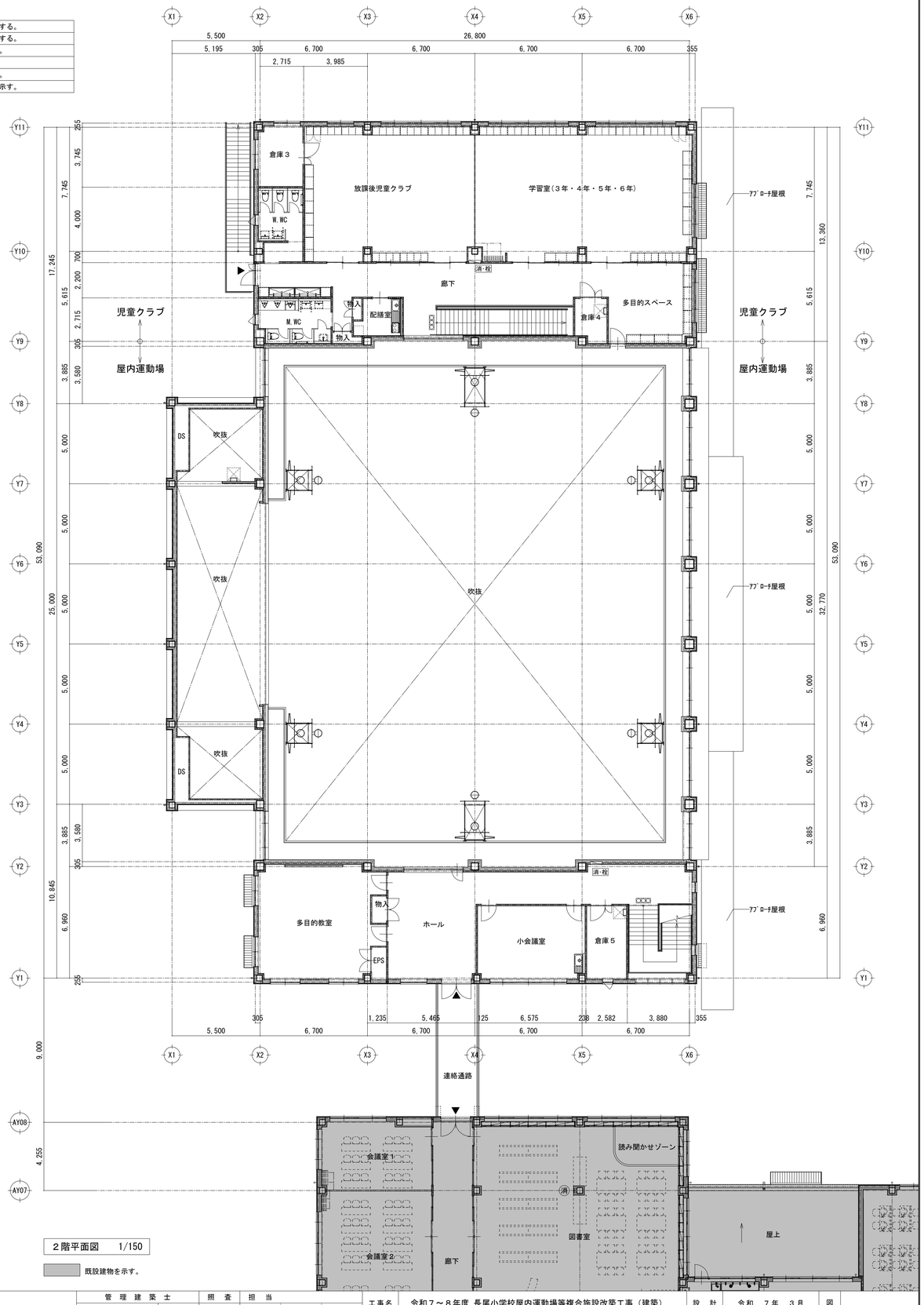
## バリアフリー法チェック図

| | |
|---|---|
| 階段・廊下 | 表面は滑りにくい仕上とする。 |
| 階段踏面 | 容易に識別できる仕上とする。 |
| 1階ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ | オストメイト対応とする。 |
| | 利用居室部分を示す。 |
| | 移動等円滑化経路を示す。 |
| | 点字ブロック（警告用）を示す。 |




１階平面図　1/150

既設建物を示す。




２階平面図　1/150

既設建物を示す。

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 法ﾁｪｯｸ図-6 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法） | 縮尺 | A1：－ A3：－ |
| | | 図面番号 | A-014 |

## 一般共通事項

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 土に接する屋内の土間スラブ及び土間コンクリート下には、ポリスチレンフォームt25(3種-B)及び<br>ポリエチレンフィルムt0.15を敷き込む。 | 11 | ＤＰ塗は、特記無き限り１級(フッ素)とする。 |
| 2 | 外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。 | 12 | ビニル床シート及びビニル床タイルには、ワックス塗を行う。 |
| 3 | 壁コンクリート打放し部分は、特記無き限り内部10mm、外部20mmの増打とする。 | 13 | ビニル床シートの端部はシール打ちをする。 |
| 4 | 床仕上げ部の異なる部分は、特記無き限りステンレス目地棒4×12とする。 | 14 | 内部仕上材(下地共)は全てF☆☆☆☆とする。接着剤はVOC対策品とする。その他キッチン・流し台・収納扉<br>カーテン等もF☆☆☆☆とする。 |
| 5 | 床下点検口の表面仕上げは、特記無き限り床仕上げ材と同材とする。 | 15 | 配管ピット上部のスラブ下には、ポリスチレンフォームt30(B-3)を打込む。 |
| 6 | 天井点検口は、特記無き限り450角とし、表面仕上げ材は天井仕上材と同材とする。 | | |
| 7 | 天井廻り縁は、特記無き限り塩ビ製とする。 | | |
| 8 | カーテンボックスは、特記無き限り木製ＳＯＰとし、建具幅＋片側200mmとする。 | | |
| 9 | ＥＰ等の塗装下地は、特記無き限りテーパージョイント石膏ボードとする。 | | |
| 10 | ＥＰ塗は、特記無き限り防汚性とする。 | | |

## 略記号

| 下地 凡例 | | | | 仕上 凡例 | | | | ボード系下地 凡例 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | ＳＬ | セルフレベリング下地 | ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード | ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) (1時間耐火) |
| | 壁：コンクリート打放し(Ｂ種) | ＦＡ | フリーアクセスフロア下地 | ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 | ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 (1時間耐火＋遮音構造) |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | Ｓ | 鉄骨下地 | ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 | ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) (1時間耐火) |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | | ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 | ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| Ｃ | コンクリート下地 | | | ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール | ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 (遮音構造) |
| Ｍ | モルタル下地 | | | ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント | | |
| Ｗ | 木下地 | | | ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント | | |
| Ｌ | 軽量鉄骨壁下地(ＬＧＳ) | | | ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 | | |
| ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地(ＬＧＳ) | | | ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス | | |
| | | | | 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | | | |

## 仕様一覧表

| 認定番号 | | 内部 | | 外部 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ＷＢ－１ | 耐火1時間 FP060NP-0174 | VT(木目) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | 東リ ﾛｲﾔﾙｳｯﾄﾞ150mm幅 同等 | 外壁ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ | 三協ｱﾙﾐ MKT-100 同等 |
| ＷＢ－１Ｇ | 耐火1時間 FP060NP-0175,SOI-0110 | VS ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ | 東リ ﾌﾛｱﾘｭｰﾑﾏｰﾌﾞﾙ 同等 | 天井ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ | 三協ｱﾙﾐ MKT-100 同等 |
| ＷＢ－２ | 耐火1時間 FP060NP-0007 | VS(抗菌) ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ | 東リ 消臭NSﾄﾜﾝNW 同等 | ｱﾙﾐ製庇 | ｴｰﾋﾞｰｼｰ商会 CANｼﾘｰｽﾞ ﾗｲﾄﾀｲﾌﾟ 同等 |
| 外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(吹付ｳﾚﾀﾝ仕様) | 耐火1時間 FP060NE-0469 | VS(防滑性)t2.5 | 東リ NSﾘｱﾙﾃﾞｻﾞｲﾝNW 同等 | 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t16 | (外壁) ｹｲﾐｭｰ ﾌｨﾙﾃｸﾄN・光セラ16 セラトピア ブルウッドFT 同等 |
| 鉄骨柱(吹付ﾛｯｸｳｰﾙ仕様) | 耐火1時間 FP060CN-9460 | 汚垂石 | TOTO ﾊｲﾄﾞﾛセラ・フロア PU(薄型) 同等 | | (柱型) ｹｲﾐｭｰ ﾌｨﾙﾃｸﾄN・光セラ16 セラトピア フィエルテFT 同等 |
| 鉄骨梁(吹付ﾛｯｸｳｰﾙ仕様) | 耐火1時間 FP060BM-9408 | 磁器質ﾀｲﾙ 300角 | LIXIL ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｲｽﾞ ｻﾝﾄﾞｳｫｰｸ 同等 | 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t18 | (外壁) ｹｲﾐｭｰ ﾈｵﾛｯｸ 光セラ セラトピア ブルウッド18 同等 |
| 鉄骨梁(耐火塗料) | 耐火1時間 FP060BM-9419 | ｷｯﾁﾝ | ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ｱｰﾊﾞｽ 同等 | 水性保護塗装 | ｴｽｹｰ化建 セラミクリートSi 同等 |
| 合成ｽﾗﾌﾞ(単純支持) | 耐火1時間 FP060FL-9101 | | (流し台1500、ｺﾝﾛ台600、吊戸棚1500、IHﾋｰﾀｰ 2口IH) | 耐火野地板 | 大和建材工業 ﾀﾞｲﾗｲﾄ 同等 |
| 合成ｽﾗﾌﾞ(連続支持) | 耐火1時間 FP060FL-9095 | ｶｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞ | ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ｴｰﾃﾞﾙ 同等 | ｶﾞﾗｽ手摺 | ﾂﾂﾞｷ ﾗﾙｺﾞ 同等 |
| | | | (ｶｳﾝﾀｰ台1800、吊戸棚1800) | 竪樋 | 井上商事 ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽたてとい 同等 |
| 耐火化粧野地板 | 耐火30分 FP030RF-9126 | 流し台 | ｸﾘﾅｯﾌﾟ ｸﾘﾝﾌﾟﾚﾃｨ 同等 | | |
| 吹付ﾛｯｸｳｰﾙ | 耐火30分 FP030NE-9304 | 面台ﾒﾗﾐﾝ化粧板 | ｱｲｶ工業 ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ 同等 | | |
| | | 防塵塗床 | ｴｰﾋﾞｰｼｰ商会 ｶﾗｰﾄｯﾌﾟU同等 | | |
| (階段)鉄骨 | 告示第1399号 第6-四 | 防滑塗床 | ｴｰﾋﾞｰｼｰ商会 ｶﾗｰﾄｯﾌﾟU同等 | | |
| (屋根スラブ)鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 | 告示第1399号 第5-一 | SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入) | ﾅｶ工業 ﾊｲｽﾃｯﾌﾟ・ｱｰﾄﾀｲﾌﾟ 同等 | 外構 | |
| (外壁)鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 | 告示第1399号 第1-一 | 樹脂製手摺φ34 | ﾅｶ工業 ﾈｵｳｯﾄﾞφ34mm同等 | ｺﾐｽﾄｯｶｰ | 四国化成 ｺﾐｽﾄｯｶｰ PS型 同等 |
| | | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 | ｸﾘﾔﾏｼﾞｬﾊﾞﾝ ﾀﾗﾌﾚｯｸｽ 同等 | ｱﾌﾟﾛｰﾁ屋根 | 四国化成 ﾗｲｽﾞﾙｰﾌⅡ Hﾀｲﾌﾟ 同等 |
| | | 耐火塗料 | ｴｽｹｰ化研 SKﾀｲｶｺｰﾄ 同等 | ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装 | 四国化成 ﾁｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ 緩塗ﾀｲﾌﾟ 同等 |
| | | 緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ | 三洋工業 ｶﾍﾞｯｸｽ(ｵｰﾌﾟﾝﾀｲﾌﾟ) 同等 | ｱﾙﾐ製門扉 | 四国化成 ｽﾀｯｸﾗｲﾝNR1 同等 |
| | | ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用ｸﾛｽ | ｻﾝｹﾞﾂ ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用壁紙 同等 | 真砂土舗装 | 四国化成 ﾏｻﾄﾞﾐｯｸｽ(ﾛｰﾗｰ転圧ﾀｲﾌﾟ) 同等 |
| | | 点字ﾌﾞﾛｯｸ | 杉田ｴｰｽ J303-13 同等 | ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ | 朝日ｽﾁｰﾙ ﾕﾆﾌｪﾝｽ 同等 |
| | | | | ぎせき縁石 | 日本興業 EK-200 同等 |
| | | | | ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ | 日本興業 SAZARE 細石 ｴｺﾛｱｸｱ 同等 |
| | | | | 階段ﾌﾞﾛｯｸ | 日本興業 SPBｼﾘｰｽﾞ 同等 |
| | | | | 上下ﾊﾞﾘｶｰ | 帝金 310C-L 同等 |

## 内部仕上表(屋内運動場)

| 階 | 室名 | 床 ※高さはFL基準 仕上高 | 躯体高 | 下地 | 仕上 | 巾木 仕上 | 高さ | 壁 下地 | 仕上 | 天井 下地 | 仕上 | 廻り縁 | 天井高 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1階 | ﾎｰﾙ | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,700 | 下足入 |
| | (玄関) | -20 | -60 | M | 磁器質ﾀｲﾙ張り 300角<br>床見切り:白御影石60*40 | 白御影石 t20 | 80 | | | | | | 2,720 | |
| | 男子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0 | VH | 60 | L | WB-1G,3 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6<br>(小便器前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5<br>FKt6 EP塗 | 塩ビ | 2,500<br>2,300 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台、汚垂石<br>床下点検口600角 |
| | 女子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0 | VH | 60 | L | WB-1G,3,3G 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台<br>床下点検口600角 |
| | ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0 | VH | 60 | L | WB-1G,2,3,3G 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | 物入 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | 器具庫 | ±0 | -30 | CK | 防塵塗床 | VH | 60 | L | WB-2,3,3G EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 3,000 | 壁掛式器具収納棚<br>床下点検口600角 |
| | 倉庫６ | ±0 | -30 | CK | 防塵塗床 | VH | 60 | L | WB-2,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | |
| | 倉庫７ | ±0 | -30 | CK | 防塵塗床 | VH | 60 | L<br>CK | WB-1G,3 EP塗<br>EP塗 | LC | 化粧PBt9.5<br>鉄部:DP塗 | 塩ビ | 2,300 | |
| | ｱﾘｰﾅ | ±0 | -300 | CK | 鋼製床下地<br>構造用合板t12二重張+合板t5.5<br>ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 | WH 着色UC | 100 | | 1F:緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ<br>ﾌﾞﾅﾋﾟ15(ｵｰﾌﾟﾝﾀｲﾌﾟ)<br>GWt25 32K+寒冷紗裏貼<br>2F:木胴縁 21*45 @450(ﾀﾃﾖｺ)<br>有孔突板合板 t5.5<br>ｼﾅ練付(塗装品)<br>GWt25 32K+寒冷紗裏貼 | | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り<br>硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品<br>立体ﾄﾗｽ：DP塗 工場焼付<br>ｸﾞﾛｰﾌﾞ部：DP塗 現場塗装<br>母屋他鉄部：錆止めの上 SOP塗<br>点検通路下:強化PBt12.5+FKt6 EP塗 | ー | | ｱﾙﾐ製床下換気口 200*1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ |
| | ｽﾃｰｼﾞ | +1,000 | ±0 | CK | 鋼製床下地<br>構造用合板t15二重張<br>VT(木目)t3.0<br>椅子収納部：CK | VH | 60 | L | WB-3 EP塗<br>ﾌﾞﾄﾞｳ棚：SOP塗<br>X1通り壁：WB-3 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用ｸﾛｽ<br>鉄骨梁：耐火塗料塗 | C | 打放し仕上(ﾃﾞｯｷ表し) | ー | ﾌﾞﾄﾞｳ棚ﾏﾃﾞ<br>6,550<br>ｽﾗﾌﾞ下ﾏﾃﾞ<br>8,120 | 椅子収納、舞台吊物、ﾌﾞﾄﾞｳ棚、框、<br>移動式階段、緞帳 |
| | 控室１ | +1,000 | -30 | CK | 鋼製床下地<br>構造用合板t15 二重張りの上<br>VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-3 EP塗 | C | 打放し仕上(ﾃﾞｯｷ表し) | ー | ｽﾗﾌﾞ下ﾏﾃﾞ<br>8,120<br>9,120 | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入 Fｴﾝﾄﾞ)<br>笠木：ﾀﾓ集成t30 UC塗 |
| | | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | | | | | | | | | ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS φ22) |
| | 控室２ | +1,000 | -30 | CK | 鋼製床下地<br>構造用合板t15 二重張りの上<br>VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-3 EP塗 | C | 打放し仕上(ﾃﾞｯｷ表し) | ー | ｽﾗﾌﾞ下ﾏﾃﾞ<br>8,120<br>9,120 | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入 Fｴﾝﾄﾞ)<br>笠木：ﾀﾓ集成t30 UC塗 |
| | | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | | | | | | | | | |
| 2階 | ﾎｰﾙ | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,700 | |
| | 小会議室 | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗<br>流し台前:化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,700 | 流し台、面台 |
| | 倉庫５ | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS φ22) |
| | 物入 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | 多目的教室 | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,700 | |
| | EPS | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | ー | | L | WB-3 あらわし | | 打放し仕上(ﾃﾞｯｷ表し) | | | |
| | 点検通路 | | | CK | 防塵塗床 | WH 着色UC | 100 | | 緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ(不燃) 板厚18 | LC | 梁下:FKt6 EP塗 | | | 手摺、暗幕 |
| 共通 | 階段室 | ±0 | -30 | MK | 踏面:VT(木目)t3.0<br>蹴上:VT(木目)t3.0<br>点字ﾌﾞﾛｯｸ | VH | 60 | L | WB-1,1G,2,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | ー | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入 Fｴﾝﾄﾞ)<br>鉄部見え掛り:DP塗<br>面台:ﾀﾓ集成材t30 UC塗 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士: 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 仕上表-1 | 縮尺 | A1: ー<br>A3: ー |

図面番号 A-015

# 内部仕上表（放課後児童クラブ）

| 階 | 室名 | 床 ※高さはFL基準 仕上高 | 躯体高 | 下地 | 仕上 | 巾木 仕上 | 高さ | 壁 下地 | 仕上 | 天井 下地 | 仕上 | 廻り縁 | 天井高 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1階 | 玄関ﾎｰﾙ | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 下足入<br>掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) |
| | (玄関) | -20 | -60 | M | 磁器質ﾀｲﾙ張り 300角<br>床見切り:白御影石60*40 | 白御影石 t20 | 80 | | | | | | 2,720 | |
| | 廊下 | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)<br>流し台、縦格子(県産木材)<br>床下点検口600角 |
| | 職員室 | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 行事用白板1800*950(既存流用) |
| | 給湯室 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗<br>D面:WB-3 化粧FKt6.0 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,500 | ｷｯﾁﾝｾｯﾄ(流し台、ｺﾝﾛ台、IHｺﾝﾛ、<br>吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ)<br>ｶｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞ(ｶｳﾝﾀｰｷｬﾋﾞﾈｯﾄ、吊戸棚) |
| | 倉庫２ | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | 静養室 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | 学習室(1,2年) | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>可動間仕切り |
| | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3,3G EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>ｱﾙﾐ製ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ(w150 L3500) |
| | 男子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0<br>床見切り(FB-4*12) | VH | 60 | L | WB-1G,2,3 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6<br>(小便器前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台、汚垂石<br>床下点検口600角 |
| | 女子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0<br>床見切り(FB-4*12) | VH | 60 | L | WB-1G,3,3G 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台<br>床下点検口600角 |
| | ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0 | VH | 60 | L | WB-1G,2,3 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | 床下点検口600角 |
| | 倉庫１ | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-3,3G EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 床下点検口600角 |
| | 階段下倉庫 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,2 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5<br>鉄部:DP塗 | 塩ビ | 2,700 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 2階 | 廊下 | ±0 | -30 | CK | VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)<br>流し台 |
| | 多目的ｽﾍﾟｰｽ | ±0 | -30 | CK | TCt6.5<br>床見切り(FB-4*12) | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | 掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)<br>教材ﾛｯｶｰ<br>ｽﾃﾝﾚｽ手摺(φ42.7) |
| | 学習室(3,4,5,6年) | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ、造作掲示板、可動間仕切り<br>ｽﾃﾝﾚｽ手摺(φ42.7) |
| | 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | ±0 | -30 | CK | TCt6.5 | VH | 60 | L | WB-1,3,3G EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ、造作掲示板<br>ｽﾃﾝﾚｽ手摺(φ42.7) |
| | 男子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0<br>床見切り(FB-4*12) | VH | 60 | L | WB-1G,2,3 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6<br>(小便器前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台、汚垂石 |
| | 女子便所 | ±0 | -30 | CK | VS(抗菌)t2.0<br>床見切り(FB-4*12) | VH | 60 | L | WB-1G,3,3G 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、面台 |
| | 配膳室 | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗、化粧FKt6 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,500 | ｷｯﾁﾝｾｯﾄ(流し台、ｺﾝﾛ台、IHｺﾝﾛ、<br>吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ) |
| | 倉庫３ | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-3,3G EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | |
| | 倉庫４ | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,2 EP塗 | LC | 化粧PBt9.5 | 塩ビ | 2,700 | ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS φ22) |

| 階 | 室名 | 床 ※高さはFL基準 仕上高 | 躯体高 | 下地 | 仕上 | 巾木 仕上 | 高さ | 壁 下地 | 仕上 | 天井 下地 | 仕上 | 廻り縁 | 天井高 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2階 | 物入<br>(2箇所) | ±0 | -30 | CK | VSt2.5 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | 化粧PB t9.5 | 塩ビ | 2,500 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 共通 | 階段室 | ±0 | -30 | CK<br>MK | VT(木目)t3.0<br>踏面:VT(木目)t3.0<br>蹴上:VT(木目)t3.0 | VH | 60 | L | WB-1,2,3 EP塗 | LC | (最上部)化粧PB t9.5 | 塩ビ | ― | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入 Fｴﾝﾄﾞ)<br>鉄部見え掛り:DP塗<br>点字ﾌﾞﾛｯｸ |

## 外部仕上表

| 部位 | | 仕上 | 部位 | | 仕上 |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根 | 屋根 | 化粧耐火野地板(ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼 硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20) T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 | 広場 | 屋根 | 膜屋根：酸化ﾁﾀﾝ光触媒微粒子含有 (不燃認定材) |
| | | ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 裏貼ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt4.0 ﾊﾋﾞ式縦平葺き金属屋根(ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5) | | 床 | ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装、透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ |
| | 軒先 | 屋根同材曲げ加工 | | | U形側溝、ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(w300 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-14) |
| | 軒天 | 屋根同材曲げ加工 | | | 300角集水桝、ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(400角 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-14) |
| | ｹﾗﾊﾞ 唐草 | 屋根同材曲げ加工 | 犬走り | 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ごて仕上、ｽﾛｰﾌﾟ：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き仕上 |
| | 棟包み | 屋根同材曲げ加工 | | 手摺 | SUS304 φ34×1.5 HL |
| とい | 内樋 | ｽﾁｰﾙ防水樋t0.6、落し口(落ち葉除け付)φ89 | 足洗い場 | 床 | ﾓﾙﾀﾙ下地 50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ、ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ400角(細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ) |
| | 竪樋 | ｱﾙﾐ製(t1.3 φ89 ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ) | | 壁 | CK下地 50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ、CK打放し 撥水材塗布 |
| | ﾄﾞﾚﾝ | ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ(鋳鉄 100用)、横引ﾄﾞﾚﾝ(鋳鉄 100用)、中継ﾄﾞﾚﾝ(鋳鉄 100用) | 手洗い場 | 床 | CK 金ごて仕上 |
| | | | | 壁 | CK下地 50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ、CK打放し 撥水材塗布 |
| 屋上(児童ﾌﾟﾗﾌﾞ) | 床 | CK ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(断熱・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上 A1-1仕様)、立上り:砂付きﾙｰﾌｨﾝｸﾞ露出工法 | 駐車場 | 床 | ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装、ﾗｲﾝ引き、車止めﾌﾞﾛｯｸ |
| | | 断熱材：ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt30、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ：溶接金網φ6-150*150 普通ｺﾝｸﾘｰﾄt80 | | | ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、上下ﾊﾞﾘｶｰ、縁石 |
| | その他 | ｱﾙﾐ笠木、ｱﾙﾐ水切り、屋上点検口(ｽﾃﾝﾚｽ角型屋根ﾏﾝﾎｰﾙ600角) | | | |
| 屋上(ｽﾃｰｼﾞ) | 床 | CK ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(断熱・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上 A1-1仕様)、立上り:砂付きﾙｰﾌｨﾝｸﾞ露出工法 | 囲障 | 壁 | CK打放し 撥水材塗布 |
| | | 断熱材：ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt30、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ：溶接金網φ6-150*150 普通ｺﾝｸﾘｰﾄt80 | | | ｱﾙﾐ製門扉、校銘板、ﾌｪﾝｽ |
| | その他 | ｱﾙﾐ笠木、ｱﾙﾐ水切り、屋上点検口(ｽﾃﾝﾚｽ角型屋根ﾏﾝﾎｰﾙ600角) | | | |
| 屋上(ｱﾘｰﾅ) | 床 | CK ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(断熱・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上 A1-1仕様)、立上り:砂付きﾙｰﾌｨﾝｸﾞ露出工法 | 花壇 | | CK下地 自然石張り(支給品) |
| | | 断熱材：ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt30、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ：溶接金網φ6-150*150 普通ｺﾝｸﾘｰﾄt80 | | | 花崗土、植栽 |
| | その他 | ｱﾙﾐ笠木、ｱﾙﾐ水切り、屋上点検口(ｽﾃﾝﾚｽ角型屋根ﾏﾝﾎｰﾙ600角) | | | |
| 庇 | 天端 | CK 塗膜防水(X-2) | その他 | | ｺﾞﾐｽﾄｯｶｰ(w1800 d700 h1200)×2台 |
| | 先端 | CK 水性保護塗装 | | | ｱﾌﾟﾛｰﾁ屋根(間口2000、間口2600) |
| | 軒裏 | CK 水性保護塗装 | | | ﾓﾆｭﾒﾝﾄ移設(基礎新設) |
| 外壁 | 1F腰 | CK 水性保護塗装 | | | ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎、室外機基礎、ﾊﾞﾙｸ基礎、ｺﾞﾐ置場基礎 |
| | 1～2F | 鉄骨胴縁下地 強化PBt15+強化PBt15 防水ｼｰﾄ 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt16(木目柄 横張り) | | | 真砂土舗装 |
| | RF | 鉄骨胴縁下地 繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 総厚20 ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙt1.0 | | | |
| | 立上りRC | CK 水性保護塗装 | | | |
| | 梁下 | LC(25) FKt6 目透かし NAD塗 | | | |
| 屋外階段 | 床 | MK防滑塗床<br>鉄部：DP塗 | | | |
| 2F連絡通路 | 床 | CK VS(防滑性)t2.5 | | | |
| | 手摺 | ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗｽ手摺(合わせｶﾞﾗｽ 強化t4+強化t4)、飛散防止ﾌｨﾙﾑ(ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝ) | | | |

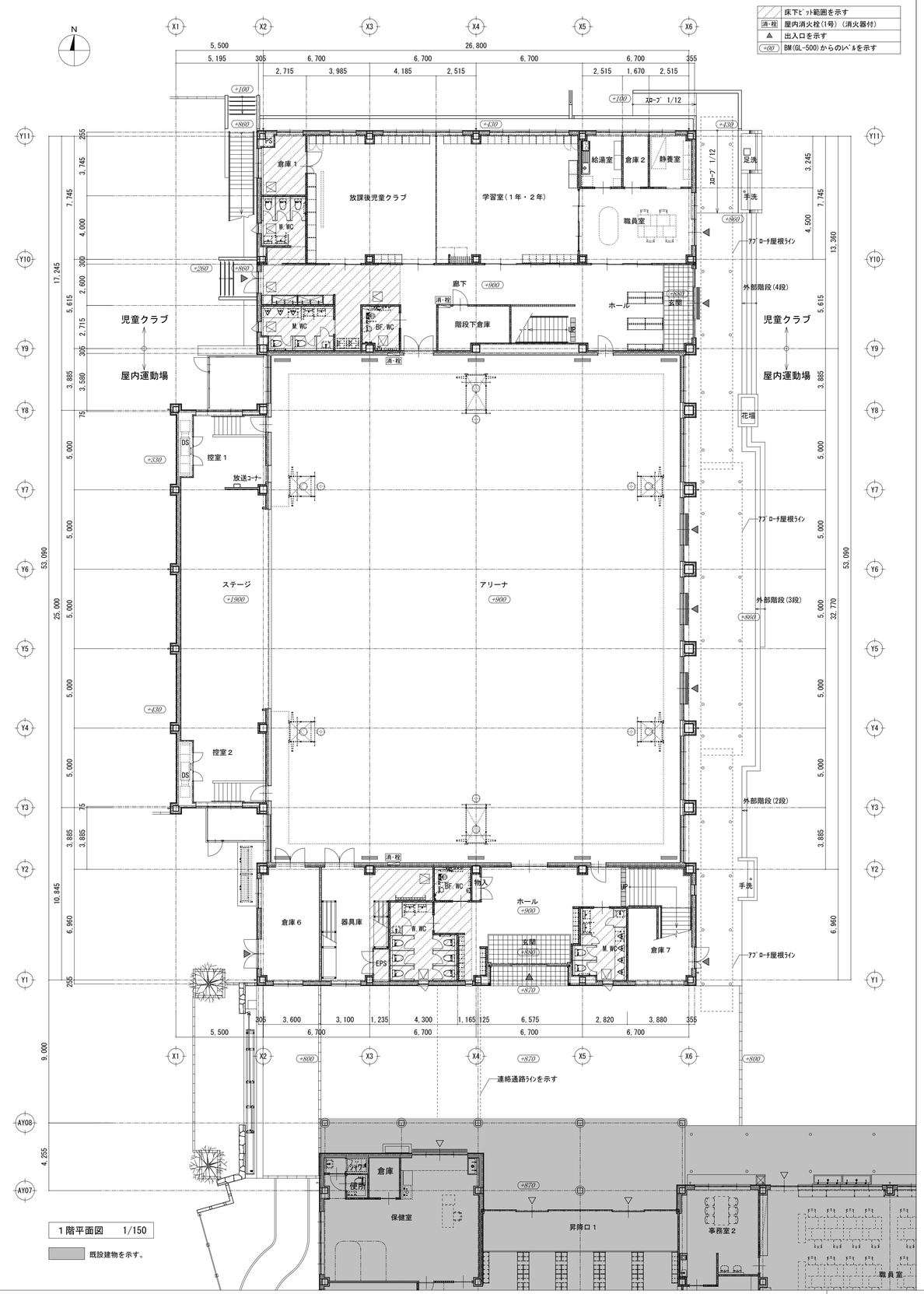
記事

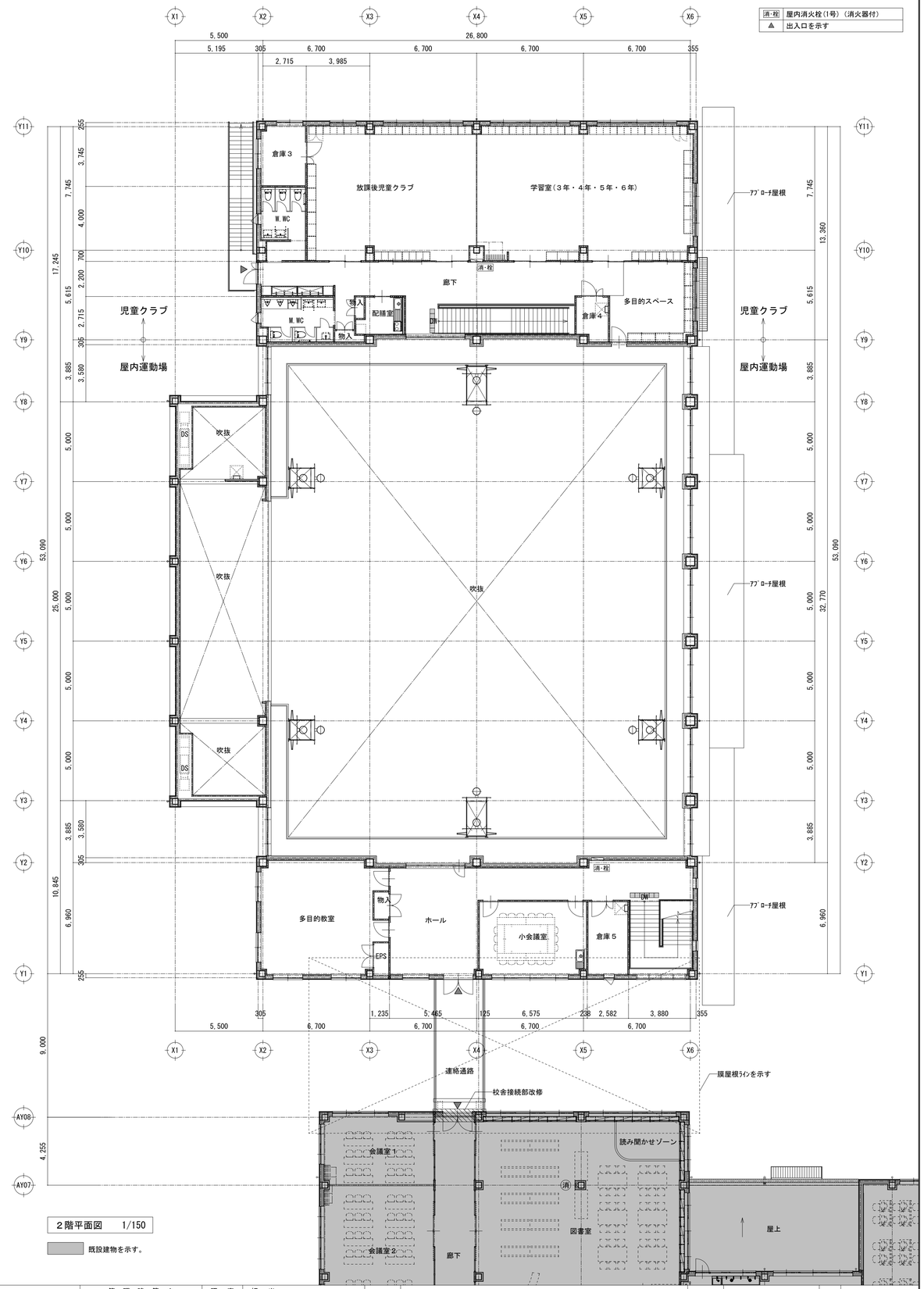
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

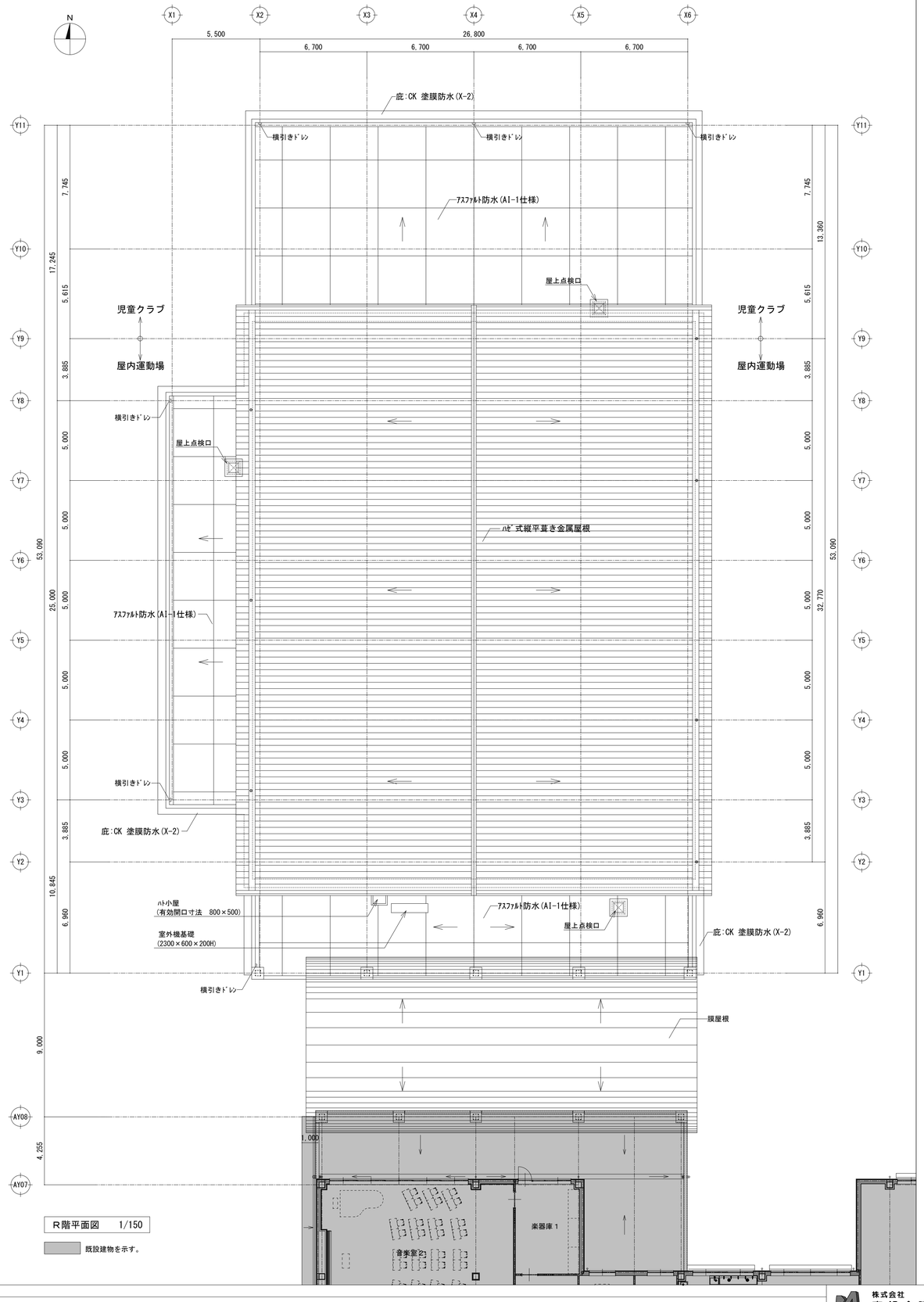
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 仕上表-2 | 縮尺 | A1： ― <br> A3： ― |

図面番号 A-016




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | 図面名 | １，２階平面図 | 縮尺 | A1: 1/150 A3: 1/300 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-017 |

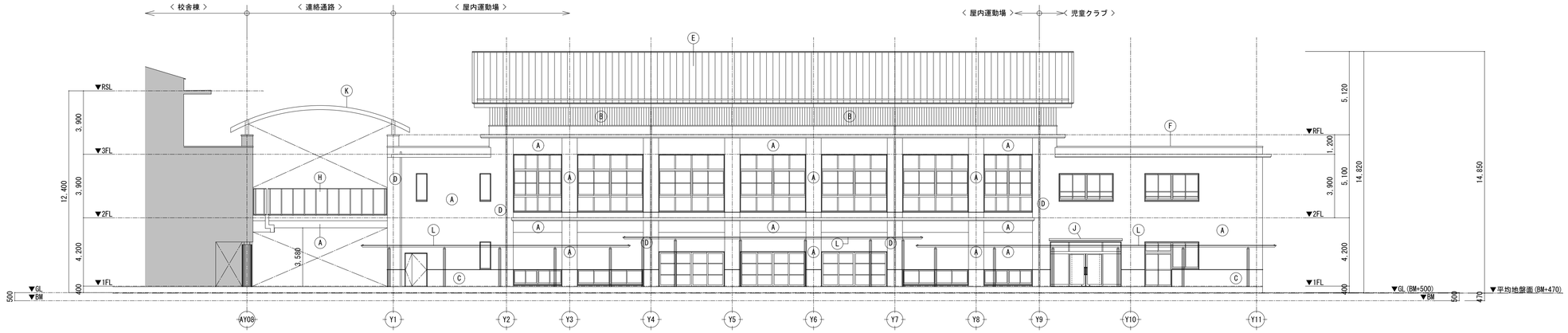



R階平面図　1/150

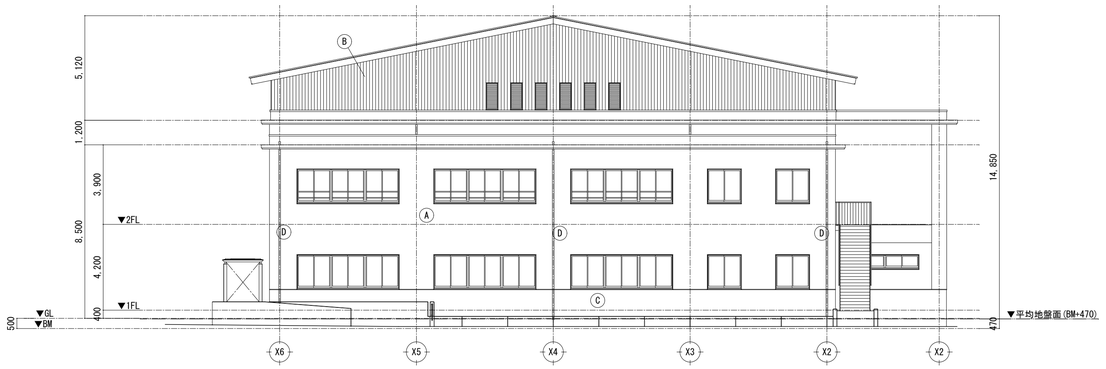
既設建物を示す。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森　真洋 | | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-018 |
| | | | | | | | 図面名 | R階平面図 | 縮尺 | A1:　1/150<br>A3:　1/300 | | |

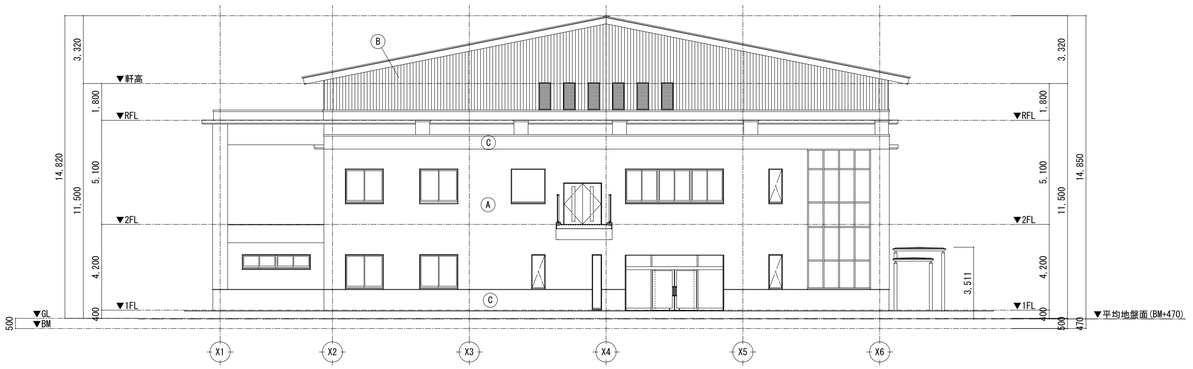
| 符号 | 仕　上 | 符号 | 仕　上 | 符号 | 仕　上 | 符号 | 仕　上 | 符号 | 仕　上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 強化PBt15+強化PBt15 防水ｼｰﾄの上　窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt16 横張り | E | ﾊﾞｾﾞ式緩平葺き金属屋根(ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5) | I | 鉄部 DP塗 | M | | | |
| B | 繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t20　ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙt1.0 | F | ｱﾙﾐ製笠木 | J | ｱﾙﾐ製庇　出幅600 | N | | | |
| C | CK 水性保護塗装(ｴｽｹｰ化研 ｾﾗﾐｸﾘｰﾄSi同等) | G | 土台水切り | K | 膜屋根 | O | | | |
| D | 竪樋：ｱﾙﾐ製(t1.3 φ89 ﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽ) | H | ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗｽ手摺(合わせｶﾞﾗｽ 強化t4+強化t4) | L | ｱﾌﾟﾛｰﾁ屋根(四国化成 ﾗｲｽﾞﾙｰﾌⅡ Hﾀｲﾌﾟ 同等) | P | | | |



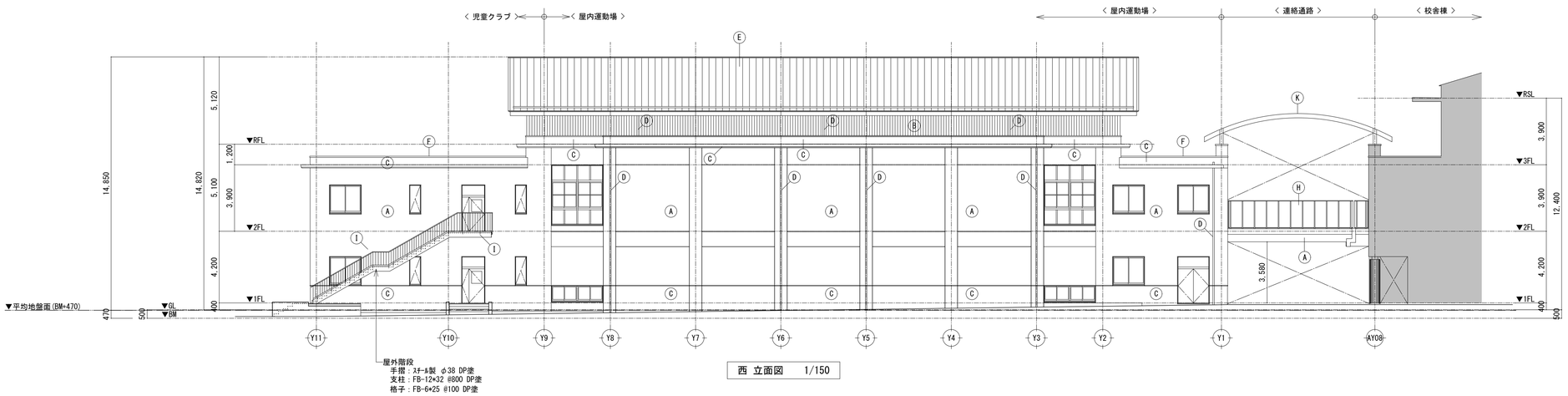

東 立面図　1/150




北 立面図　1/150




南 立面図　1/150




屋外階段
手摺：ｽﾁｰﾙ製 φ38 DP塗
支柱：FB-12*32 @800 DP塗
格子：FB-6*25 @100 DP塗

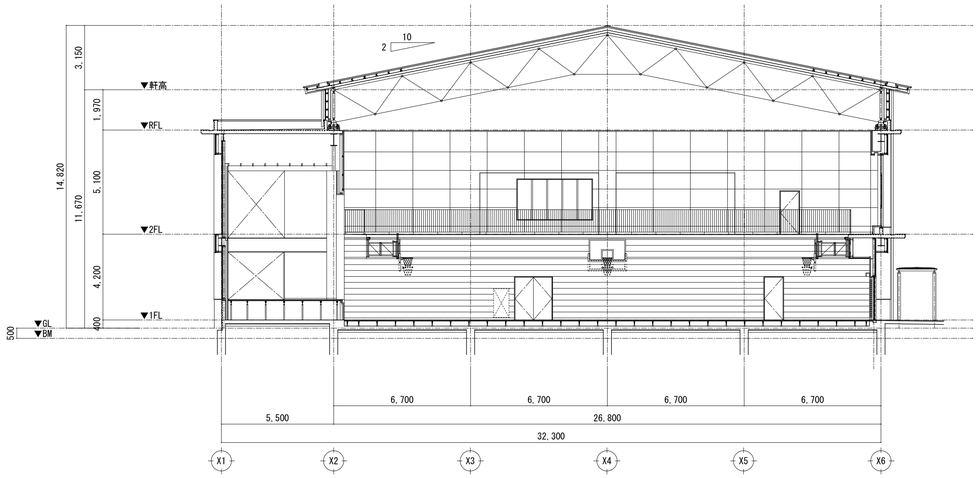
西 立面図　1/150

記事

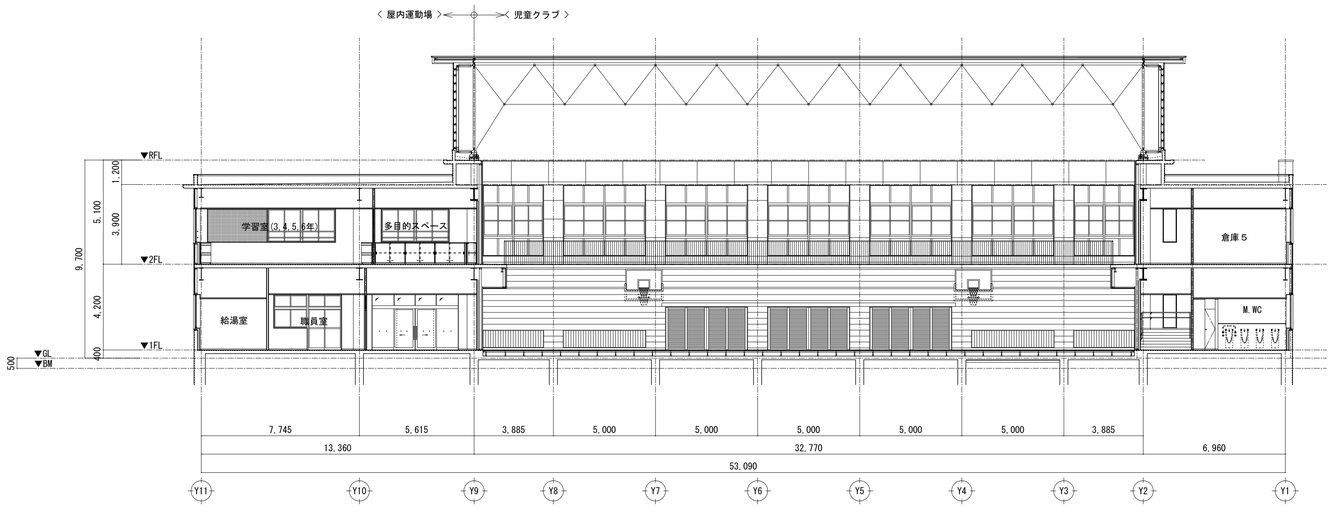
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 36127号 森 真洋
照査
担当

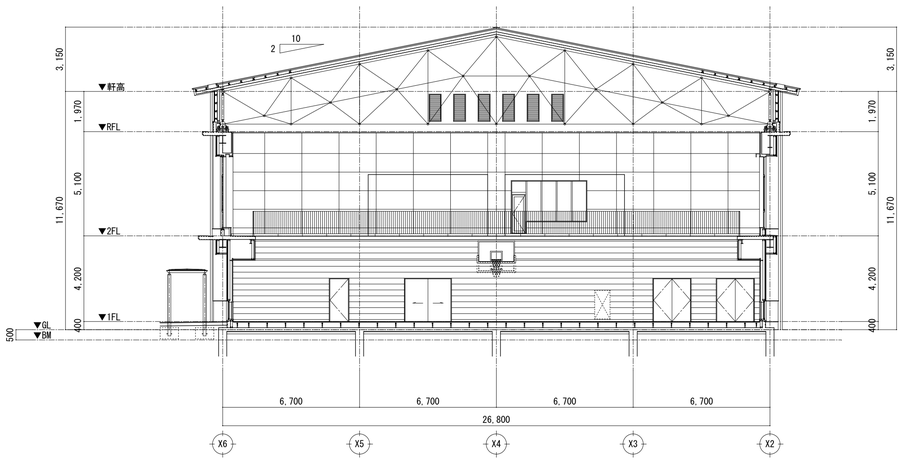
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| 図面名 | 立面図 | 縮尺 | A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | 図面番号 | A-019 |



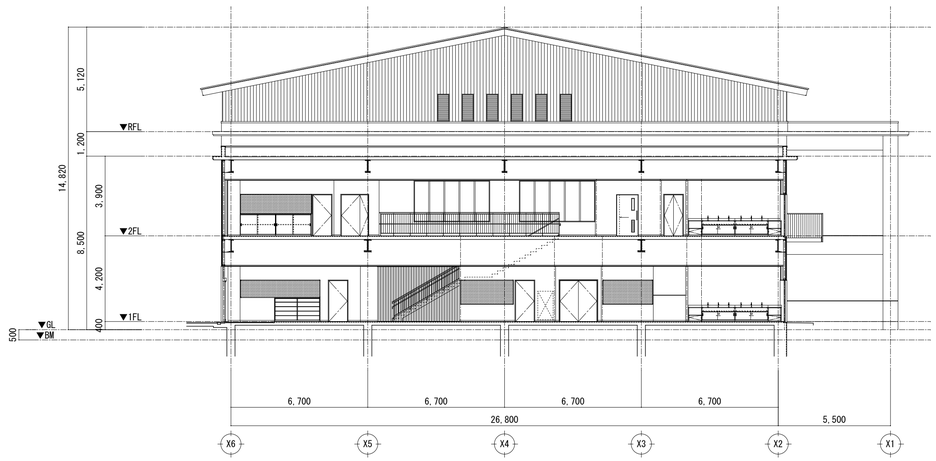

A-A 断面図　1/150



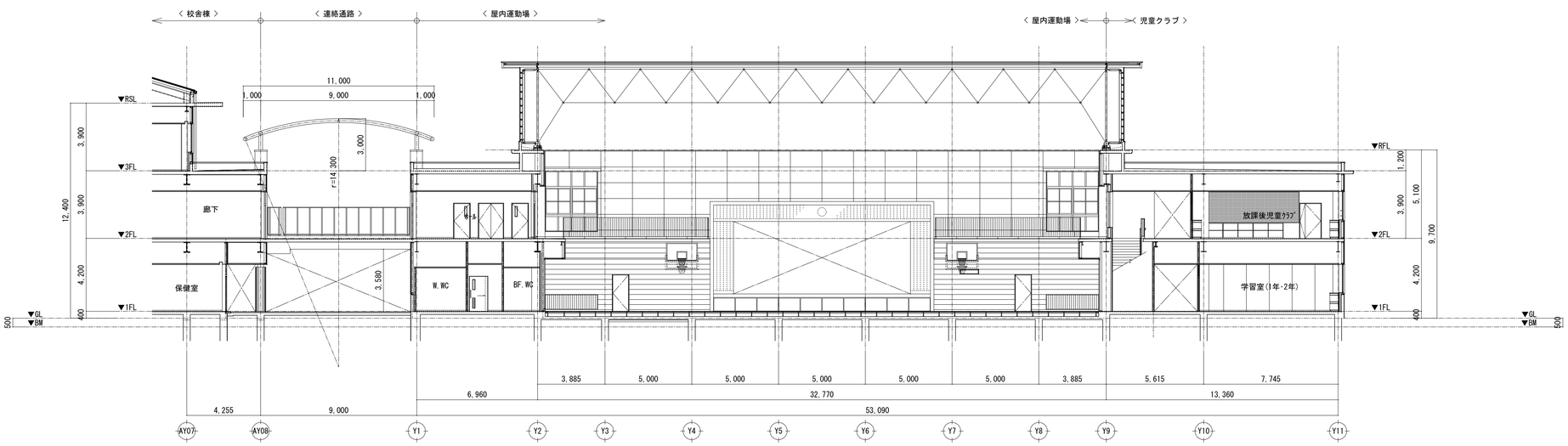

B-B 断面図　1/150



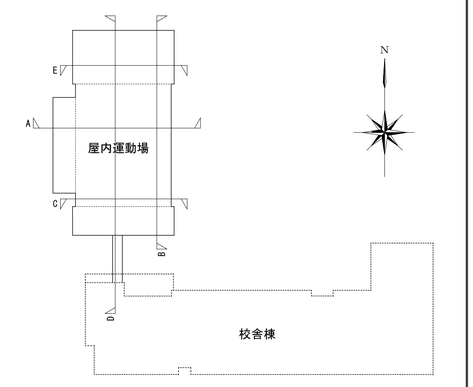

C-C 断面図　1/150




E-E 断面図　1/150

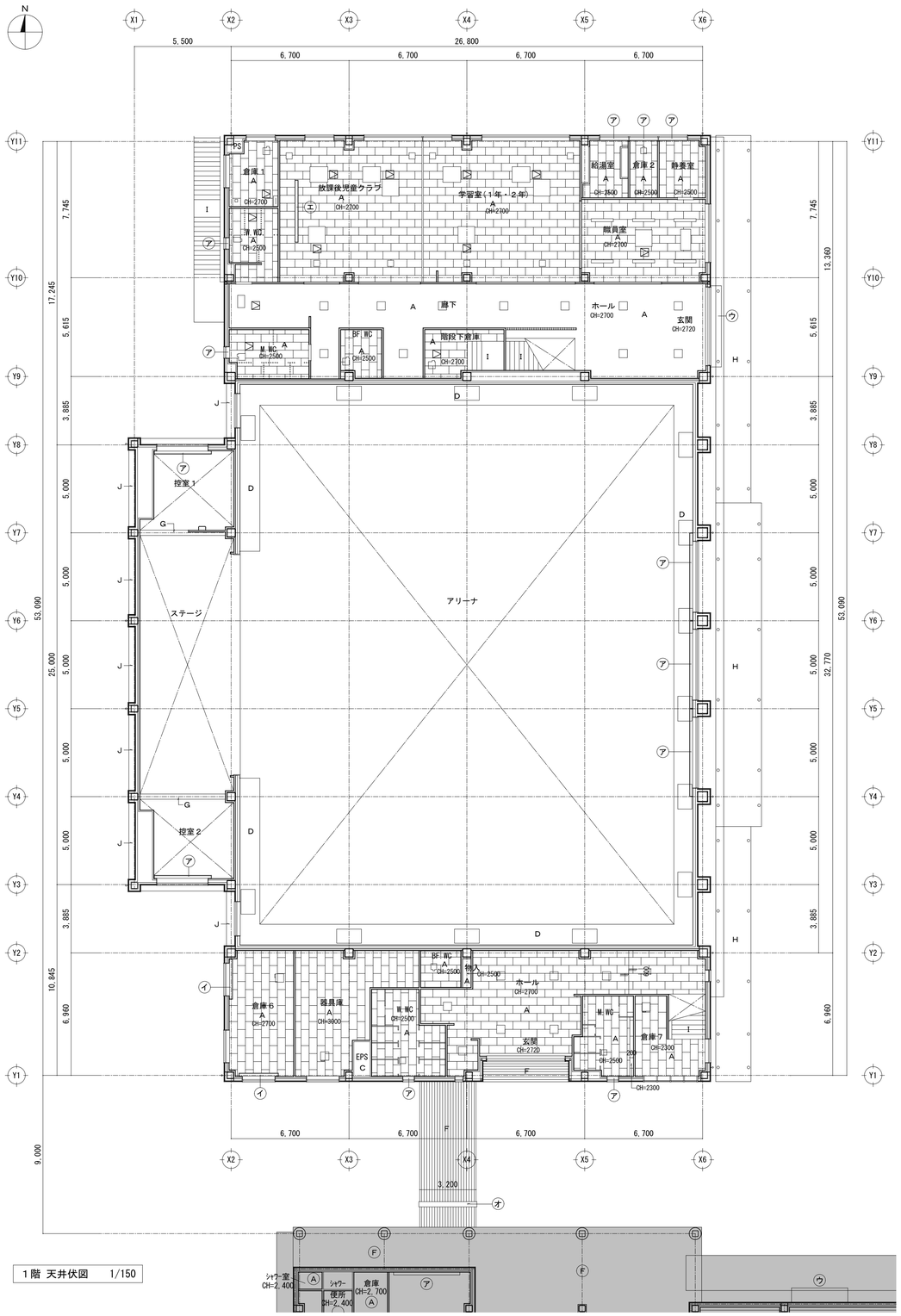



D-D 断面図　1/150

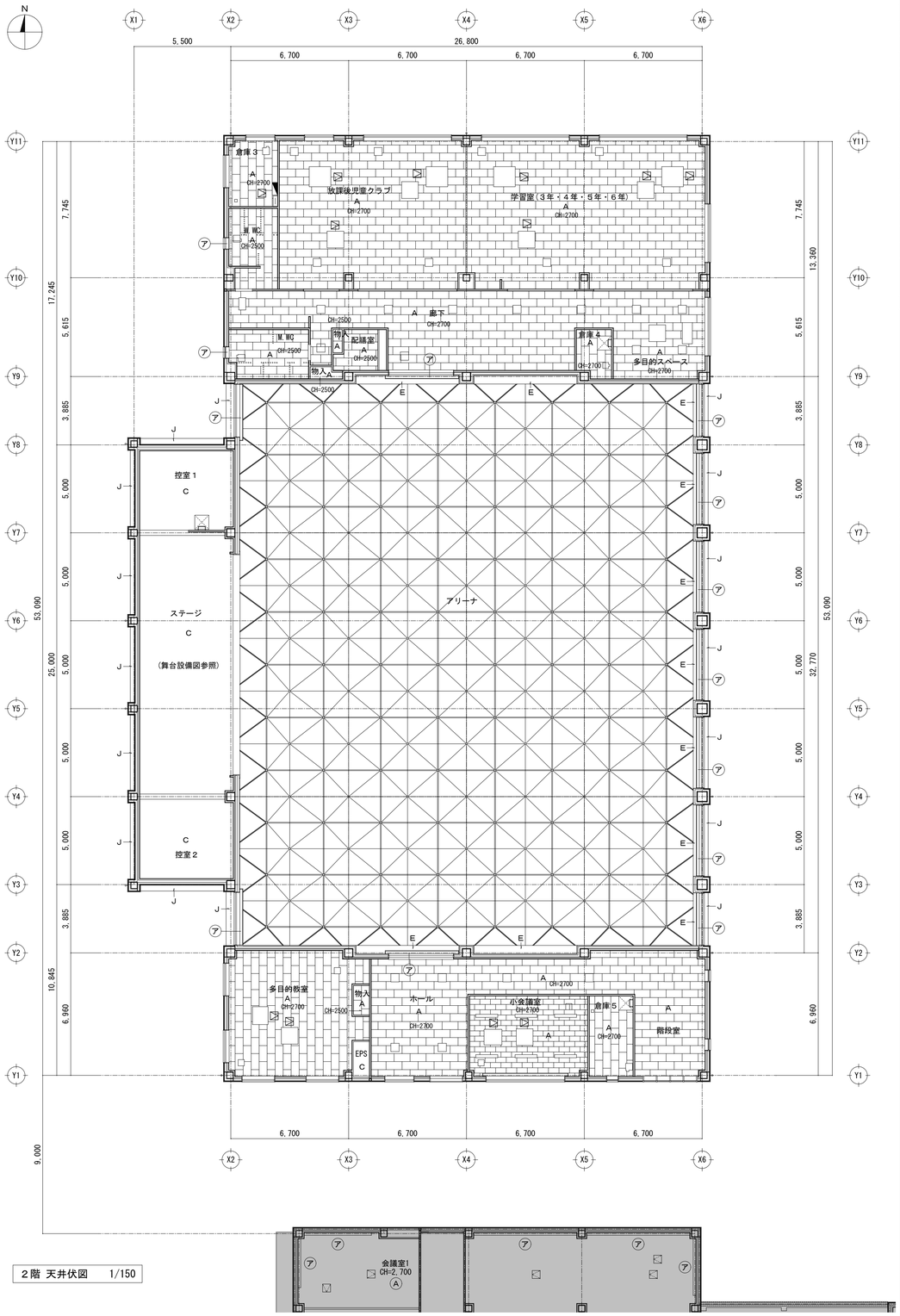



〈 断面ｷｰﾌﾟﾗﾝ 〉

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 断面図 | 縮尺 | A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-020 |




1階 天井伏図　1/150




2階 天井伏図　1/150

## 天井仕上凡例

| | |
|---|---|
| A | 軽天19形下地　化粧ＰＢt9.5 |
| B | 軽天19形下地　ＰＢt9.5＋ＲＢt9 |
| C | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（ﾃﾞｯｷあらわし） |
| D | 軽天19形下地　強化PBt12.5+FKt6 EP塗 |
| E | 軽天19形下地　FKt6 EP塗 |
| F | 軽天25形下地　ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t1.0 |
| G | 鉄骨梁:耐火塗料(1時間) |
| H | ｱﾙﾐ押出形材 |
| I | 鉄部:DP塗 |
| J | 軽天25形下地　FKt6 目透かし NAD塗 |
| | |
| ア | 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:ｼﾅ合板ﾌﾗｯｼｭ SOP塗 |
| イ | ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ |
| ウ | ｱﾙﾐ製庇 |
| エ | ｱﾙﾐ製ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ(支給品) |
| オ | ｱﾙﾐ製EXP. Jﾊﾞｰ |
| | |
| | 天井点検口 450角 |

## 天井設備開口

| | | 1F | 2F | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 機械設備 | □150 | 1 | | 1 |
| | □180 | 1 | | 1 |
| | □200 | 1 | 2 | 3 |
| | □205 | | 1 | 1 |
| | □250 | 1 | | 1 |
| | □260 | 3 | 2 | 5 |
| | □300 | 1 | | 1 |
| | □315 | 4 | 2 | 6 |
| | □350 | 9 | 4 | 13 |
| | □395 | 2 | | 2 |
| | □450 | | 8 | 8 |
| | □900 | 5 | 7 | 12 |
| | □700*400 | 1 | 1 | 2 |
| | □700*625 | 1 | 1 | 2 |
| | □1340*618 | 14 | | 14 |
| 電気設備 | □450 | 19 | 18 | 37 |
| | □150*1235 | 6 | 6 | 12 |

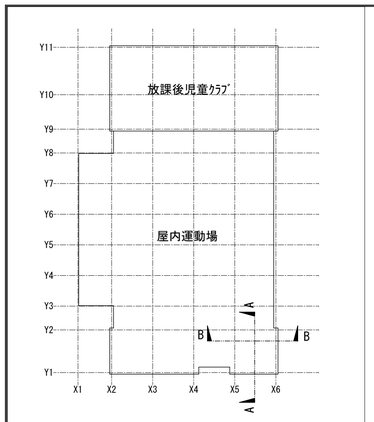
（備考）
※設備開口位置は、設備図面参照のこと。
※天井総合図承認後に施工すること。

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

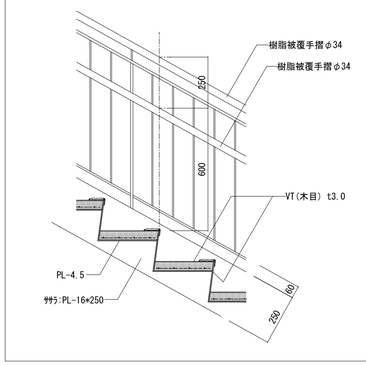
管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

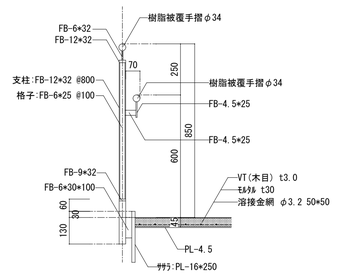
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 天井伏図 | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 |
| | | 図面番号 | A-021 |

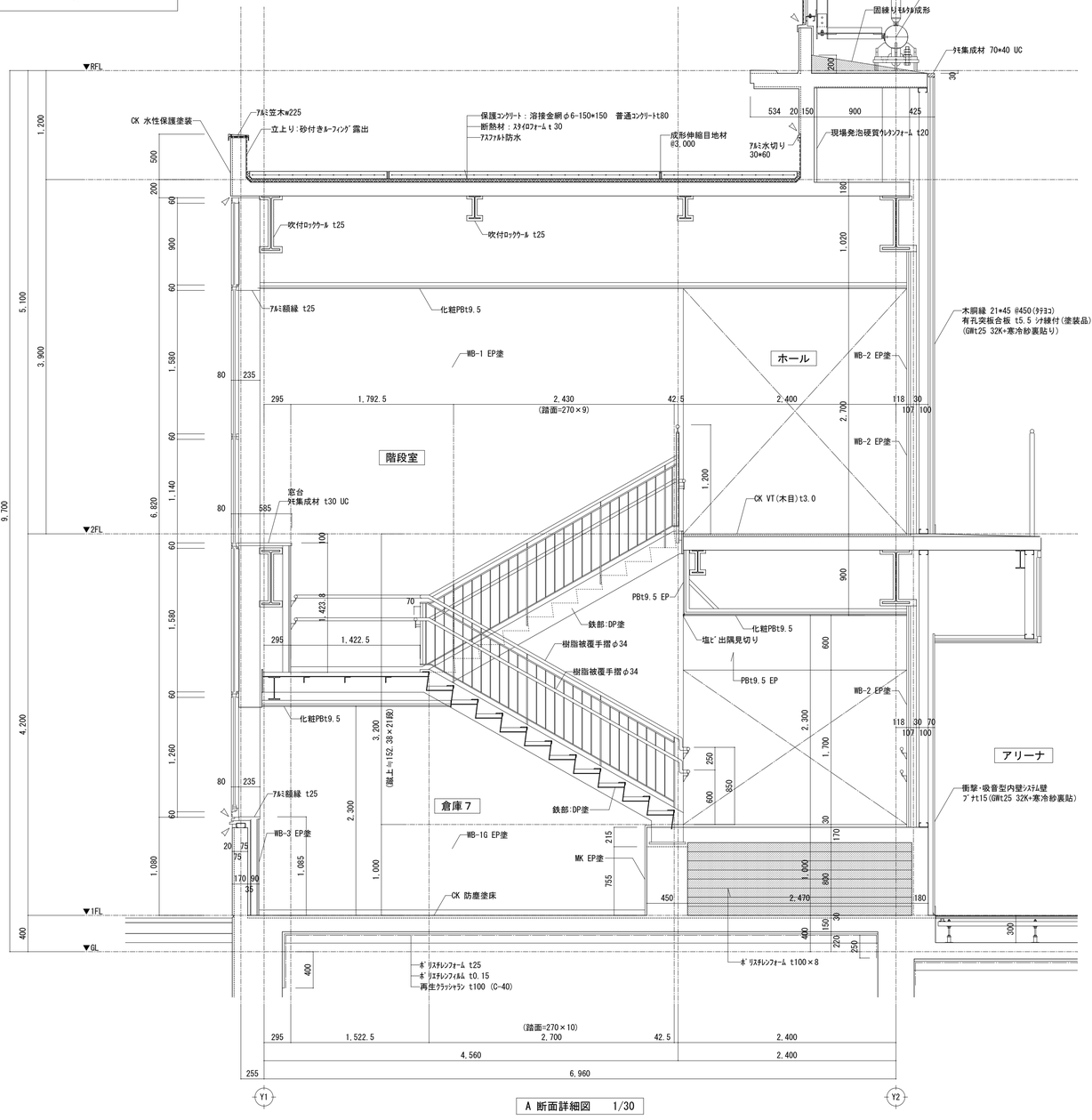



## 階段手摺 詳細図　1/15

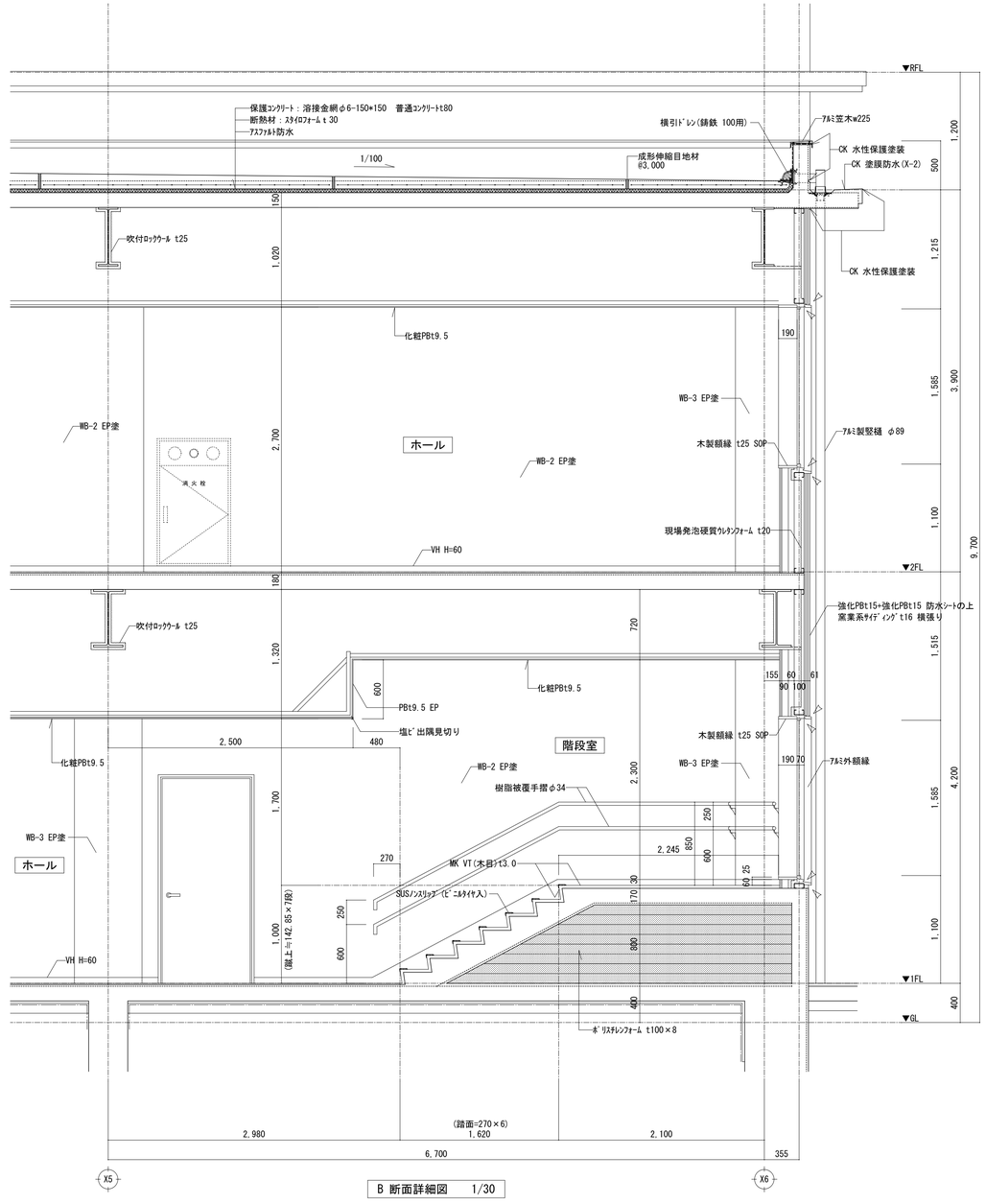
※鉄部見え掛り 全てDP塗(ｶﾞﾘｳﾚﾀﾝ)とする。



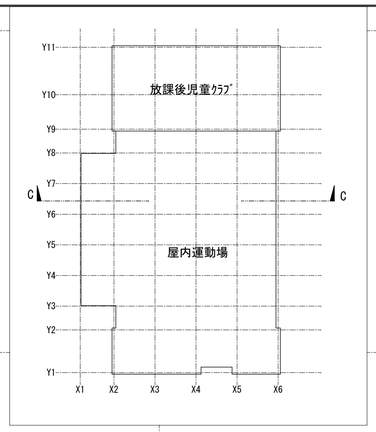



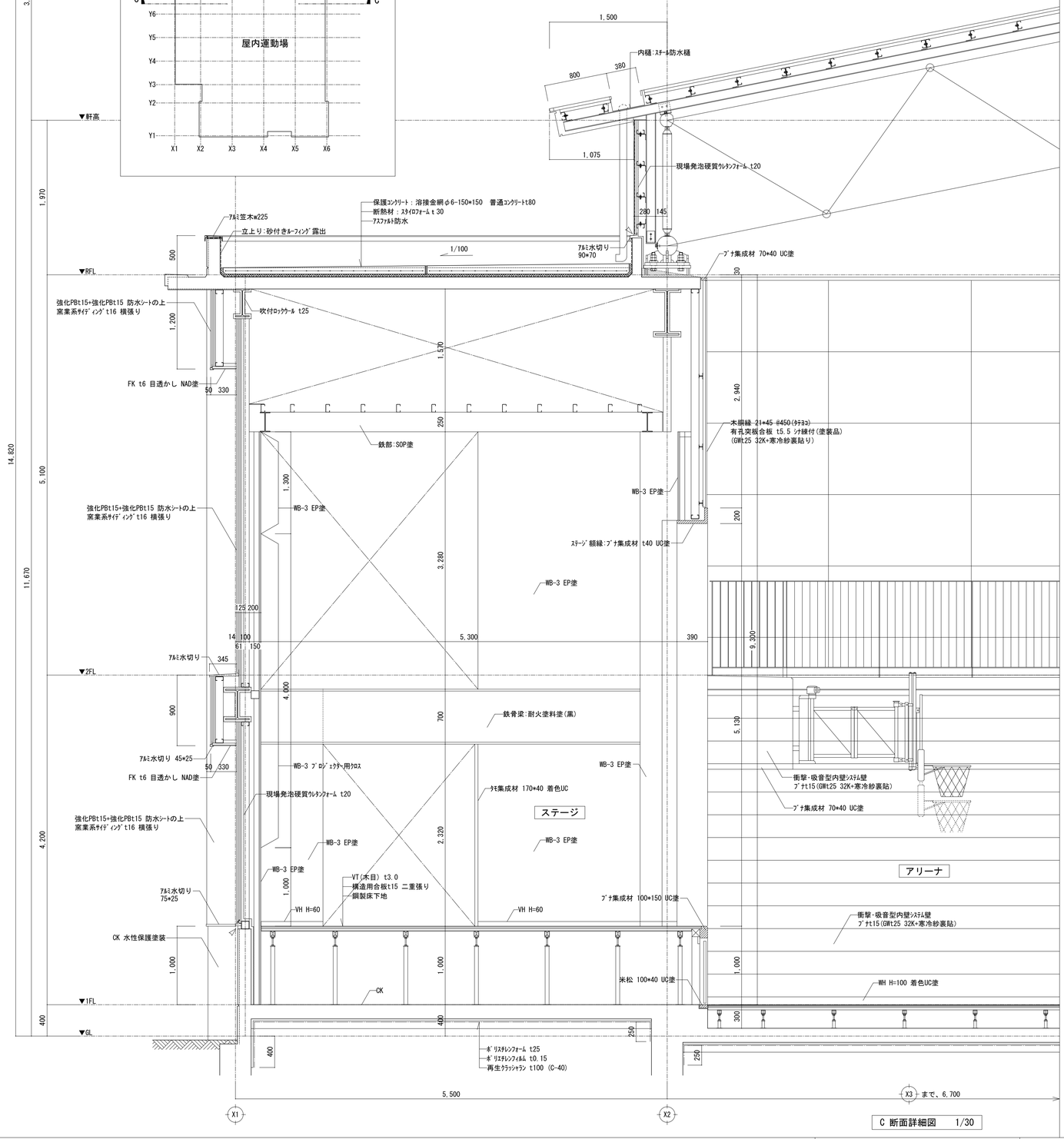

A 断面詳細図　1/30



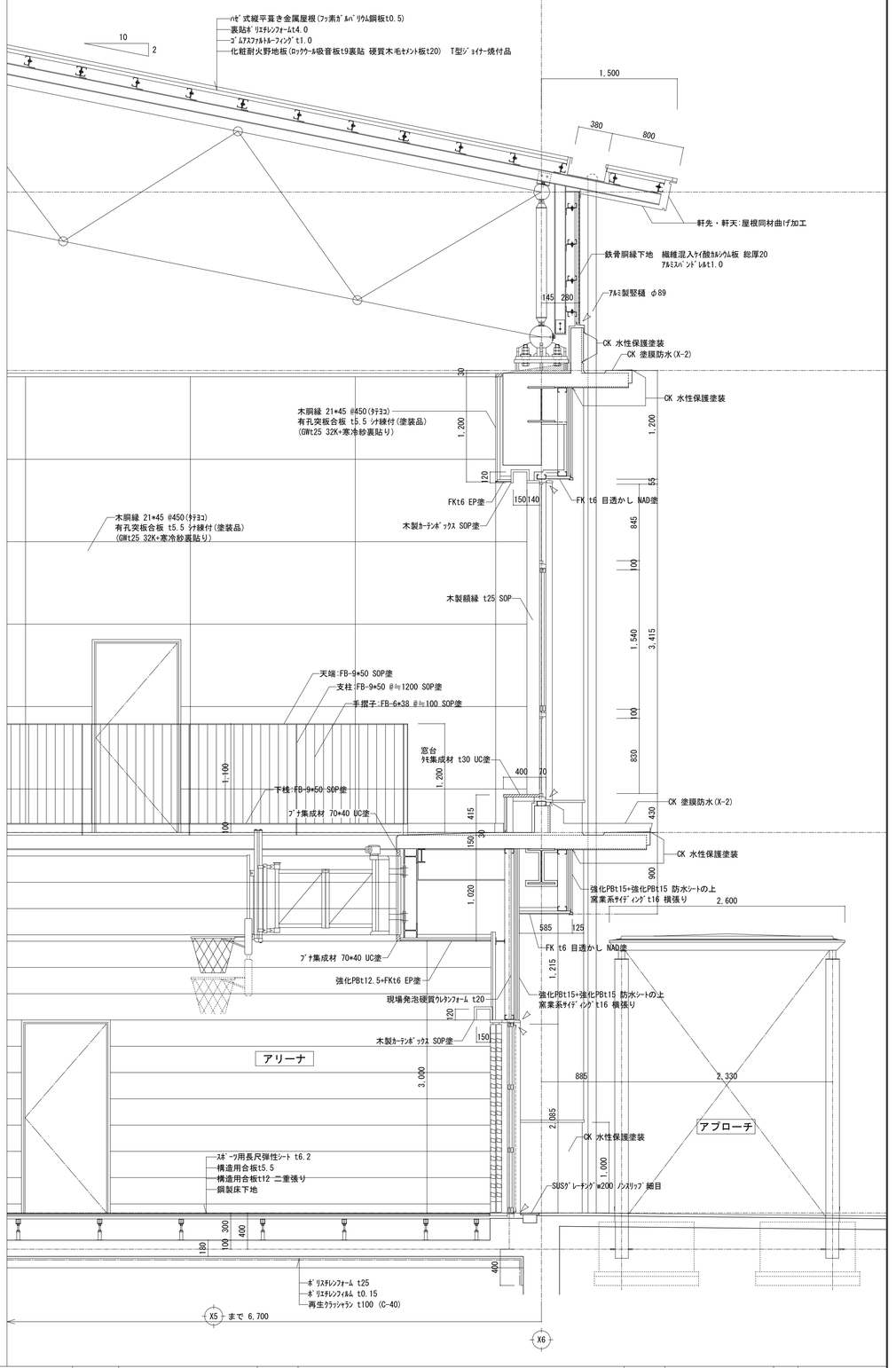

B 断面詳細図　1/30

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 矩計図-1 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-022 |

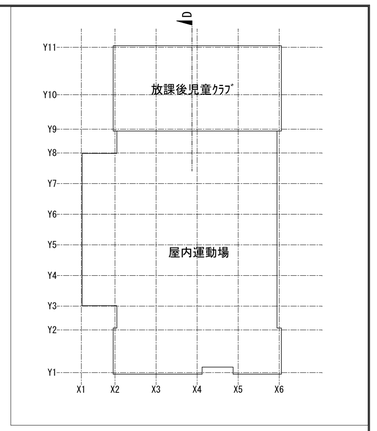



C 断面詳細図 1/30



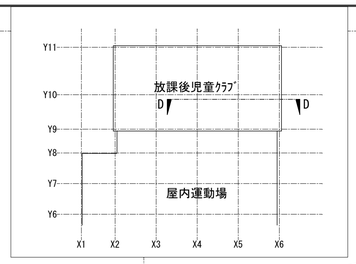

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 令和 7年 3月 |
| | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | | 図面名 | 矩計図-2 | 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 |
| | | | | | | | 図面番号 A-023 |




現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t20
750
125
70
50
1,200
ｱﾙﾐ水切り 50*70
固練りﾓﾙﾀﾙ成形
CK 水性保護塗装
CK 塗膜防水(X-2)
ﾌﾞﾅ集成材 70*40 UC塗
CK 水性保護塗装
150
20
534
現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t20
ｱﾙﾐ水切り 30*60
木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP塗
145
保護ｺﾝｸﾘｰﾄ：溶接金網φ6-150*150　普通ｺﾝｸﾘｰﾄt80
断熱材：ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ t 30
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水
1/100
成形伸縮目地材 @3,000
ｱﾙﾐ笠木w225
▼RFL
1,200
500
534
1,215
5,100
3,900
1,585
9,700
5,070
木胴縁 21*45 @450(ﾀﾃﾖｺ)
有孔突板合板 t5.5 ｼﾅ練付(塗装品)
(GWt25 32K+寒冷紗裏貼り)
WB-2 EP塗
FKt6 EP塗
1,020
WB-1 あらわし
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
700
化粧PBt9.5
30
25
675
80
955
940
2,700
1,060
廊　下
放課後児童クラブ
木製額縁 t25 SOP
540
190
70
ｽﾃﾝﾚｽ手摺 φ42.7
300
200
1,100
1,950
WB-1 EP塗
80 100 147
木製額縁 t25 SOP
木製額縁 t25 SOP
720
815
150
30
180
▼2FL
ﾌﾞﾅ集成材 70*40 UC塗
80 100
1,600
ﾌﾞﾅ集成材 70*40 UC塗
強化PBt12.5+FKt6 EP塗
WB-1 あらわし
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
WB-1 あらわし
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
強化PBt15+強化PBt15 防水ｼｰﾄの上
窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt16 横張り
1,515
現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t20
ｱﾙﾐ製竪樋 φ89
2,600
300
化粧PBt9.5
化粧PBt9.5
化粧PBt9.5
WB-1 EP塗
WB-3 EP塗
70
255
255
65
21
100
WB-2 EP塗
階段下倉庫
廊　下
WB-3 EP塗
学習室(1年・2年)
540
190
70
4,200
3,000
3,000
2,700
2,700
2,700
2,000
現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t20
CK 水性保護塗装
MH H=100 着色UC塗
VH H=60
VH H=60
▼1FL
300
100
400
400
▼GL
70
430
500
▼TBM
2,715
2,600
300
3,885
5,615
7,745
Y8
Y9
Y10
Y11

D 断面詳細図　1/30

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 令和 7年 3月 |
| | | | | | 図面名 | 矩計図-3 | 縮尺 A1：1/30 A3：1/60 |
| | | | | | | | 図面番号 A-024 |




棟包み:屋根同材曲げ加工

10
2

ﾊｾﾞ式縦平葺き金属屋根(ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5)

破風:屋根同材曲げ加工

鉄骨胴縁下地　繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　総厚20
ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙt1.0

520 680 520 680 520 680 520 680 520 680 520

ｱﾙﾐ水切り
50*70

▼RFL

保護ｺﾝｸﾘｰﾄ：溶接金網φ6-150*150　普通ｺﾝｸﾘｰﾄt80
断熱材：ｽﾁﾛﾌｫｰﾑ t 30
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

立上り:砂付きﾙｰﾌｨﾝｸﾞ露出

ｱﾙﾐ水切り
30*60

吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25

木製額縁 t25 SOP

WB-2 EP塗
掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)
ｽﾃﾝﾚｽ手摺 φ42.7
多目的スペース
3,650

WB-1 EP塗
WB-2 EP塗
化粧PBt9.5
WB-2 EP塗
廊　下
樹脂被覆手摺φ34
樹脂被覆手摺φ34
WB-1 EP塗

▼2FL

吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ t25
現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t20
ｱﾙﾐ製庇

化粧PBt9.5
WB-3 EP塗
WB-2 EP塗
掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)
アプローチ
3,560
ホール
縦格子:ﾋﾉｷ集成材 100*50 UC塗
WB-2 EP塗
樹脂被覆手摺φ34
(踊上=155.55×27段)
4,200
掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)
2,700
鉄部:DP塗
縦格子:ﾋﾉｷ集成材 100*40 UC塗
WB-1 EP塗
WB-2 EP塗
WB-1 EP塗
廊　下
掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)
消火栓

SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞw200 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ 縞目
巾木:白御影石t20
ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質ﾀｲﾙ張り 300角
床見切り:白御影石60*40
CK VT(木目)t3.0

▼1FL
▼GL

ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t25
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ t0.15
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ t100 (C-40)

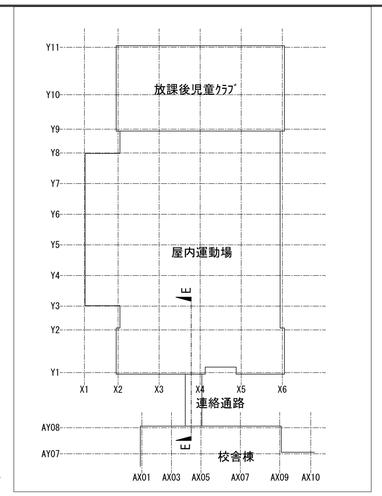
(踏面=270×12)
3,240
(踏面=270×12)
3,240

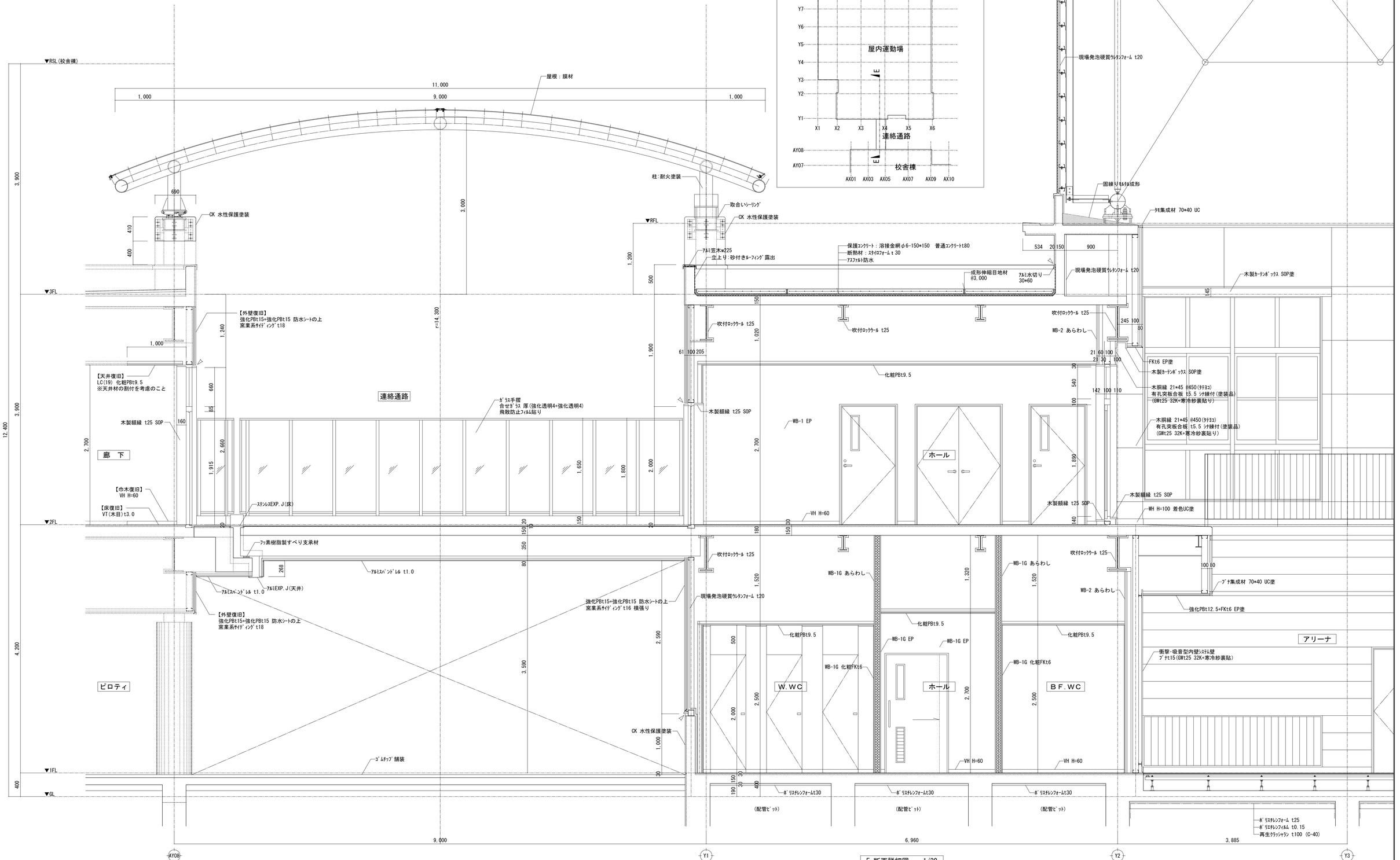
6,700
1,000
3,240
1,600
6,700
X3 まで、6,700

X6　X5　X4

D 断面詳細図　1/30

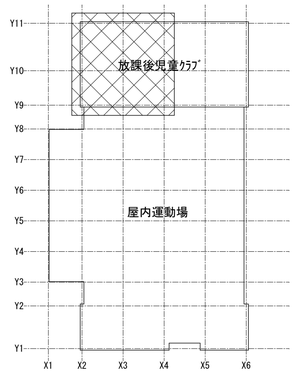
| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-025 |
| | | | | | | 図面名 | 矩計図-4 | 縮尺 | A1: 1/30<br>A3: 1/60 | | |




E 断面詳細図 1/30

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | 図面名 | 矩計図-5 | 縮尺 | A1: 1/30 A3: 1/60 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-026 |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT(木目) | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

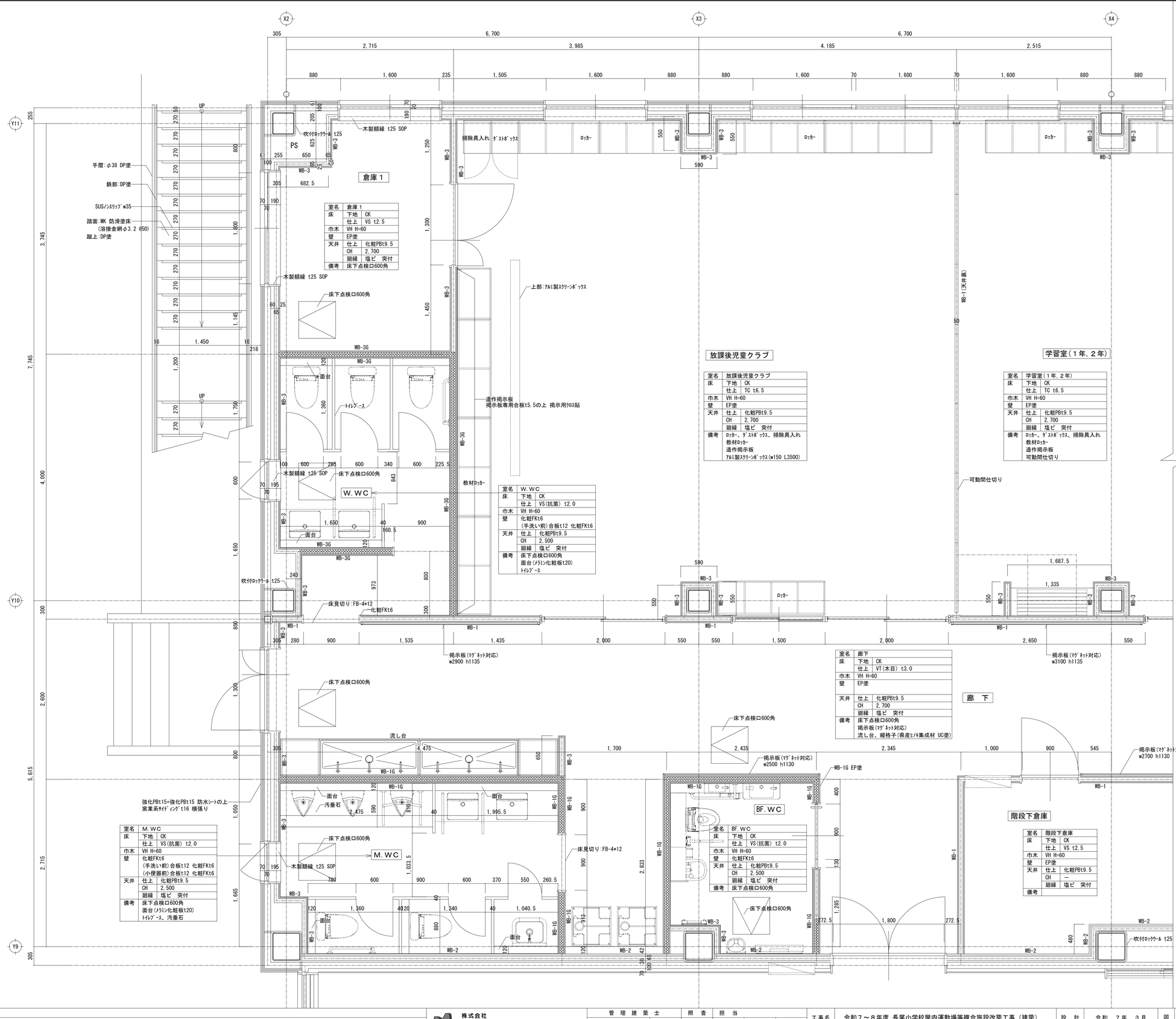
## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） （1時間耐火） |
| WB－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面）中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| WB－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） （1時間耐火） |
| WB－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| WB－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図　1/30




| 室名 | 倉庫１ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角 | |

| 室名 | 放課後児童クラブ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>ｱﾙﾐ製ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ(w150 L3500) | |

| 室名 | 学習室（１年，２年） | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>可動間仕切り | |

| 室名 | W.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角<br>面台(ﾒﾗﾐﾝ化粧板t20)<br>ﾄｲﾚﾊﾟｰｽ | |

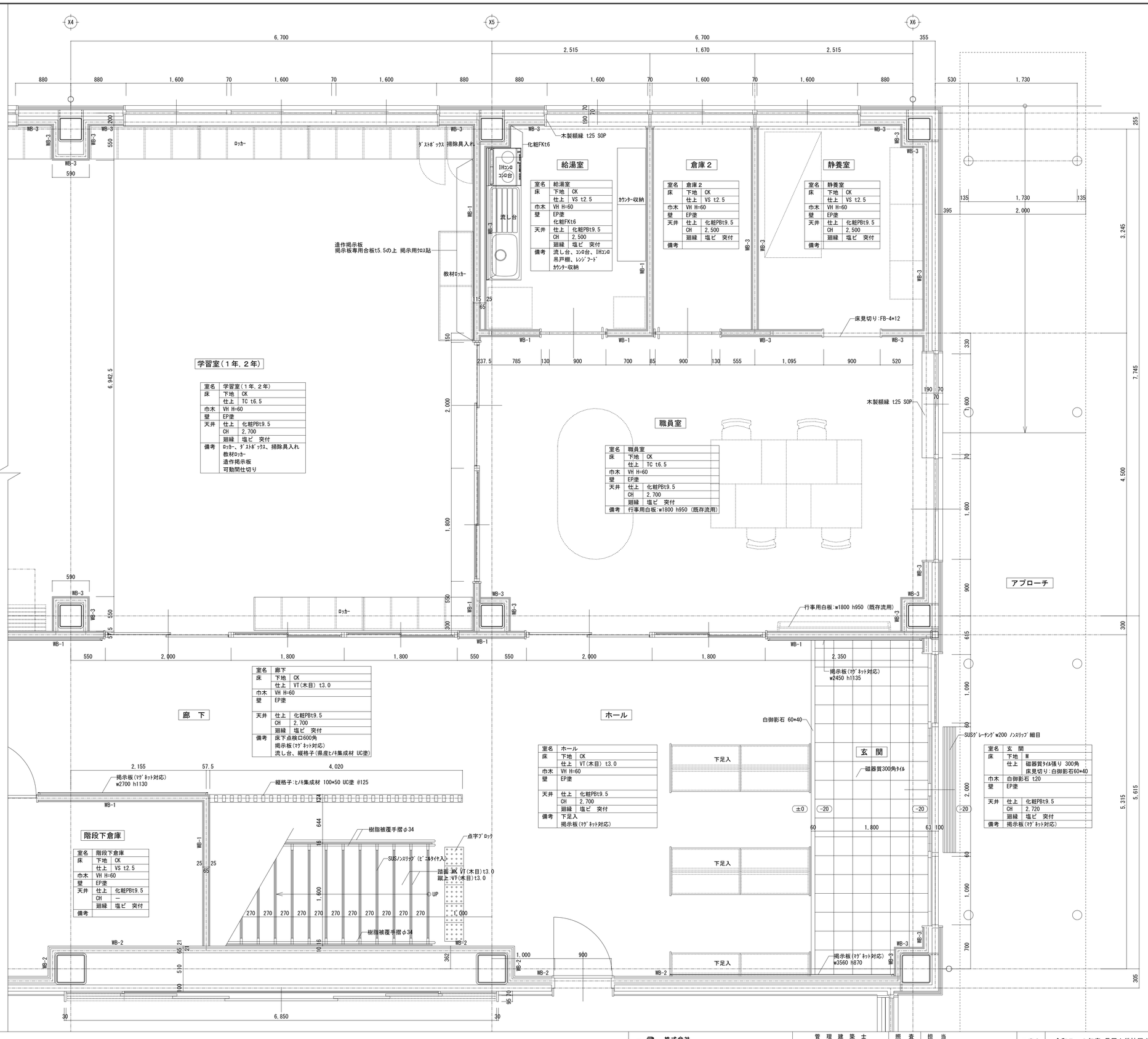
| 室名 | M.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6<br>(小便器前)合板t12 化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角<br>面台(ﾒﾗﾐﾝ化粧板t20)<br>ﾄｲﾚﾊﾟｰｽ、汚垂石 | |

| 室名 | 廊下 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT(木目) t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角<br>掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)<br>流し台、縦格子(県産ﾋﾉｷ集成材 UC塗) | |

| 室名 | BF.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | 化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角 | |

| 室名 | 階段下倉庫 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | — |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 令和 7年 3月 |
| | | | | | | 図面名 | 1階平面詳細図-1 | 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 |
| | | | | | | | | 図面番号 A-027 |




| 学習室（１年，２年） | | |
|---|---|---|
| 室名 | 学習室（１年，２年） | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>可動間仕切り | |

| 給湯室 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 給湯室 | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗<br>化粧FK t6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 流し台、ｺﾝﾛ台、IHｺﾝﾛ<br>吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ<br>ｶｳﾝﾀｰ収納 | |

| 倉庫２ | | |
|---|---|---|
| 室名 | 倉庫２ | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 静養室 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 静養室 | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 職員室 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 職員室 | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 行事用白板:w1800 h950（既存流用） | |

| 廊 下 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 廊下 | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT（木目） t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 床下点検口600角<br>掲示板（ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応）<br>流し台、幅格子（県産ヒノキ集成材 UC塗） | |

| ホール | | |
|---|---|---|
| 室名 | ホール | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT（木目） t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 下足入<br>掲示板（ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応） | |

| 玄 関 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 玄 関 | |
| 床 | 下地 | M |
| | 仕上 | 磁器質ﾀｲﾙ張り 300角<br>床見切り：白御影石60*40 |
| 巾木 | 白御影石 t20 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,720 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 掲示板（ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応） | |

| 階段下倉庫 | | |
|---|---|---|
| 室名 | 階段下倉庫 | |
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | — |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |



## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS（抗菌） | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT（木目） | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） （1時間耐火） |
| WB－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面）中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| WB－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） （1時間耐火） |
| WB－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| WB－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

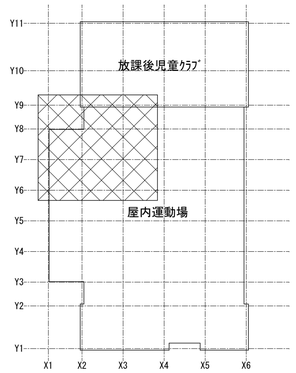
平面詳細図 1/30

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | １階平面詳細図-2 | 縮尺 | A1： 1/30<br>A3： 1/60 |
| | | 図面番号 | A-028 |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | Ｗ | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | Ｌ | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| Ｃ | コンクリート下地 | | |
| Ｍ | モルタル下地 | | |
| ＳＬ | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

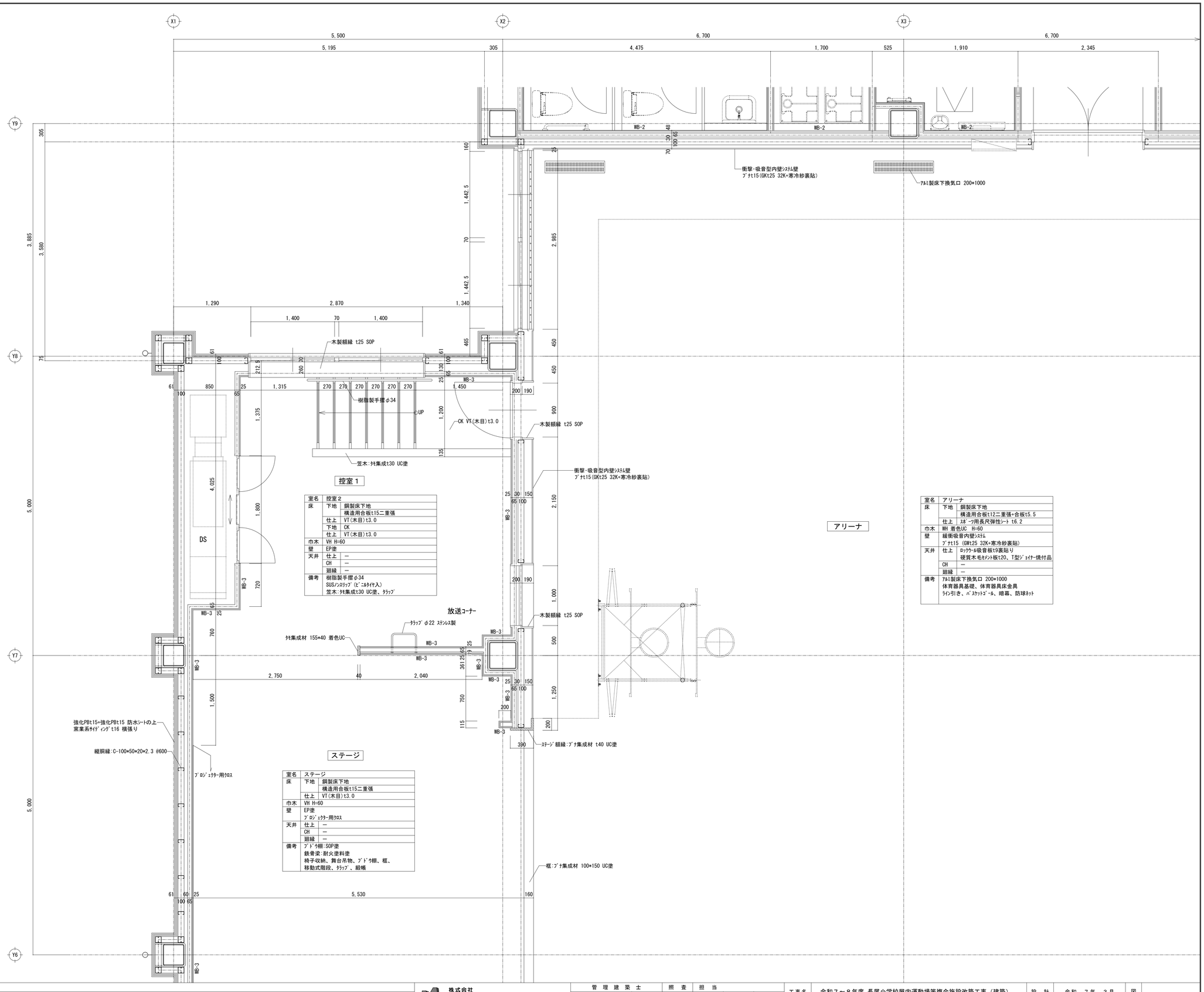
| | | | |
|---|---|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール |
| ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| ＷＢ－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。



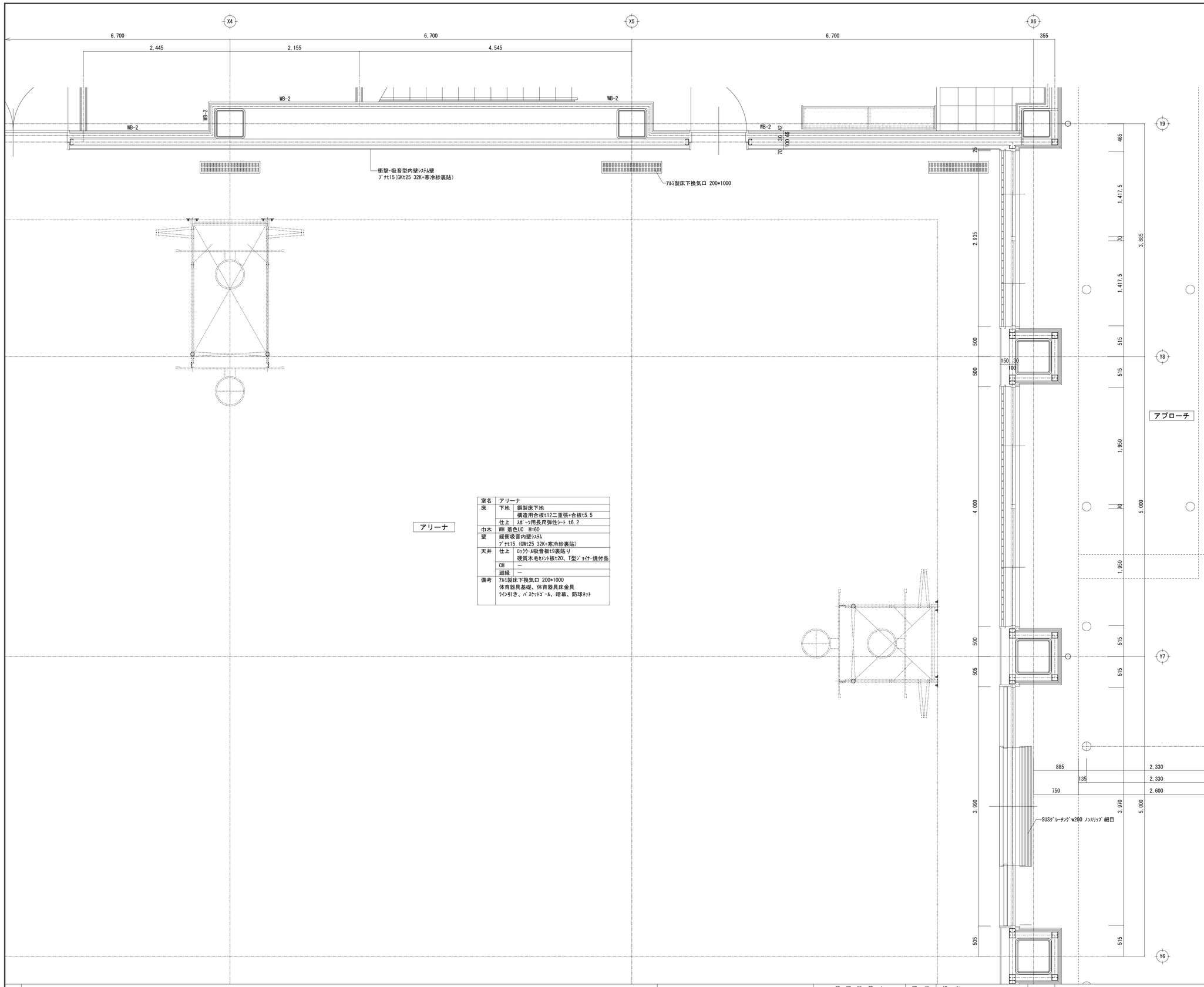

| 室名 | 控室２ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t15二重張 |
| | 仕上 | VT(木目)t3.0 |
| | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT(木目)t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | ― |
| | CH | ― |
| | 廻縁 | ― |
| 備考 | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入)<br>笠木:ﾀﾓ集成t30 UC塗、ﾀﾗｯﾌﾟ | |

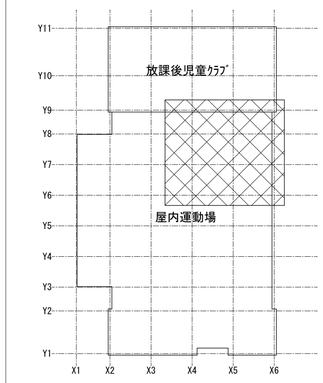
| 室名 | ステージ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t15二重張 |
| | 仕上 | VT(木目)t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗<br>ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用ｸﾛｽ | |
| 天井 | 仕上 | ― |
| | CH | ― |
| | 廻縁 | ― |
| 備考 | ﾌﾞﾄﾞｳ棚:SOP塗<br>鉄骨梁:耐火塗料塗<br>椅子収納、舞台吊物、ﾌﾞﾄﾞｳ棚、框、<br>移動式階段、ﾀﾗｯﾌﾟ、緞帳 | |

| 室名 | アリーナ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t12二重張+合板t5.5 |
| | 仕上 | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 |
| 巾木 | 樹ｲ 着色UC H=60 | |
| 壁 | 緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ<br>ﾌﾟﾅt15 (GWt25 32K+寒冷紗裏貼) | |
| 天井 | 仕上 | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り<br>硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 |
| | CH | ― |
| | 廻縁 | ― |
| 備考 | ｱﾙﾐ製床下換気口 200*1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄｺｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ | |

平面詳細図　1/30

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | ・<br>・<br>・<br>・ | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>３６１２７号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 | A-029 |
| | | | | | | 図面名 | １階平面詳細図-3 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 | | |








アリーナ

| 室名 | アリーナ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t12二重張+合板t5.5 |
| | 仕上 | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 |
| 巾木 | WH 着色UC H=60 | |
| 壁 | 緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ<br>ﾌﾞﾅt15 (GWt25 32K+寒冷紗裏貼) | |
| 天井 | 仕上 | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り<br>硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | ー |
| 備考 | ｱﾙﾐ製床下換気口 200*1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ | |

## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT(木目) | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| WB－１G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| WB－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| WB－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－３G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| WB－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図 1/30

記事

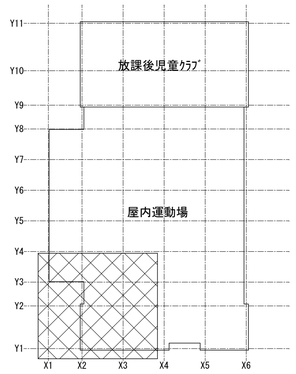
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | １階平面詳細図-4 | 縮尺 | A1： 1/30<br>A3： 1/60 |
| | | 図面番号 | A-030 |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | Ｗ | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | Ｌ | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| Ｃ | コンクリート下地 | | |
| Ｍ | モルタル下地 | | |
| ＳＬ | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール |
| ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

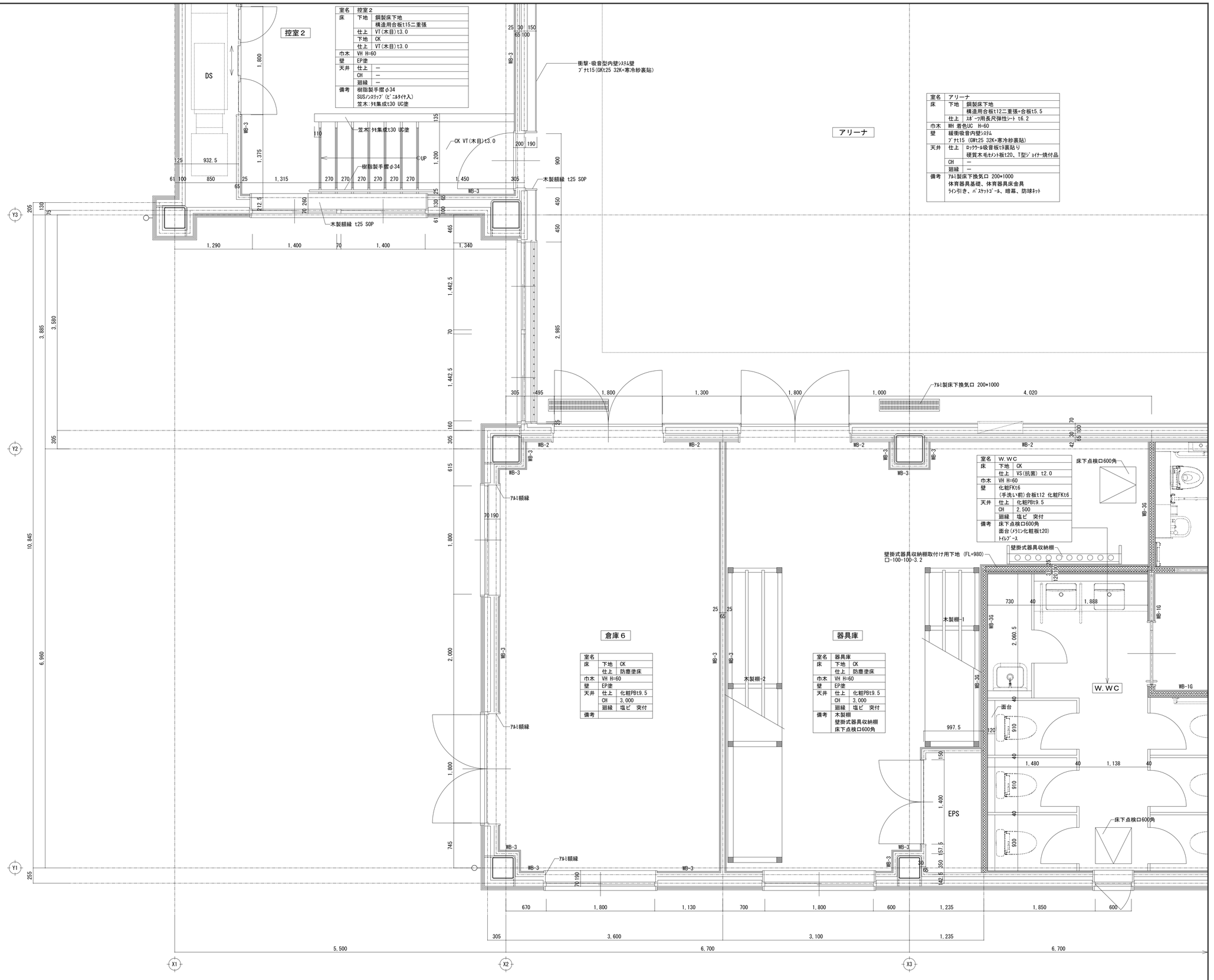
## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| ＷＢ－４ | LGS下地 PBt12.5 |

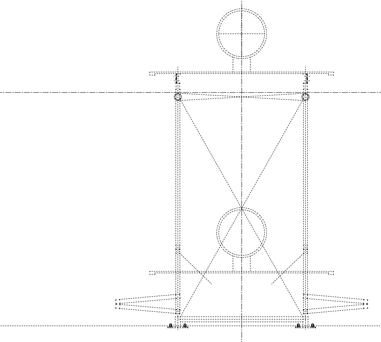
【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図　1/30

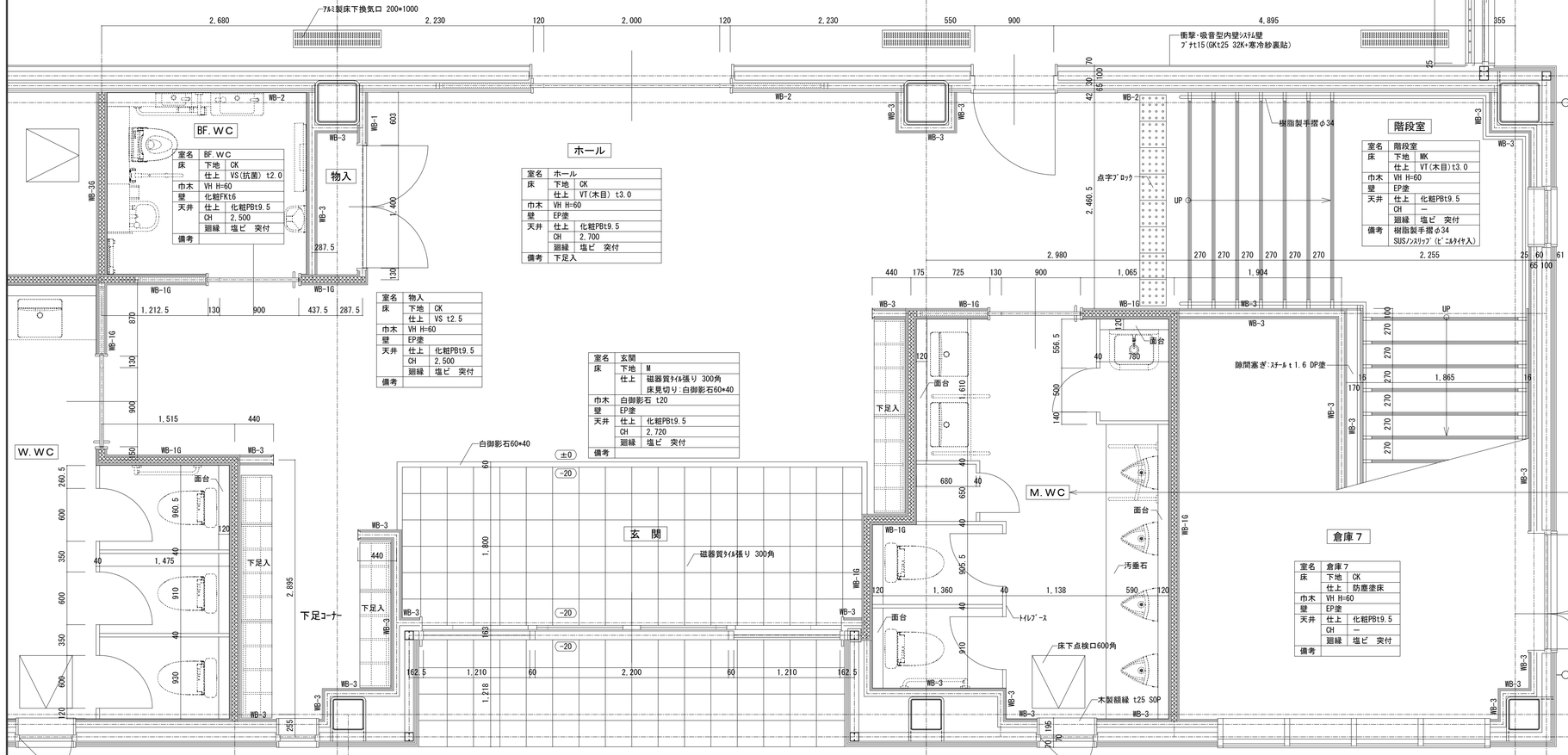



| | | |



アリーナ

| 室名 | | アリーナ |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t12二重張+合板t5.5 |
| | 仕上 | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 |
| 巾木 | | RH 蒸色UC H=60 |
| 壁 | | 緩衝吸音内壁ｼｽﾃﾑ |
| | | ﾌﾟﾅt15 (GWt25 32K+寒冷紗裏貼) |
| 天井 | 仕上 | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り |
| | | 硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | ー |
| 備考 | | ｱﾙﾐ製床下換気口 200*1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ |




| 室名 | BF.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | | VH H=60 |
| 壁 | | 化粧FKt6 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | ホール | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT(木目) t3.0 |
| 巾木 | | VH H=60 |
| 壁 | | EP塗 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | 下足入 |

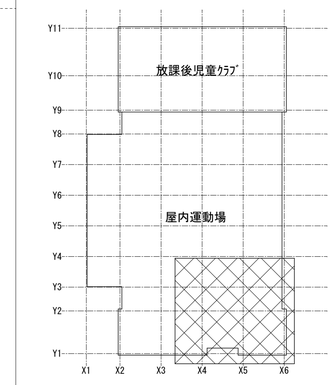
| 室名 | 物入 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | | VH H=60 |
| 壁 | | EP塗 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | 玄関 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | M |
| | 仕上 | 磁器質ﾀｲﾙ張り 300角<br>床見切り:白御影石60*40 |
| 巾木 | | 白御影石 t20 |
| 壁 | | EP塗 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,720 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | 階段室 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | MK |
| | 仕上 | VT(木目)t3.0 |
| 巾木 | | VH H=60 |
| 壁 | | EP塗 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | 樹脂製手摺 φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾄ入) |

| 室名 | 倉庫７ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | 防塵塗床 |
| 巾木 | | VH H=60 |
| 壁 | | EP塗 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | M.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=60 |
| 壁 | | 化粧FKt6<br>(手洗い前)合板t12 化粧FKt6<br>(小便器前)合板t12 化粧FKt6 |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | 床下点検口600角<br>面台(ﾒﾗﾐﾝ化粧板t20)<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、汚垂石 |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT(木目) | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) (1時間耐火) |
| WB－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 (1時間耐火) |
| WB－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) (1時間耐火) |
| WB－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 (遮音構造) |
| WB－４ | LGS下地 PBt12.5 |

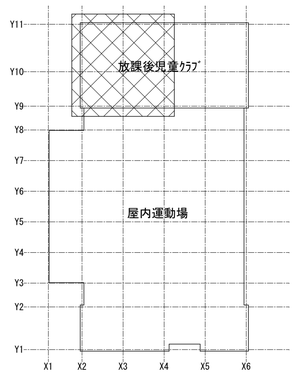
【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図 1/30

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| | | | | | | 図面名 | １階平面詳細図-6 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 | A-032 |
| 縮尺 | A1: 1/30<br>A3: 1/60 | | |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | Ｗ | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | Ｌ | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| Ｃ | コンクリート下地 | | |
| Ｍ | モルタル下地 | | |
| ＳＬ | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール |
| ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

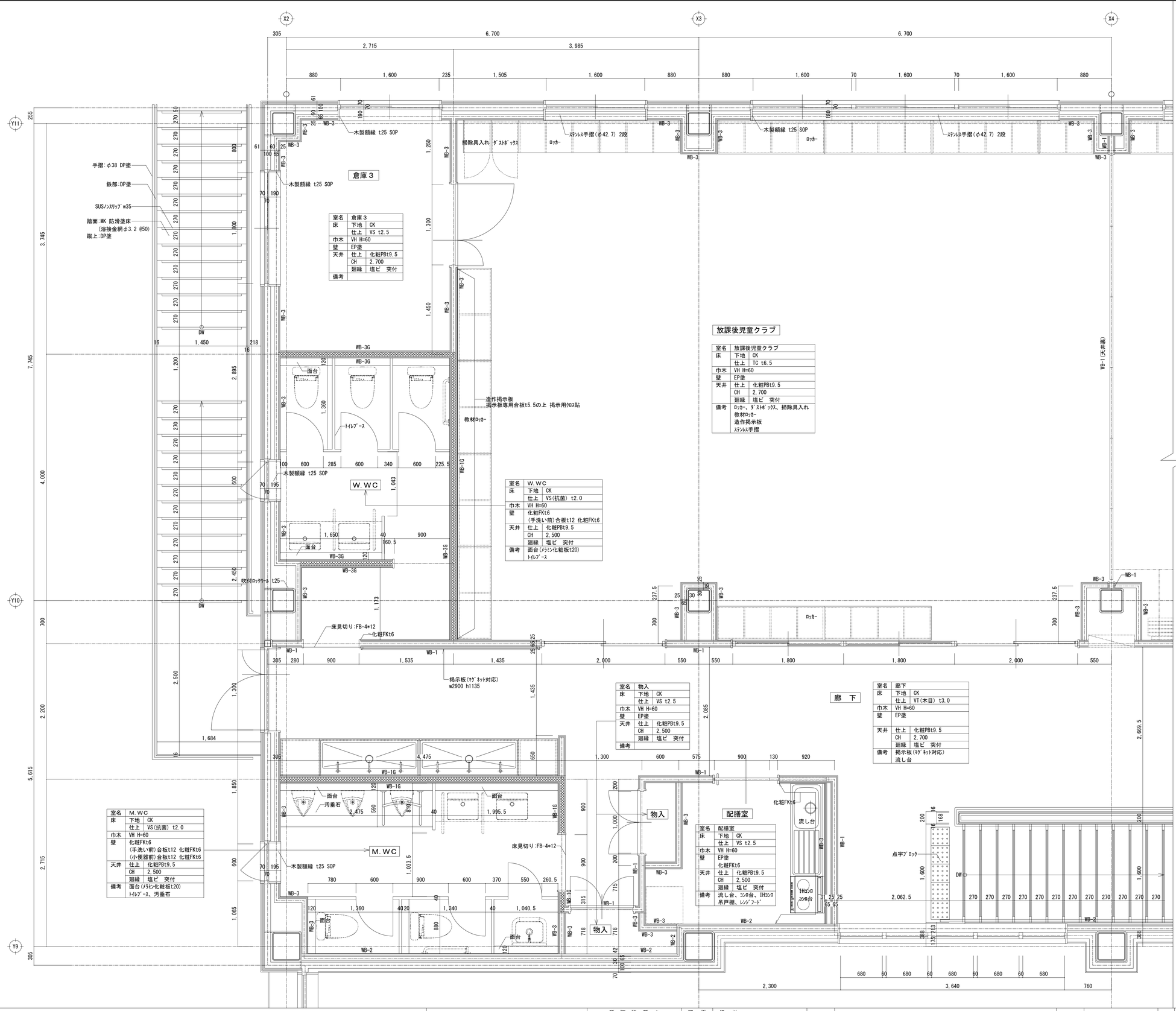
## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| ＷＢ－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図　1/30




| 室名 | 倉庫３ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | 放課後児童クラブ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | ﾛｯｶｰ、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ、掃除具入れ<br>教材ﾛｯｶｰ<br>造作掲示板<br>ｽﾃﾝﾚｽ手摺 | |

| 室名 | W.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | 化粧FKt6<br>（手洗い前）合板t12 化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 面台(ﾒﾗﾐﾝ化粧板t20)<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | |

| 室名 | 物入 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | 廊下 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT(木目) t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応)<br>流し台 | |

| 室名 | 配膳室 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗<br>化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 流し台、ｺﾝﾛ台、IHｺﾝﾛ<br>吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ | |

| 室名 | M.WC | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS(抗菌) t2.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | 化粧FKt6<br>（手洗い前）合板t12 化粧FKt6<br>（小便器前）合板t12 化粧FKt6 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,500 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 面台(ﾒﾗﾐﾝ化粧板t20)<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、汚垂石 | |

記事

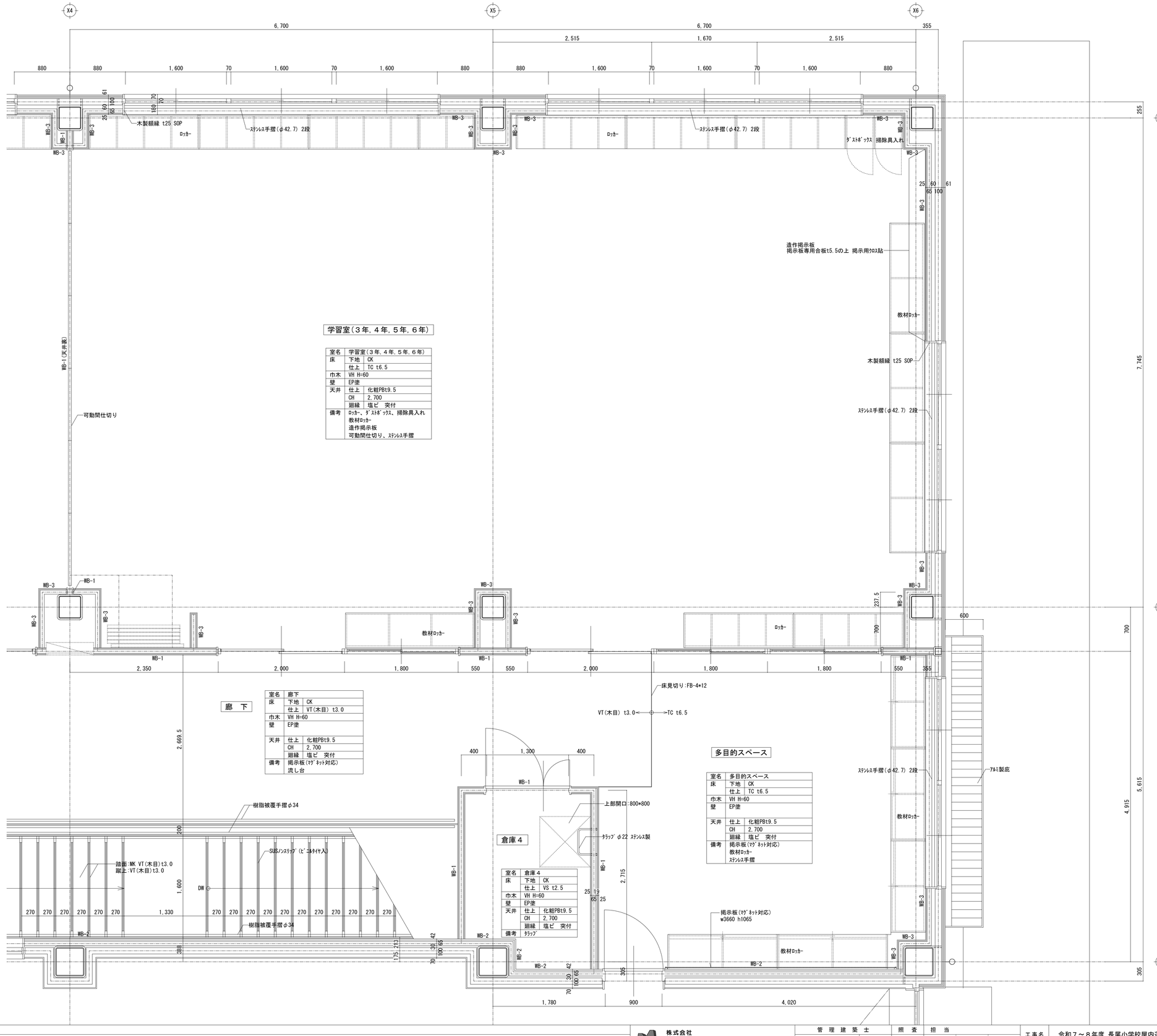
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

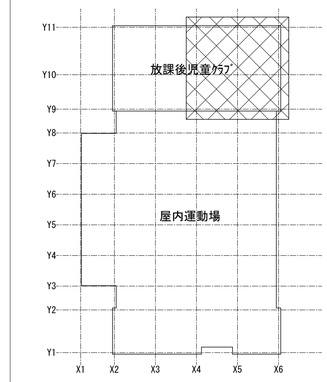
管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査　担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | ２階平面詳細図-1 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 |

図面番号：A-033




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地(ＬＧＳ) |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地(ＬＧＳ) |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT(木目) | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) (1時間耐火) |
| WB－1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 (1時間耐火) |
| WB－2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) (1時間耐火) |
| WB－3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 (遮音構造) |
| WB－4 | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図 1/30

記事

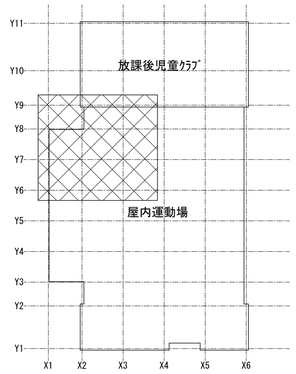
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | ２階平面詳細図-2 | 縮尺 | A1：1/30 A3：1/60 |
| 図面番号 | A-034 | | |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | Ｗ | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | Ｌ | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| Ｃ | コンクリート下地 | | |
| Ｍ | モルタル下地 | | |
| ＳＬ | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール |
| ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

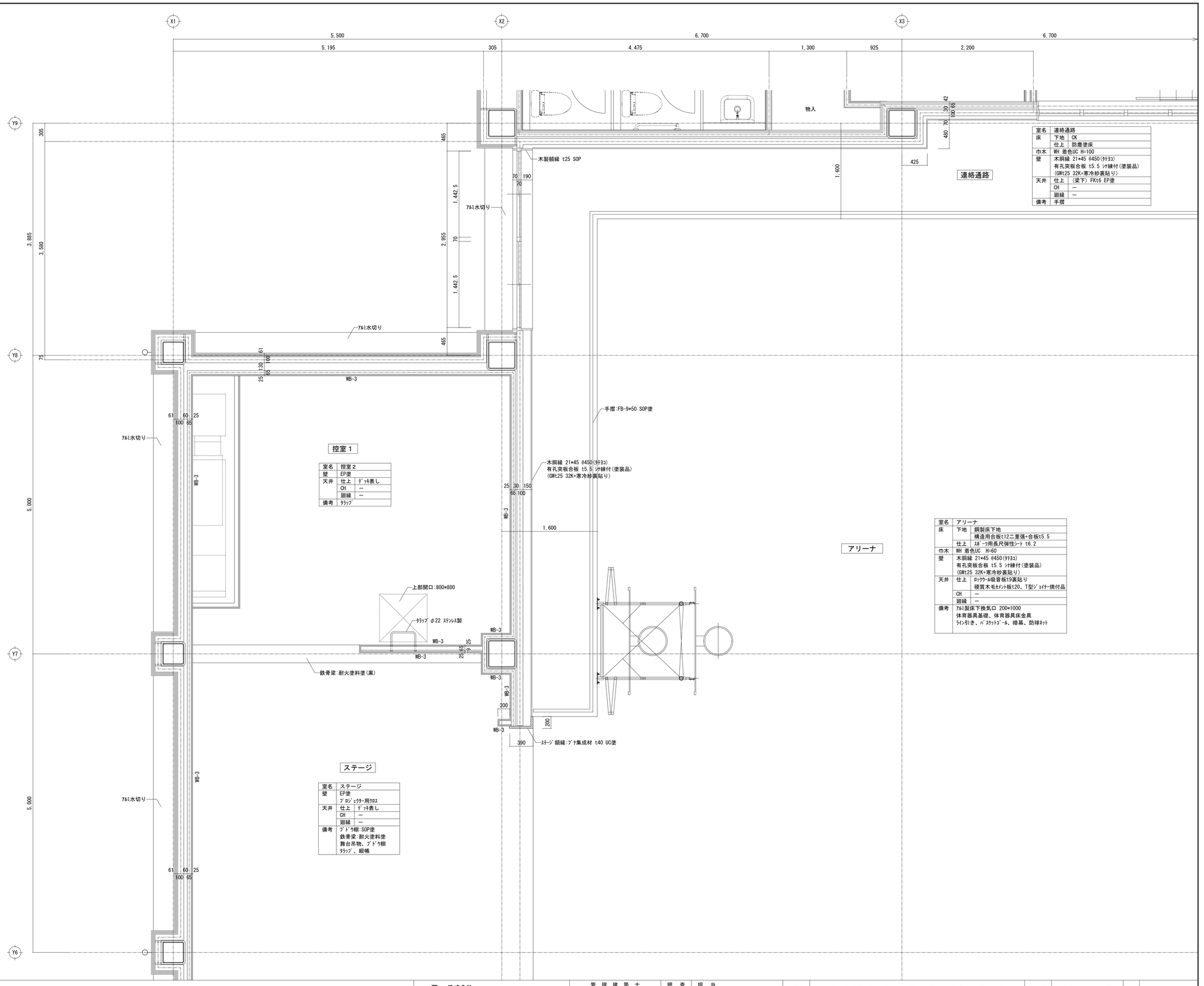
## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| ＷＢ－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図　1/30




| 連絡通路 | |
|---|---|
| 室名 | 連絡通路 |
| 床 | 下地：CK |
| | 仕上：防塵塗床 |
| 巾木 | WH 着色UC H=100 |
| 壁 | 木胴縁 21×45 @450(ﾀﾃ3ｺ)<br>有孔突板合板 t5.5 ｳﾚﾀﾝ練付(塗装品)<br>(GW t25 32K+寒冷紗裏貼り) |
| 天井 | 仕上：(梁下) FKt6 EP塗 |
| | CH：ー |
| | 廻縁：ー |
| 備考 | 手摺 |

| 控室１ | |
|---|---|
| 室名 | 控室２ |
| 壁 | EP塗 |
| 天井 | 仕上：ﾃﾞｯｷ表し |
| | CH：ー |
| | 廻縁：ー |
| 備考 | ﾀﾗｯﾌﾟ |

| アリーナ | | |
|---|---|---|
| 室名 | アリーナ | |
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t12二重張+合板t5.5 |
| | 仕上 | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 |
| 巾木 | WH 着色UC H=60 | |
| 壁 | 木胴縁 21×45 @450(ﾀﾃ3ｺ)<br>有孔突板合板 t5.5 ｳﾚﾀﾝ練付(塗装品)<br>(GW t25 32K+寒冷紗裏貼り) | |
| 天井 | 仕上 | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り<br>硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | ー |
| 備考 | ｱﾙﾐ製床下換気口 200×1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ | |

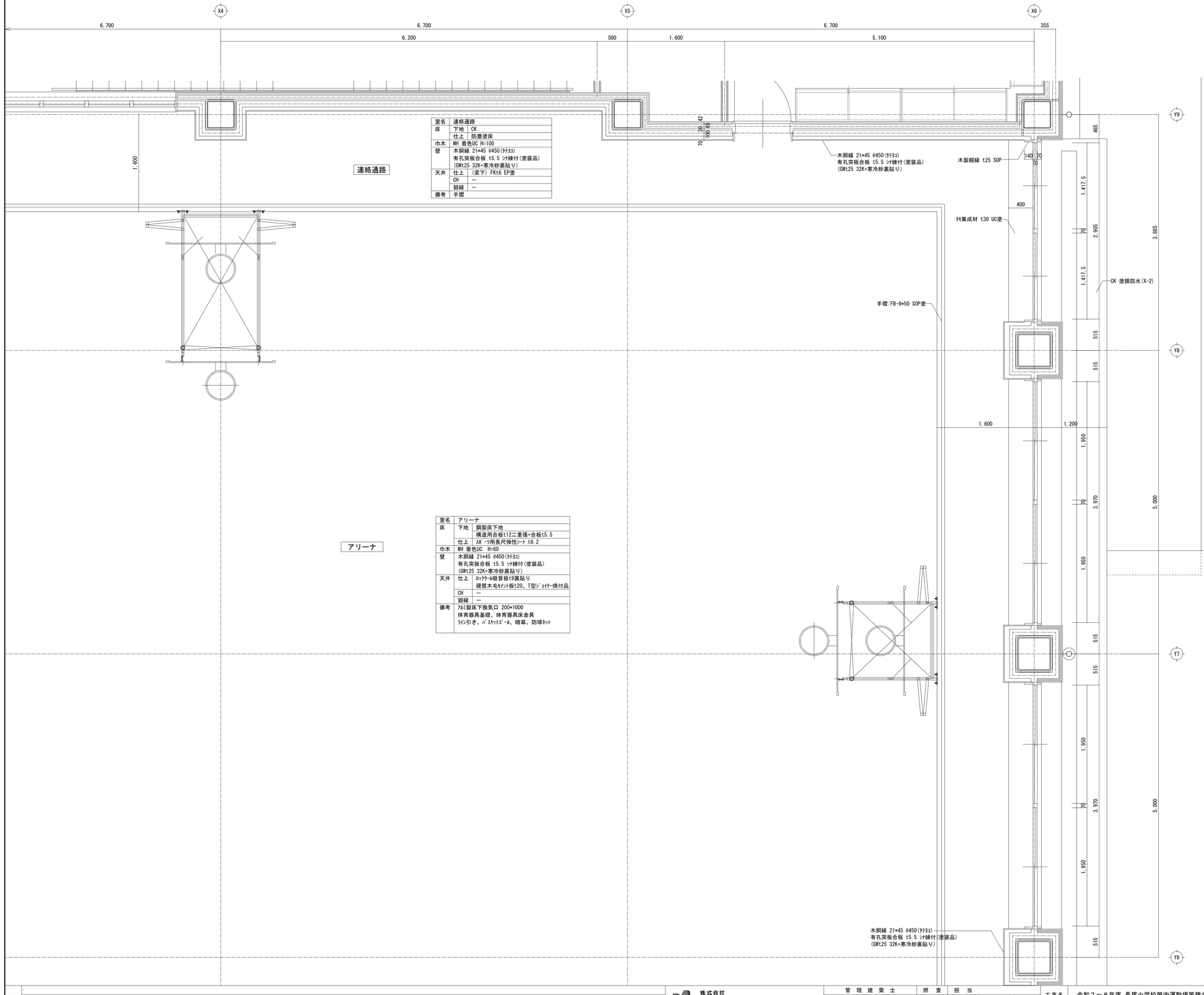
| ステージ | |
|---|---|
| 室名 | ステージ |
| 壁 | EP塗<br>ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用ｸﾛｽ |
| 天井 | 仕上：ﾃﾞｯｷ表し |
| | CH：ー |
| | 廻縁：ー |
| 備考 | ﾌﾞﾄﾞｳ棚:SOP塗<br>鉄骨梁:耐火塗料塗<br>舞台吊物、ﾌﾞﾄﾞｳ棚<br>ﾀﾗｯﾌﾟ、緞帳 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号

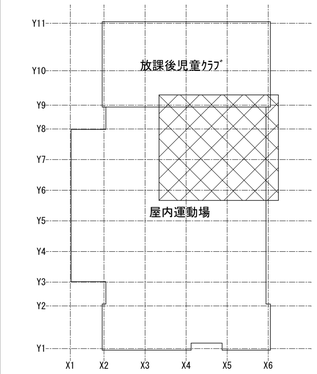
管理建築士：一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋
照査
担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | ２階平面詳細図-3 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 |
| | | 図面番号 | A-035 |




| 室名 | 連絡通路 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | 防塵塗床 |
| 巾木 | WH 着色UC H=100 | |
| 壁 | 木胴縁 21*45 @450(ｳﾗﾃｺ)<br>有孔突板合板 t5.5 ｼﾅ縁付(塗装品)<br>(GW t25 32K+寒冷紗裏貼り) | |
| 天井 | 仕上 | (梁下) FKt6 EP塗 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | ー |
| 備考 | 手摺 | |

| 室名 | アリーナ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | 鋼製床下地 |
| | | 構造用合板t12二重張+合板t5.5 |
| | 仕上 | ｽﾎﾟｰﾂ用長尺弾性ｼｰﾄ t6.2 |
| 巾木 | WH 着色UC H=60 | |
| 壁 | 木胴縁 21*45 @450(ｳﾗﾃｺ)<br>有孔突板合板 t5.5 ｼﾅ縁付(塗装品)<br>(GW t25 32K+寒冷紗裏貼り) | |
| 天井 | 仕上 | ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9裏貼り<br>硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t20、T型ｼﾞｮｲﾅｰ焼付品 |
| | CH | ー |
| | 廻縁 | ー |
| 備考 | ｱﾙﾐ製床下換気口 200*1000<br>体育器具基礎、体育器具床金具<br>ﾗｲﾝ引き、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ、暗幕、防球ﾈｯﾄ | |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地(ＬＧＳ) |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地(ＬＧＳ) |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT(木目) | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) (1時間耐火) |
| WB－1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 (1時間耐火) |
| WB－2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) (1時間耐火) |
| WB－3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 (遮音構造) |
| WB－4 | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図 1/30

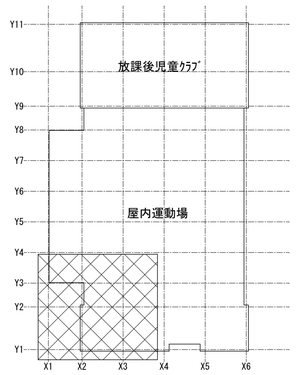
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査 担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | ２階平面詳細図-4 | 縮尺 | A1: 1/30<br>A3: 1/60 |
| | | 図面番号 | A-036 |




## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＣＫ | 床：コンクリート金ごて押え | Ｗ | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | Ｌ | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| ＭＫ | 床：モルタル金ごて押え | ＬＣ | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| Ｃ | コンクリート下地 | | |
| Ｍ | モルタル下地 | | |
| ＳＬ | セルフレベリング下地 | | |
| | | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート | 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート | ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ | ビニル床タイル | 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル | ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＴＣ | タイルカーペット | ＧＷ | グラスウール |
| ＶＨ | ビニル巾木 | ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＷＨ | 木製巾木 | ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＶＣ | ビニルクロス | ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＰＢ | せっこうボード | ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード | | |
| | | | |

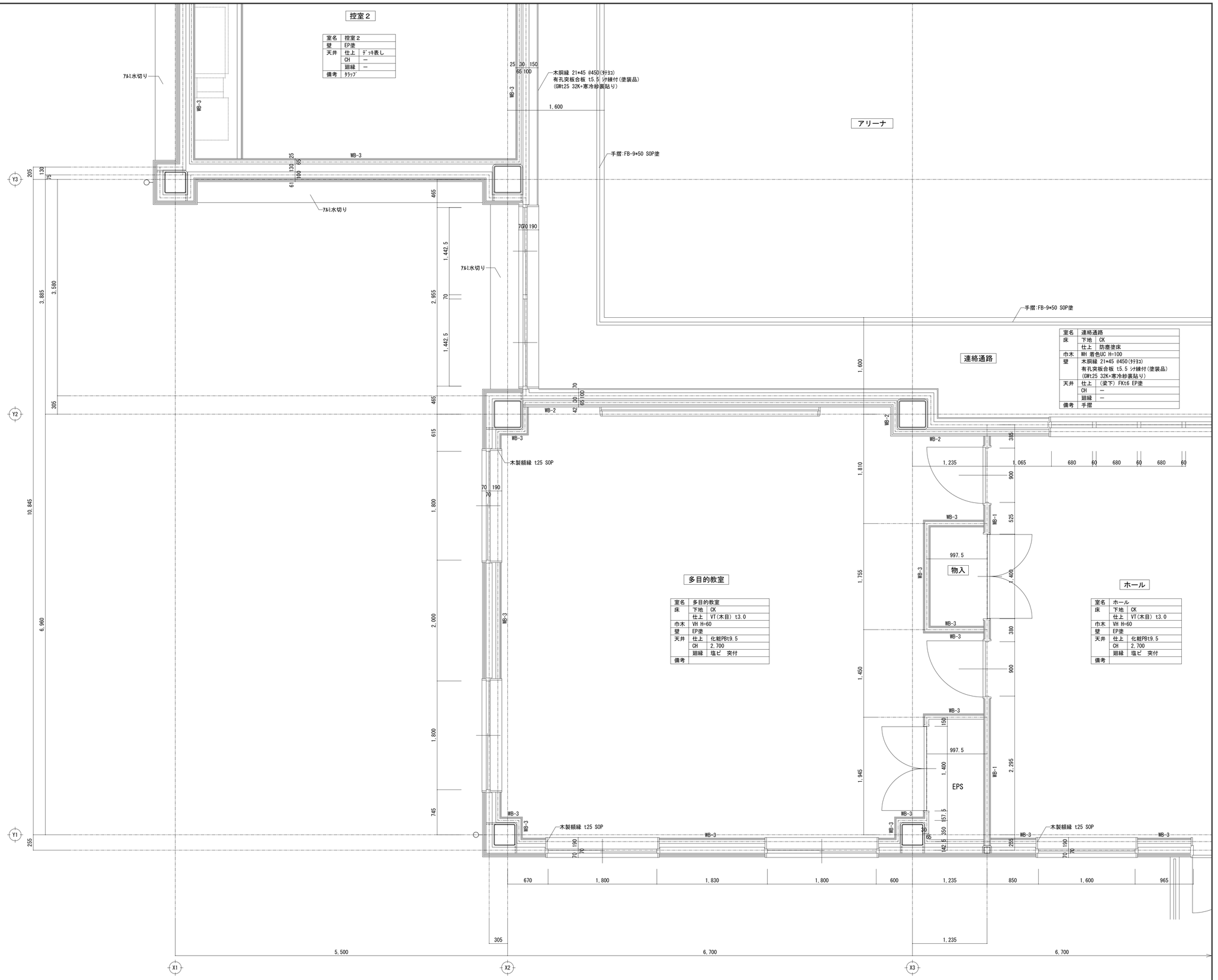
## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| ＷＢ－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5(両面)中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| ＷＢ－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21(片面) （1時間耐火） |
| ＷＢ－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| ＷＢ－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| ＷＢ－４ | LGS下地 PBt12.5 |

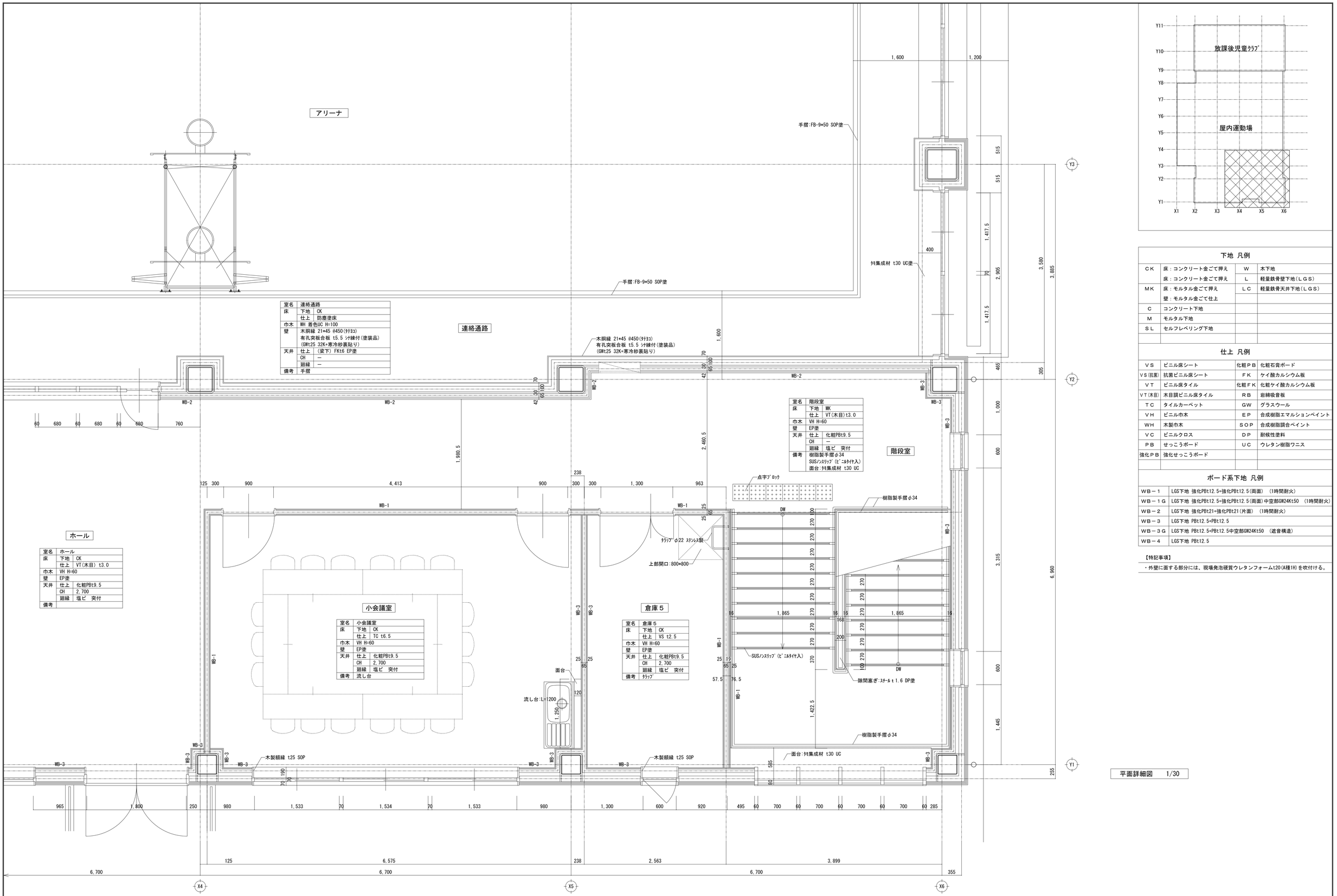
【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図　1/30




| | | |




| 室名 | 連絡通路 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | 防塵塗床 |
| 巾木 | WH 着色UC H=100 | |
| 壁 | 木調縁 21*45 @450(ｸﾗﾃｺ)<br>有孔突板合板 t5.5 ｼﾅ練付(塗装品)<br>(GWt25 32K+寒冷紗裏貼り) | |
| 天井 | 仕上 | (梁下) FKt6 EP塗 |
| | CH | — |
| | 廻縁 | — |
| 備考 | 手摺 | |

| 室名 | ホール | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VT(木目) t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | | |

| 室名 | 小会議室 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | TC t6.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 流し台 | |

| 室名 | 倉庫５ | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | CK |
| | 仕上 | VS t2.5 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | 2,700 |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | ｸﾗｯﾌﾟ | |

| 室名 | 階段室 | |
|---|---|---|
| 床 | 下地 | MK |
| | 仕上 | VT(木目)t3.0 |
| 巾木 | VH H=60 | |
| 壁 | EP塗 | |
| 天井 | 仕上 | 化粧PBt9.5 |
| | CH | — |
| | 廻縁 | 塩ビ 突付 |
| 備考 | 樹脂製手摺φ34<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入)<br>面台:ﾀﾓ集成材 t30 UC | |

## 下地 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| CK | 床：コンクリート金ごて押え | W | 木下地 |
| | 床：コンクリート金ごて押え | L | 軽量鉄骨壁下地（ＬＧＳ） |
| MK | 床：モルタル金ごて押え | LC | 軽量鉄骨天井下地（ＬＧＳ） |
| | 壁：モルタル金ごて仕上 | | |
| C | コンクリート下地 | | |
| M | モルタル下地 | | |
| SL | セルフレベリング下地 | | |

## 仕上 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| VS | ビニル床シート | 化粧PB | 化粧石膏ボード |
| VS（抗菌） | 抗菌ビニル床シート | FK | ケイ酸カルシウム板 |
| VT | ビニル床タイル | 化粧FK | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| VT（木目） | 木目調ビニル床タイル | RB | 岩綿吸音板 |
| TC | タイルカーペット | GW | グラスウール |
| VH | ビニル巾木 | EP | 合成樹脂エマルションペイント |
| WH | 木製巾木 | SOP | 合成樹脂調合ペイント |
| VC | ビニルクロス | DP | 耐候性塗料 |
| PB | せっこうボード | UC | ウレタン樹脂ワニス |
| 強化PB | 強化せっこうボード | | |

## ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB－１ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） （1時間耐火） |
| WB－１Ｇ | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面）中空部GW24Kt50 （1時間耐火） |
| WB－２ | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） （1時間耐火） |
| WB－３ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB－３Ｇ | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5中空部GW24Kt50 （遮音構造） |
| WB－４ | LGS下地 PBt12.5 |

【特記事項】

・外壁に面する部分には、現場発泡硬質ウレタンフォームt20(A種1H)を吹付ける。

平面詳細図 1/30

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

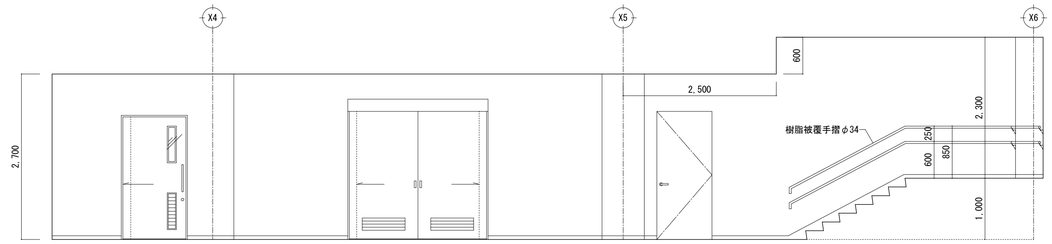
管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

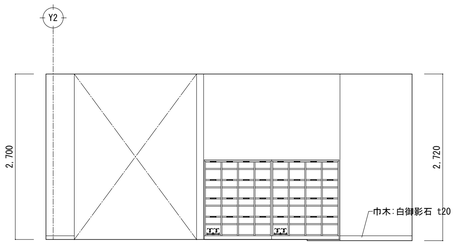
担当

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 A-038 |
| 図面名 | ２階平面詳細図-6 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 | |

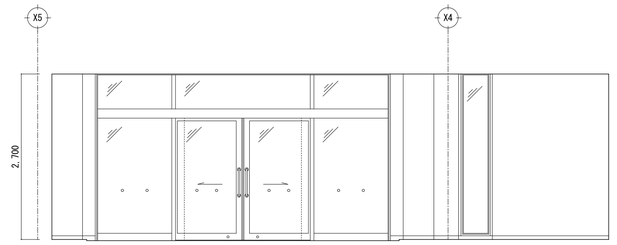
## （屋内運動場 1F）玄関・ホール



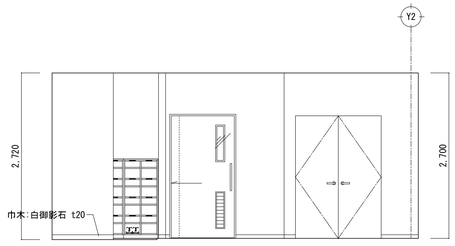

＜ A ＞




＜ B ＞

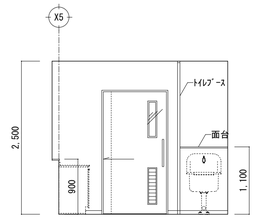



＜ C ＞

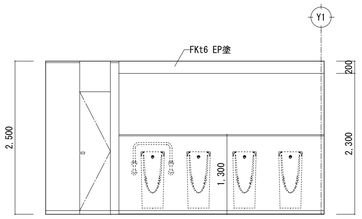



＜ D ＞

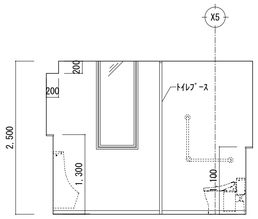
## （屋内運動場 1F）男子便所



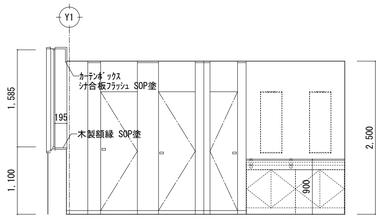

＜ A ＞




＜ B ＞

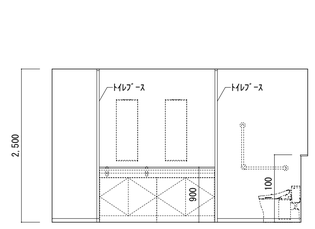



＜ C ＞

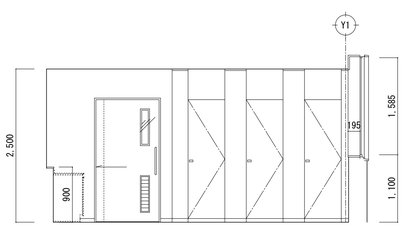



＜ D ＞

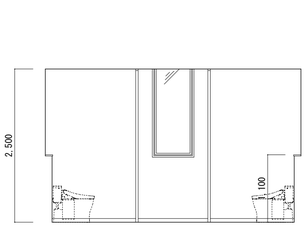
## （屋内運動場 1F）女子便所



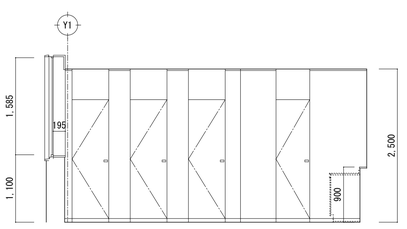

＜ A ＞




＜ B ＞

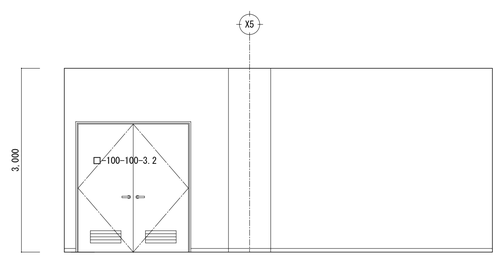



＜ C ＞

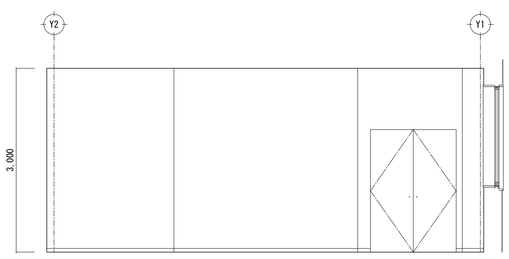



＜ D ＞

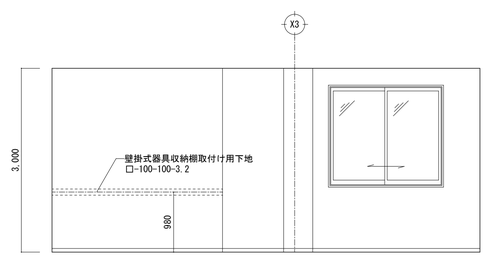
## （屋内運動場 1F）器具庫




＜ A ＞




＜ B ＞




＜ C ＞




＜ D ＞

### 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ（抗菌） | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ（木目） | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＷＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

### ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

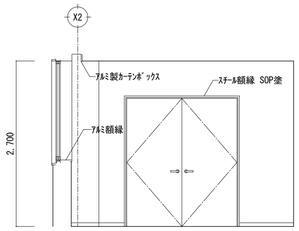
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

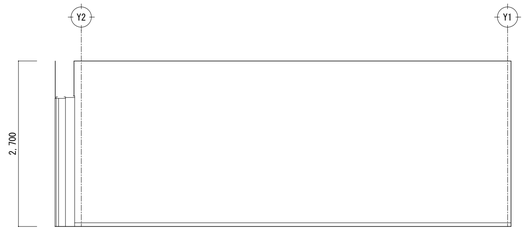
管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査：
担当：

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 展開図-1 | 縮尺 | A1： 1/50<br>A3： 1/100 |
| | | 図面番号 | A-039 |

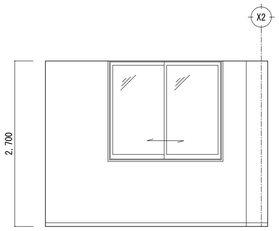
## （屋内運動場 1F） 倉庫６



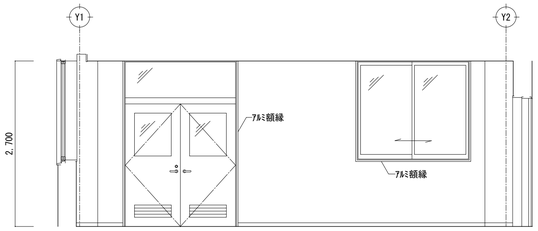
〈 A 〉



〈 B 〉

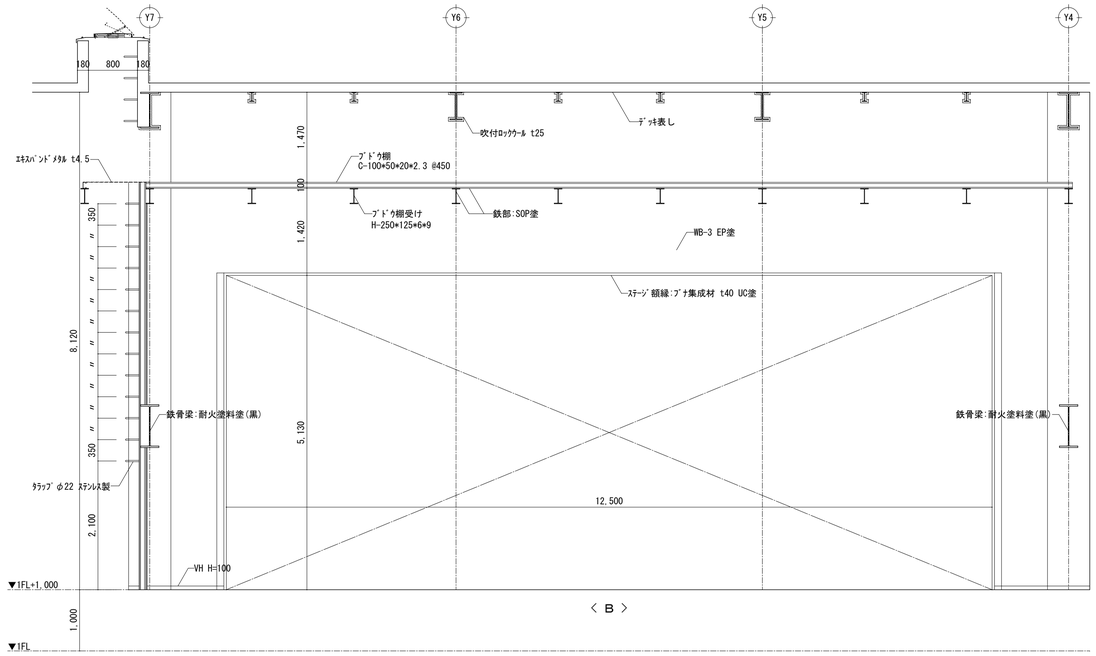


〈 C 〉

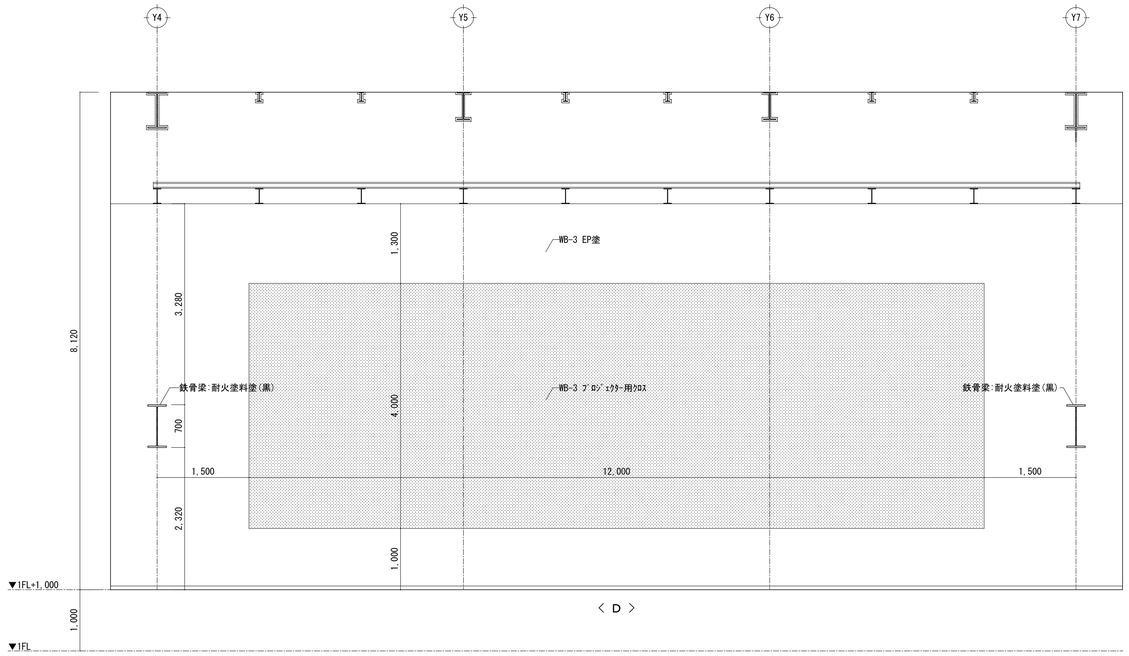


〈 D 〉

## （屋内運動場 1F） ステージ

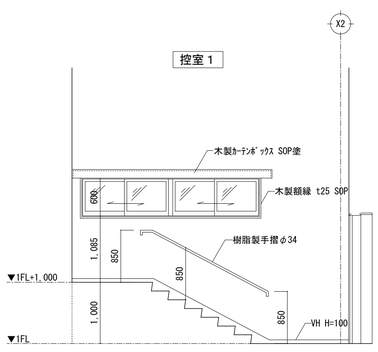


〈 B 〉



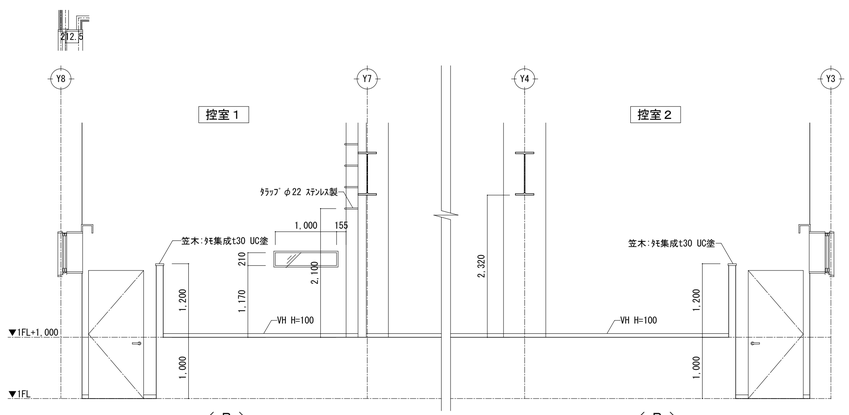
〈 D 〉

## （屋内運動場 1F） 控室１、控室２

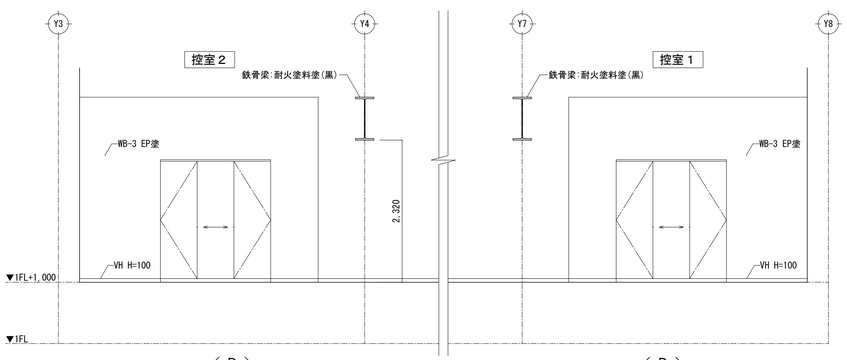


〈 A 〉

※控室２〈D〉はこれに準ずる



〈 B 〉 〈 B 〉



〈 D 〉 〈 D 〉

### 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＷＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

### ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

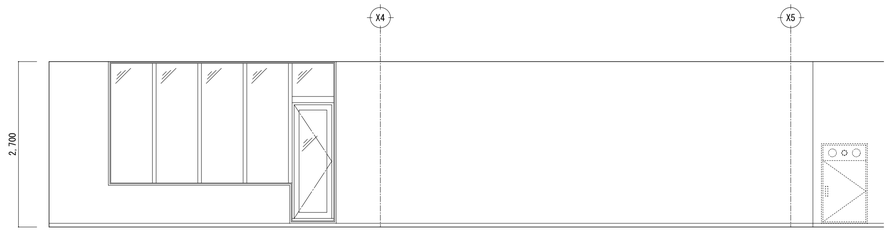
記事


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

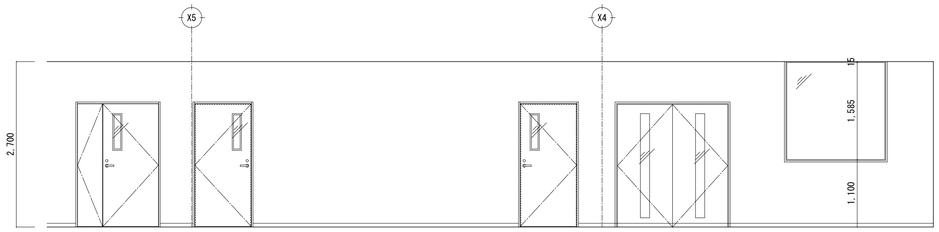

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 展開図-2 | 縮尺 | A1: 1/50 A3: 1/100 |
| | | 図面番号 | A-040 |

## （屋内運動場 2F） ホール

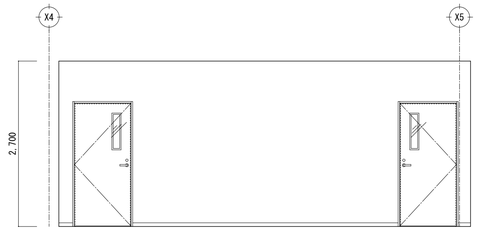



〈 A 〉

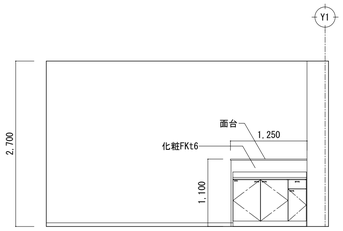



〈 C 〉

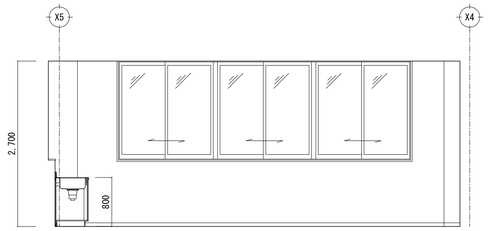
## （屋内運動場 2F） 小会議室



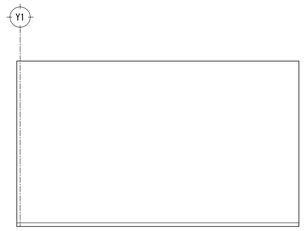

〈 A 〉




〈 B 〉

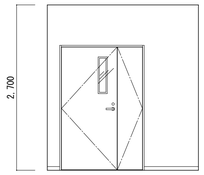



〈 C 〉

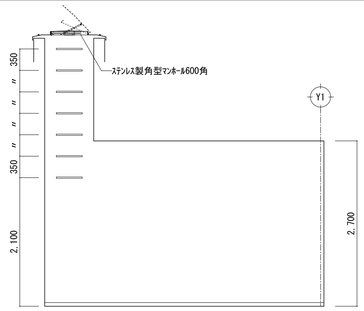



〈 D 〉

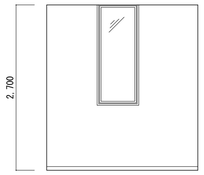
## （屋内運動場 2F） 倉庫５



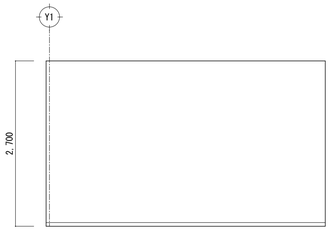

〈 A 〉




〈 B 〉




〈 C 〉

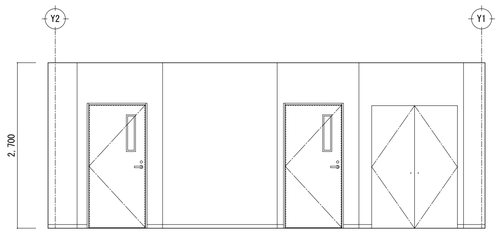



〈 D 〉

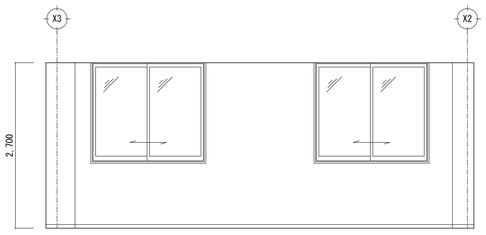
## （屋内運動場 2F） 多目的教室



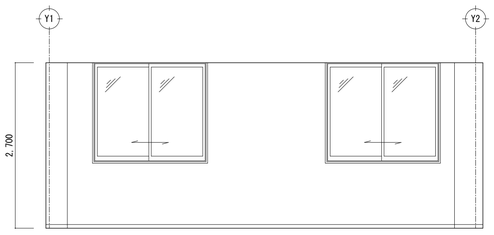

〈 A 〉




〈 B 〉




〈 C 〉




〈 D 〉

### 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＷＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

### ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5（両面） 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21（片面） |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

記事

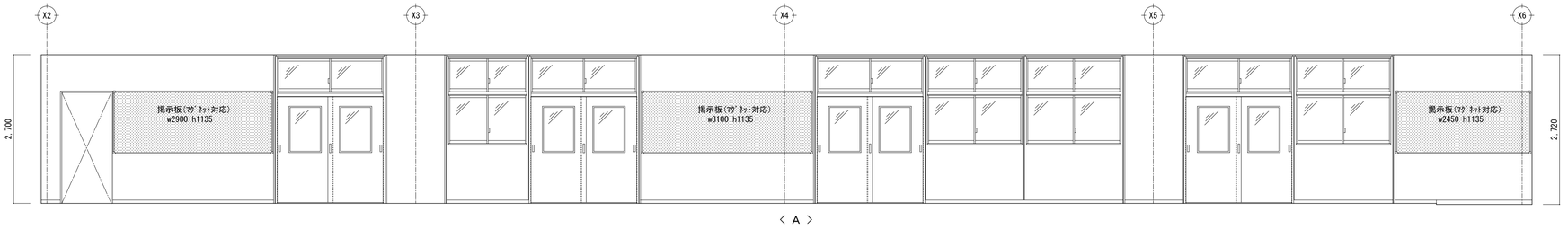
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

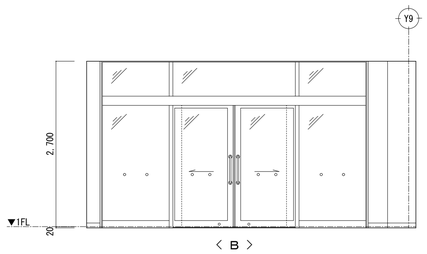
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 展開図-3 | 縮尺 | A1: 1/50<br>A3: 1/100 |

図面番号 A-041

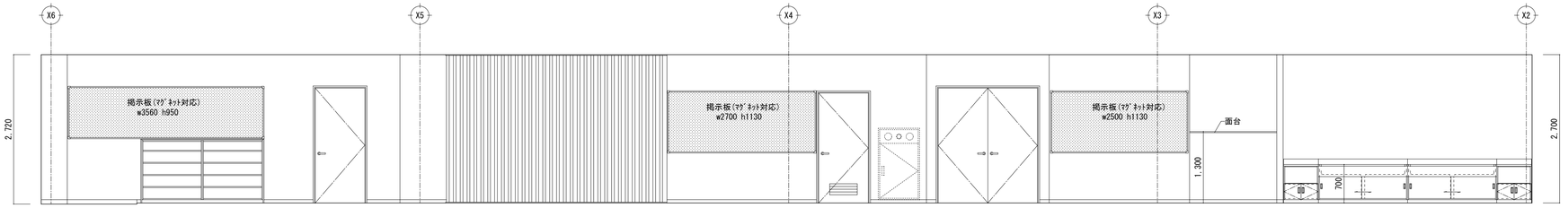
## (児童クラブ 1F) 玄関・ホール・廊下



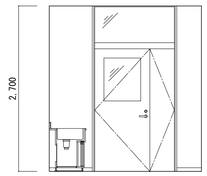

〈 A 〉




〈 B 〉

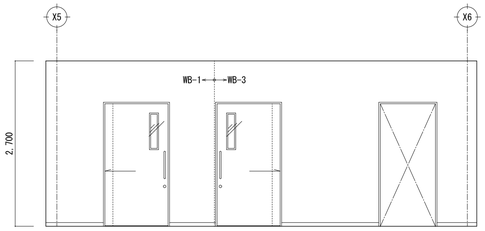



〈 C 〉

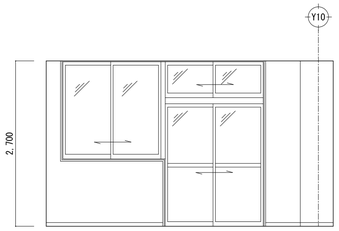



〈 D 〉

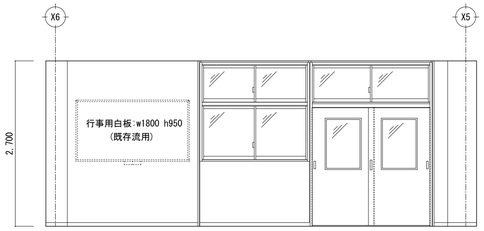
## (児童クラブ 1F) 職員室



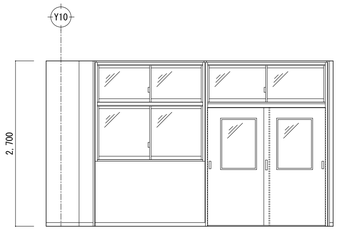

〈 A 〉




〈 B 〉

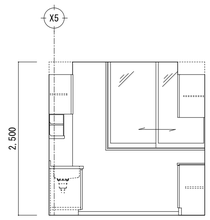



〈 C 〉

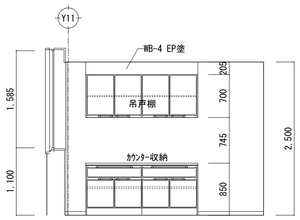



〈 D 〉

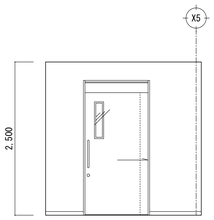
## (児童クラブ 1F) 給湯室



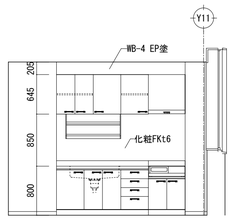

〈 A 〉




〈 B 〉

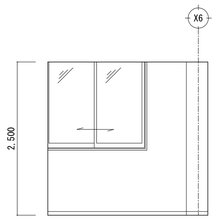



〈 C 〉

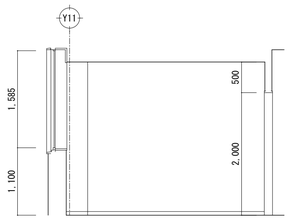



〈 D 〉

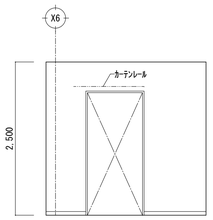
## (児童クラブ 1F) 静養室



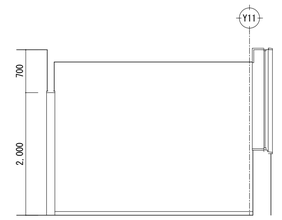

〈 A 〉




〈 B 〉

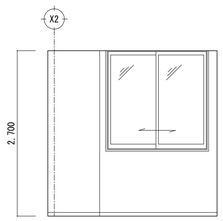



〈 C 〉

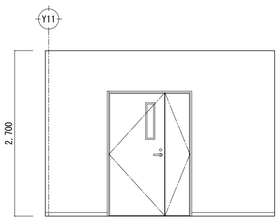



〈 D 〉

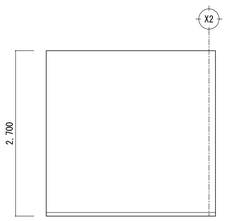
## (児童クラブ 1F) 倉庫 1



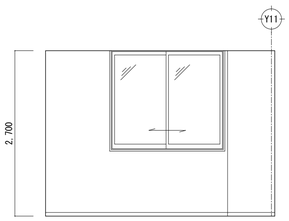

〈 A 〉




〈 B 〉




〈 C 〉




〈 D 〉

### 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＷＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

### ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21 (片面) |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

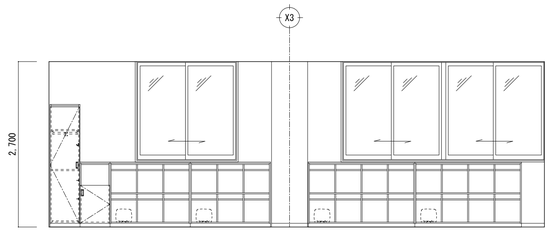
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

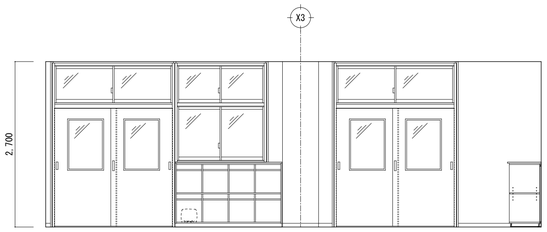
| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 36127号 森 真洋 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 A-042 |
| 図面名 | 展開図-4 | 縮尺 | A1: 1/50 A3: 1/100 | |

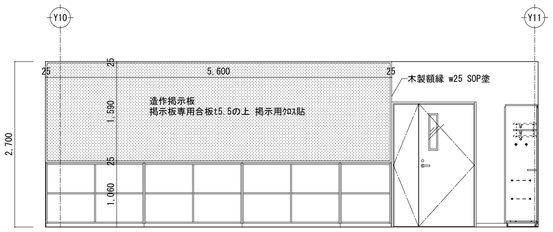
## (児童クラブ 1F) 放課後児童クラブ




〈 A 〉

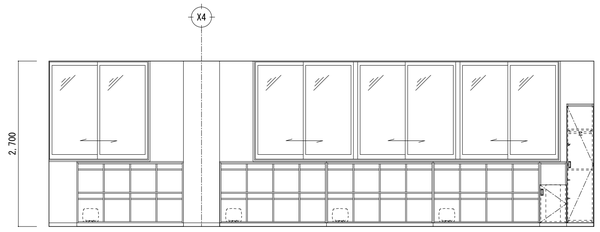



〈 C 〉

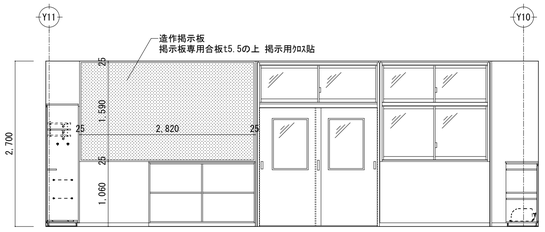



〈 D 〉

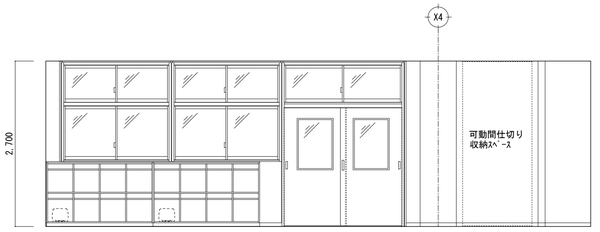
## (児童クラブ 1F) 学習室(１年, ２年)




〈 A 〉

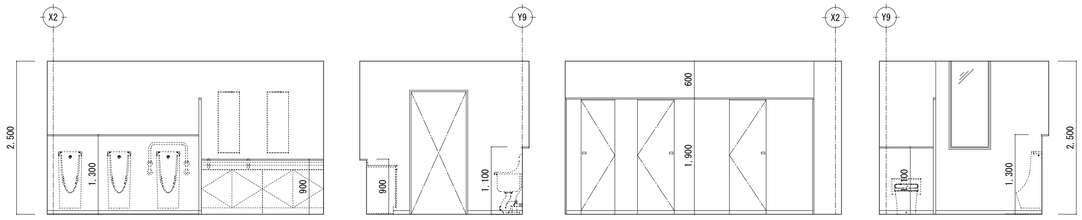



〈 B 〉



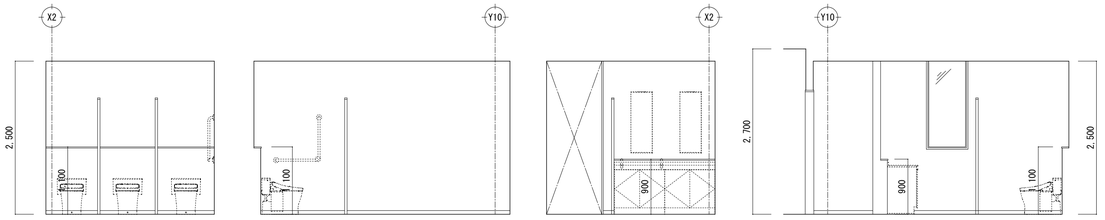

〈 C 〉

## (児童クラブ 1F) 男子便所



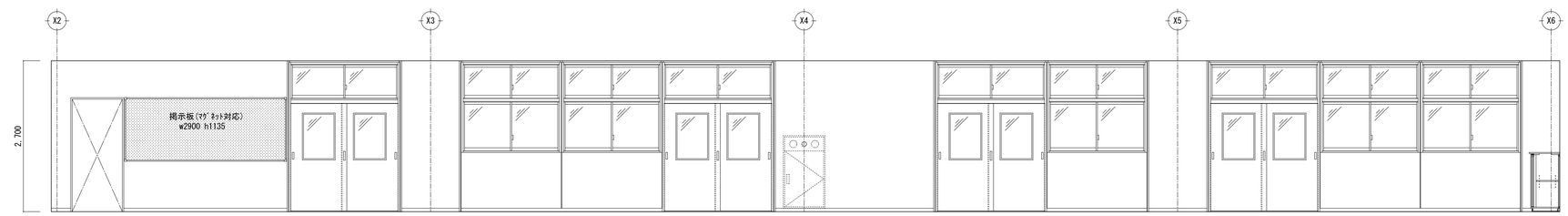

〈 A 〉 〈 B 〉 〈 C 〉 〈 D 〉

## (児童クラブ 1F) 女子便所

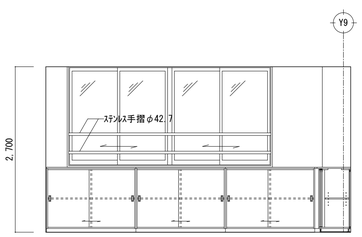



〈 A 〉 〈 B 〉 〈 C 〉 〈 D 〉

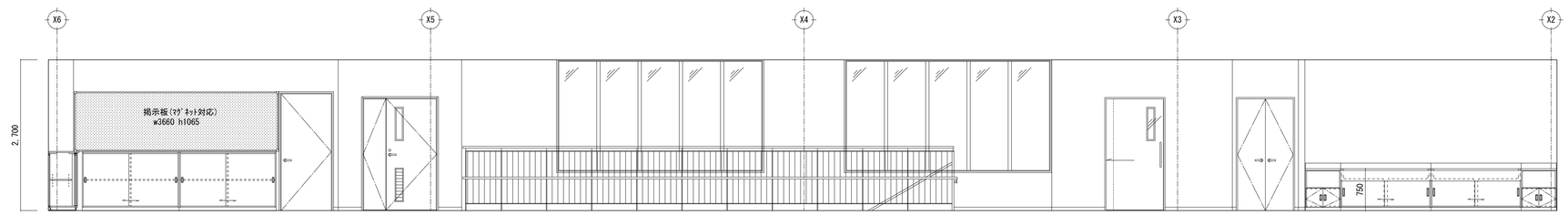
## (児童クラブ 2F) 廊下・多目的スペース



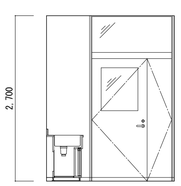

〈 A 〉




〈 B 〉




〈 C 〉




〈 D 〉

### 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＶＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

### ボード系下地 凡例

| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21 (片面) |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士: 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

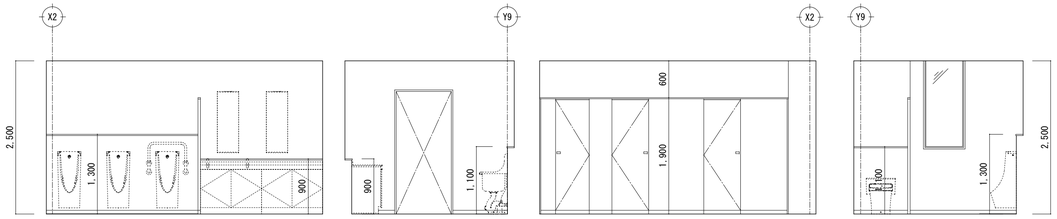
照査

担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 展開図-5 | 縮尺 | A1: 1/50 A3: 1/100 |

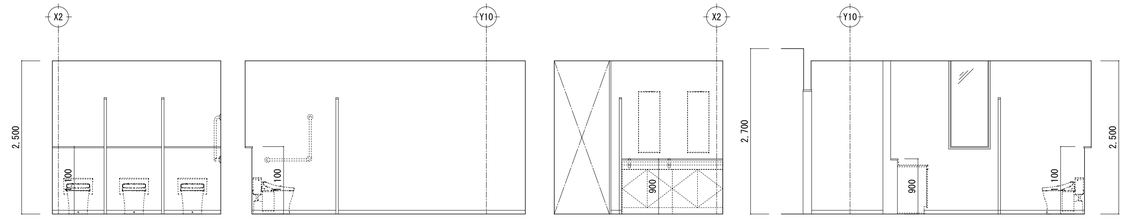
図面番号: A-043

## (児童クラブ 2F) 男子便所



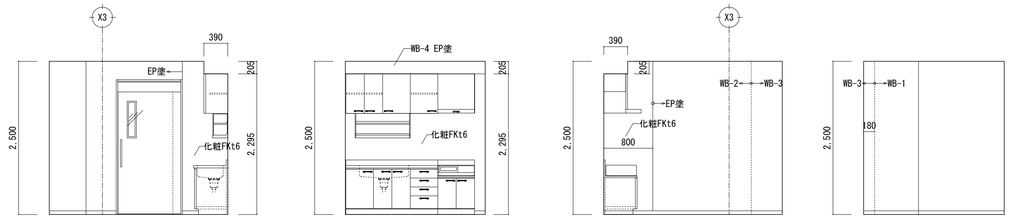

〈 A 〉　〈 B 〉　〈 C 〉　〈 D 〉

## (児童クラブ 2F) 女子便所



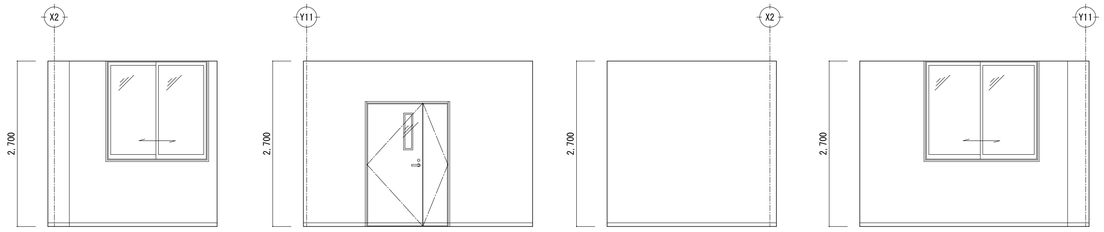

〈 A 〉　〈 B 〉　〈 C 〉　〈 D 〉

## (児童クラブ 2F) 配膳室



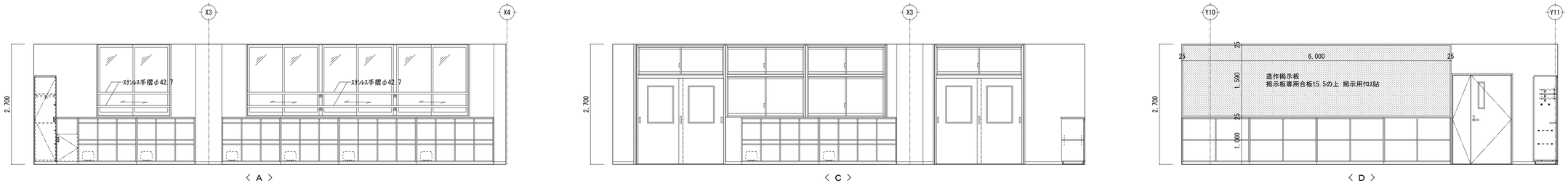

〈 A 〉　〈 B 〉　〈 C 〉　〈 D 〉

## (児童クラブ 2F) 倉庫３



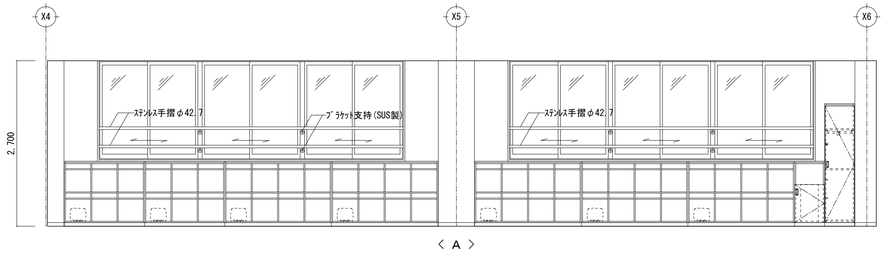

〈 A 〉　〈 B 〉　〈 C 〉　〈 D 〉

## (児童クラブ 2F) 放課後児童クラブ

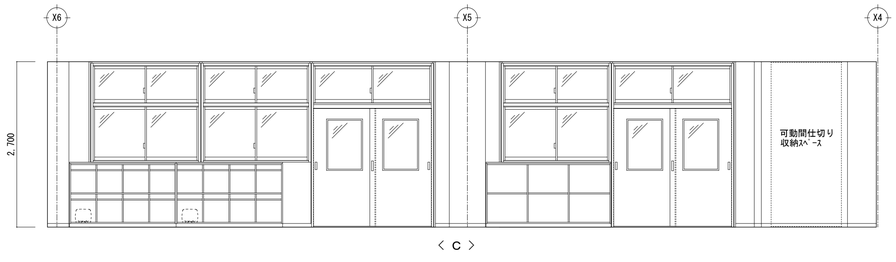



〈 A 〉　〈 C 〉　〈 D 〉

## (児童クラブ 2F) 学習室(３年, ４年, ５年, ６年)




〈 A 〉　〈 B 〉




〈 C 〉　〈 D 〉

## 仕上 凡例

| | |
|---|---|
| ＶＳ | ビニル床シート |
| ＶＳ(抗菌) | 抗菌ビニル床シート |
| ＶＴ | ビニル床タイル |
| ＶＴ(木目) | 木目調ビニル床タイル |
| ＴＣ | タイルカーペット |
| ＶＨ | ビニル巾木 |
| ＷＨ | 木製巾木 |
| ＶＣ | ビニルクロス |
| ＰＢ | せっこうボード |
| 強化ＰＢ | 強化せっこうボード |
| 化粧ＰＢ | 化粧石膏ボード |
| ＦＫ | ケイ酸カルシウム板 |
| 化粧ＦＫ | 化粧ケイ酸カルシウム板 |
| ＲＢ | 岩綿吸音板 |
| ＧＷ | グラスウール |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント |
| ＳＯＰ | 合成樹脂調合ペイント |
| ＤＰ | 耐候性塗料 |
| ＵＣ | ウレタン樹脂ワニス |
| | |

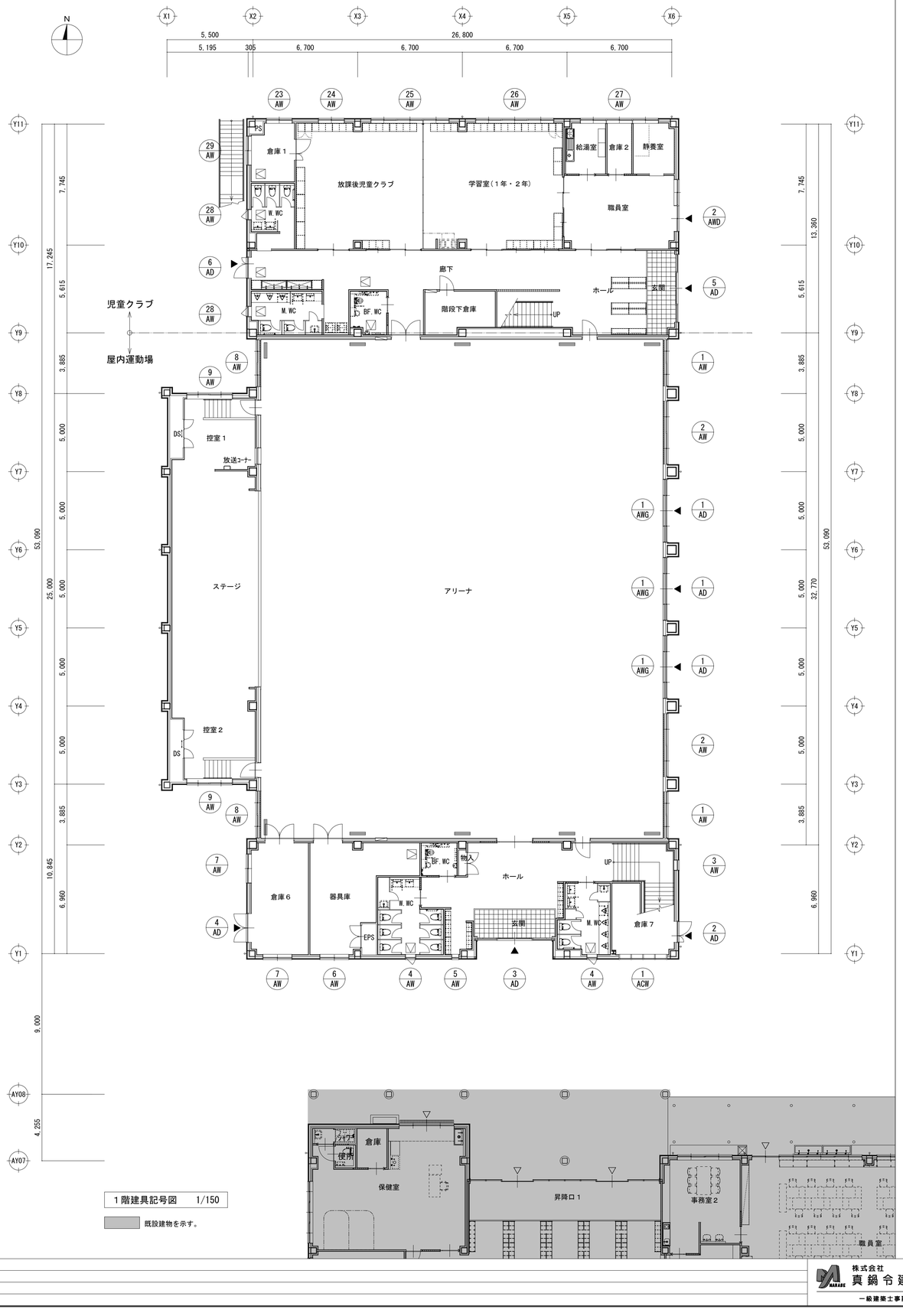
## ボード系下地 凡例

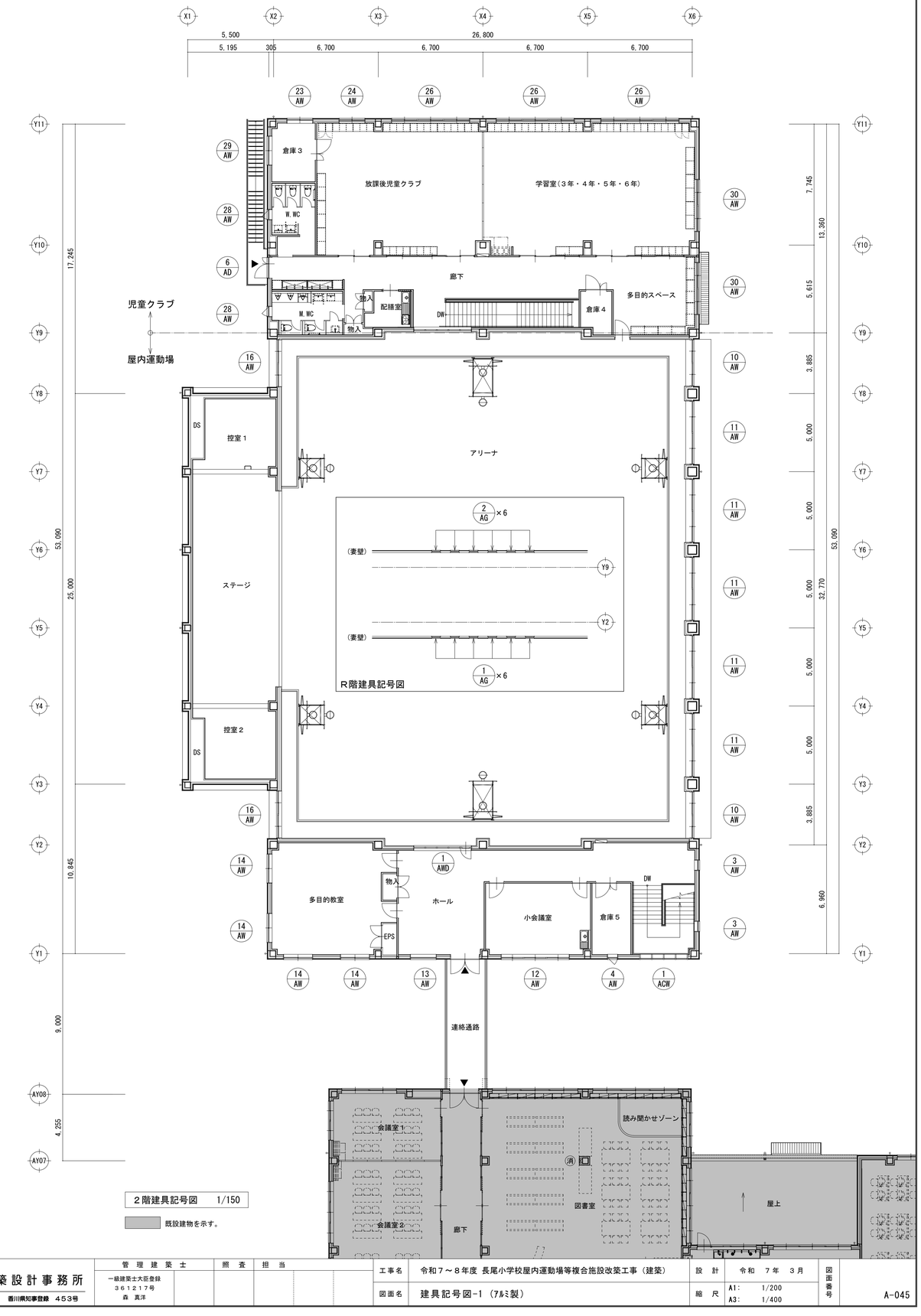
| | |
|---|---|
| WB-1 | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) |
| WB-1G | LGS下地 強化PBt12.5+強化PBt12.5 (両面) 中空部GW24Kt50 |
| WB-2 | LGS下地 強化PBt21+強化PBt21 (片面) |
| WB-3 | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 |
| WB-3G | LGS下地 PBt12.5+PBt12.5 中空部GW24Kt50 |
| WB-4 | LGS下地 PBt12.5 |

記事


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号
管理建築士　一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋
照査
担当


| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 展開図-6 | 縮尺 | A1: 1/50<br>A3: 1/100 |
| | | 図面番号 | A-044 |




記事

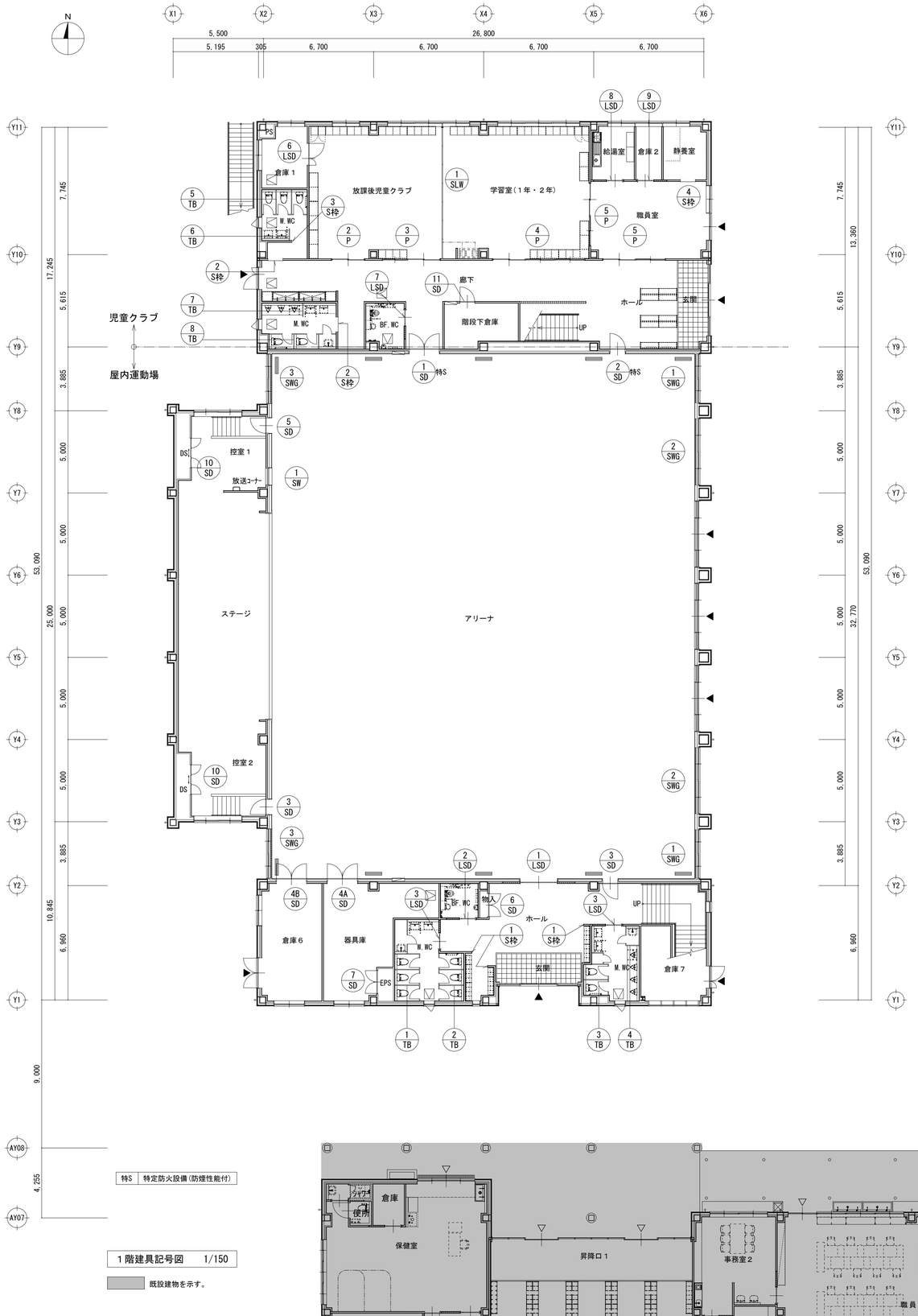
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 建具記号図-1 （ﾌﾙﾐ製） | 縮尺 | A1：1/200<br>A3：1/400 |
| | | 図面番号 | A-045 |

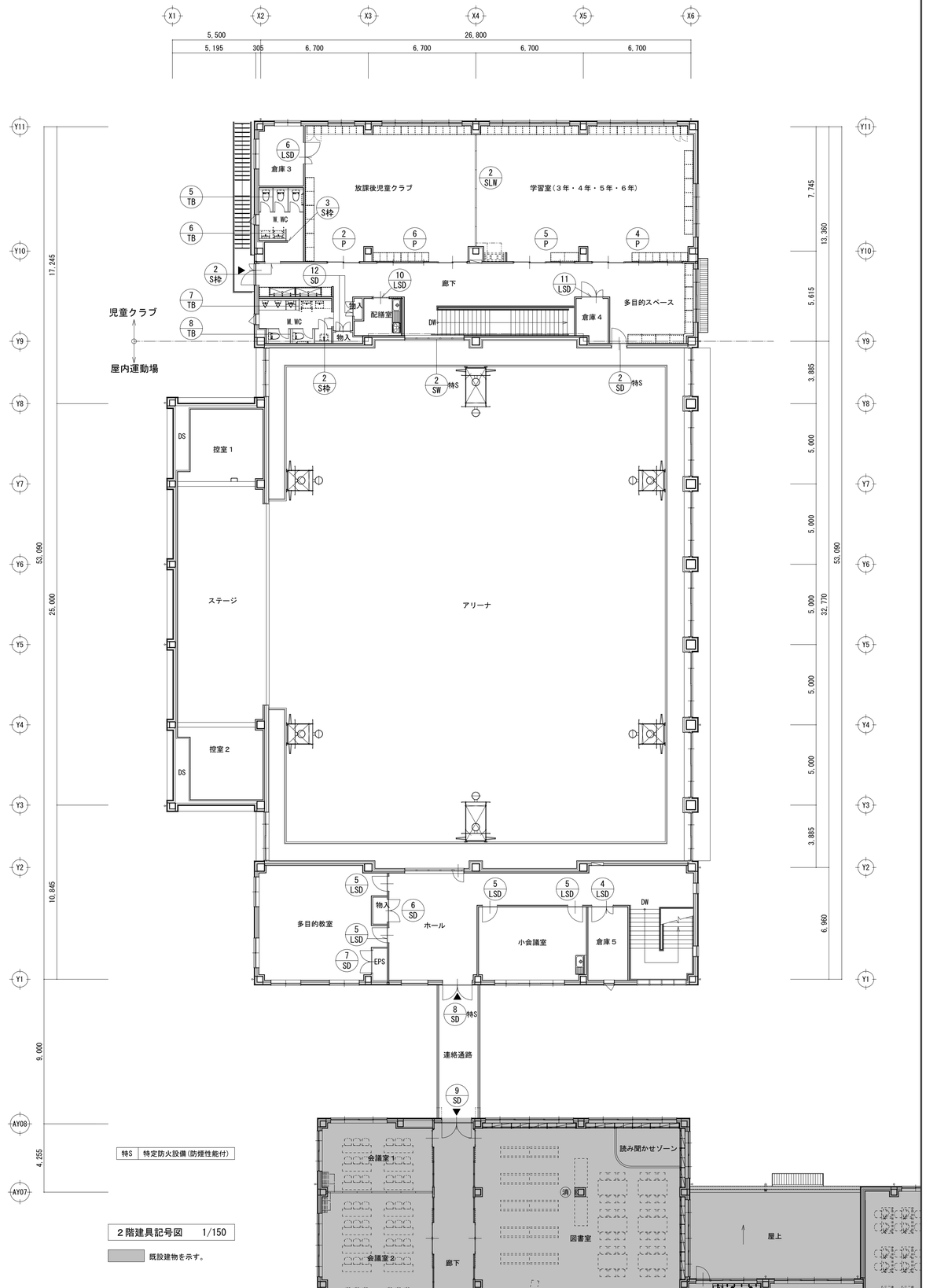



特S　特定防火設備（防煙性能付）

1階建具記号図　1/150

既設建物を示す。




特S　特定防火設備（防煙性能付）

2階建具記号図　1/150

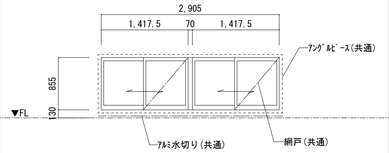
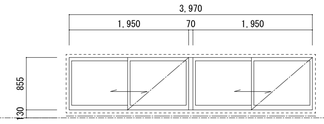
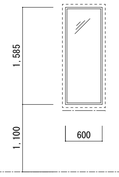
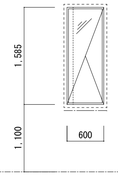
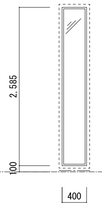
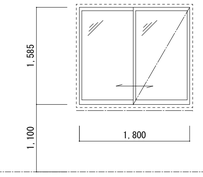
既設建物を示す。

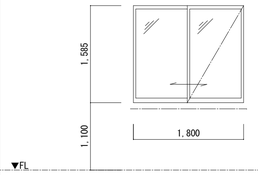
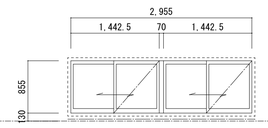
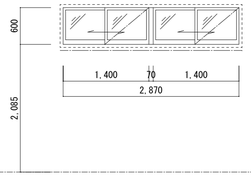
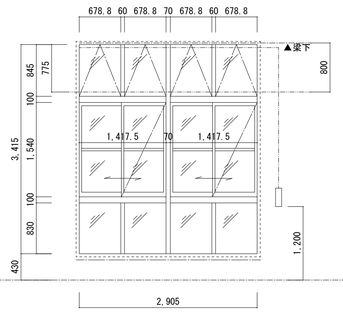
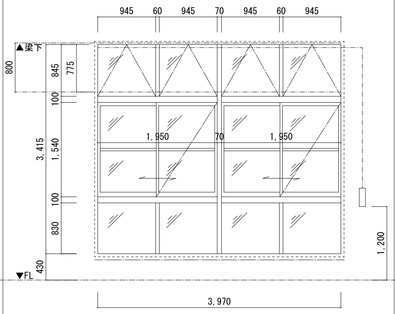
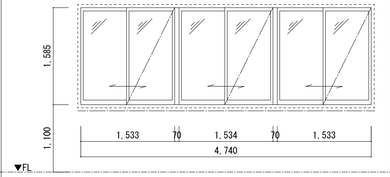
| | |
|---|---|
| 記事 | |

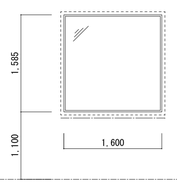
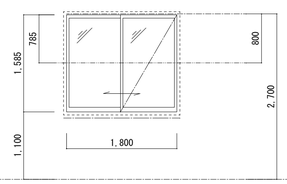
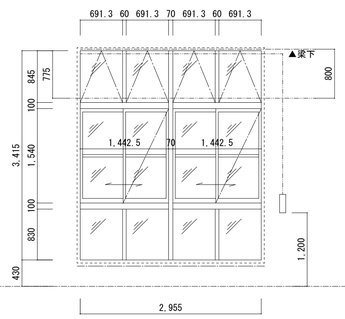
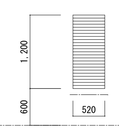
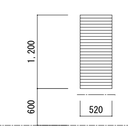
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 建具記号図-2（鋼製・軽量鋼製・ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ） | 縮尺 | A1: 1/50<br>A3: 1/100 |
| | | 図面番号 | A-046 |

| 符号 | 1 AW | 2 AW | 3 AW | 4 AW | 5 AW | 6 AW |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | <屋内運動場> 1F アリーナ 2箇所 | <屋内運動場> 1F アリーナ 2箇所 | <屋内運動場> 1F 階段、 2F 階段 3箇所 | <屋内運動場> 1F M.WC、W.WC、 2F 倉庫５ 3箇所 | <屋内運動場> 1F ホール 1箇所 | <屋内運動場> 1F 器具庫 1箇所 |
| 姿図<br>寸法 |  |  |  |  |  |  |
| 形式 | 引違い窓 | 引違い窓 | FIX窓 | 縦すべり出し窓 | FIX窓 | 引違い窓 |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ |
| ガラス | ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 厚3 | ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 厚3 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 |
| 金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ﾊﾝﾄﾞﾙ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ |
| 備考 | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | | | | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) |

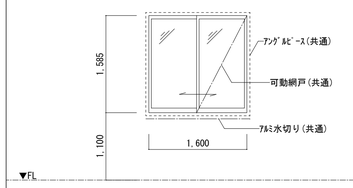
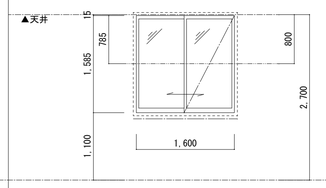
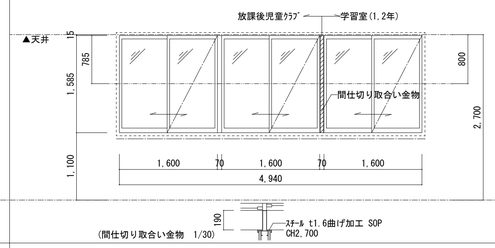
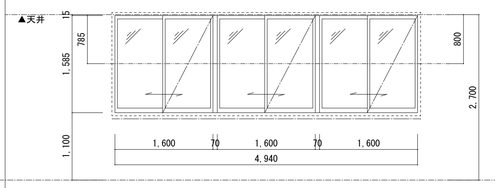
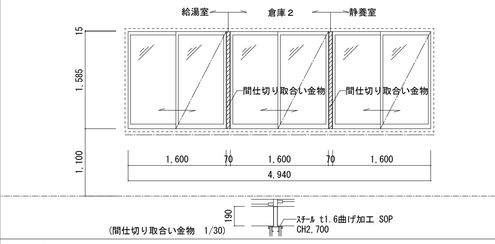
| 符号 | 7 AW | 8 AW | 9 AW | 10 AW | 11 AW | 12 AW |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | <屋内運動場> 1F 倉庫６ 2箇所 | <屋内運動場> 1F アリーナ 2箇所 | <屋内運動場> 1F 控室１、控室２ 2箇所 | <屋内運動場> 2F アリーナ 2箇所 | <屋内運動場> 2F アリーナ 5箇所 | <屋内運動場> 2F 小会議室 1箇所 |
| 姿図<br>寸法 |  |  |  |  |  |  |
| 形式 | 引違い窓 | 引違い窓 | 引違い窓 | 排煙窓付 引違い窓 | 排煙窓付 引違い窓 | 引違い窓 |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ |
| ガラス | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 厚3 | 複層ｶﾞﾗｽ 厚(FL5+A6+FL5) | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 複層ｶﾞﾗｽ 厚(FL5+A6+FL5) |
| 金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(190幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 |
| 備考 | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) |

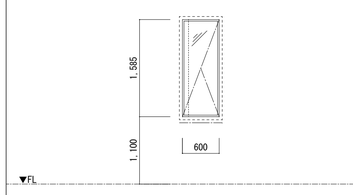
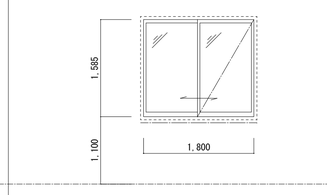
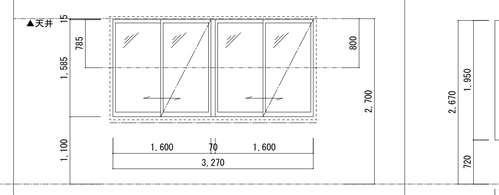
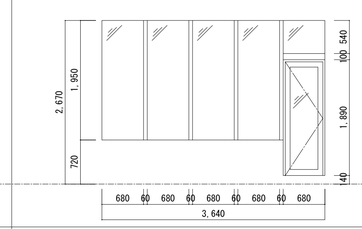
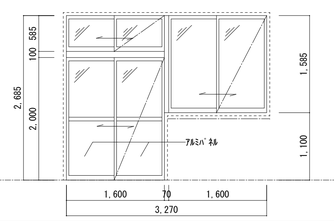
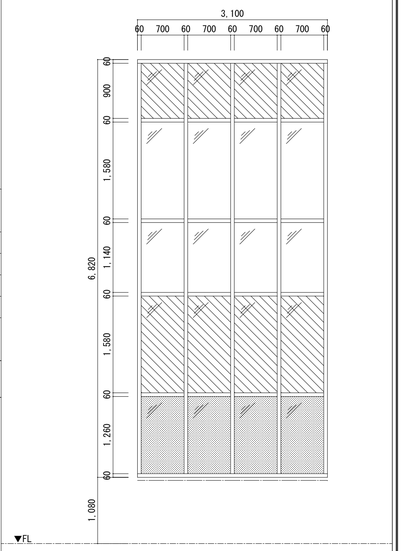
| 符号 | 13 AW | 14 AW | | 16 AW | 1 AG | 2 AG |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | <屋内運動場> 2F ホール 1箇所 | <屋内運動場> 2F 多目的教室 4箇所 | | <屋内運動場> 2F アリーナ 2箇所 | <屋内運動場> RF 妻壁 6箇所 | <屋内運動場> RF 妻壁 6箇所 |
| 姿図<br>寸法 |  |  | |  |  |  |
| 形式 | FIX窓 | 引違い窓 | | 排煙窓付 引違い窓 | ｶﾞﾗﾘ | ｶﾞﾗﾘ |
| 見込 | 70 | 70 | | 70 | 70 | 70 |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ |
| ガラス | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4) | 複層ｶﾞﾗｽ 厚(FL5+A6+FL5) | | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | ― | ― |
| 金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ | | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(25幅)、ｱﾙﾐ内額縁(30幅)、ｶﾞﾗﾘ部防虫網(ｽﾃﾝﾚｽ) | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(25幅)、ｱﾙﾐ内額縁(30幅)、ｶﾞﾗﾘ部防虫網(ｽﾃﾝﾚｽ) |
| 備考 | | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | | |

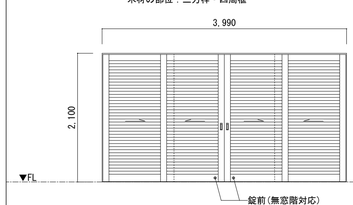
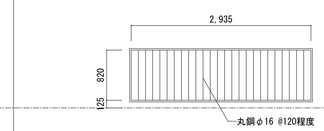
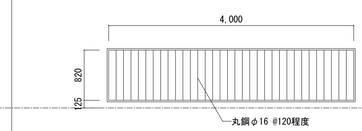
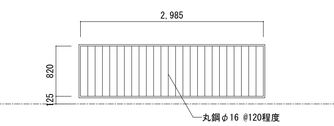
記事
- 【ガラス】 FL ：フロート板ガラス　TP ：強化ガラス
- F ：型板ガラス　APL ：アルミパネル
- PW ：網入磨板ガラス
- FW ：網入型板ガラス

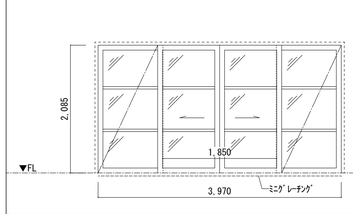
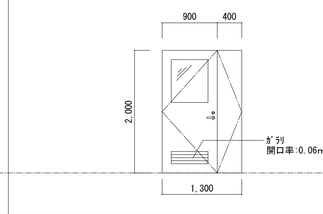
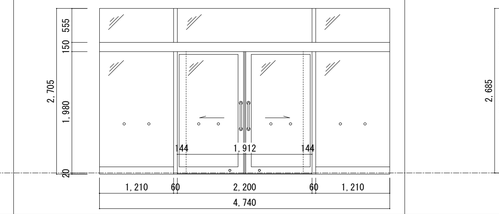
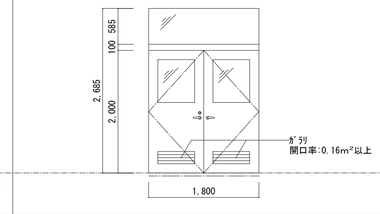
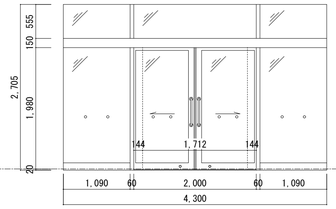
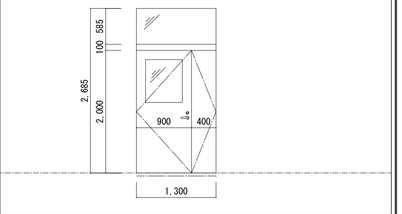

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号
管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

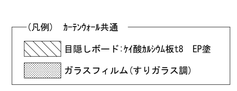

| | |
|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| 図面名 | 建具表-1 |
| 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 縮尺 | A1： 1/50<br>A3： 1/100 |
| 図面番号 | A-047 |

| 符号 | 23 AW | 24 AW | 25 AW | 26 AW | 27 AW |
|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 2 箇所 | 2 箇所 | 1 箇所 | 4 箇所 | 1 箇所 |
| | <児童クラブ> 1F 倉庫１、 2F 倉庫３ | <児童クラブ> 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ、 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | <児童クラブ> 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | <児童クラブ> 1F 学習室(1,2年)、 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ、学習室(3,4,5,6年) | <児童クラブ> 1F 給湯室、倉庫２、静養室 |
| 姿図<br>寸法 |  |  |  |  |  |
| 形式 | 引違い窓 | 引違い窓 | 引違い窓 | 引違い窓 | 引違い窓 |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ |
| ガラス | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) |
| 金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、間仕切り取合い金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、間仕切り取合い金物 |
| 備考 | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) |

| 符号 | 28 AW | 29 AW | 30 AW | 1 AWD | 2 AWD | 1 ACW |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 4 箇所 | 2 箇所 | 2 箇所 | 1 箇所 | 1 箇所 | 1 箇所 |
| | <児童クラブ> 1F M.WC、W.WC、 2F M.WC、W.WC | <児童クラブ> 1F 倉庫１、 倉庫３ | <児童クラブ> 2F 学習室(3,4,5,6年)、多目的スペース | <屋内運動場> 2F ホール | <児童クラブ> 1F 職員室 | <屋内運動場> 階段室 |
| 姿図<br>寸法 |  |  |  |  |  |  |
| 形式 | 縦すべり出し窓 | 引違い窓 | 引違い窓 | FIX窓付 片開き戸 | 引違い窓付 引違い戸 | |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | |
| ガラス | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) | 合せｶﾞﾗｽ 厚 (強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 複層ｶﾞﾗｽ 厚 (FL5+A6+FL5) | |
| 金物 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ﾊﾝﾄﾞﾙ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、 | ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｸﾚｾﾝﾄ、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt2.0 | |
| 備考 | | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | |

| 符号 | 1 AWG | 1 SWG | 2 SWG | 3 SWG |
|---|---|---|---|---|
| 個数 | 3 箇所 | 2 箇所 | 2 箇所 | 2 箇所 |
| | <屋内運動場> 1F アリーナ | <屋内運動場> 1F アリーナ | <屋内運動場> 1F アリーナ | <屋内運動場> 1F アリーナ |
| 姿図<br>寸法 | ｱﾙﾐ材の部位：上ﾚｰﾙ・押縁・格子・下ﾚｰﾙ・四周額縁用 Lｱﾝｸﾞﾙ<br>木材の部位：三方枠・四周框<br>  |  |  |  |
| 形式 | 木・ｱﾙﾐ複合防球格子(引分け) | ｽﾁｰﾙ製 防球格子(固定) | ｽﾁｰﾙ製 防球格子(固定) | ｽﾁｰﾙ製 防球格子(固定) | |
| 見込 | 132 | 100 | 100 | 100 | |
| 仕上 | 枠：香川県産ﾋﾉｷ集成材 ｳﾚﾀﾝｸﾘｱ塗装(2回塗)<br>ｱﾙﾐ部：ｱｸﾘﾙ焼付塗装(木近似色) ※下ﾚｰﾙのみｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ | SOP塗 | SOP塗 | SOP塗 | |
| ガラス | － | － | － | － | |
| 金物 | 手詰め防止ｺﾞﾑ、手掛け溝、ﾌﾗｼｽ落し、堀込引手、重量用調整式戸車、戸当り、錠前 | 付属金物一式 | 付属金物一式 | 付属金物一式 | |
| 備考 | ﾆｭｰｽﾄ 複合防球格子建具 同等 | | | | |

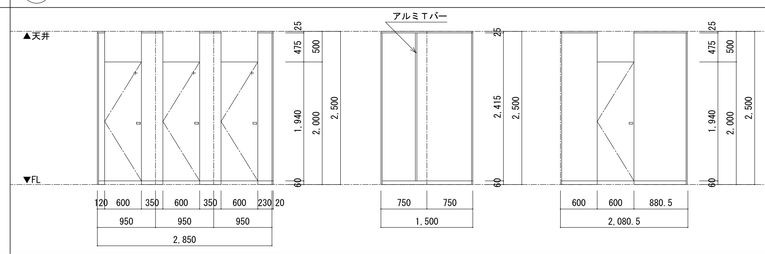
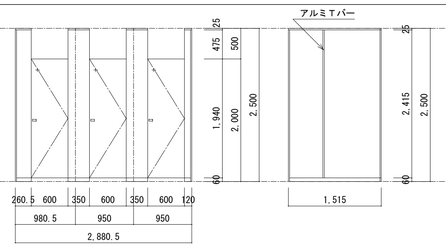
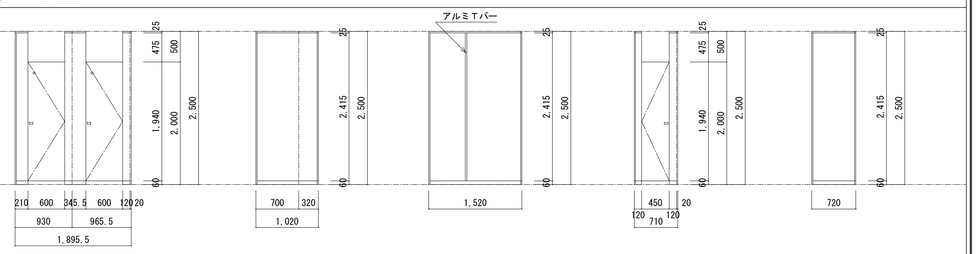
| 符号 | 1 AD | 2 AD | 3 AD | 4 AD | 5 AD | 6 AD |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 3 箇所 | 1 箇所 | 1 箇所 | 1 箇所 | 1 箇所 | 2 箇所 |
| | <屋内運動場> 1F アリーナ | <屋内運動場> 防災備品倉庫 | <屋内運動場> 1F 玄関 | <屋内運動場> 1F 倉庫6 | <児童クラブ> 1F 玄関 | <児童クラブ> 1F 廊下、 2F 廊下 |
| 姿図<br>寸法 |  |  |  |  |  |  |
| 形式 | 引分け戸 | 親子開き戸 | FIX窓付 引分け戸 | FIX窓付 両開き戸 | FIX窓付 引分け戸 | FIX窓付 親子開き戸 |
| 見込 | 70 | 70 | 100 | 70 | 100 | 70 |
| 仕上 | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ | ｱﾙﾐ ｶﾗｰ |
| ガラス | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4) | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 合せｶﾞﾗｽ 厚 (強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：透明強化 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 合せｶﾞﾗｽ 厚 (強化透明4+強化透明4)、ﾗﾝﾏ：透明強化 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 |
| 金物 | ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、ｸﾚｾﾝﾄ、堀込引手、ﾐﾆｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ | ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(19幅)、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｯｼｽ落し | ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(160幅)、ﾊﾝｶﾞｰ戸車、引き棒、戸先鎌錠 | ｱﾙﾐ水切、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(190幅)、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｯｼｽ落し | ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(160幅)、ﾊﾝｶﾞｰ戸車、引き棒、戸先鎌錠 | ｱﾙﾐ水切り、ｱﾙﾐ外額縁(70幅)、ｱﾙﾐ内額縁(190幅)、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｯｼｽ落し |
| 備考 | 可動網戸(ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂) | | 衝突防止表示φ30両面張り | ｶﾞﾗﾘ | 衝突防止表示φ30両面張り | |

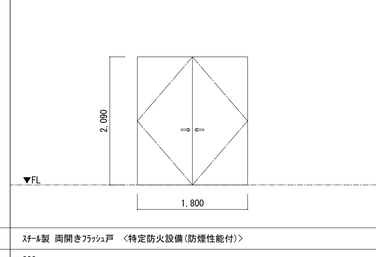
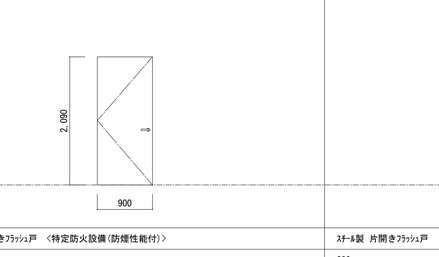
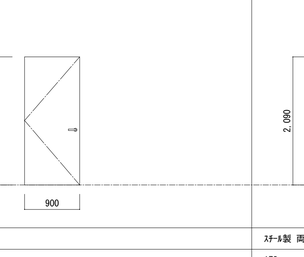
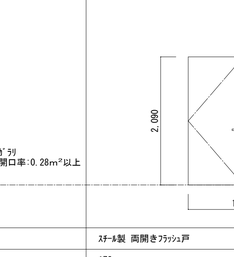
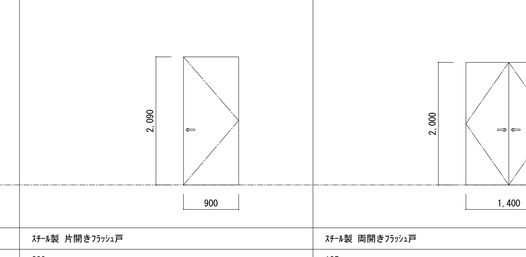


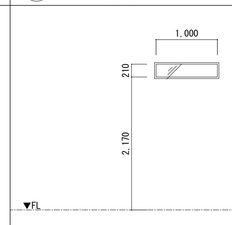
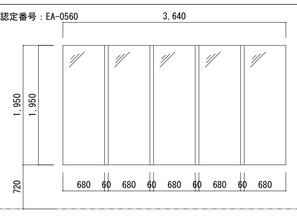
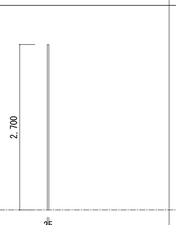
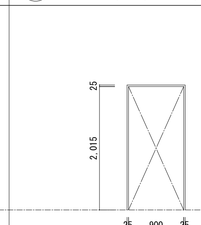
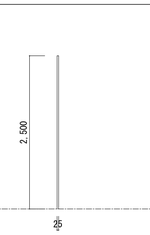
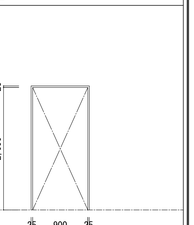

記事
・【ガラス】 FL ：フロート板ガラス TP ：強化ガラス
・ F ：型板ガラス APL ：アルミパネル
・ PW ：網入磨板ガラス
・ FW ：網入型板ガラス

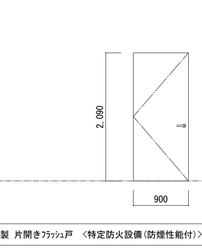
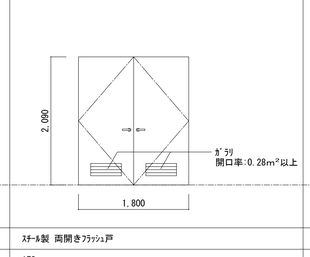
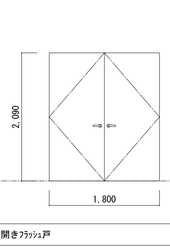
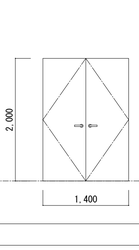
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号
管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-048 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 建具表-2 | 縮尺 | A1： 1/50<br>A3： 1/100 | | |

| 符号 | 1 TB | 2 TB | 3 TB |
|---|---|---|---|
| 個数 | 〈屋内運動場〉 1F W.WC 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F W.WC 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F M.WC 1 箇所 |
| 姿図 寸法 |  |  |  |
| 形式 | トイレブース | トイレブース | トイレブース |
| 見込 | ４０ | ４０ | ４０ |
| 仕上 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 |
| ガラス | － | | － |
| 金物 | 非常解錠機能付スライドロック、引手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 | 非常解錠機能付スライドロック、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 | 非常解錠機能付スライドロック、引手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 |
| 備考 | | | |

| 符号 | 4 TB | 5 TB | 6 TB | 7 TB | 8 TB |
|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 〈屋内運動場〉 1F M.WC 1 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F W.WC、 2F W.WC 2 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F W.WC、 2F W.WC 2 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F M.WC、 2F M.WC 2 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F M.WC、 2F M.WC 2 箇所 |
| 姿図 寸法 |  |  |  |  |  |
| 形式 | トイレブース | トイレブース | トイレブース | トイレブース | トイレブース |
| 見込 | ４０ | ４０ | ４０ | ４０ | ４０ |
| 仕上 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 |
| ガラス | － | － | － | － | － |
| 金物 | 非常解錠機能付スライドロック、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 | 非常解錠機能付スライドロック、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 | － | － | 非常解錠機能付スライドロック、引手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式 |
| 備考 | | | | | |

| 符号 | 1 SW | 2 SW 特S | | 1 S枠 | 2 S枠 | 3 S枠 | 4 S枠 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 2F 点検通路 1 箇所 | | 〈屋内運動場〉 1F ホール 3 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F M.WC、W.WC、 2F M.WC、W.WC 4 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F W.WC、 2FW.WC 2 箇所 | 〈児童クラブ〉 1F 静養室 1 箇所 |
| 姿図 寸法 |  |  | |  |  |  |  |
| 形式 | ｽﾁｰﾙ製 FIX窓 | ｽﾁｰﾙ製 FIX窓 〈特定防火設備〉 | | ｽﾁｰﾙ製 一方枠 | ｽﾁｰﾙ製 三方枠 | ｽﾁｰﾙ製 一方枠 | ｽﾁｰﾙ製 三方枠 |
| 見込 | 200 | 100 | | 125 | 130 | 135 | 125 |
| 仕上 | SOP | SOP | | SOP | SOP | SOP | SOP |
| ガラス | 合せｶﾞﾗｽ 厚(強化透明4+強化透明4) | 化学耐熱強化ｶﾞﾗｽ 厚6 | | | | | |
| 金物 | | | | ｽﾘﾑ枠 | | | |
| 備考 | | | | | | | |

| 符号 | 1 SD 特S | 2 SD 特S | 3 SD | 4A SD | 4B SD | 5 SD | 6 SD |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 個数 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ、 2F 点検通路 2 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 2 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F アリーナ 1 箇所 | 〈屋内運動場〉 1F 玄関ホール、 2F ホール 2 箇所 |
| 姿図 寸法 | 告示第1369号<br> | 告示第1369号<br>  |  |  |  |  |  |
| 形式 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 〈特定防火設備(防煙性能付)〉 | ｽﾁｰﾙ製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 〈特定防火設備(防煙性能付)〉 | ｽﾁｰﾙ製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 |
| 見込 | 200 | 200 | 200 | 172 | 172 | 200 | 125 |
| 仕上 | SOP | SOP | SOP | SOP | SOP | SOP | SOP |
| ガラス | － | － | － | － | － | － | － |
| 金物 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ(ｽﾄｯﾊﾟｰ無し)、丁番、ﾌﾗｽﾄ落し、順位調整器、ｽﾃﾝﾚｽ容掛 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ(ｽﾄｯﾊﾟｰ無し)、丁番、ｽﾃﾝﾚｽ容掛 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ｽﾃﾝﾚｽ容掛、ｽﾘﾑ枠 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｽﾄ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容掛、ｽﾘﾑ枠<br>ｽﾁｰﾙ製ｶﾞﾗﾘ | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｽﾄ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容掛、ｽﾘﾑ枠<br>ｽﾁｰﾙ製額縁(150×25) | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ｽﾃﾝﾚｽ容掛、ｽﾘﾑ枠 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗｽﾄ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容掛、ｽﾘﾑ枠 |
| 備考 | | | | | | | |

記事
・【ガラス】 FL：フロート板ガラス TP：強化ガラス
・ F：型板ガラス APL：アルミパネル
・ PW：網入磨板ガラス
・ FW：網入型板ガラス


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号
管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当


| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-049 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 建具表-3 | 縮尺 | A1： 1/50<br>A3： 1/100 | | |

| 符号 個数 | 7 SD <屋内運動場> 1F 器具庫、 2F 多目的教室 2 箇所 | 8 SD 特S <屋内運動場> 2F 連絡通路 1 箇所 | 9 SD <屋内運動場> 2F 連絡通路 1 箇所 | 10 SD <屋内運動場> 1F 控室１、控室２ 2 箇所 | 11 SD <児童クラブ> 1F 階段下倉庫 1 箇所 | 12 SD <児童クラブ> 2F 物入 2 箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 寸法 | | 防火認定番号：EA-0413 | | | | |
| 形式 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 〈特定防火設備(防煙性能付)〉 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 ｽﾗｲﾄﾞ点検扉 | ｽﾁｰﾙ製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 | ｽﾁｰﾙ製 両開きﾌﾗｯｼｭ戸 |
| 見込 | 100 | 200 | 200 | 100 | 125 | 135 |
| 仕上 | SOP | SOP | SOP | SOP | SOP | SOP |
| ガラス | － | 耐熱強化ｶﾞﾗｽ 厚8 | 透明強化 厚4 | － | － | － |
| 金物 | 点検口錠(ｽﾘｯﾄｷｰ)、丁番、ﾌﾗﾝｽ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容揺、ｽﾘﾑ枠 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ(ｽﾄｯﾊﾟｰ無し)、丁番、ﾌﾗﾝｽ落し、順位調整器、ｽﾃﾝﾚｽ容揺 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗﾝｽ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容揺 | 点検口錠(ｽﾘｯﾄｷｰ)、丁番、ｽﾃﾝﾚｽ容揺、ｽﾘﾑ枠 | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ｽﾃﾝﾚｽ容揺、ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、ﾌﾗﾝｽ落し、ｽﾃﾝﾚｽ容揺 |
| 備考 | ｾﾐﾓｱｱﾗｲﾄ仕様 | | | | | |

| 符号 個数 | 1 LSD <屋内運動場> 1F アリーナ 1 箇所 | 2 LSD <屋内運動場> 1F BF.WC 1 箇所 | 3 LSD <屋内運動場> 1F W.WC、M.WC 2 箇所 | 4 LSD <屋内運動場> 2F 倉庫５ 1 箇所 | 5 LSD <屋内運動場> 2F 多目的教室、小会議室 4 箇所 | 6 LSD <児童クラブ> 1F 倉庫１、2F 倉庫３ 2 箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 寸法 | | | | | | |
| 形式 | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ引分け戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸 | 軽量ｽﾁｰﾙ製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 | 軽量ｽﾁｰﾙ製 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸 |
| 見込 | 170 | 140 | 140 | 135 | 135 | 135 |
| 仕上 | SOP | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 |
| ガラス | － | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 |
| 金物 | 堀込引手、錠前(下かまち錠)、ｽﾃﾝﾚｽ敷居t1.5、ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | 丁番、ＤＣ、シリンダー錠、ＬＨ、戸当り、ステンレス容揺、フランス落し | 丁番、ＤＣ、シリンダー錠、ＬＨ、戸当り、ステンレス容揺 | 丁番、ＤＣ、シリンダー錠、ＬＨ、戸当り、ステンレス容揺、フランス落し |
| 備考 | 文化ｼｬｯﾀｰ ｶｰﾑｽﾗｲﾀﾞｰﾀﾌﾈｽ 同等 | | | | | |

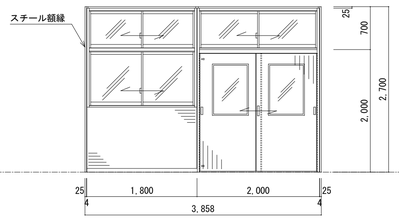
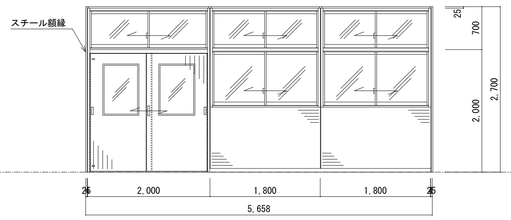
| 符号 個数 | 7 LSD <児童クラブ> 1F BF.WC 1 箇所 | 8 LSD <児童クラブ> 1F 給湯室 1 箇所 | 9 LSD <児童クラブ> 1F 倉庫２ 1 箇所 | 10 LSD <児童クラブ> 2F 配膳室 1 箇所 | 11 LSD <児童クラブ> 2F 倉庫４ 1 箇所 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 寸法 | | | | | | |
| 形式 | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 ﾊﾝｶﾞｰ片引き戸 (壁収納方式) | 軽量ｽﾁｰﾙ製 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸 | |
| 見込 | 140 | 135 | 135 | 140 | 135 | |
| 仕上 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | 扉：木目鋼板 t=0.6 枠：ＳＯＰ塗 | |
| ガラス | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化型板ｶﾞﾗｽ 厚4 | |
| 金物 | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | ロック、ハンドル、油圧制御装置、ステンレス容揺、付属金物一式 | 丁番、ＤＣ、シリンダー錠、ＬＨ、戸当り、ステンレス容揺、フランス落し | |
| 備考 | | | | | | |

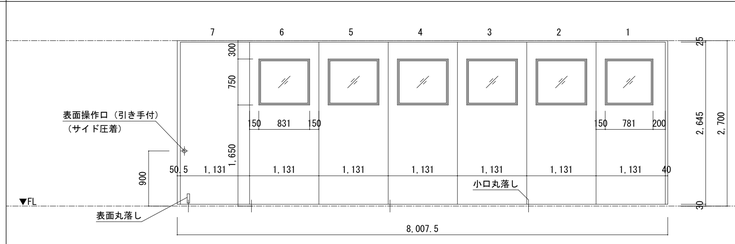
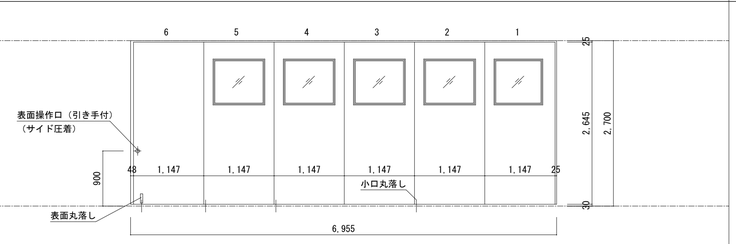
| 符号 個数 | | | 2 P <児童クラブ> 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ、 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ 2 箇所 | 3 P <児童クラブ> 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ 1 箇所 | 4 P <児童クラブ> 1F 学習室、 2F 学習室 2 箇所 |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 寸法 | | | | | |
| 形式 | | | ｽﾁｰﾙ製 学校間仕切 (ｾｰﾌﾃｨﾀﾞﾝﾊﾟｰ付吊戸) | ｽﾁｰﾙ製 学校間仕切 (ｾｰﾌﾃｨﾀﾞﾝﾊﾟｰ付吊戸) | ｽﾁｰﾙ製 学校間仕切 (ｾｰﾌﾃｨﾀﾞﾝﾊﾟｰ付吊戸) |
| 見込 | | | 80 | 80 | 80 |
| 仕上 | | | 扉：木目鋼板 t=0.6 アルミサッシ・枠・骨材：指定色焼付塗装仕上げ | 扉：木目鋼板 t=0.6 パネル：木目鋼板 t=0.6(石膏ボード12.5t裏打ち) アルミサッシ・枠・骨材：指定色焼付塗装仕上げ | 扉：木目鋼板 t=0.6 パネル：木目鋼板 t=0.6(石膏ボード12.5t裏打ち) アルミサッシ・枠・骨材：指定色焼付塗装仕上げ |
| ガラス | | | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ 厚5 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ 厚5 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ 厚5 |
| 金物 | | | スチール額縁(縦のみ)、引違い戸錠、クレセント、堀込引手、FB容揺、片寄せ切窓 | スチール額縁(縦のみ)、引違い戸錠、クレセント、堀込引手、ＦＢ容揺、片寄せ切窓、付属金物一式 | スチール額縁(縦のみ)、引違い戸錠、クレセント、堀込引手、ＦＢ容揺、片寄せ切窓、付属金物一式 |
| 備考 | | | | | |

記事
・【ガラス】 FL：フロート板ガラス TP：強化ガラス
・ F：型板ガラス APL：アルミパネル
・ PW：網入磨板ガラス
・ FW：網入型板ガラス


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号
管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当


| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-050 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 建具表-4 | 縮尺 | A1： 1/50 A3： 1/100 | | |

| 符号 / 個数 | 5 P　〈児童クラブ〉 1F 職員室、 2F 学習室　3 箇所 | 6 P　〈児童クラブ〉 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ　1 箇所 | |
|---|---|---|---|
| 姿図 / 寸法 |  |  | |
| 形式 | ｽﾁｰﾙ製 学校間仕切（ｾｰﾌﾃｨﾀﾞﾝﾊﾟｰ付吊戸） | ｽﾁｰﾙ製 学校間仕切（ｾｰﾌﾃｨﾀﾞﾝﾊﾟｰ付吊戸） | |
| 見込 | 80 | 80 | |
| 仕上 | 扉：木目鋼板 t=0.6　パネル：木目鋼板 t=0.6（石膏ボード12.5t裏打ち）　アルミサッシ・枠・骨材：指定色焼付塗装仕上げ | 扉：木目鋼板 t=0.6　パネル：木目鋼板 t=0.6（石膏ボード12.5t裏打ち）　アルミサッシ・枠・骨材：指定色焼付塗装仕上げ | |
| ガラス | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ 厚5 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4、ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ 厚5 | |
| 金物 | スチール額縁(縦のみ)、引違い戸錠、クレセント、堀込引手、ＦＢ沓摺、片寄せ切窓、付属金物一式 | スチール額縁(縦のみ)、引違い戸錠、クレセント、堀込引手、ＦＢ沓摺、片寄せ切窓、付属金物一式 | |
| 備考 | | | |

| 符号 / 個数 | 1 SLW　〈児童クラブ〉 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ　1 箇所 | 2 SLW　〈児童クラブ〉 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ　1 箇所 | |
|---|---|---|---|
| 姿図 / 寸法 |  |  | |
| 形式 | ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ | ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ | |
| 見込 | 50 | 50 | |
| 仕上 | 枠：焼付塗装、ﾊﾟﾈﾙ：ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(内装工事) | 枠：焼付塗装、ﾊﾟﾈﾙ：ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(内装工事) | |
| ガラス | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | 強化透明ｶﾞﾗｽ 厚4 | |
| 金物 | ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾗﾝﾅｰ、引手付操作口、付属金物一式 | ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ﾗﾝﾅｰ、引手付操作口、付属金物一式 | |
| 備考 | | | |

| 符号 / 個数 | |
|---|---|
| 姿図 / 寸法 | |
| 形式 | |
| 見込 | |
| 仕上 | |
| ガラス | |
| 金物 | |
| 備考 | |

| 符号 / 個数 | |
|---|---|
| 姿図 / 寸法 | |
| 形式 | |
| 見込 | |
| 仕上 | |
| ガラス | |
| 金物 | |
| 備考 | |

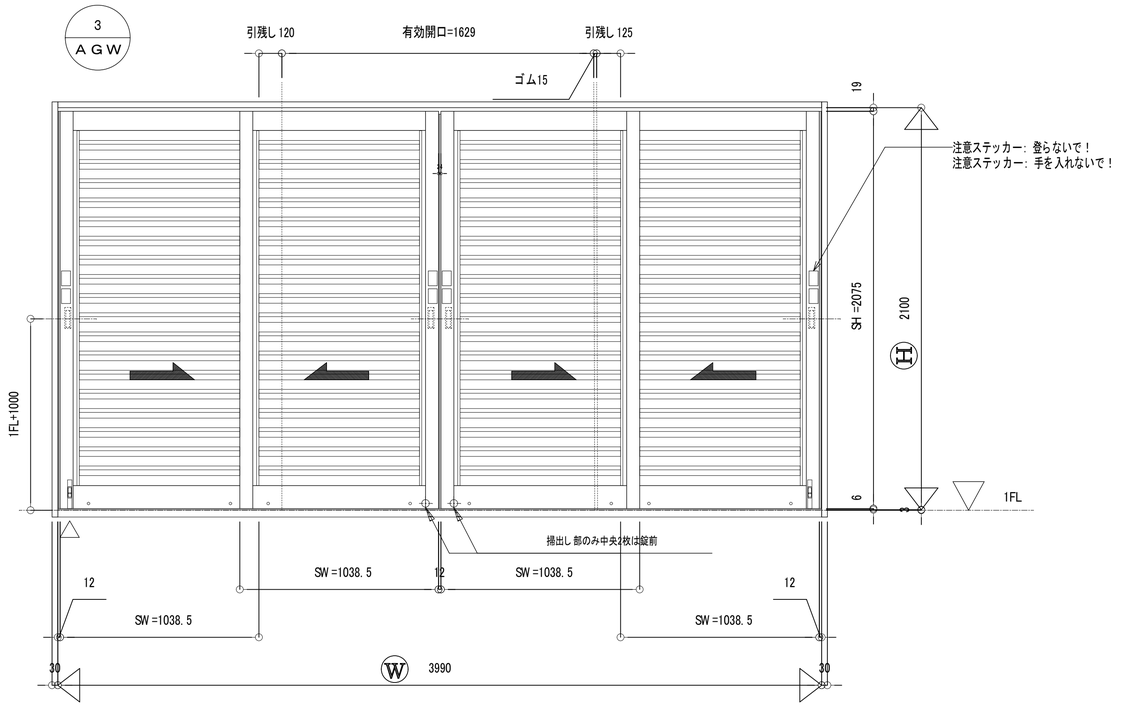
| 符号 / 個数 | |
|---|---|
| 姿図 / 寸法 | |
| 形式 | |
| 見込 | |
| 仕上 | |
| ガラス | |
| 金物 | |
| 備考 | |

記事
- 【ガラス】 FL ：フロート板ガラス　TP ：強化ガラス
- F ：型板ガラス　APL ：アルミパネル
- PW ：網入磨板ガラス
- FW ：網入型板ガラス

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

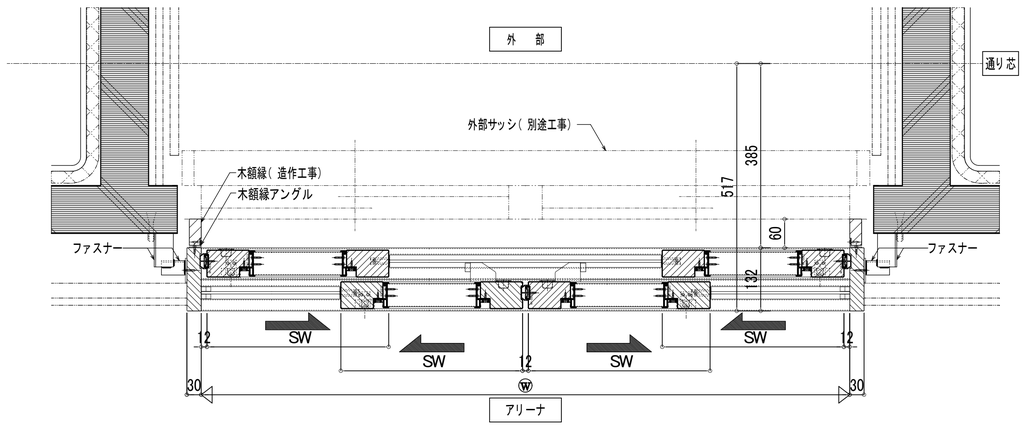
| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 建具表-5 | 縮尺 | A1： 1/50<br>A3： 1/100 |
| | | 図面番号 | A-051 |

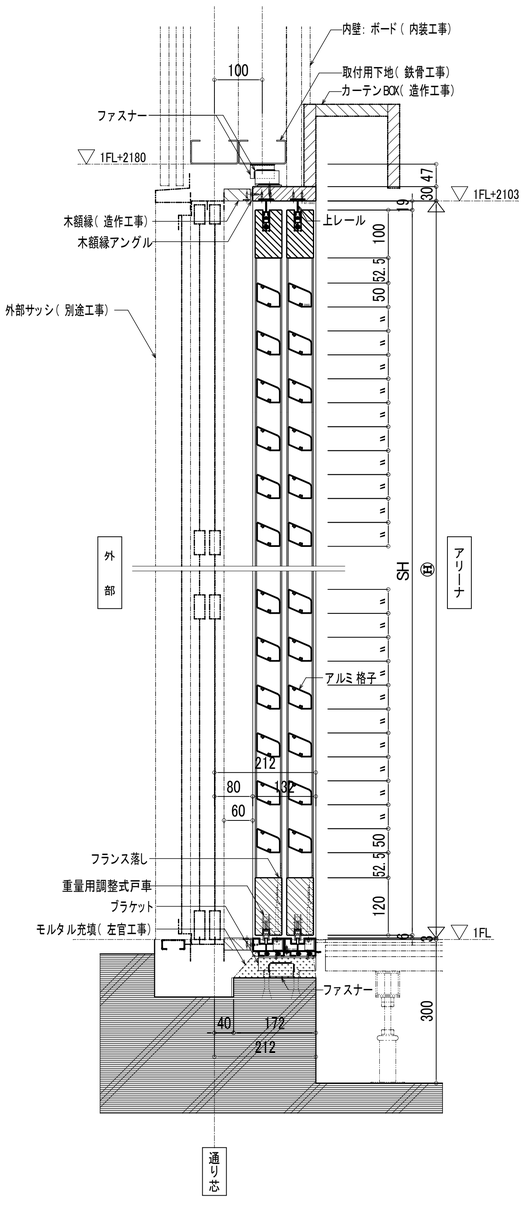



内 観 姿 図

△ はフランス落しの位置を示します。




平 面 図

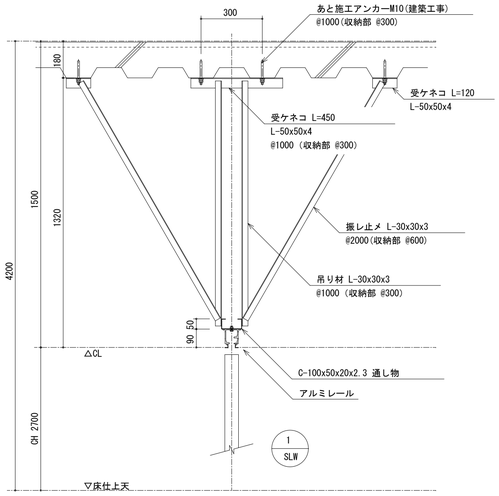


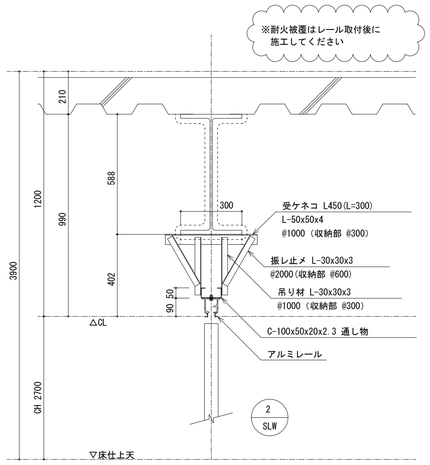

断 面 図

| 木・アルミ 複合防球格子建具（アルミ 格子タイプ） | |
|---|---|
| 強　　度 | 1225N（125kgf） |
| 本体仕上げ | 樹　種：　香川県産ヒノキ集成材<br>塗　装：　ウレタンクリア塗装2回塗り（F☆☆☆☆）<br>アルミ：　アクリル焼付塗装（木同色同等）<br>※下レールのみアルマイトシルバー<br>アルミ材の部位：　上レール・押縁・格子・下レール<br>四周額縁用L-アングル<br>木材の部位：　3方枠・四周框 |

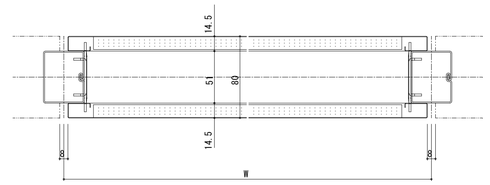
| 記事 | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-052 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 図面名 | 建具詳細図-1 | 縮尺 | A1：図示<br>A3：— | | |

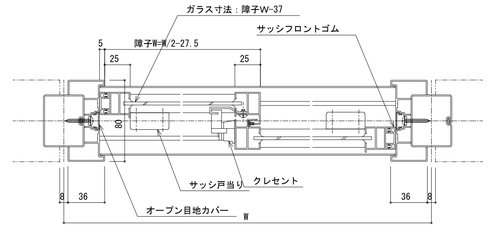
## スライディングウォール （参考図）

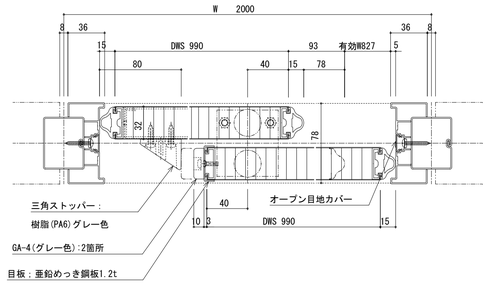



レール取付断面図 S=1:15

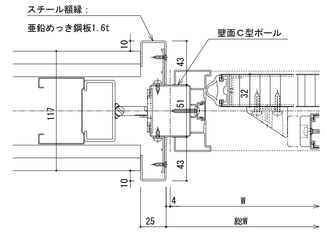



◇仕様表

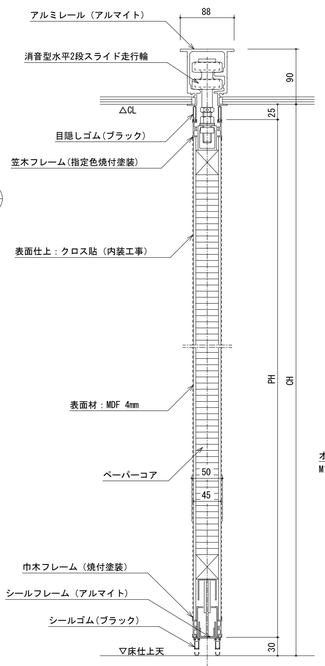
| 項目 | 部材 | 材料(板厚mm) |
|---|---|---|
| 骨材 | 天井レール | 亜鉛めっき鋼板 1.0mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 巾木レール | 亜鉛めっき鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 上骨SP | 亜鉛めっき鋼板 1.0mm |
| | 上骨・下骨 | 亜鉛めっき鋼板 0.4mm |
| | 受け下桟 | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | ポール(支柱)・横桟 | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 壁面C型ポール | 亜鉛めっき鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| 枠 | サッシ・引戸・ガラス枠 | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | ガラス枠アタッチメント | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | ドア枠・開口枠 | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | オーブン目地カバー | ポリ塩化ビニル(PVC) |
| パネル | パネル表面材 | 木目プリント鋼板 0.6mm |
| | 芯材 | せっこうボード 12.5mm |
| サッシ | サッシ障子 | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 上・下レール | アルミ押出形材〈アルマイト処理仕上〉 |
| | ガラス押え | シーリング |
| 吊戸 | パネル表面材 | 木目プリント鋼板 0.6mm |
| | 芯材 | ペーパーコア |
| | 切窓（片面フラット） | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 引戸戸先ゴム | ポリ塩化ビニル〈戸先ゴムブラック色〉 |
| | 引戸下レール | ステンレス 1.2mm〈ヘアライン仕上〉 |
| | 吊戸レール | アルミ押出形材〈アルマイト処理仕上〉 |
| 付属品 | サッシクレセント | 亜鉛ダイキャスト |
| | ロック(引き戸) | ミワロック SL-99V錠 |
| | 引戸戸車・サッシ戸車 | 引戸：高炭素クロム軸受鋼 サッシ：樹脂 |
| | 堀込み引手 | ステンレス(W30×H122)〈梨地電解〉 |
| | 額縁取付アングル | アルミ押出形材〈アルマイトクリア処理仕上〉 |



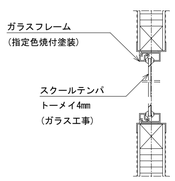

## スライディングウオール 厚み50mm

1 SLW　2 SLW

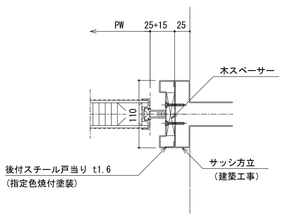
| | | |
|---|---|---|
| レール仕様 | レール | アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理) |
| | コーナー部 直角レール | |
| ランナー仕様 | 走行輪 | 消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵) |
| | 吊ボルト | M 14 |
| パネル仕様 | 表面仕上 | クロス貼(内装工事) |
| | 表面材 | MDF 4mm |
| | | |
| | 充填材 | ペーパーコア |
| | 骨組 | 木枠(LVL) |
| | フレーム | アルミ押出形材（アルマイト処理） |
| | | ※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装 |
| | 召合せ | 固定ゴム嵌合 |
| | 下部シールド | 接床装置(プッシュロッド式) |
| | 固定方法 | 小口及び表面丸落としにて固定 |
| | | |
| | | |

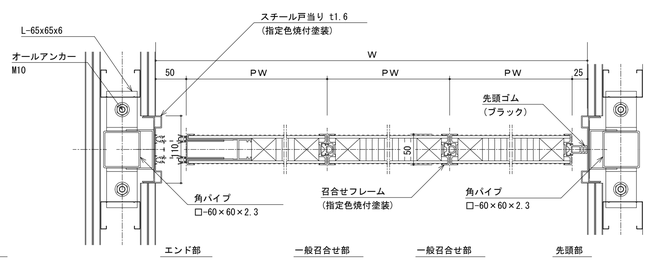



縦断面詳細図 S=1:5

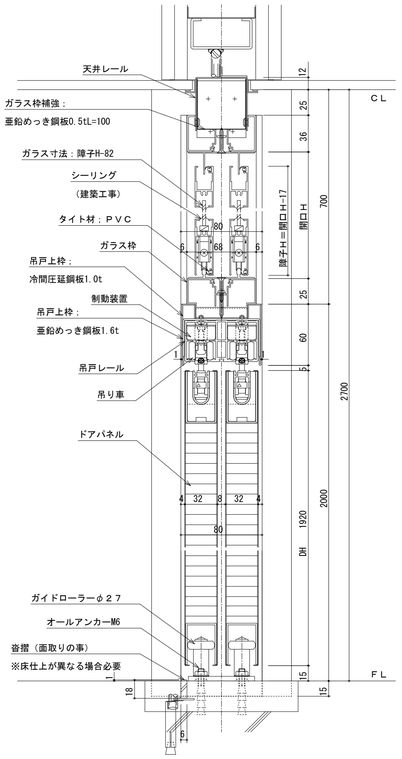


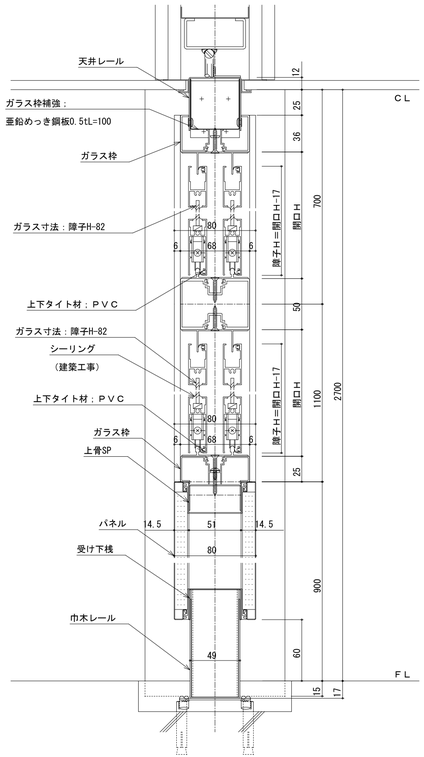

(切窓部)



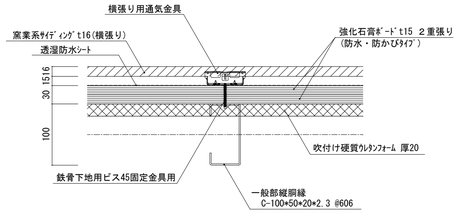

横断面詳細図 S=1:5



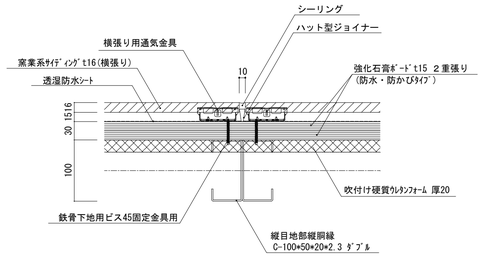




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | 図面名 | 建具詳細図-2 | 縮尺 | A1：図示 A3：— |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-053 |

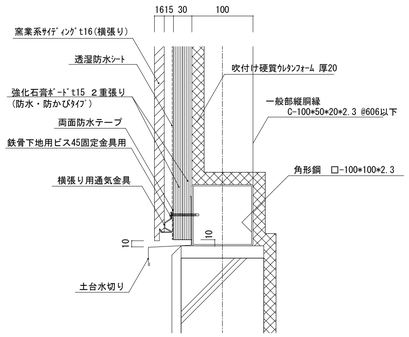
窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ　参考納まり図



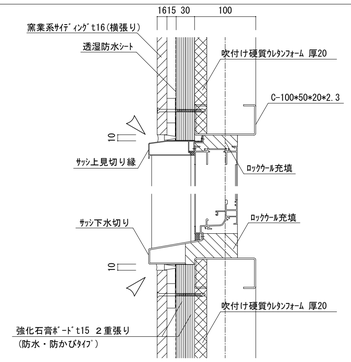

一般部　1/5



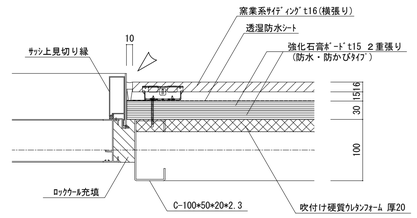

縦目地部　1/5



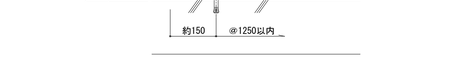

土台部　1/5



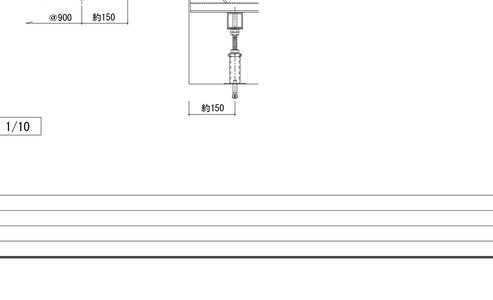

開口部　1/5




開口部　1/5




出隅部納まり参考図　1/5

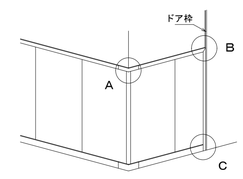


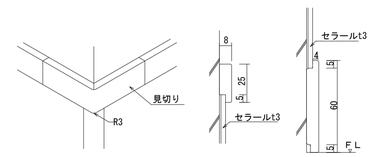

入隅部納まり参考図　1/5

※鉄骨造・横張り、１時間耐火構造　吹付ｳﾚﾀﾝ仕様

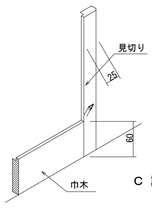
| 認定区分 | | 認定番号 | 断熱材 |
|---|---|---|---|
| １時間耐火 | 外壁(非耐力壁) | FP060NE-0469 | (株)日本ｱｸｱ製<br>吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ<br>「ｱｸｱﾌｫｰﾑNEO」 |
| | 柱(角形鋼) | FP060CN-1011 | |
| | 梁 | FP060BM-0798 | |

ｱｲｶ腰壁ｼｽﾃﾑ(ｾﾗｰﾙRｴｯｼﾞ)　参考納まり図

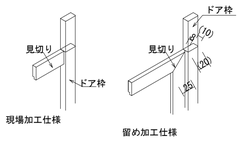


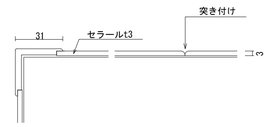

A 詳細図　1/2




C 詳細図　1/2

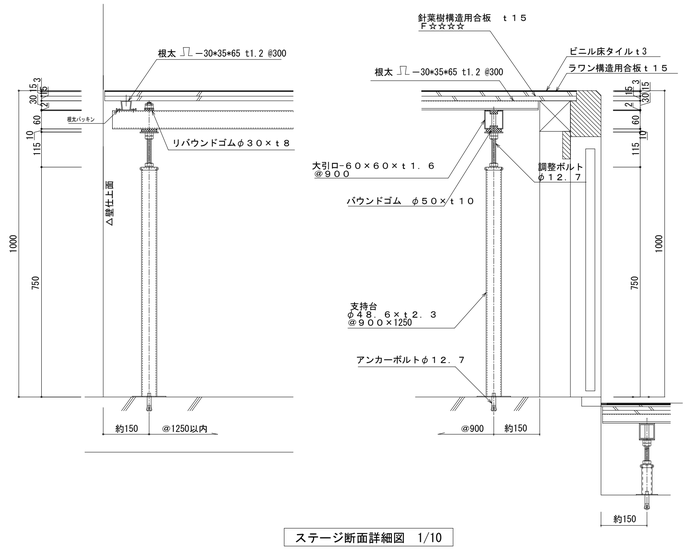



B 詳細図　1/2




(平目地部)

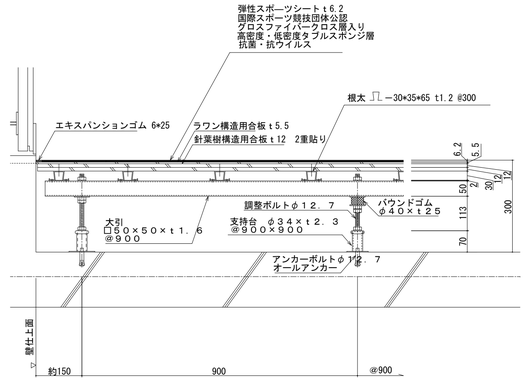
アリーナ 鋼製床下地　参考納まり図



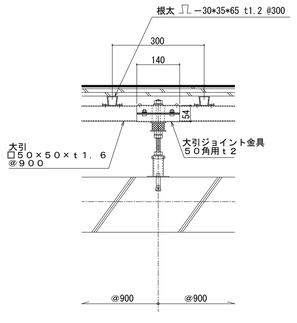


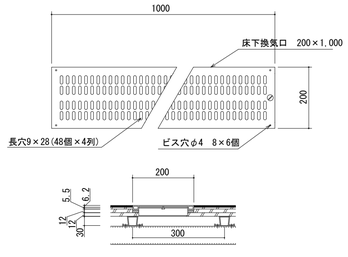


ステージ断面詳細図　1/10




アリーナ断面詳細図　1/10

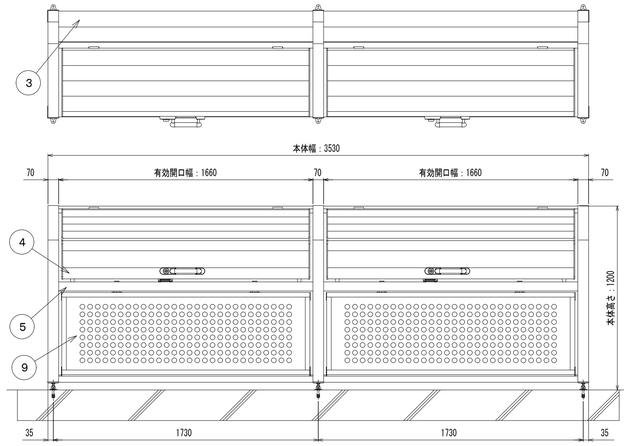


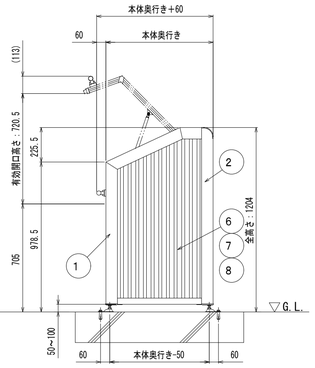

床下換気口詳細図　1/10

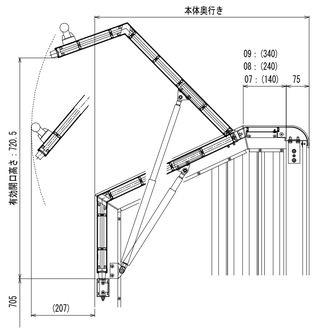
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | ・<br>・<br>・<br>・ | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>３６１２１７号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| | | | | | | 図面名 | 部分詳細図-1 | 縮尺 | A1：図示<br>A3：図示 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-054 |

# ゴミストッカー　参考図

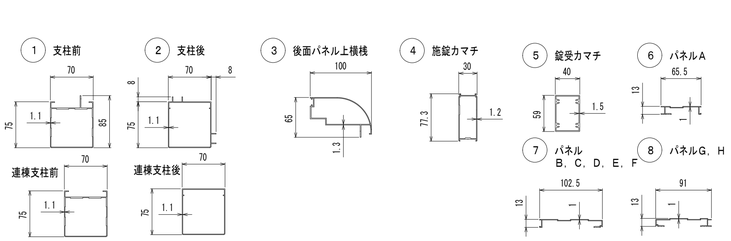



据付図（S＝1／20）



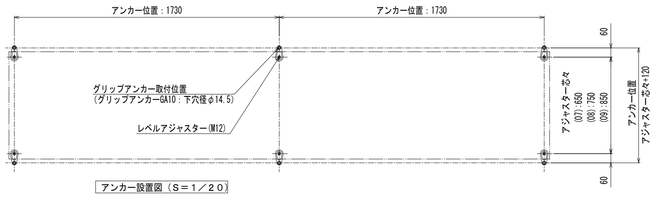




扉・ガススプリング納り詳細図（S＝1／10）




主要部材断面図（S＝1／5）

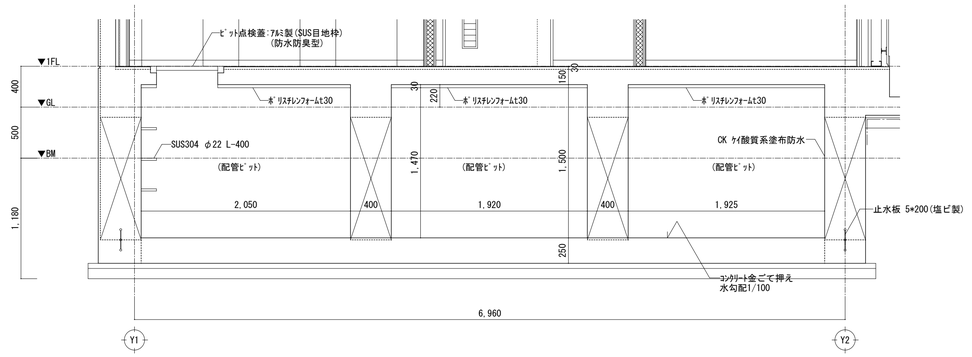
| | |
|---|---|
| ボルト・ナット・座金 | ステンレス（SUS） |
| 組立金具類 | ステンレス鋼板（SUS） |
| ⑨ 前パネル板 | アルミ・樹脂複合板（3ｔ） |
| ⑧ パネルG，H | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ⑦ パネルB，C，D，E，F | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ⑥ パネルA | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ⑤ 錠受カマチ | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ④ 施錠カマチ | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ③ 後面パネル上横桟 | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ② 支柱後・連棟前支柱 | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| ① 支柱前・連棟支柱前 | アルミ押出形材（A6063S－T5）陽極酸化・塗装複合皮膜 |
| 主要部材 | 仕様（材質・塗装） |
| 型式コード | GPSN－1812－□SC＋LGPSN－1812－□SC |
| 商品名 | ゴミストッカーPS型（基本セット＋連棟ユニット） |




アンカー設置図（S＝1／20）

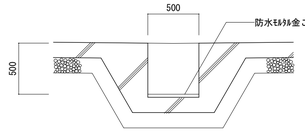
| 型式コード | 本体幅 mm | 本体高さ mm | 本体奥行き mm | 有効開口幅 mm | 有効開口高さ mm | 全高さ mm | 色 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GPSN-1812-09SC+LGPSN-1812-09SC | 3530 | 1200 | 900 | 1660 | 786 | 1204 | ステンカラー |
| GPSN-1812-08SC+LGPSN-1812-08SC | | | 800 | | | | |
| GPSN-1812-07SC+LGPSN-1812-07SC | | | 700 | | | | |

## 配管ピット　1/30

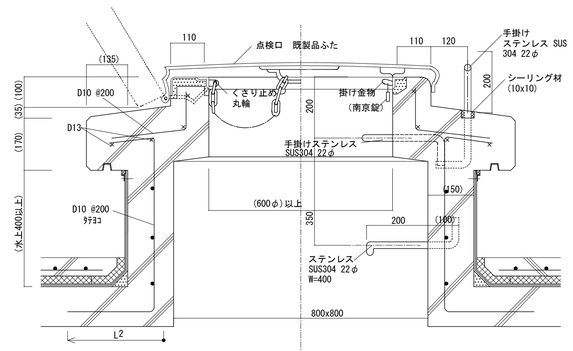



## 釜場　1/30

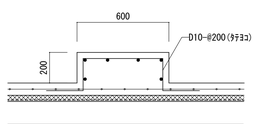
※各ピットに１箇所



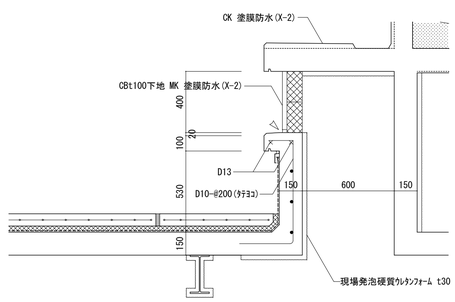

## 屋上点検口　1/10



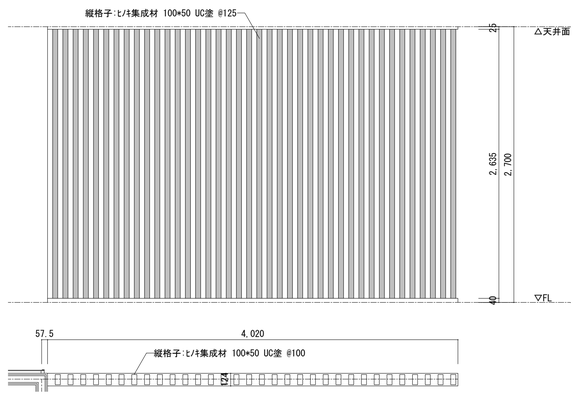

## 屋上 室外機基礎　1/20

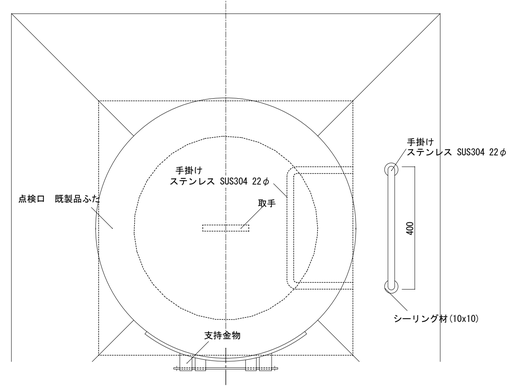



## 屋上 ﾊﾄ小屋　1/20



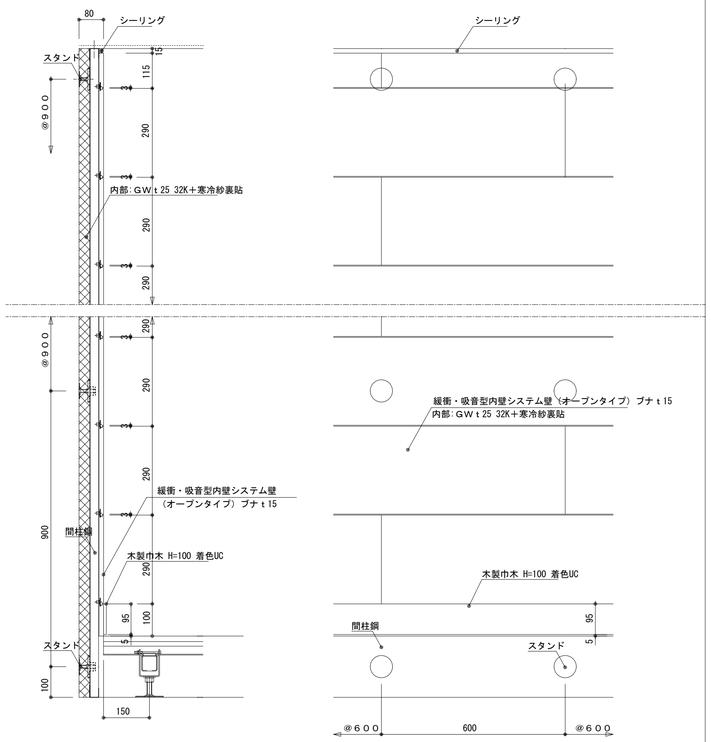

## 縦格子 詳細図　1/30



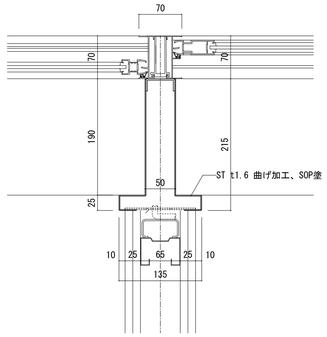




| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 A-055 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | 部分詳細図-2 | 縮尺 | A1：図示 A3：図示 | |

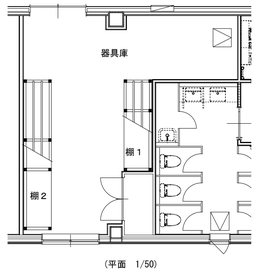
## 緩衝吸音内壁システム　1/10



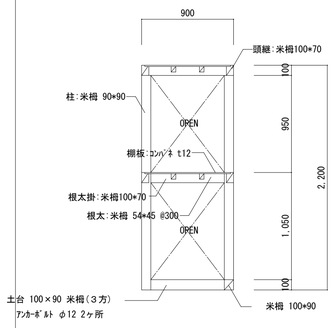

## アルミ サッシ　間仕切り 取合い金物　1/5



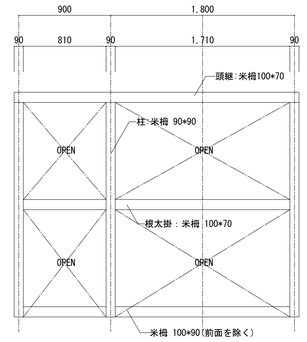

## 木製棚(器具庫) 詳細図




(平面　1/50)

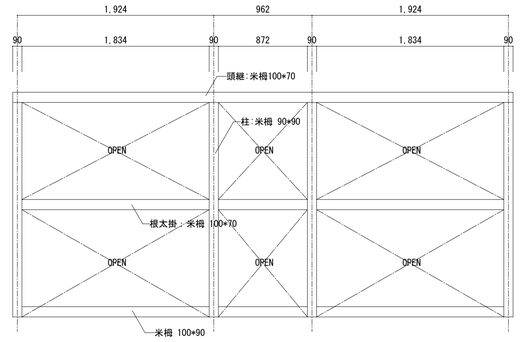



( 断　面 )




( 正　面 )

棚－１詳細図　1/30



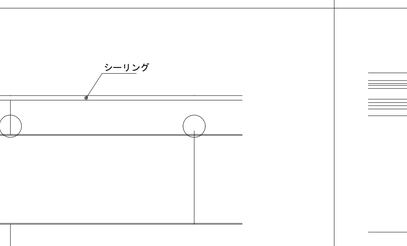

( 正　面 )

棚－２詳細図　1/30

## キッチンセット　参考図

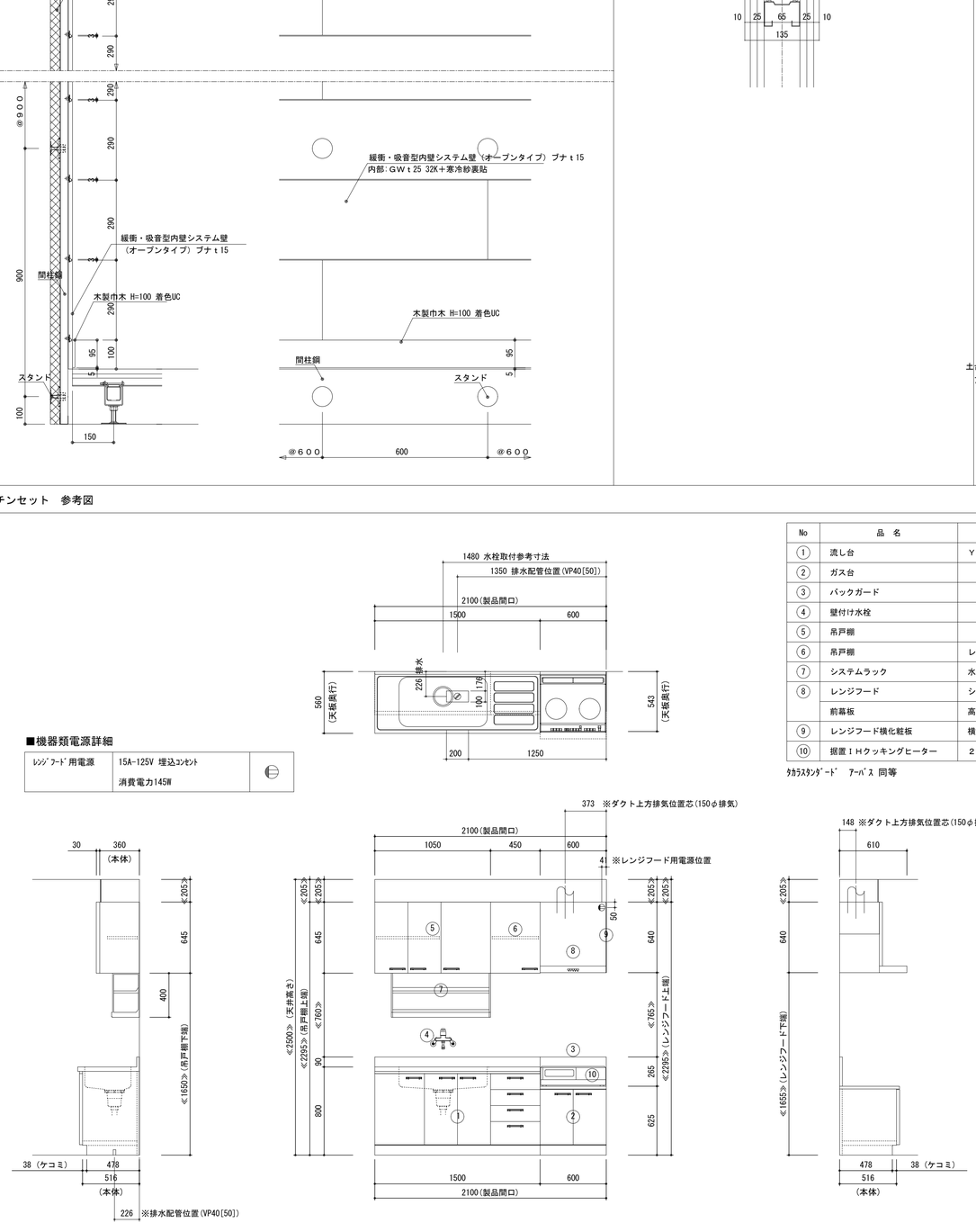
| No | 品　名 | 仕　様 |
|---|---|---|
| ① | 流し台 | Ｙシンク |
| ② | ガス台 | |
| ③ | バックガード | |
| ④ | 壁付け水栓 | |
| ⑤ | 吊戸棚 | |
| ⑥ | 吊戸棚 | レンジフード横タイプ |
| ⑦ | システムラック | 水切りラック |
| ⑧ | レンジフード | シロッコファン |
| | 前幕板 | 高さ64cmタイプ |
| ⑨ | レンジフード横化粧板 | 横化粧板 |
| ⑩ | 据置ＩＨクッキングヒーター | ２口ＩＨヒーター |

ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　ｱｰﾊﾞｽ 同等




■機器類電源詳細

| | | |
|---|---|---|
| ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ用電源 | 15A-125V 埋込ｺﾝｾﾝﾄ<br>消費電力145W | |

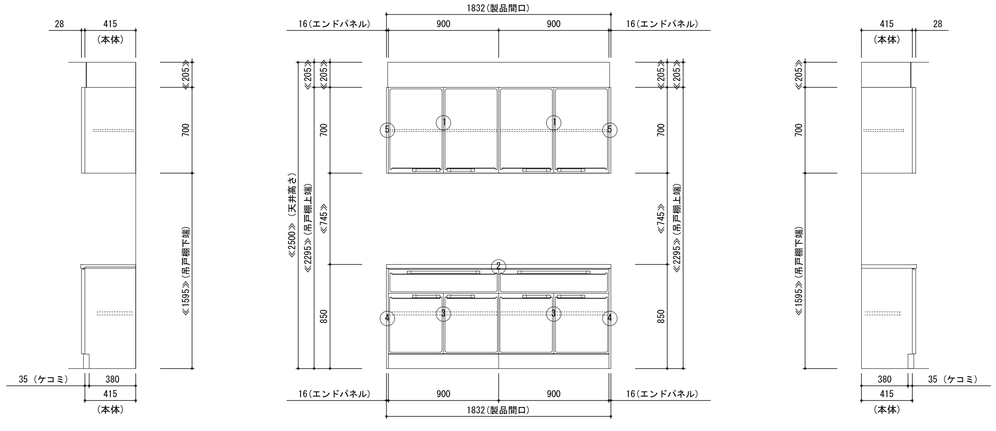



## カップボード　参考図

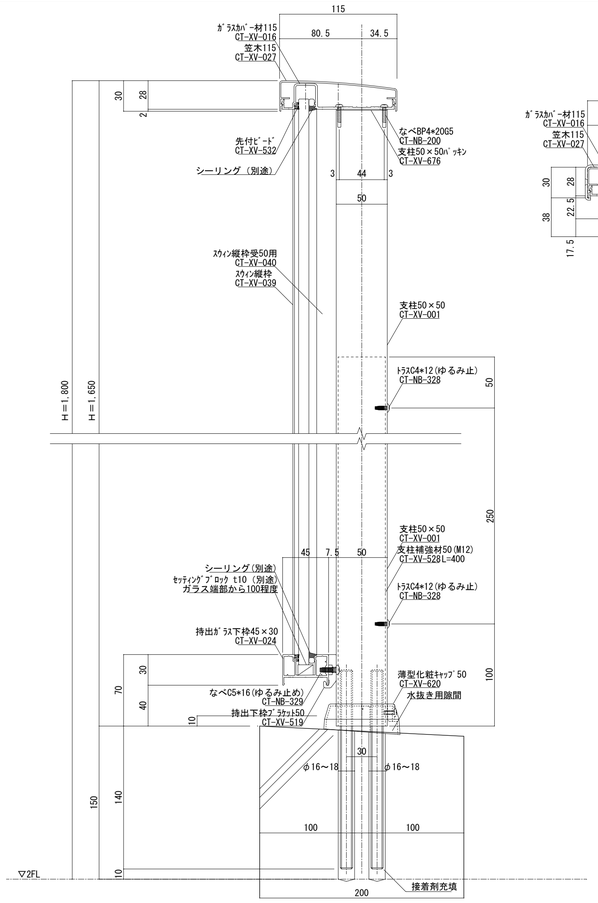
| No | 品　名 | 仕　様 |
|---|---|---|
| ① | ウォールキャビネット | 周辺用吊戸 |
| ② | カウンターユニット用カウンター | 奥行45cm、人造大理石 |
| ③ | カウンターキャビネット | 扉(引出し付) |
| ④ | エンドパネル | 奥行45cmキャビネット・トール下台用 |
| ⑤ | エンドパネル | 周辺用ミドル吊戸用(H700) |

ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　ｴｰﾃﾞﾙ 同等

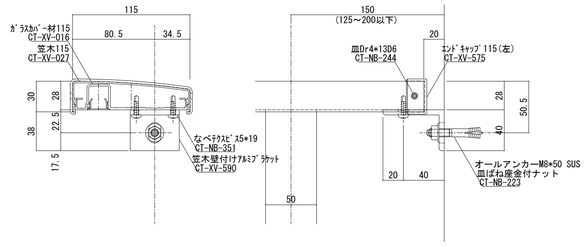


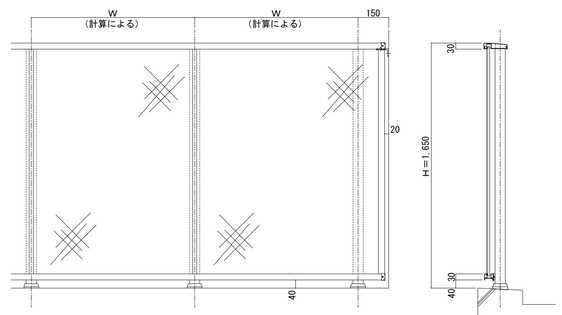

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 | 一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 |
| | | | | | | | 図面名 | 部分詳細図-3 | 縮尺 | A1:　図示<br>A3:　図示 | A-056 |



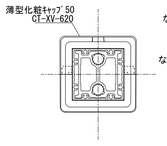

縦断面図



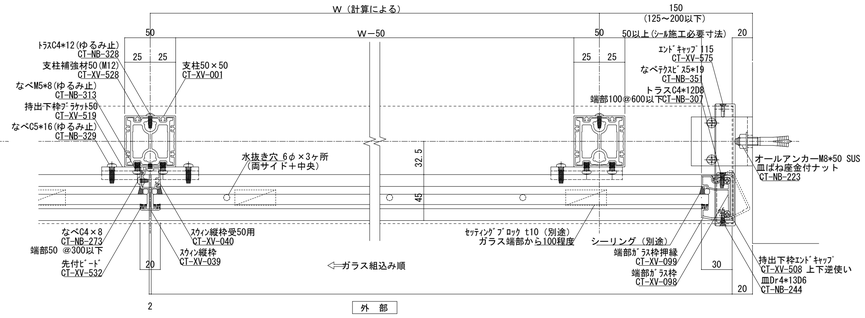

端部ブラケット部分詳細図




手摺姿図

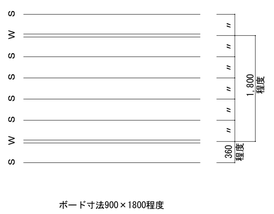



柱脚部　S＝1／2

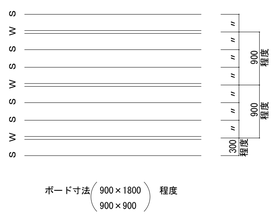



横断面図

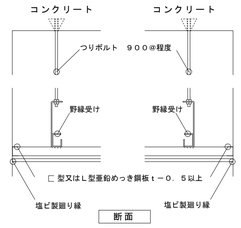
## 軽量鉄骨天井下地（下地張りのある場合）　1/50



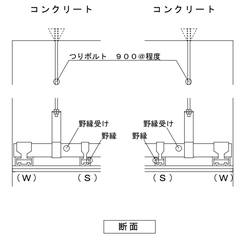

## 軽量鉄骨天井下地（下地張りのない場合）　1/50



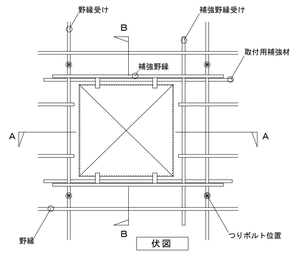

## 軽量鉄骨天井下地（野縁が壁と直角の場合）　1/10



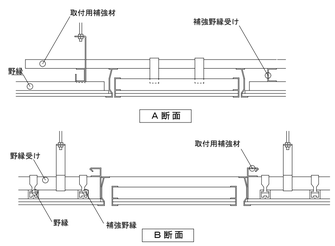

## 軽量鉄骨天井下地（野縁が壁と平行の場合）　1/10



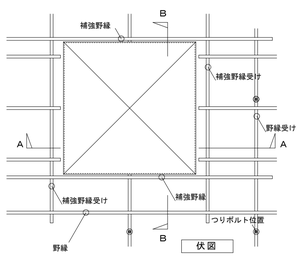

## 天井点検口　1/20



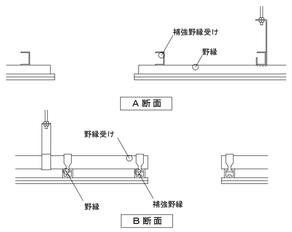

## 天井点検口　1/10



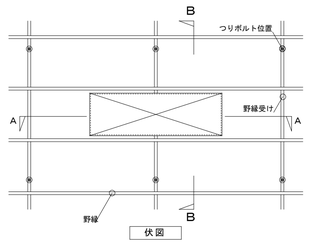

## 天井開口部下地補強（野縁を切断する場合）　1/20



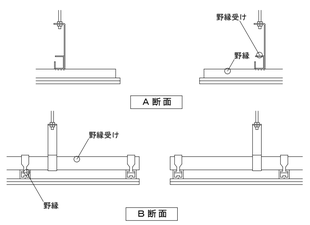

## 天井開口部下地補強（野縁を切断する場合）　1/10



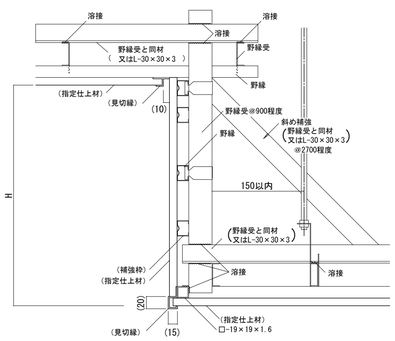

## 天井開口部下地補強（野縁を切断しない場合）　1/20



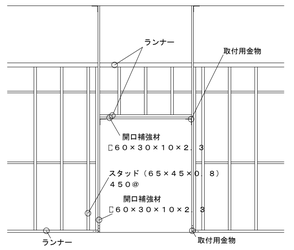

## 天井開口部下地補強（野縁を切断しない場合）　1/10




## 下がり天井 詳細図　1/5




## 軽量鉄骨壁下地　1/50




記事

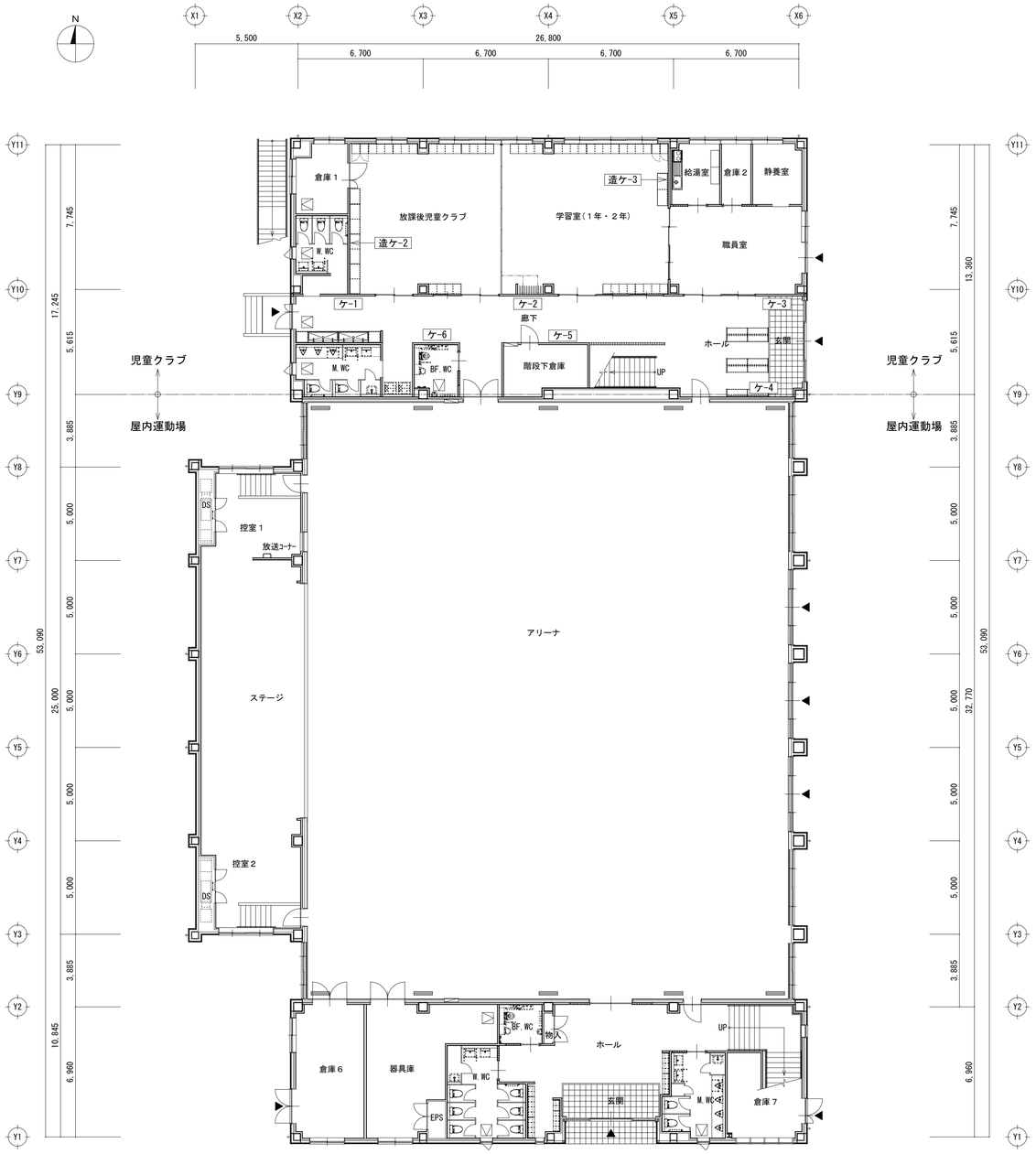
株式会社
真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

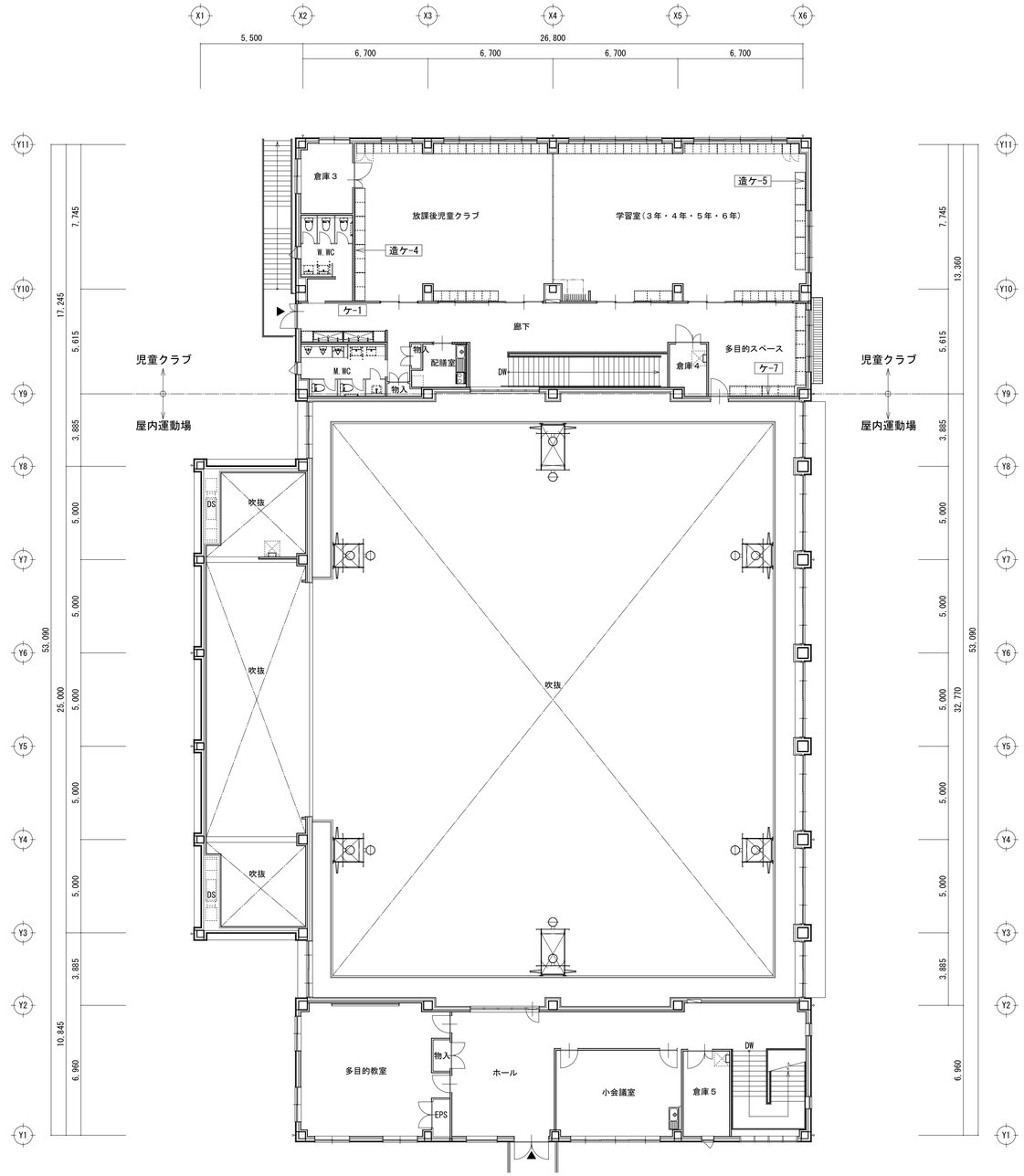
| | |
|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| 図面名 | 部分詳細図-4 |
| 設計 | 令和　７年　３月 |
| 縮尺 | A1：　図示<br>A3：　図示 |
| 図面番号 | A-057 |




１階 白板・掲示板記号図　1/150

| | 名　称 | 寸法 (W*H) | 設置場所 | |
|---|---|---|---|---|
| 造ケ-2 | 造作掲示板 | 5,600*1,590 | 放課後児童クラブ | (児童クラブ) |
| 造ケ-3 | 造作掲示板 | 2,820*1,590 | 学習室(1年,2年) | (児童クラブ) |
| | | | | |
| ケ-1 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 2,900*1,135 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-2 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 3,100*1,135 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-3 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 2,450*1,135 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-4 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 3,560*　950 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-5 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 2,700*1,130 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-6 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 2,500*1,130 | 廊下 | (児童クラブ) |

※造作掲示板：掲示板専用合板t5.5の上 掲示用ｸﾛｽ貼




２階 白板・掲示板記号図　1/150

| | 名　称 | 寸法 (W*H) | 設置場所 | |
|---|---|---|---|---|
| 造ケ-4 | 造作掲示板 | 6,000*1,590 | 放課後児童クラブ | (児童クラブ) |
| 造ケ-5 | 造作掲示板 | 2,990*1,590 | 学習室(1年,2年) | (児童クラブ) |
| | | | | |
| ケ-1 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 2,900*1,135 | 廊下 | (児童クラブ) |
| ケ-7 | ｱﾙﾐ枠掲示板(ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応) | 3,660*1,065 | 多目的スペース | (児童クラブ) |

※造作掲示板：掲示板専用合板t5.5の上 掲示用ｸﾛｽ貼

記事

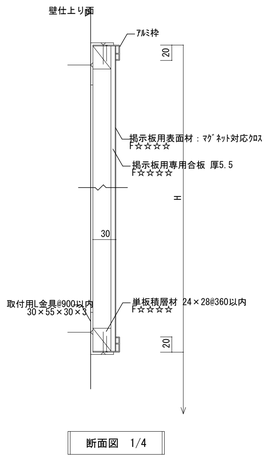
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

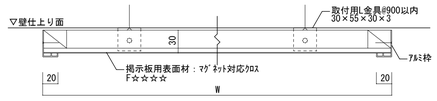
照査

担当

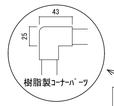
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 | A-058 |
| 図面名 | 白板・掲示板 記号図 | 縮尺 | A1：1/150<br>A3：1/300 | | |




断面図　1/4




平面図　1/4



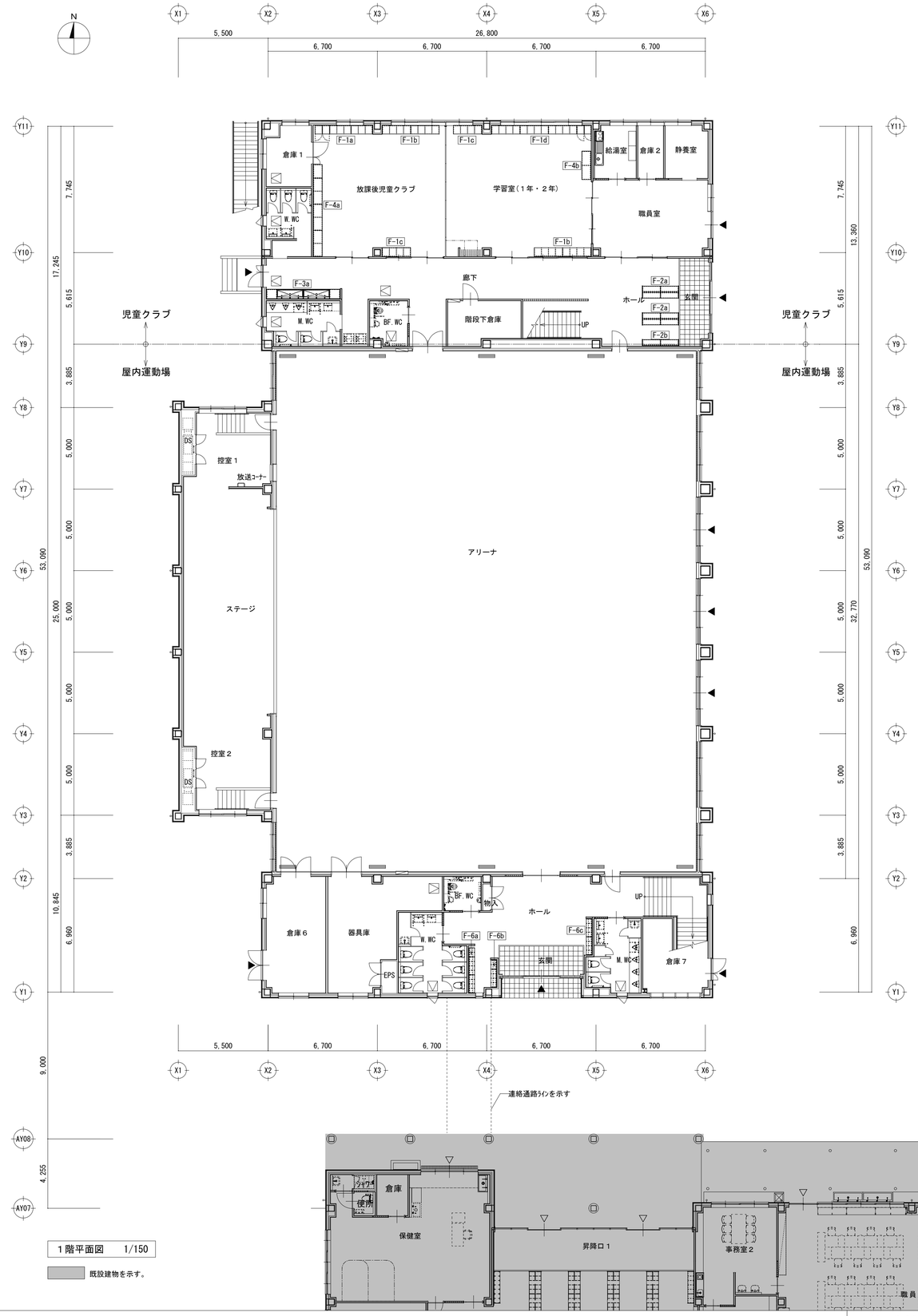

1/4




展　開　図

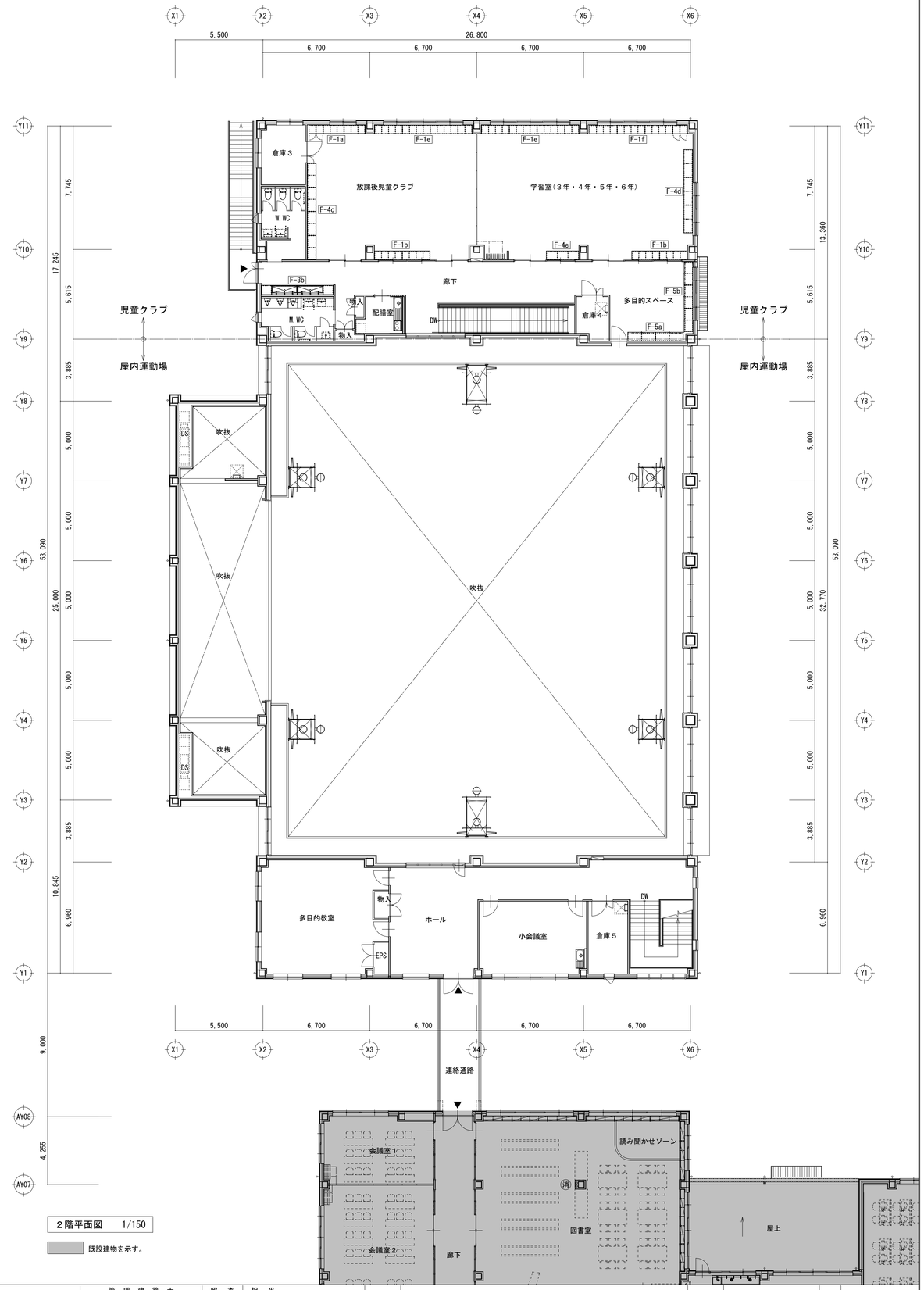
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 白板・掲示板 詳細図 | 縮尺 | A1：　図示<br>A3：　— |

図面番号 A-059




１階平面図　1/150

既設建物を示す。




２階平面図　1/150

既設建物を示す。

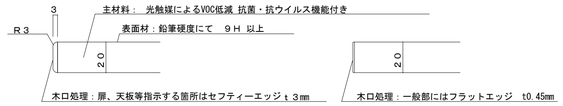
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 家具記号図 | 縮尺 | A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-060 |

## 家具工事　共通仕様　「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

・主材料　ホルムアルデヒド及びＶＯＣの低減効果と抗菌・抗ウイルス機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した両面メラミン化粧パーチクルボード（ユニボードピュアＨｉ）厚さ20mmを使用する。(国内産木材チップを使用する。F☆☆☆☆JIS-A5908適合品とする。）
光触媒加工は、塗膜の本来の性能を損なわないよう、塗装条件、環境が整った工場ラインの設備によって加工を行う事。

・表面材　上記、両面メラミン化粧パーチクルボードの表面はメラミン含浸紙使用し、鉛筆硬度にて 9H 以上のものとし、
現品サンプルによるスクラッチテストを行い承認を得ること。
（コート紙系パーティクルボードは使用不可）

・木口処理　化粧パーチクルボードの切断木口はABS樹脂による木口材をホットメルト系接着剤を用い、曲線部も含め専用機械にて接着する。
木口材はフラットエッジ(t0.45mm)、セフティーエッジ(t3mm)を用い、防湿のため床、壁に接する部位も同処理を行う




・裏板　UV塗装MDFボード t4mm を使用し、たわみの出ないよう裏桟等により補強する。

・扉　開き扉、引戸共に主材の両面メラミン化粧パーチクルボードt20mmを使用し、開き扉はその周囲をセフティーエッジ貼りとする。

・ガラス扉　開き扉、引戸共に主材の両面メラミン化粧パーチクルボードt20mmを使用し、強化ガラスt4mmを落とし込んだものとする。
ガラスの押し縁はABS樹脂のものを使用し、開き扉はその四周をセフティーエッジ貼りとする。

・耐震開き止め　開き扉、引戸共に下端がFL+1,500mm以上に位置するものは、耐震開き止め金具を組込み、
内容物の落下防止策とする。

・抽斗　強度を高めるため、ベアリングを組み入れたスチール側板を用い、
底板には15mmの両面メラミン化粧パーチクルボードを使用する。
前板は開き扉同様、四周をセフティーエッジ貼りとする。

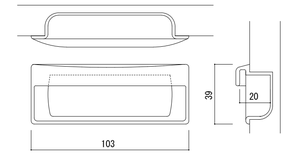
・丁番　パーチクルボードの重量に耐えるキャッチ機能付スライドヒンジで、
105°以上の開き角度を持つものを使用する。

・引戸　下レールは面付けの樹脂性レールとし、上下調整機能付の戸車を使用する。
上レールも樹脂製とし、耐震倒れ止め機能を持った、スライドガイドを使用する。

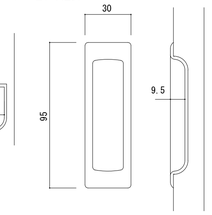
・棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボを使用する。
棚板は、外れ止めの為のダボ受けシャクリ加工をする。
図示する箇所はロック機能を持ったセフティ棚受けを使用する。

・特記事項　製作はISO9001取得工場かつ日本家具保証協会認定工場とし、その管理下で施工を行う。
製作にあたり品質証明書及び、材料、接着材の安全データシートを提出し承認を受けて製造する。
内田洋行又は、同等品以上とする。
（同等品以上の場合は、事前に金物・素材のサンプルを提示し承認を受ける。）

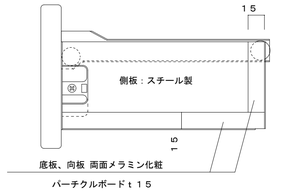
把手（抗菌性ABS成形品）詳細図
※ ５色より選択



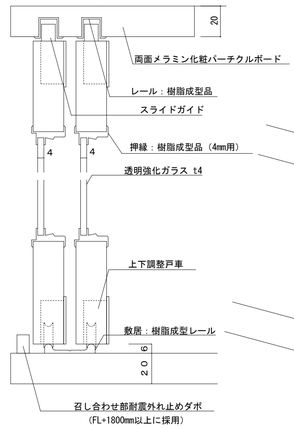

引手（抗菌性ABS成型品）詳細図
※ ５色より選択



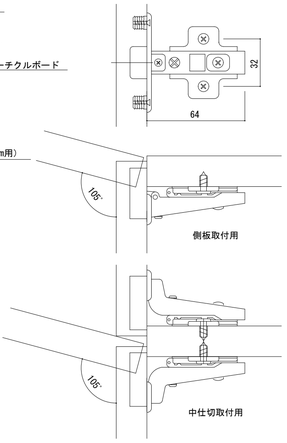

抽斗　詳細図
※ Ｄ、Ｈ寸法は本体の割付により決定する




ガラス引戸　詳細図
※ 板戸も本図に準ずる

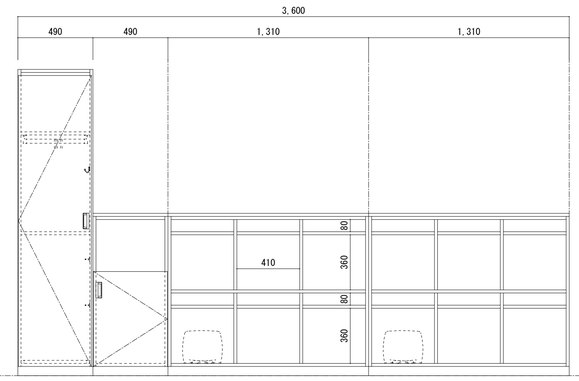


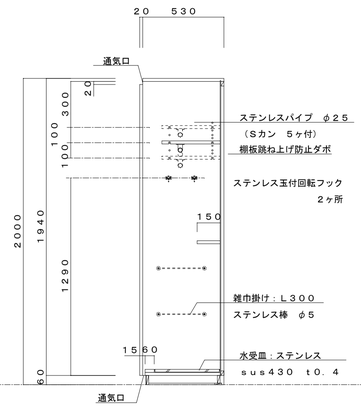

スライドヒンジ゛詳細図

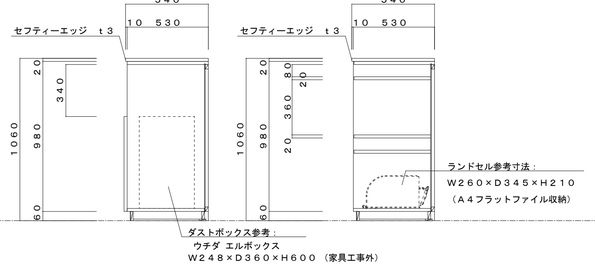



## F-1a　ﾛｯｶｰ(12人用)、掃除具入、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ　2 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 2F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 計 | 2 |

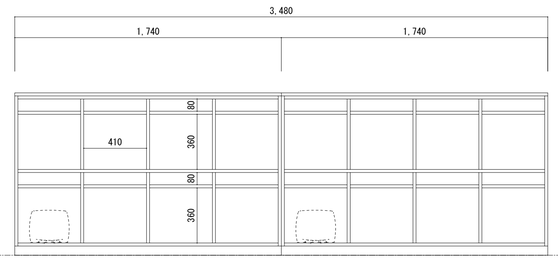


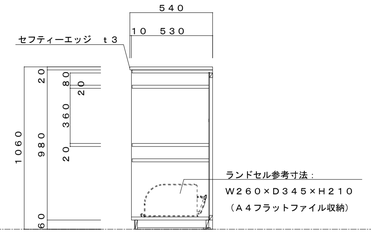




## F-1b　ﾛｯｶｰ(16人用)　4 箇所

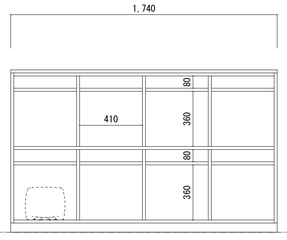
| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 2F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 1F　学習室(1,2年) | 1 |
| 2F　学習室(3,4,5,6年) | 1 |
| 計 | 4 |

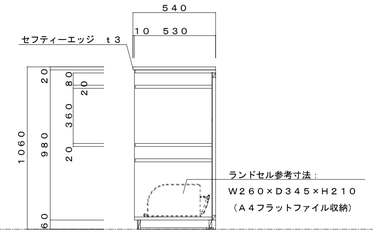



## F-1c　ﾛｯｶｰ(8人用)　2 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 1F　学習室(1,2年) | 1 |
| 計 | 2 |




記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

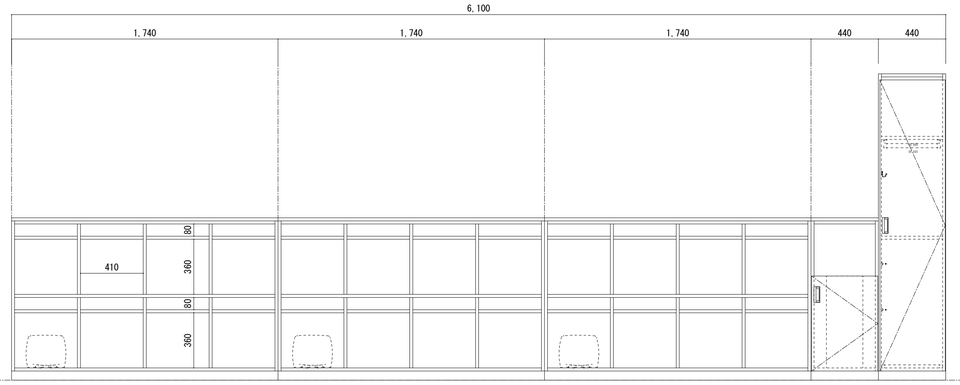
管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

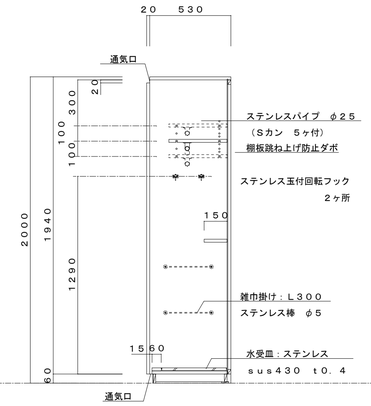
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 家具詳細図-1 | 縮尺 | A1：1/20　A3：1/40 |

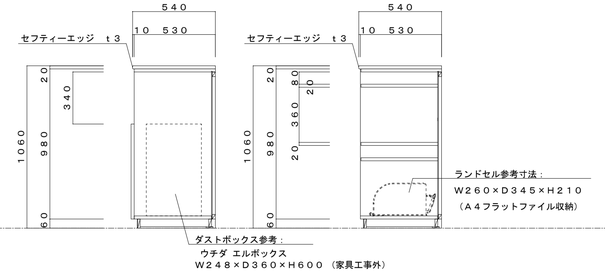
図面番号：A-061

## F-1d　ﾛｯｶｰ(24人用)、掃除具入、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F　学習室(1,2年) | 1 |
| 計 | 1 |

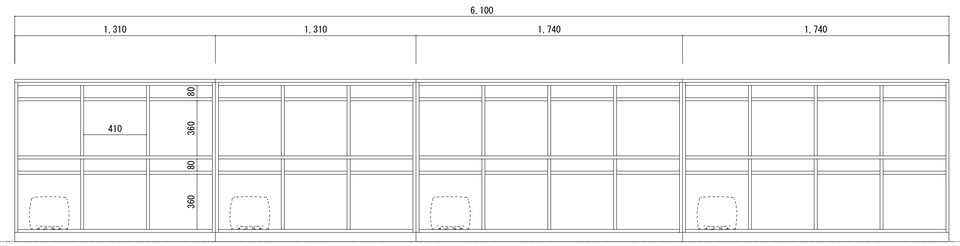


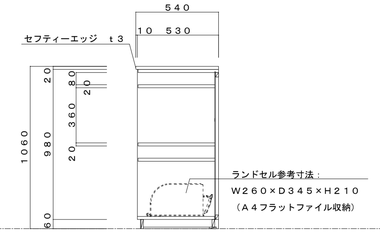




## F-1e　ﾛｯｶｰ(28人用)　2 箇所

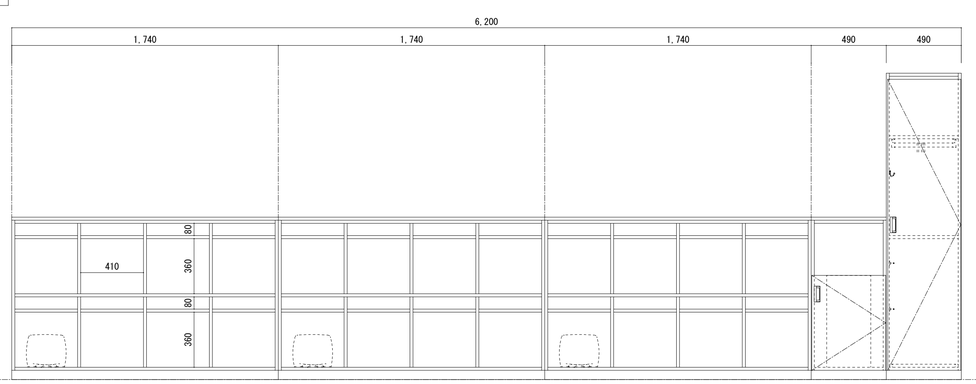
| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F　放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 2F　学習室(3,4,5,6年) | 1 |
| 計 | 2 |

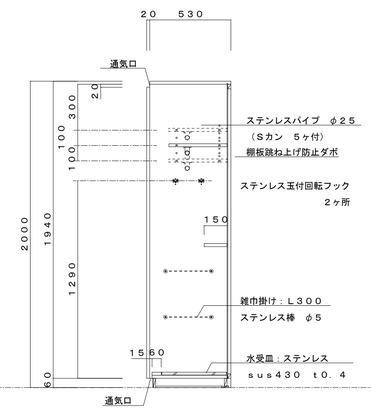


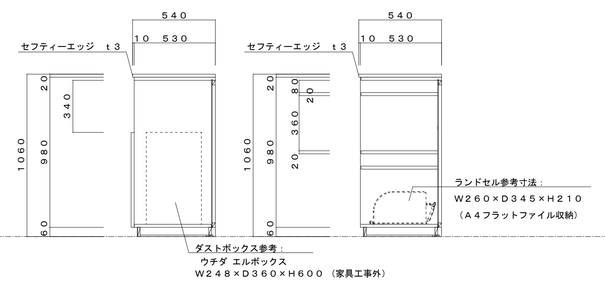




## F-1f　ﾛｯｶｰ(24人用)、掃除具入、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F　学習室(3,4,5,6年) | 1 |
| 計 | 1 |




記事

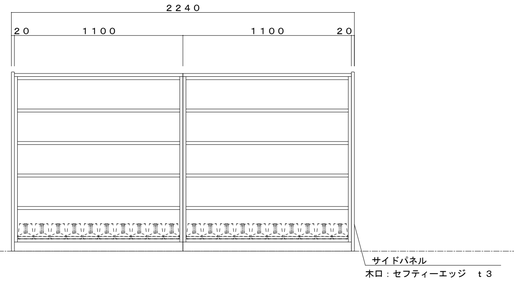
株式会社
真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

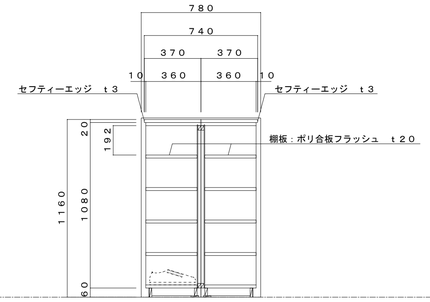
| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| 図面名 | 家具詳細図-2 | 縮尺 | A1：1/20<br>A3：1/40 |
| | | 図面番号 | A-062 |

## F-2a　下足入れ(100人用)　2 箇所

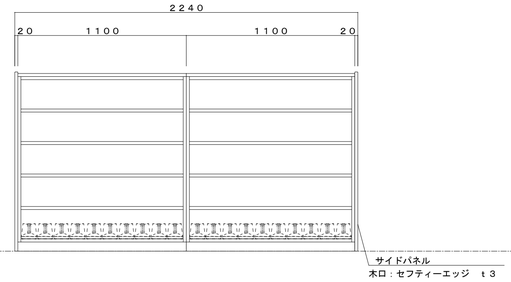
| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 児童ｸﾗﾌﾞ 玄関 | 2 |
| 計 | 2 |

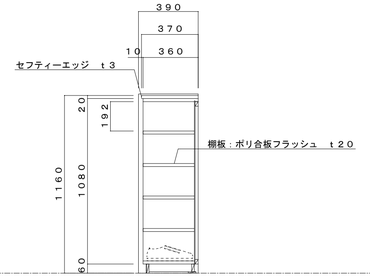



## F-2b　下足入れ（50人用）　1 箇所

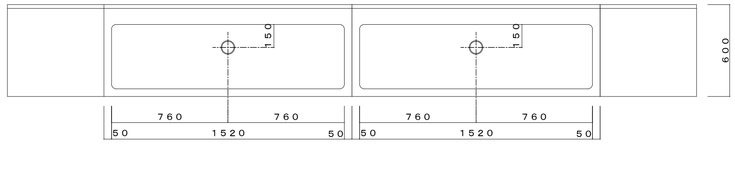
| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 児童ｸﾗﾌﾞ 玄関 | 1 |
| 計 | 1 |

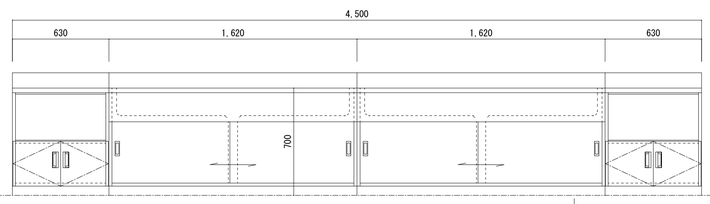


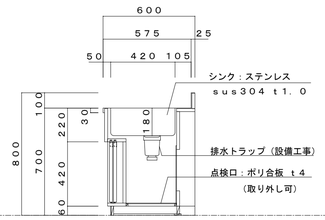




## F-3a　流し台　H=700　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 廊下 | 1 |
| 計 | 1 |

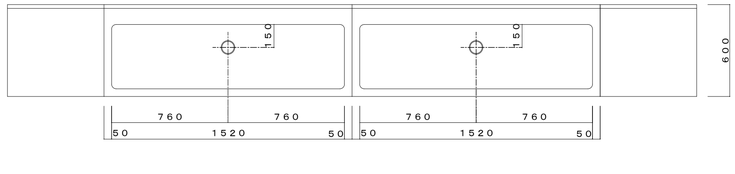


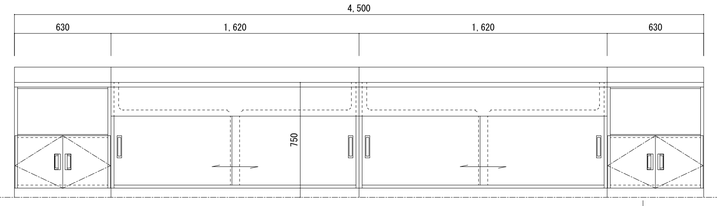



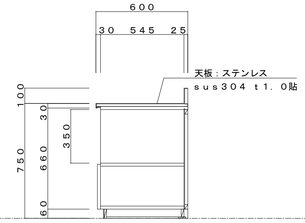




## F-3b　流し台　H=750　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 廊下 | 1 |
| 計 | 1 |

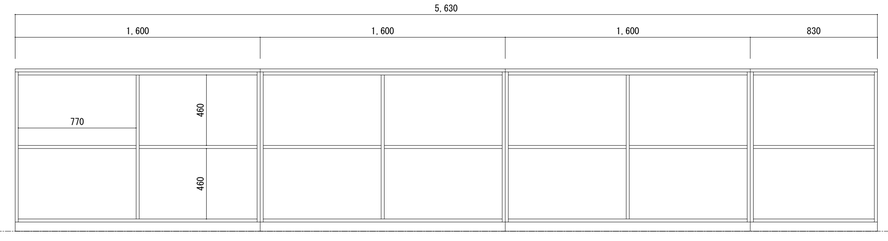


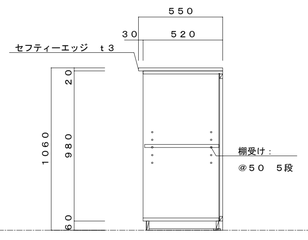




## F-4a　教材ﾛｯｶｰ　1 箇所

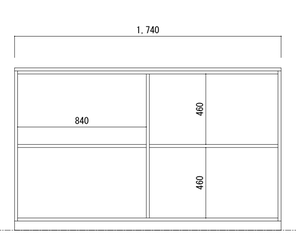
| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 計 | 1 |

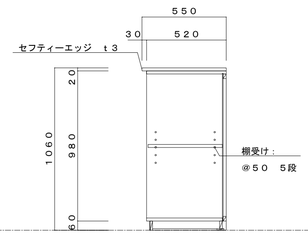



## F-4b　教材ﾛｯｶｰ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 学習室(1,2年) | 1 |
| 計 | 1 |



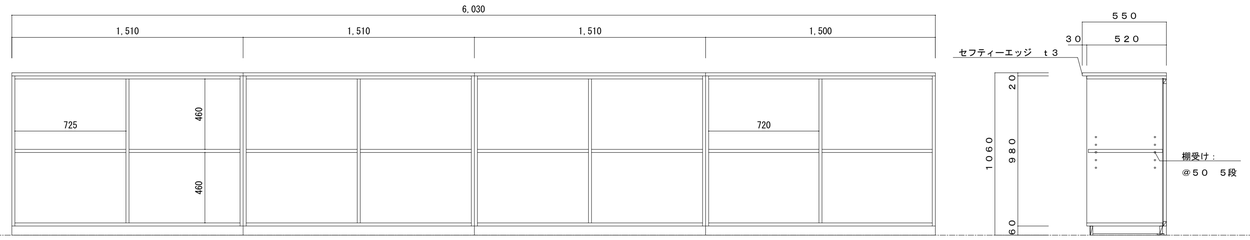

記事


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号
管理建築士　一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当


| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 家具詳細図-3 | 縮尺 | A1: 1/20<br>A3: 1/40 |
| | | 図面番号 | A-063 |

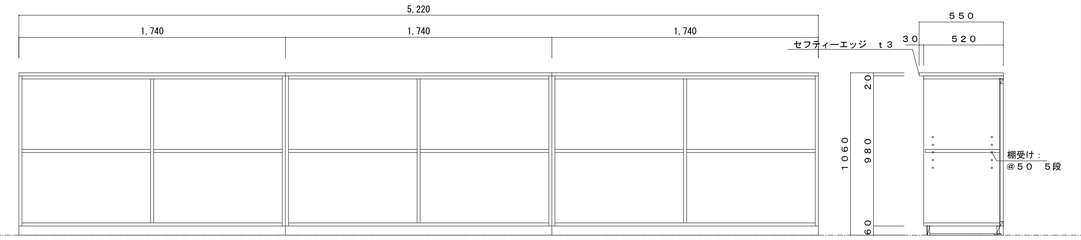
## F-4c　教材ﾛｯｶｰ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 放課後児童ｸﾗﾌﾞ | 1 |
| 計 | 1 |



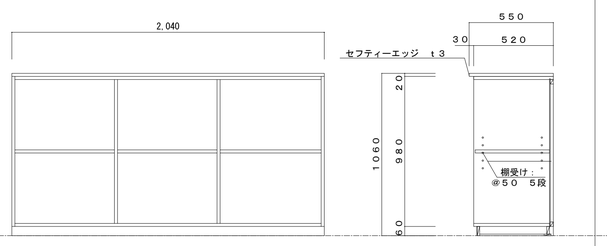

## F-4d　教材ﾛｯｶｰ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 学習室(3,4,5,6年) | 1 |
| 計 | 1 |



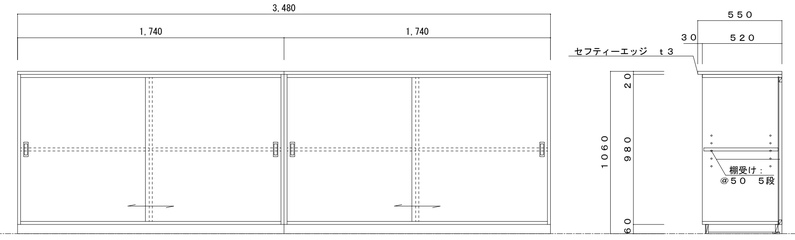

## F-4e　教材ﾛｯｶｰ　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 学習室(3,4,5,6年) | 1 |
| 計 | 1 |



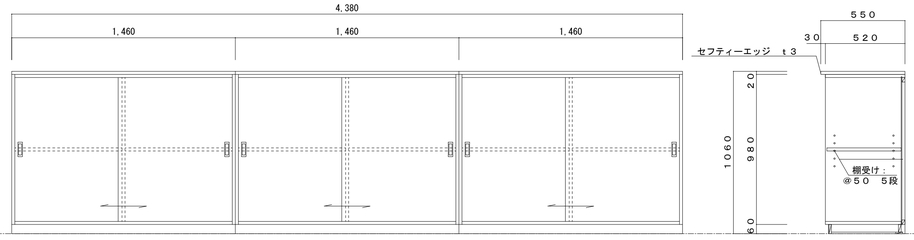

## F-5a　教材棚　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 多目的ｽﾍﾟｰｽ | 1 |
| 計 | 1 |



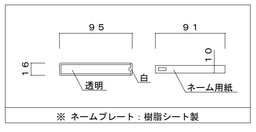

## F-5b　教材棚　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 2F 多目的ｽﾍﾟｰｽ | 1 |
| 計 | 1 |

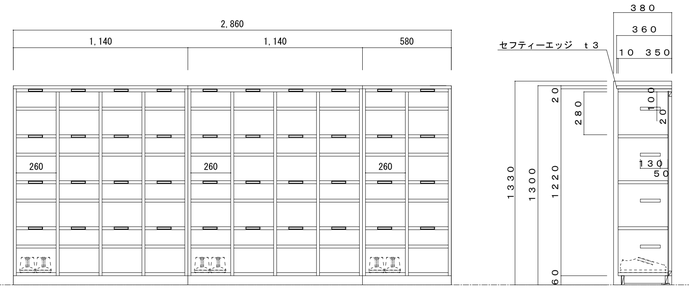



## F-6a　下足入れ(40人用)　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 屋内運動場 玄関 | 1 |
| 計 | 1 |

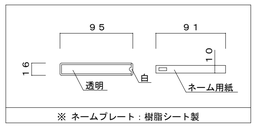



※ ネームプレート：樹脂シート製

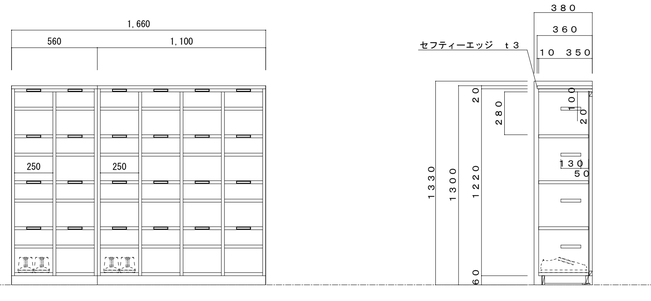



## F-6b　下足入れ(24人用)　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 屋内運動場 玄関 | 1 |
| 計 | 1 |

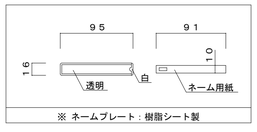



※ ネームプレート：樹脂シート製

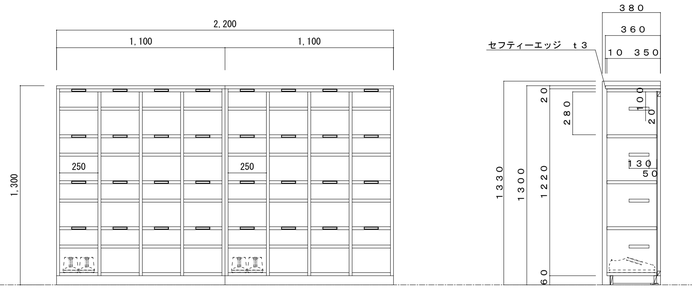



## F-6c　下足入れ(32人用)　1 箇所

| 室名 | 箇所数 |
|---|---|
| 1F 屋内運動場 玄関 | 1 |
| 計 | 1 |




※ ネームプレート：樹脂シート製

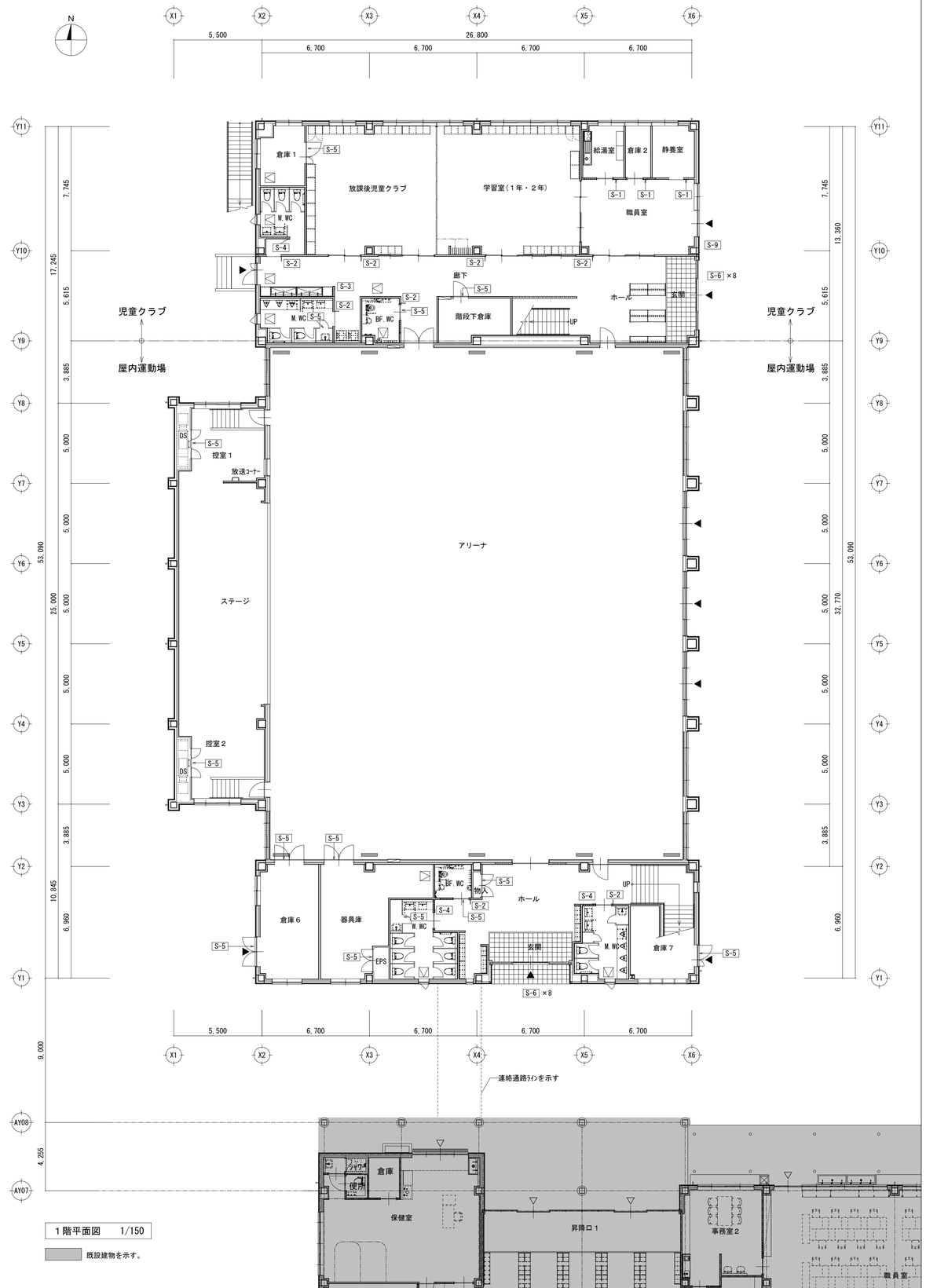


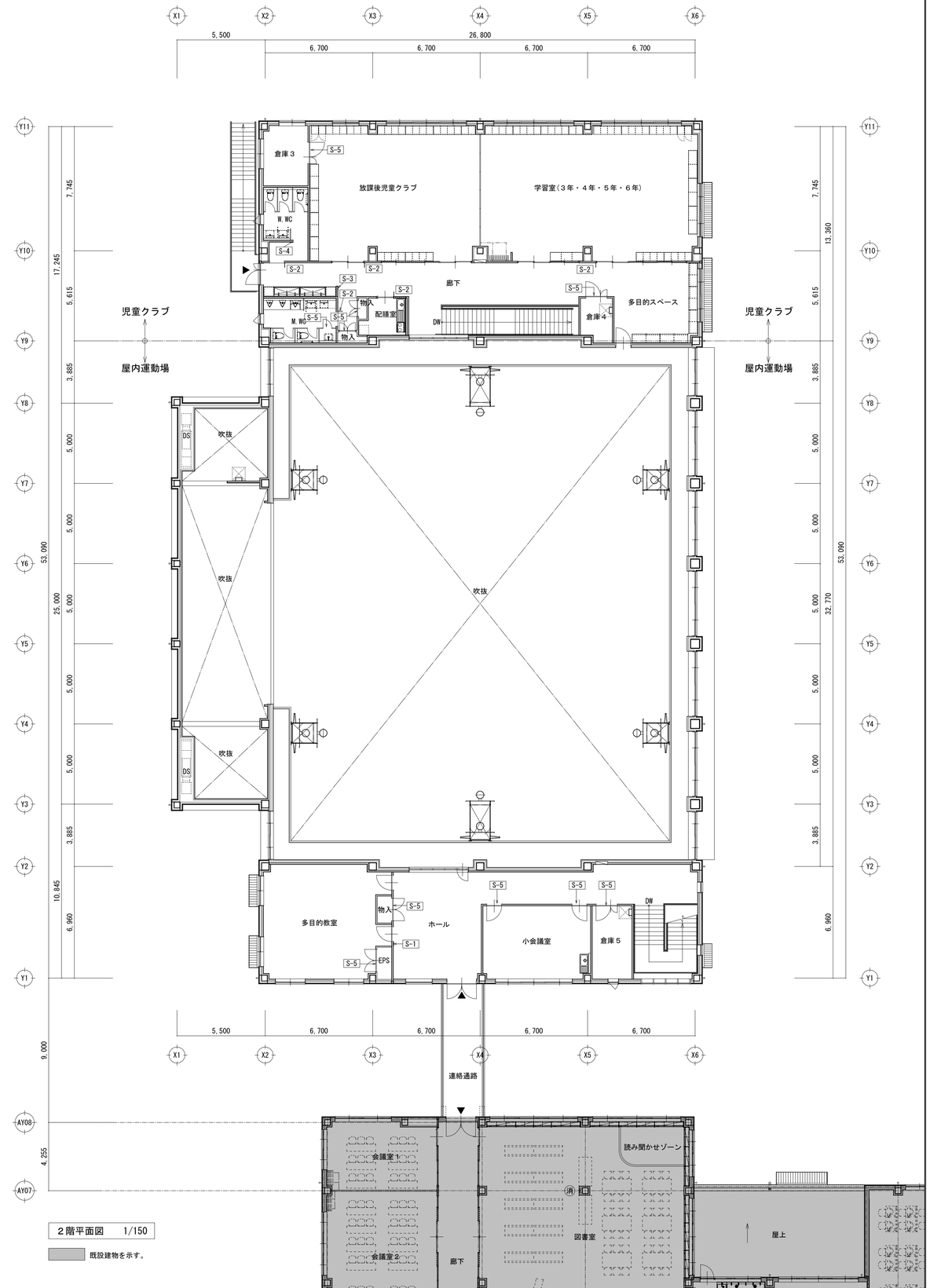

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 ３６１２７号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 家具詳細図-4 | 縮尺 | A1： 1/20<br>A3： 1/40 |
| | | 図面番号 | A-064 |



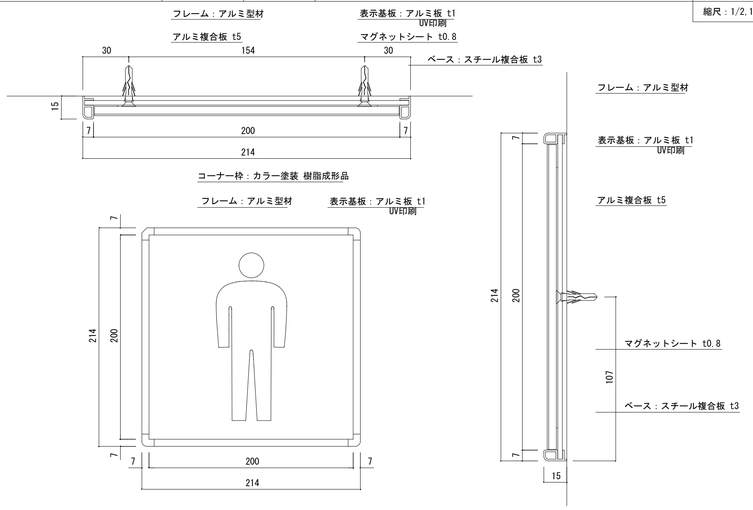

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 令和　7年　3月 |
| | | | | | | | 図面名 | サイン記号図 | 縮尺 A1：1/150 A3：1/300 |
| | | | | | | | | | 図面番号 A-065 |

## S-1 平付 室名札

| 児童クラブ | 3 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 1 箇所 |

4 箇所

縮尺：1/2,1/3

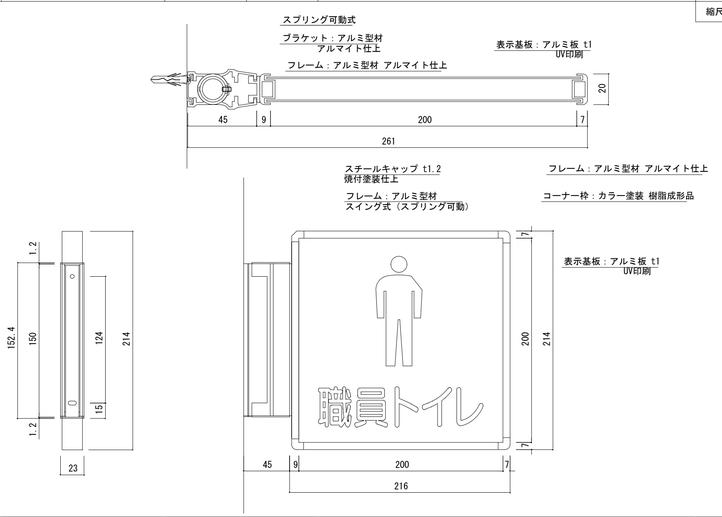



## S-2 突出 室名札

| 児童クラブ | 11 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 2 箇所 |

13 箇所

縮尺：1/2,1/3

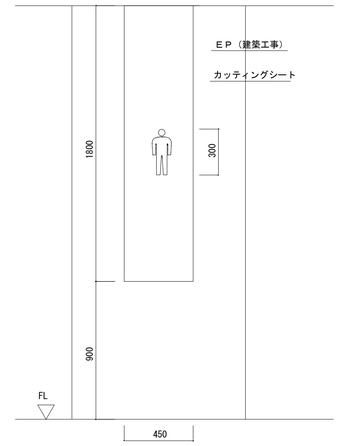



## S-3 トイレ案内A

| 児童クラブ | 1 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 1 箇所 |

2 箇所

縮尺：1/20

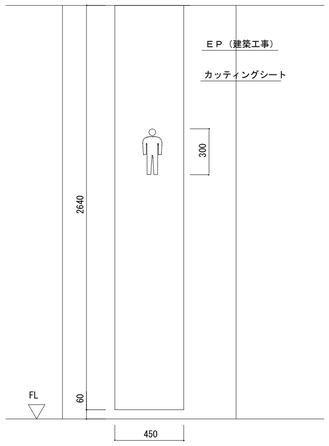



## S-4 トイレ案内B

| 児童クラブ | 2 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 2 箇所 |

4 箇所

縮尺：1/20

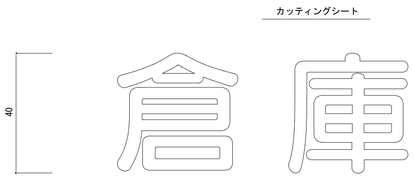



## S-5 シートサイン

| 児童クラブ | 9 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 15 箇所 |

24 箇所

縮尺：1/1




※文字数は、２～６文字程度

## S-6 衝突防止表示

| 児童クラブ | 8 箇所 |
|---|---|
| 屋内運動場 | 8 箇所 |

16 箇所

縮尺：1/2




## S-9 ステンレス切文字

| 児童クラブ | 1 箇所 |
|---|---|
| | |

1 箇所

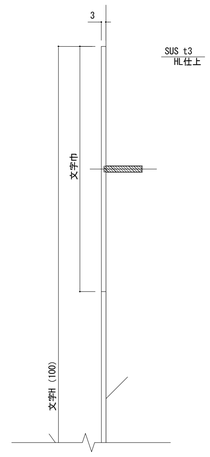
縮尺：1/2,1/10

SUS切文字 HL仕上

100 放課後児童クラブ

W

※文字、W寸法は現場にて打合せ




記事

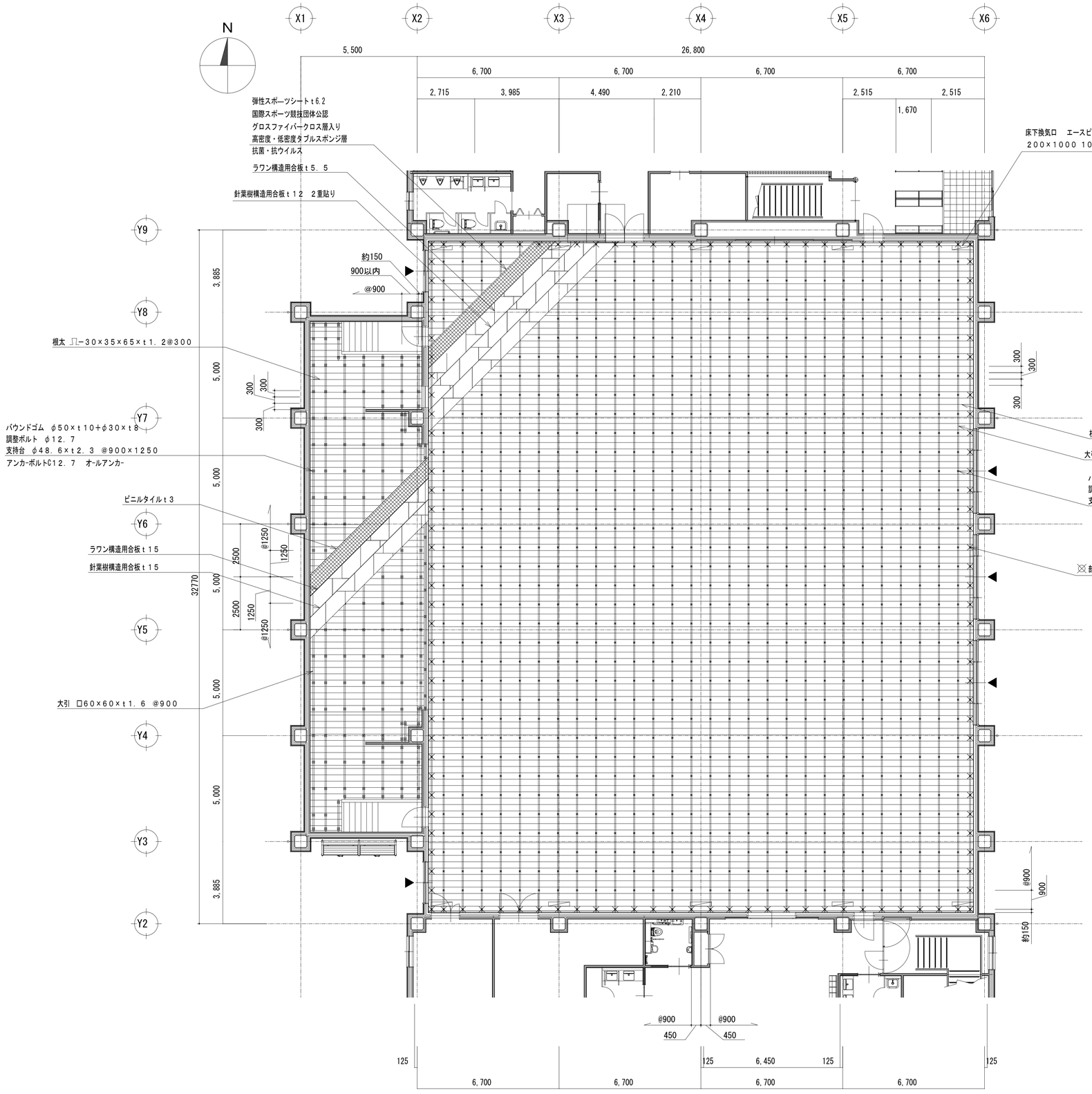
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査

担当

| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | A-066 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | サイン詳細図 | 縮尺 | A1：図示<br>A3：— | | |




〈ステージ〉

| 仕様 | 床 仕 上 材 | |
|---|---|---|
| ステージ | 床 | ビニルタイルｔ３ |
| | 合板 | ラワン構造用合板ｔ１５ |
| | | 針葉樹構造用合板ｔ１５ |
| | | |
| | | |

| 仕様 | 鋼 製 床 下 地 | |
|---|---|---|
| ステージ<br>H＝１０００<br>ステージ形 | 根太 | ⎍ ３０×３５×６５×ｔ１．２@３００ |
| | 大引 | □６０×６０×ｔ１．６@９００ |
| | | バウンドゴム　φ５０×ｔ１０＋φ３０×ｔ８ |
| | | 調整ボルトφ１２．７ |
| | 支持台 | φ４８．６×ｔ２．３@１２５０×９００ |
| | | アンカーボルトC１２．７　オールアンカー |
| | | |

〈アリーナ〉

| 仕様 | 床 仕 上 材 | |
|---|---|---|
| アリーナ | 床 | 弾性スポーツシートｔ6.2 |
| | | 国際スポーツ競技団体公認 |
| | | グロスファイバークロス層入り |
| | | 高密度・低密度ダブルスポンジ層 |
| | | 抗菌・抗ウイルス |
| | 合板 | ラワン構造用合板ｔ５．５ |
| | | 針葉樹構造用合板ｔ１２　２重貼り |
| ※全周　エキスパンションゴム ６×２５ | | |

| 仕様 | 鋼 製 床 下 地 | |
|---|---|---|
| アリーナ<br>H＝３００<br>９００-1-５０形 | 根太 | ⎍ ３０×３５×６５×ｔ１．２@３００ |
| | 大引 | □５０×５０×ｔ１．６　@９００ |
| | | バウンドゴム　φ４０×ｔ２５ |
| | | ※部　バウンドゴム無し |
| | | 調整ボルトφ１２．７ |
| | 支持台 | φ３４．０×ｔ２．３@９００×９００ |
| | | アンカーボルトC１２．７　オールアンカー |

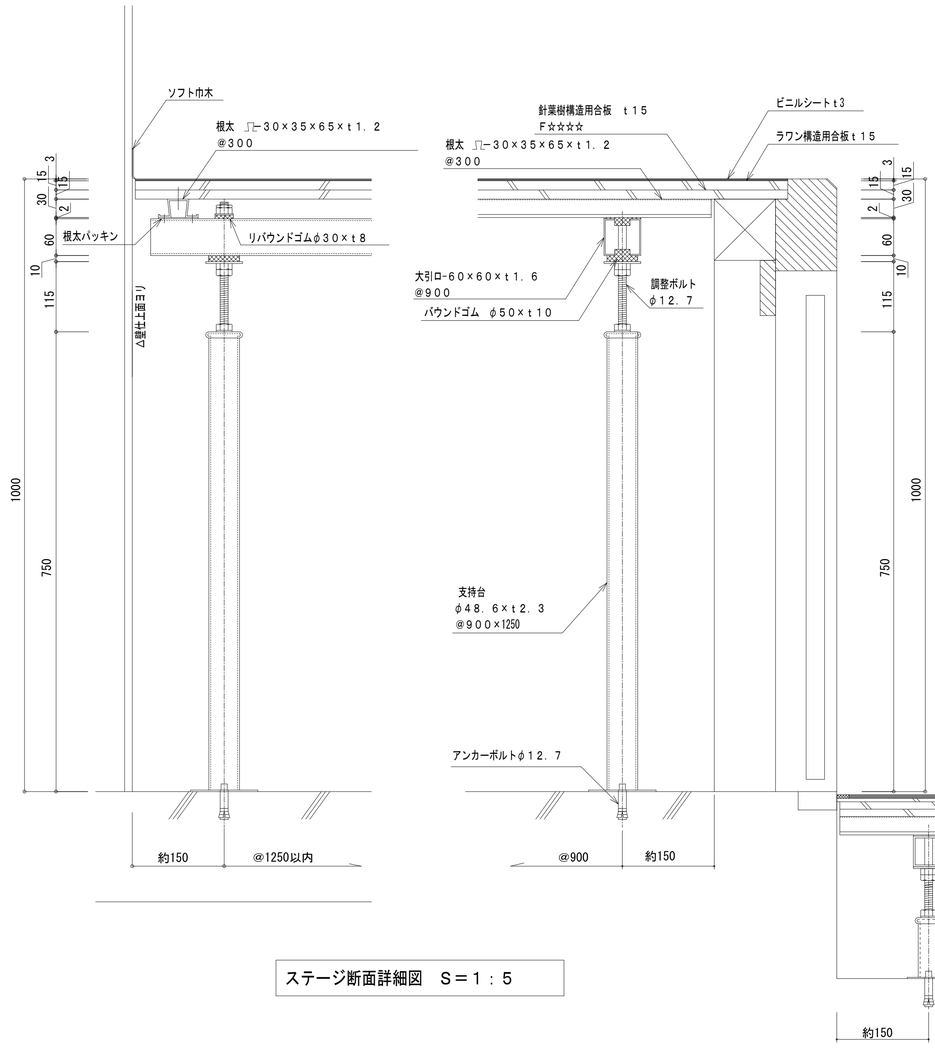
| 仕様 | そ の 他 | |
|---|---|---|
| アリーナ | 換気口 | 床下換気口 エースピット |
| | | ２００×１０００ １０カ所 |
| | | |
| | | |

記事

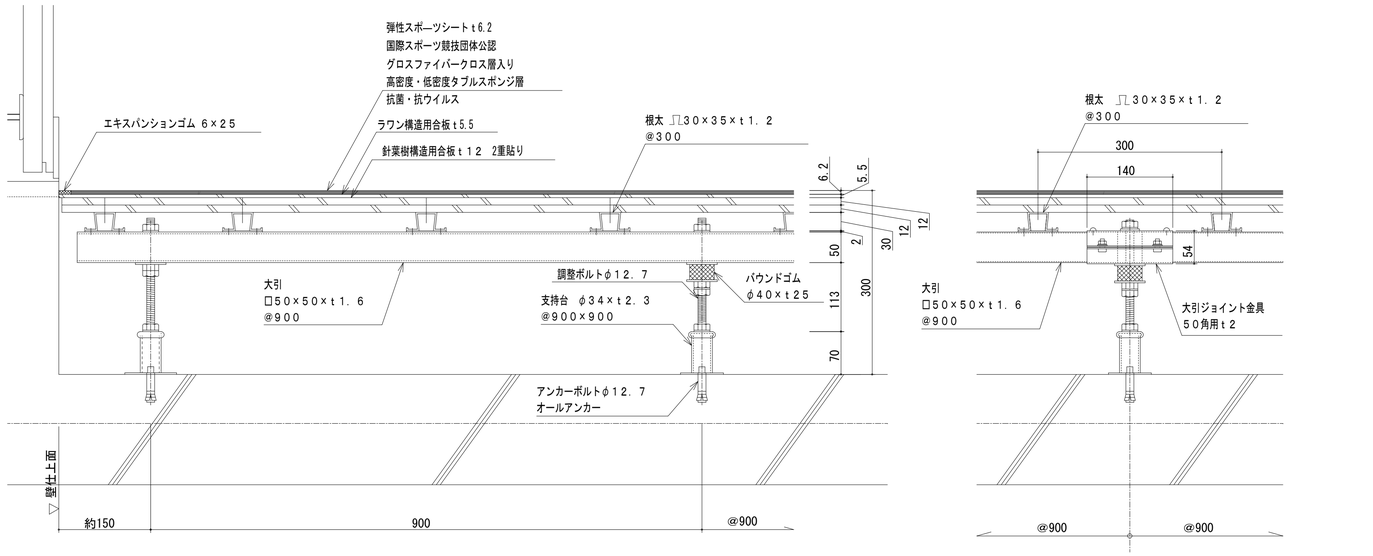
株式会社
真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号

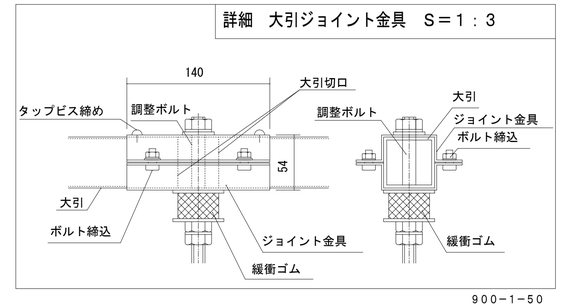
管理建築士：一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋
照査：
担当：

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | ｱﾘｰﾅ床伏図 | 縮尺 | A1：1/100<br>A3：1/200 |
| | | 図面番号 | A-067 |




ステージ断面詳細図　Ｓ＝１：５

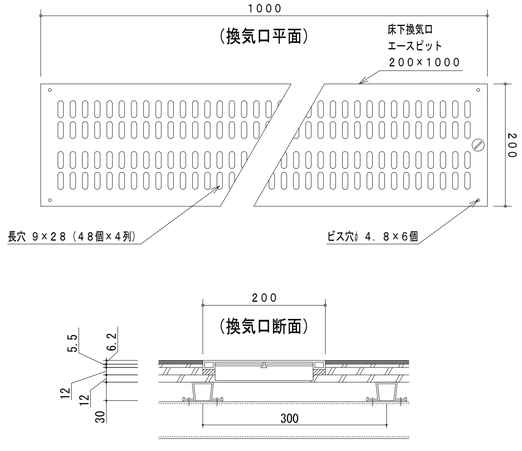



900−1−50

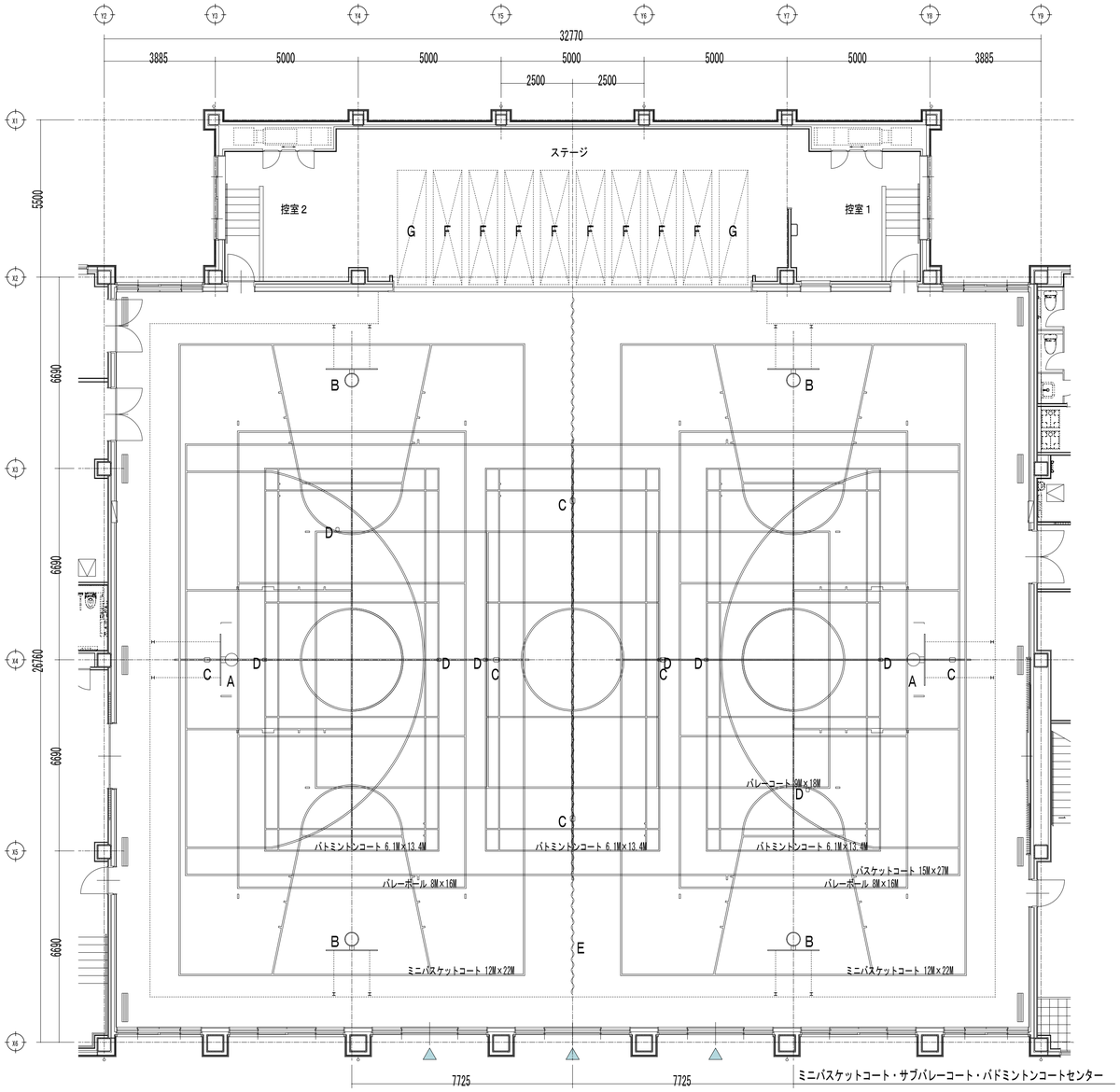



アリーナ 断面詳細図　Ｓ＝１：５

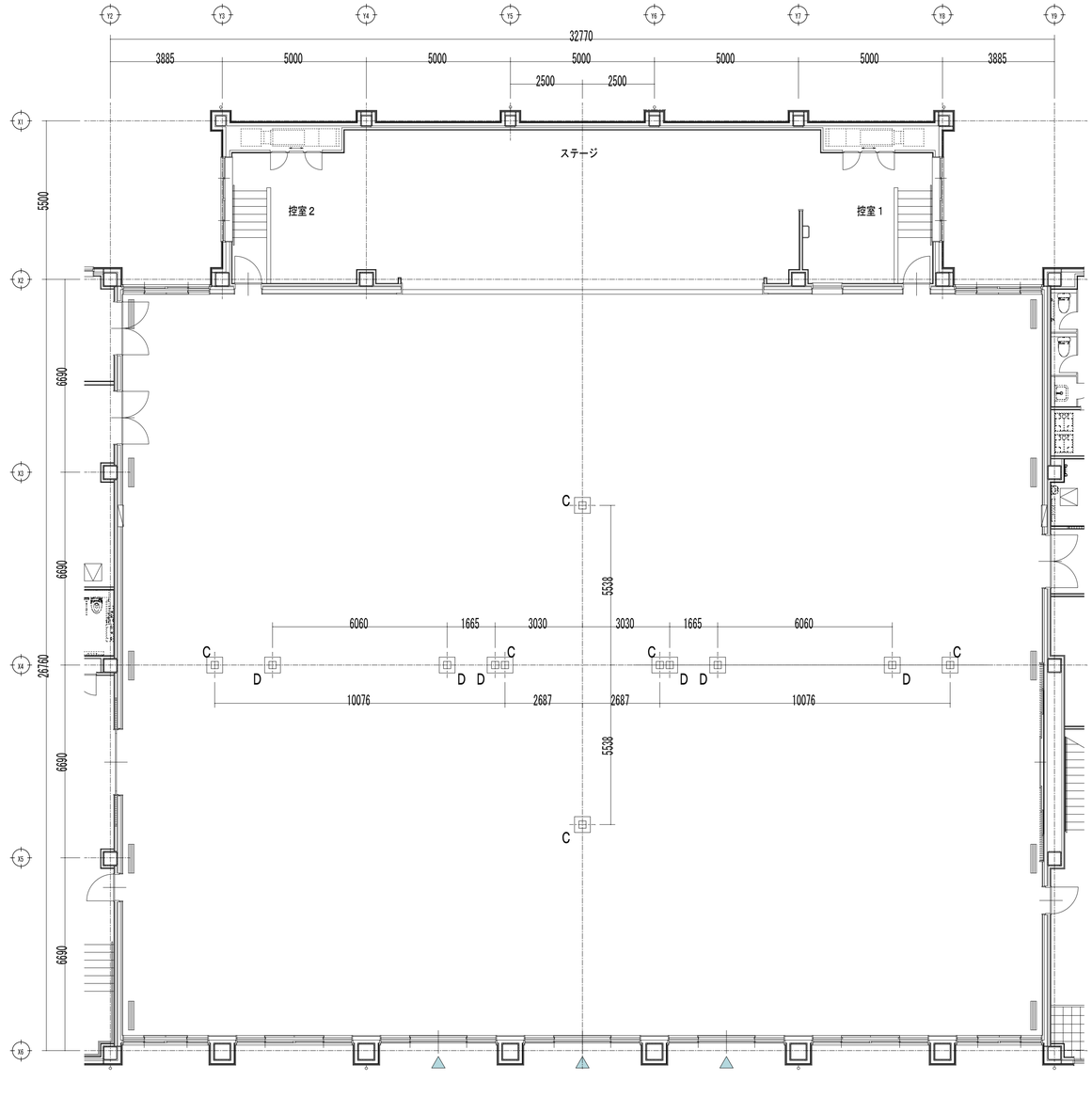



床下換気口詳細図　Ｓ＝１：５

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| | | | | | | 図面名 | ｱﾘｰﾅ床詳細図 | 縮尺 | A1：1/3,1/5 A3：1/6,1/10 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-068 |




体育施設配置平面図




床下基礎配置平面図

## 体育施設明細

| 記号 | 品番 | 品名 | 仕様 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| A | BA-4004 | ジャバラ式バスケットゴール | 日本バスケットボール協会検定品、手動ハンドル式<br>上下調節装置付、プラスチック板15t | 1 対 |
| B | BA-4004 | ジャバラ式バスケットゴール | 日本バスケットボール協会検定品、手動ハンドル式<br>上下調節装置付、プラスチック板15t | 2 対 |
| C | VT-6058 | バレーポスト用床金具 | 板張用アップターン式、亜鉛合金製<br>ソケットダクロ仕上 | 3 組 |
| D | VT-7060 | バドミントンポスト用床金具 | 板張用アップターン式、亜鉛合金製<br>ソケットダクロ仕上 | 3 組 |
| E | GF-5074 | 防球ネット（チェーン操作式） | ワイヤーロープ張り、片開式、セパレート<br>ポリエチレンネット100mm目 | 1 張 |
| F | GF-7087 | 椅子運搬車 | スチール製、幅1.0M×長4.0M、浮上式<br>レール・パネル付 | 8 台 |
| G | GF-7087 | 多目的運搬車 | スチール製、幅1.0M×長4.0M、浮上式<br>レール・パネル付 | 2 台 |
| | GF-6100 | アルミ製ステップ階段（４段） | 高さ1M用 | 2 台 |
| | | | | |

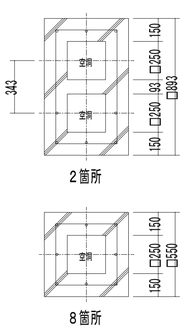
## ライン引き明細

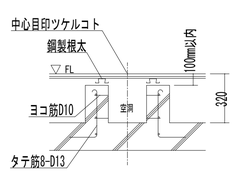
| 優先順 | 記号 | コート名 | コート寸法 | 仕様 | 色 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | メインバスケットボール | 15m×27m | 全線、ライン巾50mm | 白 | 1面 |
| 2 | | サブミニバスケットボール | 12m×22m | 全線、ライン巾50mm | 黄 | 2面 |
| 3 | | メインバレーボール | 9m×18m | 全線、ライン巾50mm | 赤 | 1面 |
| 4 | | サブバレーボール | 8m×16m | 全線、ライン巾50mm | 青 | 2面 |
| 5 | | バドミントン | 6.1m×13.4m | 全線、ライン巾40mm | 緑 | 3面 |

※優先順、ライン色は参考とする。

## 床下基礎明細

| 記号 | 名称 | 数量 |
|---|---|---|
| A | バレーポスト用 | 6 ケ所 |
| B | バドミントンポスト用 | 6 ケ所 |
| | | |
| | 合計 | 12 ケ所 |



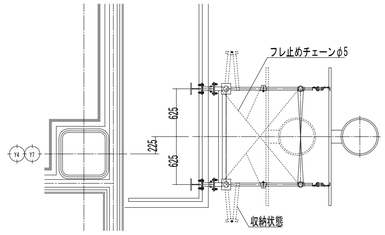

床下基礎詳細図
S=1/30
（建築本体工事ニ含ム）

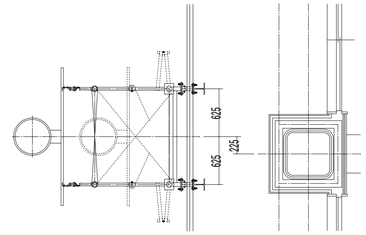
記事

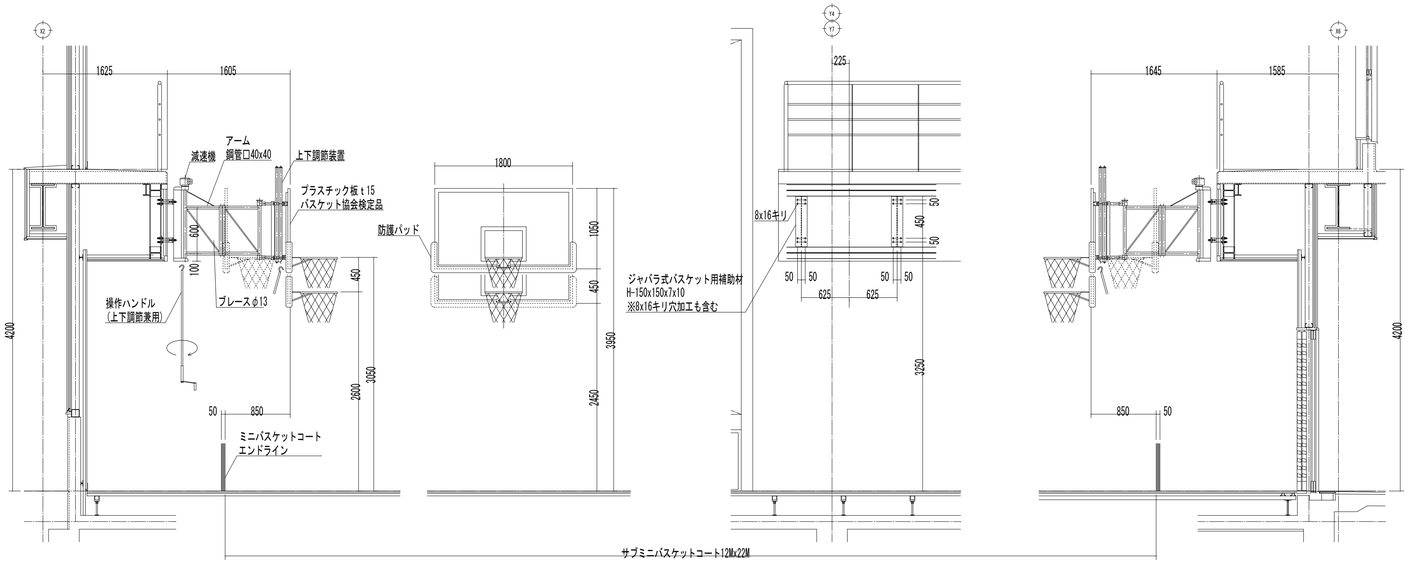
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査：
担当：

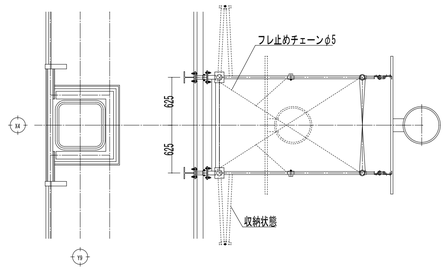
工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）
設計：令和 7年 3月
図面名：体育器具図-1（参考図）
縮尺：A1：1/100　A3：1/200
図面番号：A-069

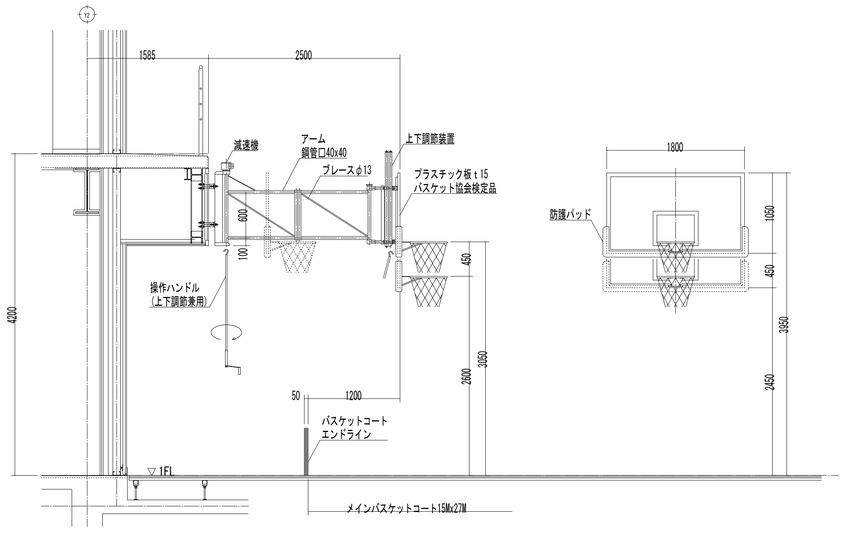


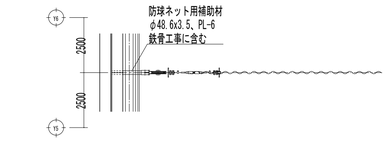

BA-4004　ジャバラ式バスケットゴール(サブ)　2対

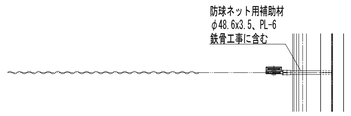


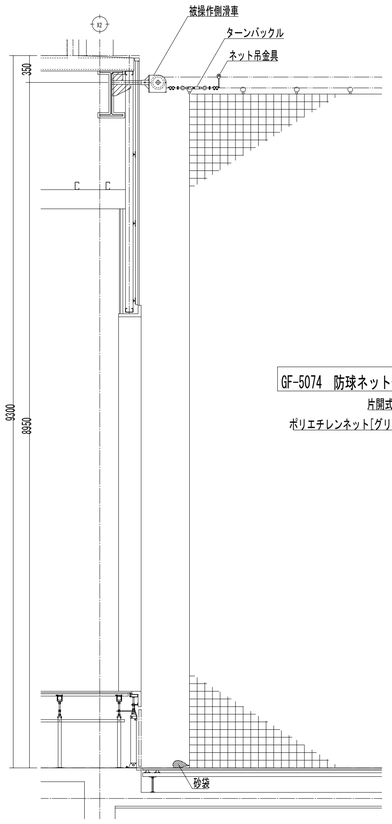



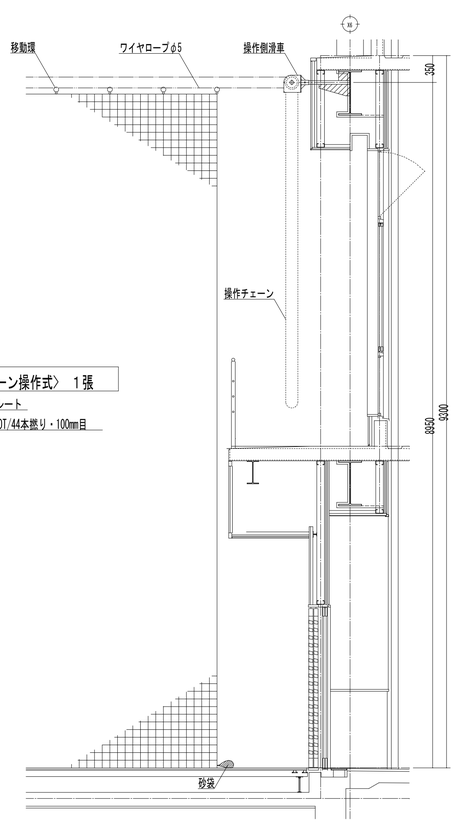

BA-4004　ジャバラ式バスケットゴール(メイン)　1対

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-070 |
| | | | | | | 図面名 | 体育器具図-2（参考図） | 縮尺 | A1：1/40<br>A3：1/80 | | |



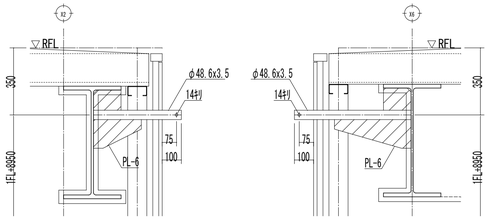



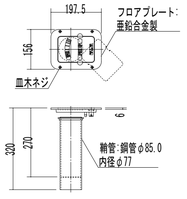

GF-5074　防球ネット〈チェーン操作式〉　1張

片開式、セパレート

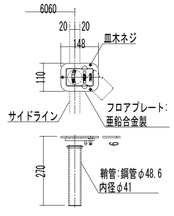
ポリエチレンネット[グリーン]400T/44本撚り・100mm目



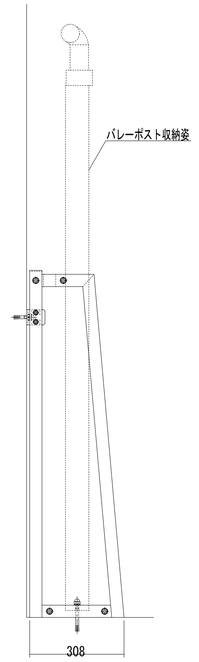

防球ネット用補助材詳細図

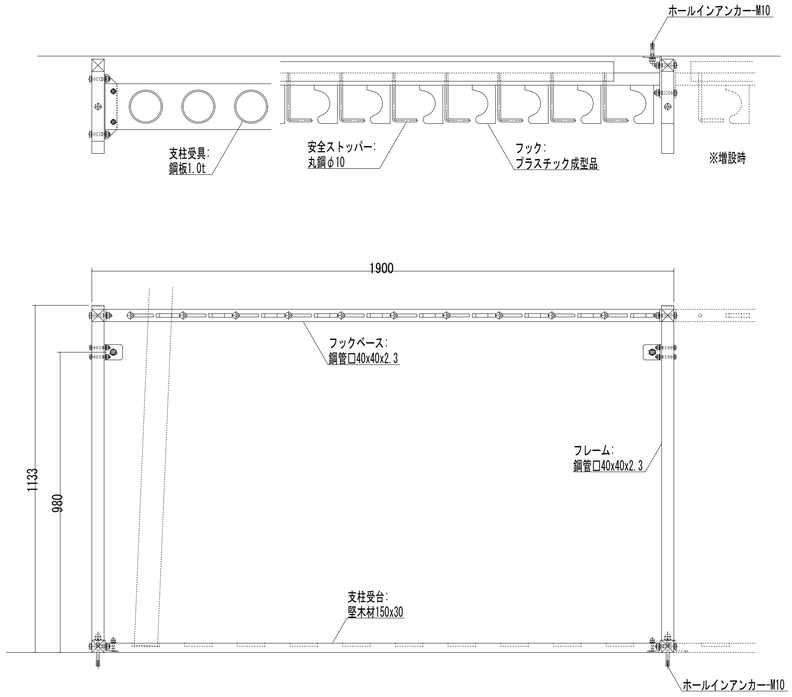



VT-6058　バレーポスト用床金具　3組




VT-7060　バドミントンポスト用床金具　3組

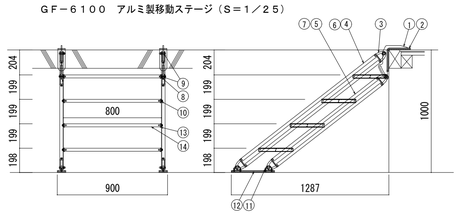



縦掛式器具収納棚 詳細図 <10本掛>

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-071 |
| | | | | | | 図面名 | 体育器具図-3（参考図） | 縮尺 | A1: 1/10, 1/40<br>A3: 1/20, 1/80 | | |

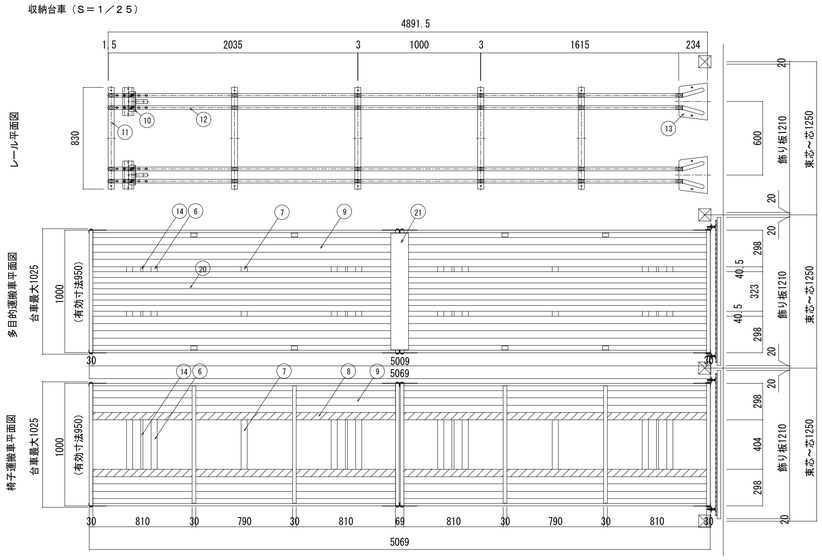
## ＧＦ－６１００　アルミ製移動ステージ（Ｓ＝１／２５）

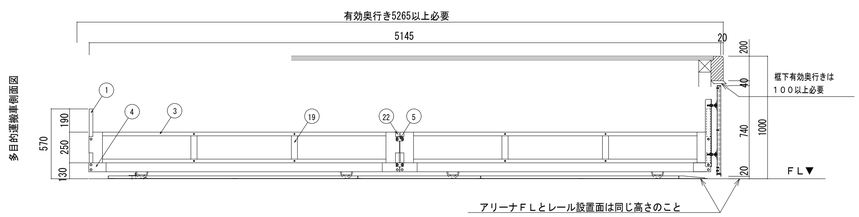


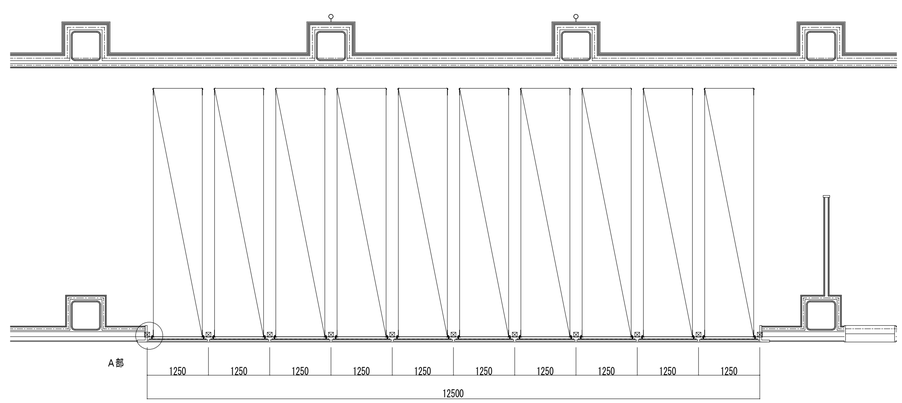

アルミ製移動階段主要構成部品仕様書

| 品番 | 名称 | 材料・加工等 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| 1 | フック | ＡＬＤＣ製 | 粉体塗装 |
| 2 | 滑り止めゴム | 成形品　６ミリ　差込 | |
| 3 | Ｂｋｔ １ | 強化プラスチック製（成型） | |
| 4 | 支柱材 １ | ＡＬ押し出し成形品（８０×３０×３ｔ） | 粉体塗装 |
| 5 | 支柱材 ２ | ＡＬ押し出し成形品（８０×３０×３ｔ） | 粉体塗装 |
| 6 | 支柱用フタ １ | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |
| 7 | 支柱用フタ ２ | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |
| 8 | カラー １ | φ２２×５ｔ　穴径φ８.５ | |
| 9 | カラー ２ | 鋼スペーサー（Ｇ０８００） | |
| 10 | カラー ３ | φ２２×３ｔ　穴径φ８.５ | |
| 11 | Ｂｋｔ ２ | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |
| 12 | 脚ベース | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |
| 13 | ステップカバー | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |
| 14 | ステップ材 | ＡＬ押し出し成形品 | 粉体塗装 |

## 収納台車（Ｓ＝１／２５）

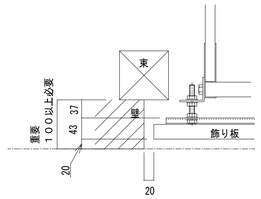


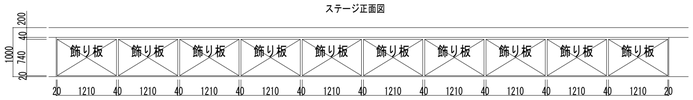




台車収納時平面配置図

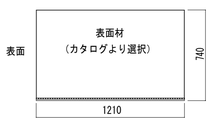
A部詳細図

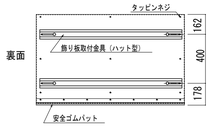



ステージ正面図

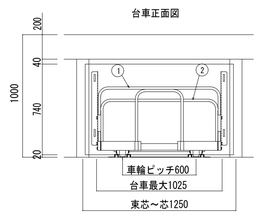



飾り板詳細図

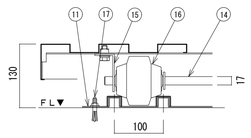


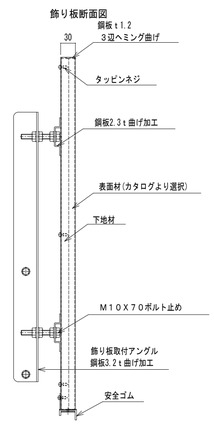

台車正面図




車輪部詳細




飾り板断面図




仕　様

１．ＧＦ－７０８７　椅子運搬車　８ビット８台
　　寸法　Ｗ１０００×Ｌ５０００×Ｈ５７０
２．ＧＦ－７０８７　多目的運搬車　２ビット２台
　　寸法　Ｗ１０００×Ｌ５０００×Ｈ５７０
３．飾り板　１０ビット１０枚
４．ＧＦ－６１００　アルミ製ステージ階段　　２台
５．レール下地（モルタル金ゴテ仕上げ）は別途工事

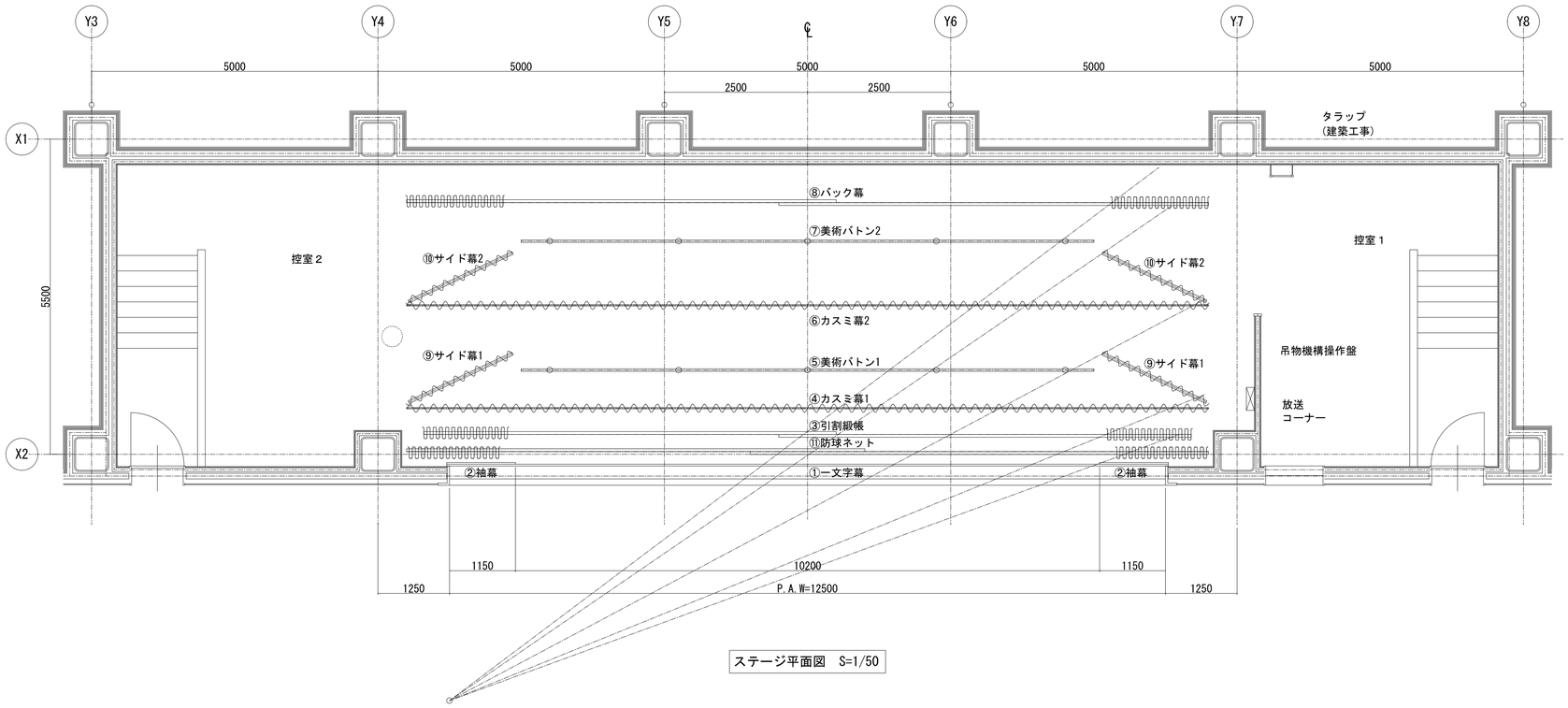
主要構成部品仕様書

| 品番 | 品　名 | 材料・加工等 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| １ | 押　手 | 角鋼管 30×20×1.2 | 亜鉛メッキ |
| ２ | 椅子倒れ止め | 角鋼管 30×20×1.2 | 亜鉛メッキ |
| ３ | サ イ ド枠 | 角鋼管 30×20×1.2 | 亜鉛メッキ |
| ４ | コーナーガセット | 鋼板　2.3ｔ | 黒色焼付 |
| ５ | 連結ＰＬＴ１ | 鋼板　2.3ｔ | 亜鉛メッキ |
| ６ | 車輪サポート | 鋼板　2.3ｔ | 黒色焼付 |
| ７ | 補助サポート | 鋼板　2.3ｔ | 黒色焼付 |
| ８ | 椅子滑り止め | ポリエチレンシート | |
| ９ | 床　板 | 亜鉛メッキ鋼板　1.0ｔ | 亜鉛メッキ |
| １０ | ストッパー | 鋼材　4.5ｔ | 黒色焼付 |
| １１ | レールサポート | 鋼板　1.6ｔ | 亜鉛メッキ |
| １２ | ガイドレール | 鋼板　1.6ｔ | 亜鉛メッキ |
| １３ | 車輪ｽﾍﾟｰｻｰ1 | 鋼板　1.6ｔ | 亜鉛メッキ |
| １４ | 車　軸 | 丸棒　φ17 | 亜鉛メッキ |
| １５ | 軸　受 | 鋼材　4.5ｔ | 黒色焼付 |
| １６ | 車　輪 | 車輪外径　φ１００<br>ＭＴトラック専用車輪 | 本体は<br>亜鉛メッキ |
| １７ | オールアンカー | Ｍ８×４０ | 亜鉛メッキ |
| １８ | 飾り板 | 表面材（カタログより選択）<br>下地鋼板　1.2ｔ | 黒色焼付 |
| １９ | サイド枠倒れ止 | 鋼材　4.5ｔ | 亜鉛メッキ |
| ２０ | 中床板 | 亜鉛メッキ鋼板　1.0ｔ | 亜鉛メッキ |
| ２１ | 連結ＰＬＴ２ | 鋼板　2.3ｔ | 黒色焼付 |
| ２２ | パイプ | 角鋼管　20×20×1.2 | 亜鉛メッキ |

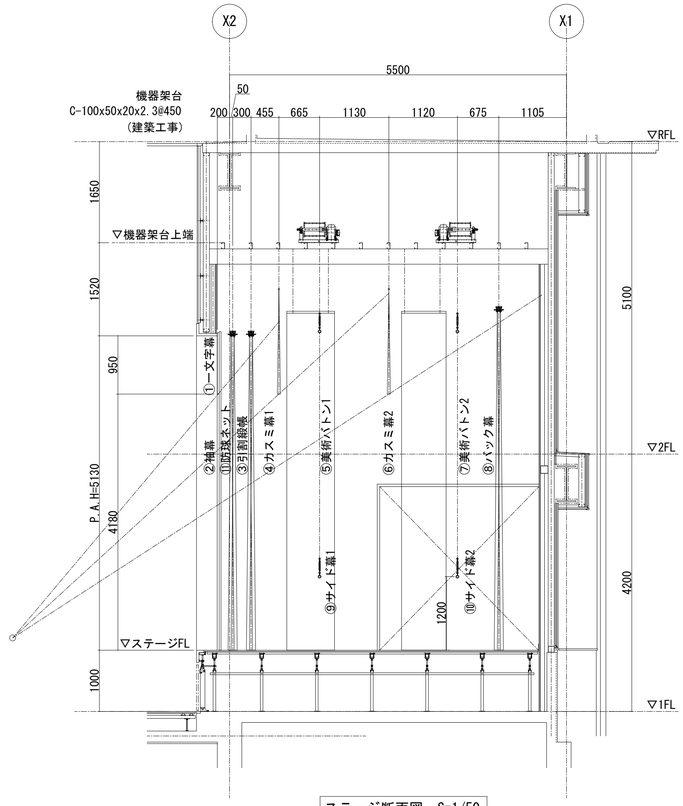
記事


株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号


| 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録<br>３６１２１７号<br>森　真洋 | | | 図面名 | 体育器具図-4（参考図） | 縮尺 | A1：1/25<br>A3：1/50 | A-072 |




ステージ平面図　S=1/50




ステージ断面図　S=1/50

舞台吊物機構仕様表

| NO | 名称 | 数量 | 方式 | バトン<br>レール寸法 | 吊点数 | ワイヤ | マシン | 全質量 | | | パイプ | 速度<br>(m/min) | 幕設備仕様 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 自重 | 積載量 | 合計 | | | 幕地寸法(mm) | | 材質・ヒダ数 | 数量 | |
| | | | | | | | | | | | | | W | H | | | |
| 1 | 一文字幕 | 1式 | 釘打固定吊式 | — | — | — | — | 30 | — | 30 | — | — | 12600 | 1000 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 1枚 | 裏付、フレンジ3寸、校章φ500本刺繍 |
| 2 | 袖幕 | 1対 | 釘打固定吊式 | — | — | — | — | 30 | — | 30 | — | — | 1200 | 5200 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 2枚 | 裏付、フレンジ6寸 |
| 3 | 引割引割緞帳 | 1式 | 固定吊/電動開閉式 | 7200x2 | — | — | 1φ 100V 0.12kW | 80 | — | 80 | E31 | 15 | 7200 | 5100 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 2枚 | 裏付、フレンジ6寸、HB-F型 |
| 4 | カスミ幕1 | 1式 | パイプ固定吊式 | 14000 | — | — | — | 30 | — | 30 | E25 | — | 14000 | 1700 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 1枚 | |
| 5 | 美術バトン1 | 1式 | 電動昇降式 | 10000 | 5 | φ4 | 3φ 200V 0.4kW | 30 | 100 | 130 | φ42.7 | 6 | — | — | — | — | |
| 6 | カスミ幕2 | 1式 | パイプ固定吊式 | 14000 | — | — | — | 30 | — | 30 | E25 | — | 14000 | 1700 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 1枚 | |
| 7 | 美術バトン2 | 1式 | 電動昇降式 | 10000 | 5 | φ4 | 3φ 200V 0.4kW | 30 | 100 | 130 | φ42.7 | 6 | — | — | — | — | |
| 8 | バック幕 | 1式 | 固定吊/電動開閉式 | 7500x2 | — | — | 1φ 100V 0.12kW | 80 | — | 80 | E31 | 15 | 7500 | 5500 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 2枚 | HB-F型 |
| 9 | サイド幕1 | 1対 | パイプ固定吊式 | 2000x2 | — | — | — | 50 | — | 50 | E31 | — | 2000 | 5500 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 2枚 | |
| 10 | サイド幕2 | 1対 | パイプ固定吊式 | 2000x2 | — | — | — | 50 | — | 50 | E31 | — | 2000 | 5500 | 難燃起毛・2倍ヒダ | 2枚 | |
| 11 | 防球ネット | 1式 | 手動手引開閉式 | 8000x2 | — | — | — | 50 | — | 50 | E31 | — | 8000 | 5400 | ポリエチレン | 2枚 | HB-F型、砂袋付 |

注記）※自重はバトンパイプ，開閉レール，吊金具，幕等の質量を示す。　※積載量はバトンパイプ等の全長にわたって吊下げることのできる質量を示す。
※マシン・滑車塗装色はグレー(N3半艶)とする。　※バトン塗装色は黒(N1半艶)とする。

舞台吊物設備工事特記仕様

1. 工事概要　本設計図書に基づき舞台機構工事及び、これに伴う設備工事を行うものとし、必要な機器一切を含むものとする。
2. 施工範囲　前項の装置を入念に据え付けた後、充分な作動試験及び調整を施した上で検収を受け、同時に操作方法並びに安全対策等を詳細に説明の上引渡す。
3. 施工基準　本工事は仕様書並びに設計図に基づき、監督員の指示のもとに施工する。舞台の安全性に留意し法規に準拠するのは勿論のこと、設計図書に明記されていない事項でも安全上必要と思われるものは施工図を作成し、監督員の承諾を 受けた後に、製作並びに施工する。
4. 保障期間及び保守点検　本設備の保障期間は、引渡し日より1年間とし、保障期間内に生じた製作ついては速やかに無償修理を行う。
5. 本工事に使用する主要資材は、日本工業規格の合格品、又は同等以上のものとする。

特記事項

〔耐震設計

・懸垂物安全指針・同解説(BCJ 2-0055) ・吊物機構安全指針・同解説(JATET M-6030-4)
・劇場等演出空間電気設備指針(JESC E 0002(1999)) ・日本工業規格(JIS)

工事区分表

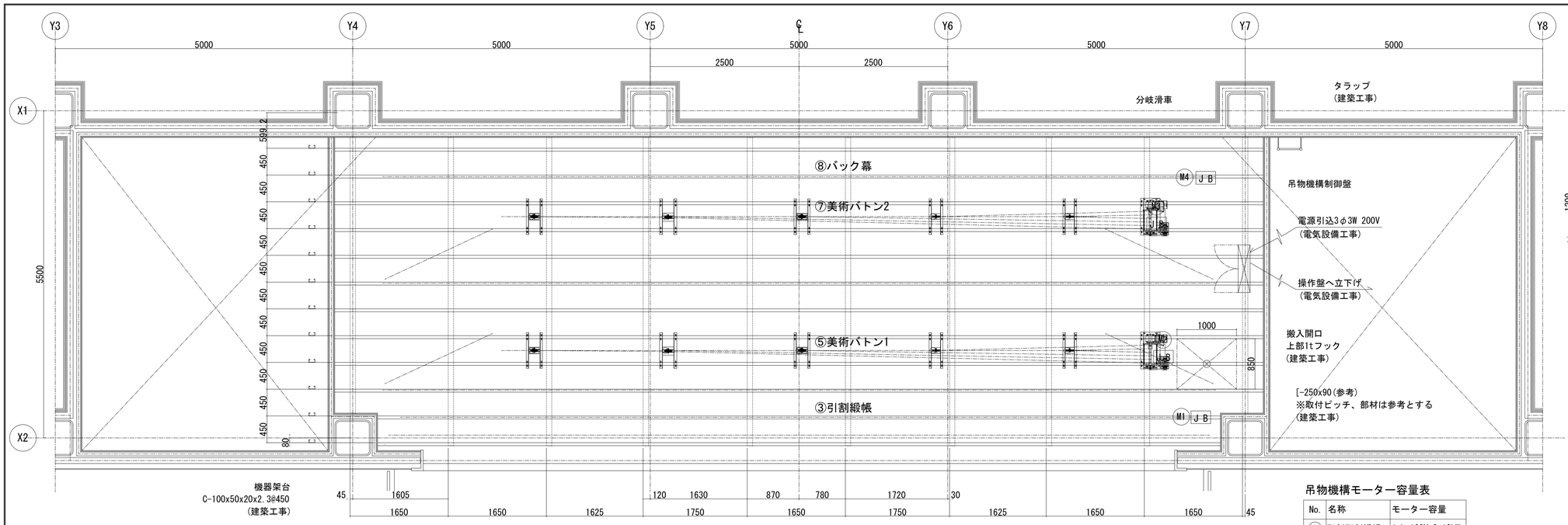
| 工事内容＼工事区分 | 建築主体工事 | | 電気設備工事 | 別途工事 |
|---|---|---|---|---|
| | | 舞台機構設備工事 | | |
| 吊物機構装置製作及び取付工事 | | ○ | | |
| バトンパイプ・吊金物の製作及び取付工事 | | ○ | | |
| 引割緞帳・諸幕の製作及び吊込み工事 | | ○ | | |
| ブドウ棚及び進入用のタラップ、搬入出口取付工事 | ○ | | | |
| ブドウ棚上作業灯及びコンセント工事 | ○ | | | |
| 足場及び養生 | ○ | | | |
| 工事用電源 | ○ | | | |
| 吊物機構制御盤までの一次側電源供給接続工事 | | | ○ | |
| 吊物機構制御盤からの二次側配管・配線工事 | | | ○ | |
| 舞台照明用器具の製作及び取り付け工事 | | | ○ | |
| ※その他記載なき事項は別途工事 | | | | ○ |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 舞台吊物機構図-1 | 縮尺 | A1: 1/50<br>A3: 1/100 |
| | | 図面番号 | A-073 |

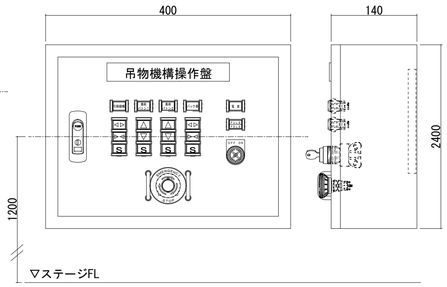



すのこ平面図　S=1/40

吊物機構モーター容量表

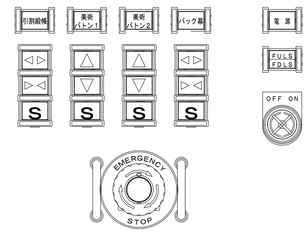
| No. | 名称 | モーター容量 |
|---|---|---|
| M1 | 引割引割緞帳 | 1φ 100V 0.12kW |
| M2 | 美術バトン1 | 3φ 200V 0.4kW |
| M3 | 美術バトン2 | 3φ 200V 0.4kW |
| M4 | バック幕 | 1φ 100V 0.12kW |

J B ： マシン端子箱を示す。

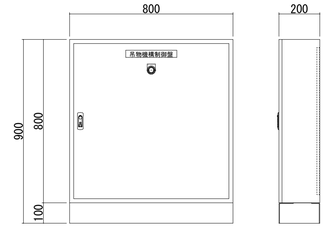



操作盤姿図 S=1/5

※取付位置は打合せによる。
※塗装色は2.5Y9/1（半ツヤ）とする。

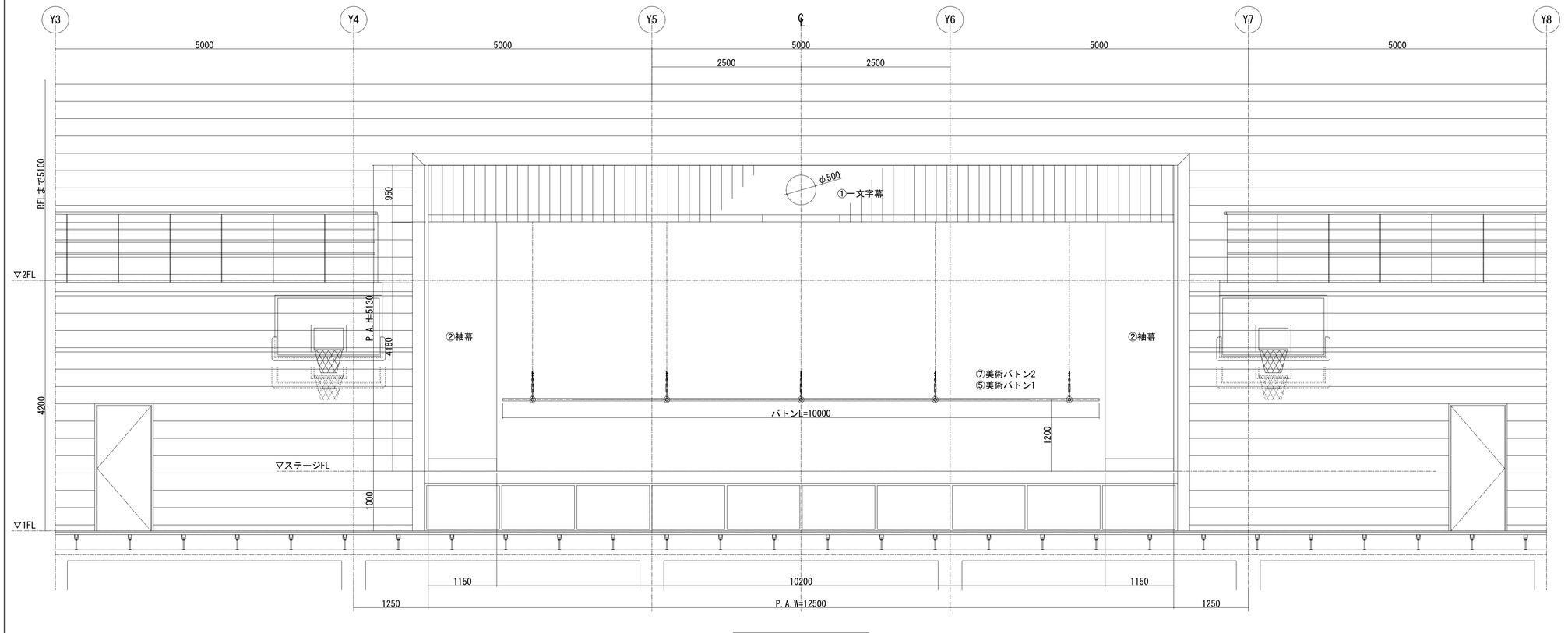



操作盤操作部拡大図

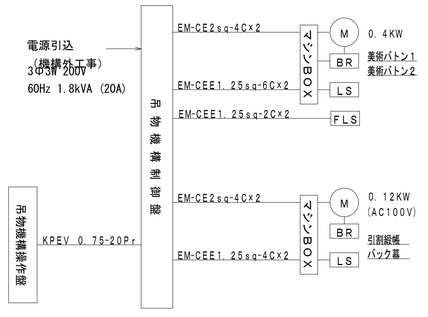



制御盤姿図 S=1/15

※取付位置は打合せによる。
※塗装色は2.5Y9/1(半ツヤ）とする。

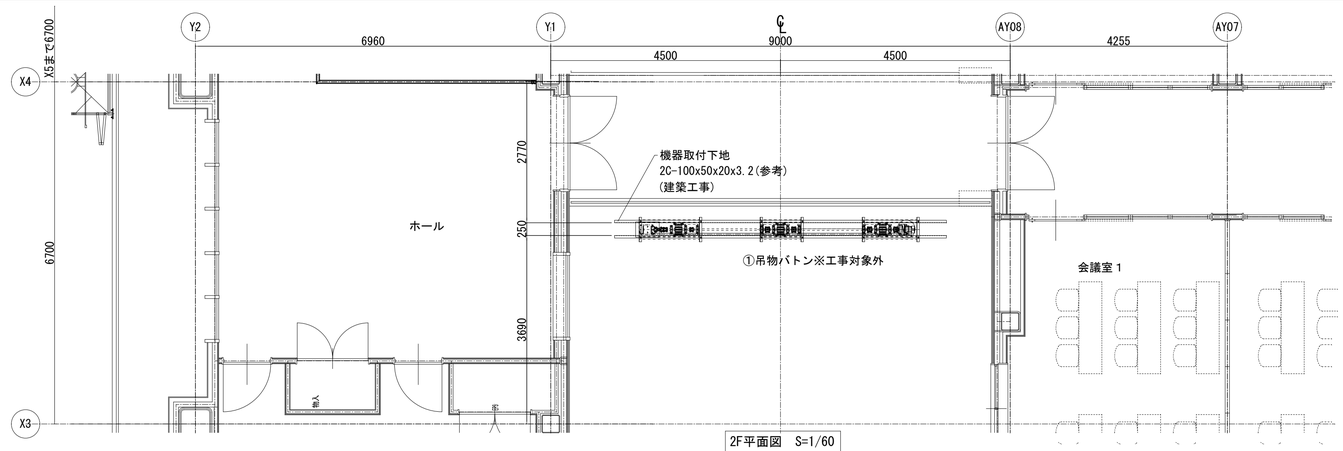



ステージ正面図　S=1/40

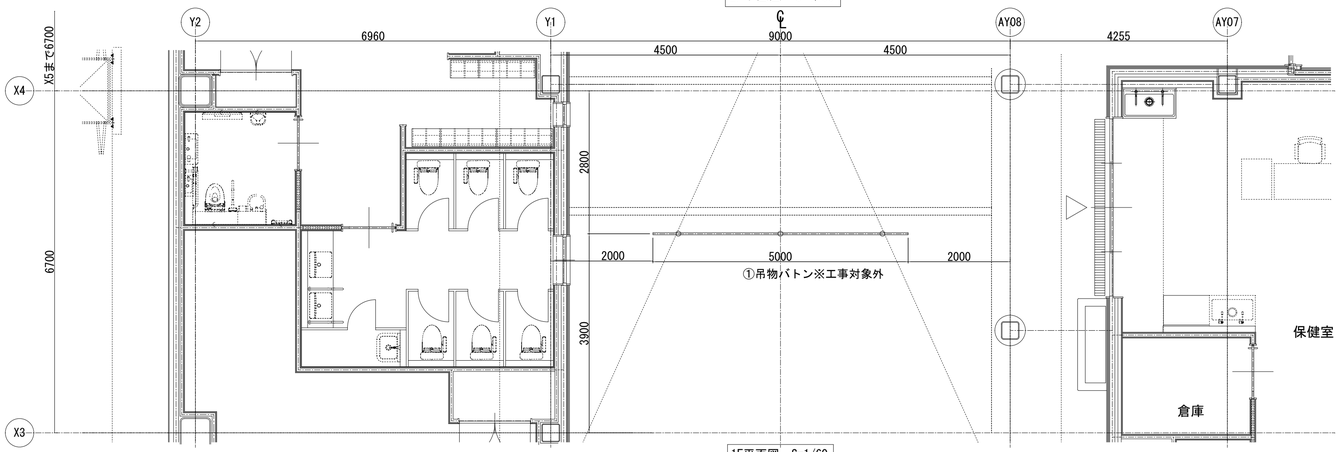



配線系統図

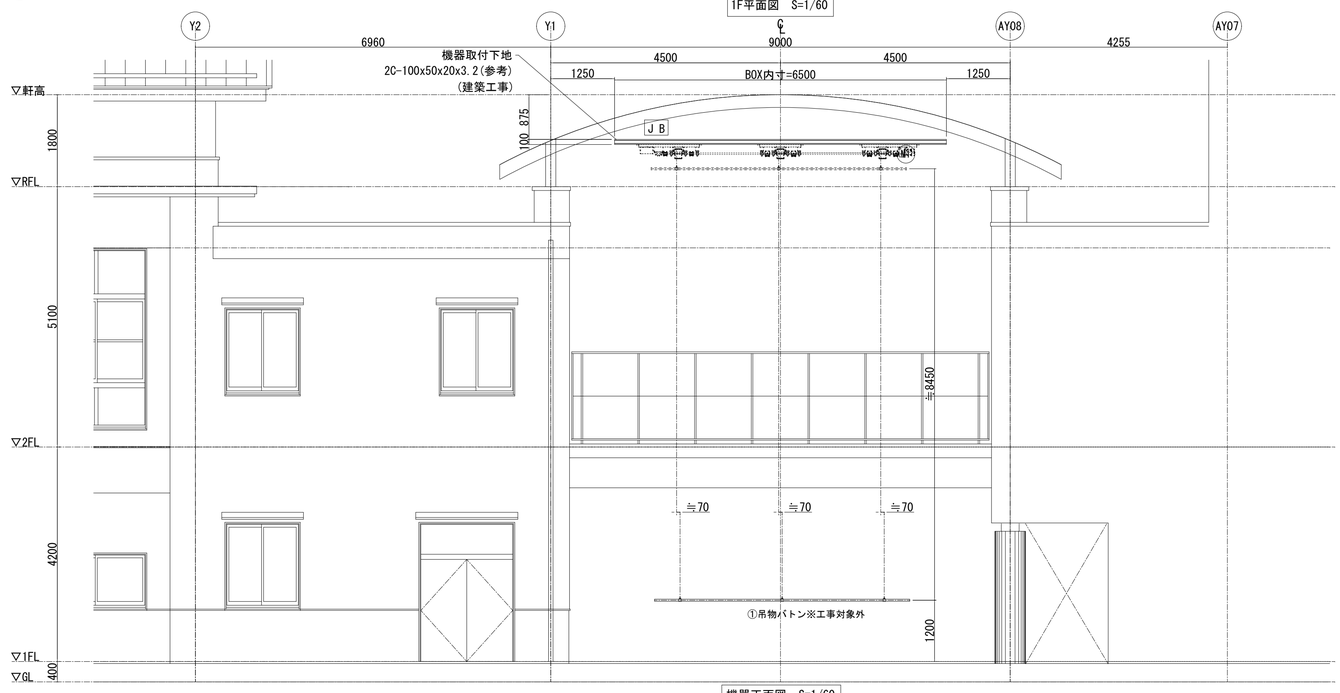
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 令和　7年　3月 |
| | | | | | | | 図面名 | 舞台吊物機構図-2 | 縮尺 A1: 1/40 A3: 1/80 |
| | | | | | | | | | 図面番号 A-074 |



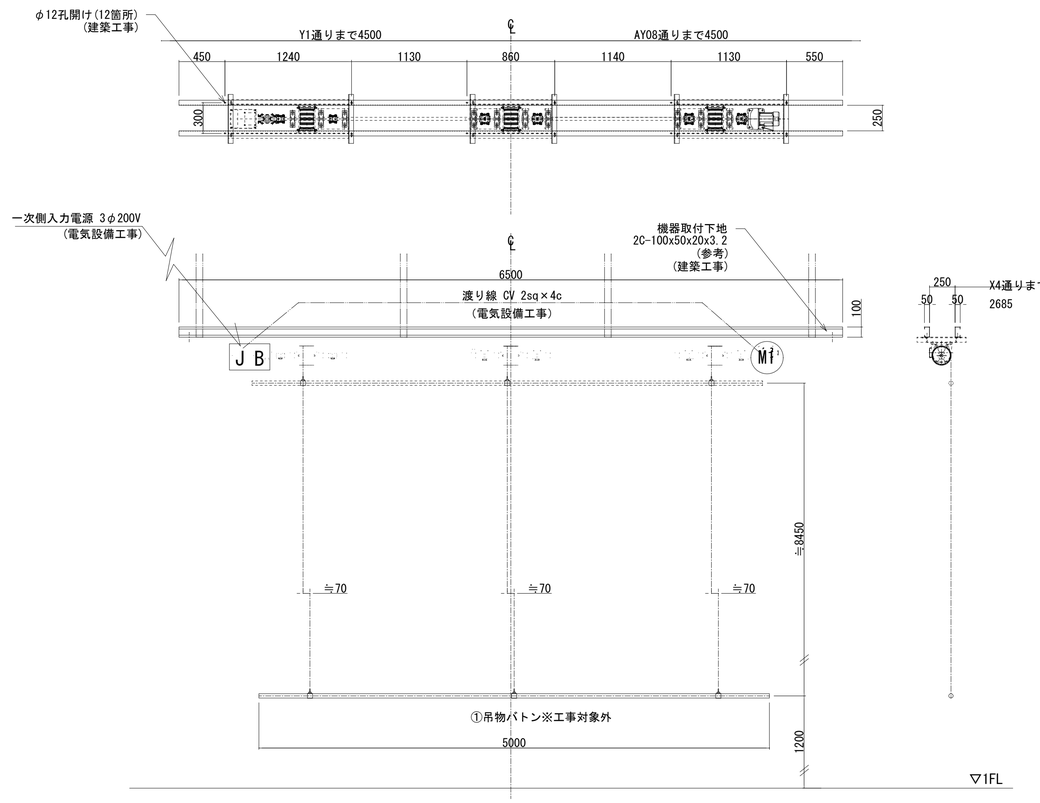

2F平面図　S=1/60




1F平面図　S=1/60




機器正面図　S=1/60

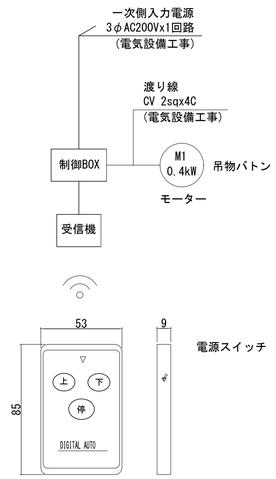



機器詳細図　S=1/30

吊物機構モーター容量表

| 符号 | 吊物名称 | マシン容量 |
|---|---|---|
| M1 | 吊物バトン | 3φ 200V 0.4kW |

J B :マシン制御BOXを示す。




カード式コードレスリモコン姿図　S=1/2

舞台吊物設備工事特記仕様

1. 工事概要　本設計図書に基づき舞台機構工事及び、これに伴う設備工事を行うものとし、必要な機器労務の一切を含むものとする。
2. 施工範囲　前項の装置を入念に据え付けた後、充分な作動試験及び調整を施した上で検収を受け、同時に操作方法並びに安全対策等を詳細に説明の上引渡す。
3. 施工基準　本工事は仕様書並びに設計図に基づき、監督員の指示のもとに施工する。舞台の安全性に留意し法規に準拠するのは勿論のこと、設計図書に明記されていない事項でも安全上必要と思われるものは施工図を作成し、監督員の承諾を 受けた後に、製作並びに施工する。
4. 保障期間及び保守点検　本設備の保障期間は、引渡し日より1年間とし、保障期間内に生じた製作破損については速やかに無償修理を行う。
5. 施 工　本設備と同等程度以上の舞台機構の施工実績を充分に有し、当該業種に係る直近の経営審査事項の総合評定値(P点)が820点以上であるとともにISO9001取得の舞台機構メーカーとする。
6. 本工事に使用する主要資材は、日本工業規格の合格品、又は同等以上のものとする。

特記事項
〔耐震設計
・懸垂物安全指針・同解説(BCJ 2-0055) ・吊物機構安全指針・同解説(JATET M-6030-4)
・劇場等演出空間電気設備指針(JESC E 0002(1999)) ・日本工業規格(JIS)

工事区分表

| 工事内容 ＼ 工事区分 | 建築主体工事 | | 電気設備工事 | 別途工事 |
|---|---|---|---|---|
| | | 舞台機構設備工事 | | |
| 吊物機構装置製作及び取付工事 | | ○ | | |
| バトンパイプ・吊金物の製作及び取付工事 | | ○ | | |
| 機器取付下地及び下地吊材取付工事 | ○ | | | |
| 機器取付下地の孔開け工事 | ○ | | | |
| 足場及び養生 | ○ | | | |
| 工事用電源 | | | ○ | |
| 吊物機構制御BOXまでの一次側電源供給及び二次側配管配線工事 | | | ○ | |
| ※その他記載なき事項は別途工事 | | | | ○ |

※吊物バトンは工事対象外

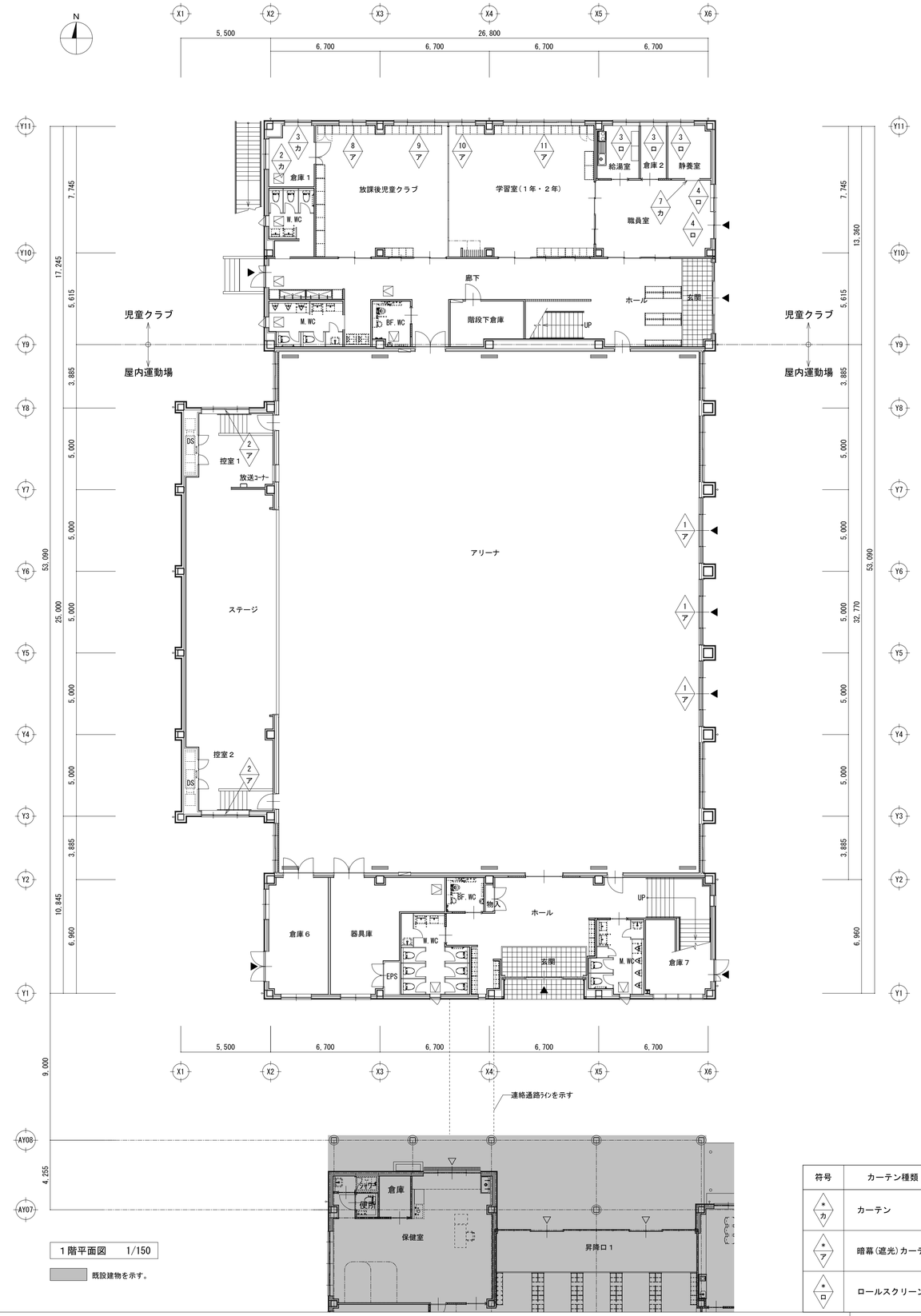
| NO. | 名称 | 数量 | 方式 | バトン寸法 (mm) | 吊点数 | ワイヤ | マシン | 全質量(kg) 自重 | 積載量 | 合計 | パイプ | 速度 (m/min) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 吊物バトン | 1式 | 電動昇降ラインシャフト式 | 5000 | 3 | SUSφ3 | 3φ 200V 0.4kW | 30 | 100 | 130 | SUSφ38 | 6 | コードレスリモコン操作 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号
管理建築士　一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査　担当

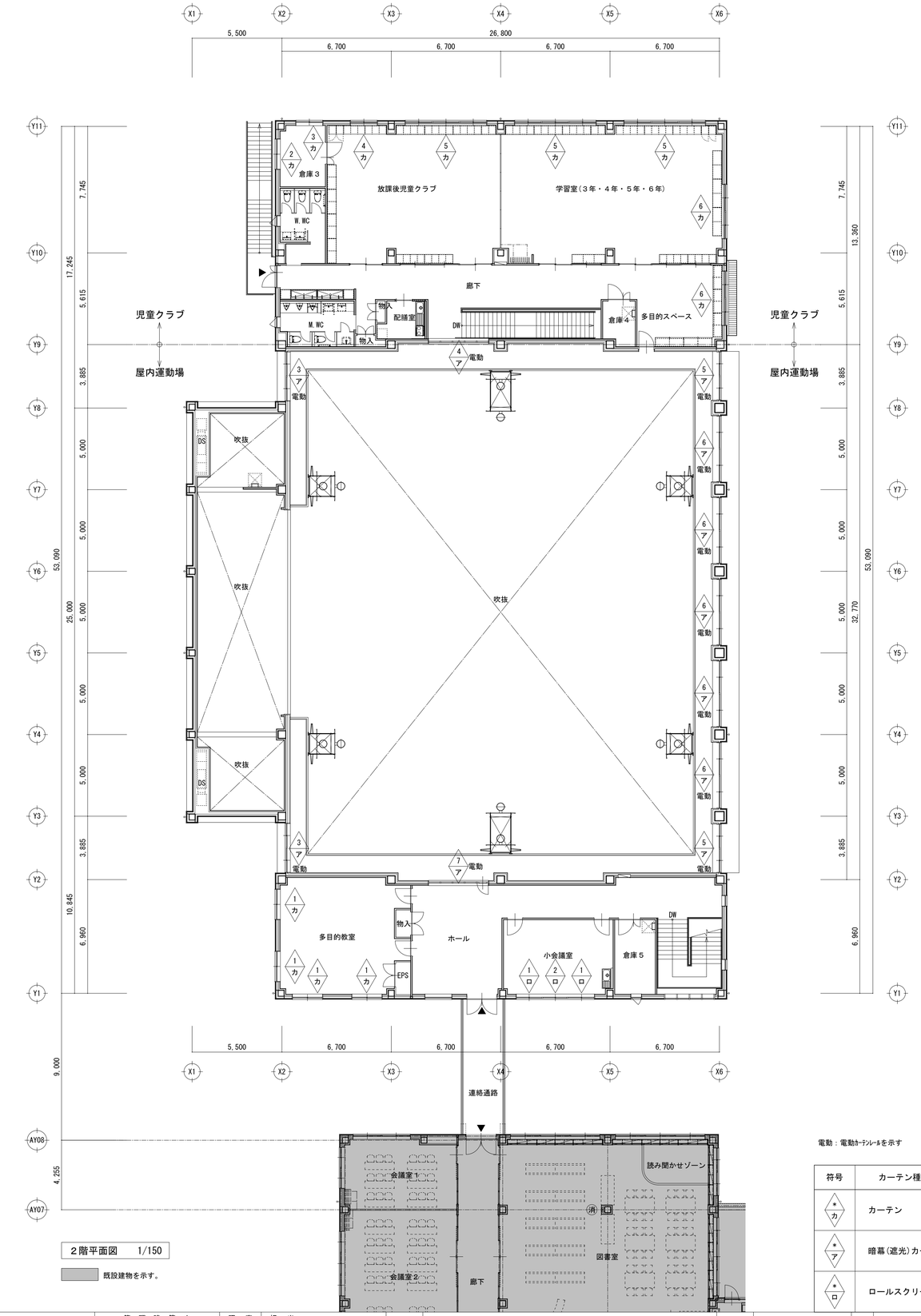
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 A-075 |
| 図面名 | 舞台吊物機構図-3 | 縮尺 | A1: 1/30, 1/60<br>A3: 1/60, 1/120 | |




1階平面図　1/150

既設建物を示す。

| 符号 | カーテン種類 |
|---|---|
| *カ | カーテン |
| *ア | 暗幕（遮光）カーテン |
| *ロ | ロールスクリーン |




2階平面図　1/150

既設建物を示す。

電動：電動ｶｰﾃﾝﾚｰﾙを示す

| 符号 | カーテン種類 |
|---|---|
| *カ | カーテン |
| *ア | 暗幕（遮光）カーテン |
| *ロ | ロールスクリーン |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| 図面名 | カーテン記号図 | 縮尺 | A1：1/150<br>A3：1/300 |

図面番号 A-076

| 符号 | カーテン等種類 | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ＊／カ | カーテン | カワシマ織物セルコン<br>ジーディーランサーⅡ同等品以上　1.5倍ヒダ | ポリエステル１００％　防炎品　消臭,抗菌,VOC分解機能<br>グリーン購入法適応品　ウォッシャブルタイプ |
| ＊／ア | 暗幕(遮光)カーテン | カワシマ織物セルコン<br>タルパ同等品以上　2.0倍ヒダ | ポリエステル１００％　防炎品　消臭,抗菌,VOC分解機能<br>グリーン購入法適応品　遮光１級　ウォッシャブルタイプ |
| ＊／ロ | ロールスクリーン | ニチベイ<br>フェスタⅡ同等品以上 | 防炎品　消臭　抗菌　抗かび<br>ウォッシャブルタイプ |

カーテンレール：アルミ合金押出し形材 シングル　アルマイトクリアー仕上

カーテン･ブラインドリスト　　操作は特記なき限り 手動式とする

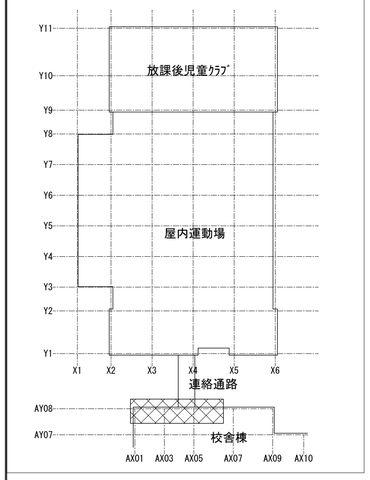
| 符号 | 名　称 | 寸　法 | 数　量 | | | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1F | 2F | 合計 | | |
| 1／カ | カーテン | w2,000 h1,850 | | 4 | 4 | 教育施設用カーテン　片引き　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 屋内運動場 |
| 2／カ | カーテン | w2,000 h1,850 | 1 | 1 | 2 | 教育施設用カーテン　片引き　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 3／カ | カーテン | w1,800 h1,850 | 1 | 1 | 2 | 教育施設用カーテン　片引き　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 4／カ | カーテン | w1,800 h1,750 | | 1 | 1 | 教育施設用カーテン　片引き　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 5／カ | カーテン | w5,140 h1,750 | | 3 | 3 | 教育施設用カーテン　引分け　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 6／カ | カーテン | w3,470 h1,750 | | 2 | 2 | 教育施設用カーテン　引分け　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 7／カ | カーテン | w1,150 h1,700 | 1 | | 1 | 教育施設用カーテン　片引き　1.5倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| | | | | | | | |
| 1／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w4,170 h2,240 | 3 | | 3 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 屋内運動場 |
| 2／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,070 h875 | 2 | | 2 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 屋内運動場 |
| 3／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,155 h3,560 | | 2 | 2 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>電動カーテンレール | 屋内運動場 |
| 4／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,840 h2,980 | | 1 | 1 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>電動カーテンレール | 屋内運動場 |
| 5／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,105 h3,560 | | 2 | 2 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>電動カーテンレール | 屋内運動場 |
| 6／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w4,170 h3,560 | | 5 | 5 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>電動カーテンレール | 屋内運動場 |
| 7／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,840 h2,980 | | 1 | 1 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>電動カーテンレール | 屋内運動場 |
| 8／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w1,800 h1,750 | 1 | | 1 | 教育施設用カーテン　片引き　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 9／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w3,470 h1,750 | 1 | | 1 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 10／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w1,800 h1,750 | 1 | | 1 | 教育施設用カーテン　片引き　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| 11／ア | 暗幕(遮光)カーテン | w5,140 h1,750 | 1 | | 1 | 教育施設用カーテン　引分け　2.0倍ヒダ<br>カーテンレール | 児童クラブ |
| | | | | | | | |
| 1／ロ | ロールスクリーン | w1,610 h1,850 | | 2 | 2 | チェーン式 | 屋内運動場 |
| 2／ロ | ロールスクリーン | w1,530 h1,850 | | 1 | 1 | チェーン式 | 屋内運動場 |
| 3／ロ | ロールスクリーン | w1,630 h1,615 | 3 | | 3 | チェーン式 | 児童クラブ |
| 4／ロ | ロールスクリーン | w1,675 h1,850 | 2 | | 2 | チェーン式 | 児童クラブ |
| | | | | | | | |

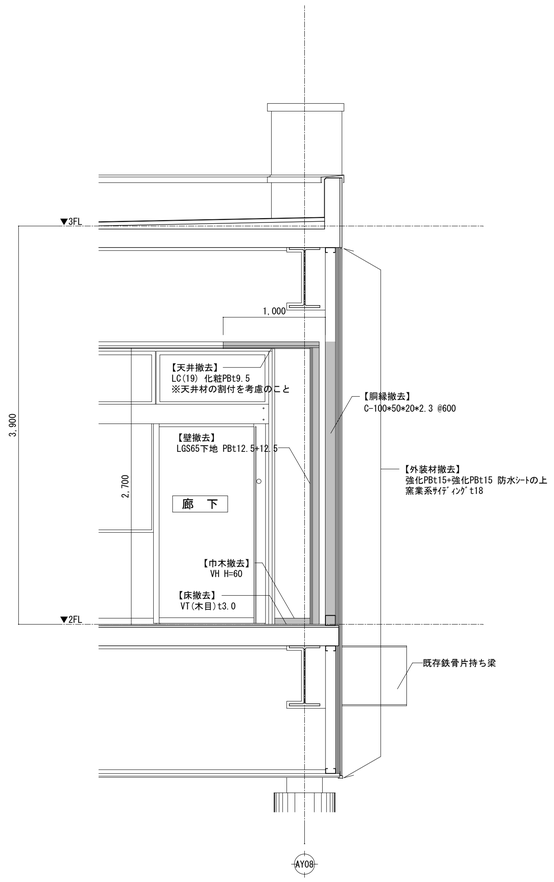
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

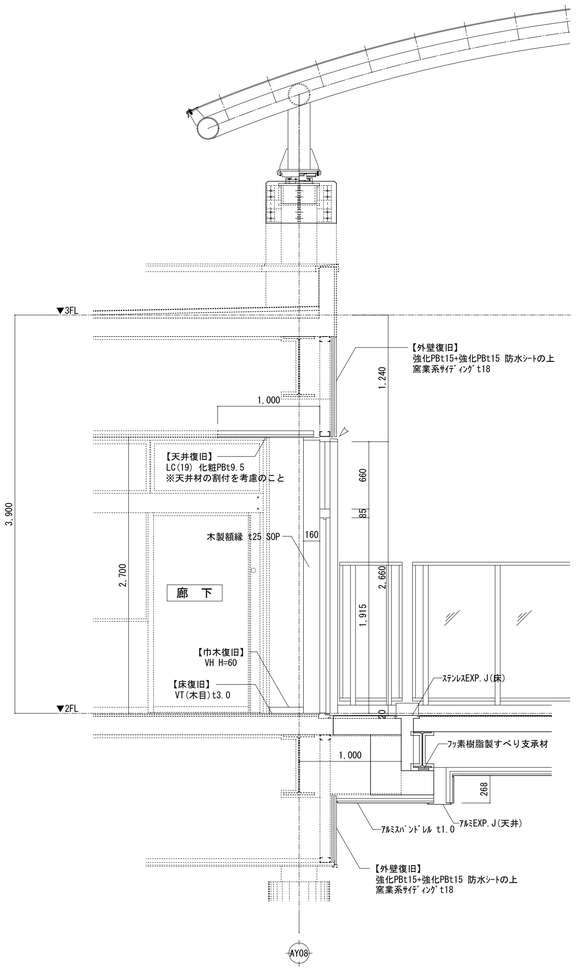
工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）
図面名：カーテンリスト
設計：令和 ７年 ３月
縮尺：A1：－　A3：－
図面番号：A-077



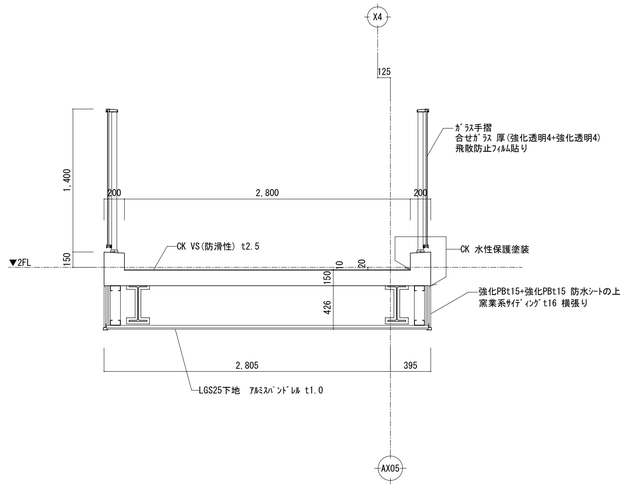




（既存） 断面図　1/30

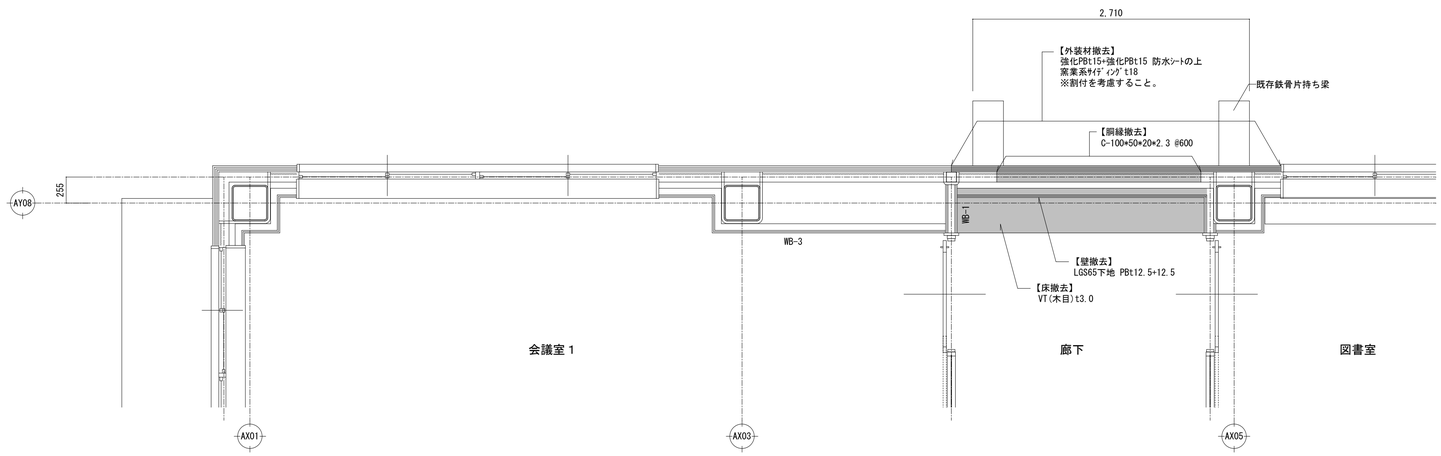
撤去範囲を示す




（改修後） 断面図　1/30

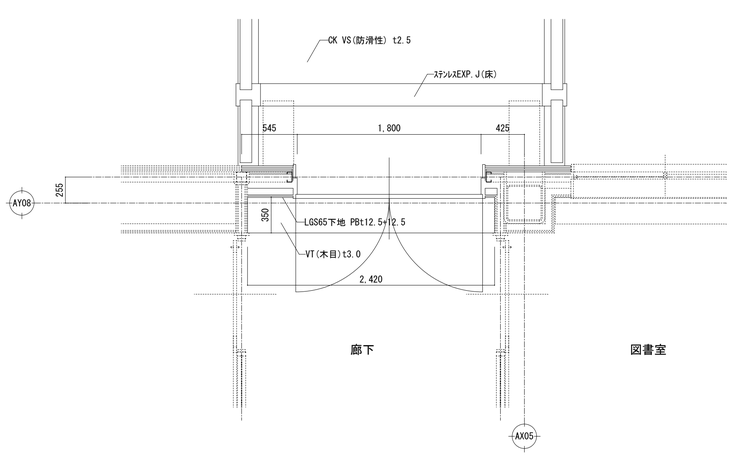



（改修後） 断面図　1/30



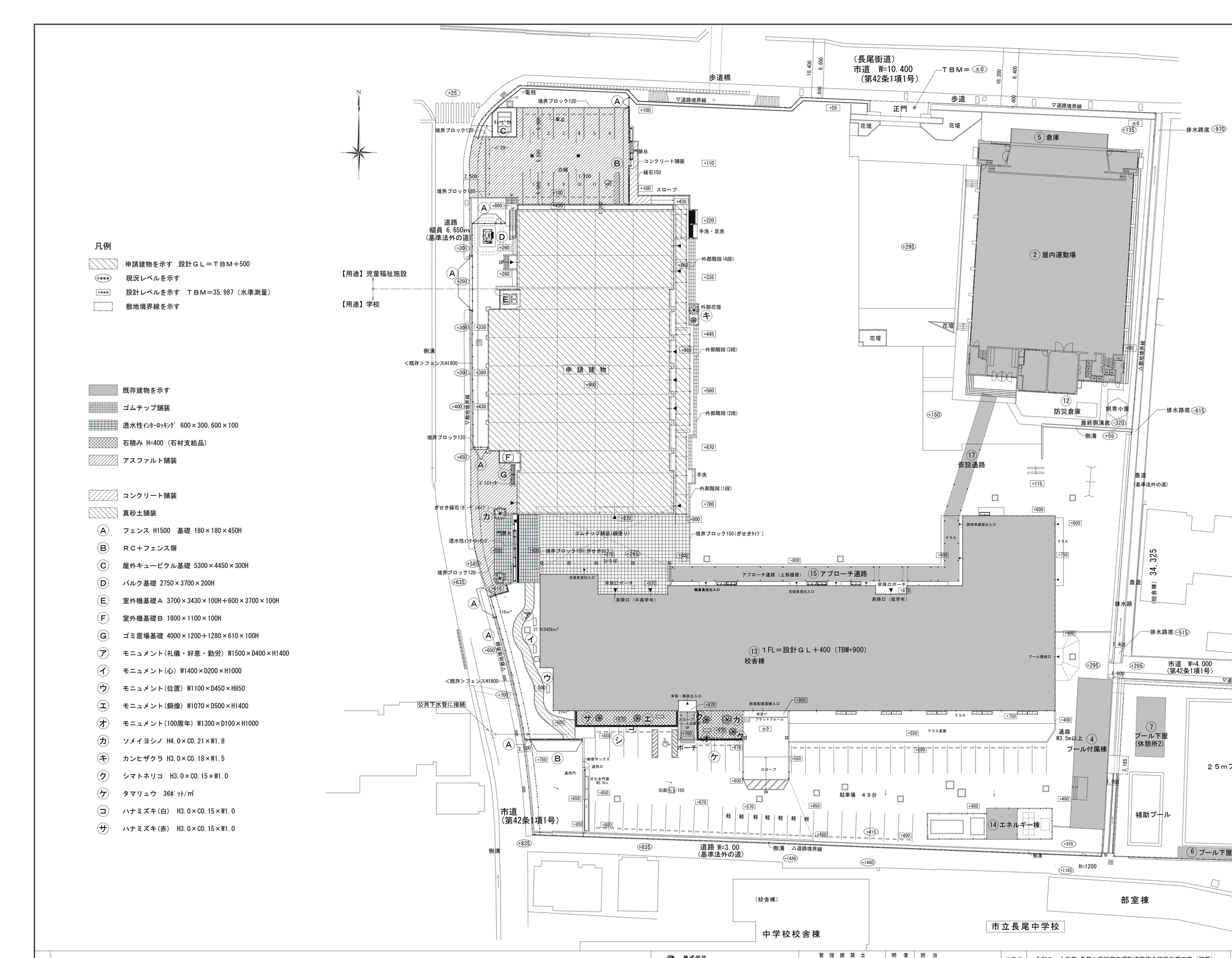

（既存） 平面図　1/30

撤去範囲を示す




（改修後） 平面図　1/30

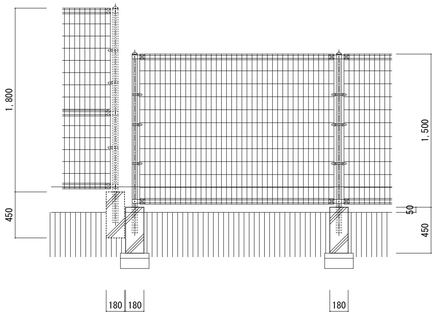
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | ・<br>・<br>・<br>・ | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 既存校舎接続部改修図 | 縮尺 | A1：1/30<br>A3：1/60 |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-078 |



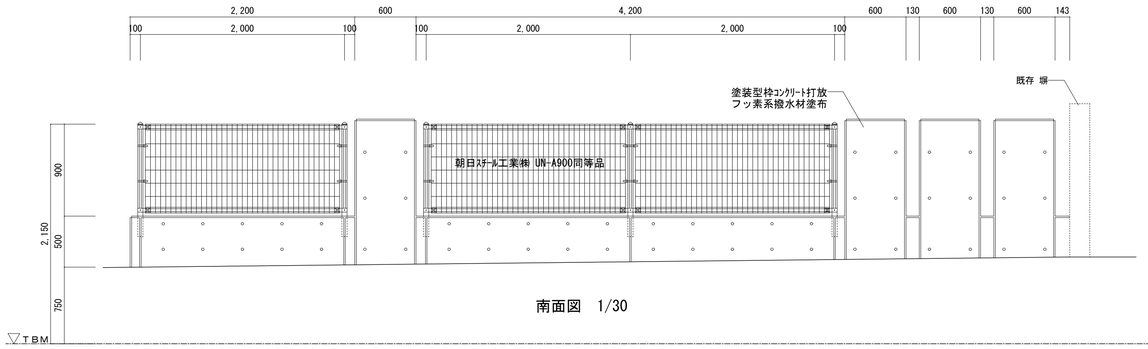

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 A-079 |
| | | | | | | 図面名 | 外構配置図 | 縮尺 | A1：1/300<br>A3：1/600 | |

## Ⓐ フェンス詳細図　S=1/30

※朝日スチール工業㈱ UN-A型同等品

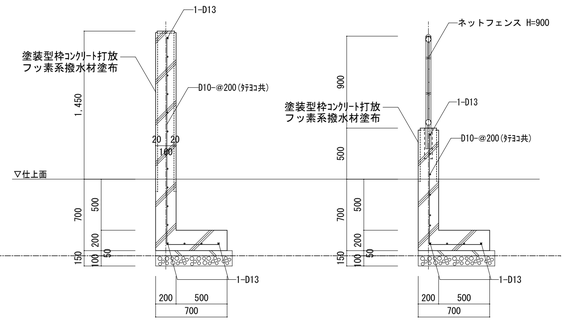



## Ⓑ ＲＣ＋フェンス詳細図(通用門)　S=1/30



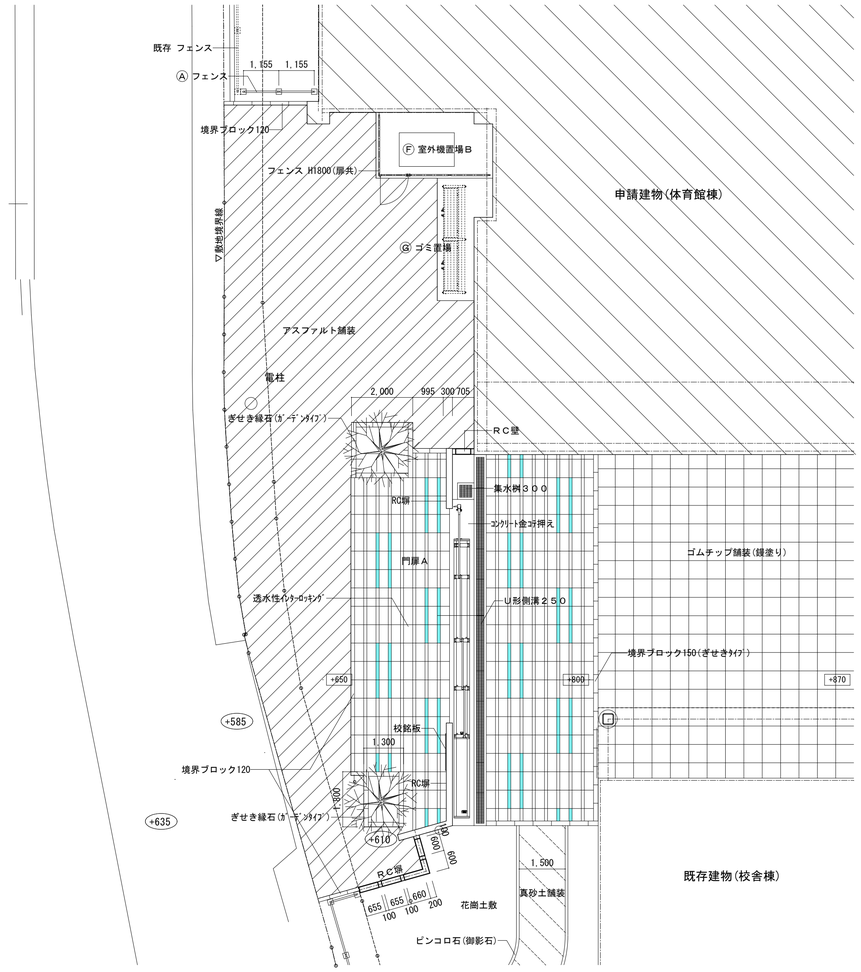

南面図　1/30

※朝日スチール工業㈱ ＡＲフェンスＡ型同等品

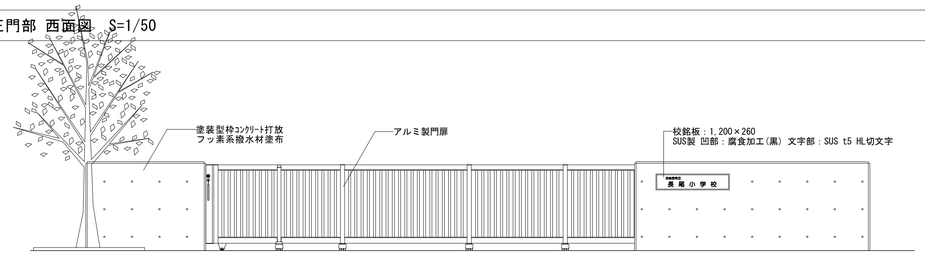



断面詳細図　1/30

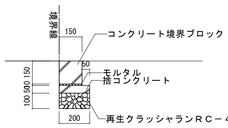
## 正門部 平面図　S=1/100



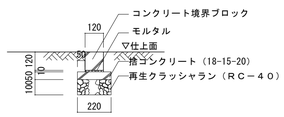

## 正門部 西面図　S=1/50



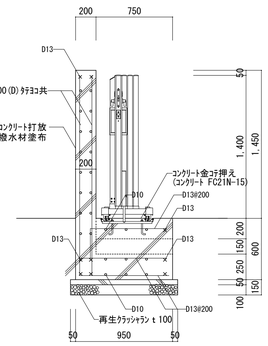

## 境界ブロック１５０(ぎせきタイプ)　S=1/20



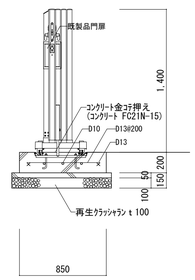

## 境界ブロック１２０　S=1/20



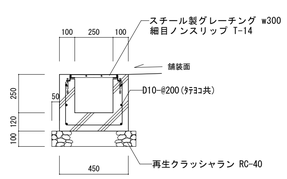

## 正門部 詳細図－１　S=1/30



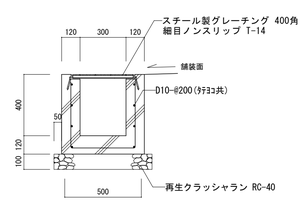

## 正門部 詳細図－２　S=1/30



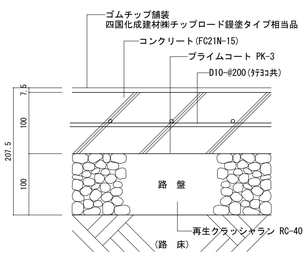

## Ｕ形側溝２５０(現場打ち)　S=1/20




## 集水桝３００ 詳細図　S=1/20



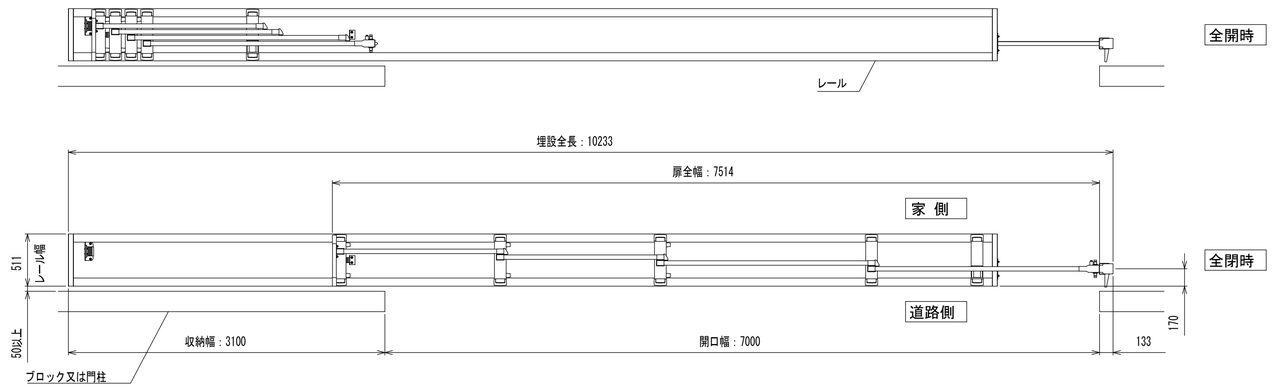

## ゴムチップ舗装 詳細図　S=1/5

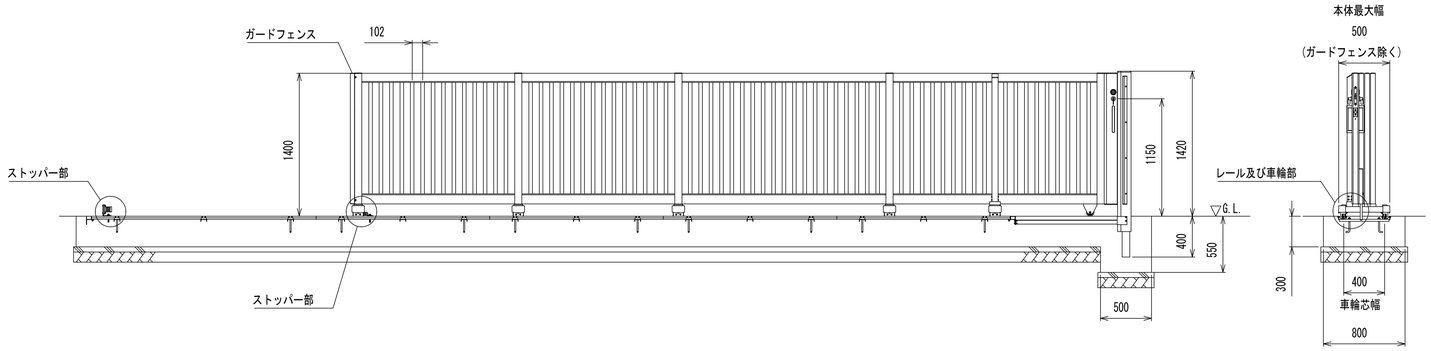


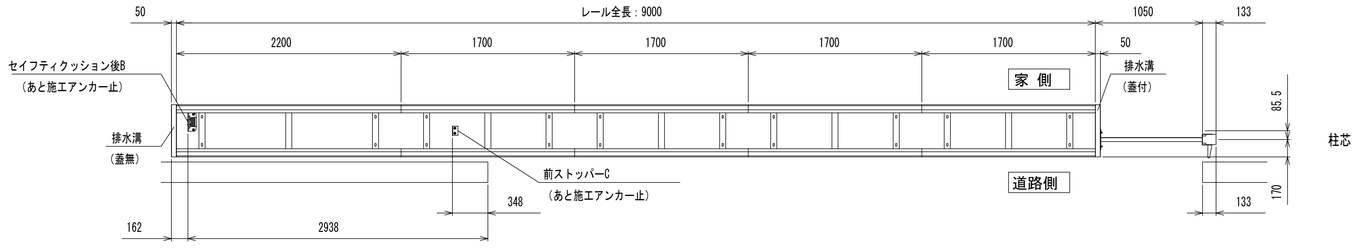

| 訂正 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 | A-080 |
| | | | | | | 図面名 | 外構詳細図－１ | 縮尺 | A1：1/5, 1/20, 1/30, 1/50<br>A3：　－ | | |

## 門扉Ａ 詳細図　S=1/4,1/30

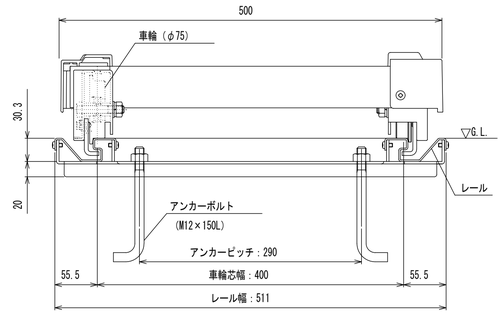
門扉：四国化成建材㈱スタックラインＮＲ１形同等品
W7,000×H1,400



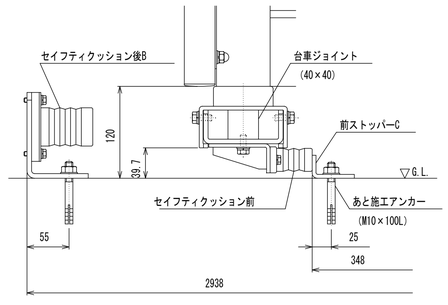



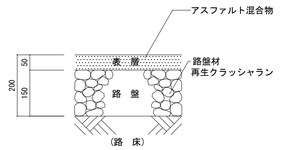

### レール及び車輪部詳細図（S=1/4）




### ストッパー部詳細図（S=1/4）

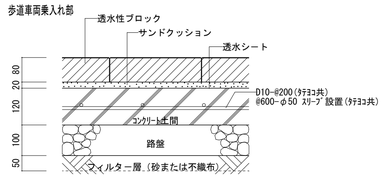



## アスファルト舗装 詳細図　S=1/10



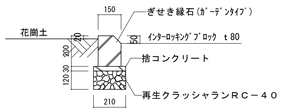

## インターロッキングブロック　S=1/10

日本興業㈱ SAZARE 細石 エコロアクア同等品

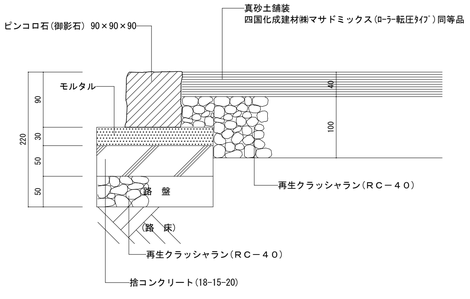



## ぎせき縁石（ガーデンタイプ）　S=1/20

日本興業㈱ EK-200同等品




## 真砂土舗装詳細図　S=10



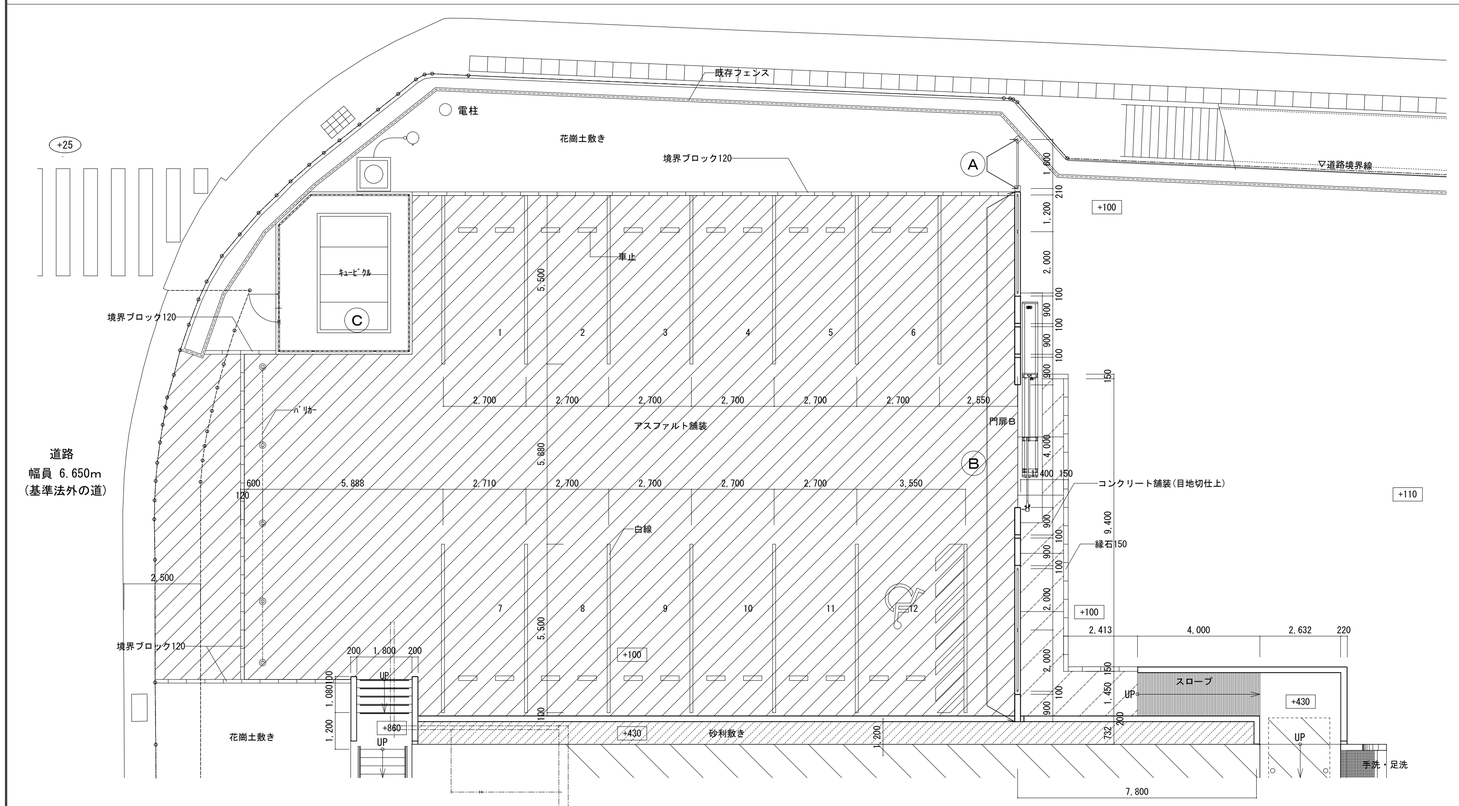

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号

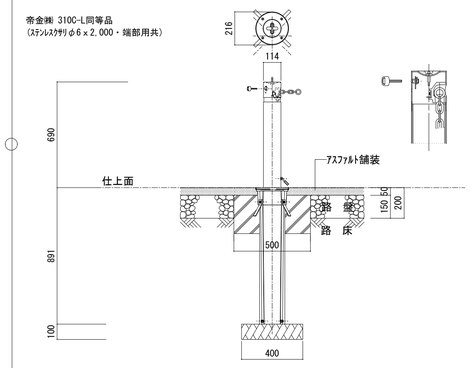
| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 外構詳細図－２ | 縮尺 | A1：1/4,1/5,1/10,1/30<br>A3：－ |
| | | 図面番号 | A-081 |

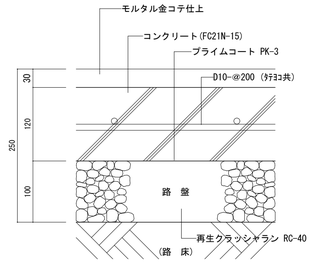
## 北門部 平面図　S=1/100



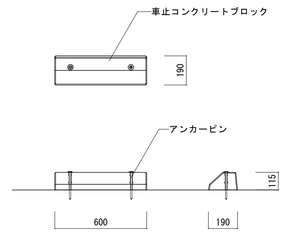

## 上下バリカー詳細図　S=1/20




## コンクリート舗装 詳細図　S=1/5



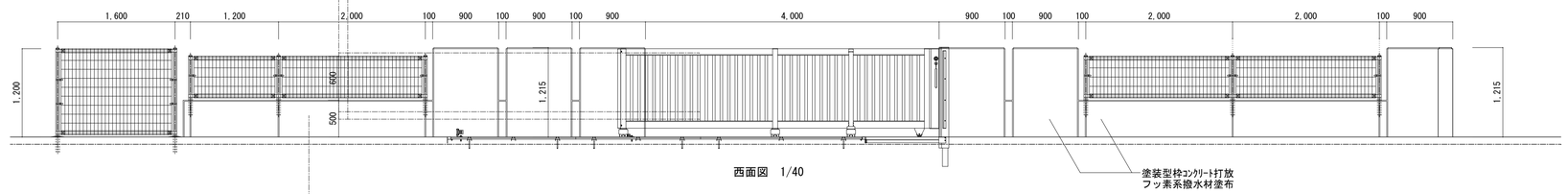

## 車止め 詳細図　S=1/20




## 門扉B　S=1/6,1/40

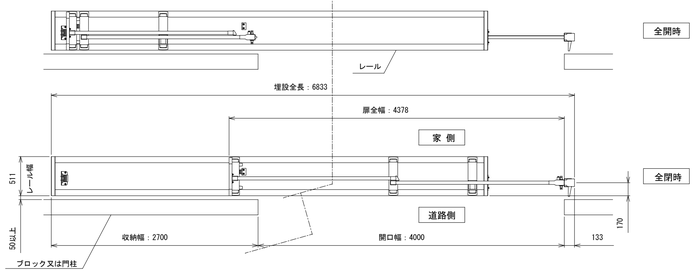
門扉：四国化成建材㈱スタックラインＮＲ１形同等品
W4,000×H1,200

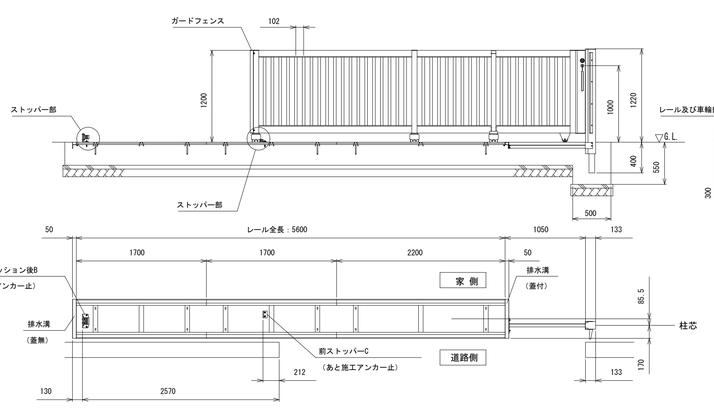
フェンス：朝日スチール工業㈱ ＵＮ－Ａ６００・１２００同等品

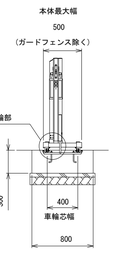



西面図　1/40

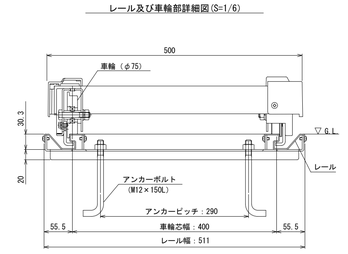
塗装型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放
フッ素系撥水材塗布



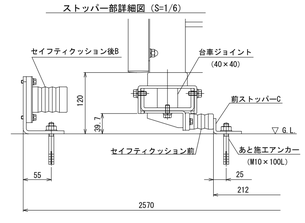




### レール及び車輪部詳細図(S=1/6)



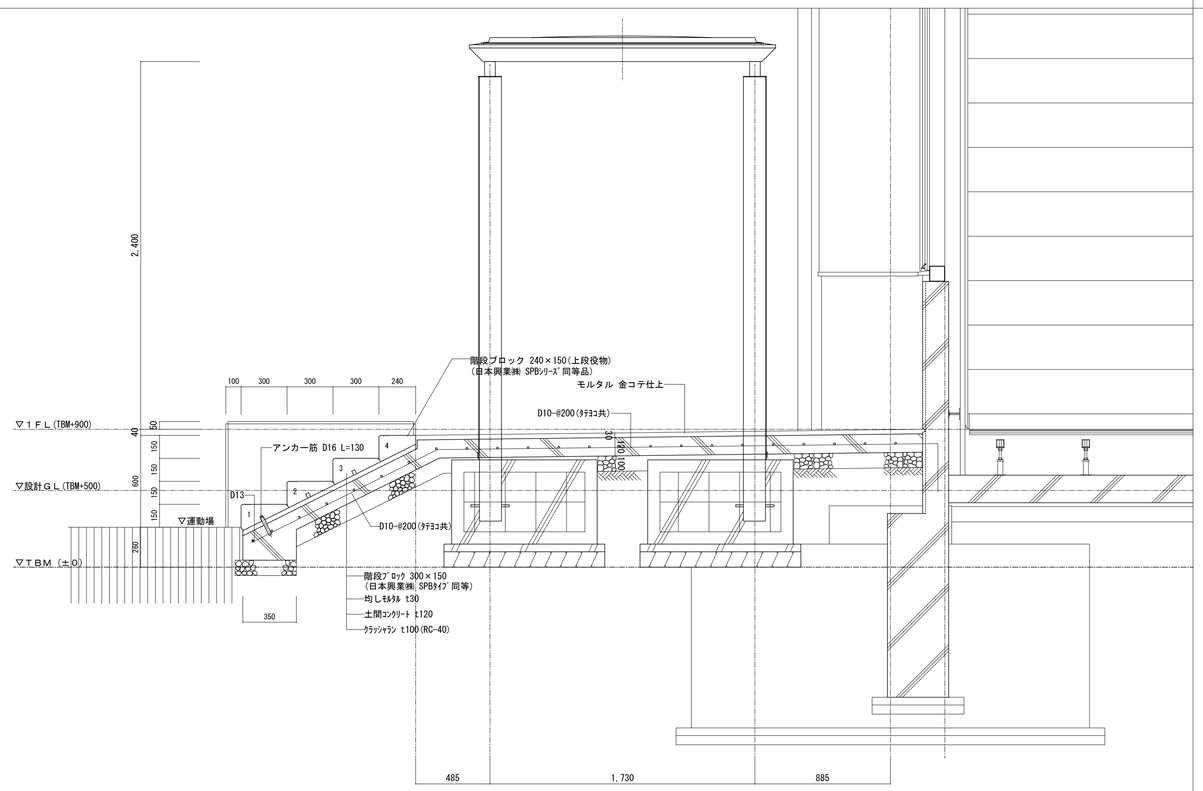

### ストッパー部詳細図(S=1/6)



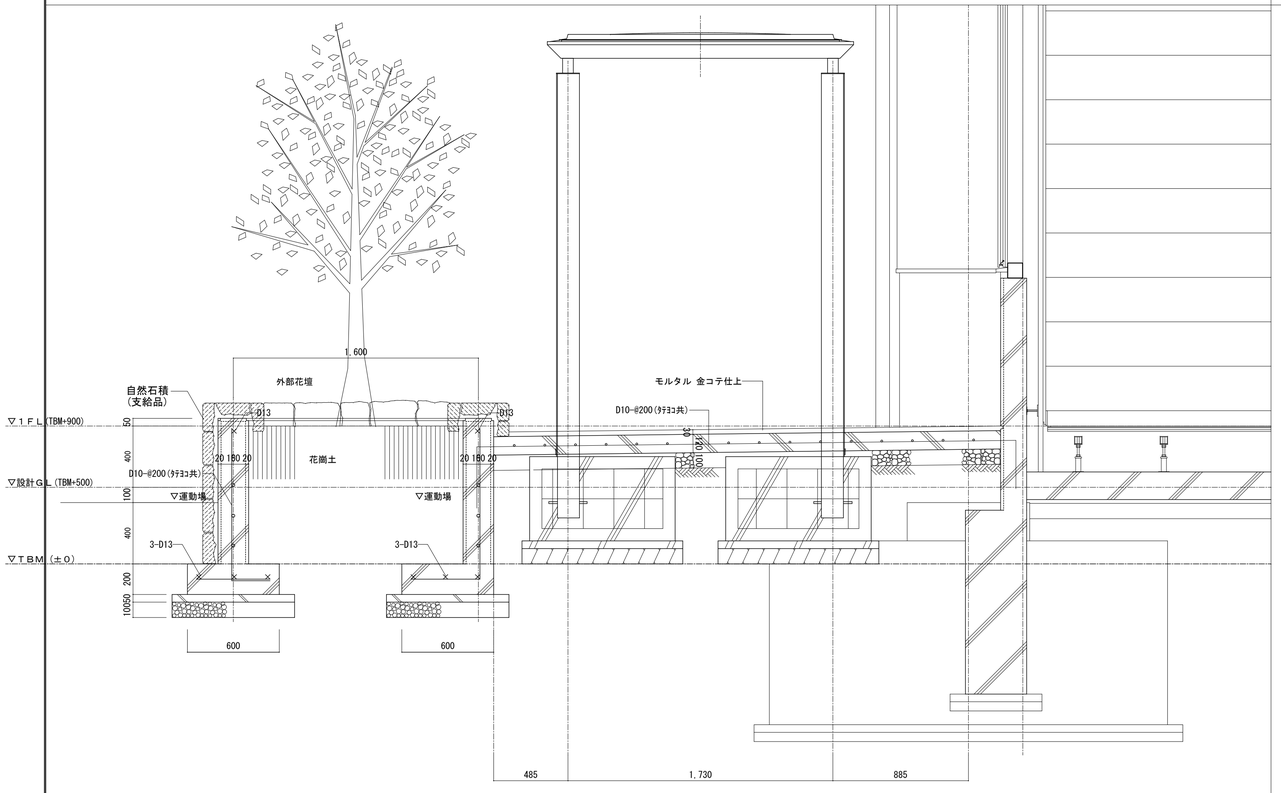

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 ３６１１７号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| | | | | | | 図面名 | 外構詳細図－３ |

| 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 |
|---|---|---|
| 縮尺 | 1/5,A1/6,1/20,1/30,1/40,1/100 A3:　— | A-082 |

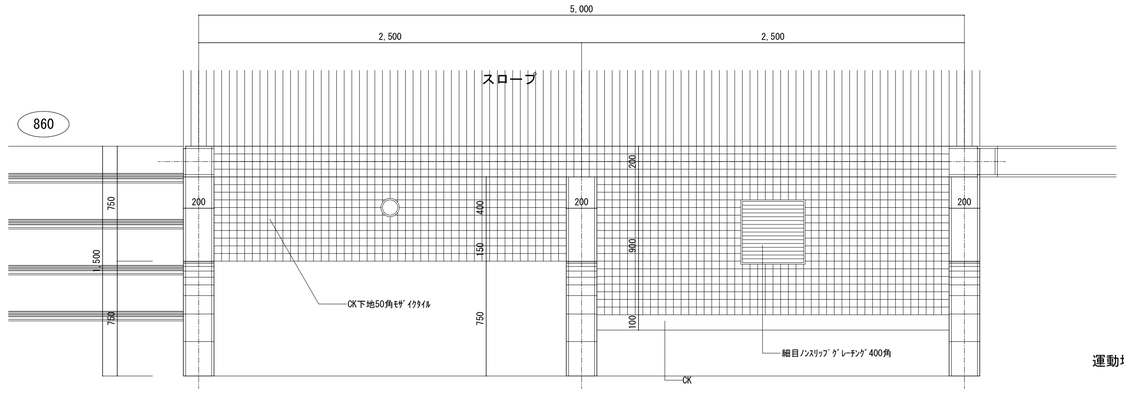
## 外部階段（１段～４段）詳細図　S=1/20



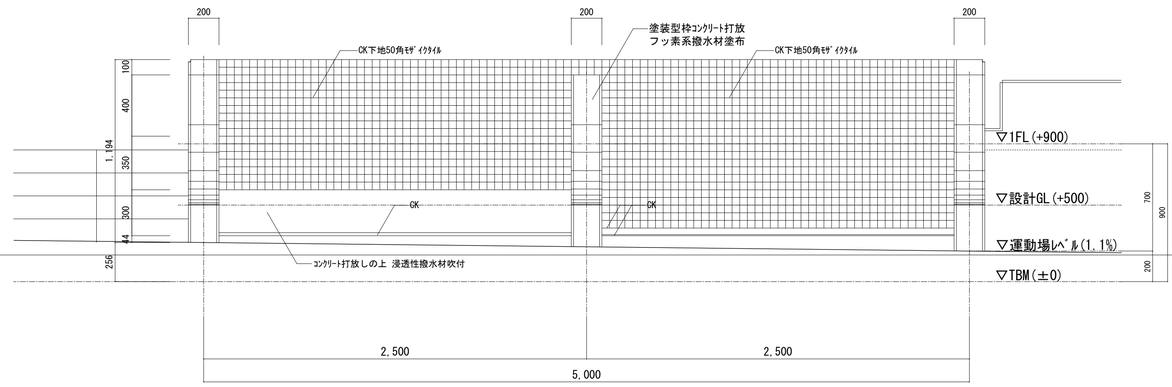

## 外部花壇 詳細図　S=1/20



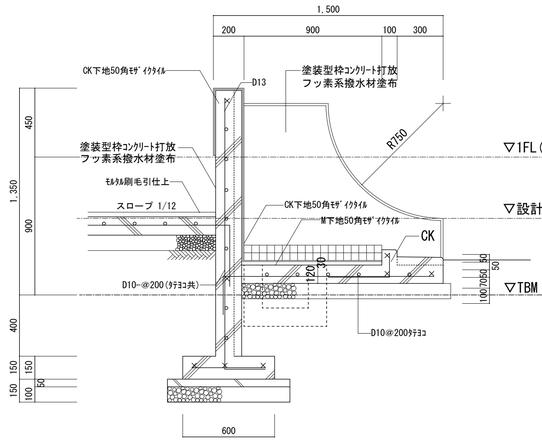

## 手洗・足洗 詳細図　S=1/20



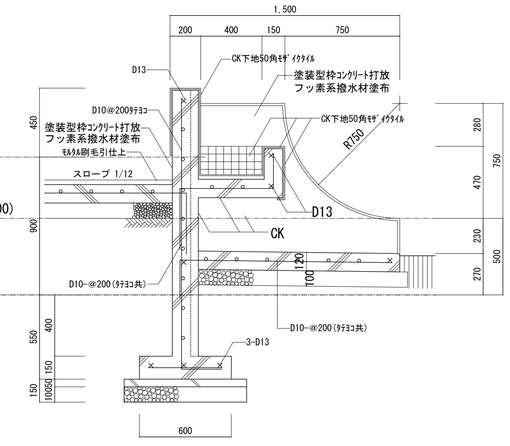

### 平面詳細図　1/20




### 北面図　1/20



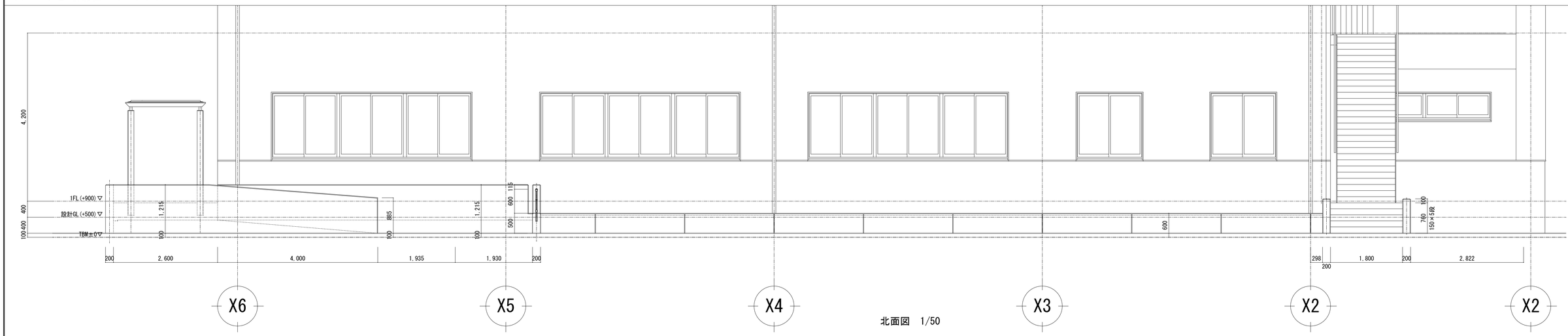

### 断面詳細図　1/20



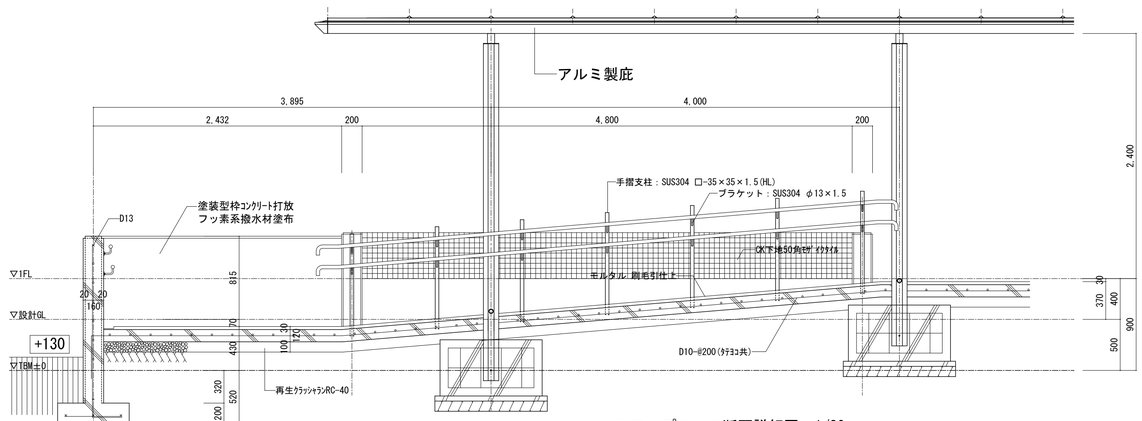

### 断面詳細図　1/20

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | 図面名 | 外構詳細図－４ | 縮尺 | A1: 1/20<br>A3: － |
| | | | | | | | | 図面番号 | A-083 |

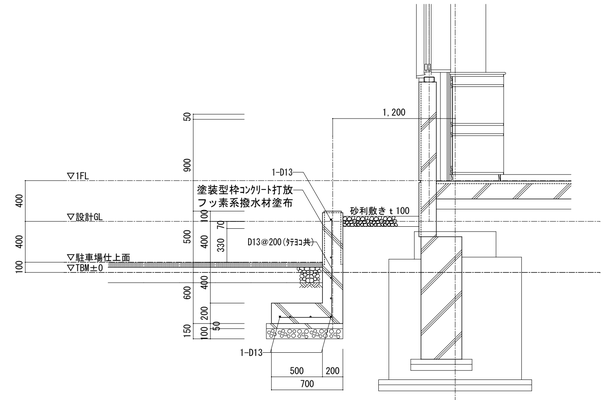
スロープ２ 詳細図－１　S=1/50




北面図　1/50



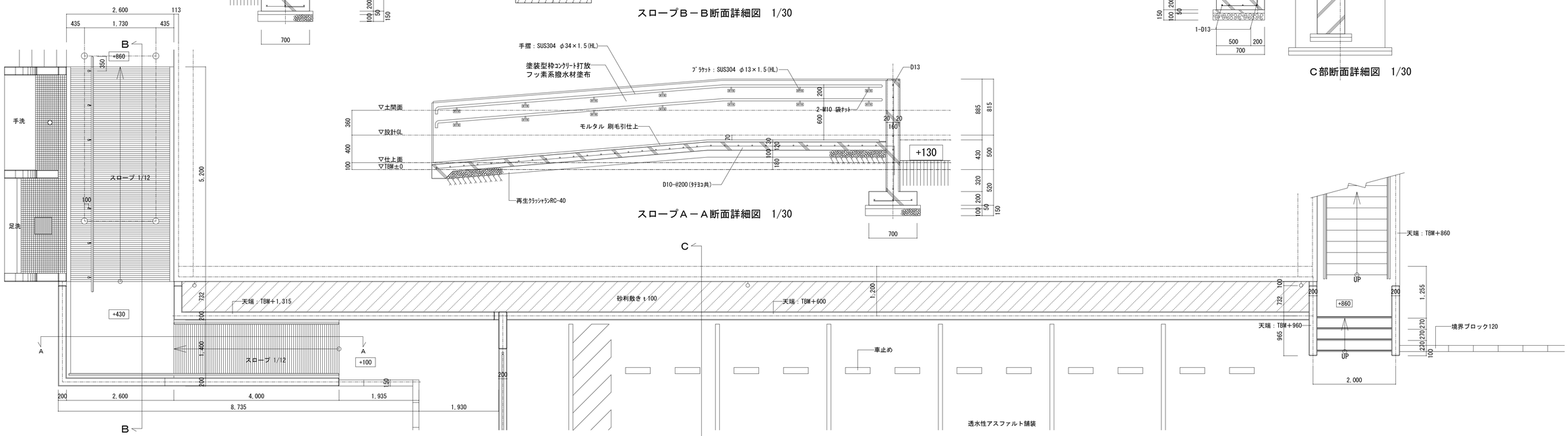

スロープＢ－Ｂ断面詳細図　1/30




Ｃ部断面詳細図　1/30




スロープＡ－Ａ断面詳細図　1/30



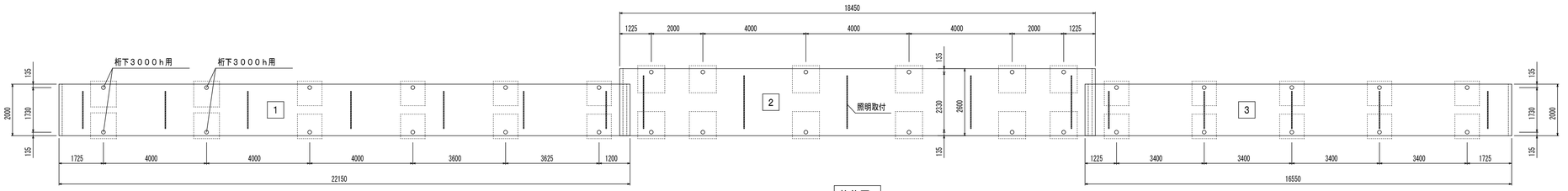

平面図詳細図　1/50

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 |
| | | | | | | 図面名 | 外構詳細図－５ | 縮尺 | A1：1/20,1/50<br>A3：－ |

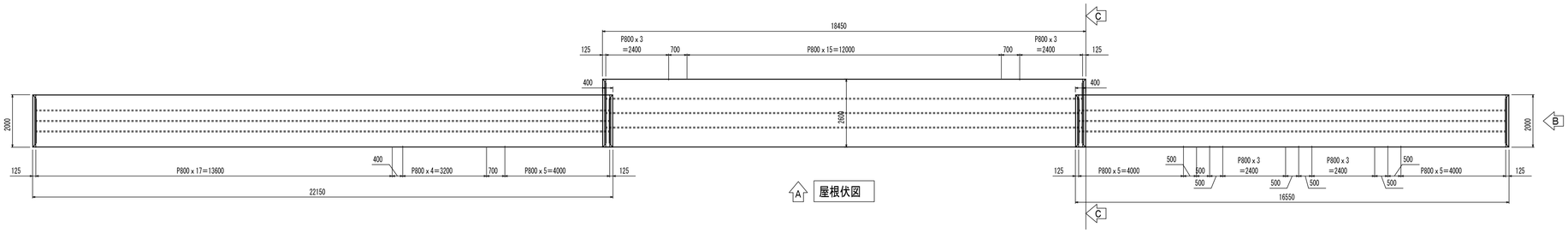
図面番号 A-084

# アルミ製庇 詳細図　S=1/100

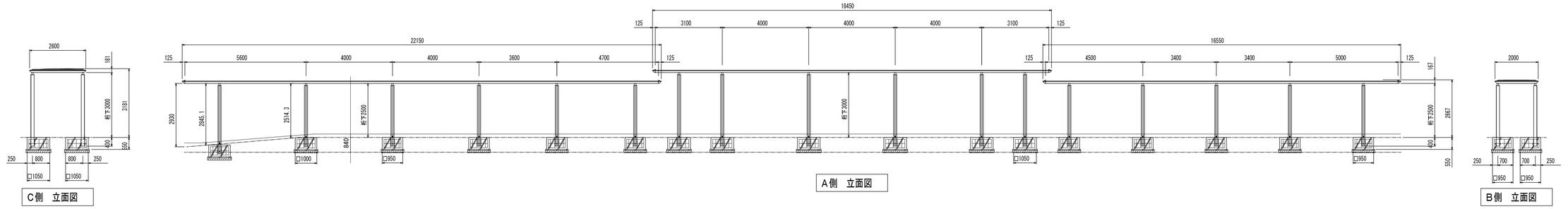
四国化成　ﾗｲｽﾞﾙｰﾌⅡ Hﾀｲﾌﾟ 同等
屋根材：ｱﾙﾐ樹脂複合板（不燃材） t2.0




柱伏図




屋根伏図

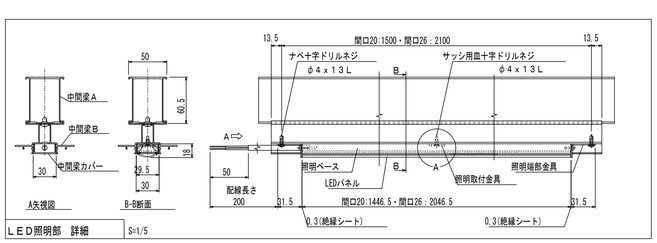



C側　立面図

A側　立面図

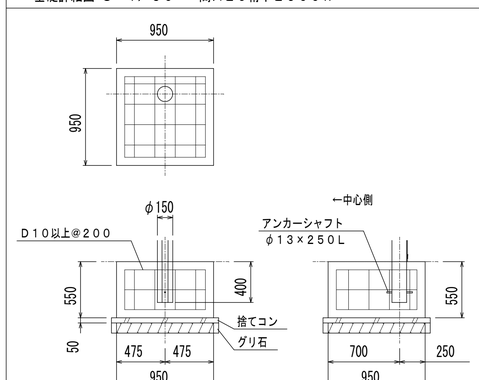
B側　立面図

※コンクリート　FC-21-15-20
捨コンクリート　FC-18-15-20(溶融ｽﾗｸﾞ入)

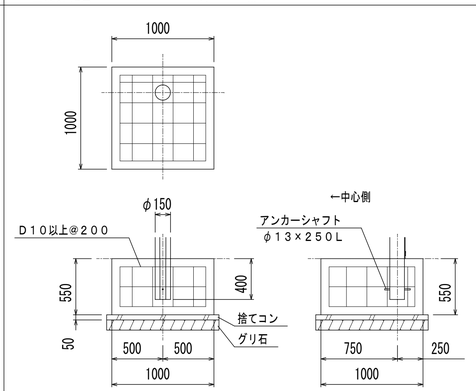



LED照明部　詳細　S=1/5

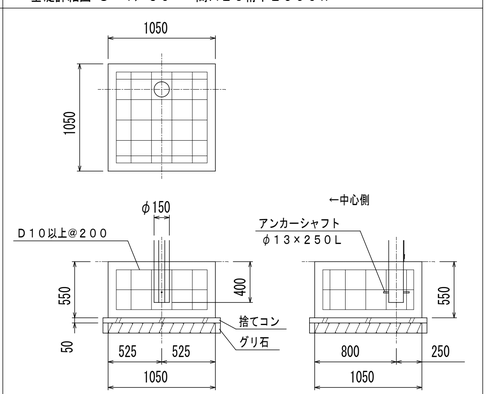
基礎詳細図 S＝1／30　間口２０桁下２５００ｈ




基礎詳細図 S＝1／30　間口２０桁下３０００ｈ



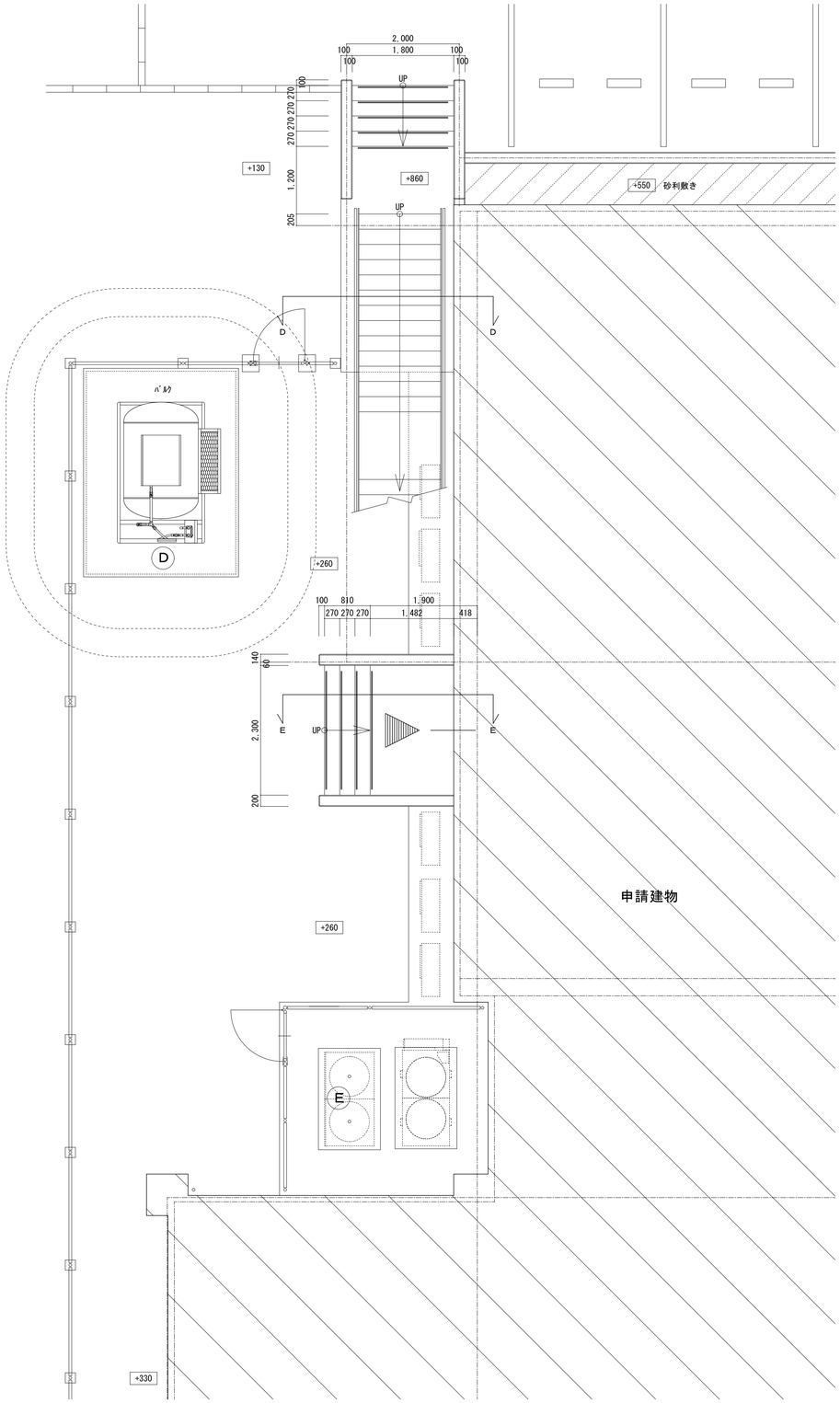

基礎詳細図 S＝1／30　間口２６桁下２５００ｈ



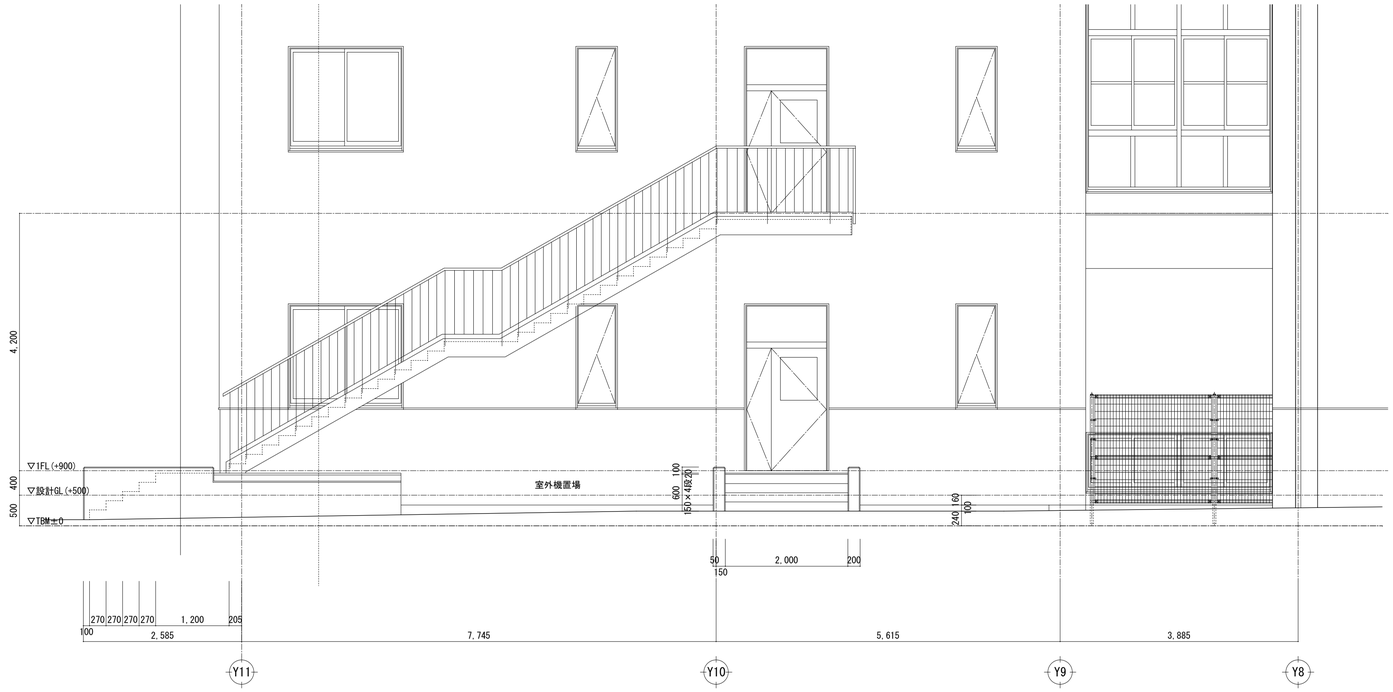

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| | | | | | | 図面名 | 外構詳細図－６ |

| | | |
|---|---|---|
| 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 |
| 縮尺 | A1：1/4, 1/30, 1/100<br>A3：　－ | A-085 |

## 放課後児童クラブ西面 平面詳細図　S=1/50

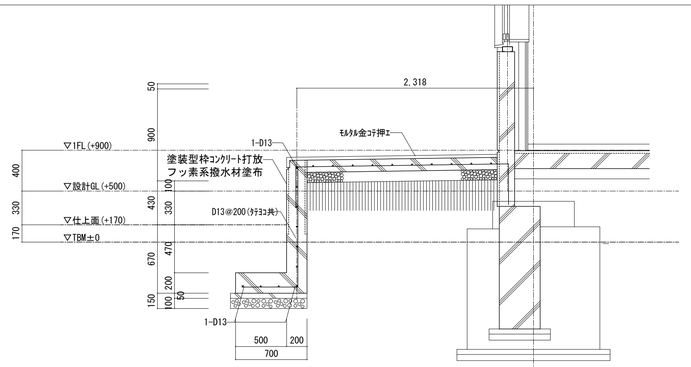



## 放課後児童クラブ西面 立面図　S=1/50




## 機械基礎 詳細図　S=1/30

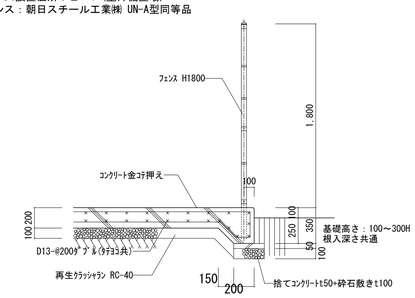
## D－D 犬走り詳細図　S=1/30



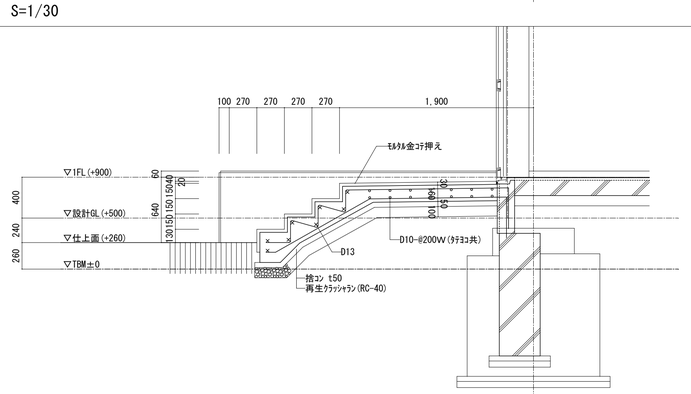

## C部断面詳細図　1/30

## Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ 基礎詳細図　S=1/30

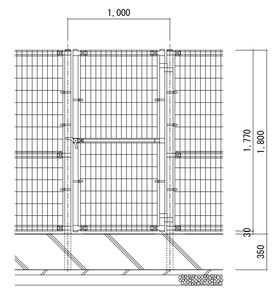
※フェンス設置個所：Ｅ・Ｆ(室外機置場)
※フェンス：朝日スチールエ業㈱ UN-A型同等品




## E－E 階段詳細図　S=1/30



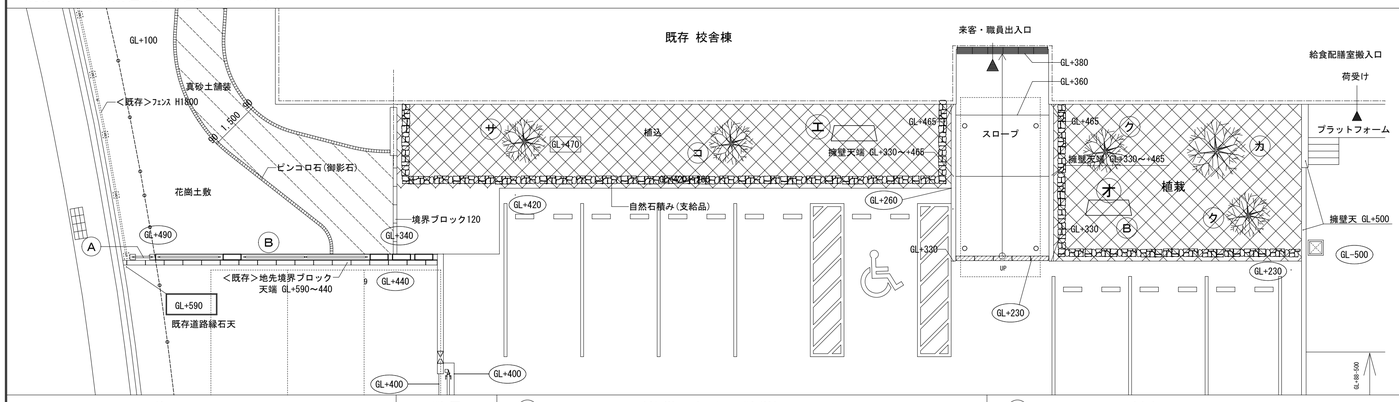

## フェンス扉 詳細図　S=1/30




記事

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | A-086 |
| | | | | 図面名 | 外構詳細図－７ | 縮尺 | A1：1/4, 1/30, 1/100<br>A3：　－ | | |

## 既存 校舎棟南面 詳細図　S=1/100




| モニュメント・植栽リスト | | 数量 |
|---|---|---|
| ア | モニュメント(礼儀・好意・勤労) | 1 |
| イ | モニュメント(心) | 1 |
| ウ | モニュメント(位置) | 1 |
| エ | モニュメント(銅像) | 1 |
| オ | モニュメント(100周年) | 1 |
| カ | ソメイヨシノ　H4.0×CO.21×W1.8 | ２本 |
| キ | カンヒザクラ　H3.0×CO.18×W1.5 | １本 |
| ク | シマトネリコ　H3.0×CO.15×W1.0 | １本 |
| ケ | タマリュウ　36ﾎﾟｯﾄ/㎡ | ２０㎡ |
| コ | ハナミズキ(白)　H3.0×CO.15×W1.0 | １本 |
| サ | ハナミズキ(赤)　H3.0×CO.15×W1.0 | １本 |

### ア モニュメント(礼儀・好意・勤労)

W1500×D400×H1400




### イ モニュメント(心)

W1400×D200×H1000



### ウ モニュメント(位置)

W1100×D450×H850




### エ モニュメント(銅像)

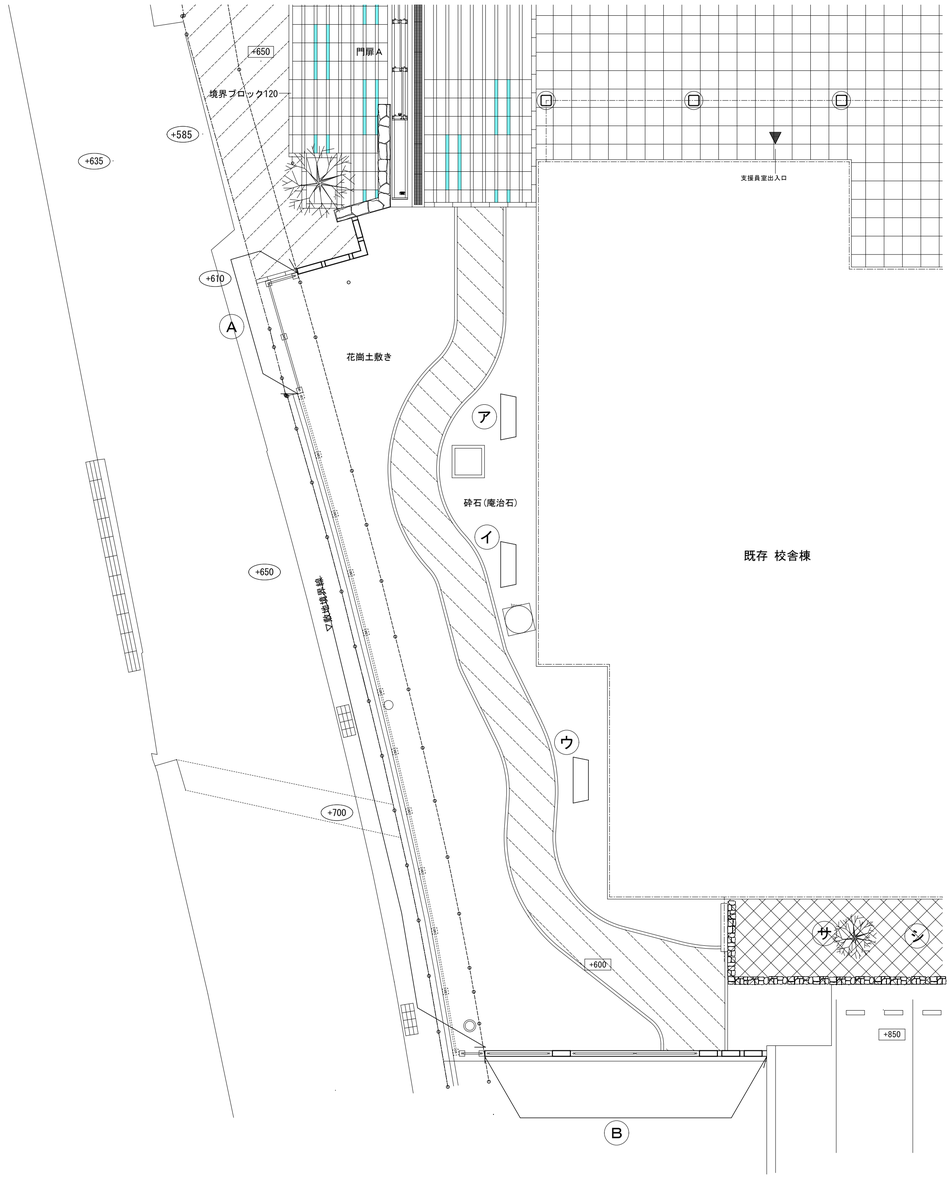
W1070×D500×H1400



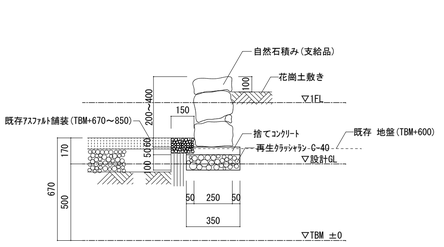
### オ モニュメント(100周年)

W1300×D100×H1000

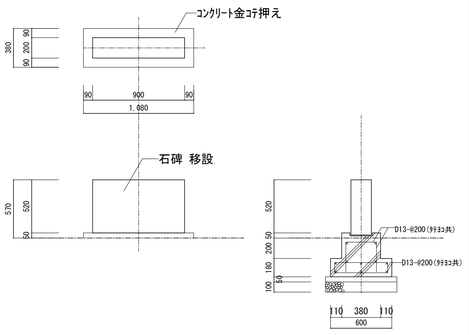


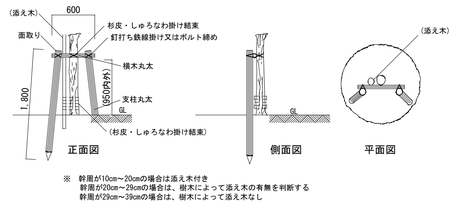

## 自然石積み 詳細図　S=1/20




## モニュメント基礎 詳細図　S=1/30




## 二脚鳥居型 詳細図　S=1/50




※　幹周が10cm～20cmの場合は添え木付き
　　幹周が20cm～29cmの場合は、樹木によって添え木の有無を判断する
　　幹周が29cm～39cmの場合は、樹木によって添え木なし

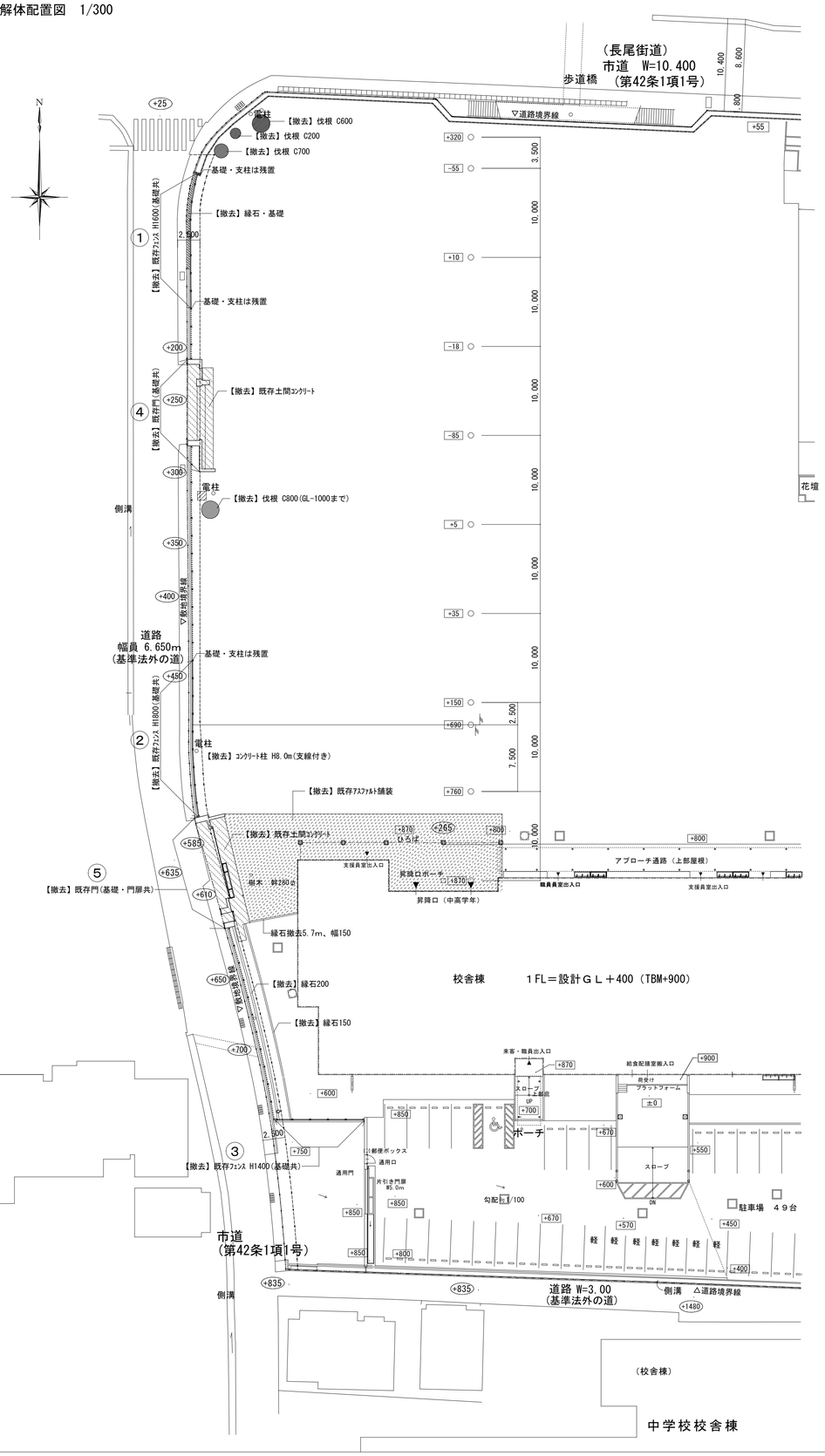
## 自然石(支給品)



記事

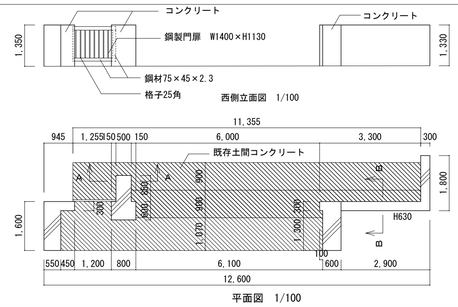
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士<br>一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森 真洋 | | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 A-087 |
| | | | | | 図面名 | 外構詳細図－８ | 縮尺 | A1：1/4, 1/30, 1/100<br>A3：－ | |

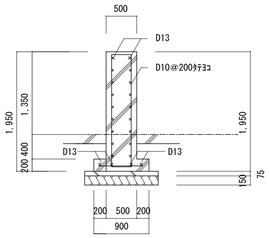
## 解体配置図　1/300



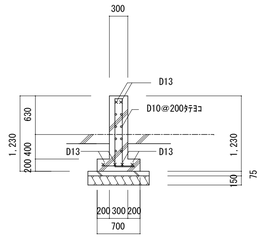

## 【撤去】西側北既存門（基礎共）





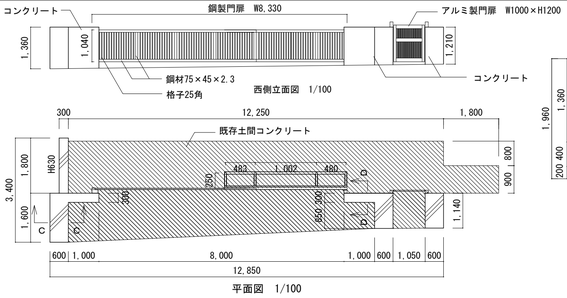

Ａ－Ａ断面図　1/50

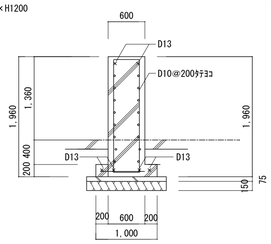



Ｂ－Ｂ断面図　1/50

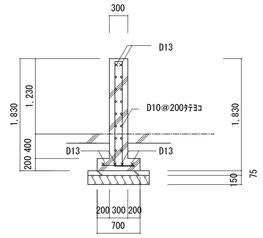
## 【撤去】西側南既存門（基礎共）





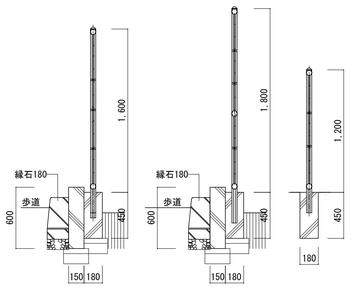




Ｃ－Ｃ断面図　1/50




Ｄ－Ｄ断面図　1/50

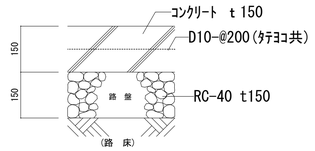
## ① ② ③ 【撤去】フェンス　1/30






【撤去】伐根 C200

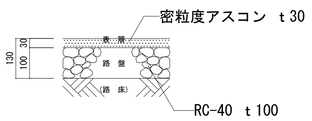
## 【撤去】土間コンクリート　1/10






【撤去】伐根 C700

## 【撤去】簡易アスファルト舗装　1/10






【撤去】伐根 C800

## 【撤去】縁石２００・１５０



【撤去】伐根 C600



【撤去】コンクリート柱 H8.0









| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 | A-088 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋 | | | 図面名 | 外構撤去図 | 縮尺 | A1:　－ A3:　－ | | |

# 建物概要等

## 1. 構造概要等

構造概要

| | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 構造種別 | 地上 | （１）階～（２）階（　S　）造 | 地下 | （　）階～（　）階（　　）造 | |
| | | （　）階～（　）階（　　）造 | | （　）階～（　）階（　　）造 | |
| 架構形式 | X方向 | （　　ラーメン　　）構造 | | | |
| | Y方向 | （　　ラーメン　　）構造 | | | |
| 耐震構造 | ⊙耐震構造　・制振構造 | | | | |
| 方式 | ・免震構造(免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震（　　）階 | | | | |
| 基礎方式 | ・直接基礎(・独立　・連続　・べた　・　　) | | | | 適用箇所は図示による（　　） |
| | ⊙杭基礎(・場所打ちコンクリート杭　⊙既製コンクリート杭 | | | | |
| | ・鋼管杭　・　　) | | | | |
| 耐震安全性の分類 | ・Ⅰ類(1.5)　⊙Ⅱ類(1.25)　・Ⅲ類(1.0) | | | | |

## 2. 構造設計条件等

計算方法

| | X方向 | Y方向 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート１】 | | | X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する |
| 許容応力度等計算　【ルート２】 | | | |
| 保有水平耐力計算　【ルート３】 | ○ | ○ | |
| 限界耐力計算 | | | |
| その他の計算法（　　） | | | |
| 特別な検証法(時刻歴応答解析による) | | | |
| 大臣認定(認定番号　　) | | | |
| 指定性能評価機関名（　　） | | | |
| 評価　・高層評価　・免震評価　・その他 | | | |
| (評価番号　　) | | | |

外力等

| | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 地震力 | 設計用一次固有周期 | （　0.30　）秒 | | |
| | 地震地域係数(Z) | Z=⊙1.0　・0.9　・0.8　・0.7 | | |
| | 地盤の種別 | 第（　2　）種地盤　Tc=（ 0.6 ）秒 | | |
| | 標準せん断力係数 | X方向 | Y方向 | |
| | 一次設計 | Cx=（　0.2　） | Cy=（　0.2　） | |
| | 二次設計 | Cx=（　1.0　） | Cy=（　1.0　） | |
| 風圧力(施行令第87条) | 地表面粗度区分 | 基準風速($V_0$) | 速度圧(q) | |
| | ・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ | （　34　）m/s | 1.2 kN/m² | |
| 風圧力(施行令第82条の4) | 地表面粗度区分 | 基準風速($V_0$) | 平均速度圧(G) | |
| | ・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ | （　34　）m/s | 0.9 kN/m² | |
| 積雪荷重 | 区域 | ・多雪区域　⊙多雪区域以外<br>(特定緩勾配屋根　・有　⊙無) | | |
| | 設計垂直積雪量 | （　34　）cm | | |
| | 単位荷重 | （　20　）N/m²cm | | |
| | 垂直積雪量の低減 | ・低減する　⊙低減しない | | |
| 積載荷重等 | 図示（　）による | | | |

# 構造関係共通事項

## 1. 総則

### 1.1 適用範囲

(1)構造関係共通図(配筋標準図)は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
(2)構造関係共通図(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。
(3)構造関係共通図(配筋標準図、鉄骨標準図)以外については、図面及び監督職員の指示による。
(4)建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。

### 1.2 優先順位

(1)設計図書間で配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下の通りとする。
1. 特記仕様書
2. 図面 ―― ①. 設計図及び構造関係共通図（構造関係共通事項）
　　　　 ―― ②. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）
3. 標準仕様書及び改修標準仕様書

### 1.3 用語の定義

(1)構造図とは、建築構造図のうち特記仕様書、構造関係共通図以外の図面をいう。
(2)異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
(3)長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

### 1.4 記号等

図面で使用する記号等は表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。

表1.1　異形鉄筋の断面表示記号

| 区分＼径 | D10 | D13 | D16 | D19 | D22 | D25 | D29 | D32 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建築 | ● | × | ∅ | ● | ○ | ⊙ | ⊗ | ◎ |

表1.2　各階伏図における記号

| 記号 | 説明 | 記号 | 説明 |
|---|---|---|---|
| S※ | スラブの配筋種別 | | 杭の位置 |
| | スラブ厚さ | | 試験杭の位置 |
| | 階段の配筋種別 | | 試験堀の位置 |
| D※ | 土間コンクリート | | 打増しの範囲 |
| | コンクリートブロック壁（CB壁） | | スラブ開口 |
| | 梁・スラブの上がり下がりの範囲 | | ボーリング位置 |
| WO○<br>KWO○<br>EWO○<br>EKWO○<br>ERWO○ | 一般壁<br>片持スラブ形階段を受けかつ一般壁<br>耐震壁<br>片持スラブ形階段を受けかつ耐震壁<br>土圧を受ける耐震壁 | （±　） | FLからの上がり下がり |

表1.3　梁貫通孔記号

| 区分＼径 | 50 | 75 | 100 | 125 | 150 | 175 | 200 | 225 | 250 | 275 | 300 | 325 | 350 | 375 | 400 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建　築 | ⊖ | ⊗ | ┼ | ⊘ | ⊕ | ✳ | ╪ | ⊘ | ⊕ | ✳ | ╫ | ⊘ | ⊕ | ✳ | ╫ |

表1.4　スリーブ材質の凡例

| 管　名 | 鋼　管 | 溶融亜鉛めっき鋼板 | 硬質塩化ビニル管（薄肉管） | つば付き鋼管（黒管） |
|---|---|---|---|---|
| 記号（建築用） | SP（白管） | GA | VU | RS |

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表1.5　高力ボルト径の記号

| 区分＼径 | M12 | M16 | M20 | M22 | M24 |
|---|---|---|---|---|---|
| 高力ボルト(F10T、S10T) | ○ | ⊕ | ⊕ | ⊘ | ✳ |
| 溶融亜鉛めっき高力ボルト(F8T相当) | ／ | ｜ | ┼ | ⊘ | ✳ |

表1.6　普通ボルト径の記号

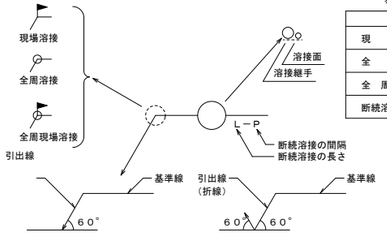
| 区分＼径 | M12 | M16 | M20 | M22 | M24 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通ボルト | ○ | ⊕ | ⊕ | ⊘ | ✳ |

表1.7　溶接継手及び溶接面の分類別記号

| 分　類 | | | 記　号 |
|---|---|---|---|
| 溶接継手 | 完全溶込み溶接 | 突合わせ継手 | B |
| | | T型継手 | T |
| | | かど継手 | C |
| | 隅肉溶接 | | F |
| | 部分溶込み溶接 | | P |
| | 重ねアーク溶接（フレア溶接） | | FL |
| 溶接面 | 片面溶接 | | 1 |
| | 両面溶接 | | 2 |

表1.8　溶接の補助記号

| 区　分 | 補助記号 |
|---|---|
| 現場溶接 | ⚑ |
| 全周溶接 | ○ |
| 全周現場溶接 | ⚑○ |
| 断続溶接の長さ及び間隔 | L－P |




※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1.1　溶接記号の記載例

## 2. 軽微な変更への対応(あらかじめの検討)

施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更等(位置の変更)
施工誤差を考慮して構造耐力上支障がない検討が行われている部分
・くいの芯ずれを考慮した検討
　許容誤差(　　)mm以内
・小ばりの位置の変更を見込んだ大ばり等の検討
・大きさの変更を見込んだスラブ等の検討（屋根床版含む）
・はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
・壁開口の位置の変更を見込んだ検討
・スラブの開口及び段差の変更を見込んだ検討
・間柱の位置の変更を見込んだ検討
・

## 3. コンクリートの単位水量測定

単位水量測定実施の有無は、特記仕様書(2) 6.コンクリート工事を参照
(1)単位水量の測定は、150m3に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。
その後、設計値±15kg/m3以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)測定した単位水量が設計値±20kg/m3を超える場合は、生コンを打込まずに帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示する。
その後、全運搬車の測定を行い、単位水量が設計値±20kg/m3以内であることを確認する。
更に設計値±15kg/m3以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。
また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

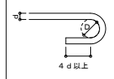
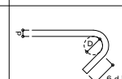
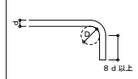
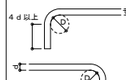
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S-01 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | | 図面名 | 構造関係共通図（構造関係共通事項） | 縮尺 | A1:　－<br>A3:　－ | | |

# 構造関係共通図(配筋標準図)

## 1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表1.1を標準とする。

表1.1　鉄筋の折曲げ内法直径

| 折曲げ角度 | 折曲げ図（余長） | 折曲げ内法直径(D) | | |
|---|---|---|---|---|
| | | SD295A SD295B,SD345 | | SD390 |
| | | D16以下 | D19～D38 | D19～D38 |
| 180° |   | 3d以上 | 4d以上 | 5d以上 |
| 135° |   | | | |
| 90° |   | | | |
| 135°及び90°（幅止め筋） |   | | | |

1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は４ｄ以上とする。
2．９０°未満の折曲げの内法直径は図示による。

## 2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（１）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

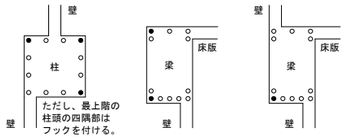



図2.1　末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（２）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
（３）杭基礎のベース筋
（４）帯筋、あばら筋及び幅止め筋

## 3.1 継手及び定着

（１）鉄筋の重ね継手
（ア）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
（イ）柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1　鉄筋の重ね継手の長さ

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²） | L₁（フックなし） | L₁h（フックあり） |
|---|---|---|---|
| SD295A SD295B | 18 | 45d | 35d |
| | 21 | 40d | 30d |
| | 24，27 | 35d | 25d |
| | 30，33，36 | 35d | 25d |
| SD345 | 18 | 50d | 35d |
| | 21 | 45d | 30d |
| | 24，27 | 40d | 30d |
| | 30，33，36 | 35d | 25d |
| SD390 | 21 | 50d | 35d |
| | 24，27 | 45d | 35d |
| | 30，33，36 | 40d | 30d |

（注）１．L₁，L₁h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
２．フックありの場合のL₁hは、図3.1に示すようにフック部分 Q を含まない。
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

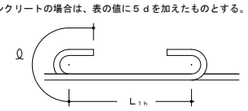
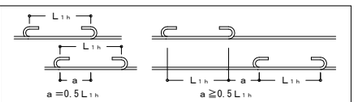
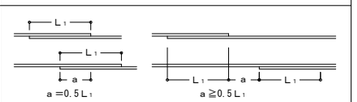
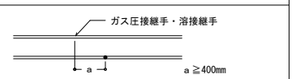
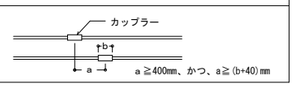



図3.1　フックありの場合の重ね継手の長さ

（ウ）耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ（軽量コンクリートの場合は５０ｄ）と表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

（エ）隣り合う継手の位置は、表3.2による。
ただし、スラブ筋でＤ１６以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2　隣り合う継手の位置

| | | | |
|---|---|---|---|
| 重ね継手 | フックありの場合 |   | |
| | フックなしの場合 |   | |
| ガス圧接継手 溶接継手 | — |   | |
| 機械式継手 | — |   | |

（２）鉄筋の定着
（ア）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3　鉄筋の定着の長さ

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²） | 直線定着の長さ L₁ | 直線定着の長さ L₂ | 直線定着の長さ L₃ 小梁 | 直線定着の長さ L₃ スラブ | フックあり定着長さ L₁h | フックあり定着長さ L₂h | フックあり定着長さ L₃h 小梁 | フックあり定着長さ L₃h スラブ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SD295A SD295B | 18 | 45d | 40d | 20d（片持小梁の場合25d） | 10dかつ150mm以上（片持スラブの場合25d） | 35d | 30d | 10d | — |
| | 21 | 40d | 35d | | | 30d | 25d | | |
| | 24，27 | 35d | 30d | | | 25d | 20d | | |
| | 30，33，36 | 35d | 30d | | | 25d | 20d | | |
| SD345 | 18 | 50d | 40d | | | 35d | 30d | | |
| | 21 | 45d | 35d | | | 30d | 25d | | |
| | 24，27 | 40d | 35d | | | 30d | 25d | | |
| | 30，33，36 | 35d | 30d | | | 25d | 20d | | |
| SD390 | 21 | 50d | 40d | | | 35d | 30d | | |
| | 24，27 | 45d | 40d | | | 35d | 30d | | |
| | 30，33，36 | 40d | 35d | | | 30d | 25d | | |

（注）１．Ｌ１，Ｌ１ｈ：２．～４．まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
２．Ｌ２，Ｌ２ｈ：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
３．Ｌ３：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ（基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。）。なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
４．Ｌ３ｈ：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
５．フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
６．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

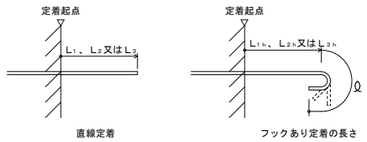



図3.2　直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（イ）梁主筋の柱内折曲げ定着又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(a)、(b)及び(c)をすべて満足するものとする。
（a）全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
（b）余長は８ｄ以上
（c）仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLₐ及びLb は表3.4に示す長さとする。
ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

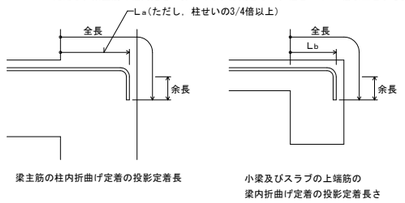



図3.3　折曲げ定着の方法

表3.4　鉄筋の投影定着の長さ

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²） | La | Lb |
|---|---|---|---|
| SD295A SD295B | 18 | 20d | 15d |
| | 21 | 15d | 15d |
| | 24，27 | 15d | 15d |
| | 30，33，36 | 15d | 15d |
| SD345 | 18 | 20d | 20d |
| | 21 | 20d | 20d |
| | 24，27 | 20d | 15d |
| | 30，33，36 | 15d | 15d |
| SD390 | 21 | 20d | 20d |
| | 24，27 | 20d | 20d |
| | 30，33，36 | 20d | 15d |

（注）１．Ｌａ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。
（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
２．Ｌｂ：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。
（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

（ウ）溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、L₁は表3.1に、L₂及びL₃は表3.3による。

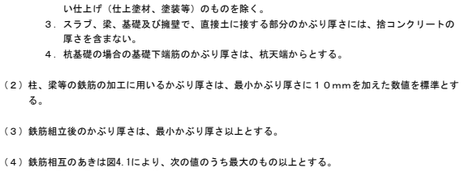



図3.4　溶接金網の継手及び定着

（エ）スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による




図3.5　スパイラル筋の継手及び定着

## 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

（１）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位：mm)

| 構造部分の種別 | | | 最小かぶり厚さ |
|---|---|---|---|
| 土に接しない部分 | スラブ，耐力壁以外の壁 | 仕上げあり | 20 |
| | | 仕上げなし | 30 |
| | 柱，梁，耐力壁 屋内 | 仕上げあり | 30 |
| | | 仕上げなし | 30 |
| | 柱，梁，耐力壁 屋外 | 仕上げあり | 30 |
| | | 仕上げなし | 40 |
| | 擁壁，耐圧スラブ | | 40 |
| 土に接する部分 | 柱，梁，スラブ，壁 | | 40 |
| | 基礎，擁壁，耐圧スラブ | | 60 |
| 煙突等高熱を受ける部分 | | | 60 |

（注）１．この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所には適用しない。
２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
３．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
４．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

（２）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに１０mmを加えた数値を標準とする。

（３）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（４）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
（ア）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（イ）２５mm
（ウ）隣り合う鉄筋の径（呼び名の数値）の平均の1.5倍

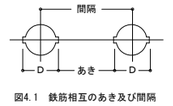



図4.1　鉄筋相互のあき及び間隔

（５）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

（６）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

## 5.1 基礎梁

（１）一般事項
（ア）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
（イ）梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(2)(エ)による。

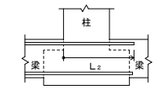
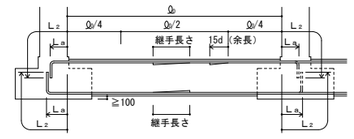
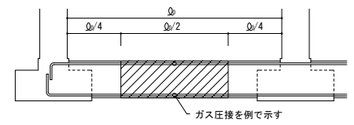



図5.1　梁筋の基礎梁内への定着

（２）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



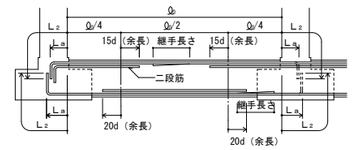

（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＿＿＿ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



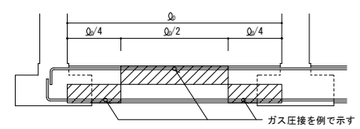

：継手の好ましい位置

図5.2　主筋の継手、定着及び余長（その１）

（３）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、（4）による。



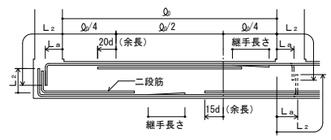

（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＿＿＿ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



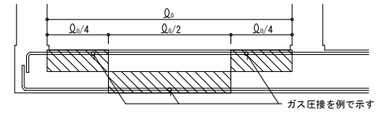

：継手の好ましい位置

図5.3　主筋の継手、定着及び余長（その２）

（４）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。




（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＿＿＿ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）




：継手の好ましい位置

図5.4　主筋の継手、定着及び余長（その３）

## 5.2 基礎梁のあばら筋等

（１）一般事項
（ア）あばら筋の径および間隔は、構造図による。
（イ）あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
また、副あばら筋組立の形状及びフックの位置は7.2.(3)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

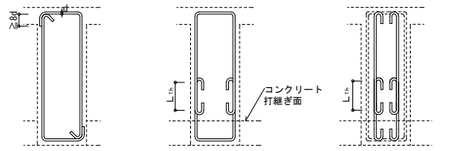


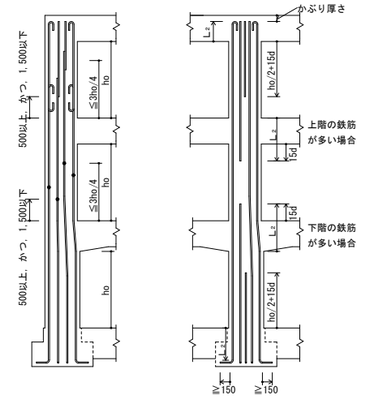

図5.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

（２）腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

（３）あばら筋の割付けは、7.2(4)による。

## 6.1 柱

（１）一般事項
（ア）継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。
（イ）継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さＬｚが確保できない場合は、構造図による。




（注）１．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
２．隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
３．継手及び定着は、すべての階に適用できる。
４．柱頭はすべてフック付とする。

図6.1　柱主筋の継手、定着及び余長

| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S-02 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | 構造関係共通図（配筋標準図その１） | 縮尺 | A1：— A3：— | | |

（２）柱打増し部
（ア）打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。
（イ）土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

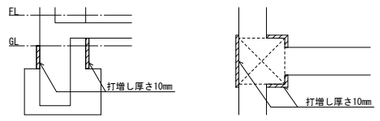



図6.2　柱打増し部

## 6.2　帯筋

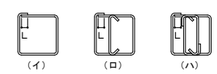
（１）帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

（２）帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
（ア）Ｈ形の135°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ－Ｉ形とする。
（イ）溶接する場合の溶接長さＬは、両面フレア溶接の場合は５ｄ以上、片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とする。
（ウ）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

①Ｈ形




②Ｗ－Ｉ形




注）溶接は、鉄筋の組立前に行う。

③ＳＰ形（スパイラル筋）　④丸形

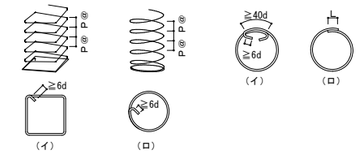
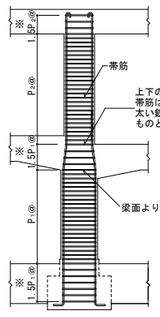



図6.3　帯筋組立の形

（３）フック及び継手の位置は交互とする。

（４）帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。




（注）１．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5$P_1$@または1.5$P_2$@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
２．図中の$P_1$@　、$P_2$@は、図示された帯筋の間隔を示す。

図6.4　帯筋の割付け

## 7.1　大梁

（１）一般事項
（ア）梁の上がり下がりは FLを基準とした寸法値とする。
（イ）地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は構造図による。
（ウ）打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

（２）大梁主筋の継手及び定着の一般事項
（ア）継手中心位置は、次による。
上端筋：中央　$L_0$/2以内
下端筋：柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、　$L_0$/4を加えた範囲以内
（イ）継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
（ウ）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隔部では、折り曲げて定着する。

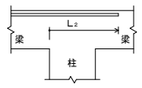



図7.1　梁主筋の梁内定着

（エ）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3.1(2)(イ)による。
上端筋：曲げ降ろす
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
（オ）梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。
（カ）段違い梁は、図7.2による。

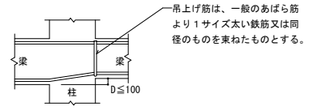
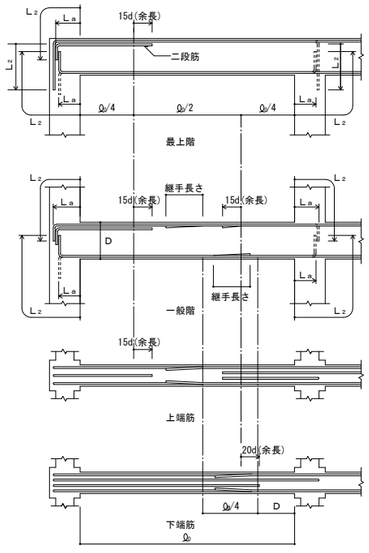



図7.2　段違い梁

（３）ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。


L2
La
15d(余長)
二段筋
L1
D
L2
La
L2
L2
La
L2
L2
La
L2

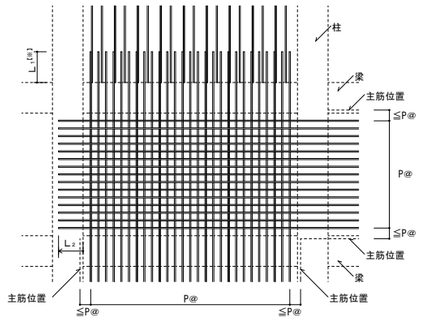
## 8.1 壁

（1）一般事項

（ア）壁筋の重ね継手の長さはL₁、定着の長さはL₂とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
ただし、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ以上（軽量コンクリートの場合は５０ｄ以上）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

（イ）幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。

（ウ）梁の打増し部等に、壁が取り付く場合の壁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。




（注）図中のP@は、構造図の壁筋の間隔を示す。

図8.1 壁の配筋

（2）壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1 壁の配筋

| 種別 | 縦筋及び横筋 | 断面図 (mm) |
|---|---|---|
| W12 | D10-200@シングル | 120 |
| W15A | D10-150@シングル | 150 |
| W15B | D10-100@シングル | |
| W18A | D10-200@ダブル | 180 |
| W18B | D10-150@ダブル | |
| W20A | D10-200@ダブル | 200 |
| W20B | D10-150@ダブル | |

（注） 壁筋の配筋順序は、規定しない。

（3）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

| 種別 | 縦筋及び横筋 | | 断面図 (mm) | 階段の配筋種別(表10.1) |
|---|---|---|---|---|
| KW1 | 縦筋 | D13-200@ダブル | 180 | KA1 KA3 |
| | 横筋 | D10-200@ダブル | | |
| KW2 | 縦筋 | D13-150@ダブル | 200 | KA2 KA4 |
| | 横筋 | D10-200@ダブル | | |

（注） 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

（4）土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

（5）壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

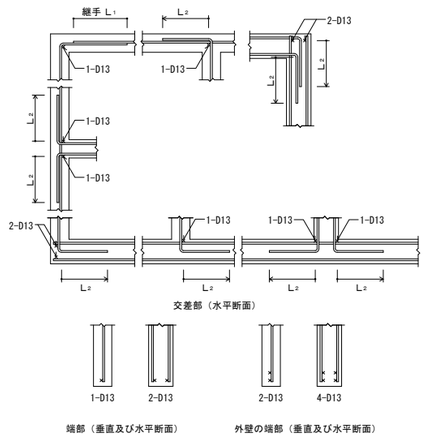



図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

## 8.2 壁の補強

（1）壁開口部の補強

（ア）耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、Ａ形は表8.3、Ｂ形は表8.4とし、適用は構造図による。
なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋（Ａ形）

| 壁の種別 | 補強筋 | |
|---|---|---|
| | 縦横 | 斜め |
| W12、W15 | 1-D13 | 1-D13 |
| W18、W20 | 2-D13 | 2-D13 |

表8.4 壁開口部補強筋（Ｂ形）

| 壁の種別 | 補強筋 | |
|---|---|---|
| | 縦横 | 斜め |
| W12、W15 | 2-D13 | 1-D13 |
| W18、W20 | 4-D13 | 2-D13 |

（イ）壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

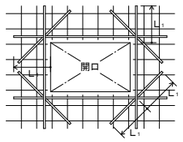



図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

（2）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

## 9.1 スラブ

（1）スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
（2）土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート厚は構造図による。
（3）土間コンクリート補強筋(DC)の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
（4）スラブの配筋（Ｓ形配筋）は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。
（5）梁の打増し部分等に、スラブが取り付く場合のスラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

表9.1 Ｓ形配筋

| 配筋種別 | 短辺方向（主筋）全域 | 長辺方向（配力筋）全域 |
|---|---|---|
| Ｓ1 | D13-100@ | D13-100@ |
| Ｓ2 | 同 上 | D13-150@ |
| Ｓ3 | 同 上 | D10,D13-150@ |
| Ｓ4 | D13-150@ | D13-150@ |
| Ｓ5 | 同 上 | D10,D13-150@ |
| Ｓ6 | 同 上 | D10-150@ |
| Ｓ7 | D10,D13-150@ | D10,D13-150@ |
| Ｓ8 | D10,D13-150@ | D10-150@ |
| Ｓ9 | 同 上 | D10-200@ |
| S10 | D10,D13-200@ | D10,D13-200@ |
| S11 | 同 上 | D10-200@ |
| S12 | 同 上 | D10-250@ |
| S13 | D10-200@ | D10-200@ |
| S14 | 同 上 | D10-250@ |

（注）上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

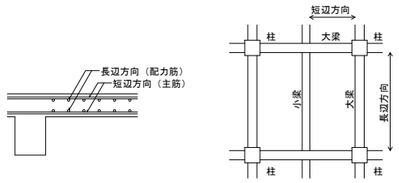



図9.1 スラブの配筋

（6）配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
（7）原則として引き通し、鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。
（8）定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

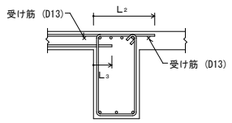
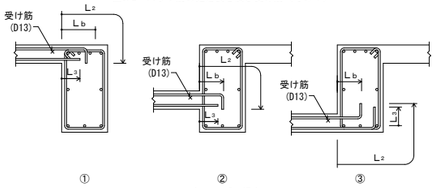
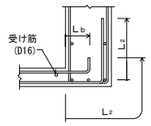



図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）




一般スラブの場合




耐圧スラブの場合

図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

## 9.2 片持スラブ

片持ちスラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。
ただし、構造図になければ、片持ちスラブは現場打ちコンクリート部材とする。
片持スラブの配筋は、次による。

（1）片持スラブの配筋（ＣＳ形配筋）は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2 ＣＳ形配筋

| 配筋種別 | | 主筋 |
|---|---|---|
| CS1 | 上 | D13-100@ |
| | 下 | D13-200@ |
| CS2 | 上 | D13-150@ |
| | 下 | D13-300@ |
| CS3 | 上 | D10,D13-150@ |
| | 下 | D10,D13-300@ |
| CS4 | 上 | D10,D13-200@ |
| | 下 | D10-200@ |

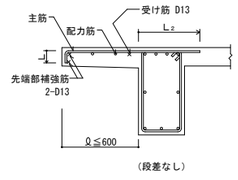
| 配筋種別 | | 主筋 |
|---|---|---|
| CS5 | 上 | D10-200@ |
| | 下 | D10-400@ |
| CS6 | 上 | D10,D13-200@ |
| | 下 | —— |
| CS7 | 上 | D10-200@ |
| | 下 | —— |

（注） 配力筋は全てD10-200@とする。




（注） 1．先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

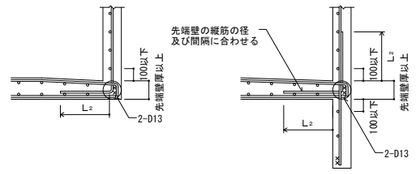
図9.4 片持スラブの配筋（ＣＳ１からＣＳ５）




（注） 1．先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブの配筋（ＣＳ６及びＣＳ７）

（2）先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。




垂れ壁のない場合　　垂れ壁のある場合

図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

（3）出隅部

（ア） 出隅部の補強筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。

（イ）出隅受け部分（図9.7の斜線部分）の補強筋は構造図による。

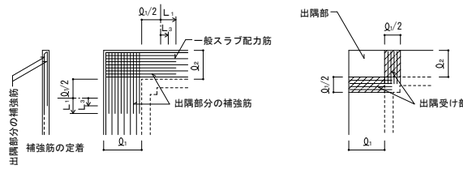



図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

## 9.3 スラブ等の補強

（1）スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は、構造図による。構造図になければ、(ア)（イ）による。

（ア）スラブ開口の最大径が700㎜以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（ Q≦２L₁）シングルを上下筋の内側に配筋する。

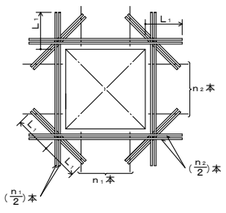



図9.8 スラブ開口部の補強配筋

（イ）スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（2）屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋をを上端筋の下側に配置する。

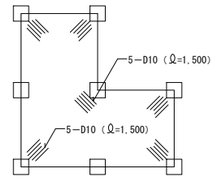
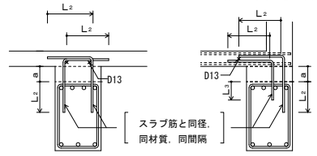



図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

（3）土間スラブの打継ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでＳ形の配筋によるものをいう。

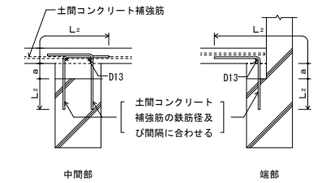



（注） a≦300の場合

図9.10 打継ぎ補強配筋

（4）土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。



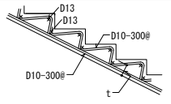
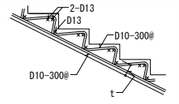
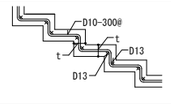
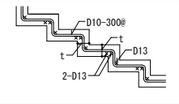

（注） a≦300の場合

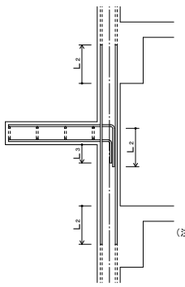
図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

## 10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1 片持スラブ形階段の配筋

| 配筋種別 | KA1 | KA2 |
|---|---|---|
| 配筋図 |   |   |
| 配筋種別 | KA3 | KA4 |
| 配筋図 |   |   |




（注） 1．壁配筋は、8.1（3）による。
2．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3［鉄筋の定着の長さ］のL₂とする。

図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

## 10.2　ニ辺固定スラブ形階段

ニ辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。
ニ辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。
ただし、構造図になければ、ニ辺固定スラブ形階段は現場打ちコンクリート部材とする。

表10.2　ニ辺固定スラブ形配筋

| 配筋種別 | 上端筋、下端筋とも（全域） |
|---|---|
| KB1 | D13-200@ |
| KB2 | D13-150@ |
| KB3 | D13-100@ |
| KB4 | D13,D16-150@ |
| KB5 | D16-150@ |
| KB6 | D16-125@ |
| KB7 | D16-100@ |

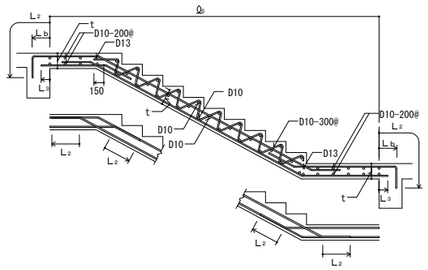
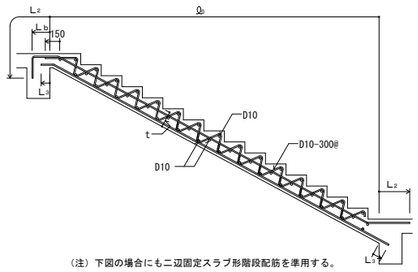



図10.2　ニ辺固定スラブ形階段配筋（その１）




（注）下図の場合にもニ辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

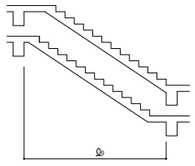


図10.3　ニ辺固定スラブ形階段配筋（その２）

## 11.1　梁貫通孔

（１）梁貫通孔は、次による。
（ア）　梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
（イ）　孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
（ウ）　孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部においては、梁下端よりD/3（Dは梁せい）の範囲には孔を設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
（エ）　孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
（オ）　孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の３倍以上とする。
（カ）　縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
（キ）　補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
（ク）　孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150㎜未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、かつ、構造図に特記された場合において、補強を省略することができる。
（ケ）　溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10㎜以上とする。
（コ）　溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
　　なお、リング節は、溶接金網に４箇所以上溶接する。
（サ）　溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
（シ）　他の開孔を設けない範囲は、図11.3による。

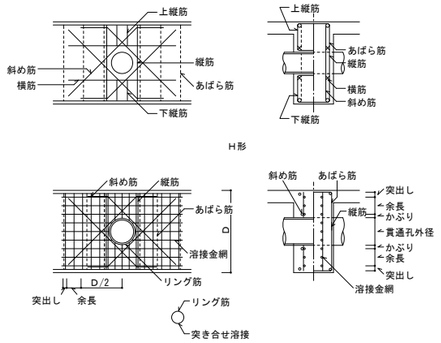



図11.1　梁貫通孔補強筋の名称等

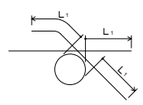



図11.2　補強筋の定着長さ




図11.3 他の開孔を設けない範囲

（２）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

表11.1　H形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 横筋 | 上下縦筋 | 配筋図 |
|---|---|---|---|---|---|
| H1 | 2-2-D13 | なし | なし | なし | |
| H2 | | 2-2-D13 | | | |
| H3 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | |
| H4 | 4-2-D16 | | | | |
| H5 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13 | |
| H6 | 4-2-D19 | | | | |
| H7 | 4-2-D22 | | | | |

（注）-------- は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2　M形配筋

| 配筋種別 | 縦筋 | 溶接金網 | 配　筋　図 |
|---|---|---|---|
| M1 | 2-2-D13 | なし | |
| M2 | 4-2-D13 | | |
| M3 | 4-2-D13 | 2-6φ-100@ | |
| M4 | 6-2-D13 | | |

（注）-------- は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3　MH形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 溶接金網 | 配筋図 |
|---|---|---|---|---|
| MH1 | 2-2-D13 | なし | なし | |
| MH2 | | 2-2-D13 | | |
| MH3 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-6φ-100@ | |
| MH4 | 4-2-D13 | | | |
| MH5 | 4-2-D16 | | | |
| MH6 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-6φ-100@ | |
| MH7 | 4-2-D19 | | | |

（注）-------- は、一般部分のあばら筋を示す。

## 11.2　コンクリートブロック帳壁との取合い

（１）控壁は、次による。
（ア）控壁の配置は、構造図による。
（イ）配筋は、図11.4による。

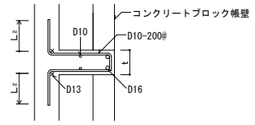



図11.4　控壁の配筋（水平、垂直とも）

（２）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

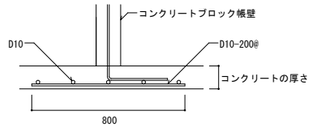



図11.5　壁付き土間コンクリートの補強配筋

## 11.3　パラペット

パラペットの先端補強筋は、図11.6により、コンクリート厚さ、配筋は構造図による。

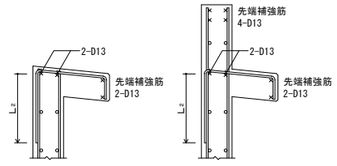



図11.6　パラペットの先端補強筋

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | 照査 | 担当 | | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| | | | | | | | | 図面名 | 構造関係共通図（配筋標準図その４） | 縮尺 | A1：－<br>A3：－ |

図面番号　S-05

# 構造関係共通図(鉄骨標準図)

## 1-1 縁端距離及びボルト間隔

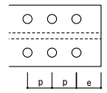
（1）縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図がなければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。

また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　（単位mm）

| ねじの呼び | 縁端距離 e | ボルト間隔 p |
|---|---|---|
| M12 | 40 | 60 |
| M16 | | |
| M20 | | |
| M22 | | |
| M24 | 45 | 70 |

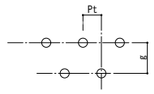



（2）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

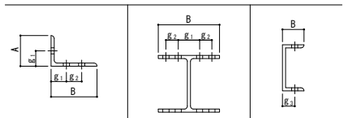
| ゲージ g | 千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12,M16,M20,M22 | M24 |
|---|---|---|
| 35 | 50 | 65 |
| 40 | 45 | 60 |
| 45 | 40 | 55 |
| 50 | 35 | 50 |
| 55 | 25 | 45 |
| 60 | － | 40 |




（3）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）




| A又はB | g1 | g2 | 最大軸径 | B | g1 | g2 | 最大軸径 | B | g3 | 最大軸径 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 45 | 25 | | 12 | 100 | 56 | | 16 | 50 | 30 | 12 |
| 50 | 28 | | 16 | 125 | 75 | | 16 | 65 | 35 | 20 |
| 60 | 35 | | 16 | 150 | 90 | | 22 | 70 | 40 | 20 |
| 65 | 35 | | 20 | 175 | 105 | | 22 | 75 | 40 | 22 |
| 70 | 40 | | 20 | 200 | 120 | | 24 | 80 | 45 | 22 |
| 75 | 40 | | 22 | 250 | 150 | | 24 | 90 | 50 | 24 |
| 80 | 45 | | 22 | 300 | 150 | 40※1 | 24 | 100 | 55 | 24 |
| 90 | 50 | | 24 | 350 | 140 | 70 | 24 | | | |
| 100 | 55 | | 24 | 400 | 140 | 90 | 24 | | | |
| 125 | 50 | 35 | 24 | | | | | | | |
| 130 | 50 | 40 | 24 | | | | | | | |
| 150 | 55 | 55 | 24 | | | | | | | |
| 175 | 60 | 70 | 24 | | | | | | | |
| 200 | 60 | 90 | 24 | | | | | | | |

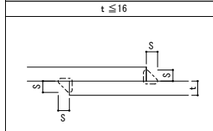
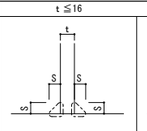
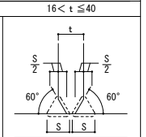
※1　千鳥打ちとした場合

## 1-2 溶接継手の種類別開先標準

本標準図に記載の無い開先基準は、JASS6の附則5「完全溶け込み溶接・部分溶接の開先基準」による。

隅肉溶接(F)の開先標準

（単位：mm）

| H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接） | | |
|---|---|---|
| 1（片面溶接） | 2（両面溶接） | |
| t ≦16 | t ≦16 | 16＜t ≦40 |
|  |  |  |



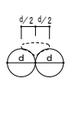
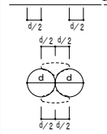
隅肉溶接のサイズ

（単位：mm）

| t | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 19 | 22 | 25 | 28 | 32 | 36 | 40 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| s | 3 | 4 | 5 | 5 | 6 | 7 | 8 | 8 | 9 | 10 | 10 | 11 | 12 | 11 | 13 | 15 | 17 | 19 | 21 | 24 |

フレア溶接(FL)の開先標準

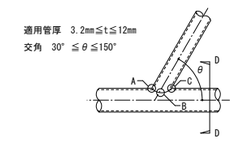
（単位：mm）

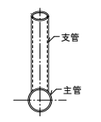
| H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接） | | | |
|---|---|---|---|
| 1（丸鋼等片面溶接） | 2（丸鋼等両面溶接） | 3（軽量形鋼Ｖ形溶接） | 4（軽量形鋼レ形溶接） |
|  |  |  |  |
| | | t ≧3のとき S ＝ t<br>t ＜3のとき S ＝ 3 | t ≧3のとき S ＝ t<br>t ＜3のとき S ＝ 3 |



## 1-3 鋼管分岐継手詳細

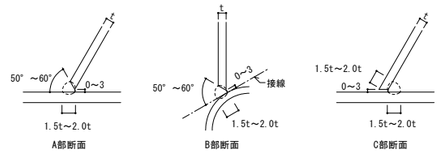
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　（単位：mm）




D-D断面図

主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。

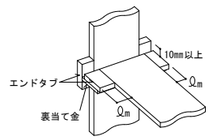



## 1-4 鉄骨溶接施工

（1）エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

（2）エンドタブ

エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。

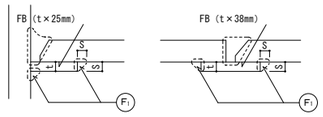



| 溶接方法 | Qm |
|---|---|
| 手溶接 | 35以上 |
| 半自動溶接 | 38以上 |
| 自動溶接 | 70以上 |

（3）裏当て金

（ア）裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

（イ）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。




裏当て金の厚さ　（単位：mm）

| 溶接方法 | t |
|---|---|
| 手溶接 | 6以上 |
| 半自動溶接 | 9以上 |
| 自動溶接 | 12以上 |

溶接のサイズ　（単位：mm）

| 裏当て金の厚さ | S |
|---|---|
| t≦9 | 5 |
| t>9 | 9 |

（4）スカラップ

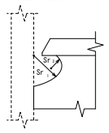
スカラップの要否および加工は、構造図による。構造図に特記が無い場合は、次による。

（ア）スカラップを設ける場合

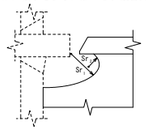
改良型スカラップ

（ｉ）スカラップ半径Sr1は35mmとする。Sr2は10mmとする。

（ii）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

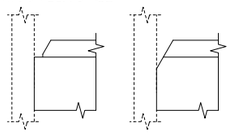



柱貫通形式の場合

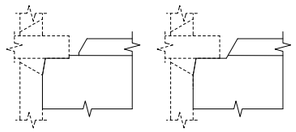



梁貫通形式の場合

（イ）スカラップを設けない場合



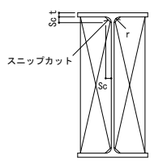
柱貫通形式の場合



梁貫通形式の場合

（5）スニップカット

（ア）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

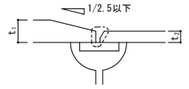



（イ）スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスカップニットについては、Sc=r＋2により求めるものとする。

| t | 6 | 9 | 12 | 16以上 |
|---|---|---|---|---|
| Sc | 10 | 12 | 14 | 15 |

（6）溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合又は低応力高サイクル疲労を受ける場合




## 1-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

（1）鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合溶接長さ（Ｌ）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

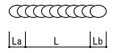
Ｌ：片面フレア溶接の場合　10d

　　両面フレア溶接の場合　5d

Ｌａ及びＬｂ＝１Ｓ（鉄筋については1d）以上

ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値

Ｓ：溶接のサイズ




## 1-6 梁貫通孔補強

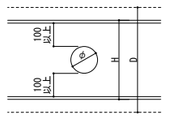
（1）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

（ア）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。

（イ）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で２倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で３倍以上確保する。

（2）貫通孔の補強方法は、次による。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）




Ｈ：鉄骨せい

Ｄ：はりせい

φ：貫通孔内径寸法

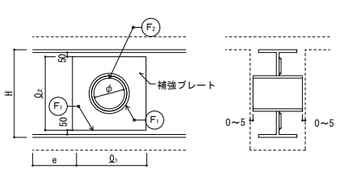
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

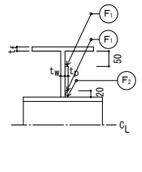
（ア）補強プレート厚が16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。

（イ）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。







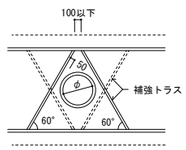


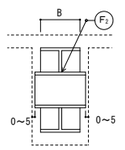

Q1は３φまたは Q2のうち小さい方とする。　（ｅ≧ Ｈ とする）

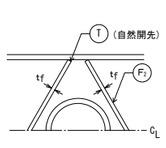
ｅ：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

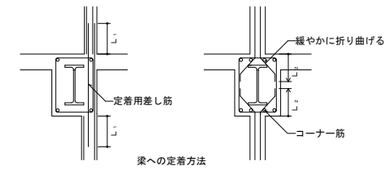
スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



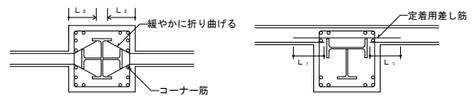




## 1-7 壁筋の周辺部材への定着（SRC）

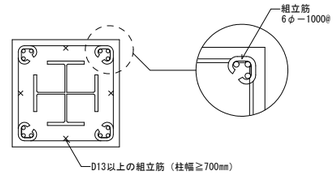



梁への定着方法



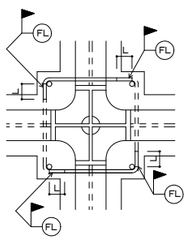

柱への定着方法

## 1-8 柱組立筋（SRC）




## 1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立（SRC）

片面溶接の溶接長さ（Ｌ）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135°曲げフックとする。



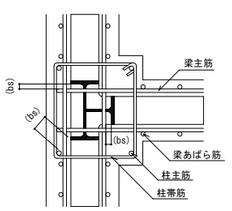

## 1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置（SRC）

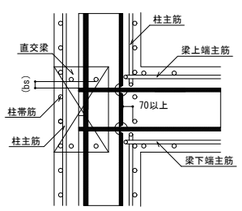
鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

（単位：mm）

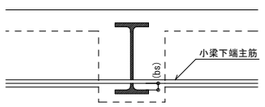
| 鉄筋の呼び名 | D10 | D13 | D16 | D19 | D22 | D25 | D29 | D32 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鉄筋貫通孔の径 | 21 | 24 | 28 | 31 | 35 | 38 | 43 | 46 |

鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

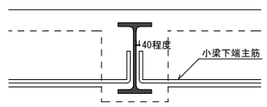



小梁下端主筋が貫通する場合




小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）




(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S-06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | 構造関係共通図（鉄骨標準図その１） | 縮尺 | A1：－<br>A3：－ | | |

ベースパックⅡ型

**角形鋼管**
F値295N/mm²以下
□-350×350 ～ □-550×550 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-18」（令和4年11月17日付）

# ベースパック柱脚工法設計施工標準図

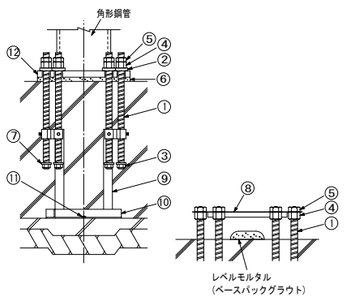
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2023年7月作成

## 1．工法概要

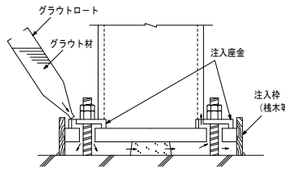
### 1．1 構成部材




①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④Dナット
⑤Dナット(S)
⑥ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦定着座金
⑧テンプレート
⑨フレームポスト
⑩フレームベース
⑪ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑪は現場状況により仕様が異なる場合がある。
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

### 1．2 柱脚の定着方法概要



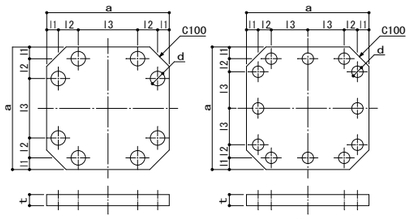

## 2．柱

| F値(N/mm²) | 鋼種 | 採用 |
|---|---|---|
| 235 | BCP235 | |
| | STKR400 | |
| 295 | BCR295 | ○ |
| | JBCR295 | |
| | TSC295 | |

## 3．構成部材・寸法

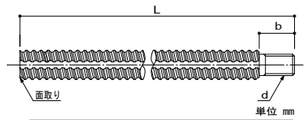
### 3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】
BT-HT440B-SP 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
（建築構造用高溶接性高性能５９０N/mm²鋼材）




### 3．2 アンカーボルト（Dアンカーボルト）

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

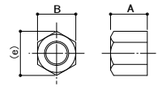



単位 mm

| 呼び | L | b | 端部ねじd | 基準強度(N/mm²) |
|---|---|---|---|---|
| D38 | 850 | 46 | M33 | 390 |
| D41 | 900 | 49 | M36 | 390 |
| D41H | 995 | 49 | M36 | 490 |
| D51 | 1110 | 57 | M45 | 390 |
| D51H | 1215 | 57 | M45 | 490 |

### 3．3 Mナット・Dナット

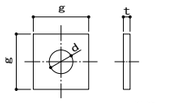
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



単位 mm

| | 呼び | A | B | (e) |
|---|---|---|---|---|
| Mナット | M33 | 26 | 50 | 58 |
| | M36 | 29 | 55 | 64 |
| | M45 | 36 | 70 | 81 |
| Dナット | D38 | 45 | 65 | 75 |
| | D41 | 48 | 70 | 80 |
| | D51 | 60 | 80 | 92 |
| Dナット(S) | D38 | 30 | 65 | 75 |
| | D41 | 32 | 70 | 80 |
| | D51 | 40 | 80 | 92 |

### 3．4 定着座金

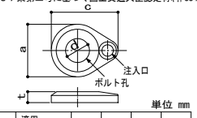


単位 mm

| 適用アンカーボルト | g | t | d | 材質 |
|---|---|---|---|---|
| D38 | 65 | 12 | 37 | SS400 |
| D41,D41H | 70 | 12 | 37 | SS490 |
| D51,D51H | 85 | 12 | 46 | |

### 3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料,SS490】

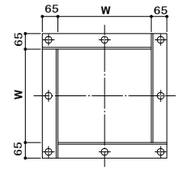



単位 mm

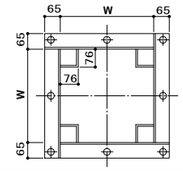
| 記号 | 適用アンカーボルト | a | c | t | d |
|---|---|---|---|---|---|
| PD38 | D38 | 96 | 122 | 20 | 43 |
| PD41 | D41,D41H | 100 | 127 | 20 | 46 |
| PD51 | D51,D51H | 110 | 140 | 20 | 58 |

### 3．6 フレームベース

i）Cタイプ



ii）特Cタイプ



### 3．7 アンカーフレーム形状および据付け時請寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。



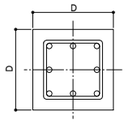

単位 mm

| 採用 | ベースパック記号 | 柱 外径(mm) | 柱 板厚(mm) | ベースプレート 材質 | 形状 | 寸法(mm) a | t | l1 | l2 | l3 | d | アンカーボルト 本数-呼び | 基準強度(N/mm²) | 標準アンカーフレームタイプ | コンクリート柱型 寸法D(mm) 標準フレーム | 特C | 配筋 立上り筋 | フープ筋 | 設計基準強度(N/mm²) | フレームベース 寸法W(mm) 標準フレーム | 特C | フレームポスト間 寸法x(mm) 標準フレーム | 特C | 最低h寸法(mm) | J寸法(mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 35-16R | □-350×350 | t≦16 | SN490B | (ハ) | 630 | 45 | 65 | 85 | 330 | φ70 | 8-D38 | 390 | C | 800 | 840 | 12-D25 | D13@100 | 21以上 | 380 | 590 | 250 | 450 | 750 | 180 |
| ○ | 35-19R | □-350×350 | t≦19 | BT-HT440B-SP | (ハ) | 630 | 44 | 65 | 85 | 330 | φ70 | 8-D38 | 390 | C | 800 | 840 | 12-D25 | D13@100 | 21以上 | 380 | 590 | 250 | 450 | 750 | 180 |
| | 35-22R | □-350×350 | t≦22 | BT-HT440B-SP | (ハ) | 630 | 44 | 65 | 85 | 330 | φ75 | 8-D41 | 390 | C | 800 | 830 | 16-D22 | D13@100 | 21以上 | 380 | 590 | 250 | 450 | 800 | 190 |
| | 35-25R | □-350×350 | t≦25 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 650 | 48 | 75 | 85 | 165 | φ70 | 12-D38 | 390 | C | 850 | – | 16-D25 | D13@100 | 21以上 | 380 | – | 250 | – | 800 | 180 |
| | 40-16R | □-400×400 | t≦16 | BT-HT440B-SP | (ハ) | 700 | 44 | 65 | 85 | 400 | φ75 | 8-D41 | 390 | C | 870 | 910 | 12-D25 | D13@100 | 21以上 | 450 | 660 | 320 | 520 | 800 | 190 |
| | 40-19R | □-400×400 | t≦19 | BT-HT440B-SP | (ハ) | 700 | 48 | 65 | 85 | 400 | φ75 | 8-D41 | 390 | C | 870 | 900 | 16-D22 | D13@100 | 21以上 | 450 | 660 | 320 | 520 | 800 | 190 |
| | 40-22R | □-400×400 | t≦22 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 700 | 48 | 65 | 85 | 200 | φ70 | 12-D38 | 390 | C | 900 | 910 | 16-D25 | D13@100 | 21以上 | 450 | 660 | 320 | 520 | 800 | 180 |
| | 40-25R | □-400×400 | t≦25 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 710 | 48 | 70 | 85 | 200 | φ75 | 12-D41 | 390 | C | 900 | 910 | 16-D25 | D13@100 | 21以上 | 450 | 660 | 320 | 520 | 800 | 190 |
| ○ | 45-19R | □-450×450 | t≦19 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 750 | 48 | 65 | 85 | 225 | φ70 | 12-D38 | 390 | C | 950 | 960 | 16-D25 | D13@100 | 21以上 | 500 | 710 | 370 | 570 | 800 | 180 |
| | 45-22R | □-450×450 | t≦22 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 750 | 52 | 65 | 85 | 225 | φ75 | 12-D41 | 390 | C | 1000 | 1000 | 20-D25 | D13@100 | 21以上 | 500 | 710 | 370 | 570 | 800 | 190 |
| | 45-25R | □-450×450 | t≦25 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 750 | 52 | 65 | 85 | 225 | φ75 | 12-D41H | 490 | C | 1000 | 1000 | 24-D25 | D13@100 | 24以上 | 500 | 710 | 370 | 570 | 850 | 200 |
| | 45-28R | □-450×450 | t≦28 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 770 | 60 | 75 | 110 | 200 | φ75 | 12-D51 | 390 | C | 1000 | – | 24-D25 | D13@100 | 24以上 | 460 | – | 330 | – | 950 | 230 |
| | 50-19R | □-500×500 | t≦19 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 820 | 52 | 65 | 85 | 260 | φ75 | 12-D41 | 390 | C | 1000 | 1030 | 20-D25 | D13@100 | 21以上 | 570 | 780 | 440 | 640 | 800 | 190 |
| | 50-22R | □-500×500 | t≦22 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 820 | 60 | 65 | 85 | 260 | φ75 | 12-D41H | 490 | C | 1050 | 1050 | 24-D25 | D16@100 | 21以上 | 570 | 780 | 440 | 640 | 850 | 200 |
| | 50-25R | □-500×500 | t≦25 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 820 | 60 | 75 | 110 | 225 | φ75 | 12-D51 | 390 | C | 1050 | 1050 | 24-D25 | D16@100 | 24以上 | 510 | 750 | 380 | 610 | 950 | 230 |
| | 50-28R | □-500×500 | t≦28 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 820 | 60 | 75 | 110 | 225 | φ75 | 12-D51H | 490 | C | 1140 | – | 32-D25 | D16@100 | 24以上 | 510 | – | 380 | – | 1050 | 235 |
| | 55-19R | □-550×550 | t≦19 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 840 | 52 | 65 | 85 | 270 | φ75 | 12-D41H | 490 | C | 1100 | 1100 | 24-D25 | D16@100 | 24以上 | 590 | 800 | 460 | 660 | 850 | 200 |
| | 55-22R | □-550×550 | t≦22 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 900 | 60 | 65 | 85 | 300 | φ75 | 12-D41H | 490 | C | 1100 | 1120 | 24-D25 | D16@100 | 24以上 | 650 | 860 | 520 | 720 | 850 | 200 |
| ○ | 55-25R | □-550×550 | t≦25 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 900 | 60 | 75 | 110 | 265 | φ75 | 12-D51 | 390 | C | 1100 | 1100 | 32-D25 | D16@100 | 24以上 | 590 | 830 | 460 | 690 | 950 | 230 |
| | 55-28R | □-550×550 | t≦28 | BT-HT440B-SP | (ニ) | 900 | 65 | 75 | 110 | 265 | φ75 | 12-D51H | 490 | C | 1150 | – | 36-D25 | D16@100 | 24以上 | 590 | – | 460 | – | 1050 | 235 |

## 4．コンクリート柱型

### 4．1 形状・材質

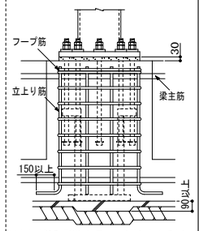
●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。



●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は下表に記載の値とする。
●鉄筋
SD295（D13，D16）
SD345（D22，D25）

### 4．2 配筋

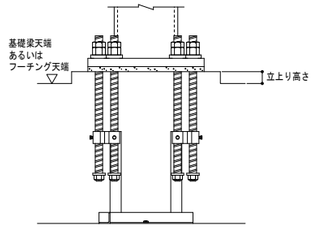
配筋仕様は下表による。




※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

### 4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。




### 4．4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

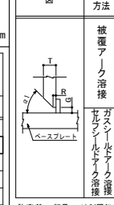
採用
□ 下表標準柱型寸法からの変更あり「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 下表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

## 5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より）

| 図 | 溶接方法 | 適用板厚T(mm) | ルート間隔G(mm) 標準値 | ルート間隔G(mm) 許容差 | ルート面R(mm) 標準値 | ルート面R(mm) 許容差 | 開先角度α1(°) 標準値 | 開先角度α1(°) 許容差 | 溶接姿勢 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  | 被覆アーク溶接 | 6～ | 7 | −2, +∞ (−3, +∞) | 2 | −2, +1 (−2, +2) | α1：45 | −2.5, +∞ (−5, +∞) | 下向き |
| | | | 9 | −2, +∞ (−3, +∞) | 2 | −2, +1 (−2, +2) | α1：35 | | |
| | ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接 | 6～ | 6 | −2, +∞ (−3, +∞) | 2 | −2, +1 (−2, +2) | α1：45 | −2.5, +∞ (−5, +∞) | 下向き |
| | | | 7 | −2, +∞ (−3, +∞) | 2 | −2, +1 (−2, +2) | α1：35 | | |

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温（鋼材表面温度）が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

| 溶接方法 | 鋼種 | 板厚(mm) 40≦t≦50 | 板厚(mm) 50＜t≦75 |
|---|---|---|---|
| 低水素系被覆アーク溶接 | SN490B | 50 °C | |
| | BT-HT440B-SP | 予熱なし | 予熱なし |
| CO2ガスシールドアーク溶接 | SN490B | 予熱なし | |
| | BT-HT440B-SP | 予熱なし | 予熱なし |

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：7．本工法の施工及び施工管理参照。

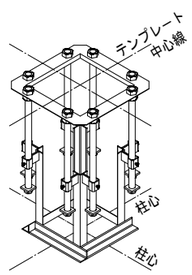
## 6．工事場施工

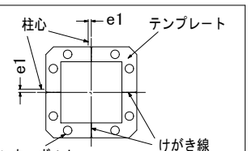
### 6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

### 6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



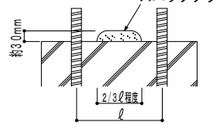

| 図 | e1：柱心とテンプレートのけがき線との許容差 |
|---|---|
| 標準許容差 | −2≦e1≦2<br>基準高さより誤差は<br>−3≦e≦10 |

### 6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

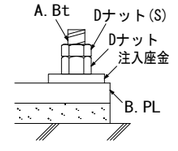
### 6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。




### 6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。
●Dナット(S)による弛み止めは右図による。




### 6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

## 7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
●本工法のうち6．2アンカーボルト据付け及び6．6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

記事

株式会社 眞鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号
管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査 担当

| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|
| 図面名 | ベースパック柱脚工法標準図（角形鋼管／Ⅱ型） | 縮尺 | A1：－ A3：－ | S-07 |

# ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準
# 合成スラブ工業会仕様

耐火仕様①

## JFE 建材 株式会社

［耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、
(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準　2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

## 設　　計

### 材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

| デッキプレート種類 | | 板厚(mm) | 表　面　処　理 |
|---|---|---|---|
| ■ＱＬ９９－５０<br>□ＱＬ９９－７５ | 端部加工<br>□ｴﾝﾄﾞﾛ有り<br>□無し | ------ | ---------- |
| | | ■1.2<br>□1.6 | □裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(Ｐ) *1<br>■亜鉛めっき　［ ■Z12　□Z27 ］<br>□JFEｴｺｶﾞﾙ(高耐食溶融めっき鋼板)　［ □Y18　□Y27 ］<br>□その他(　　)　□無し |
| 材　質 | ＪＩＳ Ｇ ３３５２に定めるＳＤＰ１Ｔ、ＳＤＰ２、ＳＤＰ２Ｇ | | |

*1 現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳ Ｋ ５６２１ ２種またはは３種相当）

### 材料／コンクリート

| 種　　類 | ■普通コンクリート　□軽量コンクリート［ □１種　□２種 ］ |
|---|---|
| 設計基準強度 | □１８　■２１　□２４　□（　　）N／mm² |
| 厚さ(ＱＬデッキ山上) | □６０　□７０　□８０　□８５　□９０　□９５　■１００　□（　　）mm |

### 材料／溶接金網・異形鉄筋

| | | |
|---|---|---|
| □ 溶 接 金 網 | JIS Ｇ 3551 | □φ６－７５×７５　□φ６－１５０×１５０<br>□φ６－１００×１００　□（　　）*2 |
| ■ 異 形 鉄 筋 | JIS Ｇ 3112、3117 | □Ｄ１０－１５０×１５０<br>■Ｄ１０－２００×２００　□（　　） |
| □ 耐火補強筋 | JIS Ｇ 3112、3117 | Ｄ１３－@３００ |

*2 線径6mm以上を用いたもの

### 接　　合

| | | |
|---|---|---|
| 梁との接合 | □頭付きスタッド | JIS Ｂ 1198 □φ１３　□φ１６　□φ１９　□φ２２<br>（各長さ・ピッチは特記による *3） |
| | ■焼抜き栓溶接 | 下記焼抜き栓溶接の項による |
| | □打込み鋲 | 接合箇所は特記による |
| | □その他 | |

*3 最小長さはデッキ高さ＋30mm以上とする

### 耐　　火

| ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ | 耐火区分 | 支持条件 | ｺﾝｸﾘｰﾄ種別 | 耐火補強筋 | 認定番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| QL99-50<br>QL99-75 | 床１時間 | 単純 | 普通/軽量 | 要 | □ＦＰ０６０ＦＬ－９１０１ |
| | | 連続 | | 不要 | □ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５ |
| | 床２時間 | 単純 | | 要 | □ＦＰ１２０ＦＬ－９１１３ |
| | | 連続 | | 不要 | □ＦＰ１２０ＦＬ－９１０７ |

注）床２時間は床１時間耐火を含む

| | |
|---|---|
| その他 | □指定なし　□（　　）　□（　　） |

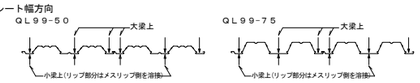
### 特　　記

| 支保工有無 | その他： |
|---|---|
| ■ 無　□ 有 | |

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

### 焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向




デッキプレートスパン方向

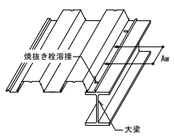
「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$Aw = \frac{1.5Qa}{Qb} \times 1000mm \text{ かつ } 600mm \text{ 以下}$$

Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（Ｎ）
Qb：設計最大せん断力(N/m)
Aw：焼抜き栓溶接ピッチ

| 板厚 | Qa（Ｎ） |
|---|---|
| １.２ | ４,９００ |
| １.６ | ７,３５０(ＳＰＷ)、６,８６０(Ａ.Ｐ.Ｗ) |

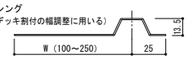
焼抜き栓溶接ピッチは床板リストによる




（注）接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要

### アクセサリー

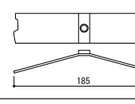
フラッシング
（ＱＬデッキ割付の幅調整に用いる）




クローサー
（ＱＬデッキの小口ふさぎに用いる）



ハンガー金具
（ＱＬデッキ下溝を利用する天井インサート用金具）

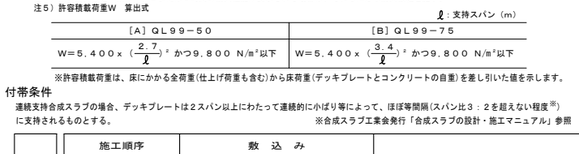



## 耐　火　仕　様

### 【連続支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）

| 耐　火　時　間 | コンクリート種類 | 品　名 | 支持スパン | コンクリート厚さ | 溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００） | 許容積載荷重 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 床、１時間耐火<br>FP060FL-9095 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ３.０ｍ 以下 | ８０mm 以上 | φ６－１５０x１５０ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| | | | ３.６ｍ 以下 | ９０mm 以上 | φ６－１００x１００ | ４,４００N/m²以下　注2) |
| | 軽量コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ３.０ｍ 以下 | ８０mm 以上 | φ６－１５０x１５０ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| 床、２時間耐火<br>FP120FL-9107 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ９５mm 以上 | φ６－１００x１００ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | ９０mm 以上 | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| | | | ３.６ｍ 以下 | ９５mm 以上 | Ｄ１０－@２００ | ５,４００N/m²以下　注2) |
| | 軽量コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ８５mm 以上 | φ６－１００x１００ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| | | | ３.６ｍ 以下 | ９０mm 以上 | Ｄ１０－@２００ | ５,４００N/m²以下　注2) |




### 【単純支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨(S)梁　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）
耐火補強筋　：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

| 耐　火　時　間 | コンクリート種類 | 品　名 | 支持スパン | コンクリート厚さ | 溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００） | 許容積載荷重 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 床、１時間耐火<br>FP060FL-9101 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ８０mm 以上 | φ６－１５０x１５０ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| | 軽量コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| 床、２時間耐火<br>FP120FL-9113 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ９５mm 以上 | φ６－１００x１００ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | ９０mm 以上 | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| | 軽量コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ８５mm 以上 | | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |

支持梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

| 耐　火　時　間 | コンクリート種類 | 品　名 | 支持スパン | コンクリート厚さ | 溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００） | 許容積載荷重 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 床、１時間耐火<br>FP060FL-9101 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ８０mm 以上 | φ６－１５０x１５０ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |
| 床、２時間耐火<br>FP120FL-9113 | 普通コンクリート | ＱＬ９９－５０ | ２.７ｍ 以下 | ９５mm 以上 | φ６－１００x１００ | 算出式 注5)Ａ 参照 |
| | | ＱＬ９９－７５ | ３.４ｍ 以下 | ９０mm 以上 | | 算出式 注5)Ｂ 参照 |




注１）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注２）スパンが３.４ｍを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径１６mm以上、ピッチ３００mm以下）で結合する。
注３）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注４）梁の耐火被覆　梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注５）許容積載荷重Ｗ　算出式

Ｌ：支持スパン（ｍ）

| ［Ａ］ＱＬ９９－５０ | ［Ｂ］ＱＬ９９－７５ |
|---|---|
| $W = 5,400 \times (\frac{2.7}{L})^2$ かつ９,８００ N/m²以下 | $W = 5,400 \times (\frac{3.4}{L})^2$ かつ９,８００ N/m²以下 |

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

### 付帯条件

連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは２スパン以上にわたって連続的に小切りまたは、ほぼ等間隔(スパン比3：2を超えない程度※)に支持されるものとする。　※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

## 施工

### 施工順序

墨　出　し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
１）頭付きスタッド
２）打込み鋲
３）焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
検　　査
↓
コンクリート打設

### 敷　込　み

鉄骨梁の場合
１）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(５～１０枚)ごとに仮止め溶接する。
２）各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
(頭付きスタッドの場合は３０mm以上)
３）デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

ＲＣ梁またはＳＲＣ梁の場合
１）デッキプレートは梁型枠に釘止めする。
２）デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向１０mm以上、長手方向が３０mmあることを確認する。

### デッキプレートと梁との接合

１）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

２）打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

３）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号（平成14年4月16日制定）及び国土交通省告示第６０６号（平成19年6月20日改正）の
第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般錆止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

#### 焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］　―アーク手溶接―

（１）溶接機
　交流アーク溶接機　ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機　２３０Ａ以上
（２）溶接棒
　ＪＩＳ Ｚ ３２１１のＥ４３１６、Ｅ４９１６ に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmφのもの
（３）標準溶接条件

| | 工　程 | 手　順　・　要　領 |
|---|---|---|
| 1 | アーク発生 | ＱＬデッキを梁になじませ(隙間２mm以下)溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。 |
| 2 | ＱＬデッキ焼抜き | 溶接棒を若干引きあげてアークを飛ばし。<br>径10mm開ぞの"の"字を描いてＱＬデッキを焼抜く。 |
| 3 | 押し込み・溶着 | 溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら溶着。 |
| 4 | 整　形 | 溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。 |

　梁フランジ板厚：６mm以上
　溶 接 電 流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
（４）溶接工の資格
　ＪＩＳ Ｚ ３８０１、ＪＩＳ Ｚ ３８４１ における基本級の有資格者
（５）手順・要領
　右の１～４の順に行う。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

#### 自動焼抜き栓溶接［Ａ.Ｐ.Ｗ］ ―ＣＯ２アークスポット溶接―

（１）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
　　発電機の場合　　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
（２）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１.２mm
（３）標準溶接条件：下表

| ＱＬデッキ板厚 | 梁フランジ板厚 | 電流（Ａ） | 電圧（Ｖ） | アークタイム（秒） |
|---|---|---|---|---|
| １.２mm | ６～９mm未満 | ３００～３２０ | ３３～３５ | ３.０～４.０×１度打ち |
| | ９mm以上 | ３００～３２０ | ３３～３５ | ３.０～４.０×２度打ち |
| １.６mm | ６～９mm未満 | ３００～３２０ | ３４～３６ | ３.５～４.５×１度打ち |
| | ９mm以上 | ３００～３２０ | ３４～３６ | ４.０～４.５×２度打ち |

注１.デッキプレート　板厚１.２、１.６mm　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
　２.ＣＯ２ガス流量：２０ﾘｯﾄﾙ／分以上

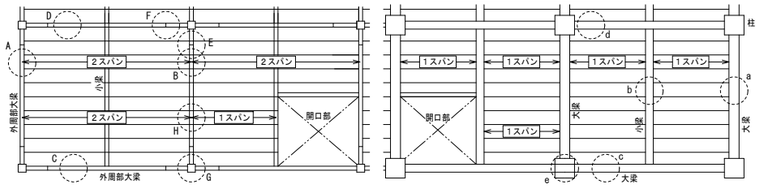
### 検　　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ.Ｐ.Ｗ）】
□事前検査
　ＳＰＷ：適正な溶接を行うために下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
　　1) 検流計での計測
　　2) 溶接棒の消費長さによる確認 ―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mmであること。
　Ａ.Ｐ.Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
　1) 溶接箇所の確認　2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
　3) 標準余盛り径　ＳＰＷ：18mm以上　Ａ.Ｐ.Ｗ：25mm±3
□不良部の補修
　ＳＰＷ の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
　　不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
　Ａ.Ｐ.Ｗの場合：重ね溶接して補修する。
【そ　の　他】
　(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況（2)ひび割れ拡大防止筋の数込み状況（3)開口部の補強状況

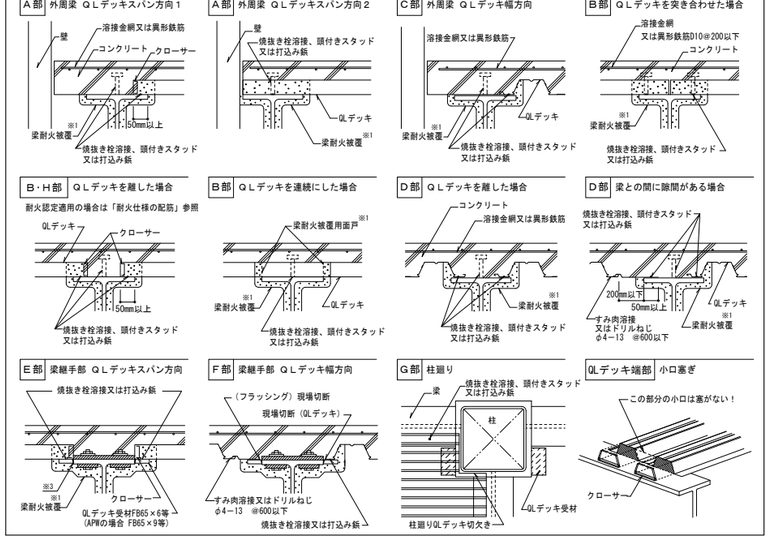
## 標　準　納　まり

図中※１は、梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※２はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※３ 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ＆Ａ参照）

鉄骨(S)梁　　鉄筋コンクリート(RC)梁・鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁

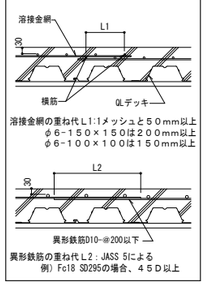



### デッキプレートと梁の納まり［Ｓ梁］




### スラブの配筋

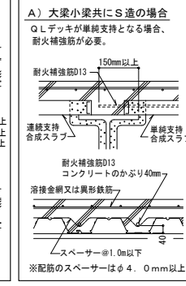
コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



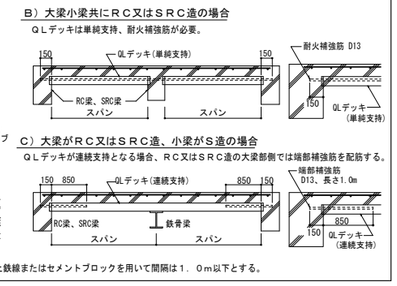

### 耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０mm以上定着させる。梁上で定着が１５０mmとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０mm以上を確保する。

Ａ）大梁小梁共にＳ造の場合




Ｂ）大梁小梁共にＲＣ又はＳＲＣ造の場合

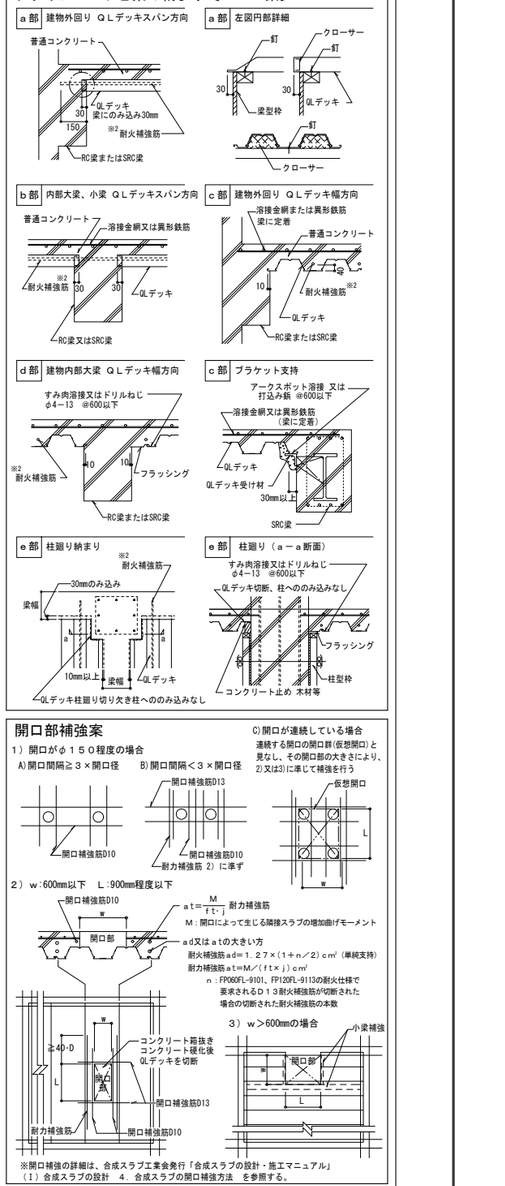



Ｃ）大梁がＲＣ又はＳＲＣ造、小梁がＳ造の場合

ＱＬデッキが連続支持となる場合、ＲＣ又はＳＲＣ造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。




### デッキプレートと梁の納まり［RC・SRC梁］




### 開口部補強案

１）開口がφ１５０程度の場合

A）開口間隔≧３×開口径




B）開口間隔＜３×開口径




C）開口が連続している場合
連続する開口の開口群(仮想開口)と見なし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う




２）ｗ：600mm以下　Ｌ：900mm程度以下




３）ｗ＞600mmの場合




※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」（Ⅰ）合成スラブの設計　４．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

### 施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）

注１：普通コンクリート（単位体積重量24.0kN/m³）、
　　表面処理が亜鉛めっきの場合
注２：（）数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。
注３：表を超える場合は、別途支保工が必要です。

QL99-50　（単位：m）

| コンクリート厚(mm) | | 60 | | 70 | | 80 | | 90 | | 100 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 板厚(mm) | | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 |
| 支持条件 | 単純(内法) | 2.52 (2.52) | 2.75 (2.75) | 2.47 (2.47) | 2.69 (2.69) | 2.42 (2.42) | 2.64 (2.64) | 2.37 (2.37) | 2.59 (2.59) | 2.33 (2.33) | 2.54 (2.54) |
| | 2連続 | 3.38 (3.38) | 3.67 (3.67) | 3.31 (3.31) | 3.61 (3.61) | 3.24 (3.24) | 3.54 (3.54) | 3.18 (3.15) | 3.47 (3.47) | 3.12 (3.07) | 3.41 (3.41) |
| | 3連続 | 3.12 (3.12) | 3.40 (3.40) | 3.05 (3.05) | 3.33 (3.33) | 2.99 (2.99) | 3.26 (3.26) | 2.93 (2.93) | 3.20 (3.20) | 2.88 (2.88) | 3.15 (3.15) |

QL99-75　（単位：m）

| コンクリート厚(mm) | | 60 | | 70 | | 80 | | 90 | | 100 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 板厚(mm) | | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.6 |
| 支持条件 | 単純(内法) | 3.31 (3.31) | 3.61 (3.61) | 3.24 (3.24) | 3.55 (3.55) | 3.18 (3.18) | 3.48 (3.48) | 3.13 (3.13) | 3.42 (3.42) | 3.07 (3.07) | 3.37 (3.37) |
| | 2連続 | 4.02 (3.89) | 4.30 (4.30) | 3.96 (3.78) | 4.24 (4.24) | 3.91 (3.67) | 4.18 (4.18) | 3.83 (3.58) | 4.13 (4.13) | 3.73 (3.49) | 4.07 (4.07) |
| | 3連続 | 3.78 (3.78) | 4.05 (4.05) | 3.73 (3.73) | 3.99 (3.99) | 3.68 (3.68) | 3.93 (3.93) | 3.63 (3.63) | 3.88 (3.88) | 3.58 (3.58) | 3.83 (3.83) |

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】




【連続支持】




その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』（技術資料CADデータ収録）を参照下さい。

2021／7／01

| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 | 図面番号 | S-08 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | ＱＬデッキ合成スラブ 設計・施工標準 | 縮尺 | A1：－<br>A3：－ | | |

# ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ　設計・施工標準

**JFE 建材 株式会社**

## 1 型式・質量および断面性能

**JF75 ⇒熊谷工場製造**
**JF75W⇒神戸工場製造**

| | 型式 | 板厚 [mm] | 製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚/m] | [kg/m²] | 断面性能 I [x10⁴mm⁴/m] | Z [x10³mm³/m] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| □ | ＪＦ７５-０８ | 0.8 | 7.95 | 12.6 | 120 | 18.7 |
| | ＪＦ７５Ｗ-０８ | | 7.97 | 12.6 | | |
| □ | ＪＦ７５-１０ | 1.0 | 9.88 | 15.7 | 150 | 24.4 |
| | ＪＦ７５Ｗ-１０ | | 9.88 | 15.7 | | |
| □ | ＪＦ７５-１２ | 1.2 | 11.8 | 18.7 | 180 | 29.4 |
| | ＪＦ７５Ｗ-１２ | | 11.8 | 18.7 | | |
| □ | ＪＦ７５-１４ | 1.4 | 13.7 | 21.8 | 206 | 34.4 |
| | ＪＦ７５Ｗ-１４ | | 13.6 | 21.6 | | |
| ■ | ＪＦ７５-１６ | 1.6 | 15.7 | 24.9 | 232 | 39.3 |
| | ＪＦ７５Ｗ-１６ | | 15.5 | 24.6 | | |

**(注) JF75（熊谷工場）とJF75W（神戸工場）の使い分けについて：製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します**

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗの設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
ＪＦ７５評価番号［評価 第911-01009003号］

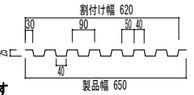
種類の記号および材料

| 種類記号 | 付着量記号 | 最小付着量(両面)[g/m²] | 使用材料 |
|---|---|---|---|
| SGCC | ■ Z12 | 120 | JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上 |
| SGHC | □ Z27 | 275 | |
| SZACC SZAHC | □ Y18 | 180 | JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上 |
| □ その他（ ） | | | |

(注) 断面性能のＩは、断面2次モーメント(全断面有効)、Ｚは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

### キーストンプレート

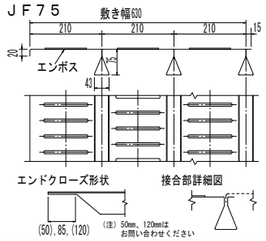
原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L=350～1,200mm)※板厚：0.8mm



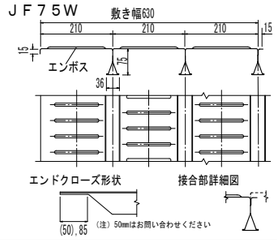

| キーストンプレート | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 板厚 mm | 全断面有効 断面2次モーメント Ｉx10⁴mm/m | 有効幅考慮 断面係数 Zx10³mm³/m | 製品質量 亜鉛めっき(Z12) kg/m | 亜鉛めっき(Z27) kg/m |
| 0.8 | 12.2 | 9.80 | 5.89 | 6.07 |

## 2 製品仕様

ＪＦ７５　敷き幅630




ＪＦ７５Ｗ　敷き幅630




### 製品長さ・エンドクローズ寸法

| 種類 | エンドクローズ長さ | 製品長さ |
|---|---|---|
| ＪＦ７５ | 85、(50、120) mm | 1000～4900 mm |
| ＪＦ７５Ｗ | 85、(50) mm | 1000～4900 mm |

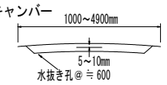
(注) 50mm、120mmはお問い合わせください

### 調整プレート

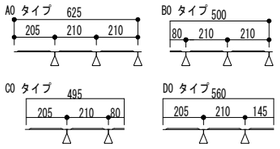



(注) RC梁型枠用調整プレートには釘孔加工(@600mm)有り

### キャンバー




### 役物デッキプレート




## 3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

| 項目 | | 算定式 |
|---|---|---|
| 曲げ応力 (N/mm²) | [Ｓ造] | $\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$ |
| | [RC・SRC造] | $\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$ |
| たわみ (mm) | | $\delta = \frac{5WL^4}{384EI} \times 10^3 \leqq \frac{Lx10^2}{180} + 5$ |
| 支圧耐力 (N/m) | | P＝WL ≦ Pa |

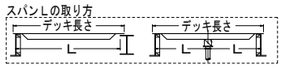
記号説明

| | | |
|---|---|---|
| σ | 曲げ応力度 | (N/mm²) |
| fb | 許容曲げ応力度　fb＝205 | (N/mm²) |
| M | 最大曲げモーメント | (N-mm/m) |
| Z | 断面係数（有効幅５０ｔ考慮） | (mm³/m) |
| δ | 最大たわみ | (mm) |
| C | たわみ算定用係数　(C=1.6) | |
| W | 設計（上載）荷重 | (N/m²) |
| L | スパン | (m) |
| E | 鋼材のヤング係数E=2.05x10⁵ N/mm² | (N/mm²) |
| I | 断面２次モーメント(全断面有効) | (mm⁴/m) |
| α | 施工割増係数［別表参照］ | |
| P | ＪＦデッキリブ支圧荷重 | (N/m) |
| Pa | 許容支圧荷重［別表参照］ | (N/m) |

許容支圧荷重Pa（幅1m当たり）

| 板厚 (mm) | 0.8 | 1.0 | 1.2 |
|---|---|---|---|
| 許容支圧荷重 (N/m) | 9,800 | 14,700 | 19,600 |

スパンＬの取り方




### 設計荷重 W

W=W₁＋ W₂＋ W₃　　W₁：スラブ自重＝（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W₂：フラットデッキ自重　　W₃：作業荷重(下記)

| | |
|---|---|
| 施工時作業荷重 | □ 1,470N/m² ［ポンプ工法］　□ 2,450N/m² ［ホッパー・バケット工法］<br>□（　　N/m²）［　　］ |
| コンクリート［鉄筋コンクリート単重］ | □ 普通コンクリート［ 24kN/m³ ］　□ 軽量コンクリート［ 20kN/m³ ］<br>□（　　）［　　kN/m³ ］ |

### 施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

| 施工状況の種類 | 施工割増係数(α) | 施工条件など |
|---|---|---|
| □ Ⅰ類 | 1.0 | RC造またはＳＲＣ造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合 |
| □ Ⅱ類 | 1.25 | Ⅰ類以外のＲＣ造またはＳＲＣ造の場合で、板厚１.０mmまたは板厚１.２mmのフラットデッキを使用する場合 |
| □ Ⅲ類 | 1.5 | Ⅰ類以外のＲＣ造またはＳＲＣ造の場合で、板厚０.８mmのフラットデッキを使用する場合 |

スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

| 建物の構造 | | S造、RC・SRC造 | | | | | RC・SRC造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| RC・SRC造 施工状況の種類 | | Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0] | | | | | Ⅱ類[α=1.25] | | Ⅲ類[α=1.5] |
| スラブ厚S(mm) | 板厚 t | 0.8mm | 1.0mm | 1.2mm | 1.4mm | 1.6mm | 1.0mm | 1.2mm | 0.8mm |
| 普通コンクリート 24 kN/m² | 120 | 2,610 | 2,870 | 3,040 | 3,160 | 3,270 | 2,660 | 2,910 | 2,130 |
| | 125 | 2,580 | 2,850 | 3,010 | 3,130 | 3,250 | 2,630 | 2,870 | 2,100 |
| | 130 | 2,540 | 2,830 | 2,990 | 3,110 | 3,220 | 2,590 | 2,840 | 2,080 |
| | 135 | 2,510 | 2,810 | 2,960 | 3,090 | 3,200 | 2,560 | 2,800 | 2,050 |
| | 140 | 2,480 | 2,790 | 2,940 | 3,060 | 3,170 | 2,530 | 2,770 | 2,030 |
| | 145 | 2,450 | 2,770 | 2,920 | 3,040 | 3,150 | 2,500 | 2,740 | 2,000 |
| | 150 | 2,420 | 2,750 | 2,900 | 3,020 | 3,130 | 2,470 | 2,700 | 1,980 |
| | 155 | 2,400 | 2,730 | 2,880 | 3,000 | 3,110 | 2,440 | 2,670 | 1,960 |
| | 160 | 2,370 | 2,700 | 2,860 | 2,980 | 3,080 | 2,410 | 2,640 | 1,930 |
| | 170 | 2,320 | 2,640 | 2,820 | 2,940 | 3,040 | 2,360 | 2,590 | 1,890 |
| | 180 | 2,270 | 2,590 | 2,790 | 2,900 | 3,010 | 2,320 | 2,540 | 1,850 |
| | 190 | 2,230 | 2,540 | 2,750 | 2,870 | 2,970 | 2,270 | 2,490 | 1,820 |
| | 200 | 2,180 | 2,490 | 2,720 | 2,830 | 2,940 | 2,230 | 2,440 | 1,780 |
| | 250 | 2,000 | 2,290 | 2,500 | 2,690 | 2,790 | 2,040 | 2,240 | 1,640 |
| | 300 | 1,860 | 2,120 | 2,330 | 2,510 | 2,660 | 1,900 | 2,080 | 1,520 |
| 軽量コンクリート 20 kN/m² | 120 | 2,760 | 2,980 | 3,140 | 3,270 | 3,390 | 2,810 | 3,080 | 2,260 |
| | 125 | 2,730 | 2,950 | 3,120 | 3,250 | 3,360 | 2,780 | 3,040 | 2,230 |
| | 130 | 2,700 | 2,930 | 3,100 | 3,220 | 3,340 | 2,750 | 3,010 | 2,200 |
| | 135 | 2,670 | 2,910 | 3,070 | 3,200 | 3,310 | 2,710 | 2,970 | 2,180 |
| | 140 | 2,640 | 2,890 | 3,050 | 3,180 | 3,290 | 2,680 | 2,940 | 2,150 |
| | 145 | 2,610 | 2,870 | 3,030 | 3,150 | 3,270 | 2,650 | 2,900 | 2,130 |
| | 150 | 2,580 | 2,850 | 3,010 | 3,130 | 3,250 | 2,630 | 2,870 | 2,100 |
| | 155 | 2,550 | 2,830 | 2,990 | 3,110 | 3,220 | 2,600 | 2,840 | 2,080 |
| | 160 | 2,520 | 2,810 | 2,970 | 3,090 | 3,200 | 2,570 | 2,810 | 2,060 |
| | 170 | 2,470 | 2,780 | 2,940 | 3,060 | 3,160 | 2,520 | 2,760 | 2,020 |
| | 180 | 2,420 | 2,750 | 2,900 | 3,020 | 3,130 | 2,470 | 2,700 | 1,980 |
| | 190 | 2,380 | 2,710 | 2,870 | 2,980 | 3,090 | 2,420 | 2,650 | 1,940 |
| | 200 | 2,340 | 2,660 | 2,840 | 2,950 | 3,060 | 2,380 | 2,610 | 1,910 |
| | 250 | 2,150 | 2,450 | 2,690 | 2,810 | 2,910 | 2,190 | 2,400 | 1,760 |
| | 300 | 2,000 | 2,290 | 2,500 | 2,690 | 2,790 | 2,040 | 2,240 | 1,640 |

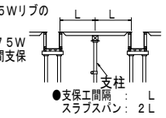
1)［　］部は、たわみで決定する範囲を示す。　　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

| 施工状況の種類 | Ⅰ類 | | | Ⅱ類 | | Ⅲ類 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施工割増係数 | α=1.0 | | | α=1.25 | | α=1.5 |
| スラブ厚S(mm) 板厚 t | 0.8mm | 1.0mm | 1.2mm | 1.0mm | 1.2mm | 0.8mm |
| 普通コンクリート 24 kN/m² | 120 | 4,370 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,270 |
| | 130 | 4,150 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,150 |
| | 140 | 3,950 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 3,950 |
| | 150 | 3,770 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 3,770 |
| | 160 | 3,600 | 4,900 | 4,900 | 4,830 | 4,900 | 3,600 |
| | 170 | 3,450 | 4,900 | 4,900 | 4,730 | 4,900 | 3,450 |
| | 180 | 3,310 | 4,900 | 4,900 | 4,640 | 4,900 | 3,310 |
| | 190 | 3,180 | 4,750 | 4,900 | 4,540 | 4,900 | 3,180 |
| | 200 | 3,060 | 4,570 | 4,900 | 4,460 | 4,880 | 3,060 |
| | 250 | 2,570 | 3,850 | 4,900 | 3,850 | 4,480 | 2,570 |
| | 300 | 2,220 | 3,330 | 4,420 | 3,330 | 4,170 | 2,220 |
| 軽量コンクリート 20 kN/m² | 120 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,520 |
| | 130 | 4,670 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,410 |
| | 140 | 4,450 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,310 |
| | 150 | 4,260 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,210 |
| | 160 | 4,080 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,080 |
| | 170 | 3,920 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 3,920 |
| | 180 | 3,770 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 3,770 |
| | 190 | 3,630 | 4,900 | 4,900 | 4,850 | 4,900 | 3,630 |
| | 200 | 3,500 | 4,900 | 4,900 | 4,770 | 4,900 | 3,500 |
| | 250 | 2,970 | 4,430 | 4,900 | 4,390 | 4,810 | 2,970 |
| | 300 | 2,570 | 3,850 | 4,900 | 3,850 | 4,480 | 2,570 |

(単位：mm)

1) 上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン２Ｌを示す
2) ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗを支持する場合、スラブスパンが３.０mを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3) ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ製品仕様の最大長さは４.９m

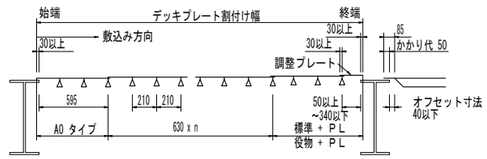



## 4 納まり例

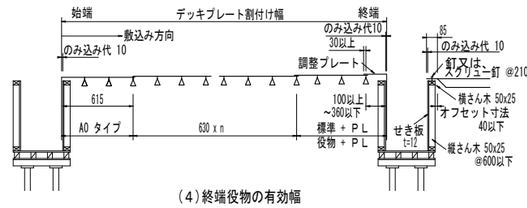
### 4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

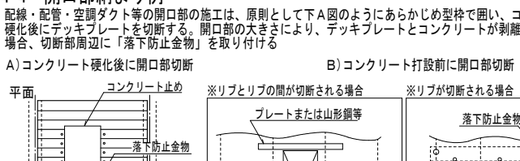
(1)鉄骨造（Ｓ造）



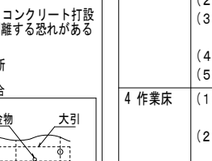

(2)鉄筋コンクリート造（ＲＣ造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）



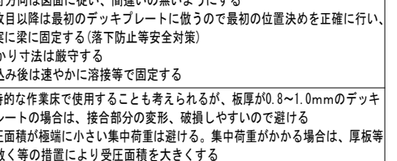

(3)ＲＣ置きスラブ（地中梁）




エンドクローズ長さ85mmの場合



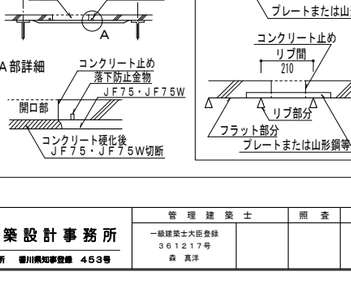

(4)終端役物の有効幅



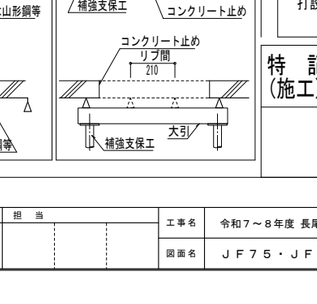

### 4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承諾を得て決定すること

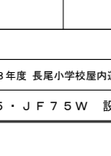
(1)Ｓ造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



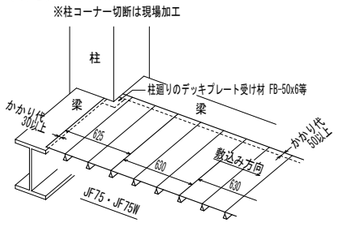

(2)Ｓ造斜め梁の納まり



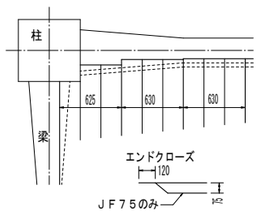

(3)ＲＣ、ＳＲＣ造斜め梁



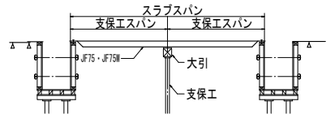

(4)Ｓ造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工




(5)Ｓ造水平ハンチの納まり




### 4-3 中間支保工設置




(6)Ｓ造梁の段差（レベル差）がある場合



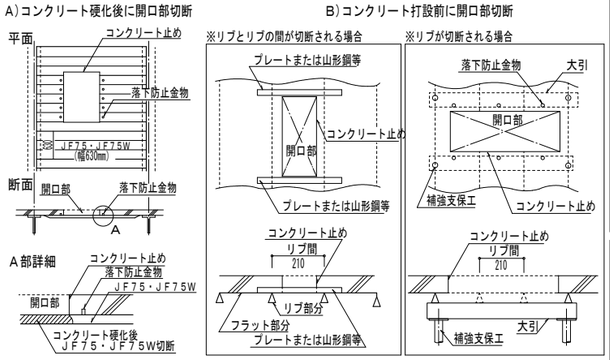

(7)Ｓ造床板と梁に段差のある場合




### 4-4 開口部納まり例

配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断　　B)コンクリート打設前に開口部切断




## 5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 1 保管 | (1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める<br>(2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する |
| 2 吊り込み | (1)骨組の組立順序との関連を十分検討する<br>(2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する<br>(3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する<br>(4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する |
| 3 敷込み | (1)始端かかり位置、中間位置(デッキ５枚位の位置)終端位置をマーキングする<br>(2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする<br>(3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策)<br>(4)かかり寸法は厳守する<br>(5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する |
| 4 作業床 | (1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8～1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける<br>(2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする<br>(3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く<br>(4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8～1.0mmは注意する |
| 5 コンクリート打設 | (1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する<br>(2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする |

| 特記(施工) | |
|---|---|
| | |

2021／07／08

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　４５３号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 ３６１２１７号 森 真洋 | | | 図面名 | ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ 設計・施工標準 | 縮尺 | A1：－ A3：－ | S-09 |

# Smart-MAGNUM工法(周面強化型)　特記仕様書

## 1．一般事項

1）本工事に採用する工法は「Smart-MAGNUM工法」(認定番号：TACP-0625号(砂質地盤),TACP-0626号(礫質地盤),TACP-0627号(粘土質地盤)) とする。

2）工事着手前に、工事概要・工程・使用する杭の明細・使用機械等を明記した施工計画書を作成し、監督員の承認を得る。

3）工事の施工および管理は、ジャパンパイル株式会社もしくはジャパンパイル株式会社が承認した施工会社が行う。ただし、後者の場合でも地盤の許容支持力については、ジャパンパイル株式会社が責任を負う。

## 2．使用杭

1）杭の種類

使用する杭は下記のものとする。

①平成13年国土交通省告示第1113号第8第1項第二号、第三号、第四号、第五号及び第六号の何れかに基づきコンクリートの許容応力度が規定され、杭体の許容耐力が明らかな既製コンクリート杭。

②建築基準法施工令第90条、平成12年建設省告示第2464号第1、第2に基づき鋼材の許容応力度が規定され、杭体の許容耐力が明らかな鋼管。

2）杭の構成

下杭には必ず節杭を使用し、杭は節杭のみ、または節杭とこの上方に継いで使用するストレート杭により構成される。また、下杭の節部は、拡大根固め部の範囲に必ず2つ入る。

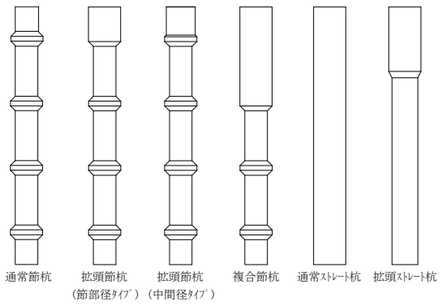
3）杭径

適用する杭径は、以下のとおりである。

根固め部に位置する節杭の軸部径　φ300～φ1200mm（節部径φ400～φ1300mm）
杭周面部に位置するｽﾄﾚｰﾄ杭の径　φ300～φ1200mm
杭周面部に位置する節杭の軸部径　φ300～φ1200mm（節部径φ400～φ1300mm）

4)杭姿図

使用する杭の姿図の例を示す。




5）最大施工深さ

最大施工深さは、先端地盤が砂質地盤の場合は基礎杭施工地盤面－68.5m、先端地盤が礫質地盤の場合は基礎杭施工地盤面－68.5m、先端地盤が粘土質地盤の場合は基礎杭施工地盤面－63.0mとする。

## 3．試験杭

1）試験杭は、本工事の初期あるいは本工事に先立ち、設計・施工計画の妥当性を確認するために実施する。

2）試験杭の位置および数量は、設計図書による。なお、地盤調査結果・敷地状況・建築物の平面計画等を考慮し、設計者と協議して決定する。

3）試験杭の仕様は設計図書に準拠する。設計図書に記載がない場合は、本杭を試験杭とする。また、次の項目について確認する。

1. 施工能率
2. 使用機械・設備の適否
3. 掘削液と充填液の配合・使用量の適否
4. 地盤の崩壊と逸水の有無
5. 地盤の構成
6. 先端地盤
7. くいの設置精度

## 4．施工方法

代表的な施工手順(拡翼作業を伴い拡翼周面部長さが撹拌対象土長さ以上の場合)を下図に示し、概要を以下に記述する。

①杭心ｾｯﾄ～掘削

杭打ち機を所定の位置に据え付け、拡大ヘッドを杭心に合わせて掘削心および鉛直性を確認しつつ、適宜、掘削液を送りながら所定深度まで掘削する。

②掘削完了～根固め部の築造

所定深度まで掘削後、根固め部範囲において拡翼状態で地盤の種類に応じた注入方法により、根固め液を注入しながら根固め部を築造する。

③杭周面部の築造～掘削装置の引き上げ

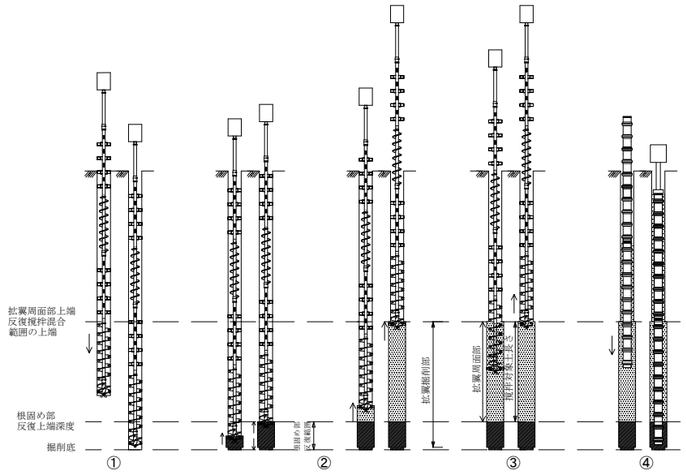
根固め部上端より、杭周面部の築造を行う。杭周充填液を注入しながら所定の拡翼周面部範囲を拡翼掘削し、撹拌対象土量に応じた範囲を上下反復して杭周充填液と掘削土砂を撹拌混合する。

杭周面部の築造後、孔壁に影響がないように掘削装置を引き上げる。

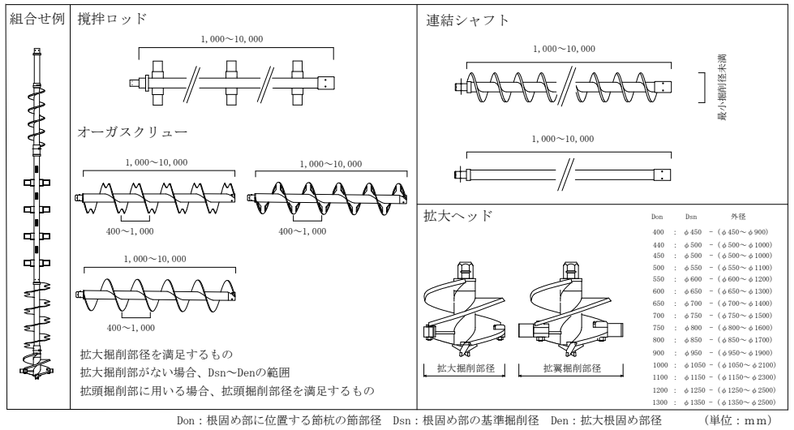
④杭の建て込み～定着

掘削孔内に、鉛直性を確認しながら杭を建て込む。杭の自重による建て込み後、回転圧入、またはモンケンで圧入・軽打することにより、所定の深度まで杭を沈設し、定着させる。なお、継杭の場合は、下杭を保持装置等で保持し、上下の杭の鉛直性を確認して接続した後に杭を建て込む。

なお、周面強化型は、根固め部を築造した後に杭周面部の築造を行うことを原則とするが、先端地盤が砂質地盤または礫質地盤の場合には標準型と同一手順で施工することもある。また、試験掘削または試験杭の結果や地盤状況に応じて、0～0.5mの範囲で杭下拡大根固め部下端から下方に余掘りを行う場合がある。




## 5．掘削装置の形状および寸法




Don：根固め部に位置する節杭の節部径　Dsn：根固め部の基準掘削径　Den：拡大根固め部径　　(単位：mm)

## 6．充填材の配合と管理

1）材料

1. 周面強化型で使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントと高炉セメントB種とする。
2. 練り混ぜに使用する水は、上水道水またはセメント硬化に悪影響のない水とする。

2）杭周充填液

杭周充填液は、ソイルセメントの品質を確保できるように所定の位置で撹拌対象土の1/2の量以上を注入して、掘削土砂と撹拌混合してソイルセメント状にし、杭体と地盤とを一体化させ、標準型より富配合の充填液と無水石膏による収縮低減効果により、杭周面摩擦抵抗を大きく発現させることを目的とする。水セメント比は85%を標準とし、無水石膏添加率は7%を標準とする。

杭周充填液の標準配合(対象土1m³ あたり)を下表に示す。

| セメントの種類 | 水セメント比 W/C (%) | 無水石膏添加率 K/C (%) | セメント C (kg) | 無水石膏 K (kg) | 水 W (L) | 注入量 (m³) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 普通ポルトランドセメント | 85 | 7 | 420 | 29.4 | 357 | 0.500 |
| 高炉セメントB種 | 85 | 7 | 417 | 30 | 353 | 0.500 |

＊密度を普通ポルトランドセメント：3.15g/cm³、高炉セメントB種：3.05g/cm³、無水石膏：2.9g/cm³として計算

3）根固め液

根固め液は、根固め部に注入されるセメントミルクであり、先端支持力を確保するために根固め部の体積量以上を注入する。杭先端平均N値( $\bar{N}$ )と根固め部の拡大比( $\omega_1$ )に応じて、水セメント比は下表の値を標準とする。

| 根固め部の拡大比 $\omega_1$ | 水セメント比 (%) | | |
|---|---|---|---|
| | $\bar{N}\leqq 20$ | $20<\bar{N}\leqq 40$ | $40<\bar{N}$ |
| $1.00\leqq \omega_1 \leqq 1.25$ | 65 | 65 | 65 |
| $1.25< \omega_1 \leqq 1.75$ | 65 | 60 | 60 |
| $1.75< \omega_1 \leqq 2.00$ | 65 | 60 | 55 |

4）強度の管理

1. 充填液の強度の管理試験の回数は下表により行う。
ただし、設計図書に別途定める場合はそれに従う。

| 杭の種別 | | 回数 |
|---|---|---|
| 試験杭 | | 1本毎 |
| 本杭 | 継手のある場合 | 20本毎またはその端数につき1回 |
| | 継手のない場合 | 30本毎またはその端数につき1回 |

2. 1回の試験の供試体の数は、杭周充填液および根固め液を各3本とする。
3. 供試体は、(公社)土木学会「コンクリート標準示方書（規準編）」のPCグラウトのブリーディング率および膨張率試験方法によるポリエチレン袋、（一社）コンクリートパイル・ポール協会「埋込工法に用いる根固め液およびくい周固定液の圧縮強度試験方法」によるポリエチレン袋、またはこれと同等な袋を用いる。グラウトプラントから採取した未固化の充填液を袋に詰め、硬化後に直径50mm・高さ100mm程度の円柱形に仕上げる。
4. 圧縮強度試験は、JIS A 1108-2018（コンクリートの圧縮強度試験方法）による。
5. 充填液の圧縮強度は、材齢28日とし、1回の試験の平均値は下表により管理する。
個々の値は、管理値の85%以上の値にて管理する。

| 杭周充填液 | 根固め液 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 圧縮強度 (N/mm²) | 根固め部の拡大比 $\omega_1$ | 圧縮強度 (N/mm²) | | |
| | | $\bar{N}\leqq 20$ | $20<\bar{N}\leqq 40$ | $40<\bar{N}$ |
| 10 以上 | $1.00\leqq \omega_1 \leqq 1.25$ | 10 以上 | 17 以上 | 22 以上 |
| | $1.25< \omega_1 \leqq 1.75$ | 10 以上 | 25 以上 | 25 以上 |
| | $1.75< \omega_1 \leqq 2.00$ | 10 以上 | 25 以上 | 27 以上 |

5）充填液の密度管理

1. 杭周充填液および根固め液の密度測定を1日1回以上行う。
2. 計量・練り混ぜ及び計測のばらつきを考慮し、かつ、所定の圧縮強度が得られる値として、測定結果が計算密度の-1～+3%の範囲であることを確認する。

## 7．施工記録

施工報告書に記載する内容は下記の通りとする。

1. 工事概要
2. 実施工程表
3. 使用杭の仕様
4. 施工方法概要
5. 施工機械の仕様
6. 充填液の材料・配合・使用量・圧縮強度試験結果
7. 試験杭または試験掘削の記録
8. 本杭施工記録
9. 杭配置図
10. 地盤調査結果

| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S-10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | | | 図面名 | Smart-MAGNUM工法(周面強化型)　特記仕様書 | 縮尺 | A1：－ A3：－ | | |

Ver. 20200917

－既製コンクリート杭の杭頭接合技術－

# パイルスタッド工法　設計・施工　標準図

（一財）日本建築センターによる建設技術審査証明（２０２０年度版）　ＢＣＪ－審査証明－７

パイルスタッド工法研究会

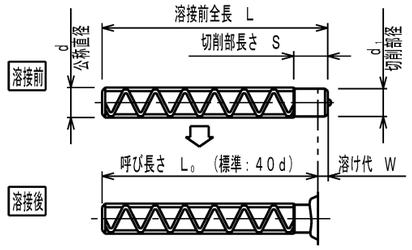
日本スタッドウェルディング株式会社
株式会社大谷工業
岡部株式会社

## 1．パイルスタッド工法概要

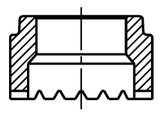
パイルスタッド工法は、溶接性に優れた異形棒鋼ＫＳＷ４９０を杭頭端板に直接スタッド溶接することにより、抗体に悪影響を及ぼすことがなく、抗体と基礎スラブとを接合する技術である。

## 2．使用材料

① パイルスタッド　（スタッド溶接専用異形棒鋼）
KSW490（JIS G 3112 SD345）




② フェルール
セラミック製の溶接補助材



パイルスタッドおよびフェルールの種類　（括弧内の寸法は、標準の呼び長さ４０ｄの場合）

| サイズ | 呼び名 | 各部寸法 | | | | 適用フェルール* | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | $d_1$ | L | W | S | 岡部（株） | （株）大谷工業 | 日本スタッドウェルディング（株） |
| D13 | D13×$L_0$（520） | 13.0 | $L_0$+6（526） | 2~6 | 18 | A－13 | D－13 | 100－101－114 |
| D16 | D16×$L_0$（640） | 16.0 | $L_0$+6（646） | 2~6 | 20 | A－16 | D－16 | 100－101－012 |
| D19 | D19×$L_0$（760） | 19.1 | $L_0$+7（767） | 3~7 | 28 | A－19 | D－19 | 100－101－152 |
| D22 | D22×$L_0$（880） | 22.2 | $L_0$+7（887） | 3~7 | 30 | A－22 | D－22 | 100－101－140 |
| D25 | D25×$L_0$（1000） | 25.4 | $L_0$+9（1009） | 5~9 | 37 | A－25 | D－25 | 100－101－045 |

※　スタッドメーカーとフェルールの組合せは限定しない

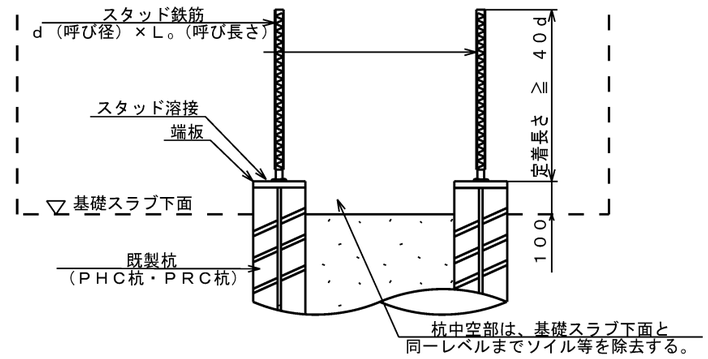
パイルスタッド（ＫＳＷ４９０）の化学成分および機械的性質

| 化学成分　（%） | | | | | | 機械的性質 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C | Si | Mn | P | S | C+Mn／6 | 降伏点（N／mm²） | 引張強さ（N／mm²） | 伸び（%） |
| 0．20以下 | 0．15~0．35 | 0．30~0．90 | 0．035以下 | 0．035以下 | 0．35以下 | 345~440 | 490以上 | 20以上 |

## 3．杭頭接合仕様

| 杭仕様 | | | パイルスタッド仕様 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 杭径 | 杭種 | 杭本数 | 鉄筋径 | 呼び長さ | 本／１杭 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

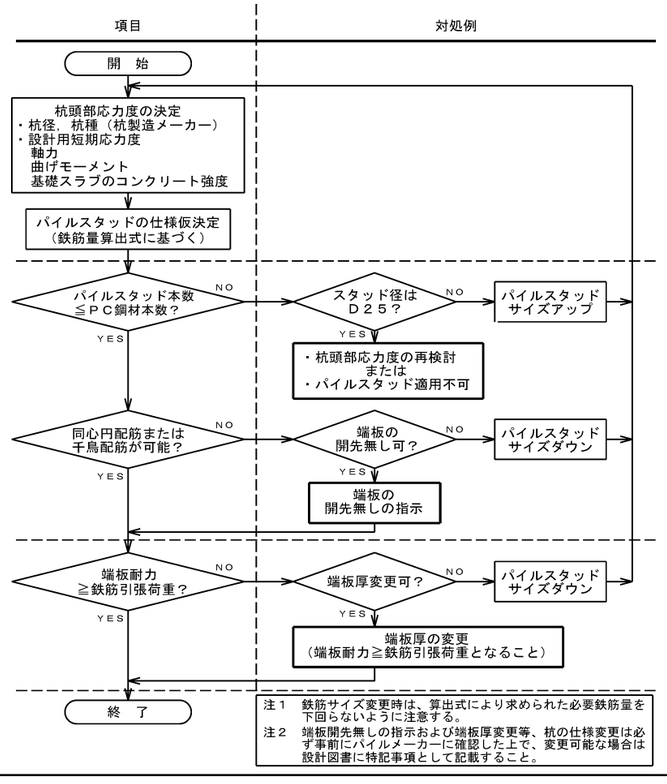
## 4．杭頭接合構造図




## 5．設計に関する考え方の一例

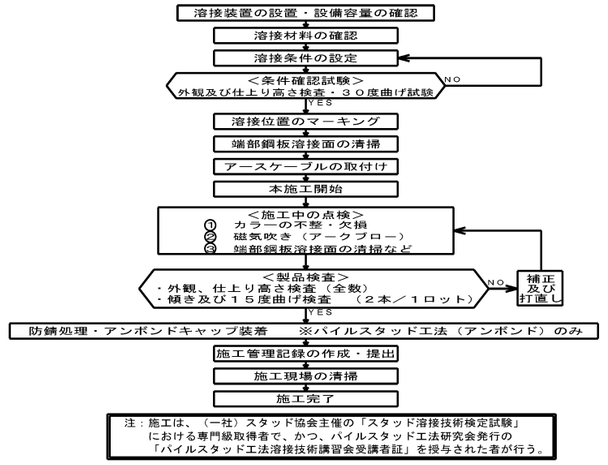
下図設計手順例は、適用にあたっての一つの参考例であり、構造設計者の考え方に基づく適切な設計法により杭頭接合鉄筋量を算出することが望ましい。
詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録による。

設計手順例




## 6．パイルスタッド工法　標準施工フロー

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書の「施工要領」による）




注：施工は、（一社）スタッド協会主催の「スタッド溶接技術検定試験」における専門級取得者で、かつ、パイルスタッド工法研究会発行の「パイルスタッド工法溶接技術講習会受講者証」を授与された者が行う。

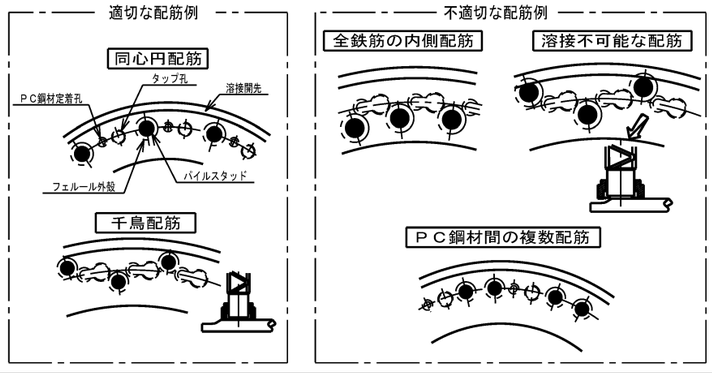
## 7．製品検査規定

| 頻度 | 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 |
|---|---|---|---|
| 全数検査 | 外観検査 | 目視 | カラーが軸部全周に包囲して、アンダーカットの無いこと |
| | 仕上り高さ | ゲージ等による | 設計寸法－０mm～＋４mm |
| 抜取検査 | 傾き検査 | ゲージ等による | $\theta \leqq 5^\circ$ |
| | 曲げ検査 | パイプ曲げ等による | 溶接部に割れなどの欠陥が生じないこと |

## 8．パイルスタッドの配筋規定

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録の「配置計画」による）

１）　フェルール外殻が端板の開先やＰＣ鋼材孔と重ならない位置に溶接する。
２）　ＰＣ鋼材径と同心円上の位置への配筋を基本とする。（同心円配筋）
３）　同心円配筋ができない程ＰＣ鋼材間が狭隘な場合、フェルールをＰＣ鋼材孔の同心円上の外側、内側と交互に配筋する。（千鳥配筋）
４）　杭当たりの配筋本数は、６本以上かつＰＣ鋼材本数以下を原則とする。
５）　ＰＣ鋼材孔間に２本以上配筋しないことを原則とする。
６）　パイルスタッドのあきは、基礎スラブコンクリート粗骨材最大寸法の１．２５倍以上かつパイルスタッド公称直径の１．５倍以上とする。
　　また、パイルスタッド中心とＰＣ鋼材中心は２０mm程度離す。




| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S-11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | パイルスタッド工法 設計・施工 標準図 | 縮尺 | A1：－<br>A3：－ | | |

## ボーリング柱状図

調査名　令和２年度長尾小学校改築工事地質調査業務

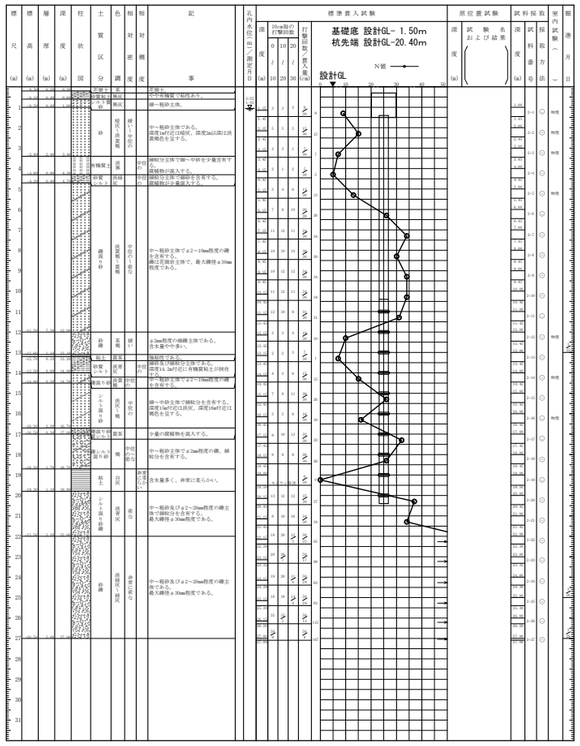
事業・工事名

ボーリングNo.

| | | | |
|---|---|---|---|
| ボーリング名 | Ｎｏ．２ | 調査位置 | 香川県さぬき市長尾東地内 |
| 発注機関 | さぬき市教育委員会 | 調査期間 | 2021年 3月 25日 ～ 2021年 3月 26日 |
| 調査業者名 | 株式会社 増田地質工業<br>電話（０８７－８６２－５２５９） | 主任技師 | 植野　直二 |
| 孔口標高 | GH=KBM +0.50m | 角度 | 方向 |
| 総掘進長 | 27.00m | 使用機種 | エンジン　ヤンマーNFD-90型 |

北緯　34° 15′ 50.09″
東経　134° 10′ 38.19″

現場代理人　松本　陸
コア鑑定者　松本　陸
ボーリング責任者　山本　茂記
試錐機械　東邦D-1型
ハンマー落下用具　半自動落下
ポンプ　東邦BG-3型




## ボーリング柱状図

調査名　令和２年度長尾小学校改築工事地質調査業務

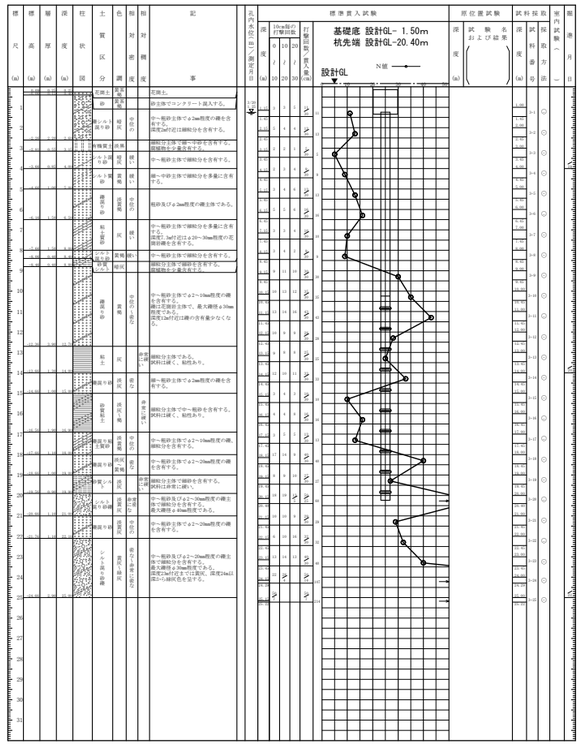
事業・工事名

ボーリングNo.

| | | | |
|---|---|---|---|
| ボーリング名 | Ｎｏ．３ | 調査位置 | 香川県さぬき市長尾東地内 |
| 発注機関 | さぬき市教育委員会 | 調査期間 | 2021年 3月 19日 ～ 2021年 3月 22日 |
| 調査業者名 | 株式会社 増田地質工業<br>電話（０８７－８６２－５２５９） | 主任技師 | 植野　直二 |
| 孔口標高 | GH=KBM +0.34m | 角度 | 方向 |
| 総掘進長 | 25.00m | 使用機種 | エンジン　ヤンマーNFD-90型 |

北緯　34° 15′ 50.81″
東経　134° 10′ 36.40″

現場代理人　松本　陸
コア鑑定者　松本　陸
ボーリング責任者　山本　茂記
試錐機械　東邦D-1型
ハンマー落下用具　半自動落下
ポンプ　東邦BG-3型




## ボーリング柱状図

調査名　令和２年度長尾小学校改築工事地質調査業務

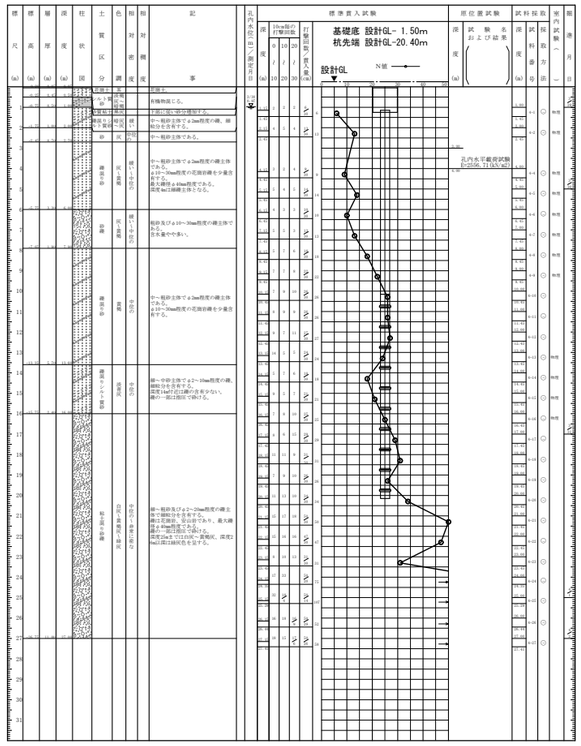
事業・工事名

ボーリングNo.

| | | | |
|---|---|---|---|
| ボーリング名 | Ｎｏ．４ | 調査位置 | 香川県さぬき市長尾東地内 |
| 発注機関 | さぬき市教育委員会 | 調査期間 | 2021年 3月 29日 ～ 2021年 4月 2日 |
| 調査業者名 | 株式会社 増田地質工業<br>電話（０８７－８６２－５２５９） | 主任技師 | 植野　直二 |
| 孔口標高 | GH=KBM +0.24m | 角度 | 方向 |
| 総掘進長 | 31.00m | 使用機種 | エンジン　ヤンマーNFD-90型 |

北緯　34° 15′ 51.46″
東経　134° 10′ 37.09″

現場代理人　松本　陸
コア鑑定者　松本　陸
ボーリング責任者　山本　茂記
試錐機械　東邦D-1型
ハンマー落下用具　半自動落下
ポンプ　東邦BG-3型




## ボーリング柱状図

調査名　令和２年度長尾小学校改築工事地質調査業務

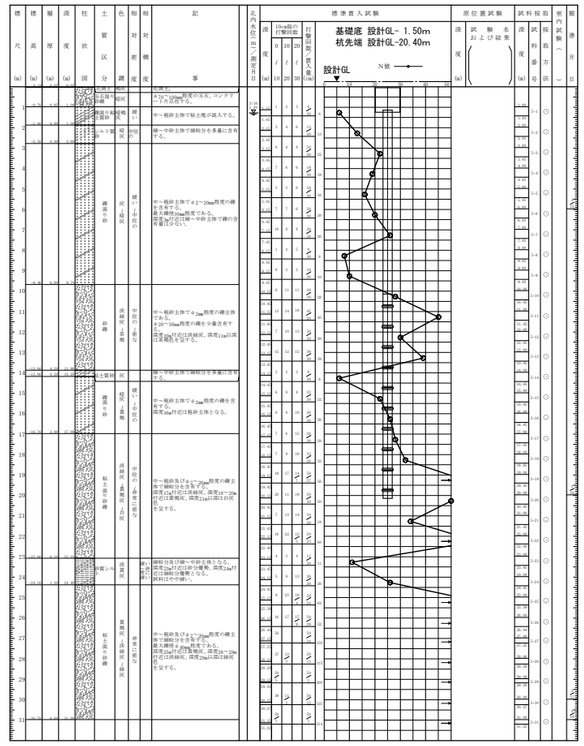
事業・工事名

ボーリングNo.

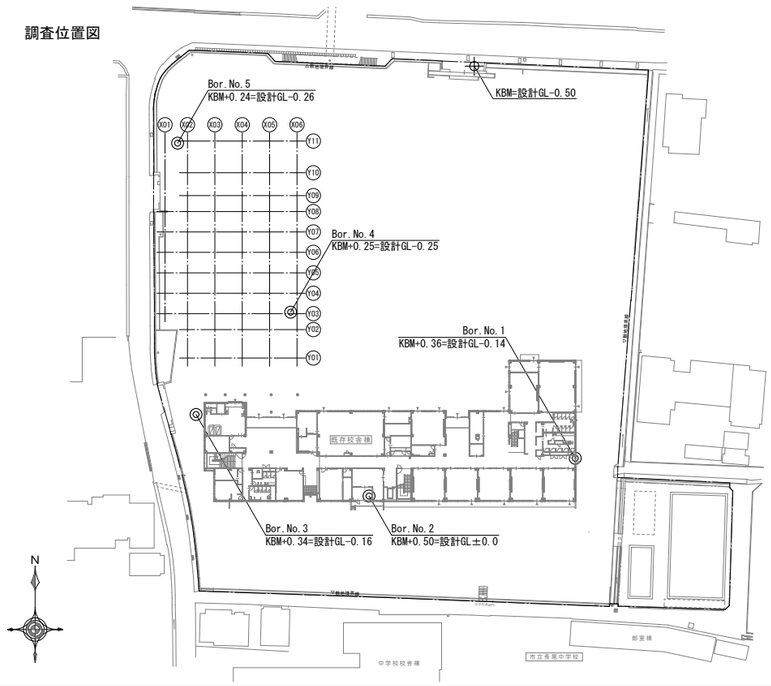
| | | | |
|---|---|---|---|
| ボーリング名 | Ｎｏ．５ | 調査位置 | 香川県さぬき市長尾東地内 |
| 発注機関 | さぬき市教育委員会 | 調査期間 | 2021年 3月 15日 ～ 2021年 3月 18日 |
| 調査業者名 | 株式会社 増田地質工業<br>電話（０８７－８６２－５２５９） | 主任技師 | 植野　直二 |
| 孔口標高 | GH=KBM +0.24m | 角度 | 方向 |
| 総掘進長 | 31.00m | 使用機種 | エンジン　ヤンマーNFD-90型 |

北緯　34° 15′ 52.45″
東経　134° 10′ 36.16″

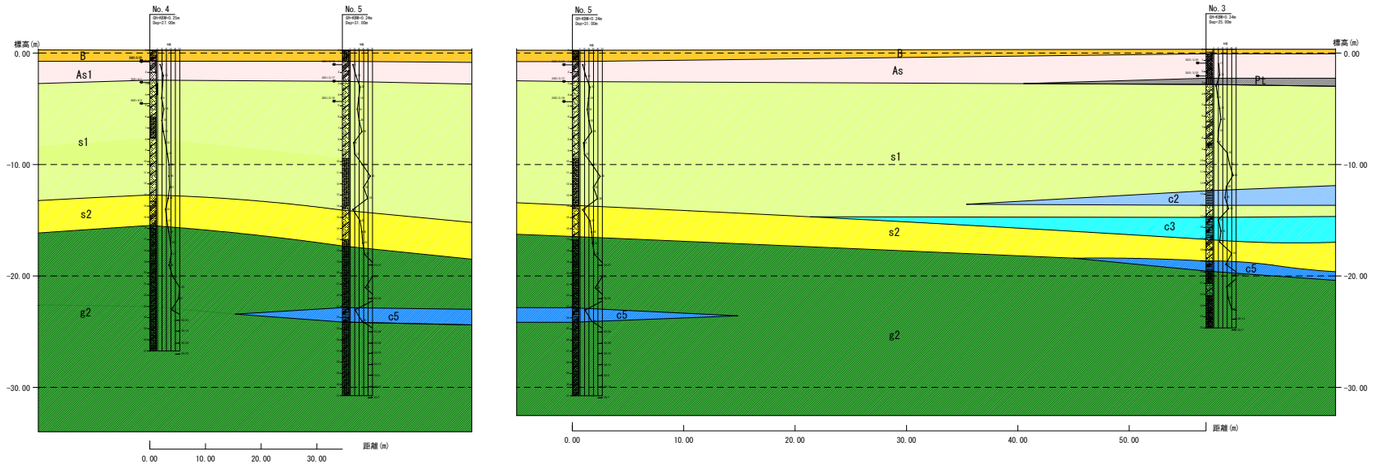
現場代理人　福丸　寛
コア鑑定者　松本　陸
ボーリング責任者　山本　茂記
試錐機械　東邦D-1型
ハンマー落下用具　半自動落下
ポンプ　東邦BG-3型




## 調査位置図




## 推定地質断面図




地　質　凡　例

| | | |
|---|---|---|
| B | 盛　土　層 | 新生代第四紀完新世 |
| As | 沖積第1砂質土層 | |
| Pt | 有機質土層 | |
| s1 | 第1砂質土層 | 新生代第四紀更新世 |
| s2 | 第2砂質土層 | |
| c1 | 第1粘性土層 | |
| c2 | 第2粘性土層 | |
| c3 | 第3粘性土層 | |
| c4 | 第4粘性土層 | |
| c5 | 第5粘性土層 | |
| g1 | 第1礫質土層 | |
| g2 | 第2礫質土層 | |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

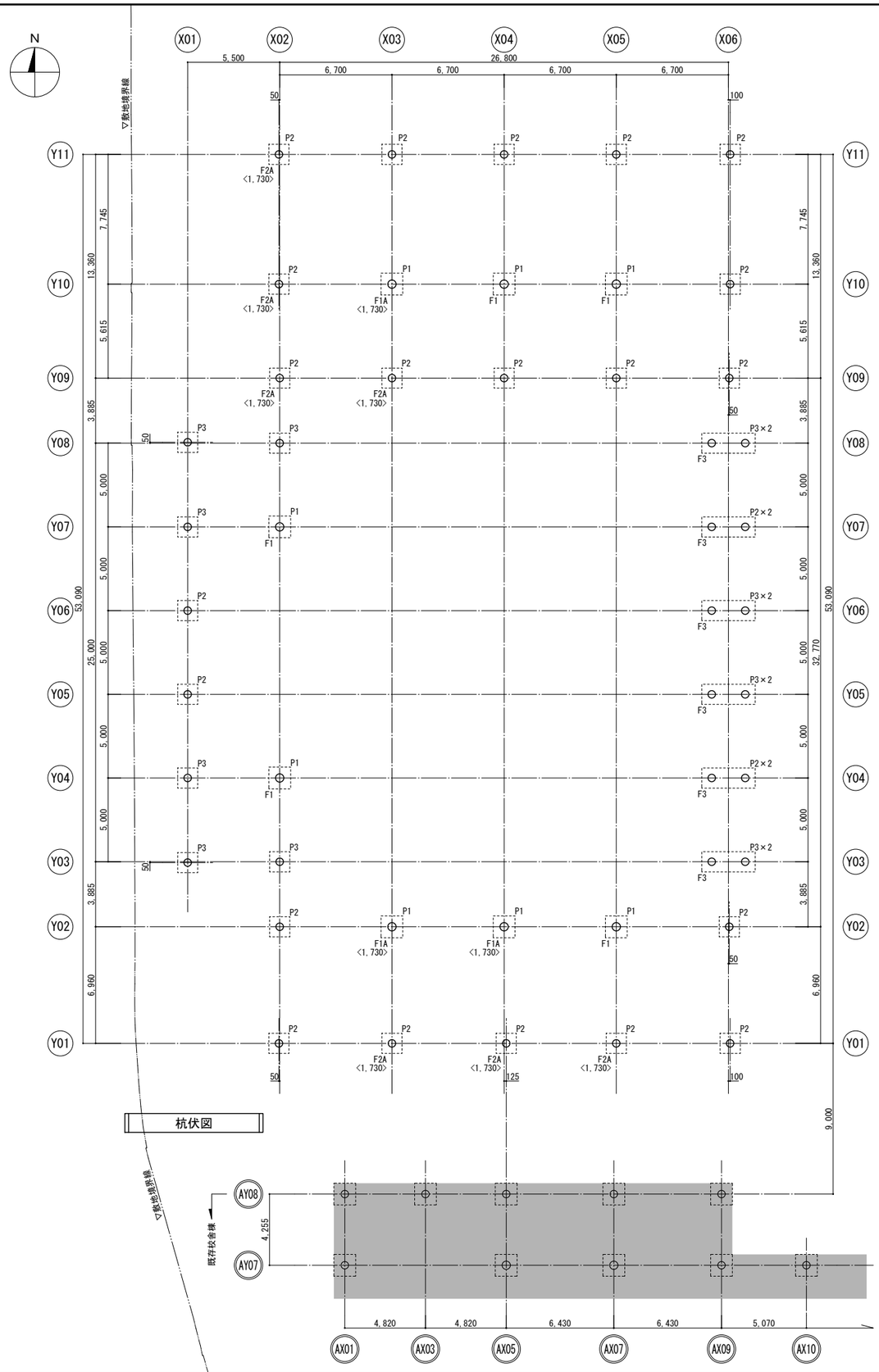
管理建築士　一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋

照査

担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　７年　３月 |
| 図面名 | ボーリング柱状図 | 縮尺 | A1：－<br>A3：－ |

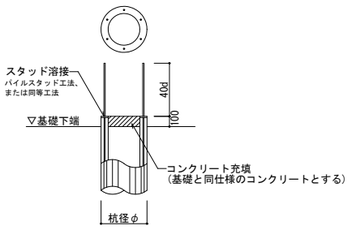
図面番号　S-12




## 杭リスト

Smart-MAGNUM工法(周面強化型)　認定番号：TACP-0625(砂)・0626(礫)・0627(粘土)

| 符　号 | 本数 | 杭頭位置 (m) | 杭先端位置 (m) | 杭全長 (m) | 杭頭補強筋 | 上　杭 | | 下　杭 | | 拡大掘削部径 Des (mm) | 拡大根固め部径 Den (mm) | 拡大比 ωp | 杭下拡大根固め部長さ (m) | 長期許容支持力 (kN/本) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 杭　種 | 杭長(m) | 杭　種 | 杭長(m) | | | | | |
| P1 | 5 | 1.40 | 20.40 | 19.0 | 8-D19 | JP-PHC φ500 (B種 105N) | 9.0 | JP-NPH φ650-500 (A種 105N) | 10.0 | 800 | 800 | 1.14 | LL = 1.0 | 1,900 |
| P1A | 3 | 1.63 | 20.63 | | | | | | | | | | | |
| P2 | 18 | 1.40 | 20.40 | 19.0 | 8-D19 | JP-PHC φ450 (C種 105N) | 9.0 | JP-NPH φ450-300-450 (A種 123N) | 10.0 | 700 | 700 | 1.40 | LL = 1.0 | 1,200 |
| P2A | 7 | 1.63 | 20.63 | | | | | | | | | | | |
| P3 | 14 | 1.40 | 20.40 | 19.0 | 8-D22 | JP-PRC φ450 (I種 105N) | 9.0 | JP-NPH φ450-300-450 (B種 123N) | 10.0 | 700 | 700 | 1.40 | LL = 1.0 | 1,000 |



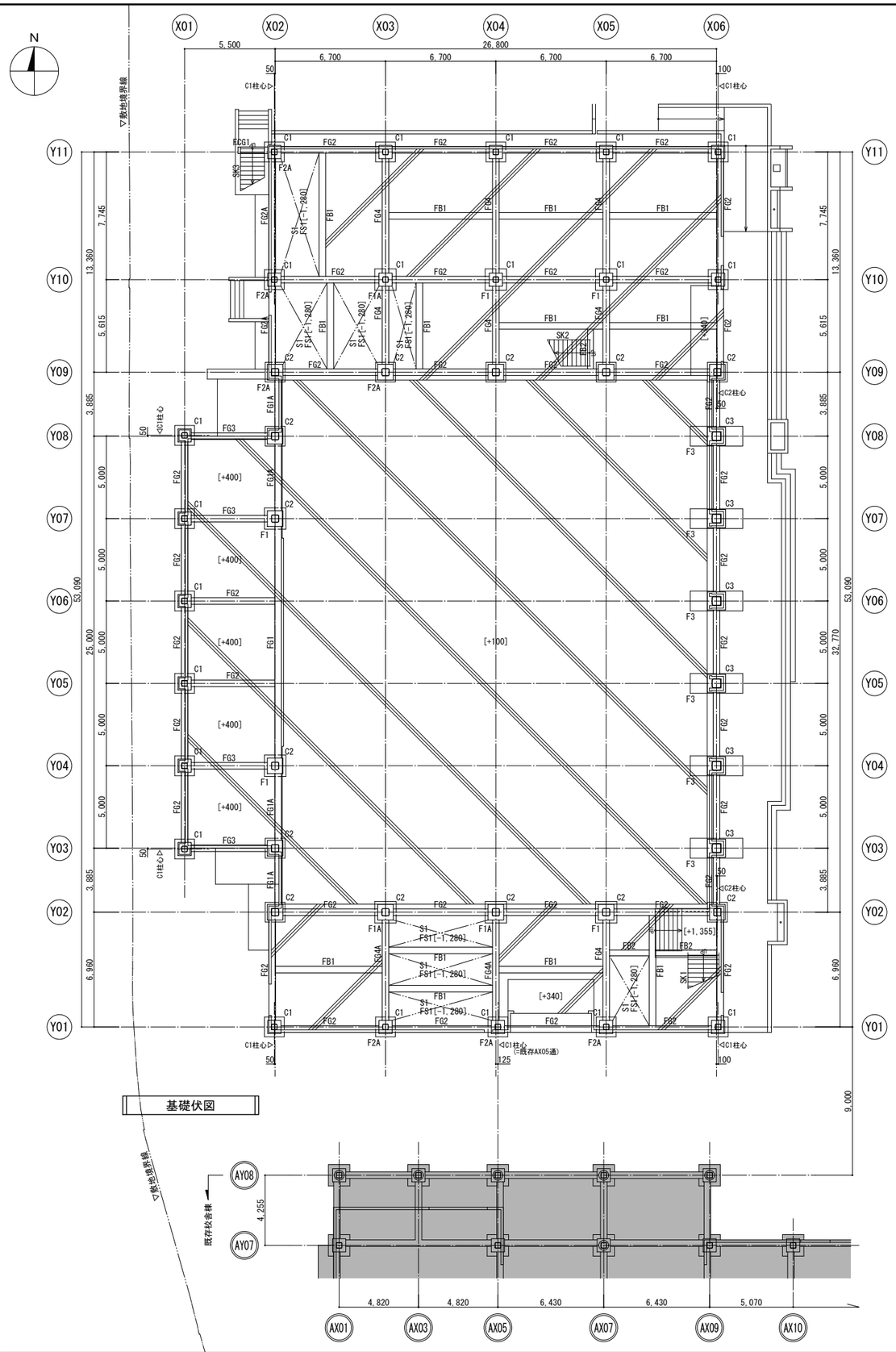

杭頭補強要領

記事
- 特記無き限り下記による。
- ・基礎符号は F2 とする。
- ・基礎下端は GL-1,500 とする。
- ・杭打設1本目を試験杭とする。
- ・杭施工偏心については、現場施工の実測値にて再確認を行い、変更等発生する場合は然るべき手続きを行う。
- ・〈 〉内の数値は、GLからの基礎下端レベルを示す。
- ・ 杭の施工誤差により50mmを超えて偏心を生じた場合は、基礎フーチングを杭心に合わせて移動する。

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

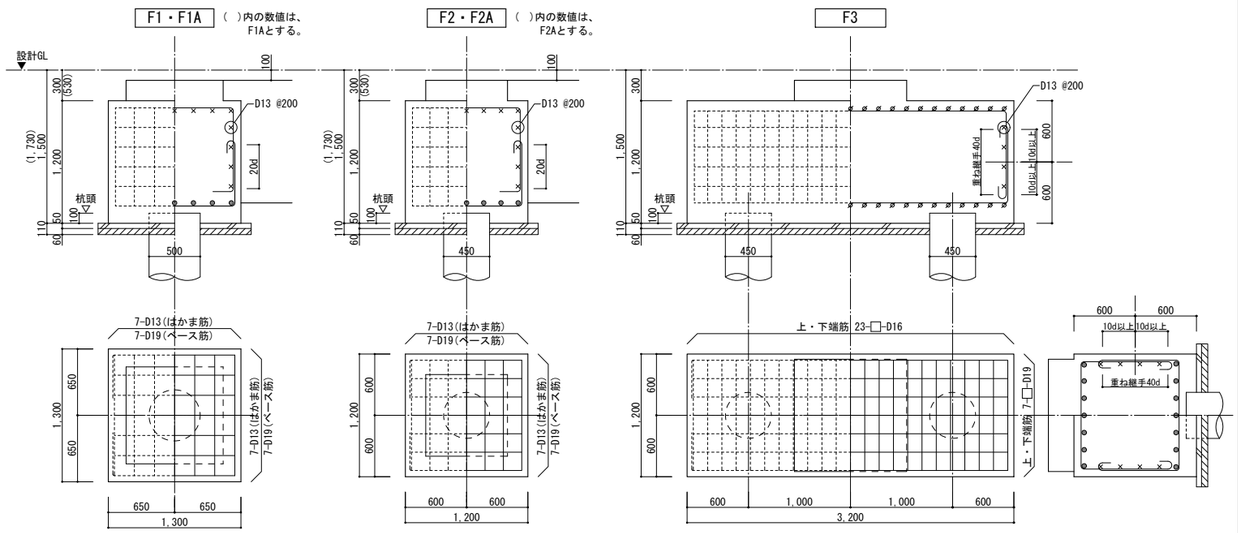
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 | 図面番号 | S-13 |
| 図面名 | 杭伏図，杭リスト | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 | | |




## 基礎伏図

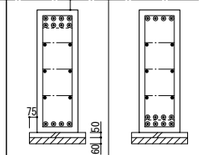
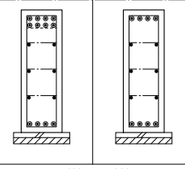
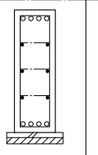
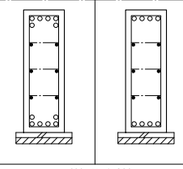
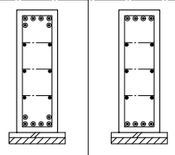
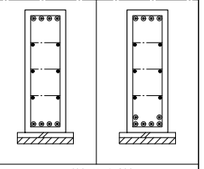
## 基礎リスト

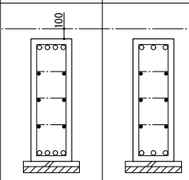
コンクリート：Fc24N/mm2




## 基礎梁リスト

・コンクリート：Fc24N/mm2
・幅止筋は D10 @1,000以内とする。

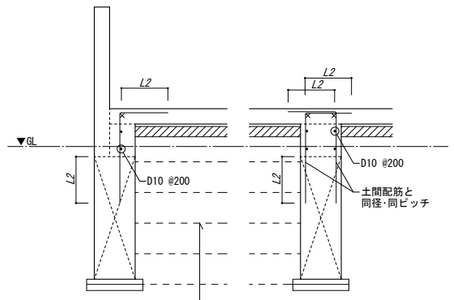
| 符号 | FG1 | | FG1A | | FG2・FCG1 | FG2A | | FG3 | FG4 | FG4A | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 位置 | 端部 | 中央 | Y04,Y07 端 | 中央・他端 | 全断面 | Y10 端 | 中央・他端 | 全断面 | 全断面 | 外端 | 中央・他端 |
| 断面図 |  | |  | |  |  | |  |  |  | |
| B×D | 400 × 1,200 | | 400 × 1,200 | | 400 × 1,200 | 400 × 1,200 | | 400 × 1,200 | 400 × 1,200 | 400 × 1,200 | |
| 上端筋 | 4/4-D25 | 4-D25 | 4/4-D25 | 4-D25 | 4-D22 | 4/2-D22 | 4-D22 | 4/2-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 |
| 下端筋 | 4-D25 | 4/4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D22 | 4/2-D22 | 4-D22 | 4/2-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4/2-D25 |
| 肋筋 | 2-D13 @200 | | 2-D13 @200 | | 2-D13 @200 | 2-D13 @200 | | 2-D13 @200 | 2-D13 @200 | 2-D13 @200 | |
| 腹筋 | 6-D10 | | 6-D10 | | 6-D10 | 6-D10 | | 6-D10 | 6-D10 | 6-D10 | |

| 符号 | FB1 | FB2 |
|---|---|---|
| 位置 | 全断面 | 全断面 |
| 断面図 |  | |
| B×D | 400 × 1,200 | 350 × 1,200 |
| 上端筋 | 4-D22 | 3-D22 |
| 下端筋 | 4-D22 | 3-D22 |
| 肋筋 | 2-D13 @200 | 2-D10 @200 |
| 腹筋 | 6-D10 | 6-D10 |

## 底版リスト

コンクリート：Fc24N/mm2
※ 主筋方向は、伏図の床版符号文字の向きにより、次に示す通りとする。　S1 ⇄ ⇅

| 符号 | 厚さ | 位置 | 主筋方向配筋 | 配力筋方向配筋 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| S1 | 150 | 上端筋 | D13 @200 | D13 @200 | ピット上部床 |
| | | 下端筋 | D13 @200 | D13 @200 | |
| FS1 | 250 | 上端筋 | D13 @150 | D13 @150 | ピット底盤 |
| | | 下端筋 | D13 @150 | D13 @150 | |




※アリーナ部分の土間下は、300～400mm以内毎に転圧重機による十分な締め固め作業を行う。

土間コンクリート定着要領図

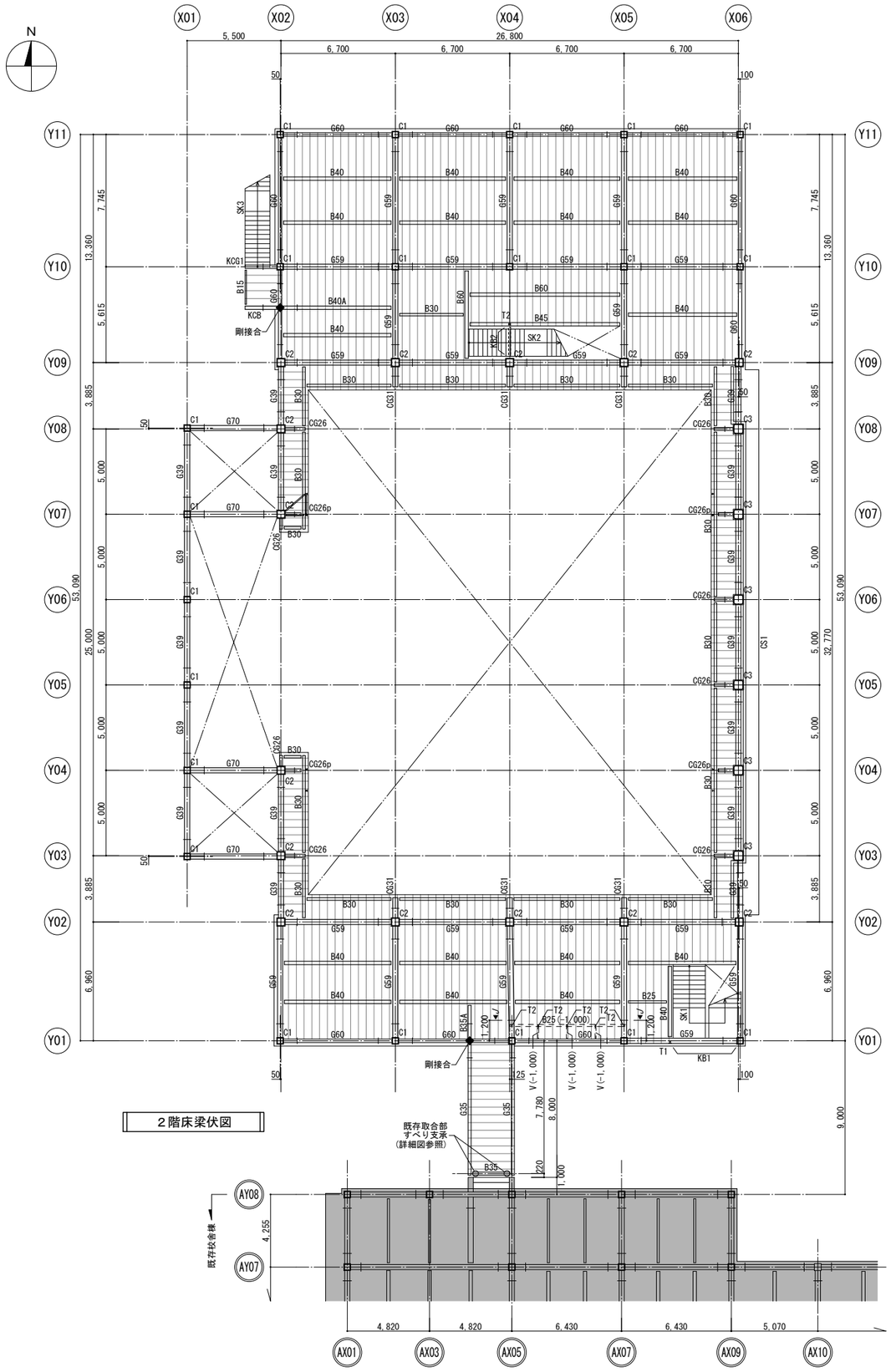
【鉄筋凡例】
× D13
• D10
特記無 D10 @200

記事
特記無き限り下記による。
・柱心＝基礎心とする。
・基礎符号は F2 とする。
・基礎梁天端は GL-100 とする。
・全ての基礎梁上端～土間下端間は梁幅の増打とする。
・土間天端は GL+370 とする。
・[　]内の数値は、GLからの土間およびスラブ天端レベルを示す。
・土間コンクリートt150：D10 @200 シングル(X,Y方向共)を示す。
・土間コンクリートt180：D10 @200 ダブル(X,Y方向共)を示す。
・外部土間は意匠図による。

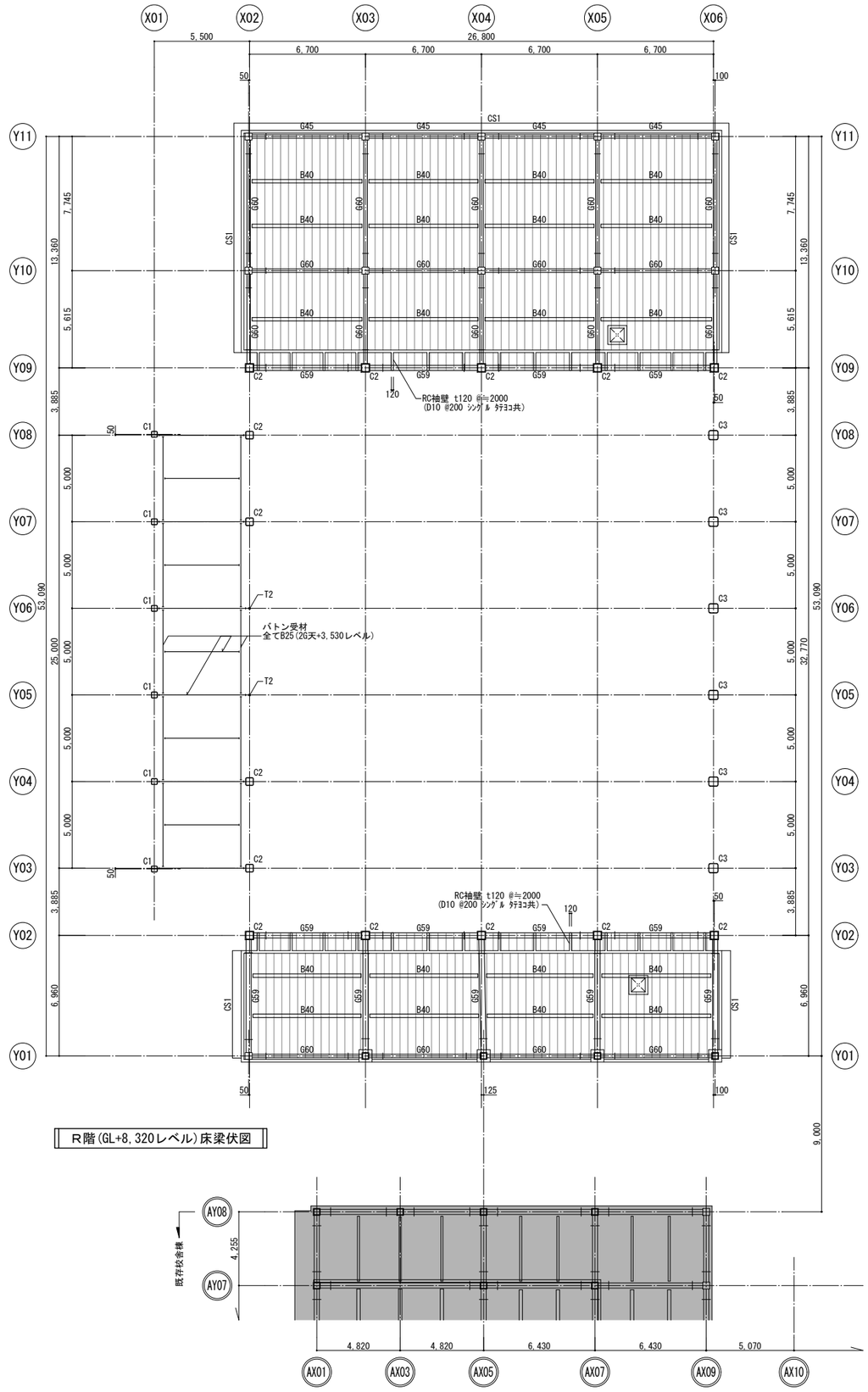
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 3 6 1 2 1 7 号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 ７年 ３月 |
| 図面名 | 基礎伏図，基礎・基礎梁リスト | 縮尺 | A1：1/150, 30<br>A3：1/300, 60 |
| | | 図面番号 | S-14 |




2階床梁伏図



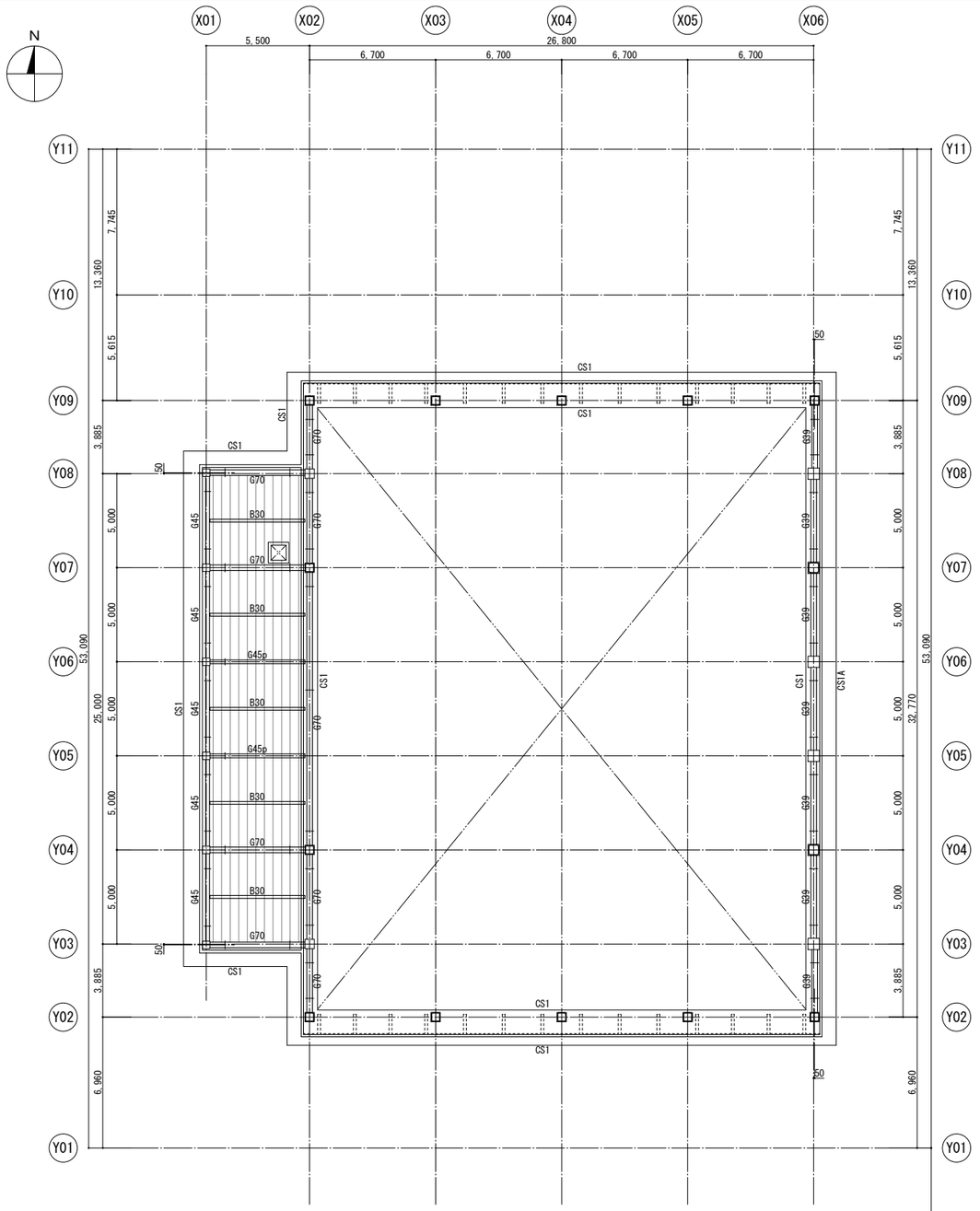

R階(GL+8,320レベル)床梁伏図

記事
特記無き限り下記による。
・大梁継手位置は柱心から 1,000 とする。
・□□□は、床符号 DK1 の範囲,及びデッキ流し方向を示す。
・( )内の数値は、26天からの梁天端レベルを示す。

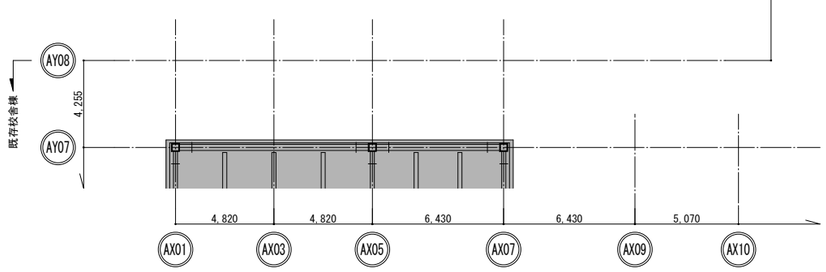
株式会社
真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 床梁伏図（1） | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 |
| | | 図面番号 | S-15 |

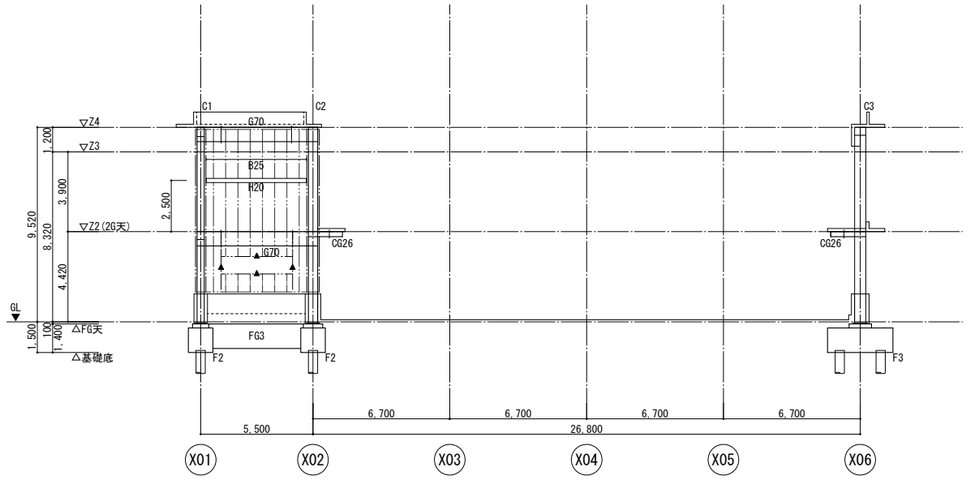



R階(GL+9,520レベル)床梁伏図

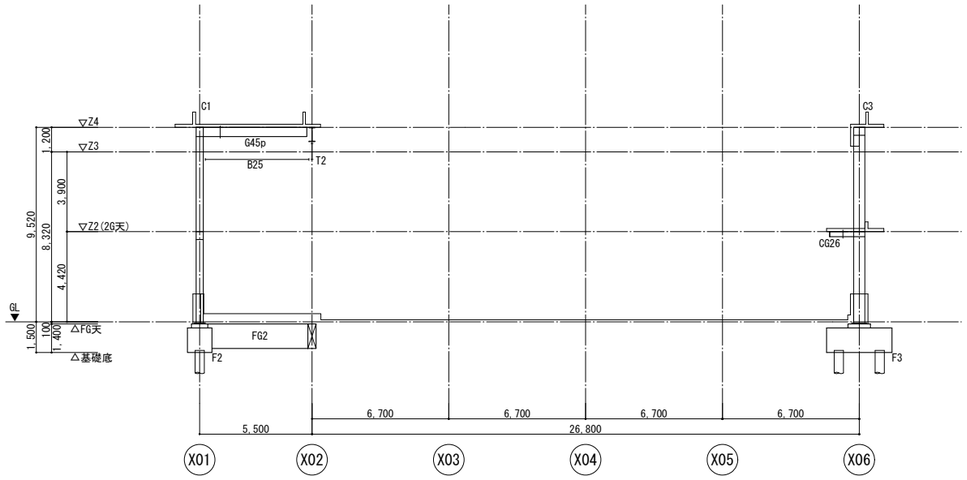



| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | 照査 | 担当 | | 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | | | 図面名 | 床梁伏図（2） | 縮尺 | A1: 1/150 A3: 1/300 |

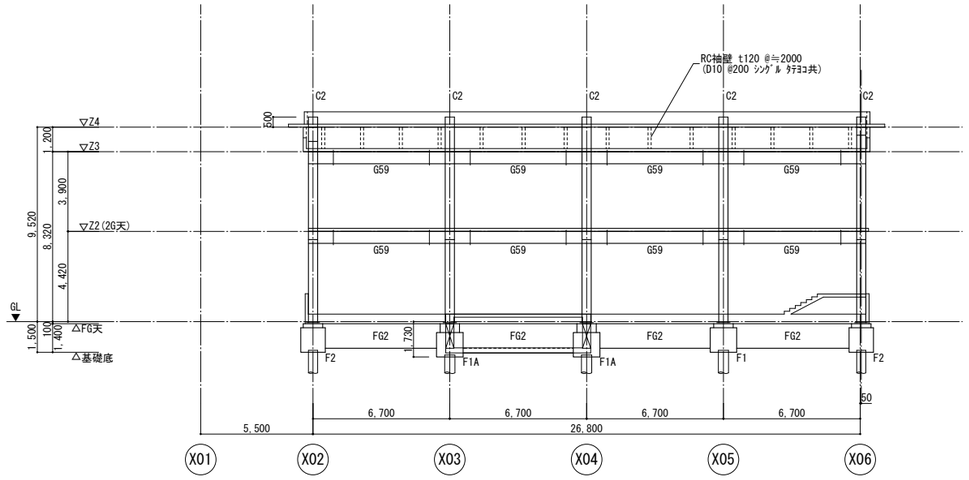
図面番号 S-16



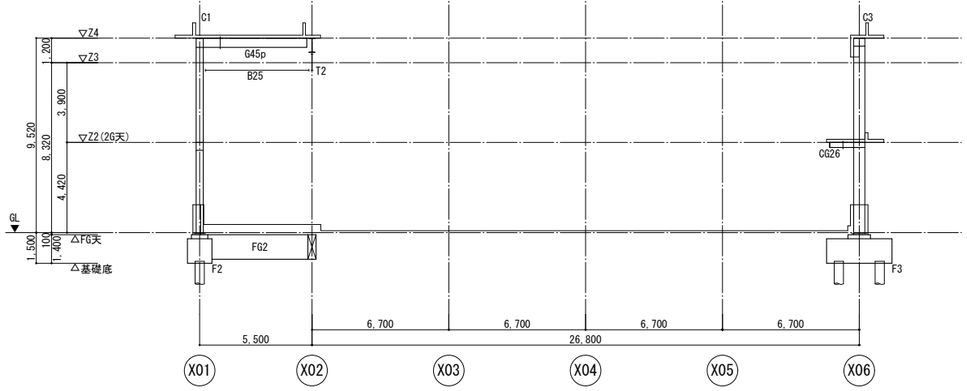

Y03通り軸組図



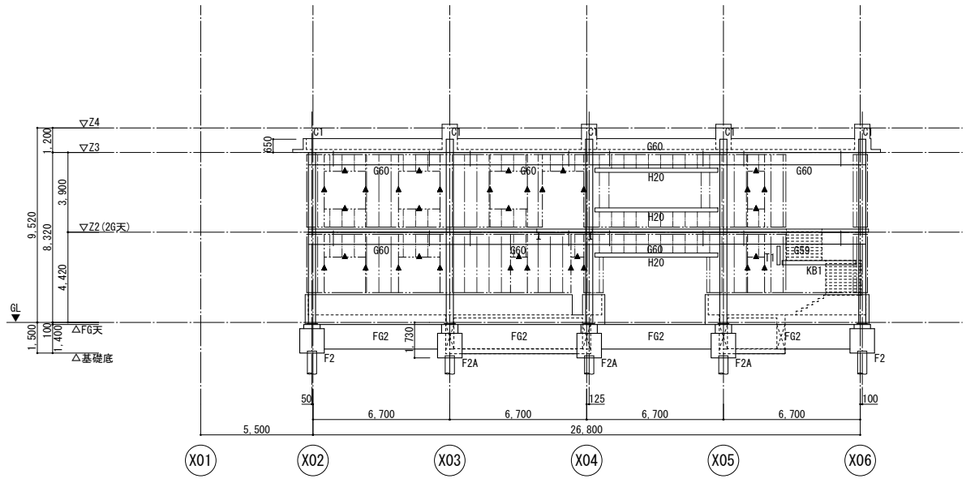

Y06通り軸組図



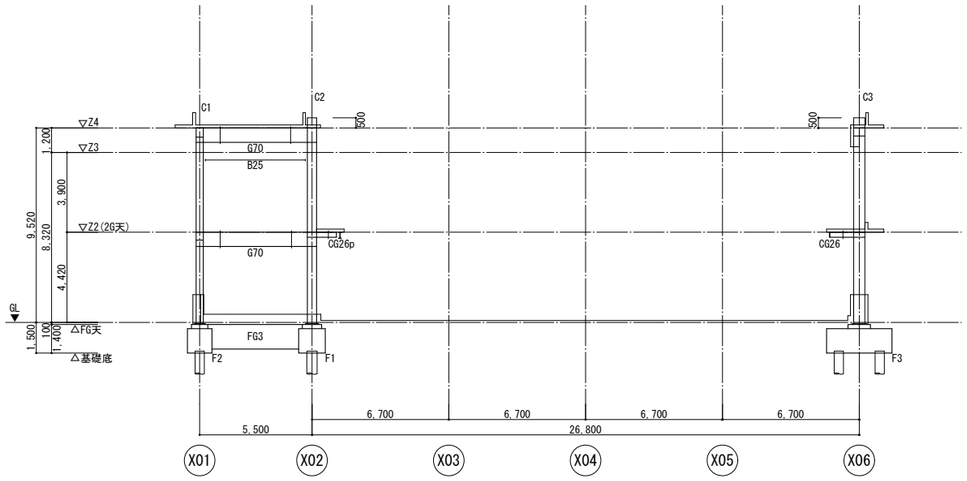

Y02通り軸組図




Y05通り軸組図




Y01通り軸組図




Y04通り軸組図

【胴線凡例】

- 胴線　：C-100×50×20×2.3 @600
- 開口補強：□-100×100×2.3
- H17 開口補強：H-175×175×7.5×11(横使い)
- H20 開口補強：H-200×200×8×12(横使い)

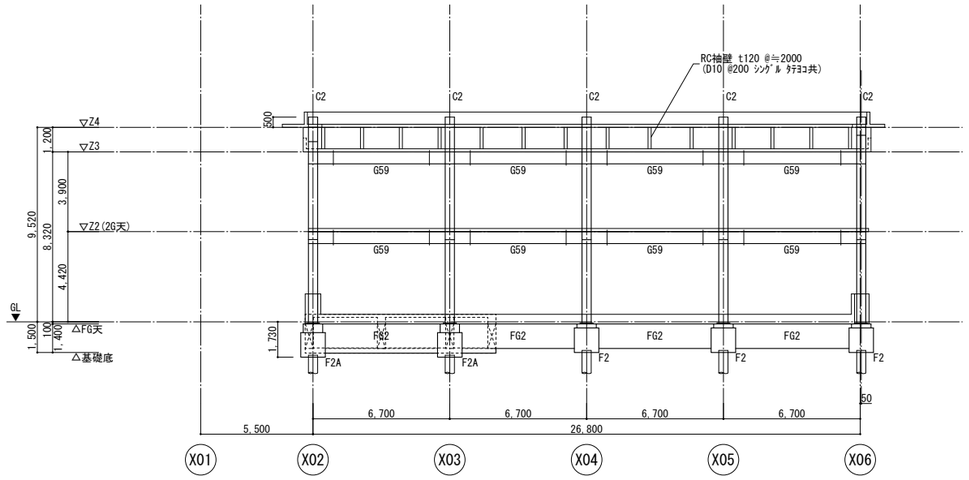
記事

特記無き限り下記による。
・大梁継手位置は柱心から 1,000 とする。

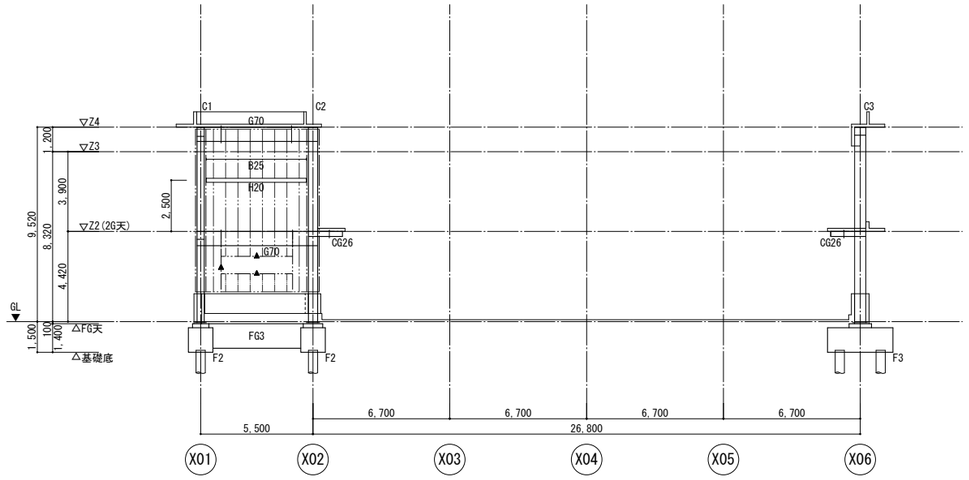
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

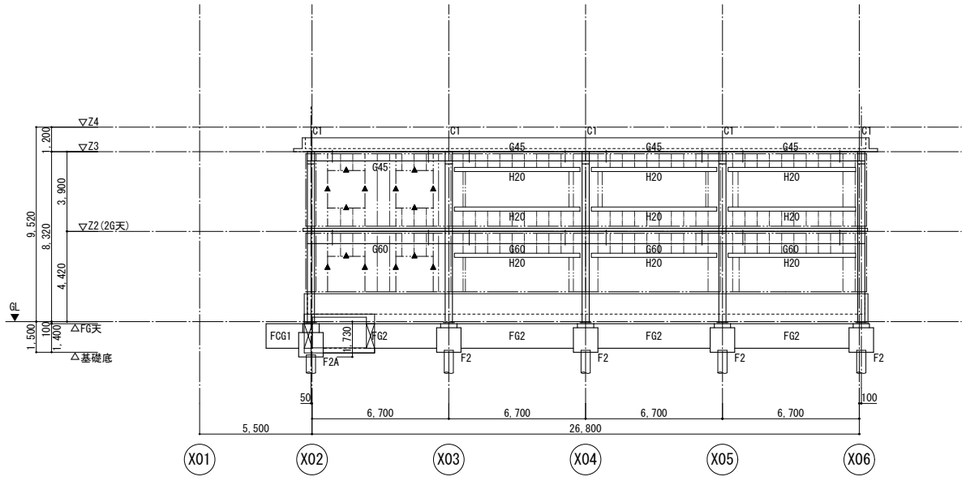
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 軸組図（１） | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 |
| | | 図面番号 | S-17 |



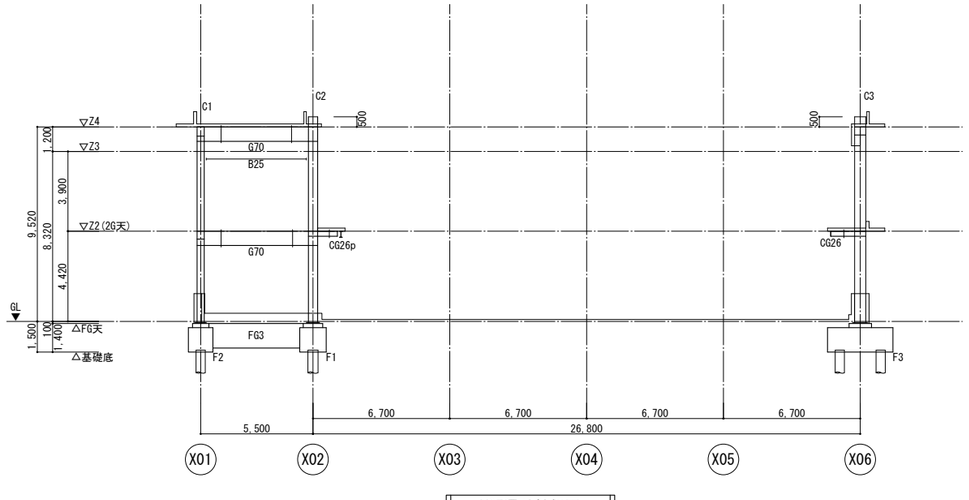

Y09通り軸組図



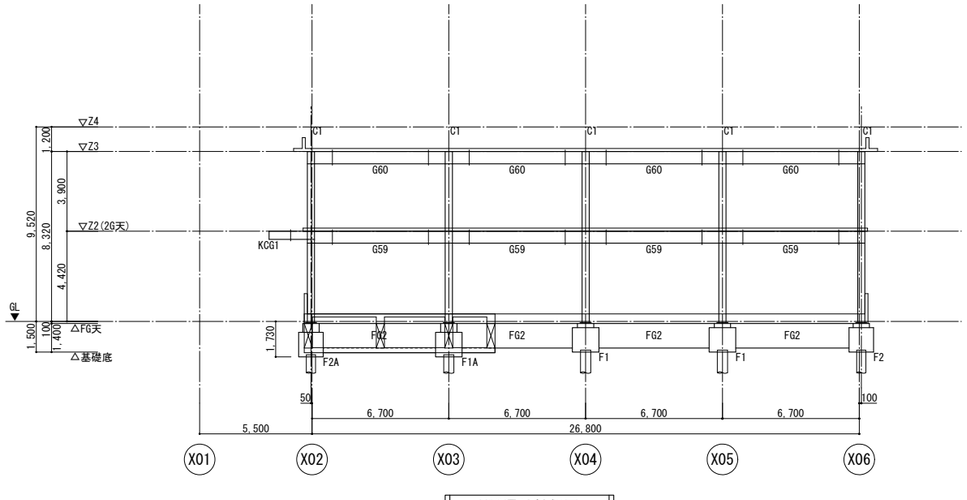

Y08通り軸組図




Y11通り軸組図




Y07通り軸組図




Y10通り軸組図

【胴線凡例】

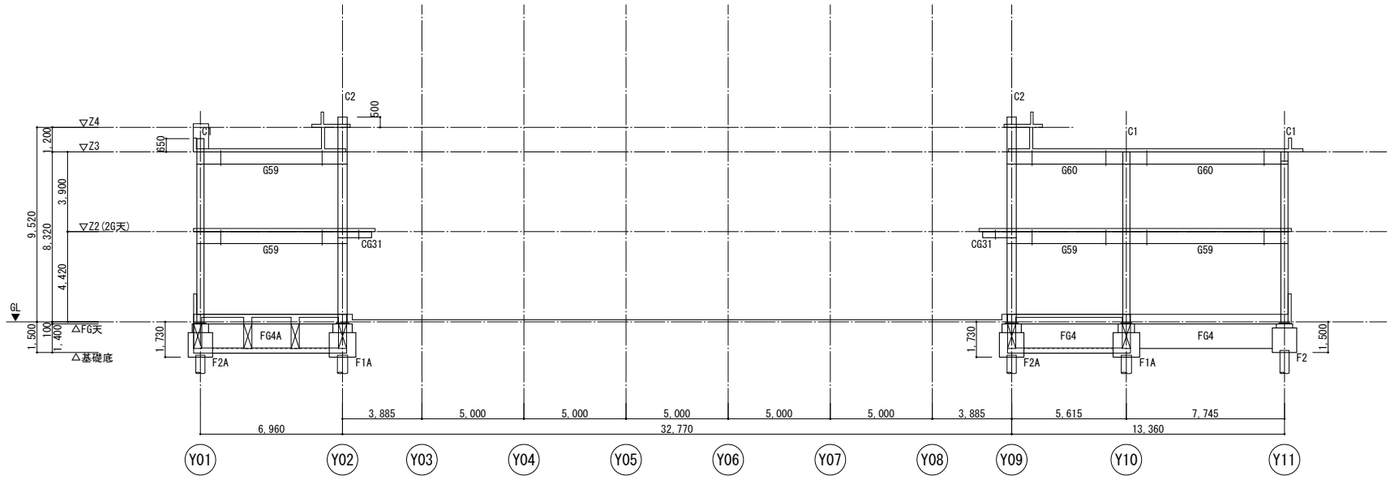
| | |
|---|---|
| ——·——·—— | 胴線　：C-100×50×20×2.3 @600 |
| ——▲——·—— | 開口補強：□-100×100×2.3 |
| H17 | 開口補強：H-175×175×7.5×11(横使い) |
| H20 | 開口補強：H-200×200×8×12(横使い) |

記事
特記無き限り下記による。
・大梁継手位置は柱心から 1,000 とする。

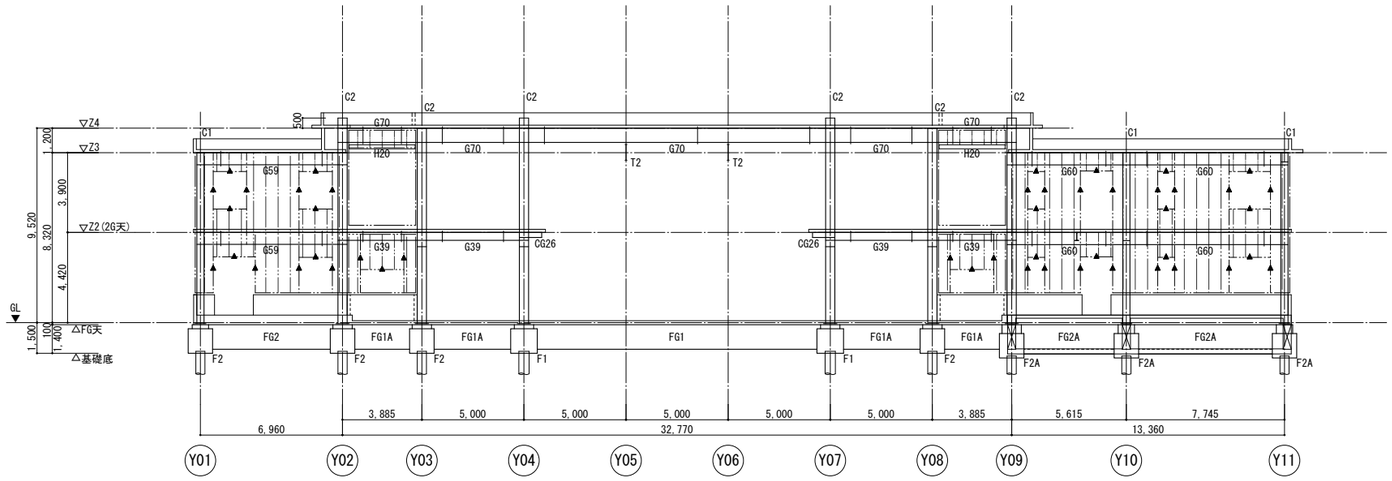
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

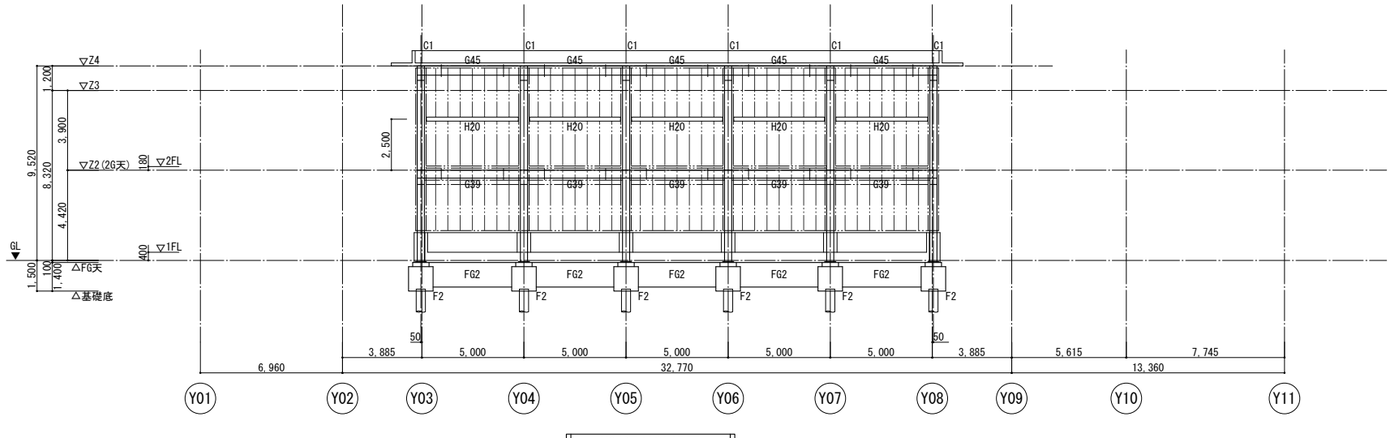
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 軸組図（２） | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 |
| | | 図面番号 | S-18 |




X03通り軸組図




X02通り軸組図




X01通り軸組図

【胴線凡例】

- 胴線　：C-100×50×20×2.3 @600
- 開口補強：□-100×100×2.3
- H17 開口補強：H-175×175×7.5×11(横使い)
- H20 開口補強：H-200×200×8×12(横使い)

記事
特記無き限り下記による。
・大梁継手位置は柱心から 1,000 とする。

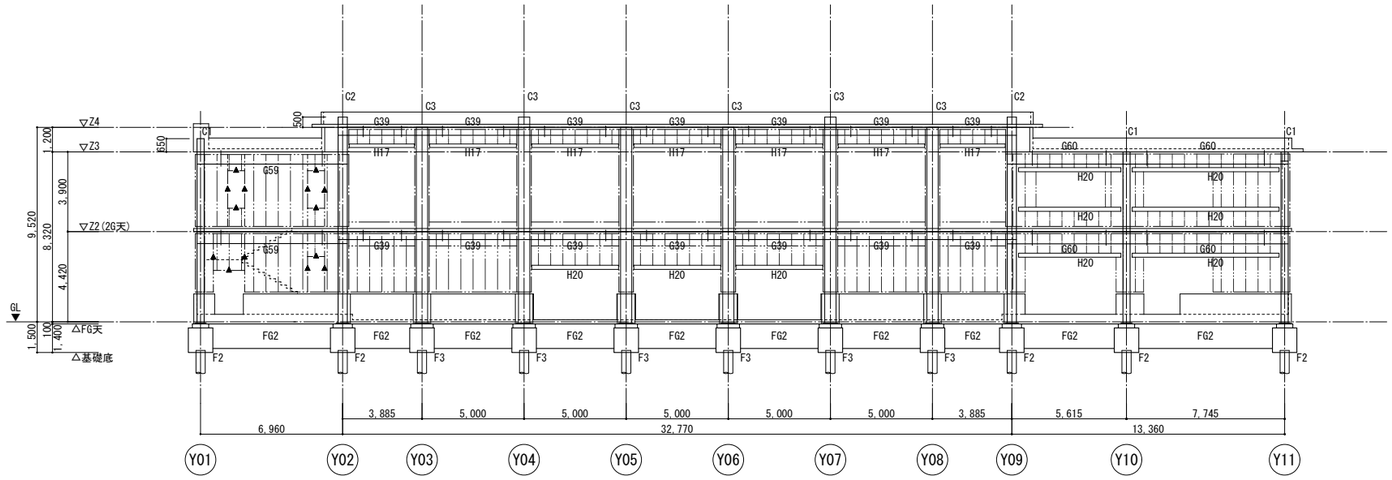
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

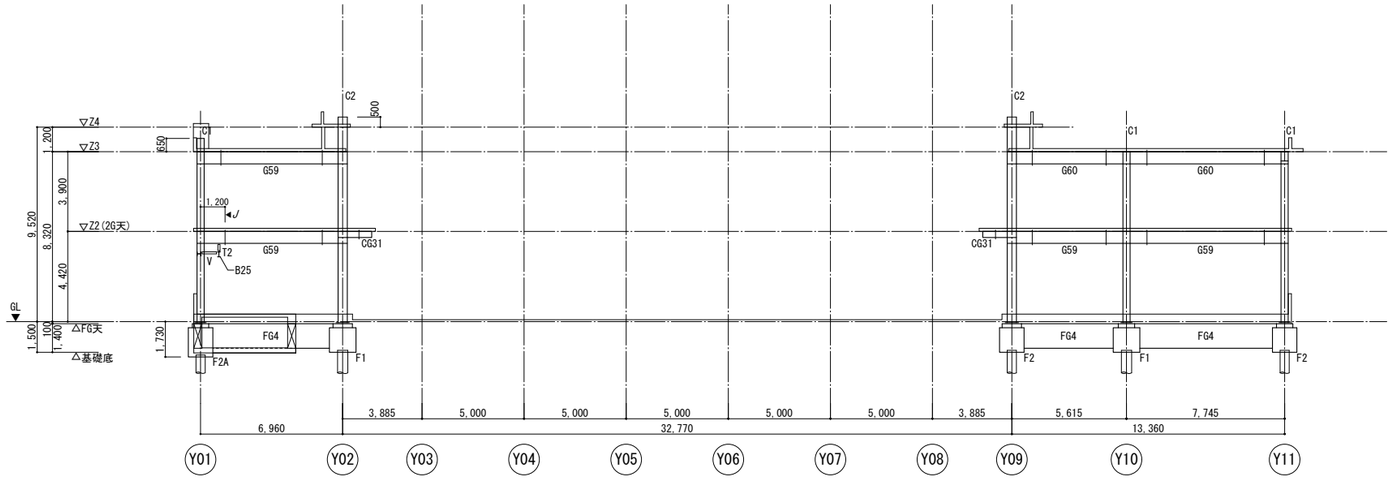
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | S-19 |
| 図面名 | 軸組図（３） | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 | | |

【胴縁凡例】

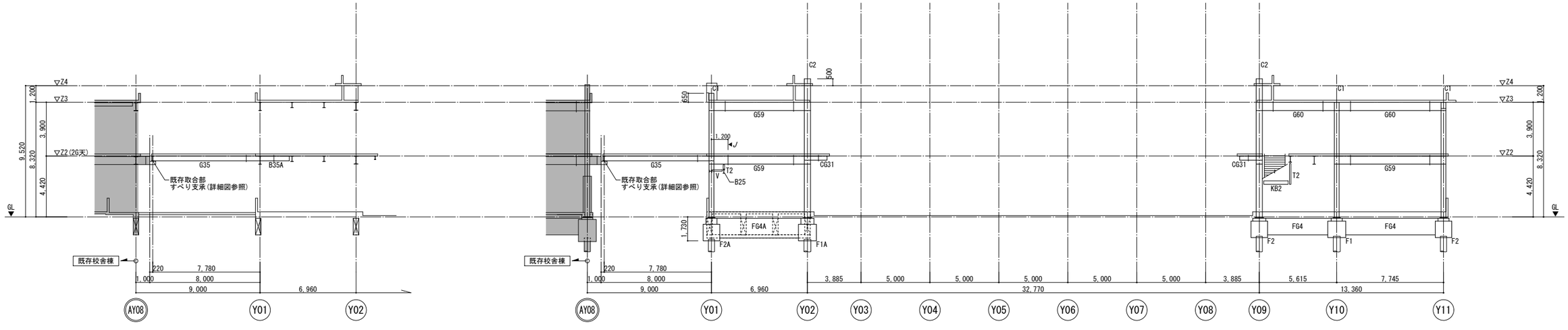
- 胴縁　：C-100×50×20×2.3 @600
- 開口補強：□-100×100×2.3
- H17 開口補強：H-175×175×7.5×11(横使い)
- H20 開口補強：H-200×200×8×12(横使い)




X06通り軸組図




X05通り軸組図




X03 +4,415通り軸組図

X04通り軸組図

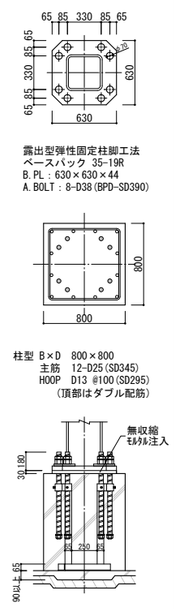
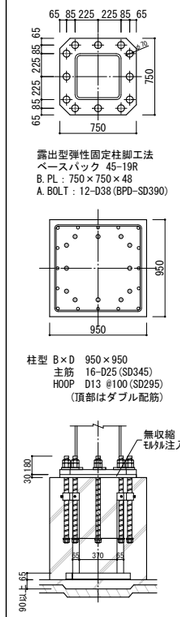
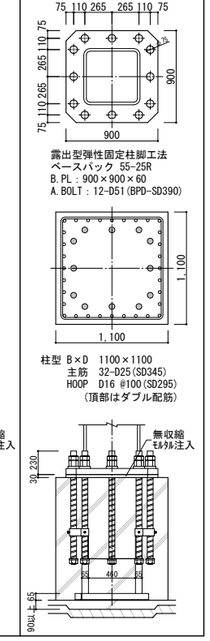
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | 特記無き限り下記による。<br>・大梁継手位置は柱心から 1,000 とする。 | 株式会社 真鍋令建築設計事務所<br>一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 S-20 |
| | | | 一級建築士大臣登録<br>361217号<br>森 真洋 | | | 図面名 | 軸組図（４） | 縮尺 | A1: 1/150<br>A3: 1/300 | |

## 鉄骨部材表

使用材料　鉄骨：BCR295, SS400, SN490, SSC400　高力ボルト：S10T　JIS規格適合品とする。
継手符号は、SCSS-H97による。
※印は、溶融亜鉛めっき処理とする。

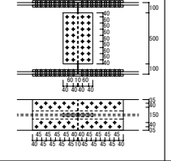
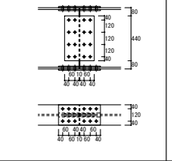
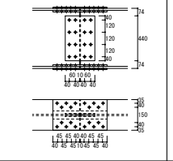
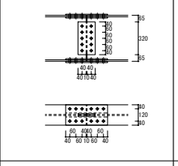
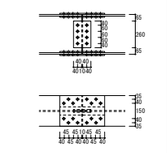
| 部 材 | 符 号 | 階 | 部 材 | 柱脚・継手・仕口 |
|---|---|---|---|---|
| 柱 | C1 | 1～R | □-350×350×19 | 柱脚：ベースパック 35-19R |
| | C2 | 1～R | □-450×450×19 | 柱脚：ベースパック 45-19R |
| | C3 | 1～R | □-550×550×25 | 柱脚：ベースパック 55-25R |
| 大梁 | G70 | | H-700×300×13×24（SN490B） | GGF-5X-J7030-1425-20 |
| | G60 | | H-600×200×11×17 | GGF-4X-J6020-1216-20 |
| | G59 | | H-588×300×12×20 | GGF-4X-J6030-1219-20 |
| | G45 | | H-450×200×9×14 | GGF-4X-J4520-0916-20 |
| | G45p | | H-450×200×9×14 | GGF-4X-J4520-0916-20　ピン接合端:PL-9　HTB 6-M20 |
| | G39 | | H-390×300×10×16 | GGF-4X-J4030-0916-20 |
| | G35 | | H-350×175×7×11 | GGF-4X-J3517-0612-20 |
| | G20 | | H-200×100×5.5×8 | GGF-4X-J2010-0609-16 |
| 片持梁 | CG31 | | H-300×300×10×15 | J30 |
| | CG26 | | H-250×250×9×14 | J25 |
| | CG26p | | H-250×250×9×14 | J25　ピン接合端:PL-9　HTB 5-M20 |
| | KCG1・KCB | | ※ H-400×200×8×13 | GGF-4X-J4020-0912-20 |
| 小梁 | B60 | | H-600×200×11×17 | PL-12　HTB 6-M20 |
| | B45 | | H-450×200×9×14 | PL-9　HTB 6-M20 |
| | B40 | | H-400×200×8×13 | PL-9　HTB 5-M20 |
| | B40A | | H-400×200×8×13 | GGF-4X-J4020-0912-20　ピン接合端:PL-9　HTB 5-M20 |
| | B35 | | H-350×175×7×11 | PL-9　HTB 4-M20 |
| | B35A | | H-350×175×7×11 | GGF-4X-J3517-0612-20　ピン接合端:PL-9　HTB 4-M20 |
| | B30 | | H-300×150×6.5×9 | PL-9　HTB 3-M20 |
| | B25 | | H-250×125×6×9 | PL-6　HTB 3-M16 |
| | B15 | | ※ H-150×75×5×7 | PL-6　HTB 2-M16 |
| | V（玄関ﾂﾅｷﾞ梁） | | [-100×50×5×7.5 | PL-6　HTB 2-M16 |
| | KB1（階段受梁） | | H-200×100×5.5×8 | PL-6　HTB 2-M16 |
| | KB2（階段受梁） | | H-250×125×6×9 | PL-6　HTB 3-M16 |
| 階段 | SK1,SK2<br>（内部階段） | | ササラ桁 PL-16×250<br>段板　PL-4.5 | B.PL:300×150×22<br>A.BOLT 2-M20 L=400 ﾜｯｼｬ<br>G.PL-9, HTB 2-M16<br>踊場根太 L-65×65×5 @600 |
| | SK3<br>（外部階段） | | ※ ササラ桁 PL-25×300<br>※ 段板　PL-4.5 | ※ B.PL:350×150×22<br>※ A.BOLT 2-M20 L=400 ﾜｯｼｬ<br>※ G.PL-9, HTB 2-M16<br>※ 踊場根太 L-65×65×5 @600 |
| その他 | T1（吊材） | | H-150×150×7×10 | PL-6　HTB 2-M16 |
| | T2（吊材） | | H-100×100×6×8 | PL-6　HTB 2-M16 |
| | 胴縁 | | C-100×50×20×2.3 @600 | PL-6　3-M12(中ボルト) |
| | 〃　開口補強 | | □-100×100×2.3 | PL-6　2-M12(中ボルト) |
| | 〃　開口補強 H20 | | H-200×200×8×12（横使い） | PL-9　HTB 2-M16　ﾘﾌﾞPL-6 |
| | 〃　開口補強 H17 | | H-175×175×7.5×11（横使い） | PL-9　HTB 2-M16 |
| | | | | |
| | | | | |

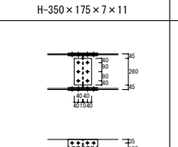
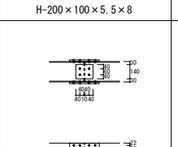
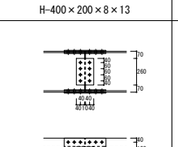
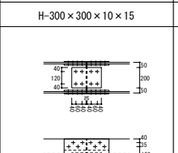
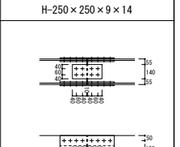
## 柱脚リスト

| 符 号 | C1 | C2 | C3 |
|---|---|---|---|
| 主 材 | □-350×350×19 | □-450×450×19 | □-550×550×25 |
| 断 面 |  |  |  |

## 梁継手リスト

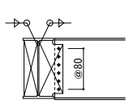
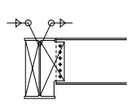
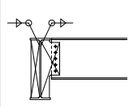
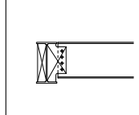
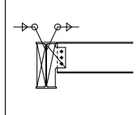
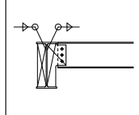
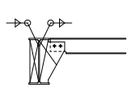
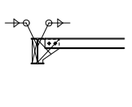
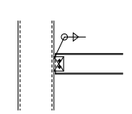
継手符号は「SCSS-H97 鉄骨構造標準接合部 鉄骨構造標準接合部委員会編」による。

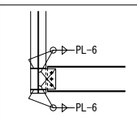
| 符 号 | G70 | G60 | G59 | G45・G45p | G39 |
|---|---|---|---|---|---|
| 主 材 | H-700×300×13×24（SN490B） | H-600×200×11×17 | H-588×300×12×20 | H-450×200×9×14 | H-390×300×10×16 |
| 断 面 |  |  |  |  |  |
| 継手符号 | GGF-5X-J7030-1425-20 | GGF-4X-J6020-1216-20 | GGF-4X-J6030-1219-20 | GGF-4X-J4520-0916-20 | GGF-4X-J4030-0916-20 |
| フランジ | 72-M20:L=90　2PL-19×300×890<br>4PL-19×110×890 | 24-M20:L=70　2PL-12×200×410<br>4PL-12× 80×410 | 40-M20:L=80　2PL-12×300×530<br>4PL-16×110×530 | 24-M20:L=70　2PL-12×200×410<br>4PL-12× 80×410 | 32-M20:L=70　2PL-12×300×440<br>4PL-12×110×440 |
| ウェブ | 32-M20:L=65　2PL-12×500×290 | 16-M20:L=60　2PL- 9×440×290 | 16-M20:L=60　2PL- 9×440×290 | 10-M20:L=55　2PL- 9×320×170 | 8-M20:L=60　2PL- 9×260×170 |

| 符 号 | G35・B35A | G20 | KCG1・B40A | CG31 | CG26 |
|---|---|---|---|---|---|
| 主 材 | H-350×175×7×11 | H-200×100×5.5×8 | H-400×200×8×13 | H-300×300×10×15 | H-250×250×9×14 |
| 断 面 |  |  |  |  |  |
| 継手符号 | GGF-4X-J3517-0612-20 | GGF-4X-J2010-0609-16 | GGF-4X-J4020-0912-20 | J30 | J25 |
| フランジ | 2PL- 9×175×290<br>4PL- 9× 70×290 | 16-M16:L=50　2PL-16×100×290 | 24-M20:L=60　2PL- 9×200×410<br>4PL- 9× 80×410 | 32-M20:L=65　2PL- 9×300×440<br>4PL-12×110×440 | 32-M20:L=70　2PL-12×250×530<br>4PL-12×100×530 |
| ウェブ | 2PL- 6×260×170 | 4-M16:L=45　2PL- 6×140×170 | 8-M20:L=55　2PL- 9×260×170 | 8-M20:L=60　2PL- 9×200×290 | 8-M20:L=55　2PL- 9×140×290 |

## 小梁リスト

特記無き限り、ボルト間距離は60mm、縁端距離は40mm とする。

| 符 号 | B60 | B45 | B40・B40A・CG40p | B35・B35A | B30 | B25 | B15 | V | KB1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 主 材 | H-600×200×11×17 | H-450×200×9×14 | H-400×200×8×13 | H-350×175×7×11 | H-300×150×6.5×9 | H-250×125×6×9 | H-150×75×5×7 | [-100×50×5×7.5 | H-200×100×5.5×8 |
| 仕口・継手 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| | PL-12　HTB 6-M20 | PL-9　HTB 6-M20 | PL-9　HTB 5-M20 | PL-9　HTB 4-M20 | PL-9　HTB 3-M20 | PL-6　HTB 3-M16 | PL-6　HTB 2-M16 | PL-6　HTB 2-M16 | PL-6　HTB 2-M16 |

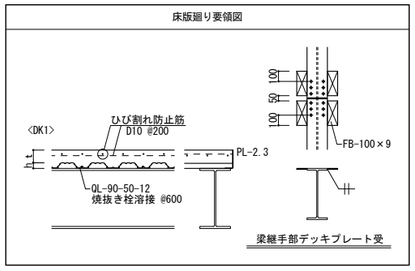
| 符 号 | KB2 |
|---|---|
| 主 材 | H-250×125×6×9 |
| 仕口・継手 |  |
| | PL-6　HTB 3-M16 |

## 床版リスト

| 符 号 | 厚 さ | 位 置 | 主筋方向配筋 | 配力筋方向配筋 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| CS1 | 150 | 上端筋 | D10 @200 | D10 @200 | 庇 |
| | | 下端筋 | D10 @200 | D10 @200 | |
| CS1A | 120 | シングル | D10 @200 | D10 @200 | RF庇 |

| 符 号 | スラブ厚 t<br>デッキ高 h | ひび割れ防止筋 | 規 格 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| DK1 | t= 100<br>h= 50 | D10 @200 | QL-99-50-12<br>焼抜き栓溶接 Aw=600mm | 2F･RF 床 |

床版廻り要領図




記事

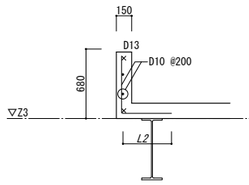
株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

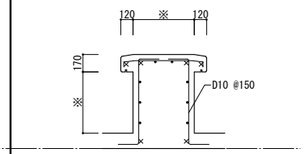
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 鉄骨部材表，各リスト図 | 縮尺 | A1: 1/30<br>A3: 1/60 |
| | | 図面番号 | S-21 |

## 屋上パラペット

特記無き配筋は以下による。(各図共通)
× D13
・ D10
特記無 D10 @200

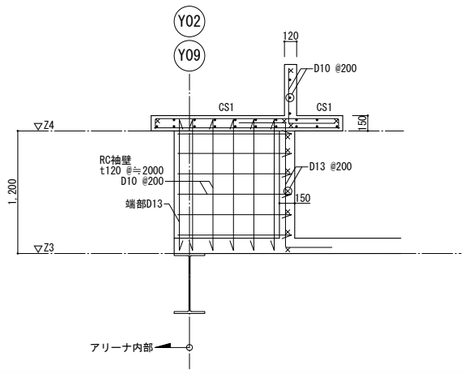



## 屋上設備基礎

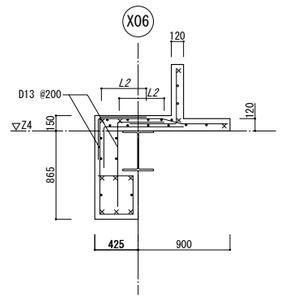



※寸法は意匠図による

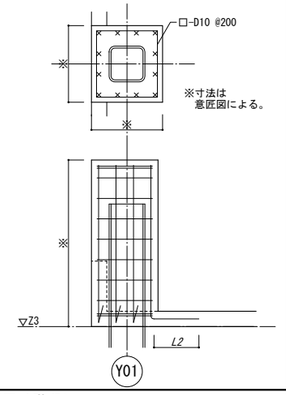
## (Y02,Y09通) ＲＣ袖壁廻り



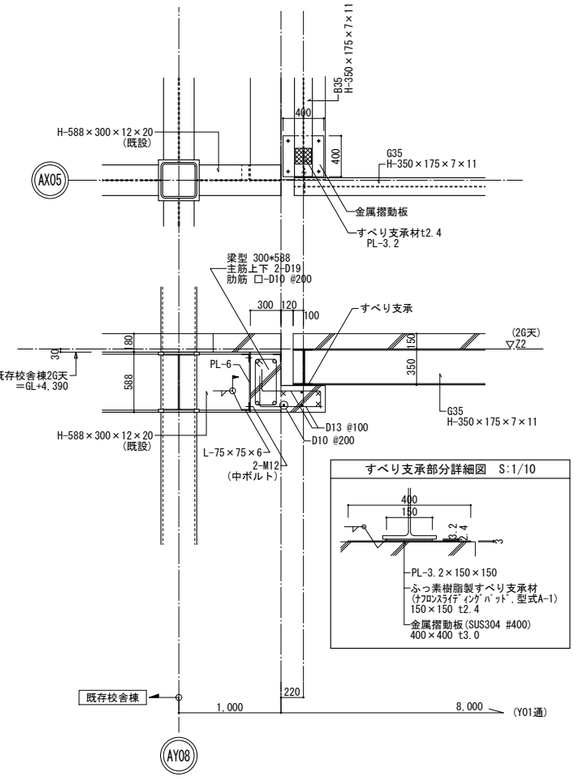

## RF庇部



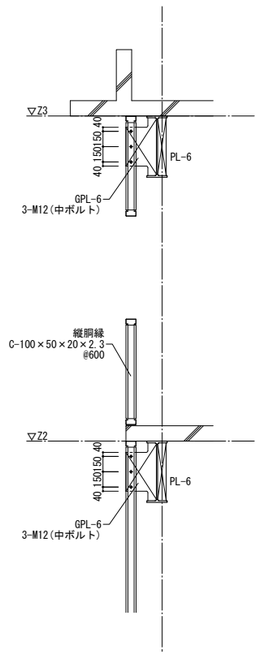

## RF 柱根巻き部



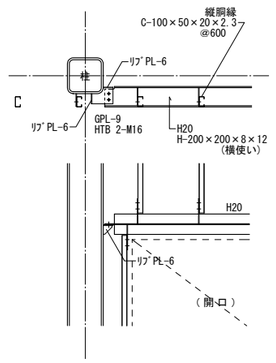

## 既存校舎棟-渡り廊下 取合部



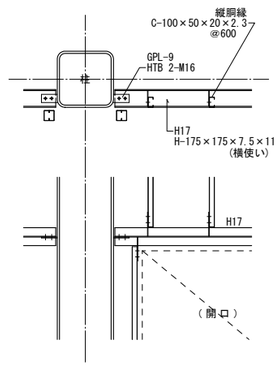

## 胴縁-大梁 取合部



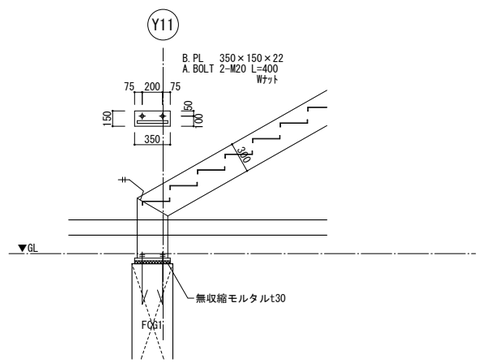

## 胴縁開口補強材 H20



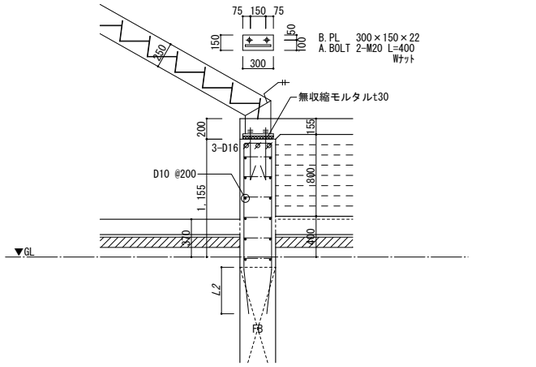

## 胴縁開口補強材 H17



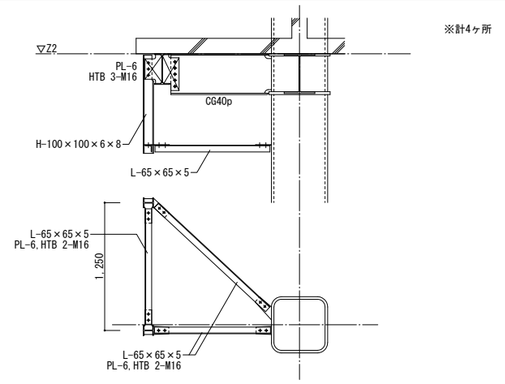

## 鉄骨階段 SK3 (屋外階段)



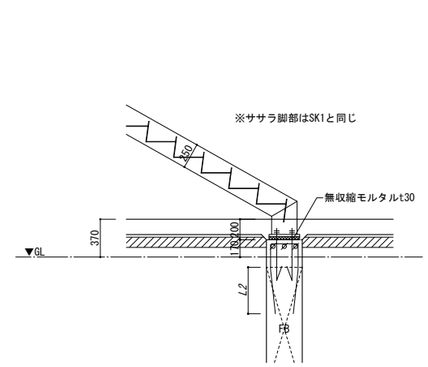

## 鉄骨階段 SK1 (内部階段)



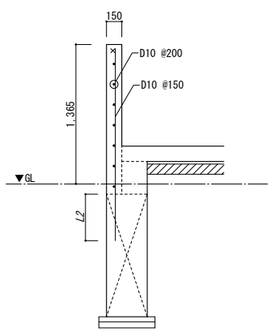

## バスケットゴール受材



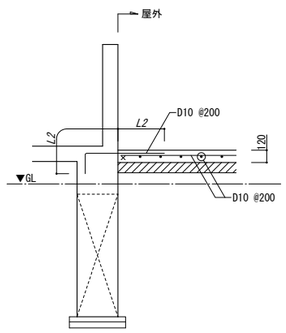

## 鉄骨階段 SK2 (内部階段)



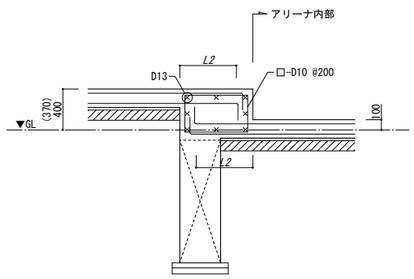

## 外周立上り壁



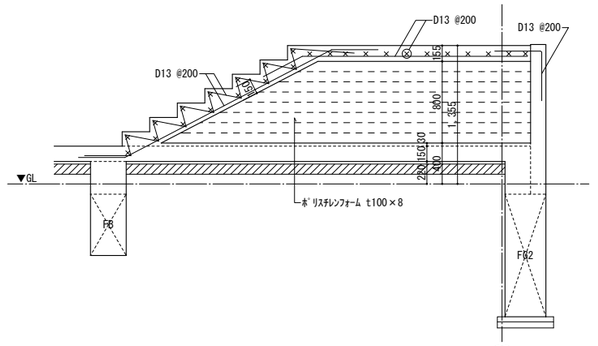

## 外部土間



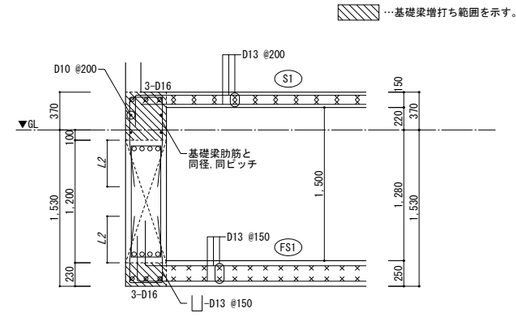

## 内部土間 段差部




## ＲＣ階段




## ピット配筋



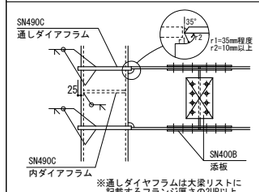

記事

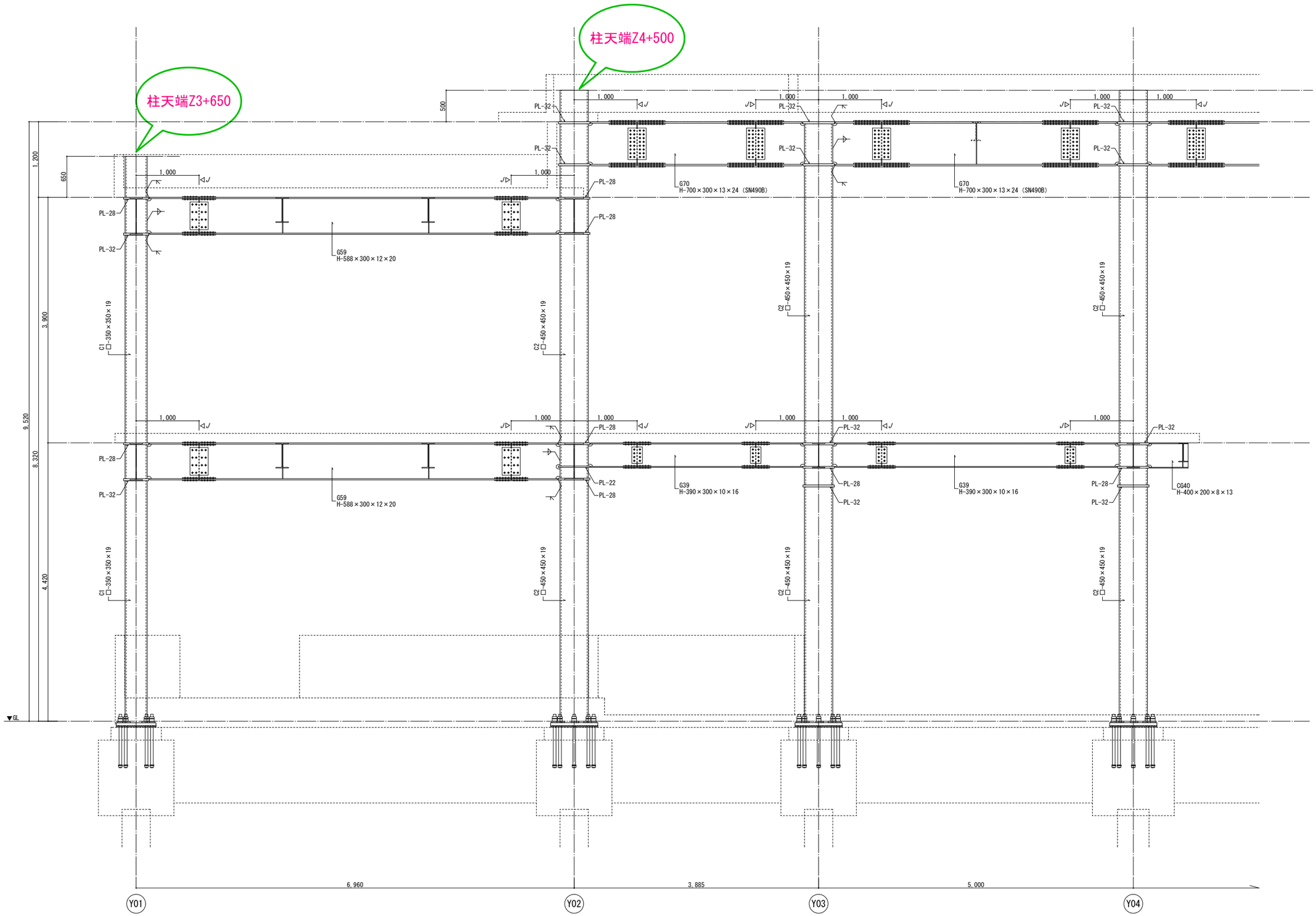

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号


| 管理建築士 | 照査 | 担当 |
|---|---|---|
| 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | 雑詳細図 | 縮尺 | A1: 1/30 A3: 1/60 |
| | | 図面番号 | S-22 |

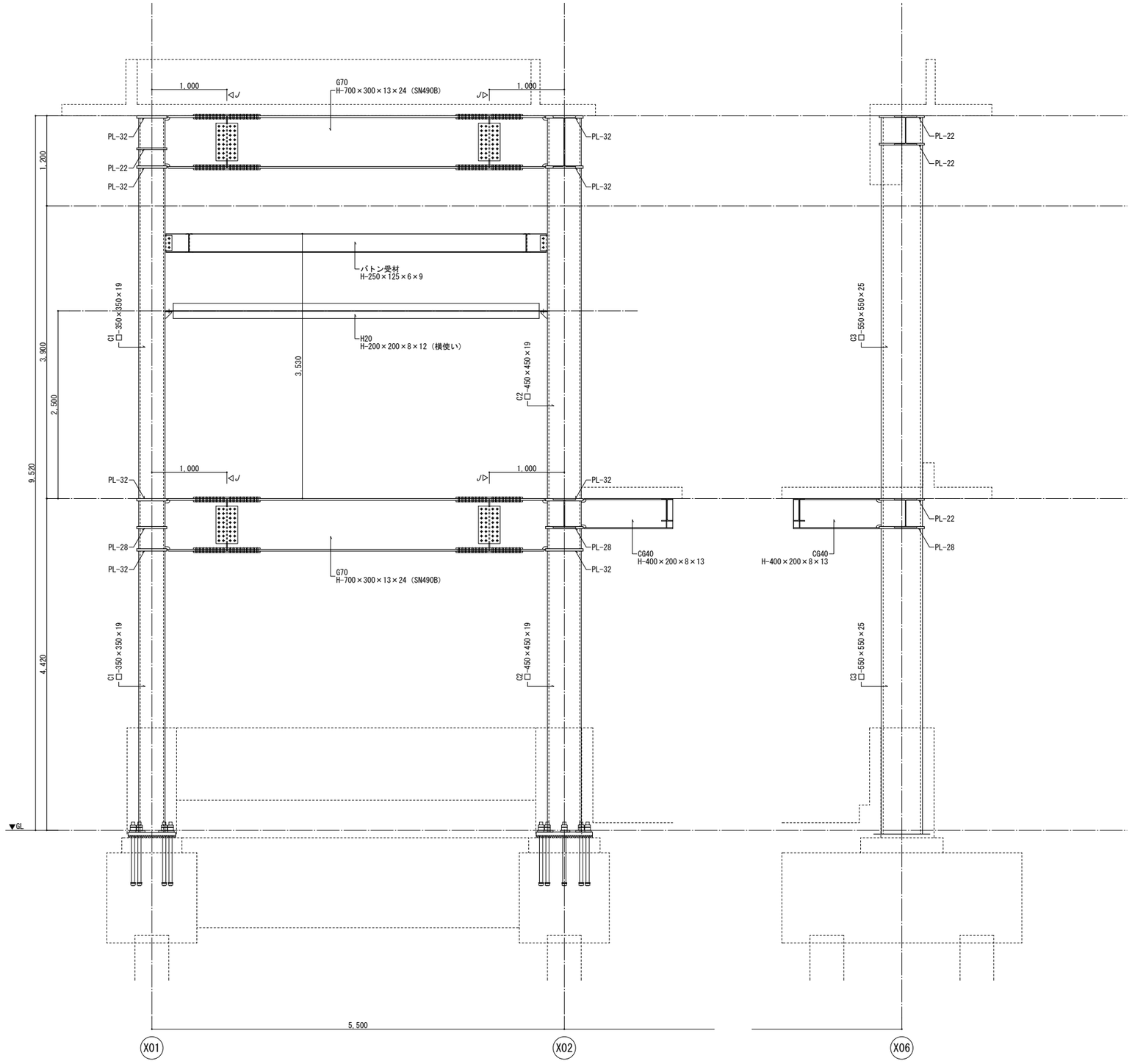
継手・仕口部要領図




X02通り 鉄骨詳細図

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 S-23 |
| | | | | | | | 図面名 | 鉄骨架構詳細図（１） | 縮尺 | A1: 1/30 A3: 1/60 | |




Y03通り 鉄骨詳細図

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | | 照査 | 担当 | | 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| | | | | | | | | 図面名 | 鉄骨架構詳細図（2） | 縮尺 | A1: 1/30 A3: 1/60 |
| | | | | | | | | | | 図面番号 | S-24 |

# 立 体 ト ラ ス 工 事 特 記 仕 様 書

## 1 適 用 範 囲

- 屋根立体トラス

## 2 構 造 形 式

- 建築基準法第３７条第二号の規定に適合するトラス用機械式継手を用いたシステムトラスとする。

## 3 構 造 の 概 要

- このシステムトラスは、部材とグローブ（球形に加工した接合部材）にて構成される。
- 部材の端末にはボルトが組み込まれており、そのボルトの外側にはナット状のワッパーがはまっている。このワッパーは打込みピンでボルトに接合されており、これを回転させることでボルトがグローブにねじ込まれる。（図１参照）
- 部材応力はスリーブを介して引張力はボルトによって、圧縮力はワッパーによってグローブに伝えられる。
- 平成14年国土交通省告示第463号の規定に適合するシステムトラスとする。

## 4 用 語 の 定 義

（本設計に使用する固有の名称を次のように定める。）

- グローブ（接合部材）
  トラスの節点に使用する球形の接合部材で、部材のボルトと取り合うためにねじ孔を有する。
- 支承グローブ
  トラスの支持点に使用する接合部材で、リブ、ベースプレート等を溶接で組み合わせたもの。
- 部材
  パイプの端末にスリーブを溶接し、ボルト、ワッパー等の部品を組み込んだもの。
- パイプ（主部材）
  部材本体の中枢をつかさどる鋼管。
- スリーブ（端部金物）
  パイプ端末に溶接される部品で、パイプからの力をボルト及びワッパーに伝える。
- トラスボルト
  部材端末に位置し、グローブと部材を接合する役割を持つ。軸部にはワッパーと接合するためにピン孔を有する。
- ワッパー
  スリーブとグローブの中間に位置し、打込みピンにてボルトと接合しており、これを回転させることでボルトがグローブにねじ込まれる。
- 打込みピン
  ワッパーとボルトを接合させるピン部品。
- 付 加 孔
  グローブのボルト孔で部材が取付く以外のものを付加孔という。
  この孔を利用して母屋受金物やその他金物を取付ける。（図２参照）

## 5 材 料

- グローブ

5T（支承グローブ）

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 3106 | 溶接構造用圧延鋼材 | SM490A相当品　φ260 |

6T（一般グローブ）

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 4053・4052 | クロムモリブデン鋼 | SCM435・SCM435H　φ110~φ260 |

- パイプ

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 3444 | 一般構造用炭素鋼管 | STK400 |

- スリーブ

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 3101 | 一般構造用圧延鋼材 | SS400 |

- トラスボルト

9T

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 4053・4052 | クロムモリブデン鋼 | SCM435・SCM435H　M20~M36 |

- ワッパー

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 4051 | 機械構造用炭素鋼鋼材 | S45C |

- 打込みピン

| | | | |
|---|---|---|---|
| JIS G 4314 | ばね用ステンレス鋼線 | SUS304WPB | M20~M36用 |

- プレート類（支承部に使用）

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 3101 | 一般構造用圧延鋼材 | SS400 |
| JIS G 3136 | 建築構造用圧延鋼材 | SN490B |

- アンカーボルト

| | | |
|---|---|---|
| JIS G 3138 | 建築構造用圧延棒鋼 | SNR490B |

- 支承グローブ

| | |
|---|---|
| 素地ごしらえ | B種（ブラスト） |
| 無機ジンクプライマー | 15μm X 1回（工場塗装） |
| エポキシ系プライマー | 40μm X 1回（現場塗装） |
| ウレタン系上塗 | 25μm X 1回（現場塗装） |

- グローブ・ワッパー

| | |
|---|---|
| 乾式亜鉛めっき | 15 g/m² （工場処理） |
| エポキシ系プライマー | 40μm X 1回（現場塗装） |
| ウレタン系上塗 | 25μm X 1回（現場塗装） |

- パイプ

| | |
|---|---|
| 素地ごしらえ | B種（ブラスト） |
| エポキシ系プライマー | 50μm X 1回（工場塗装） |
| ウレタン系上塗 | 25μm X 1回（工場塗装） |

- トラスボルト

| | |
|---|---|
| 乾式亜鉛めっき | 15 g/m² （工場処理） |

※ 上記鉄骨部は現場組立完了後に改めて防錆塗料の欠陥部をタッチアップする。

## 7 そ の 他

- トラスに取り付くあらゆる２次部材は節点に取り付ける事を原則とする。
- 図面に示すトラスの寸法は製作寸法とする。
  （トラス自重および固定荷重による変形後の寸法を示すものではない。）

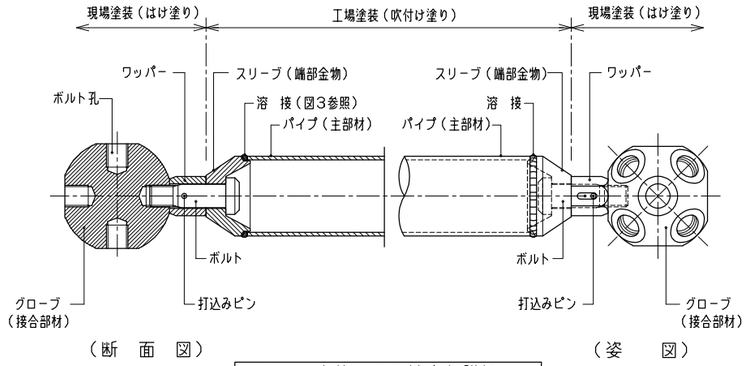



図１：立体トラス接合部詳細図

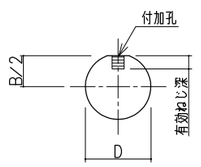



図２：付加孔詳細図

| | 付加孔 | 有効ねじ深 |
|---|---|---|
| ○ | M20 | 22 |
| | M24 | 26 |

○ 印は本工事に使用を示す。

| | | グローブ | D | B |
|---|---|---|---|---|
| | ① | φ 50／46 | 50 | 46 |
| | ② | φ 85／78 | 85 | 78 |
| ○ | ③ | φ110／103 | 110 | 103 |
| ○ | ④ | φ130／120 | 130 | 120 |
| ○ | ⑤ | φ150／136 | 150 | 136 |
| ○ | ⑥ | φ180／160 | 180 | 160 |
| ○ | ⑦ | φ200／182 | 200 | 182 |
| | ⑧ | φ220／192 | 220 | 192 |
| ○ | ⑨ | φ260／240 | 260 | 240 |
| | ⑩ | φ300／270 | 300 | 270 |

○ 印は本工事に使用を示す。

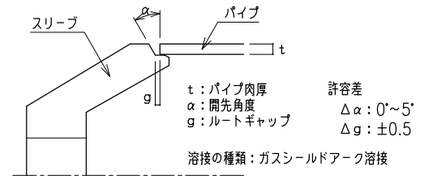



図３：パイプとスリーブの溶接部開先形状図

| | パイプ径 | t | α（°） | g |
|---|---|---|---|---|
| | φ34.0 | 2.3 | 45 | 1.0 |
| | φ42.7 | 2.3 | 45 | 1.0 |
| ○ | φ48.6 | 3.2 | 40 | 1.0 |
| ○ | φ60.5 | 3.2 | 30 | 2.0 |
| ○ | φ76.3 | 3.2 | 30 | 2.0 |
| ○ | φ89.1 | 4.2 | 30 | 2.0 |
| ○ | φ101.6 | 4.2 | 30 | 2.0 |
| ○ | φ114.3 | 4.5 | 30 | 2.0 |
| ○ | φ139.8 | 4.5 | 30 | 2.0 |
| | φ165.2 | 4.5 | 30 | 2.0 |
| | | 5.0 | 30 | 3.0 |
| | φ190.7 | 5.3 | 25 | 3.0 |
| | φ216.3 | 5.8 | 25 | 3.0 |
| | | 8.2 | ※50 | 3.0 |
| | φ267.4 | 6.6，9.3 | ※50 | 3.0 |
| | φ318.5 | 6.9，10.3 | ※50 | 3.0 |

○ 印は本工事に使用を示す。

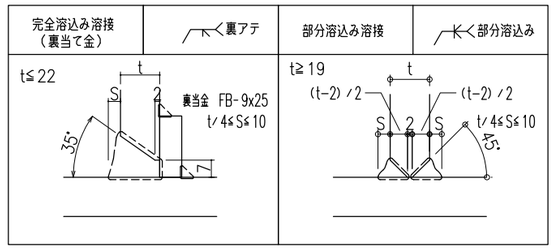
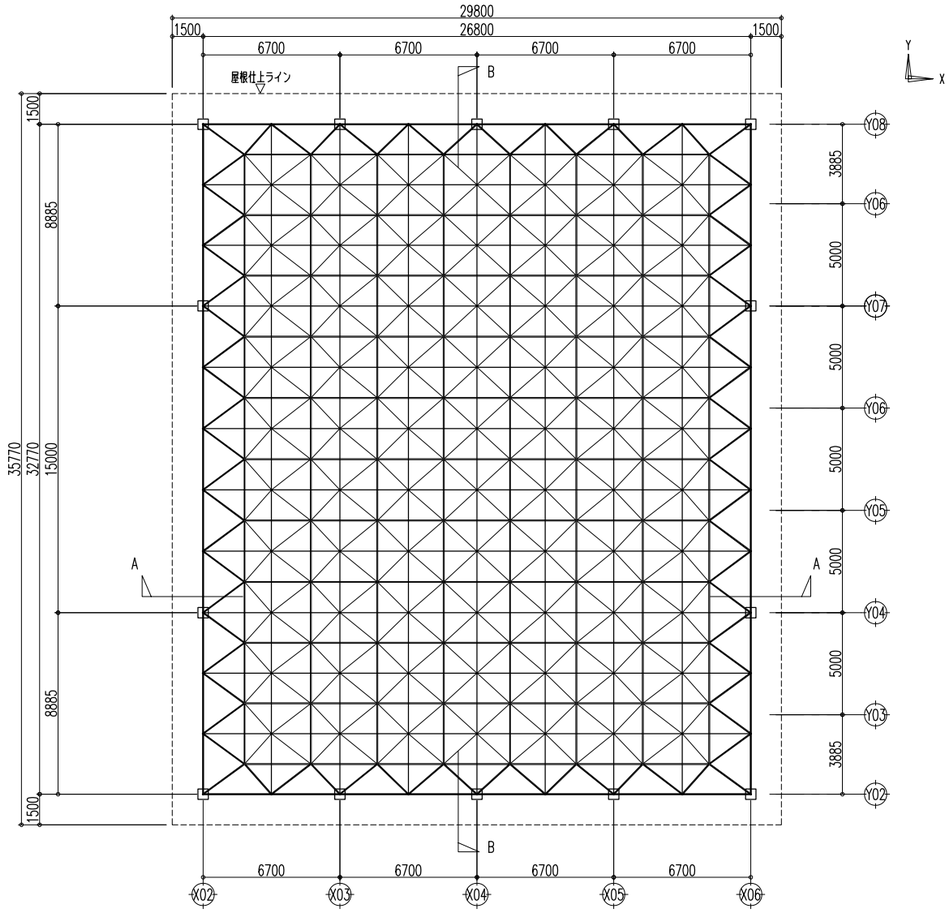
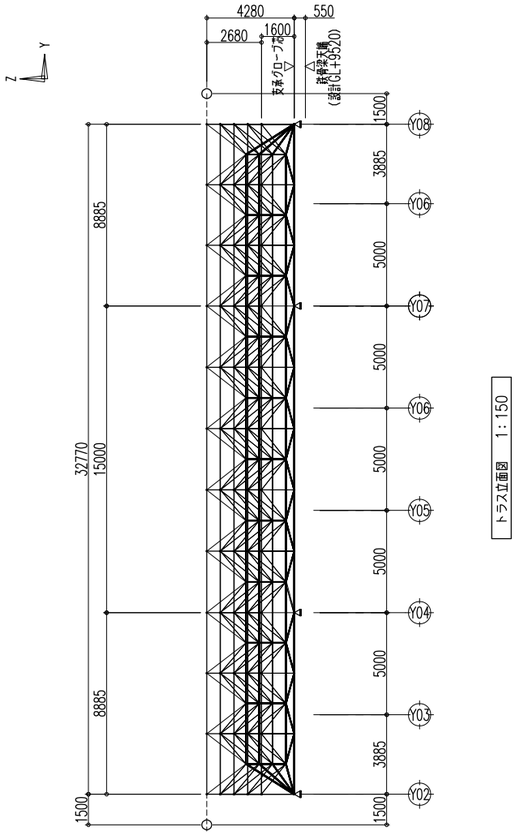



図４：支承リブプレート溶接詳細図

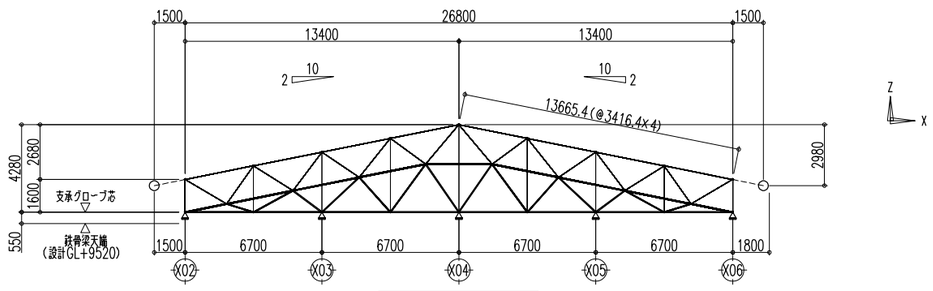
| | | |



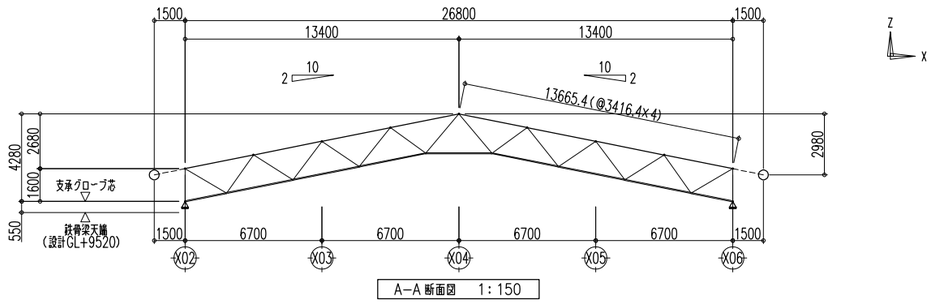

トラス伏図　1：150




トラス立面図　1：150



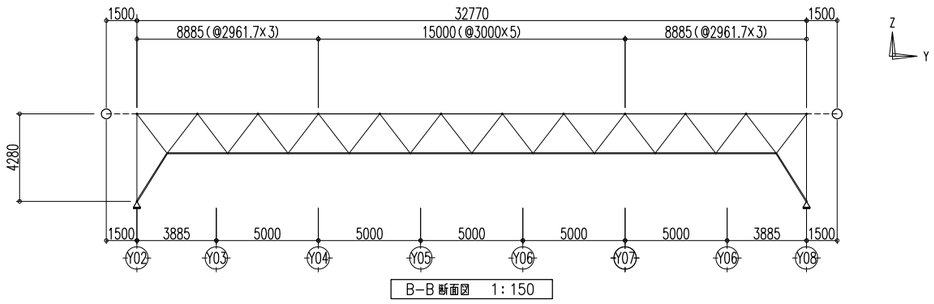

トラス立面図　1：150




A–A 断面図　1：150

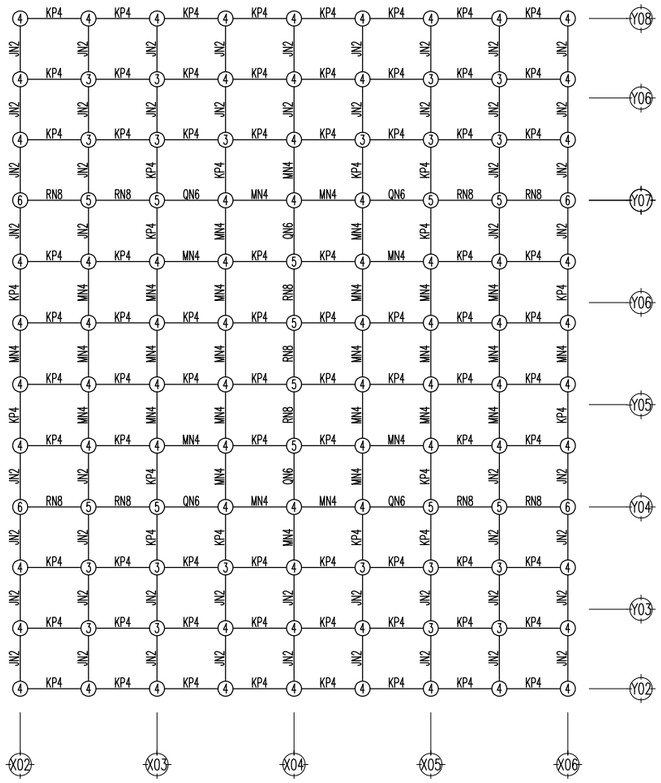
特記事項

| | |
|---|---|
| 上弦材 | ——— |
| 斜材 | ——— |
| 下弦材 | ——— |
| グローブ | ✦ |
| 支承部 | ⊞ ✦ |




B–B 断面図　1：150

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S－ 26 |
| | | | | | | 図面名 | 「立体トラス」立面図、平面図 | 縮尺 | A1:　1／150<br>A3:　1／300 | | |



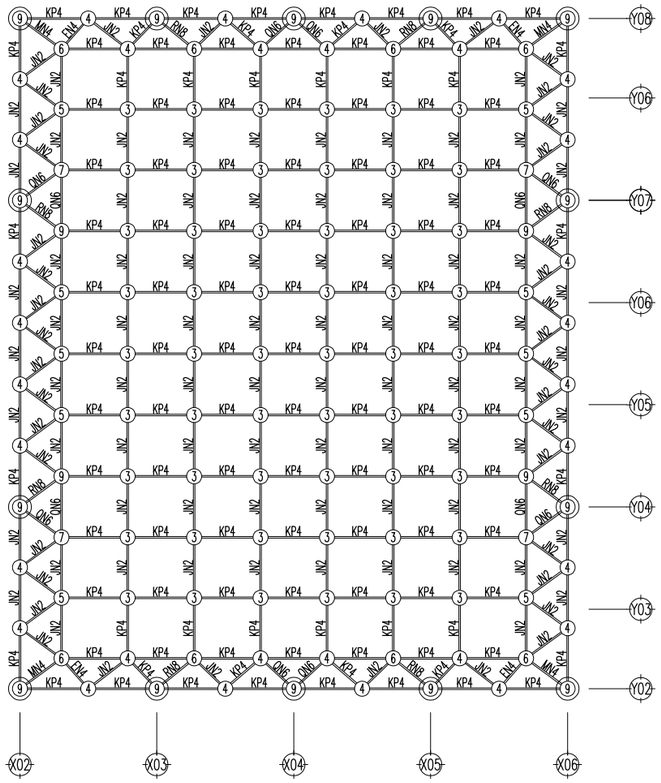

部材配置図（上弦材）　1：150

パイプ

| 記号 | パイプ | ボルト | 備考 |
|---|---|---|---|
| JN2 | P- 76.3x 3.2 | M20 | |
| KP4 | P- 89.1x 4.2 | M24 | |
| MN4 | P-101.6x 4.2 | M27 | |
| QN6 | P-114.3x 4.5 | M30 | |
| RN8 | P-139.8x 4.5 | M36 | |

グローブ

| 記号 | グローブ | 備考 |
|---|---|---|
| ③ | φ-110/103 | |
| ④ | φ-130/120 | |
| ⑤ | φ-150/136 | |
| ⑥ | φ-180/160 | |



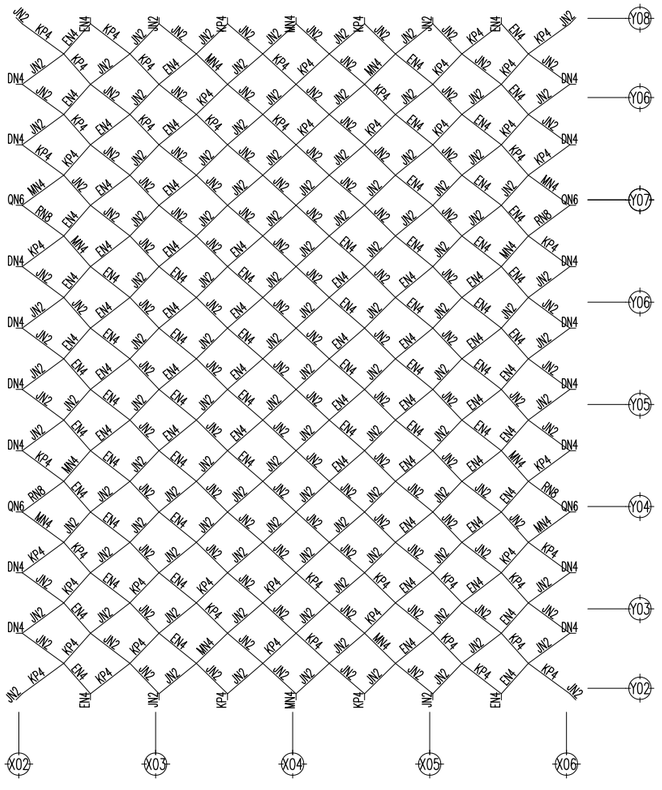

部材配置図（下弦材）　1：150

パイプ

| 記号 | パイプ | ボルト | 備考 |
|---|---|---|---|
| EN4 | P- 60.5x 3.2 | M20 | |
| JN2 | P- 76.3x 3.2 | M20 | |
| KP4 | P- 89.1x 4.2 | M24 | |
| MN4 | P-101.6x 4.2 | M27 | |
| QN6 | P-114.3x 4.5 | M30 | |
| RN8 | P-139.8x 4.5 | M36 | |

グローブ

| 記号 | グローブ | 備考 |
|---|---|---|
| ③ | φ-110/103 | |
| ④ | φ-130/120 | |
| ⑤ | φ-150/136 | |
| ⑥ | φ-180/160 | |
| ⑦ | φ-200/182 | |
| ⑨ | φ-260/240 | |
| ⑨ | φ-260/240 | 球状支承グローブ |




部材配置図（斜材）　1：150

※最外周の鉛直材を展開して表示する。

パイプ

| 記号 | パイプ | ボルト | 備考 |
|---|---|---|---|
| DN4 | P- 48.6x 3.2 | M20 | |
| EN4 | P- 60.5x 3.2 | M20 | |
| JN2 | P- 76.3x 3.2 | M20 | |
| KP4 | P- 89.1x 4.2 | M24 | |
| MN4 | P-101.6x 4.2 | M27 | |
| QN6 | P-114.3x 4.5 | M30 | |
| RN8 | P-139.8x 4.5 | M36 | |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋

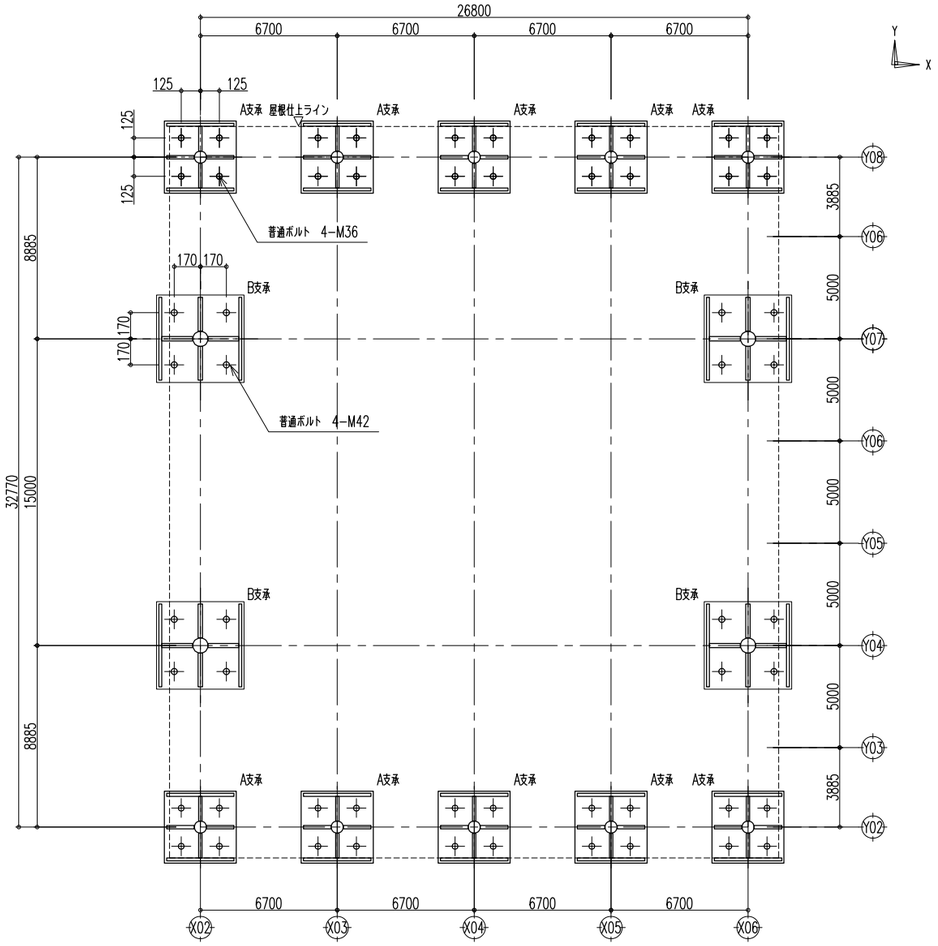
照査　担当

| | |
|---|---|
| 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| 図面名 | 「立体トラス」部材配置図 |

設計　令和　7年　3月

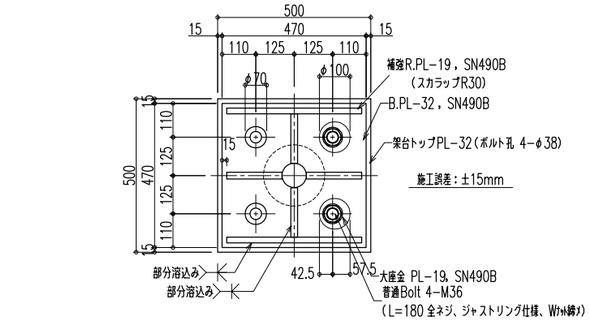
縮尺　A1:　1／150　A3:　1／300

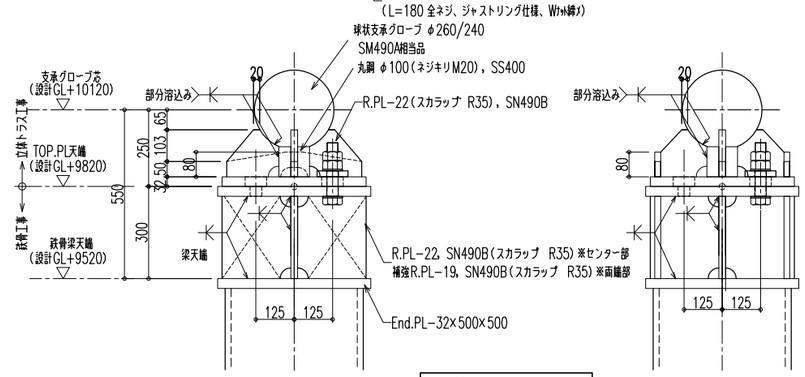
図面番号　S－ 27



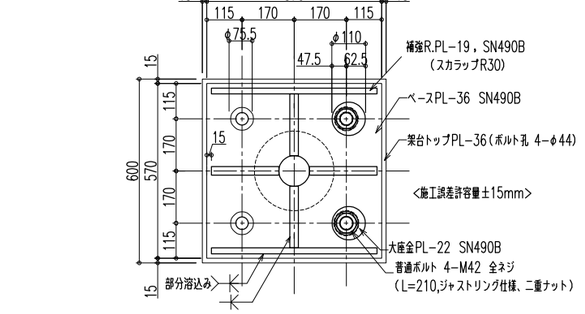

トラス伏図　1：150

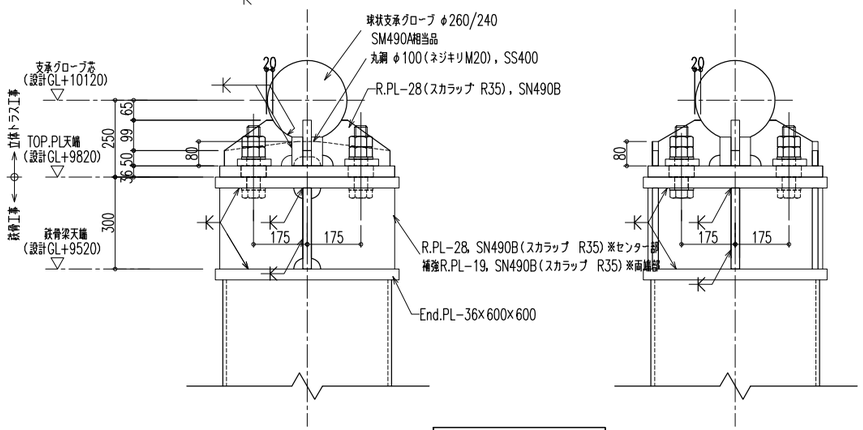
※　TOP.PL天端（設計GL+9820）
A支承 普通ボルト　4-M36　（計10基）
B支承 普通ボルト　4-M42　（計4基）




A 支承詳細図　1：10
（10基）

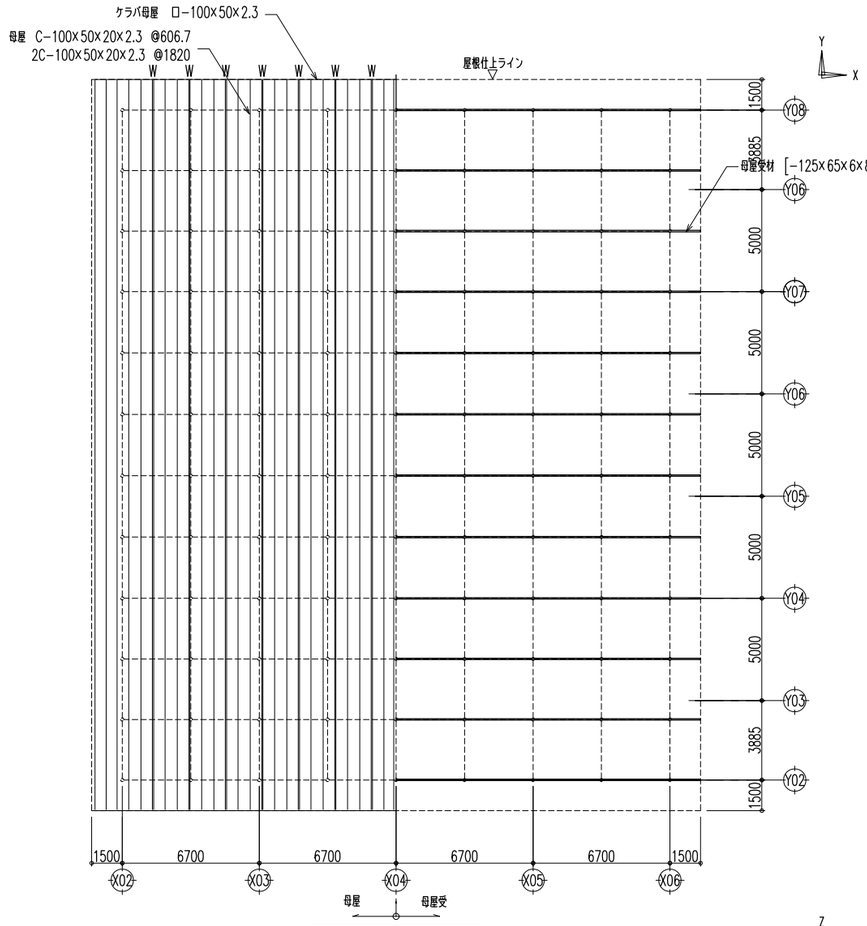


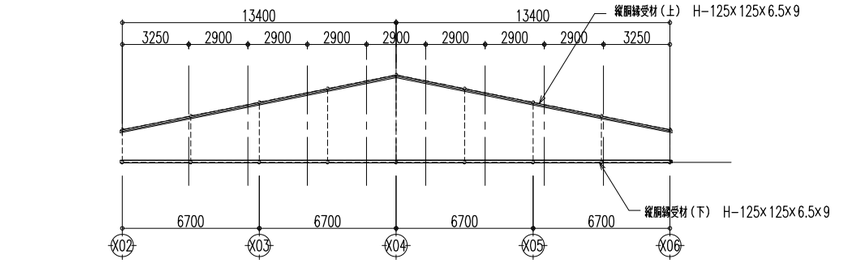

B1 支承詳細図　1：10
（4基）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） |
| | | | | | | 図面名 | 「立体トラス」支承配置図、支承詳細図 |

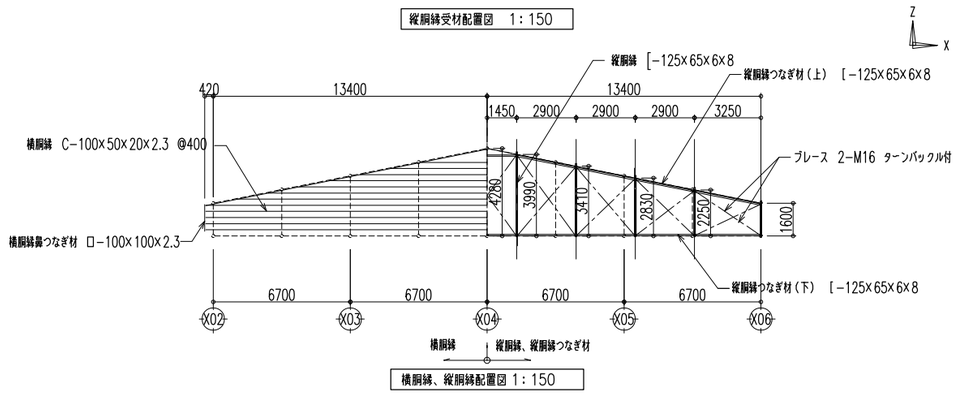
| | | | |
|---|---|---|---|
| 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S－ 28 |
| 縮尺 | A1:　1／150<br>A3:　1／300 | | |



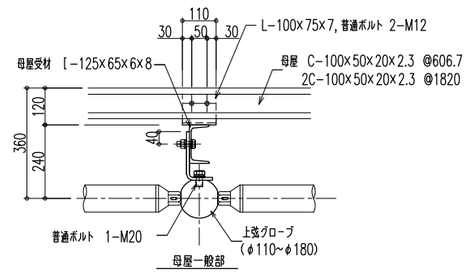

母屋伏図　1：150



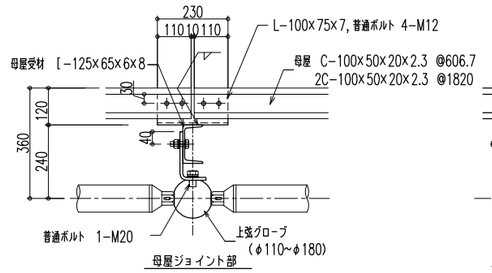

縦胴縁受材配置図　1：150



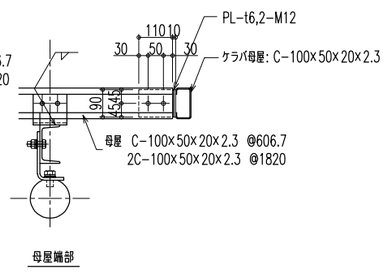

横胴縁、縦胴縁配置図 1：150



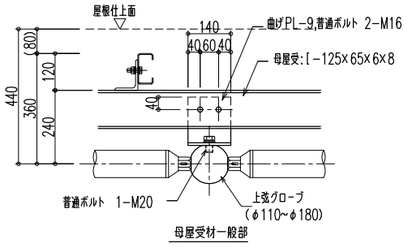

母屋一般部



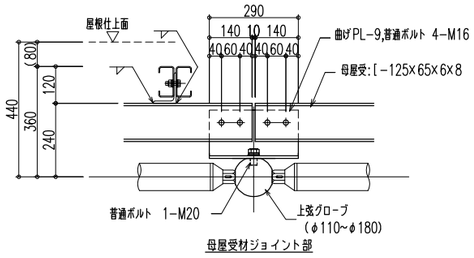

母屋ジョイント部



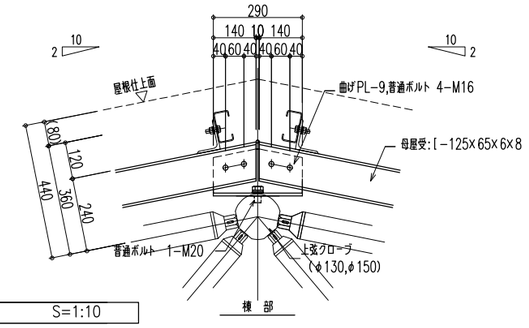

母屋端部




母屋受材一般部




母屋受材ジョイント部




母屋・母屋受材詳細図　S=1:10

部材リスト

| 名称 | 使用部材 |
|---|---|
| 母屋 | C-100×50×20×2.3 |
| 母屋 W | 2C-100×50×20×2.3 |
| ケラバ母屋 | C-100×50×20×2.3 |
| 母屋受材 | [-125×65×6×8 |
| 横胴縁 | C-100×50×20×2.3 |
| 横胴縁鼻つなぎ材 | ロ-100×100×2.3 |
| 縦胴縁 | [-125×65×6×8 |
| 縦胴縁つなぎ材（上） | [-125×65×6×8 |
| 縦胴縁つなぎ材（下） | |
| 縦胴縁受材（上） | H-125×125×6.5×9 |
| 縦胴縁受材（下） | |
| ブレース | 2-M16 ターンバックル付 |

防錆

＜母屋・ケラバ母屋・横胴縁＞

素地調整　C種

カラーC（JIS K 5621相当）＋錆止め塗料2回（工場塗装）

JIS K 5516 1種　2回（現場塗装）

＜母屋受材、縦胴縁　他＞

素地調整　C種

錆止め塗料　2回（工場塗装）

JIS K 5516 1種　2回（現場塗装）

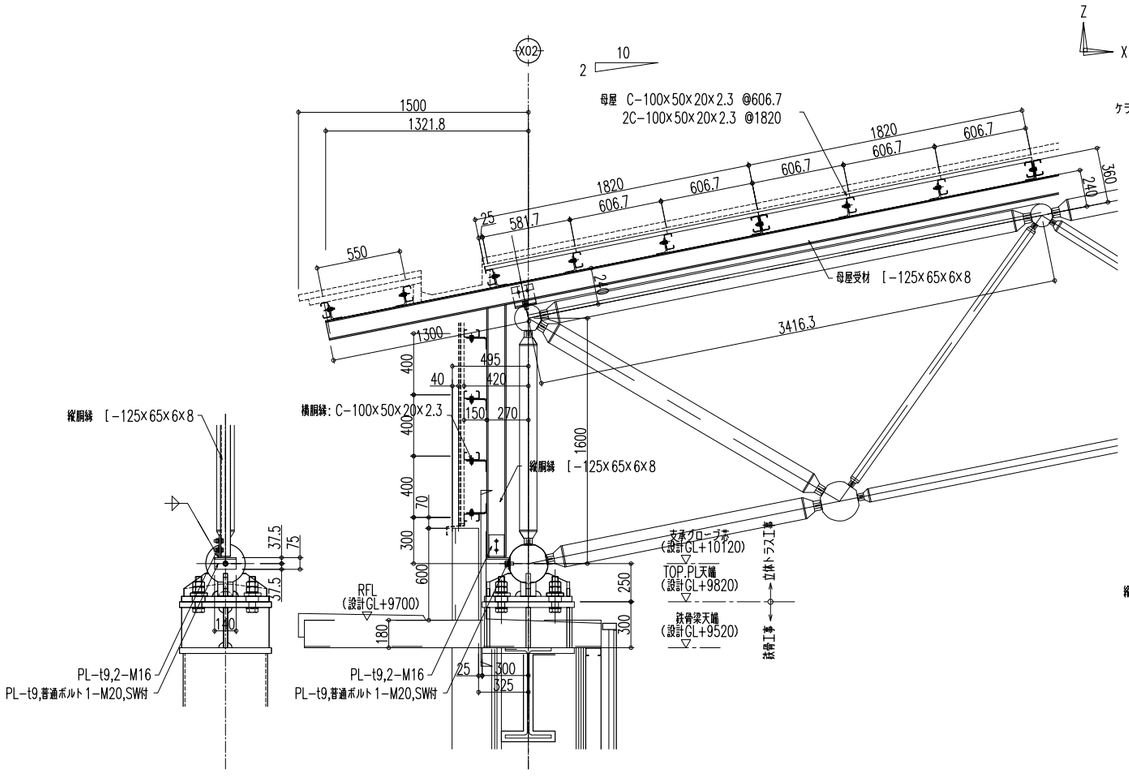
・注記

板材，金物類の材質　SS400

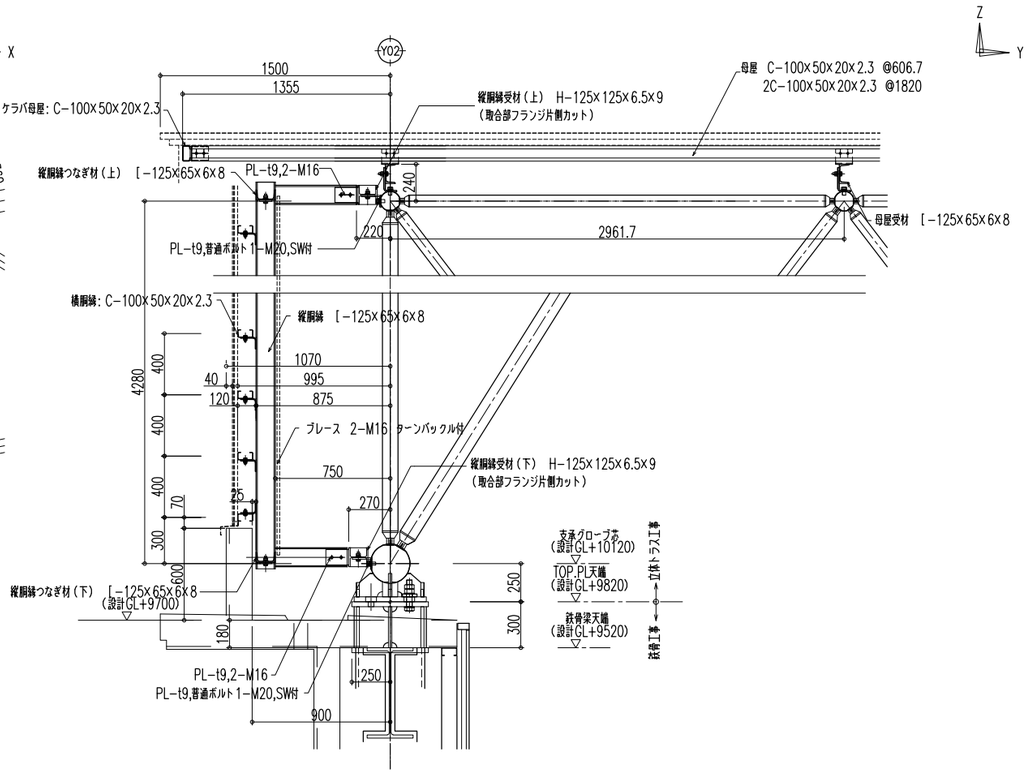
取付けボルトは全て普通ボルトとする

M12・M16・M20ボルトは平座金とばね座金を併用する

| 記事 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 株式会社 直鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　興洋 | | 照査 | 担当 | | | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S－ 29 |
| | | | | | | | | | 図面名 | 「立体トラス」母屋伏図、母屋詳細図 | 縮尺 | A1:　1／150<br>A3:　1／300 | | |



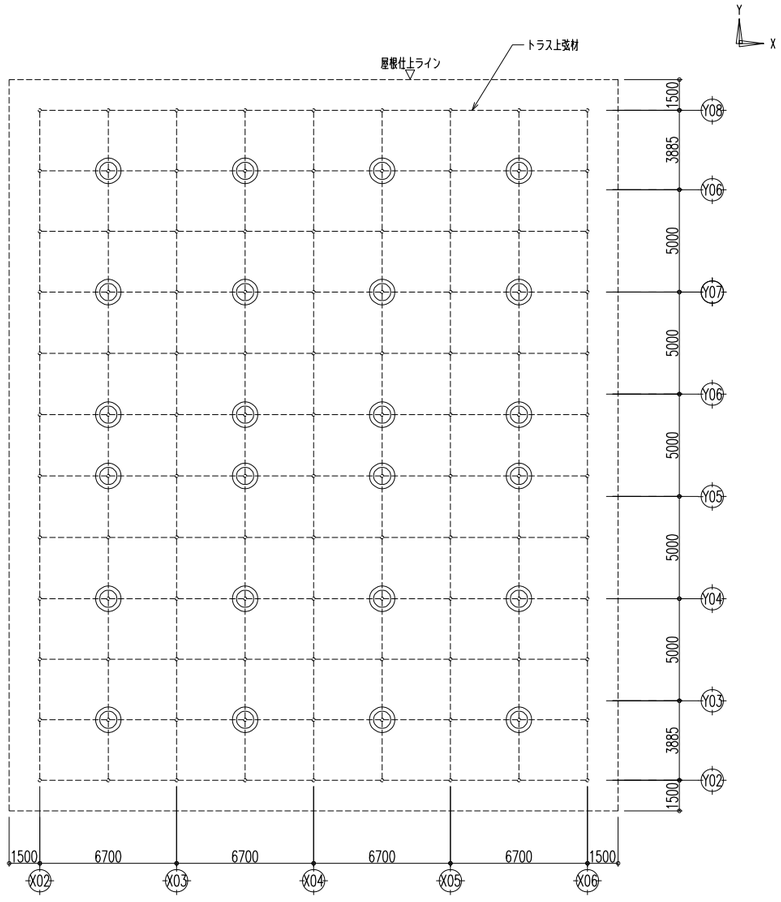

桁側軒先納まり図　1：20




妻側軒先納まり図　1：20

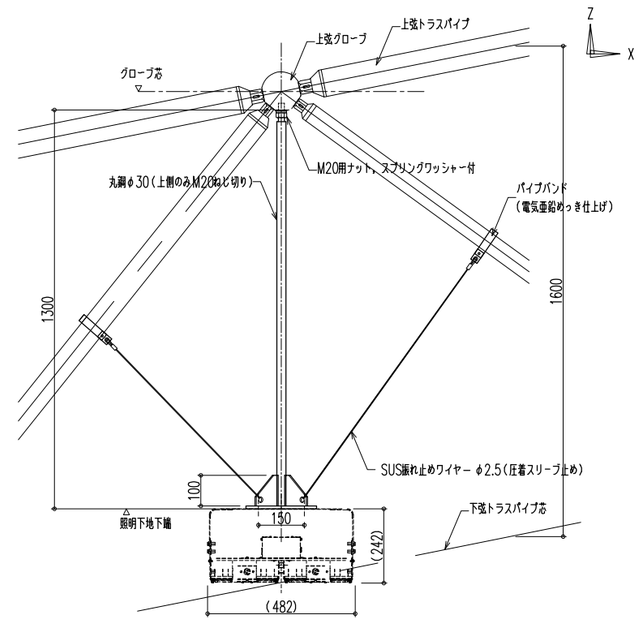
縦胴縁受材(上)(下)： H-125×125×6.5×9には適宜、水抜き孔を設ける

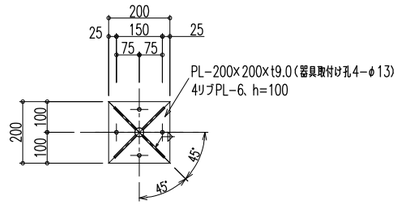
| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 直鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | S－30 |
| | | | | | | 図面名 | 「立体トラス」軒先納まり図 | 縮尺 | A1: 1／150 A3: 1／300 | | |




照明配置図　1：150

※ ◯印は照明取付位置を示す。(合計24ヶ所)




一般照明用
計　24箇所

照明受材詳細図　1：10

※取付ボルト孔は照明器具に合わせ最終決定する

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 直鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S－31 |
| | | | | | | 図面名 | 「立体トラス」照明配置図、照明下地詳細図 | 縮尺 | A1:　1／150<br>A3:　1／300 | | |

# 膜構造建築物　設計概要書

## 建物概要

| | |
|---|---|
| 物件名 | 令和６年度　長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事 |
| 建築場所 | 香川県さぬき市 |
| 躯体構造 | ○ コンクリート造　◉ 鉄骨造　○ 木造　○ その他（　　） |
| 膜構造形式 | ◉ 骨組膜構造　○ サスペンション膜構造 |

## 設計荷重

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 地震荷重 | 標準層せん断力係数 | Ci= | 1.0 | | |
| 積雪荷重 | 長期 | － | N/m² | 垂直積雪量 | 34 cm |
| | 短期 | 680 | N/m² | 単位重量 | 20 N/(m²・cm) |
| 風荷重 | 速度圧 | q = 1050 N/m² | | $\bar{q}$ = 470 N/m² | |
| | 風速 | Vo = 34 m/s | | | |
| | 地表面粗度区分 | Ⅰ　Ⅱ　Ⓘ　Ⅳ | | | |

## 鉄骨工事

**構造用鋼材 種類・材質**

一般構造用鋼材・建築構造用鋼材

- ◉ SS400［鋼鈑 ・ 平鋼 ・ 形鋼］
- ◉ STK400
- ○ STKR400
- ○ STK490 / STKN490B［炭素鋼鋼管］
- ◉ BCR295［角形鋼管］
- ○ SN400A
- ○ SN400B（　　）
- ◉ SN490C（ベースプレート、柱脚部プレート）
- ○ その他（　　）

**高力ボルト**

- ◉ F10T(S10T)
- ○ F8T(溶融亜鉛めっき高力ボルト)

※摩擦接合では鉄骨の摩擦面の処理に注意する。摩擦面のすべり係数を0.45以上(溶融亜鉛めっきされた鉄骨の場合は0.40以上)確保するため、「ブラスト処理・特殊塗料塗布、他」を行なう。

**アンカーボルト**

◉ SNR400B　○ SNR490B　○ SS400　○ その他（　　）

**溶　接**

完全溶込み溶接の開先標準

1.ルート間隔、ルート面、開先角度、開先深さの許容差は、JASS6 付則5.による。
2.余盛高さの標準及び許容差は、JASS6 付則6.による。
3.裏当て金はFB－9×25を標準とし、材質は母材と同材質とする。
4.開先のある溶接の両端では、原則として鋼製エンドタブを用いる。

(単位：mm)

H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）

| 1（片面溶接） | 2（両面溶接） |
|---|---|
| t< 6 | |
| G=t | |
| 6≦ t≦ 19 | |

(単位：mm)

H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）

| 1（片面溶接） | 2（両面溶接） |
|---|---|
| t< 6 | |
| G=t ※状況に応じて開先を取ること | |
| 6≦ t≦ 19 | |
| 1/4 t ≦ S ≦10 | 1/4 t ≦ S ≦10 |

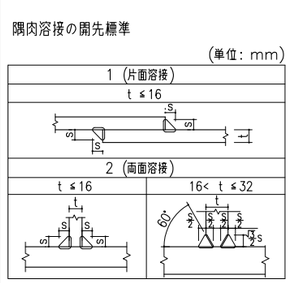
突合せ継手の開先標準（B）　　T型継手の開先標準（T）

## 鉄骨工事（つづき）

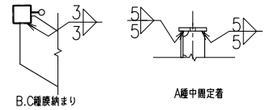
**溶　接**

隅肉溶接の開先標準

(単位：mm)




隅肉溶接の開先標準




隅肉溶接のサイズ

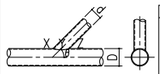
| t | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 12 | 16 | 19 | 22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S | 3 | 4 | 5 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 12 | 11 | 13 |

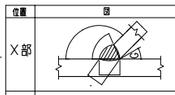
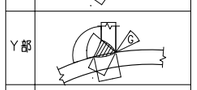
(単位：mm)

**鋼管の溶接**

突合せ隅肉溶接

適用条件
交角　θ≧30°　管径比　d／D≦1　（d：支管外径，D：主管外径）



| 位置 | 図 | 溶接姿勢 | 寸法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| X部 |  | F H V O | φ | 90°≦φ≦120° | 120°<φ≦150° |
| | | | Te | ≧1.4T | ≧T |
| | | | G | 0≦G≦3 | |
| | | | α | ≧45° | |
| | | | S | ≦2T | |
| Y部 |  | | φ | 90°≦φ≦120° | φ>120° |
| | | | Te | ≧1.4T | ≧T |
| | | | G | 0≦G≦3 | |
| | | | α | ≧45° | |
| | | | S | ≦2T | |
| Z部 |  | | φ | 30°≦φ≦ 90° | |
| | | | Te | ≧1.4T | |
| | | | G | 0≦G≦3 | |
| | | | S | ≦2T | |

T：支管・主管のうち薄いほうの板厚とする

## 塗装工事

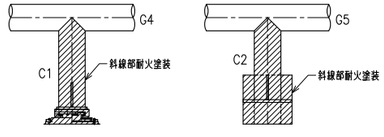
常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り一柱をのぞく箇所に適用

| 工　程 | 塗　料　名 | 塗布量(kg/m²) | 塗装方法 | 施工区分 |
|---|---|---|---|---|
| 1　素地調整 | 1種ケレン（ブラスト処理）/ ISO Sa 2・1/2 | | | |
| 2　下塗り（1回目） | ジンクリッチプライマー JIS K 5552 | 0.14 | 吹付・はけ | 工場 |
| 3　下塗り（2回目） | 構造物用さび止めペイント JIS K 5551 A種 | 0.14 | 吹付・はけ | |
| 4　下塗り（3回目） | エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料（MIO） | 0.14 | 吹付・はけ | |
| 5　中塗り | 鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659（中塗り塗料） | 0.14 | はけ・吹付 | 現場 |
| 6　上塗り | 鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659（上塗り塗料1級） | 0.10 | はけ・吹付 | |
| | | | | |
| ※現場接合・損傷部素地調整 | 2種ケレン（サンダー等）/ ISO St 3 | | | |
| 下塗り(1,2,3回) | 変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109 | 0.14 | (×3回) | |

耐火塗料（上塗：フッ素樹脂塗料仕上げ）ー柱に適用

| 工　程 | 塗　料　名 | 塗布量(kg/m²) | 塗装方法 | 施工区分 |
|---|---|---|---|---|
| 1　素地調整 | ブラスト処理により ISO Sa-2.5 （1種ケレン相当）までケレン処理する | | | |
| 2　プライマー | SDジンク500 （有機ジンクリッチペイント） | 0.28 | AL | 工場 |
| 3　下塗り | エスコNBマイルドK （弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料） | 0.19 | AL | |
| 4　補修塗 | 現場搬入後、発錆部や塗膜損傷部、接合部などは、素地調整（ISO St3：2種ケレン相当）を行う。処理後ただちに素地露出面に対し、工場施工の下塗り塗膜の復元を行う。ただし、既存塗膜にかからないよう塗膜する。 | | | 現場 |
| 5　二次素地調整 | 塗装面に付着している油分や汚れなどを溶剤などで拭き取り、P180程度の研磨紙などで塗面を面粗し、清掃する。 | | | |
| 6　主材塗 | 耐火テクト （発泡性ポリエーテル樹脂耐火被覆材） | － 注） | （特殊）AL | |
| 7　中塗 | 耐火テクト 中塗 JIS K 5659 中塗 | 0.17 | AL or ヘラ・ローラー | |
| 8　上塗 | 耐火テクト F JIS K 5659 1級 | 0.14 | AL or ヘラ・ローラー | |

4.下地調整以降は耐火塗装工事。




## 膜工事

**膜材料**

国土交通省告示第666号第二、2、ニの表の（一）に適合する膜材料：

認定番号

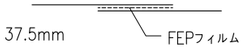
◉ AP－450 酸化チタン光触媒微粒子含有(両面)
認定番号　MMEM－0081－1
不燃認定　NM－4723

※膜構造建築物の品質管理については、令和5年発効「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜構造建築物品質管理規定」に従い行うこと。
※膜材料は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜材料等品質基準」に合致するものであること。
※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。
※膜体加工は一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場登録制度により、膜構造に係る高度な加工技術及び高度な品質管理能力を有する膜体加工認定工場として認定を受け、同協会の(膜体加工工場認定簿(上級グレード))に記載された工場(A級膜材料)の品質管理体制で行うこと。
※膜体加工は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜体加工指針(膜材料・テント倉庫膜材料)」に従い行うこと。
※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。 ※酸化チタン光触媒の効果は、光触媒工業会のPIAJ認証マーク取得商品、または同等以上の性能を有すること。

**膜材溶着部**

国土交通省告示第666号第二、5、一の二に規定する接合とする

FEPフィルムを介した熱板溶着接合。




溶着巾　◉ 75mm　○ 50mm　○ 37.5mm

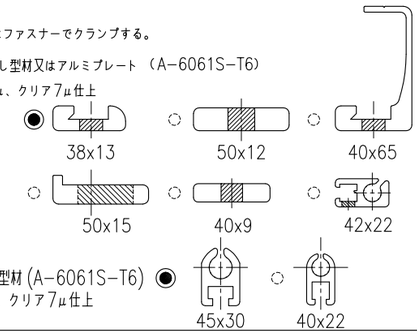
**膜定着部**

国土交通省告示第666号第三、1のイに規定する定着方法とする。

1.膜定着プレート

※膜材は、膜定着プレート又はファスナーでクランプする。

膜定着プレート:アルミ押し出し型材又はアルミプレート （A－6061S－T6）
アルマイト9μ、クリア7μ仕上



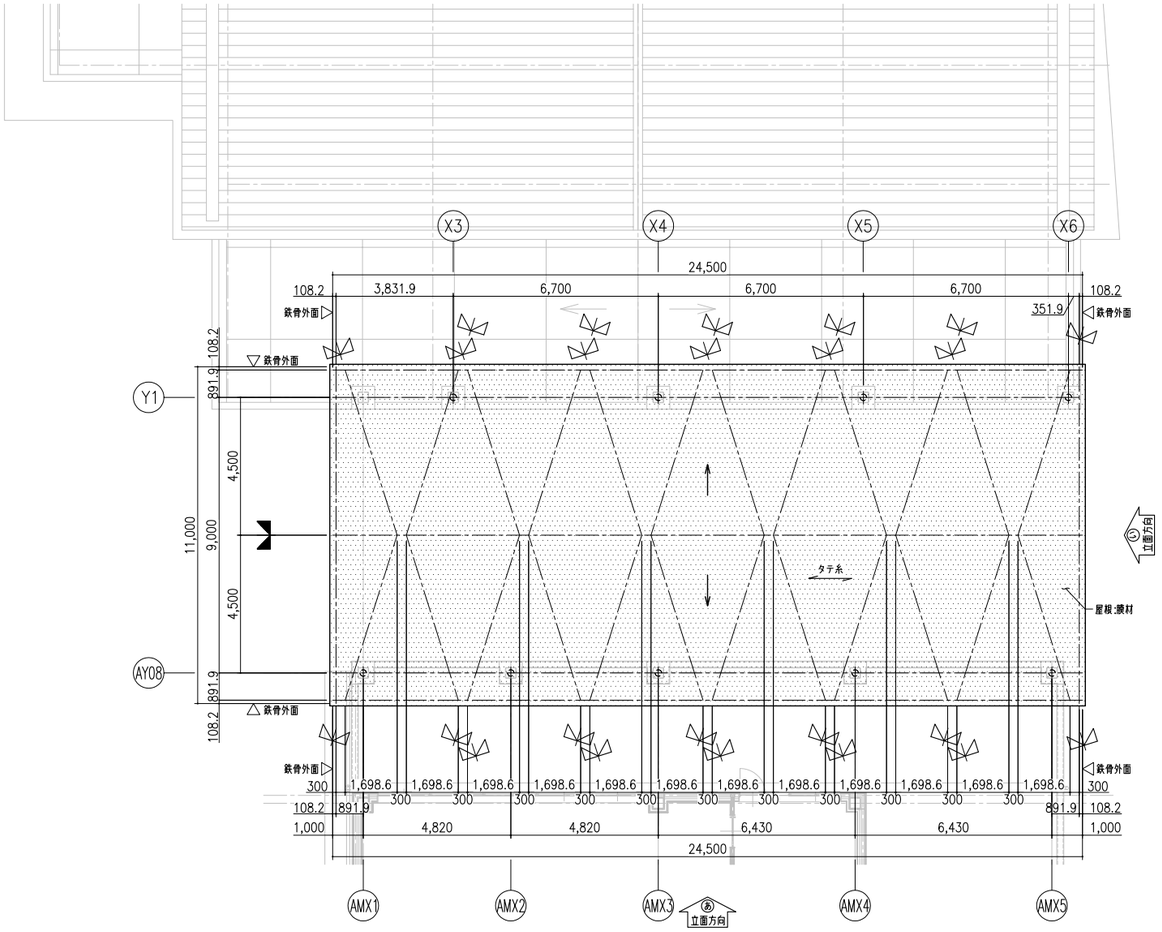

ファスナー:アルミ押し出し型材(A－6061S－T6) ◉ 45x30　○ 40x22
アルマイト9μ、クリア7μ仕上

2.膜定着ボルト

ボルト径　◉ M12　◉ M10　○ M8

材質　◉ SUS316　○ 溶融亜鉛めっき

| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度　長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S－32 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | ［渡り廊下膜屋根］ 膜構造建築物　設計概要書 | 縮尺 | A1：NTS<br>A3：NTS | | |



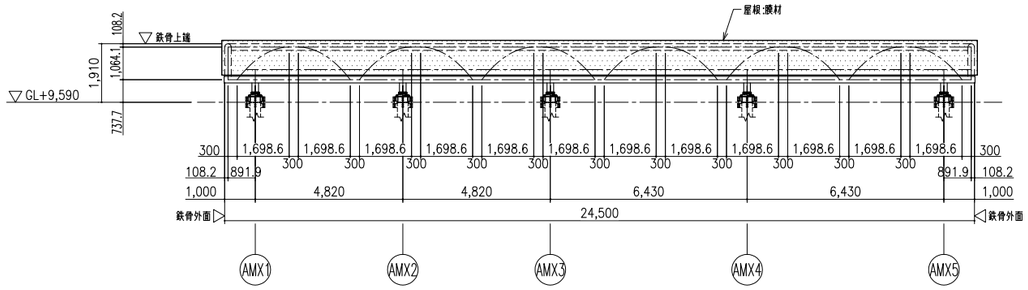

屋根伏図　S=1:100

印は膜分割位置を示す。
印は膜中間定着位置を示す。
印は水の流れ方向を示す。
タテ糸　印はタテ糸方向を示す。

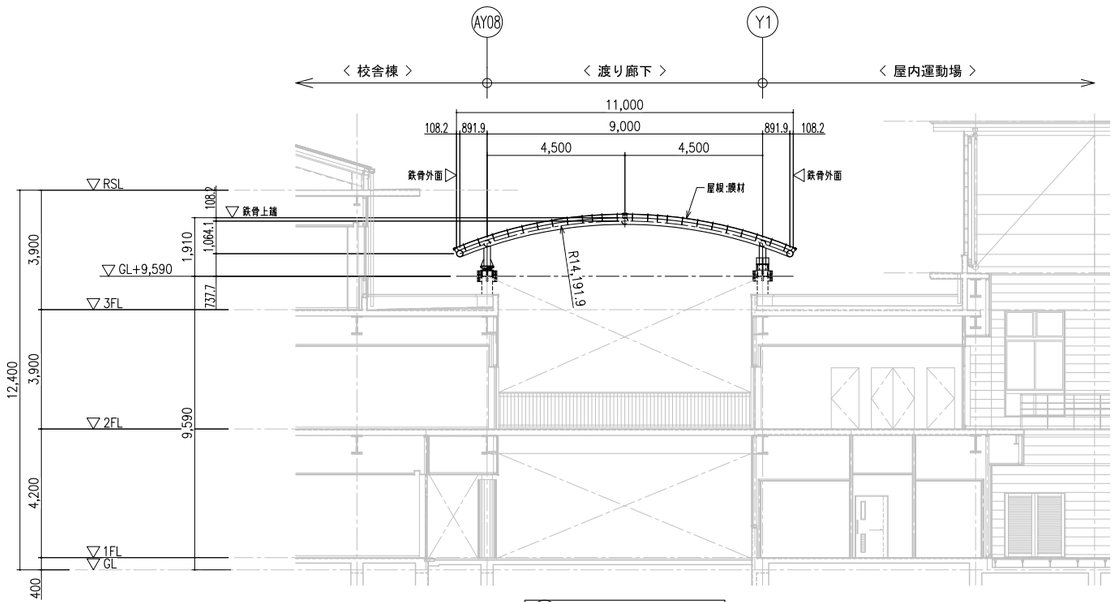
膜材リスト

| | | |
|---|---|---|
| 膜材料 | AP−450<br>酸化チタン光触媒微粒子含有(両面) | 認定番号　MMEM−0081−1<br>不燃認定　NM−4723 |

※膜構造建築物の品質管理については、令和5年発効「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜構造建築物品質管理規定」に従い行うこと。
※膜材料は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜材料等品質基準」に合致するものであること。
※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。
※膜体加工は一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場登録制度により、膜構造に係る高度な加工技術及び高度な品質管理能力を有する膜体加工認定工場として認定を受け、同協会の(膜体加工工場認定簿(上級グレード))に記載された工場(A種膜材料)の品質管理体制で行うこと。
※膜体加工は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜体加工指針(膜材料・テント倉庫膜材料)」に従い行うこと。
※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。　※酸化チタン光触媒の効果は、光触媒工業会のPIA認証マーク取得商品、または同等以上の性能を有すること。

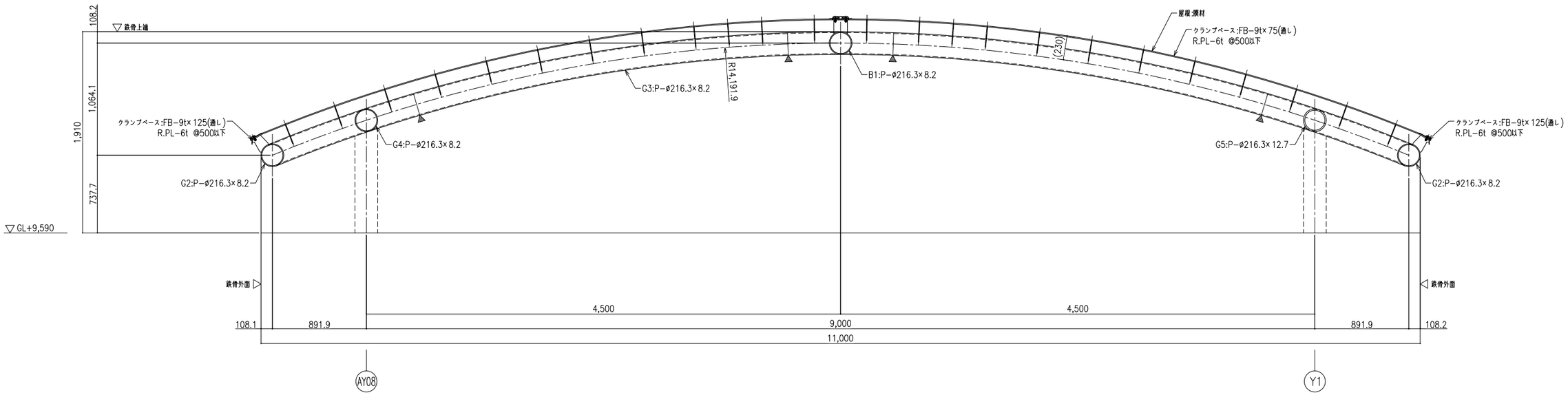



あ 矢視立面図　S=1:100

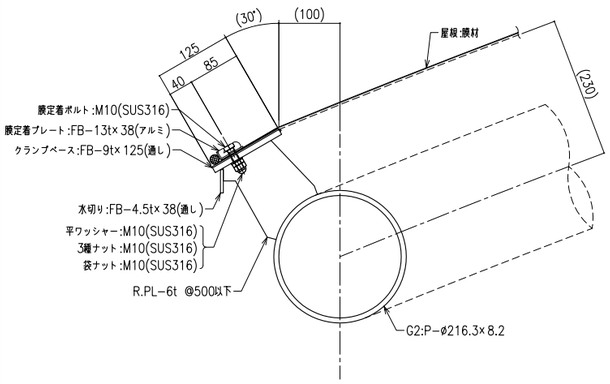



い 矢視立面図　S=1:100

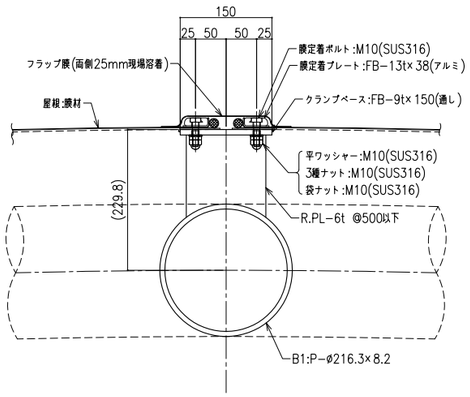
| | | |



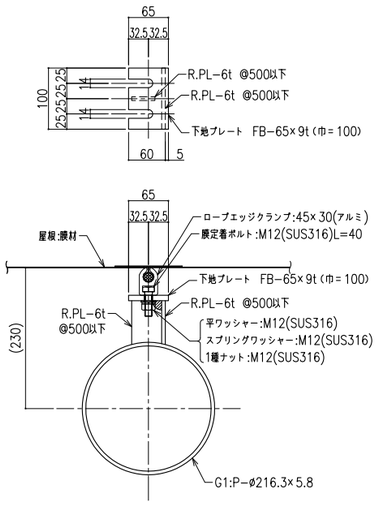

矩計図　S=1:20



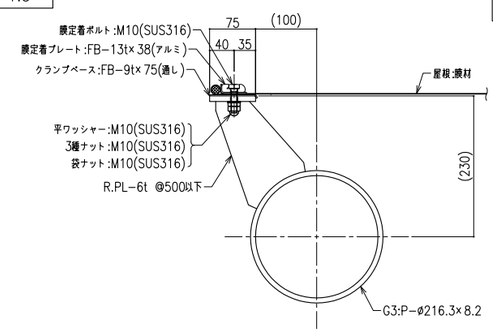

外周(水下部) 腰納まり詳細図　S=1:5
( a 断面 )



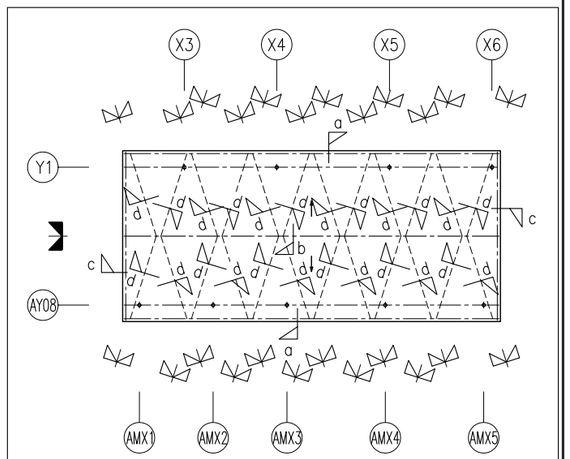

腰分割部 納まり詳細図　S=1:5
( b 断面 )



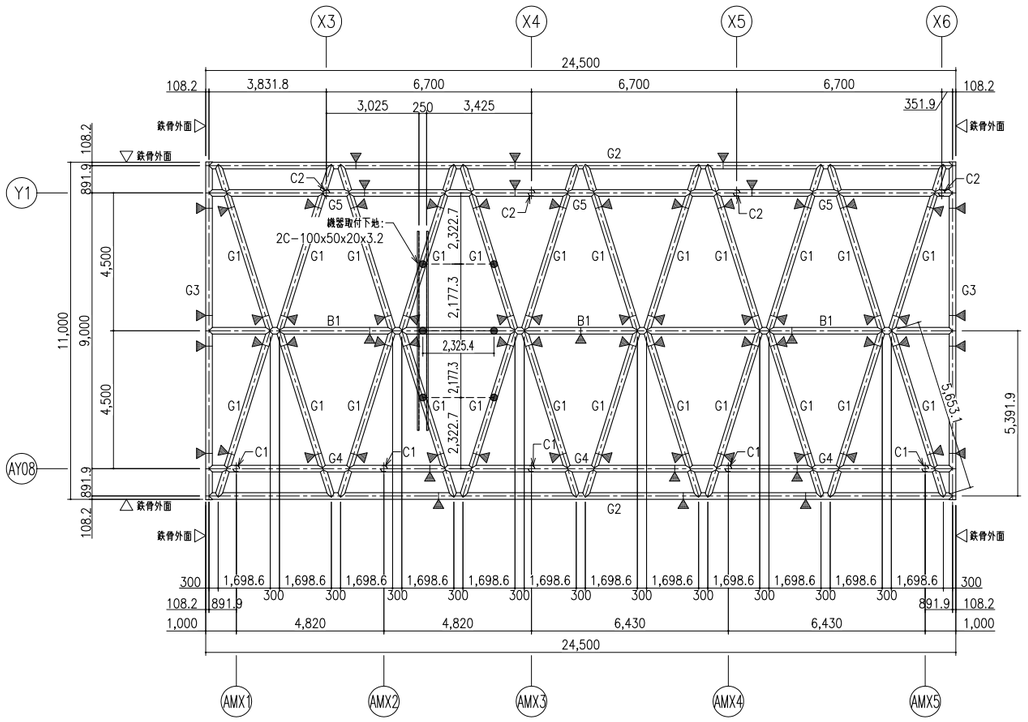

腰中間定着部 納まり詳細図　S=1:5
( d 断面 )




外周(妻部) 腰納まり詳細図　S=1:5
( c 断面 )




| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 MANABE 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和7～8年度　長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S−34 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | [渡り廊下膜屋根] 矩計図・腰納まり詳細図 | 縮尺 | A1: 1:20 1:10<br>A3: 1:40 1:20 | | |




小屋伏図　S=1:100

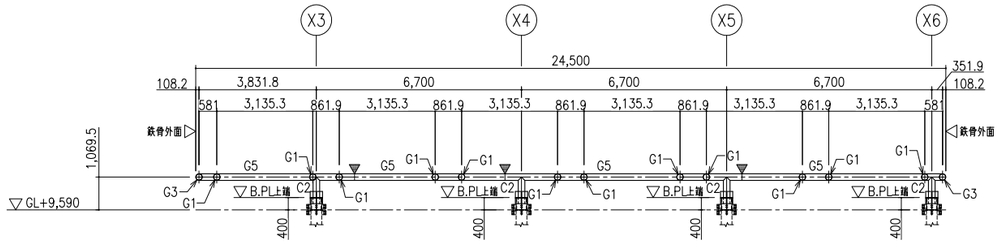
▼ 印は現場ジョイント位置を示す。

※現場ジョイント位置は施工時に最終決定とする。

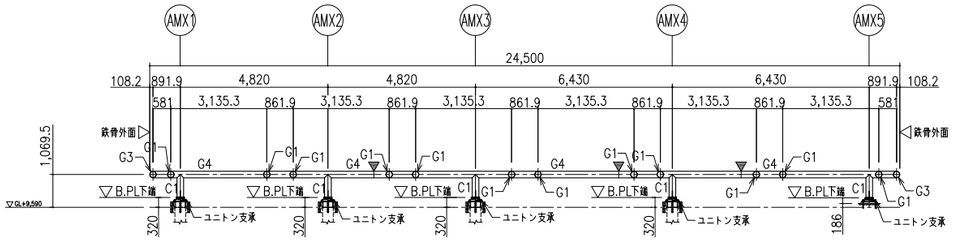
● 印は機器取付下地吊りポイントを示す。

−−−印は下部の振れ止めを示す。

※吊りポイントの位置寸法は施工時に最終決定とする。



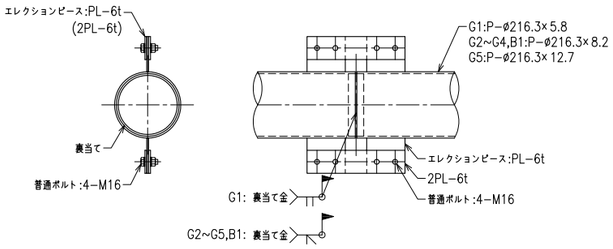

Y1通り　軸組図　S=1:100




AY08通り　軸組図　S=1:100

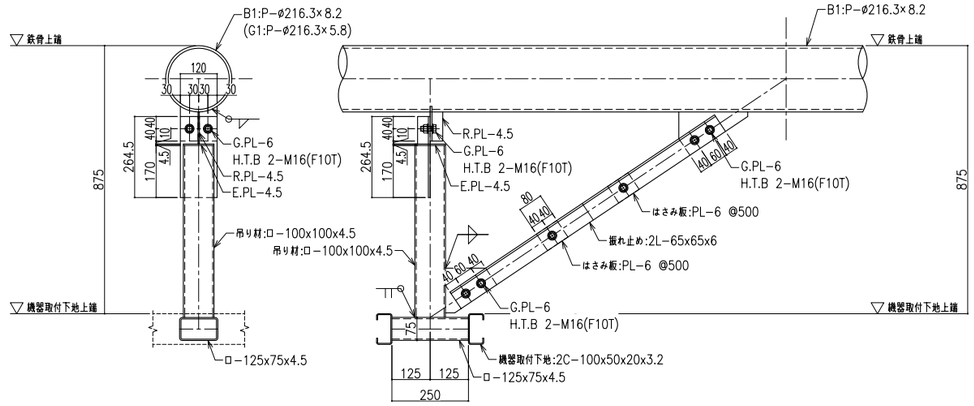
部材リスト

| 記　号 | 部　材 | 備　考 |
|---|---|---|
| C1 | P−φ216.3×5.8 | STK400 |
| C2 | P−φ216.3×8.2 | STK400 |
| | | |
| G1 | P−φ216.3×5.8 | STK400 |
| G2 | P−φ216.3×8.2 | STK400 |
| G3 | P−φ216.3×8.2 | STK400 |
| G4 | P−φ216.3×8.2 | STK400 |
| G5 | P−φ216.3×12.7 | STK400 |
| | | |
| B1 | P−φ216.3×8.2 | STK400 |



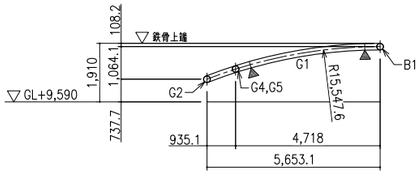

G1〜G5,B1材　現場溶接部詳細図　S=1:10

・ジョイント位置は製作時にトラック運搬　鉄骨建方等を考慮の上最終位置決定のこと。
・エレクションピースは鉄骨建て方計画に応じて枚数、配置を決定すること。
・エレクションピースは現場溶接完了後、5〜10mm程度残してカットし
　グラインダー仕上げのこと。

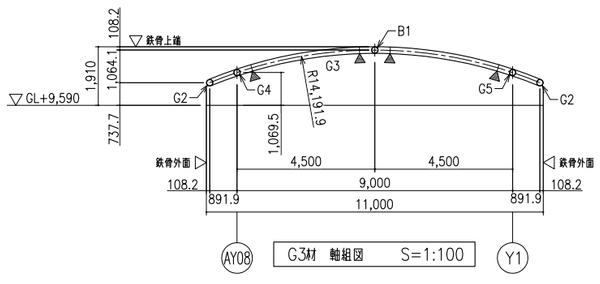



吊り材端部詳細図　S=1:10

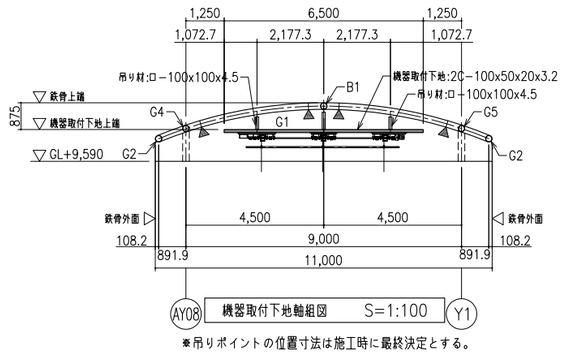
※詳細は施工時に最終決定とする。




G1材　軸組図　S=1:100




G3材　軸組図　S=1:100

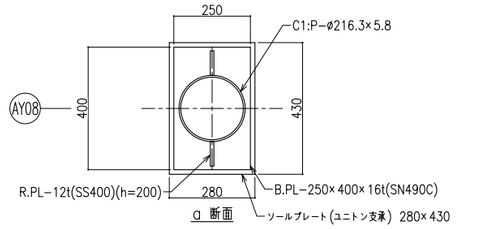


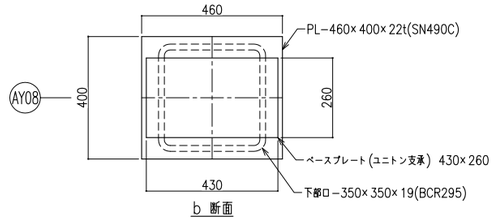

機器取付下地軸組図　S=1:100

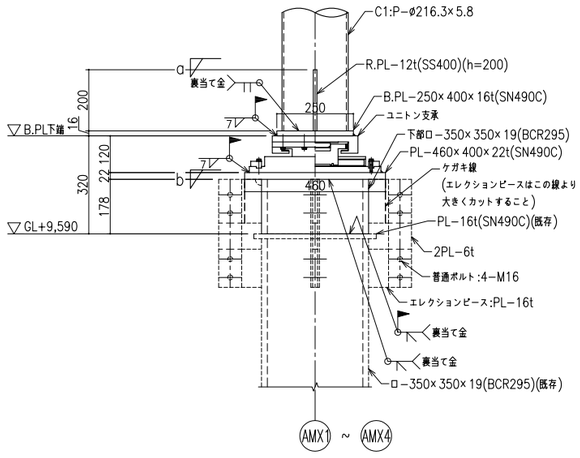
※吊りポイントの位置寸法は施工時に最終決定とする。

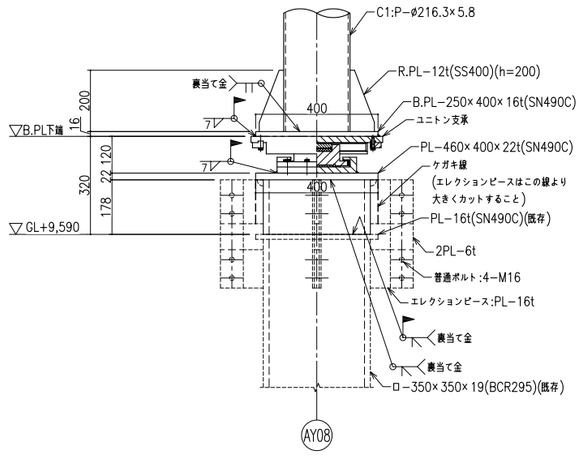
| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所　香川県知事登録　453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森　真洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７〜８年度　長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和　7年　3月 | 図面番号 | S−35 |
| | | | | | | 図面名 | [渡り廊下膜屋根]　小屋伏図・軸組図・現場ジョイント詳細図 | 縮尺 | A1:　1:50<br>A3:　1:100 | | |

# C1 柱脚詳細図 （ AY08通り側－AMX1,2,3,4 ）

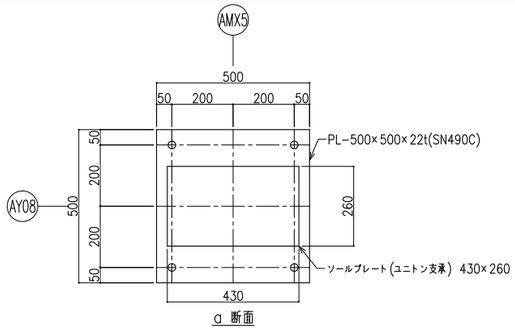


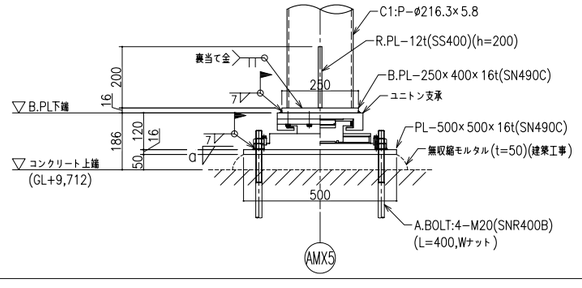



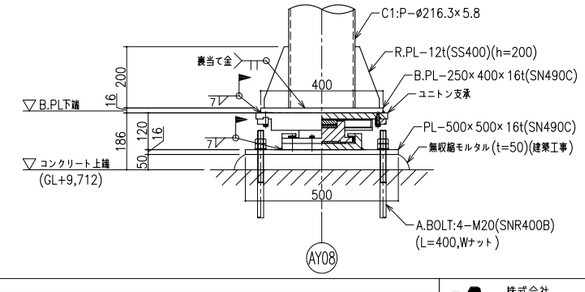



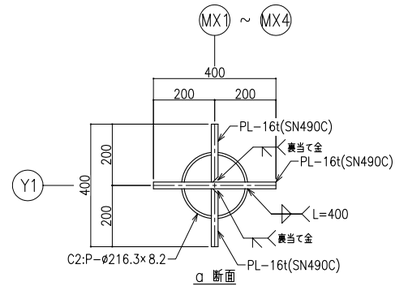

# C1 柱脚詳細図 （ AY08通り側－AMX5 ）

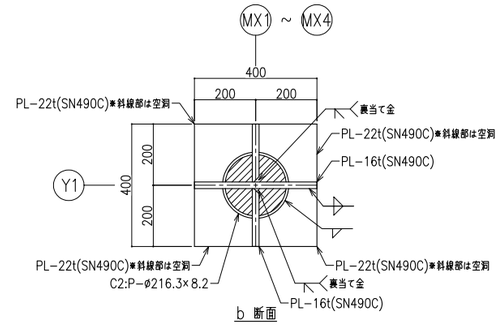


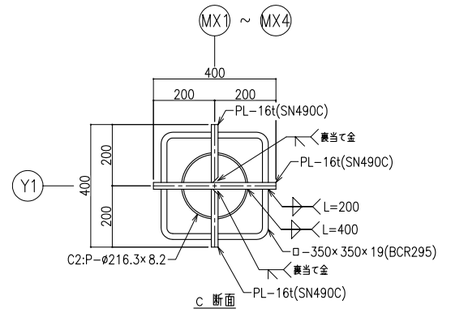



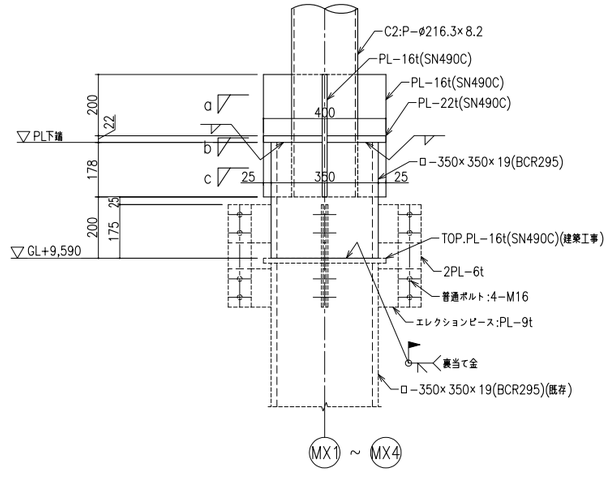




# C2 柱脚詳細図 （Y1通り側－X3,4,5,6 ）

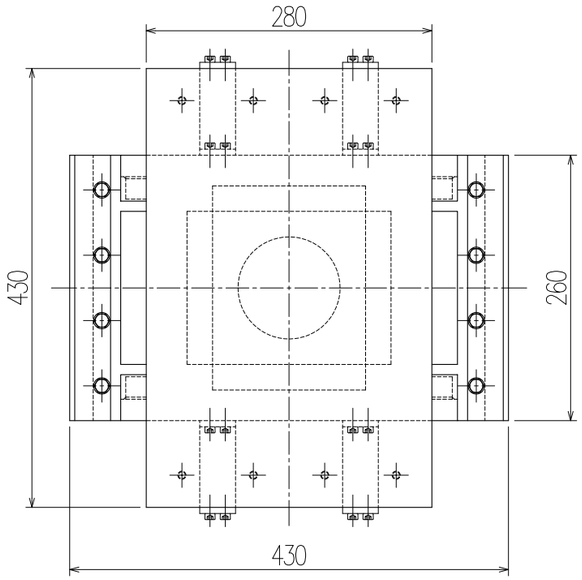


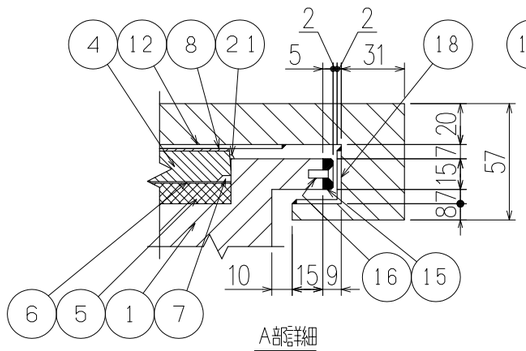



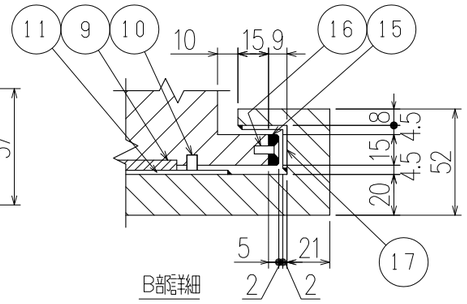




| 記事 | | 株式会社 真鍋令建築設計事務所 一級建築士事務所 香川県知事登録 453号 | 管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森 興洋 | 照査 | 担当 | 工事名 | 令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 | 図面番号 | S－36 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 図面名 | ［渡り廊下膜屋根］ 柱脚詳細図 | 縮尺 | A1: 1:10<br>A3: 1:20 | | |

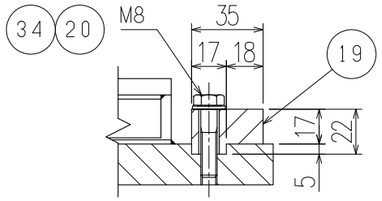


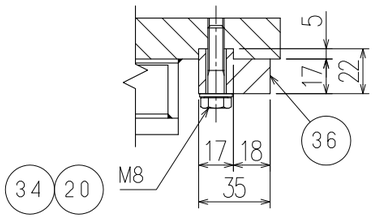

A部詳細



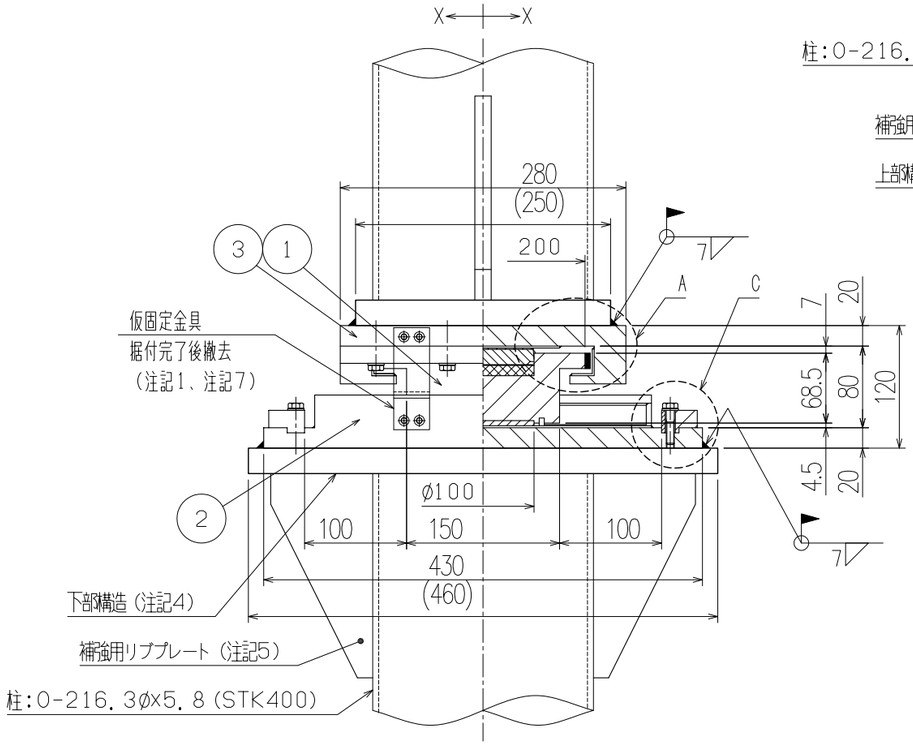

B部詳細

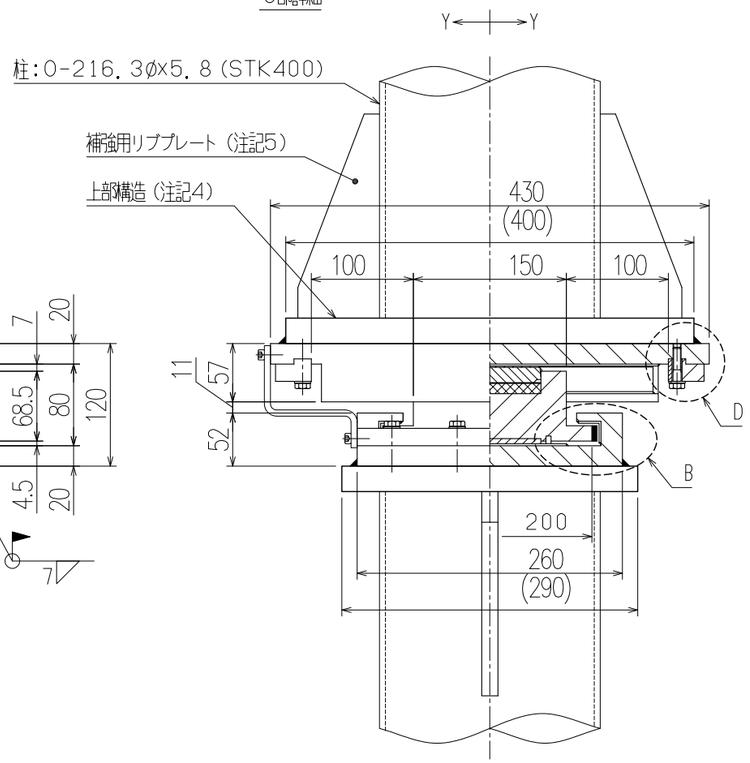



C部詳細




D部詳細




| 設計条件 | | |
|---|---|---|
| 支承型式 | | ASS-MM010S100 |
| 鉛直荷重（長期） | | 100 kN |
| 水平力（短期） | | 40 kN |
| 上揚力（短期） | | 30 kN |
| 回転角（鉛直面内） | | ± 2° |
| 移動量 | X方向 | ± 100 mm |
| | Y方向 | ± 100 mm |

注記
1. 支承は、上沓側（ソールプレート側）と下沓側（ベースプレート側）を仮固定金具により固定して出荷する。据付後、取外して下さい。
2. 支承側面に、センター印を打刻する。
3. 支承天面にタップ穴を設け、運搬用アイボルトを取付け出荷する。
4. 上部構造及び下部構造は、上下沓を図示の脚長及び方法で隅肉溶接取付けできるように納まり及び取り合い寸法を調整願います。
また、上部隅肉溶接のサイズは、上部構造を図示のごとく仮定した場合の値です。問題ないかご確認願います。
5. 支承上部及び下部構造は、支承芯が移動により偏芯した場合でも十分な強度を有するよう配慮願います。
6. 溶接取付時には、スパッタ等がすべり面にかからないように、適切に火の粉養生を行なって下さい。
7. 上沓の干渉により下沓の溶接取付が困難な場合は、仮固定金具を一時取外し、上沓をずらして下沓の溶接を行い、溶接後に仮固定金具をもとどおりに復旧して下さい。

塗装仕様
1. 素地調整：SSPC-SP-10（ブラスト処理）
2. 下塗（1）：SK#8000プライマー
3. 下塗（2）：SKタイカコート下塗材
ただし、据付座面及び溶接部（ソールプレートの上面、ベースプレートの下面及び側面溶接部）は、
下塗（1）：SK#8000プライマーのみとする。
5. 溶接取付後、補修塗装願います。

| 製作数量 QUANTITY | 5 組 |
|---|---|
| 質量 MASS | 75 kg |

付属品：アイボルト、仮固定金具

| 番号 No. | 部品名 PART | 材質 MATERIAL | 個数 NO. REQD | 部品番号 PART No. | 備考 REMARKS |
|---|---|---|---|---|---|
| 36 | サイドブロック（2） | SS400 | 2 | | |
| 34 | 平座金 | SS400 相当 | 16 | | JIS B 1256 溶融亜鉛めっき（HDZT49相当） |
| 21 | シーラント | シリコーン | 充填 | | |
| 20 | 六角ボルト | SS400 相当 | 16 | | JIS B 1180 1種 溶融亜鉛めっき（HDZT49相当） |
| 19 | サイドブロック（1） | SS400 | 2 | | |
| 18 | サイドスライドプレート（2） | SUS304 | 2 | | 研磨仕上 |
| 17 | サイドスライドプレート（1） | SUS304 | 2 | | 研磨仕上 |
| 16 | 皿小ねじ | SUS304 相当 | 12 | SH2M04A12C1BA | JIS B 1111 M4x12L |
| 15 | サイドベアリング | ピラフロン | 4 | BP-17500100※ | G4 |
| 12 | スライドプレート（2） | SUS304 | 1 | | 研磨仕上 |
| 11 | スライドプレート（1） | SUS304 | 1 | | 研磨仕上 |
| 10 | ダストシール | CR | 1 | BP-15500100※ | スポンジゴム |
| 9 | ベアリング（2） | ピラフロン | 1 | BP-16500100※ | G4 |
| 8 | ベアリング（1） | ピラフロン | 1 | BP-14222100※ | G5 |
| 7 | シールリング | ピラフロン | 1 | BP-13200100※ | H3 |
| 6 | シム | ピラフロン | 1 | BP-12200100※ | W2 |
| 5 | エラストマー | CR | 1 | BP-11200100※ | CR08 |
| 4 | ピストン | SUS304 | 1 | BP-14222100※ | |
| 3 | ソールプレート | SS400 | 1 | | |
| 2 | ベースプレート | SS400 | 1 | | |
| 1 | ベースボット | SS400 | 1 | | 穴内面：硬質クロムめっき |

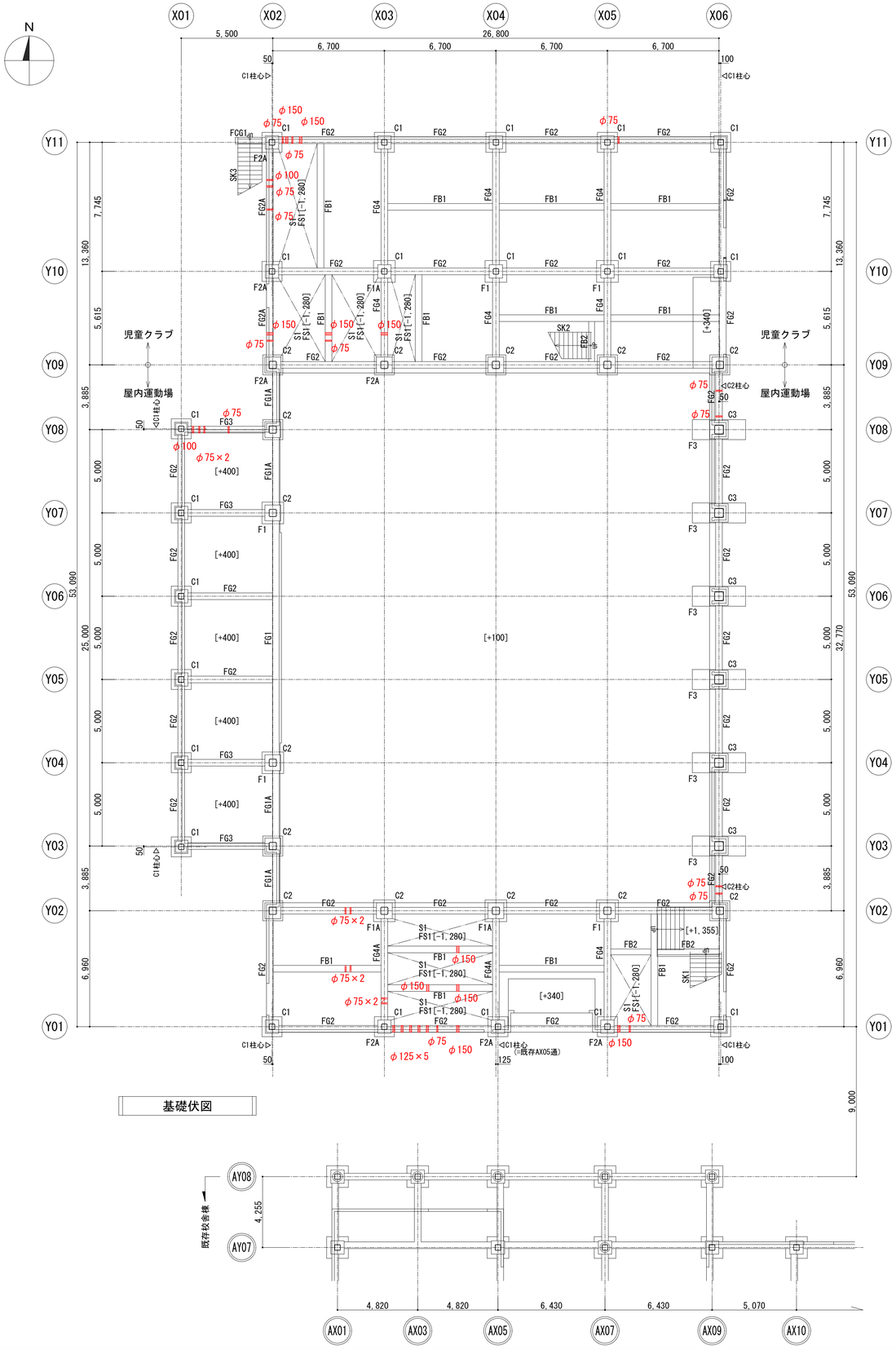
記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
MANABE
一級建築士事務所 香川県知事登録 453号

管理建築士・・・ 一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋

照査 担当

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 令和7～8年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築） | 設計 | 令和 7年 3月 |
| 図面名 | [渡り廊下膜屋根] ユニトン支承詳細図 | 縮尺 | A1: 1:3 A3: 1:6 |
| 図面番号 | S-37 | | |




基礎伏図

開口補強リスト

| | 屋内運動場 | 児童クラブ | 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 100φ | 30 | 14 | 44 | MAXウェブレン（かぶり厚50mm仕様） S6-2R　同等 |
| 125φ | 10 | 0 | 10 | MAXウェブレン（かぶり厚50mm仕様） S6-2R　同等 |
| 150φ | 8 | 10 | 18 | MAXウェブレン（かぶり厚50mm仕様） S6-2R　同等 |

記事

株式会社 真鍋令建築設計事務所
一級建築士事務所　香川県知事登録　453号

管理建築士：一級建築士大臣登録 361217号 森 真洋
照査
担当

工事名：令和７～８年度 長尾小学校屋内運動場等複合施設改築工事（建築）
設計：令和 7年 3月
図面名：梁貫通孔リスト
縮尺：A1：－　A3：－
図面番号：S-38